瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事

番号	図面名称	縮尺
A00	表紙	-
A01	建築工事特記仕様書１	-
A02	建築工事特記仕様書２	-
A03	建築工事特記仕様書３	-
A04	建築工事特記仕様書４	-
A05	建築工事特記仕様書５	-
A06	共通特記仕様書１	-
A07	共通特記仕様書２	-
A08	工事区分表	-
A09	建築概要・付近見取図	1/400,2500
A10	配置図	1/200
A11	仮設計画図	1/200
A12	面積表1	1/150
A13	面積表2 （各階）	1/150
A14	法的確認図	1/100
A15	仕上表	-
A16	１階平面図	1/100
A17	２階平面図	1/100
A18	R階平面図	1/100
A19	立面図１	1/100
A20	立面図２	1/100
A21	断面図	1/100
A22	１階天井伏図	1/100
A23	２階天井伏図	1/100
A24	断面詳細図１	1/50
A25	断面詳細図２	1/50
A26	断面詳細図３	1/50
A27	断面詳細図４	1/50
A28	断面詳細図５	1/50
A29	断面詳細図６	1/50
A30	断面詳細図７	1/50
A31	階段詳細図１（屋内階段）	1/50
A32	階段詳細図２（屋外大階段）	1/50
A33	平面詳細図１	1/50
A34	平面詳細図２	1/50
A35	平面詳細図３	1/50
A36	平面詳細図４	1/50
A37	１階　展開図１	1/100
A38	１階　展開図２	1/100
A39	２階　展開図１	1/100
A40	２階　展開図２	1/100
A41	２階　展開図３	1/100
A42	建具表１	1/100
A43	建具表２	1/100
A44	建具表３	1/100
A45	昇降設備詳細図1	1/50
A46	昇降設備詳細図2	1/20
A47	昇降設備詳細図3	1/20
A48	アルミ建具詳細図１	1/5
A49	アルミ建具詳細図２	1/5
A50	アルミ建具詳細図３	1/5
A51	パーティション詳細図	1/3,30
A52	スライディングウォール詳細図	1/3,10,50
A53	鋼製建具詳細図、排煙下がり壁	1/5,60
A54	可動書架詳細図	1/2,5,30

番号	図面名称	縮尺
A55	家具詳細図1	1/30
A56	家具詳細図2	1/10,20,30
A57	木製建具詳細	1/5,30
A58	カーテン・ブラインド配置図	1/150
A59	カーテン・ブラインド詳細図	1/2
A60	サインリスト　サイン配置図（外部）	1/200
A61	サイン配置図（１Ｆ）	1/75
A62	サイン配置図（２Ｆ）	1/75
A63	サイン詳細図1	1/50
A64	サイン詳細図2	1/50
A65	サイン詳細図3	1/50
A66	部分詳細図１　床	1/1,2,5,10
A67	部分詳細図２　壁	1/5,10,30
A68	部分詳細図３　天井・雑金物	1/3,5,10
A69	部分詳細図４　外部①　屋上・手摺	1/5,10
A70	部分詳細図５　外部②　屋根	1/5
A71	厨房設備図（参考図）	1/20,30
A72	２階テラス　植栽詳細図	1/50
	建築外構	
G-01	現況図（造成完了時）	1/200
G-02	外構配置図1	1/200
G-03	外構配置図2	1/200
G-04	外構詳細図１	1/10
G-05	外構詳細図２	1/10,20,30
G-06	外構詳細図３	1/30,50
G-07	植栽配置図	1/100

番号	図面名称	縮尺
S01	構造特記仕様書	-
S02	鉄筋コンクリート造標準配筋図（１）	-
S03	鉄筋コンクリート造標準配筋図（２）	-
S04	鉄筋コンクリート造標準配筋図（３）	-
S05	鉄骨構造工作標準図	-
S06	ベースパック柱脚工法標準図（１）	-
S07	ベースパック柱脚工法標準図（２）	-
S08	ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準図	-
S09	フラットデッキ標準仕様書	-
S10	スマートダイアⅡ標準仕様書	-
S11	ＮＤコア設計施工標準仕様書（１）	-
S12	ＮＤコア設計施工標準仕様書（２）	-
S13	ＮＤコア設計施工標準仕様書（３）	-
S14	地盤改良特記仕様書	-
S15	地盤調査位置図	-
S16	地盤改良伏図	1/100
S17	基礎伏図	1/100
S18	Ｍ２ＦＬレベル梁伏図	1/100
S19	２ＦＬレベル梁伏図	1/100
S20	ＲＦＬ、ＴＲＦＬレベル梁伏図	1/100
S21	軸組図（１）	1/100
S22	軸組図（２）	1/100
S23	軸組図（３）	1/100
S24	軸組図（４）	1/100
S25	ＲＣ造部材リスト	1/50,1/40
S26	鉄骨部材断面リスト（１）	1/30
S27	鉄骨部材断面リスト（２）	1/30
S28	鉄骨架構図	1/30
S29	1階　間柱位置図	1/100
S30	2階　間柱位置図	1/100
S31	地中梁貫通補強位置図	1/100
S32	鉄骨梁貫通補強位置図2F	1/100
S33	鉄骨梁貫通補強位置図RF	1/100

番号	図面名称	縮尺
E01	電気設備工事特記仕様書	-
E02	配置図	1/200
E03	受変電設備　単線結線図	-
E04	幹線動力設備　系統図	-
E05	動力盤リスト	-
E06	電灯盤リスト（１）	-
E07	電灯盤リスト（２）	-
E08	電灯盤リスト（３）	-
E09	幹線設備　１階平面図	1/400
E10	幹線設備　２階平面図	1/100
E11	動力設備　１階平面図	1/100
E12	動力設備　２階平面図	1/100
E13	動力設備　Ｒ階平面図	1/100
E14	動力・コンセント設備　厨房詳細図	1/50
E15	照明器具姿図（１）	-
E16	照明器具姿図（２）	-
E17	電灯設備　１階平面図	1/100
E18	電灯設備　２階平面図	1/100
E19	リモコン配線設備　１階平面図	1/100
E20	リモコン配線設備　２階平面図	1/100
E21	防災照明姿図	-
E22	非常照明・誘導灯設備　１階平面図	1/100
E23	非常照明・誘導灯設備　２階平面図	1/100
E24	コンセント設備　１階平面図	1/100
E25	コンセント設備　２階平面図	1/100
E26	弱電設備　系統図	-
E27	弱電設備　１階平面図	1/100
E28	弱電設備　２階平面図	1/100
E29	拡声設備　系統図	-
E30	拡声設備　機器姿図	-
E31	拡声設備　１階平面図	1/100
E32	拡声設備　２階平面図	1/100
E33	音響・映像設備　１階平面図	1/100
E34	火災報知設備　凡例・系統図	-
E35	火災報知設備　１階平面図	1/100
E36	火災報知設備　２階平面図	1/100
E37	警備用空配管　１階平面図	1/100
E38	警備用空配管　２階平面図	1/100

番号	図面名称	縮尺
M01	機械設備工事特記仕様書	-
M02	給排水衛生設備　配置図・給水引込部詳細図	1/20,50,200
M03	給排水衛生設備　機器表・桝リスト	1/20
M04	給排水衛生設備　衛生器具表	-
M05	給排水衛生設備　１階平面図	1/100
M06	給排水衛生設備　２階平面図	1/100
M07	給排水衛生設備　１階平面詳細図（１）	1/50
M08	給排水衛生設備　１階平面詳細図（２）	1/50
M09	給排水衛生設備　２階平面詳細図（１）	1/50
M10	給排水衛生設備　２階平面詳細図（２）	1/50
M11	空調設備　機器リスト	-
M12	空調設備　１階平面図	1/100
M13	空調設備　２階平面図	1/100
M14	空調設備　Ｒ階平面図	1/100
M15	換気設備　機器リスト	-
M16	換気設備　１階平面図	1/100
M17	換気設備　２階平面図	1/100
M18	換気設備　平面詳細図	1/100
M19	計装設備　１階平面図	1/50
M20	計装設備　２階平面図	1/100
M21	計装設備　３階平面図	1/100

株式会社 黒川建築設計事務所

件名	図面	縮尺	日付	図面Ｎｏ.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	表紙・図面リスト	―	2023/3	AA-00	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

岡山県建築工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

工事名称	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事					
工事場所	〒701-4221　岡山県瀬戸内市邑久町尾張282-2　外2筆					
敷地面積	2,388.95 ㎡					
床面積(㎡)		棟　S造	棟　造	棟　造	棟　造	棟　造
	階					
	階					
	階					
	階					
	2階	724.380				
	1階	821.720				
	小計	1,546.100				
	合計	1,546.100 ㎡				
建築面積(㎡)	853.870 ㎡					
消防法施行令別表第一区分	16項(ロ)					
建ぺい率(指定率)	%（　60 %）	容積率(指定率)	%（　200 %）			
用途地域		防火地域	・防火地域　・準防火地域　○指定なし			

工事範囲	別途工事
建築工事	
外構工事	
電気設備工事	電話・Wi-Fi工事
機械設備工事	防犯設備工事
その他図面に記載されている範囲	その他図面記載なき家具什器備品工事

Ⅱ．建築工事仕様

1．共通仕様

（1）　図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下、「標準仕様書」という。）による。
図面、本特記仕様書及び標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和４年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

（2）　建築基準法に基づく完了検査（中間検査含む）が必要な工事の場合、受注者は完了検査（中間検査含む）時には、官公署（建築主事等）が求める検査に必要な書類（報告書）等を用意するものとする。

2．特記仕様

（1）　項目は番号に○印のついたものを適用する。

（2）　特記事項は○印のついたものを適用する。
○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
○印と◎印のついた場合は共に適用する。

（3）　特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。［　　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を表す

（4）　関係法令の改正等により（条例を含む）、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議すること。

（5）　材料及び製造所等の記載は順不同である。

章		項目	特記事項
1 一般共通事項	1	適用基準等	※建築工事標準詳細図（令和４年版）（以下「標準詳細図」という）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ※営繕工事写真撮影要領（令和３年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
	2	電気保安技術者（1．3．3）	配置する
	3	施工条件（1．3．5）	○施工時間帯　※指定なし　・指定あり（　　） ○施工ができない日等　※指定なし　・指定あり（別添「行事等に伴う施工ができない日等（予定）」に基づき監督職員と協議するものとする） ○部位別の施工順序　※指定なし　・指定あり（・図示　・　　） ○工事車両の駐車場所　（※図示　・　　） ○資機材置場　（※図示　・　　） ○建設発生土仮置場　（※図示　・　　） ※週休２日促進工事について ・本工事は、週休２日促進工事の対象である。週休２日促進工事特記仕様書を参照すること。 ・本工事は、週休２日促進工事の対象外である。
	4	工事安全計画書（1．3．7）	建築工事安全施工技術指針及び建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）に基づき、工事の施工に先立ち工事現場の安全対策に関する具体的な工事安全計画書を監督職員に提出する。
	5	発生材の処理等（1．3．11）	・引き渡しを要するもの（　　） ・現場において再利用を図るもの（　　） ・再生資源化を図るもの ・コンクリート塊　・アスファルトコンクリート塊　・建設発生木材
	6	環境への配慮（1．4．1）	化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、次の１）から４）を満たすものとする。 １）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ２）接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ３）接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ４）１）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量　規制対象外 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ホルムアルデヒド放散量　第三種 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	7	材料の品質等（1．4．2）	1）本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2）本工事に使用する材料のうち、3）に指定する材料の製造業者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し）を監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない。 （1）品質及び性能に関する試験データが整備されているもの （2）生産施設及び品質の管理が適切に行われているもの （3）安定的な供給が可能であるもの （4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得している （5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があるもの （6）販売、保守等の営業体制が整えられているもの（なお、システムとして機能するものにあっては、システムの構築能力があり、現場で施工体制が整えられているもの） 3）製造業者等に関する資料の提出を定める材料

床型枠鋼製デッキプレート	クローザ類	煙突用成形ライニング材
鉄骨柱下無収縮モルタル	自動扉機構	天井点検口
無収縮グラウト材	自閉式上吊り引戸機構	床点検口
乾式保護材	重量シャッター	グレーチング
既調合モルタル	軽量シャッター	屋上緑化システム
ルーフドレン	オーバーヘッドドア	トップライト
吸水調整材	防水剤	ポリマーセメントモルタル
既調合目地材	現場発泡断熱材	可動間仕切
移動間仕切	フリーアクセスフロア	錺鉄製ふた
錠前類	トイレブース	

8 特別な材料の工法	標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。	
9 技能士（1．5．2）		

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	○とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	○鉄筋組立作業
コンクリート工事	型枠施工	○型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	○コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	とび	○とび作業
ＣＢ・ＡＬＣパネル工事	ブロック建築	・コンクリートブロック工事作業
	ＡＬＣパネル施工	・ＡＬＣパネル工事作業
防水工事	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業
石工事	石材施工	・石張り作業
タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業
木工事	建築大工	・大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	○内外装板金作業
	かわらぶき	・かわらぶき作業
金属工事	内装仕上施工	・鋼製下地工事作業
	建築板金	・内外装板金作業
左官工事	左官	○左官作業
建具工事	サッシ施工	○ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	○ガラス工事作業
	自動ドア施工	・自動ドア施工作業
	ガラス用フィルム施工	○建築フィルム作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ガラス工事作業
塗装工事	塗装	○建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	○プラスチック系床仕上げ工事作業 ○カーペット系床仕上げ作業 ○ボード仕上げ工事作業
	表装	○壁装作業
排水工事	配管	○建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	○溶融ペイントハンドマーカー工事作業 ・加熱ペイントマシンマーカー工事作業
植栽工事	造園	○造園工事作業

10 化学物質の濃度測定（1．5．9）	図示した室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告するものとする。 パッシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う ①３０分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、３０分間換気する。 ②５時間閉鎖 ①の後、測定対象室すべての窓及び扉を５時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。 ③測定 イ　②の状態のままで測定する。 ロ　測定時間は、原則として２４時間とする。ただし、工程等の都合により、２４時間測定が行えない場合は、８時間測定とする。なお、８時間測定の場合は、午後２時～３時が測定時間帯の中央となるよう、１０時３０分～１８時３０分までの時間帯で測定する。 ハ　測定回数は１回とし、複数回の測定は不要とする。 ④分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。 ⑤その他 監督員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けるものとする。 ・厚生労働省の標準的方法による
	事務室等 居室　8室分	
11 完成写真	工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出するものとする。	

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面 40箇所	○カラー印画紙キャビネ判	3	4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	衛建築写真室 中桐幡良氏 建築写 中村啓太郎氏
	○電子データ（ＪＰＥＧフルカラー圧縮率1/4程度）	3		
	・カラー木製パネル半切（324×400mm）			
上記と異なる外部（　）箇所 内部（　）箇所	カラー印画紙　・キャビネ判　※Ｌ判			
	※電子データ（ＪＰＥＧフルカラー圧縮率1/4程度）			
外部（　）箇所	カラー印画紙　・キャビネ判　※Ｌ判	3	1280×960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意
内部（　）箇所	※電子データ（ＪＰＥＧフルカラー）	3		

撮影部位は監督職員の指示による
電子データは、ＣＤ－Ｒ等で提出する

12 完成時の提出図書（1．7．1~3）	完成図（ＣＡＤデータの提出（※　要　・　不要　））　表1．7．1 保全に関する資料（提出部数　※　1 部　・　部　） 提出書類の詳細については、別途、完成図書作成要領による。	
13 施工図及び施工計画書（1．7．2）	提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。	
14 設備工事との取り合い	設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受けるものとする。	
15 設計ＧＬ	※図示　・（　　）	
16 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 風圧力風速　Ｖ０＝　32　ｍ／ｓ 地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　○Ⅲ　・Ⅳ 積雪量　建築基準法施行令第８６条第３項の規定に基づく岡山県建築基準法施行細則による数値	

2 仮設工事	1	足場その他（2．2．4）	足場を設ける場合は、標準仕様書２．２．４（２）、（３）による。
	2	監督職員事務所（2．3．1）	※設けない　・設ける 備品等は、監督職員の指示を受けて設置するものとする。
	3	工事用水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※　有償　・　無償　）
	4	工事用電力	※　別途引き込みとする ・　構内既存の施設を利用できる（※　有償　・　無償　）
3 土工事	1	埋戻し及び盛土（3．2．3）	※種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土　表3．2．1 Ｄ種の場合は必要に応じて「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により、監督職員と協議の上、六価クロム溶出試験を行うものとする。 ・材料：　　工法：
	2	建設発生土の処理（3．2．5）	※構外指示の場所に処分　・構内指示の場所に敷き均し　・構内指示の場所に堆積
4 地業工事	1	共通仕様（4．2．2）（4．2．4）	・杭基礎 支持地盤の位置及び種類（基礎ぐいの先端位置含む） ※構造図による 試験杭（　）本　位置は構造図による 杭の支持層への根入れ長さ ※構造図による ・直接基礎 支持地盤の位置及び種類（ラップルコンクリートの底面位置含む） ※構造図による ・地盤の平板載荷試験　※行わない ・行う（　）箇所 位置、深さ、対象地盤及び最大載荷加重は構造図による。 試験の方法、報告書の記載事項等は構造図による。
	2	既製コンクリート杭地業（4．2．2）（4．3．1~7）	材料 ※遠心力高強度コンクリート杭（ＰＨＣ杭） ・外殻鋼管付きコンクリート杭（ＳＣ杭） ・プレストレス鉄筋コンクリート杭（ＰＲＣ杭） ・ 寸法、継手、性能等

	種類 種別	杭径（mm）	杭長（m）及び種別	厚さ	継手数	セット数	コンクリート強度（N／mm²）	長期設計支持力（ｋＮ／本）	備考
試験杭			上杭						
			中杭						
			下杭						
本　杭			上杭						
			中杭						
			下杭						

ＳＣ杭の鋼管　・ＳＫＫ４００　・ＳＫＫ４９０　・
ＳＣ杭の板厚　※構造図による
ＰＨＣ杭の種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
ＰＲＣ杭の種別　・Ⅰ種　・Ⅱ種　・Ⅲ種　・Ⅳ種
なお、特定埋込杭工法における杭材料はＪＩＳ又は認定条件に適合するものとする。
杭先端部形状　※開放形　・半開放形　・閉そく形
ネガティブフリクション対策
※不要　・要（構造図による）
杭の継手　・アーク溶接継手
溶接材料
※標準仕様書7．2．5(1)(2)による　・構造図による
・機械式継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工法　※評定等を受けた工法
杭頭の処理　・切断しない　・切断する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）　※構造図による
杭頭の中詰材料　※コンクリート（基礎コンクリートと同仕様）　・
支持地盤　※構造図による
施工方法
・セメントミルク工法
根固め液及び杭周固定液の管理試験
※標準仕様書4．3．4(6)(a)による
・構造図による
※特定埋込杭工法
・Ｈ１３国交告第１１１３号第６による支持力算定式でα＝２５０程度を採用できる工法
・Ｈ１３国交告第１１１３号第６による支持力算定式でα＝　　、β＝　　、γ＝
を採用できる工法
工法　・プレボーリング拡大根固め工法
・中堀り拡大根固め工法
・
杭周固定液の使用　・する　・しない
杭の精度
水平方向の位置ずれ　・杭径の１／４かつ１００mm以下　・構造図による
杭の鉛直度　・１／１００以内　・評定条件または認定条件による　・構造図による
種類の記号　・ＳＫＫ４００　・ＳＫＫ４９０
寸法、継手、性能等

	符号	杭径（mm）	杭長（m）及び種類の記号	板厚（mm）	継手数	セット数	長期設計支持力（ｋＮ／本）	備考
試験杭			上杭					
			中杭					
			下杭					
本杭			上杭					
			中杭					
			下杭					

	3	鋼杭地業（4．2．2）（4．3．7）（4．4．1~6）	
5 鉄筋工事	1	鉄筋の種類（5．2．1）	施工方法 ・特定埋込み杭工法 ・Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝２５０程度を採用できる工法 ・Ｈ１３国交告１１１３号第６による支持力算定式でα＝　　、β＝　　、γ＝ を採用できる工法 工法　・中掘り拡大根固め工法 杭の精度 水平方向の位置ずれ　・杭径の１／４かつ１００mm以下　・ 杭の鉛直度　・１／１００以内　・評定条件または認定条件による　・ 杭の継手の工法　・アーク溶接継手 形状　・ＪＩＳＡ５５２５による　・構造図による 溶接材料　・標準仕様書7．2．5(1)、(2)による　・構造図による ・機械式継手（※継手部に溶接金具を用いた方式のもの） 工法　※評定を受けた工法 杭頭の処理　・切断しない ・切断する 処理方法（切断にともなう補強方法含む）　・構造図による 杭頭の中詰材料　※コンクリート（基礎コンクリートと同仕様）

規格の名称	種類の記号	使用箇所	呼び径（mm）	備考
※異形鉄筋	※ＳＤ２９５	スラブ、雑壁他	・Ｄ１６以下	
(鉄筋コンクリ	※ＳＤ３４５	基礎、地中梁他	・Ｄ１９　・Ｄ２２　・Ｄ２５　・	
ート用棒鋼)	・		・　・　・	
	・		・　・　・	

	2	溶接金網（5．2．2）	

種類	使用箇所	呼び径・寸法・形状(mm)
○溶接金網	○Ｌデッキ、階段	○図示　・
・鉄筋格子		・図示　・

	3	鉄筋の継手（5．3．4）	

部位	継手の方法と適用径
○基礎梁主筋	・重ね継手（Ｄ１６以下）※ガス圧接（Ｄ１９以上）・機械式継手（　）
○柱主筋	・重ね継手（Ｄ１６以下）※ガス圧接（Ｄ１９以上）・機械式継手（　）
○大梁主筋	・重ね継手（Ｄ１６以下）※ガス圧接（Ｄ１９以上）・機械式継手（　）
○小梁主筋	・重ね継手（Ｄ１６以下）※ガス圧接（Ｄ１９以上）・機械式継手（　）
○壁	※重ね継手（Ｄ１６以下）・ガス圧接（Ｄ１９以上）・機械式継手（　）
・	・重ね継手（　）・ガス圧接（　）・機械式継手（　）
・	・重ね継手（　）・ガス圧接（　）・機械式継手（　）

	4	鉄筋の継手位置（5．3．4）	

部位	継手位置	部位	継手位置
○基礎梁主筋	・図示　○各部配筋参考図1．3による	・	・図示　・
○柱主筋	・図示　○各部配筋参考図2．1による	・	・図示　・
○大梁主筋	・図示　○各部配筋参考図3．1による	・	・図示　・
○小梁主筋	・図示　○各部配筋参考図3．4による	・	
○壁	・図示　○各部配筋参考図4．2による	・	
・	・	・	

	5	重ね継手の長さ（5．3．4）	

部位	重ね継手の長さ
○基礎梁主筋	○図示　・４０ｄと標準仕様書 表5．3．2のうち大きい値　・
○柱主筋	○図示　・４０ｄと標準仕様書 表5．3．2のうち大きい値　・
○大梁主筋	○図示　・４０ｄと標準仕様書 表5．3．2のうち大きい値　・
○小梁主筋	○図示　・４０ｄと標準仕様書 表5．3．2のうち大きい値　・
・耐力壁	・図示　・４０ｄと標準仕様書 表5．3．2のうち大きい値　・
・	・図示　・４０ｄと標準仕様書 表5．3．2のうち大きい値　・
・	・図示　・４０ｄと標準仕様書 表5．3．2のうち大きい値　・

	6	鉄筋の定着の長さ（5．3．4）	柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ ○図示　・４０ｄと標準仕様書 表5．3．4のうち大きい値　・
	7	鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（5．3．5）	

施工箇所	標準仕様書 表5．3．6に加える寸法（mm）
○柱、梁、壁及び底などの外気に接する面	※１０　・
・	・

10 杭残土（杭汚泥）の重金属等溶出試験	カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、セレンの６種類の溶出試験を行うこと。 溶出量基準及び測定方法は、Ｈ３環境庁告示第４６号による。	
11 杭残土（杭汚泥）の再資源化	１０の試験結果が基準値未満の場合は、杭残土（杭汚泥）を再資源化処理施設へ搬入するものとする。	

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	岡山県建築工事特記仕様書 1	-	2025/03	A-01	武村	竹波	竹波	竹波

株式会社 黒川建築設計事務所
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

⑧ 各部鉄筋 (5．3．7)

部位	配筋方法
○直接基礎	※図示　○各部配筋参考図1．1による
○基礎接合部の補強配筋	※図示　○各部配筋参考図1．2による
○基礎梁のあばら筋	※図示　○各部配筋参考図1．4による
○帯筋組立の形	※図示　○各部配筋参考図2．2による
○帯筋の割付け	※図示　○各部配筋参考図2．2の図2．3による
○あばら筋の組立の形	※図示　○各部配筋参考図3．2による
○あばら筋の割付け	※図示　○各部配筋参考図3．2による
○腹筋及び幅止め筋	※図示　○各部配筋参考図3．2による
○梁の打増し補強	※図示　○各部配筋参考図3．3による
○壁の基準配筋	※図示　○各部配筋参考図4．1による
○壁の交差部及び端部の配筋	※図示　○各部配筋参考図4．3による
○壁（耐震壁を除く）の開口部補強	※図示　○各部配筋参考図4．4（・A形　・B形）による
・耐震壁の開口部補強	※図示
○壁の打増し補強	※図示　○各部配筋参考図4．5による
○パラペットの配筋	※図示　○各部配筋参考図4．6による
○スラブの基準配筋	※図示　○各部配筋参考図5．1による
○片持ちスラブの基準配筋	※図示　○各部配筋参考図5．3による
○片持ちスラブ先端に壁が付く場合の配筋	※図示　○各部配筋参考図5．4による
○スラブ開口部補強	※図示　○各部配筋参考図5．5による
○スラブ出隅部及び入隅部の補強配筋	※図示　○各部配筋参考図5．6による
○スラブの打継ぎ補強配筋	※図示　○各部配筋参考図5．7による
○段差のあるスラブの補強配筋	※図示　○各部配筋参考図5．8による
○片持スラブ形階段の基準配筋	※図示　・各部配筋参考図6．1による
・二辺固定スラブ形階段の基準配筋	※図示　・各部配筋参考図6．2による
○梁貫通孔の配筋	※図示　・各部配筋参考図7．1による
○梁貫通孔の補強形式	※図示　・各部配筋参考図7．2による
・コンクリートブロック帳壁との取合い	※図示　・各部配筋参考図7．3による

⑨ 圧接完了後の試験 (5．4．10)

外観試験　※行う（全圧接部）
抜取試験　※超音波探傷試験　・引張試験

１０ 機械式継手 (5．5．3，5)

適用箇所
※構造図による
H12建告第1463号に適合する性能
※A級　・（　　）
種類
・ねじ式鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式　・有機グラウト方式　・
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目
・評定等の評価内容による　・
試験方法
・評定等の評価内容による　・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・１組の作業班が１日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。
・
試験の箇所数
１ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目
※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった継手部への措置
・

１１ 溶接継手 (5．6．3，5)

適用箇所
※構造図による
H12建告第1463号に適合する性能
※A級　・（　　）
溶接継手の工法
・図示による（　　）　・
鉄筋相互のあき
・標準仕様書5．3．5(4)による
・評定等の評価内容による
・図示による（　　）
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目
・評定等の評価内容による　・
試験方法
・評定等の評価内容による　・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・１組の作業班が１日に行った継手箇所で、最大200箇所程度とする。
・
試験の箇所数
１ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目
※内部欠陥の検出
試験方法
※JIS Z 3063（鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった継手部への措置
・

⑥ コンクリート工事

① コンクリートの種類及び強度 (6．2．1～4)

※普通コンクリート　　表6．2．1

設計基準強度 Fc(N/mm²)	気乾単位容積質量(t/m³)	スランプ(cm)	適用場所
・21 ※24 ・	2．3程度	※15 ・18 ※18	・基礎　・基礎梁　・土間スラブ ・土間コンクリート ・建物躯体（上記除く） ・
・18	2．3程度	※15 ・18	

② レディーミクストコンクリート (6．2．1)(6．4．1～2)

※Ⅰ類（ＪＩＳ　Ａ５３０８「レディーミクストコンクリート」への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（ＪＩＳ　Ａ５３０８に適合したコンクリート）

③ セメントの種類 (6．3．1)

表6．3．1

セメントの種類	使用部位
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種	
・高炉セメントＢ種	
・フライアッシュセメントＢ種	

普通ポルトランドセメントの品質は、ＪＩＳ　Ｒ５２１０に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く

水和熱	7日目	352J/g以下
	28日目	402J/g以下

④ 骨材の種類 (6．3．1)(6．5．4)

アルカリシリカ反応による区分
※Ａ　・Ｂ（※コンクリート中のアルカリ総量 Ｒｔ＝3．0ｋｇ/ｍ³ 以下）

⑤ 混和材料 (6．3．1)

※混和剤（ＪＩＳ　Ａ６２０４に適合するＡＥ剤、ＡＥ減水剤又は高性能ＡＥ減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分は１種とする。また、防錆材を併用する場合はＪＩＳ　Ａ６２０５による防錆材とする。）
・混和材（ＪＩＳ　Ａ６２０１に適合するフライアッシュのⅠ種、Ⅱ種、若しくはⅣ種、ＪＩＳ　Ａ６２０６による高炉スラグ微粉末、ＪＩＳ　Ａ６２０７によるシリカフューム又はＪＩＳ　Ａ６２０２による膨張材とする。）

⑥ 無筋コンクリート (6．3．1)　・(6．14．1～3)

コンクリートの種類　※普通コンクリート　・
適用箇所　・標準仕様書６．14．1(e)による
設計基準強度Ｆc（Ｎ/ｍｍ²）　※18
スランプ　※15又は18
セメントの種類　※普通ポルトランドセメント又は混合セメントＡ種
・高炉セメントＢ種
・フライアッシュセメントＢ種

⑦ ひび割れ誘発目地 打継目地 (6．6．4)(6．8．1)(9．7．3)(11．1．3)

目地寸法　※標準仕様書９．７．３による
間隔　※図示による
位置　※図示による
ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、打増し厚さ部で処理する

⑧ コンクリートの仕上り (6．2．5)(6．6．6)(6．8．2)

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　　表6．2．4

種類	適用箇所
○A種	立ち上がり等　打ち放し　撥水材（クリア）仕上部
○B種	パラペット等　防水　仕上部
○C種	その他　隠蔽部

⑨ 打増し厚さ (6．8．1)

打増し厚さ
○打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る）
※20mm
○打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る）
○10mm　・20mm
・外装タイル後張り面の打増し処理
※20mm
・床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理
プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う
※10mm　・20mm

⑩ 型枠 (6．8．1～3)

せき板の材料　※合板（※12mm　・　・　）
・メッシュ型枠（使用部位　※構造図による）
・床型枠用鋼製デッキプレート（施工範囲　※構造図による　・　）
スリーブ材　※標準仕様書６，８，２(９)(イ)による　・構造図による
断熱材兼用型枠
・使用する　※25mm以下かつ熱抵抗値１ｍｈ℃／ｋCal以上
・使用しない
ＭＣＲ工法用シートの使用
・使用する　使用部位　※図示による
・使用しない

⑪ コンクリートの単位水量測定

○行う　・行わない

(1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6．3．2(4)(C)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
1)測定した単位水量が、配合計画書の設計値（以下、「設計値」という。）±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま打設する。
2)測定した単位水量が設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、その運搬車の生コンは打設してよいが、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示する。その後、設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
3)測定した単位水量が設計値±20kg/m³を超える場合は、その運搬車は打込まずに持ち帰らせるとともに、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示する。その後、単位水量が設計値±20kg/m³以内になるまで全運搬車の測定を行い、更に設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面（配合計画書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等）と写真により提出する。
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法（電子レンジ法）、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。

7 鉄骨工事

① 鉄骨製作工場 (7．1．1)(7．1．3)

鉄骨製作工場の加工能力
※建築基準法第７７条の５６第１項に基づく国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター及び全国鉄骨評価機構（旧（社）全国鋼構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に従える次のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場とするものとする。
（　・Ｊグレード　・Ｒグレード　○Ｍグレード　・Ｈグレード　・Ｓグレード　）

② 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (7．1．4)

※配置する　・配置しない　・

③ 鋼材 (7．2．1)

鋼材の材質　　表7．2．1

種類の記号	適用箇所	規格等
	図示（構造図による）	※ＪＩＳ規格による
		※ＪＩＳ規格による
		※ＪＩＳ規格による

④ 高力ボルト (7．2．2)(7．3．2)(7．4．2)

ボルトの区分
※トルシア形高力ボルト　２種（Ｓ１０Ｔ）
・ＪＩＳ形高力ボルト　２種（Ｆ１０Ｔ）
高力ボルトの径　※図示による
すべり試験　※行わない
・行う（・すべり係数試験　・すべり耐力試験）
試験方法等　※構造図による
すべり試験を実施する場合、標準仕様書7．12．5(1)(イ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

⑤ 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7．2．2)(7．3．2)(7．4．2)(7．12．5)

セットの種類　※１種（Ｆ８Ｔ相当）建築基準法に基づき認定を受けたもの
摩擦面の処理　※プラスト処理（表面粗度５０μｍＲｚ以上）
・プラスト以外の特殊な処理（りん酸塩処理）
すべり試験　※行わない
・行う（・すべり係数試験　・すべり耐力試験）
試験方法等　※構造図による
すべり試験を実施する場合、標準仕様書7．12．5(1)(ｱ)又は(ｲ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

⑥ 普通ボルト (7．2．3)(7．3．2)(7．3．8)

ボルト及びナットの材料等
・標準仕様書　表７．２．３（ＪＩＳ付属書品）による
・標準仕様書　表７．２．３（ＪＩＳ付属書品）又はＪＩＳ本体規格品（ＩＳＯ規格）による
（ＪＩＳ本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルトでは全ねじボルト、強毒分を4.6又は4.8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット-Cの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルト径の値以下とする。）
座金　※標準仕様書　表７．２．３（４）による
母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径
※ねじの呼び径+1．0mm　・構造図による

⑦ アンカーボルト (7．2．4)(表7．2．3)(7．3．2)(7．10．3)

・構造用アンカーボルト
セットの種類（JIS　B1220）
・ABR400　・ABR490
形状、寸法
※構造図による
・建方用アンカーボルト
材質
・SS400　・
アンカーボルト及びナットのねじの種類の規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度
・標準仕様書　表７．２．３による　・
形状、寸法
※構造図による
・標準仕様書7．2．4以外のアンカーボルト
適用箇所
・図示による（　　）　・
種類
・SS400　・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書　票7．2．3による

⑧ アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7．2．4)(7．10．3)

構造用アンカーフレームの形状及び寸法
※図示による　・
建方用アンカーフレームの保持及び埋込み工法　　表7．10．1
種別　・A種　・B種
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別　　表7．10．2
※標準仕様書　表７．１０．２（※Ａ種［モルタル厚さ５０］　・Ｂ種［モルタル厚さ３０］）による

⑨ ターンバックル (7．2．6)

種類　建築用ターンバックル胴　※割枠式　・図示
建築用ターンバックルボルト　※羽子板ボルト　・図示
ねじの呼び　※図示による

⑩ 床構造用のデッキプレート (7．2．7)(7．7．8)

工法の種別
・合成スラブ（適用箇所　※構造図による　）
・床型枠用　（適用箇所　※構造図による　）
・
材質、形状及び寸法　※構造図による
鉄骨部材への溶接方法　※構造図による
耐火認定　・有り（耐火時間　※構造図による　）　・無し

１１ スタッド (7．2．8)

※頭付きスタッド（ＪＩＳ　Ｂ１１９８）

径（呼び名）	長さ（呼び長さ）mm	使用箇所
・16	・80　・100　・120	
・19	・80　・100　・130　・150	
・22	・80　・100　・130　・150	

１２ 柱底均しモルタル (7．2．9)(7．10．3)

モルタルの種別
※無収縮モルタル　・
無収縮モルタルの材料及び調合
※標準仕様書７．２．９（２）（ア）～（エ）による
無収縮モルタルの品質及び試験方法
※表７．２．５による

１３ 工作図 (7．3．2)

高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
※構造関係共通事項（鉄骨基準図　２）による
・図示による

１４ 製作精度 (7．3．3)

・標準仕様書７．３．３及びH12建告第1464号第二号イによる
通しダイヤフラムの許容誤差
・ダイヤフラムをH12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り
補強方法
・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・全てのダイヤフラムはH12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること

１５ 仮組 (7．3．10)

※行わない
・行う（仮組を行う範囲　※図示による）

１６ 高力ボルト接合

スプライスプレートの材質　※鋼材の種別及び引張強さによる区分は母材と同等とする
フィラープレートの材質　※ＳＳ４００とする

１７ 溶接接合 (7．6．4)(7．6．7)

開先の形状　※構造関係共通事項　４．溶接継手の種類別開先標準による
・構造図による
スカラップの形状　※構造関係共通事項　６．鉄骨溶接施工（３）による
・構造図による
鋼製エンドタブの切断する部分
切断する箇所　※構造図による
切断する範囲　・構造図による
・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mmを残して直線状に切断する
なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。
鋼製エンドタブ・裏あて金　※鋼材の種別及び引張強さによる区分は母材と同等とする
完全溶込み溶接部の余盛り高さ　※（一社）日本建築学会「ＪＡＳＳ　６鉄骨工事」付則６（鉄骨精度検査基準）付表３（溶接）による

１８ 入熱、パス間温度の溶接条件 (7．6．11)

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件　※構造関係共通事項（鉄骨基準図　９）による　・図示による
適用箇所　※　柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部
・図示による

１９ 溶接部の試験 (7．6．12)

浸透探傷試験又は磁粉探傷試験　※行う（適用部位　※部分溶込み部）　・行わない
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験　※行う　・行わない　　表7．6．2~3
工場溶接の場合
ＡＯＱＬ　※４．０％　・２．５％

節	※全て	・	・	・	・
検査水準	※第６水準	・	・	・	・

工事現場溶接の場合
ＡＯＱＬ　※４．０％　・２．５％
割れの疑いのある表面欠陥においては、浸透探傷試験及び磁粉探傷試験を行う
突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査
独立行政法人建築研究所監修
「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・抜き取り検査１　※抜き取り検査２

２０ 錆止め塗装 (7．8．1～4)(18．3．2)

塗料の種別
亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料
※標準仕様書　表１８．３．２のＡ種　・標準仕様書　表１８．３．２のＢ種
※ＥＰ－Ｇの適用箇所は１８．３．２　表１８．３．２のＣ種　・
耐火被覆材の接着する面への塗装
・行う　適用箇所　※図示による　・
塗装の種別　※図示による　・
※行わない

２１ 耐火被覆 (7．9．2~8)

種別及び性能

種別	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
○耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	○半乾式吹付けロックウール	１時間	防火区画に接する柱梁
	・湿式ロックウール		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高耐熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	―		
・耐火塗料			

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

性能	適用箇所（部位・部分）
・30分耐火	
○１時間耐火	
・２時間耐火	
・３時間耐火	

２２ 軽量形鋼構造 (7．11．2)

ボルトの接合方法　※普通ボルト接合　・

２３ 梁貫通孔の補強

補強方法　・補強プレート　・補強トラス工法
適用箇所　・構造図による　※構造関係共通事項による

２４ 溶融亜鉛めっき工法 (7．12．1~7)

種別等

亜鉛めっきの種別	材料	適用箇所
○A種（ＨＤＺ５５）	最小板厚 6．0mm以上の形鋼、鋼板	※図示による
○B種（ＨＤＺ４５）	最小板厚 3．2mm以上、6．0mm未満の形鋼、鋼板	
・C種（ＨＤＺ３５）	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1．6mm以上、3．2mm未満の形鋼、鋼板	

（主要構造部及び構造耐力上主要な部分に限る）

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事

1 コンクリートブロック (8．2．2，3，5，7，8)(8．3．2~4)

表8．3．1

適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分
間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀	※空洞ブロックＣ（１６）　・

モルタルの調合（容積比）
※　標準仕様書　表8．2．1による　・　セメント（　　）：砂（　　）
厚さ　※図示による　・　mm
モデュール呼び寸法　長さ　※図示による　・　mm
高さ　※図示による　・　mm
各部の配筋　※図示による
モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲　※　図示　・
目地仕上げ　・押し目地仕上げ　・化粧目地仕上げ

2 ＡＬＣパネル (8．4．2~5)

表8．4．2~4

種類	厚さ（mm）	長さ（mm）	幅（mm）	単位荷重（Ｎ/ｍ²）	表面加工	耐火性能	工法種別
外壁用	※100　・				・平　・意匠	・60分	・Ａ種・Ｂ種
間仕切用	・100				・平　・意匠	・60分　・無	・Ｃ種・Ｄ種・Ｅ種
屋根用	※100　・				・平	・30分	・Ｆ種
床用	・100 ・150					・60分　・無 ・120分	

外壁、屋根パネルの構造
1章 16 適用区分による風圧力の（・１　・1．15　・1．3）倍の耐風圧性能
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合　・
パネル相互の目地幅（mm）　※長辺８、短辺１５
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅（mm）　※１５　・
耐火構造以外の目地及び開閉の処理　※パネル製造所の仕様　・
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する

		孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに開口を設ける場合	短辺	パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下	150mm以上
	長辺	500mm以下	300mm以上
パネルを切り欠く場合	短辺	パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下	300mm以上
	長辺	500mm以下	300mm以上

3 押出成形セメント板（ＥＣＰ）(8．5．2~5)

表8．5．1~2

	表面形状	厚さ（mm）	幅（mm）	耐火性能	取付工法の種別
・外壁	※フラットパネル	・50　・60			・Ａ種　・Ｂ種
	・デザインパネル（図示）	・50　・60	・600		
	・タイルベースパネル	・60			
・間仕切壁	※フラットパネル	・50　・60			・Ｂ種　・Ｃ種
	・デザインパネル（図示）	・50　・60	・600		
	・タイルベースパネル	・60			

外壁パネルの構造
1章 16 適用区分による風圧力の（・１　・1．15　・1．3）倍の耐風圧性能
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合　※図示　・
パネル相互の目地幅（mm）　※長辺８、短辺１５
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅（mm）　※１５　・
耐火構造以外の目地及び開閉の処理　※パネル製造所の仕様　・
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する

		孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに開口を設ける場合	短辺	パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下	150mm以上
	長辺	500mm以下	300mm以上
パネルを切り欠く場合	短辺	パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下	300mm以上
	長辺	500mm以下	300mm以上

⑨ 防水工事

1 アスファルト防水 (9．2．2~5)

アスファルトの種類　３種
防水層の下地のモルタル塗り　※適用しない　・適用する（施工範囲　※図示　・　）
屋根保護防水
防水層の種別　　表9．2．3~9

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護工法
・Ａ－１		材質　JIS A 9521（建築用断熱材に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材３種 ＳＡ（スキン層付き） 厚さ（mm） ※25　・50　・	※ポリスチレンフィルム厚さ 0．15mm以上、またはフラットヤーンクロス70ｇ/ｍ²程度 ・ ※フラットヤーンクロス70ｇ/ｍ²程度	※乾式保護材 ・ｺﾝｸﾘｰﾄ押え
・Ａ－２				
・Ａ－３				
・Ｂ－１				
・Ｂ－２				
・Ａ－１－				
・Ａ－１－２				
・Ａ－１－３				
・Ｂ－１－				
・Ｂ－１－２				

立ち上り部への断熱材及び絶縁用シート
※設置しない　・設置する

件名	図面	縮尺	日付	図面Ｎｏ．	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	岡山県建築工事特記仕様書２	-	2025/03	A-02	武村	竹波	竹波	竹波

株式会社 黒川建築設計事務所
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL．086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX．086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

立上がり部の保護方法
※乾式保護材　・れんが押え(※JIS R 1250 ・　　)　・コンクリート押え　・モルタル押え(屋内)
品質・性能等
寸法の許容差　厚さ：－5～＋10%、幅：±1%
曲げ強さ、曲げモーメント（N・cm）（スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント）
標準時450以上、凍結融解完了時（試験サイクル数）320以上（200）耐凍結融解性能
（試験サイクル数：上記）試験後、著しい割れや剥離がなく外観上異常がないこと
吸水性　　（20%以下）　吸水による長さ変化率（0．07%以下）
耐火性能　　不燃
耐衝撃性　　高さ1．0mから試験体の弱点部に500gのおもりを落としたとき、裏面に達する穴があかないこと
出荷時の含水率　　10%以下

屋根露出防水
防水層の種別　　表9．2．7~8

種別	施工箇所	断熱材	仕上げ塗料 種類	仕上げ塗料 使用量	高日射反射率防水
・D－1			※アルファルトルーフィング製造所の仕様による	※アルファルトルーフィング製造所の仕様による	・適用する
・D－2					・適用する
・DI－1		JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類　※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 ・ 厚さ（mm） ※25 ・50 ・			・適用する
・DI－2					・適用する

屋内防水　　表9．2．9

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・E－1		・E－2	

E－1で工程3を行う部位（※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位　・　　）
保護層　・設ける（図示）
防水層の下地の立上り
※コンクリート打放し仕上げ　標準仕様書 表6．2．4 打放し仕上げの種別B種

② 改質アスファルトシート防水 (9．3．2~3)

屋根露出防水
防水層の種別　　表9．3．1~3

種別	施工箇所	断熱材	防湿用シート	仕上塗材	高日射反射率防水
・AS－T1		JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類　※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 ・ 厚さ（mm） ※25 ・50 ・	・設ける（改質ｱｽﾌｧﾙﾄ製造所の仕様による） ・設けない	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の仕様による	・適用する
・AS－T2					・適用する
・AS－T3					・適用する
・AS－T4					・適用する
・AS－J1					・適用する
・ASI－T1					・適用する
・ASI－J1					・適用する

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書　表9．3．1から表9．3．3による　・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書　表9．3．1から表9．3．3による　・
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書　表9．3．1から表9．3．3による　・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
・アルミニウム製 L=30×15×2．0mm程度　・

③ 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9．4．2~4)

防水層の種類　　表9．4．1~2

種別	施工箇所	絶縁用シートの材種	断熱材	防湿用フィルム	仕上塗料	高日射反射率防水
・S－F1					※製造所の仕様による	・適用する
・S－F2						・適用する
・S－M1					※製造所の仕様による	・適用する
○S－M2	屋上					・適用する
・SI－F1			※標準仕様書9．4．2 (3)(1)(a)による (種類)※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 ・ (厚さ)(mm) ※25 ・	・設ける ※設けない	※製造所の仕様による	・適用する
・SI－F2						・適用する
・SI－M1			※標準仕様書9．4．2 (3)(1)(a)による (種類)※硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号 ・ (厚さ)(mm) ※25 ・	・設ける ※設けない	※製造所の仕様による	・適用する
・SI－M2		※発泡ポリエチレンシート ・				・適用する

SI－M1及びSI－M2における防湿用フィルムの設定
※設置しない　・設置する
S－F1、S－M1、S－F2、S－M2の仕様
※非歩行仕様　・軽歩行仕様

④ 塗膜防水 (9．5．3)

防水層の種類　　表9．5．1~2

種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	高日射反射率防水
・X－1		※製造所の仕様による		・適用する
○X－2	2階屋外通路等	※製造所の仕様による		・適用する
・Y－1	※地下外壁防水			
・Y－2	※屋内防水		・適用する・適用しない	

2階屋外通路等は指定色とする

Y－1、Y－2の工程数及び各工程の使用量
※ 標準仕様書 表9．5．2による　・ 主材料の製造所の仕様　・

⑤ ケイ酸質系塗布防水 (9．6．1~4) (表9．6．1)

防水種別　※C－SUI　・C－SUP
規格　※JASS 8　T－301
壁及び天井部の防水層の下地
※コンクリート打放し仕上げ　標準仕様書 表6．2．4 打放し仕上げの種別B種
施工箇所 ピット（エレベーターピット、配管ピット）
記載のない事項は、主材料製造所の仕様による他、日本建築学会JASS 8防水工事最新版による

⑥ 脱気装置 (9．2．3)(9．3．3) (9．4．3)(9．5．3)

種別	種類	設置数量
D-1 D-2 DI-1 DI-2	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の指定による ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の指定による ・ 個／㎡
AS-T3 AS-T4 AS-J1 ASI-T1 ASI-J1	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の指定による ・	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の指定による ・ 個／㎡
S-F1 S-F2 SI-F1 SI-F2	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による ・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による ・ 個／㎡
X-1 S-M2	※防水層の主材料の製造所の仕様による ・設備基礎等	※防水層の主材料の製造所の仕様による 70~80㎡に1か所

⑦ シーリング (9．7．2)

下表以外は、標準仕様書表 9．7．1による
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による　　表9．7．1

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
図示	公共工事標準仕様書による

シーリング材の目地寸法　※標準仕様書9．7．3(1)(ｱ)~(ｳ)による　・
接着試験　※簡易接着性試験　・引張接着性試験

10 石工事

① 石　材 (10．2．1)

種類　※天然石　・人工石
品質　※1等品（床以外）　※2等品（床）
形状、寸法、厚さ及び割付　※図示
石材の種類及び表面仕上げ　　表10．2．1~2

施工箇所	種類（産地、名称）	表面仕上げの種類	表面処理・裏打ち材の有無

② 取付け金物 (10．2．2)

乾式工法用金物の種類　・スライド方式　・ロッキング方式　　表10．2．4

③ その他の材料 (10．2．3)

取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する
充填材料、浸透性吸水防水材　※専門工事業者の指定する製品　・

11 タイル工事

① 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11．1．3)

位置　※表11．1．1による　・図示による

② 見本焼き、試験施工 (11．1．4)

見本焼き　・行う　※行わない
試験張り　・行う　※行わない

③ 材料 (11．2．2)(11．3．2)

タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法（mm）	再生材料の適用	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 あり	なし	色 標準	特注	耐凍害性 あり	なし	耐凍害性	備考
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けること

役物使用箇所　※各部の形状は図示による

内装	（標準一体成型品以外は接着成型品とする）
外装	出隅、天端出隅、窓台、マグサ

有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種

④ 外部タイル張り (11．2．3)(11．2．5) (11．2．7)

施工箇所　※施設外壁（ホールを含む）　・図示による
適用タイル　・小口タイル　・二丁掛タイル　・
躯体表面処理　※2階以上を行う　・行わない
躯体表面処理工法の種類
※目荒し工法
高圧水洗による目荒しは、50Mpａ以上の水圧で2．5分／㎡程度とし、仕上がり面の程度は監督職員の承諾を受ける
施工箇所の躯体打増しは、図示による
・MCR工法
MCR工法の仕様はシート製造所若しくは販売店の仕様による
施工箇所の躯体打増し厚さ及び範囲は、図示による
下地モルタル塗り　※モルタル　・ポリマーセメントモルタル　・行わない
ポリマーセメントモルタルの調合は、1．5．3．3（4）による　　表11．2．2~3
工法　※密着張り　・改良圧着張り　・モザイクタイル張り　　表11．3．2
既調合モルタル　既調合モルタルの製造所の仕様による

⑤ 内部タイル張り (11，3．3)(11．3．5)

施工箇所　※便所等　○図示による
適用タイル　○内装タイル　・50角モザイクタイル　・
下地モルタル塗り　※モルタル　・ポリマーセメントモルタル　○行わない
ポリマーセメントモルタルの調合は、1．5．3．3（4）による　　表11．2．2~3
工法　※壁タイル接着剤張り　・　　表11．3．2

12 木工事

① 製　材 (12．1．4)(12．2．1) (12．4．1)(12．5．1) (12．6．1)(12．7．1)

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	樹　種	寸法（mm）	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※2級 ・		※A種 ・		・

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	樹　種	寸法（mm）	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
					※A種 ・		・

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹　種	寸法（mm）	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※1等		※A種 ・		・

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	樹　種	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用
			（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	・

② 造作用集成材 (12．2．1)

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
				※1等 ・2等	・
				※1等 ・2等	・
				※1等 ・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯　材の樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
						※1等 ・2等	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法（mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯　材の樹種	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下	・

③ 造作用単板積層材 (12．2．1)

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	厚さ（mm）	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用
		・有り（加工　・天然木化粧加工・塗装加工） ・無し（等級：　　）	・適用する ・適用しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ（mm）	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		・有り （加工・天然木化粧加工・塗装加工） ・無し（　　）	・適用する ・適用しない	※14%以下 ・	・

・JAS 3079に基づく直交集成板

施工箇所	品名	曲げ強度（強度等級）	種別	接着性能（使用環境）	樹種	寸法（mm）	間伐材等の適用
							・
							・

④ 合板等 (12．2．1)

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・
・普通合板

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・

・構造用合板

施工箇所	厚さ（mm）	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	※12 ・	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない	（ ） ・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			※1類 ・特類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ（mm）	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			※1類 ・2類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理	間伐材等の適用
		※1類 ・2類			・適用する ・適用しない	・

・パーティクルボード

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
	※15 ・		※13タイプ ・	※PまたはM ・	

・構造用パネル

施工箇所	厚さ（mm）	等級
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級

・ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）

施工箇所	厚さ（mm）	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用
						・

⑤ 接　着　剤 (12．2．2~3)

接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。
ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

13 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺 (13．2．2~3)

施工箇所	板及びｺｲﾙの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ（mm）	屋根葺形式	備考
	※JIS G 3322の屋根用ｺｲﾙ ・			・心木なし瓦棒葺 ・立平葺 ・嵩掛葺 ・横葺 ・	

② 折板葺 (13．3．2~3)

下葺材料　・アスファルトルーフィング 940
・改質アスファルトルーフィング下葺材
（・一般ﾀｲﾌﾟ・複層基材ﾀｲﾌﾟ・粘着層付ﾀｲﾌﾟ）
横葺の場合のけらば納め
・つかみ込み納め　・包み納め
工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1　・1．15　・1．3）倍の風圧力に対応した工法
雪止め　・設置する（図示）

（表 13．2．1）

施工箇所	形式	山高、山ﾋﾟｯﾁによる区分 山高	山ﾋﾟｯﾁ	耐力による区分	材料による区分	厚さ（mm）	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形 ・			（ ）種	※鋼板製 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し

材料　板及びコイルの種類（　　）
塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（　　）
タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理　※標準仕様書 表14．2．2のF種　・
軒先面戸板　・適用する　・適用しない
断熱材張り　・行う（断熱材の種別：　　厚さ(mm)：　　防火性能：　時間）
・行わない
耐雪性能に対応した工法の適用
・適用する　・適用しない
工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1　・1．15　・1．3）倍の風圧力に対応する工法
折板のけらば納め　※けらば包みによる方法　・

③ 粘土瓦葺 (13．4．2~3)

施工箇所	種類 製法による区分	形状による区分	寸法による区分	大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦
							・適用する ・適用しない
							・適用する ・適用しない

JIS A 5208に基づく凍害試験等　・行う　・行わない

瓦桟木　材質　※杉又はひのき　・
寸法　※幅21×高さ15(mm)　・
棟補強用心材　材質　※杉又はひのき　・
寸法　※幅40×高さ30(mm)　・
瓦緊結用釘又はねじ
種類（　　）　径（　　）　長さ（　　）
棟補強等に使用する金物等　材質　※ステンレス製又は溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
形状、寸法及び留付け方法　※図示
工法
1章 16 適用区分による風圧力の（・1　・1．15　・1．3）倍の風圧力に対応した工法
瓦桟木の留付け工法　※図示　・
棟の工法　・7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟　・のし積み棟
面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル　・瓦葺き用しっくい

④ とい (13．5．2~3)(表 13．5．4)

といの材種　・配管用鋼管　・硬質ポリ塩化ビニル管　○ｶﾗｰGL鋼板
とい受け金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔
※ 標準仕様書 表13．5．2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
鋼製といの防露巻き　・適用する（工法：※標準仕様書表13．5．4による　・　　）
・適用しない
ルーフドレン

種別	施工箇所
○ろく屋根用（○縦型 ○横型）	図示
○バルコニー用	図示
・バルコニー中継用	

株式会社 黒川建築設計事務所

件名	図面	縮尺	日付	図面No．	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	岡山県建築工事特記仕様書 3	-	2025/03	A-03	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL．086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX．086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

14 金属工事

1 あと施工アンカー (14．1．3)
施工後の確認試験　※引張試験を行う　・行わない

2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14．2．1)
表14．2．1

種別	色合等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
	・標準色（　　）　・特注色（　　）	
	・標準色（　　）　・特注色（　　）	

隔極酸化皮膜の着色方法　※二次電解着色　・三次電解着色

3 鉄鋼の亜鉛めっき (14．2．2)
表14．2．2

表面処理方法	種　別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
溶融亜鉛めっき	○A種	外部鋼材
	・B種	
	・C種	
電気亜鉛メッキ	・D種	
	・E種	
	・F種	

他の項目に特記されたものを除く

4 軽量鉄骨天井下地 (14．4．2～4)(表14．4．1)
野縁等の種類
　屋外（※ 25 形　・ 19 形）　屋内（※ 19 形　・ 25 形）
○屋外の軒天井、ピロティ天井等
　工法
　　1章 16 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
　　野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔　・図示　・
　　周辺部の端からの間隔　・図示　・
　　野縁の間隔　・図示　・
○吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
　補強方法　※図示　・
○天井のふところが3．0mを超える場合
　補強方法　※図示　・
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
　補強箇所　※ 高さが6ｍを超える天井、それ以外は図示　・
　補強方法　※「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」（平成25年国土交通省告示第771号）第３第２項第二号に適合させる。
　・図示
表14．2．1

5 金属成形板張り (14．6．2)(14．6．3)

種別	※アルミニウム　・
製法	※押出し　・ロール
寸法（mm）	板幅 板厚
表面処理（表14.2.1）	種別（　　）　色合等（　　）
伸縮継手	・設ける（図示による）　※設けない
形状	・スパンドレル型　・図示による

6 アルミニウム製笠木 (14．7．2)(14．7．3)
表14．7．1

部材の種類　・２５０形（呼称肉厚は１．６以上）
　・３００形（呼称肉厚は１．８以上）
　・３５０形（呼称肉厚は２．０以上）
表面処理　種別（　　）種
　色合等　・無着色（　　）　・標準色（　　）　・特注色（　　）
隅角部及び突当り部等の役物　笠木製造所の仕様による
笠木の固定金具の工法等
　1章 16 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

7 サッシ取合い間仕切り板
※アルミニウム製（表面処理はアルミニウム製建具の項による）
・鋼板製（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯　亜鉛の付着量Ｚ１２又はＦ１２）

8 エキスパンションジョイント金物
材質　※アルミニウム製
表面処理　種別（　　）種
　色合等　・無着色（　　）　○標準色（シルバー）　・特注色（　　）
クリアランス　・５０　○１００　・１５０　・２００
耐火性能　・図示による　○なし

15 左官工事

1 モルタル塗り (15．3．2)(15．3．5)
モルタル　※ 現場調合材料　・既調合材料（材料　　）
既製目地材　・設ける 施工箇所（　　）　形状（※図示　・　　）
　○設けない
床の目地　○設ける　目地割り　※２㎡程度、最大目地間隔３ｍ程度　・
　種類　※押し目地　・
　・設けない

2 床コンクリート直均し仕上げ (15．4．2)(6．2．5)
下表以外は６．２．５及び１５．４．２による

平坦さ（mm）	施　工　箇　所
○a 種	ビニル系仕上、防水等
○b 種	カーペット系の仕上、OAフロア
○c 種	モルタル塗を行う範囲

3 セルフレベリング材塗り (15．5．2)
標準塗厚（mm）　※ 10mm程度　・

4 仕上塗材仕上げ (15．6．2)
建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆☆　・

・薄付け仕上塗材　表15．6．1～2

呼び名	仕上げの形状	工法
・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状	吹付け

・厚付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	上塗材
・外装厚塗材Ｅ	・吹放し ・凸部処理	吹付け	・行う ・行わない

・複層仕上げ塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	上塗材（耐候性　・　）		
・複層塗材ＣＥ ・複層塗材ＲＥ ・複層塗材Ｓｉ ・複層塗材Ｅ ・可とう形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材ＲＥ ・防水形複層塗材Ｅ	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー	・溶媒系 ・弱溶媒系 ※水系	・アクリル系（耐候性３種） ・ポリウレタン系（耐候性２種） ・アクリルシリコン系（耐候性１種） ・ふっ素系（耐候性１種）	※つやあり ・つやなし

・軽量骨材仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法
・吹付用軽量塗材	砂壁状	吹付け
・こて塗用軽量塗材	平たん状	こて塗り

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上材は防火材料とする　・図示による

16 建具工事

1 防火戸 (16．1．3)
・適用する　指定箇所（※建具表による　・　　）

2 建具見本の製作 (16．1．4)
※製作しない　・製作する（※納まり等が分かる程度のもの　・　　）

3 防犯建物部品 (16．1．6)
・適用する　適用箇所（※建具表による　・　　）

4 アルミニウム製建具 (16．2．2～5)
外部に面する建具の性能等級等　表16．2．1

種別	コンクリート系下地及び鉄骨下地			木下地	
	※Ａ種	・Ｂ種	・Ｃ種	・Ｄ種	・Ｅ種
耐風圧性	※Ｓ－４	・Ｓ－５	・Ｓ－６	・Ｓ－２	・Ｓ－３
気密性	※Ａ－３		・Ａ－４	・Ａ－３	
水密性	※Ｗ－４		・Ｗ－５	・Ｗ－３	
枠見込み寸法	※建具表による　・				
表面処理	種別（Ｂ８－、Ｂ８－２）種 色合等　※標準色（　　）　・特注色（　　）				

防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級　・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４　・Ｈ－５　・
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・

網戸等

種類	材質	線径	網目
○防虫網	○合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ※ステンレス製（ＳＵＳ３１６）	０．２５㎜以上	１６～１８メッシュ
○防鳥網	ステンレス製（ＳＵＳ３０４）	１．５㎜	網目寸法　ピッチ１５㎜

結露水の処理方法　※図示　・
水切り板、ぜん板　※図示　・

5 樹脂製建具 (16．3．2～5)
外部に面する建具の性能等級等　表16．3．1～3

種別	コンクリート系下地及び鉄骨下地			木下地	
	※Ａ種	・Ｂ種	・Ｃ種	・Ｄ種	・Ｅ種
耐風圧性	※Ｓ－４	・Ｓ－５	・Ｓ－６	・Ｓ－２	・Ｓ－３
気密性	※Ａ－４				
水密性	※Ｗ－４	・Ｗ－５		・Ｗ－３	
枠見込み寸法					
表面色	※標準色（　　）　・特注色（　　）				

防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級　・Ｈ－４　・Ｈ－５　・Ｈ－６　・Ｈ－７　・Ｈ－８

網戸等

種類	材質	線径	網目
・防虫網	・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ※ステンレス製（ＳＵＳ３１６）	０．２５㎜以上	１６～１８メッシュ
・防鳥網	ステンレス製（ＳＵＳ３０４）	１．５㎜	網目寸法　ピッチ１５㎜

水切り板、ぜん板　※図示　・

6 鋼製建具 (16．4．2～4．6)
簡易気密性ドアセット　気密性の等級　・Ａ－３　水密性の等級・Ｗ－１
外部に面する建具の耐風圧性の等級　○Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級　・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４　・Ｈ－５　・
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
鋼板類の厚さ　※標準仕様書表16．4．2による　・
防火戸　煙感知器連動とする　防火戸の解錠機構は別途とする
　扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う

7 鋼製軽量建具 (16．5．2～4．6)
簡易気密性ドアセット　・適用する
外部に面する建具の耐風圧性の等級　・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級　・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４　・Ｈ－５　・
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
防火戸　煙感知器連動とする　防火戸の解錠機構は別途とする
　扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う
戸の鋼板　※亜鉛めっき鋼板　・ビニル被覆鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板　（mm）
表16．5．1

区分	材質
召合わせ、縦小口包み板	※鋼板　・ステンレス　・アルミニウム
扉の表面材、押縁	※鋼板　・ビニル被覆鋼板
枠類	※鋼板（くつずりはステンレス）　・製作所仕様

8 ステンレス製建具 (16．6．2～5)
簡易気密性ドアセット　・適用する
外部に面する建具の耐風圧性　・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６　・
防音ドアセット・防音サッシの遮音性の等級　・Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４
断熱ドアセット・断熱サッシの断熱性の等級　・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４　・Ｈ－５　・
耐震ドアセットの面内変形追従性の等級　・
ステンレス鋼板（屋外）　※ＳＵＳ３０４　・ＳＵＳ４３０Ｊ１Ｌ　・ＳＵＳ４４３Ｊ１
ステンレス鋼板（屋内）　・ＳＵＳ３０４　・ＳＵＳ４３０Ｊ１Ｌ　・ＳＵＳ４４３Ｊ１
表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（・ａ角　・ｂ角　・ｃ角）

9 木製建具 (16．7．2～4)
建具材の加工、組立時の含水率　※Ａ種　・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆　・
ふすまの材料　種別　※表１６．７．３のⅡ型
　上張り紙　※ビニル紙　・新鳥の子
　押入等の裏側　※雲花紙
　縁の仕上げ　・塗り縁　・生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
枠及びくつずり材料　※図示による

10 鍵 (16．8．4)
マスターキー　○製作する（　６　組）　・製作しない　・既存に組込む
鍵箱　○設ける　（　60　個用１組）　・設けない

11 自動ドア開閉装置 (16．9．2～3)
引き戸用検出装置の種類　表16．8．1～3
※光線（反射）センサー・熱線センサー　・音波センサー　・光電センサー
　・電波センサー　・タッチスイッチ　・押しボタンスイッチ
タッチスイッチの種類
　・無線式タッチスイッチ　・光電式タッチスイッチ
車椅子使用者用便所スイッチの種類
　・大形（開・閉）押しボタンスイッチ　・非接触スイッチ
取付け位置　・床面　※天井面　・壁面　・無目
凍結防止措置　・適用する　・適用しない

12 自閉式上吊り引戸装置 (16．10．3)
自閉式上吊り引戸装置の性能等　※表１６．１０．１による

13 重量シャッター (16．11．2)
種類　・管理用　・外壁用防火　・屋内用防火　・防煙
防火又は防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、連動制御盤及び煙感知器は別途とする
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度　（　　）Pa
開閉方式の種類　※電動式（手動併用）　・手動式　表16．11．1
管理用シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない
障害物感知装置　※設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板　※JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
　・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき及び鋼帯）

14 軽量シャッター (16．12．2～4)
開閉方式の種類　※手動式　・電動式（手動併用）　表16．12．1
耐風圧強度（　　）Ｎ／㎡
スラットの種類　※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
　JIS G 3322（塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
スラットの形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形
シャッターケース　※設ける　・設けない
ガイドレールの材質　※ステンレス製（ＳＵＳ３０４）厚さ１．５㎜（※中柱共）
座板（屋外の場合）　※ステンレス製既製品　・
障害物感知装置　※設ける　・設けない

15 オーバーヘッドドア (16．13．2)(16．13．3)
セクション材料による区分
　※スチールタイプ　・アルミニウムタイプ　・ファイバーグラスタイプ
風圧力による強さの区分　・１７５　・１２５　・１００　・７５　・５０
開閉方式による区分　※バランス式　・チェーン式　・電動式
収納形式による区分　・スタンダード形　・ローヘッド形　・ハイリフト形　・バーチカル形
ガイドレールの材質　※溶融亜鉛めっき鋼板　・ステンレス製（ＳＵＳ３０４）厚さ２．０㎜
障害物感知装置　※設ける　・設けない

16 ガラス (16．14．2)
下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等　※建具表による　・
・合わせガラス

材料板ガラスの種類	組合せ	特性による種類
※フロート合わせガラス	※フロート板合わせガラス	・Ⅰ類　・Ⅱ－１類
	・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・Ⅱ－２類　・Ⅲ類
・網入合わせガラス	・網入り、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類　・Ⅱ－１類
	・網入り、熱線吸収板合わせガラス	・Ⅱ－２類

・強化ガラス

材料板ガラスの種類	材料板ガラスの種類による名称	特性による種類
※フロート板ガラス	※フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・Ⅰ類　・Ⅱ類
・型板ガラス	※型板強化ガラス	
・熱線反射ガラス	※熱線反射強化ガラス	

・複層ガラス

種　類	断熱性による区分	日射取得性、日射遮へい性による区分
・Low-E複層ガラス	・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6	・G　・S

・熱線反射ガラス

材料板ガラスによる種類	色　調
※熱線反射ガラス	・ブルー　・グレー
・高性能反射板ガラス	・ブロンズ　・シルバー

種　類	日射遮へい性	耐久性	ガラスの種類
※熱線反射ガラス	・１種	Ａ種	
・高性能反射板ガラス	・２種	・Ａ種　・Ｂ種	
	・３種	Ｂ種	

反射皮膜面　※内面　・外面
映像調整　※行わない　・行う

・熱線吸収板ガラス

材料板ガラスの種類による名称	性能による種類	色　調
※熱線吸収フロート板ガラス ・熱線吸収網入り磨き板ガラス	・１種　・２種	・グリーン ・

17 ガラスの留め材 (16．14．2)
ガラス溝の寸法、形状等 (16．14．3)

建具の種類	材　種	ガラス溝の大きさ（mm）
鋼製	※シーリング材　・ガスケット	※建具の製造所の仕様による　・
アルミニウム製	※シーリング材　・ｶﾞｽｹｯﾄ(ｸﾞﾚｰｼﾞﾝｸﾞﾁｬﾝﾈﾙ形)	※建具の製造所の仕様による　・
ステンレス製	※シーリング材　・ガスケット	※建具の製造所の仕様による　・
木製	※シーリング材　・ガスケット	※建具の製造所の仕様による　・
樹脂製	※シーリング材　・ｶﾞｽｹｯﾄ(ｸﾞﾚｰｼﾞﾝｸﾞﾁｬﾝﾈﾙ形)	※建具の製造所の仕様による　・

防火戸のガラス留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による

18 ガラスブロック積み (16．14．5)

表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調 クリア	色調 乳白	目地幅（mm） 平積み	目地幅（mm） 曲面積み	伸縮調整目地（mm）	防火性能
・正方形	・125ｘ125	80	・	・	※8～15 ・15～25 ・	外側 ※標準仕様書16.14.5(2)(ﾊ)(a)② ・ 内側 ※標準仕様書16.14.5(2)(ﾊ)(a)② ・	※6m以下毎に10～25 ・図示による ・	※なし ・あり
	・160ｘ160	95	・	・				
	・125	125						
	・200ｘ200	95	・	・				
	・125	125						
	・320ｘ320	95	・	・				
・長方形	・250ｘ125	80	・	・				
	・320ｘ160	95	・	・				

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の１０倍以上とする
壁用金属枠及び補強材　・設ける（形状　※図示による　・　　）
力骨　※ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）径５．５㎜はしご形状複筋及び単筋　・
目地部の力骨の納まり　※ガラスブロック製造所の仕様による　・
化粧目地モルタルの色　（　　）
シーリング材　※表９．７．１による　・
金属製化粧カバー　材質　・ステンレス製　・アルミニウム製
　寸法　・図示による　・
　形状　・図示による　・
1章 16 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

19 ガラス用フィルム

名　称	張り面	性能値
図示	○内張り　・外張り	
	・内張り　・外張り	

品質　ＪＩＳ　Ａ５７５９による。

20 付属電気設備
電動シャッター、自動扉、電動オーバーヘッドドアの電動機が三相電動機０．４ｋｗ以上の場合は機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断機及び進相用コンデンサーを設置する

21 引き戸錠
※誤作動防止装置付き

17 カーテンウォール工事

1 カーテンウォール (17．1．3)(17．2．2～5)(17．3．2～5)
取付方法　・層間方式　・柱、梁方式　・方立方式　・スパンドレル方式
性能
耐震性能
水平方向（ｋＨ）　※１．０　・
垂直方向（ｋＶ）　※０．５　・

気密性	・Ａ－１　・Ａ－２ ・Ａ－３　・Ａ－４　・	
耐火性	・３０分 ・１時間	
耐温度差性	・８０℃　・７０℃　・６０℃	
遮音性	・Ｔ－１　・Ｔ－２　・Ｔ－３　・Ｔ－４	
断熱性	・Ｈ－１　・Ｈ－２　・Ｈ－３　・Ｈ－４ ・Ｈ－５　・Ｈ－６	

水密性　・Ｗ－１　・Ｗ－２　・Ｗ－３　・Ｗ－４　・Ｗ－５

1章 16 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

支点間距離（ｈ）	耐風圧性能	状態
４ｍ以下	※たわみ量がℓ（１／１５０）ｘｈかつ絶対量２０ｍｍ以下であること　・	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと
４ｍを超える	・	

層間変位追従性

建築物の構造種別	層間変位量（ｈ＝支点間距離）	変位後の状態
鉄骨造	※±（１／２００）ｘｈ以上　・	部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	・±（１／３００）ｘｈ以上	シーリングは補修程度の損傷であること

シーリング材　※標準仕様書表9.7.1による　・
構造用ガスケットの材質、形状、寸法　※図示　・
断熱材　種類（　　）　厚さ（　　）㎜　施工箇所　※図示　・
その他の性能　図示による
種類　・メタルカーテンウォール
　金属材料の種類（見掛かり部分の仕上げ）
　　・アルミニウム製（　　）
　　・鋼製（　　）
　　・ステンレス製（　　）
　ガラス溝の寸法、形状等　※ カーテンウォールの製造所の仕様による　・
　・ＰＣカーテンウォール
　　コンクリート　※標準仕様書17.3.2(1)(ﾊ)～(ﾎ)による　・
　　鉄筋　※SD295A（・D13　・D10）
　　補強鉄線の径（mm）　※3.2　・4.0　・5.0　・6.0
　　先付けの材料　・建具枠　・ゴンドラ用ガイドレール　・

18 塗装工事

1 材料 (18．1．3)
建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

2 素地ごしらえ (18．2．2～7)
・木部　・不透明塗料塗り　（※Ａ種　・Ｂ種）　表18．2．1～7
　・透明塗料塗り　（・Ａ種　※Ｂ種）
・鉄鋼面　（・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種）
・亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）　（・Ａ種　・Ｂ種）
・ﾓﾙﾀﾙ面及びせっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面　（・Ａ種　※Ｂ種）
・ｺﾝｸﾘｰﾄ面（DP以外）及びALCﾊﾟﾈﾙ面　（・Ａ種　※Ｂ種）
・押出成形ｾﾒﾝﾄ板面及びｽﾚﾄｺﾝｸﾘｰﾄ面(DP)　（・Ａ種　※Ｂ種）
・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及びその他ﾎﾞｰﾄﾞ面
　・せっこうﾎﾞｰﾄﾞの目地加工法が脱目処理工法（※Ａ種　・Ｂ種）
　・その他の場合　（・Ａ種　※Ｂ種）

3 錆止め塗料塗り (18．3．2)(18．3．3)
(表18．3．1)(表18．3．3)

塗　装　面		塗　料　の　種　別	工　程
鉄鋼面	見え掛り	ＳＯＰの場合　※Ａ種 ＤＰの場合　※Ｂ種	※Ａ種　・Ｂ種
	見え隠れ	ＥＰ－Ｇの場合　・Ａ種　※Ｂ種	・Ａ種　※Ｂ種

(表18．3．2)(表18．3．4)

塗　装　面		塗　料　の　種　別	工　程
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	ＳＯＰの場合　※Ａ種　・Ｂ種 ＤＰの場合　※Ｂ種	※Ａ種　・Ｂ種
	鋼製建具等以外	ＥＰ－Ｇの場合　※Ｃ種	・Ａ種　※Ｂ種

4 仕上げ塗料塗り (18．4．1～18．12．2)

塗装の種類	塗装面（塗料の種別）		種　別
・合成樹脂調合ペイント塗り（ＳＯＰ）	・木部（外部）	※１種　・	※Ａ種　・Ｂ種
	・木部（内部）	※１種　・	・Ａ種　※Ｂ種
	・鉄鋼面	※１種　・	・Ａ種　※Ｂ種
	・亜鉛めっき鋼面	※１種　・	表１８．４．３
・クリアラッカー塗り（ＣＬ）	木部		・Ａ種　※Ｂ種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（ＮＡＤ）	・屋内のコンクリート面		・Ａ種　※Ｂ種
	・屋内のモルタル面		・Ａ種　※Ｂ種
・耐候性塗料塗り（ＤＰ）	・屋外の鉄鋼面	上塗り等級（　）級	表１８．７．１
	・屋外の亜鉛めっき鋼面	上塗り等級（　）級	表１８．７．２
	・屋外のコンクリート面	上塗り等級（　）級	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）	・コンクリート面		・Ａ種　※Ｂ種
	・モルタル面		・Ａ種　※Ｂ種
	・せっこうプラスター面		・Ａ種　※Ｂ種
	・せっこうボード面		・Ａ種　※Ｂ種
	・		・Ａ種　※Ｂ種
	・屋内の木部		表１８．８．２
	・屋内の鉄鋼面		・Ａ種　※Ｂ種
	・屋内の亜鉛めっき鋼面		表１８．８．４
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）	・コンクリート面		・Ａ種　※Ｂ種
	・モルタル面		・Ａ種　※Ｂ種
	・せっこうプラスター面		・Ａ種　※Ｂ種
	・せっこうボード面		・Ａ種　※Ｂ種
	・		・Ａ種　※Ｂ種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り（ＥＰ－Ｔ）	・		・Ａ種　※Ｂ種
・ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）	・		・Ａ種　※Ｂ種
・ステイン塗り	・		・ﾋﾞｸﾞﾒﾝﾄｽﾃｲﾝ塗り ・ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り(OS)
・木材保護塗料塗り（ＷＰ）	・		・Ａ種　※Ｂ種

株式会社 黒川建築設計事務所

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面Ｎｏ.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	岡山県建築工事特記仕様書４	－	2025/03	A-04	武村	竹波	竹波	竹波

19 内装工事

① 接着剤 (19．2．2)

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆　・
接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていないものとする。

② ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル (19．2．2)(19．2．3)

ビニル樹脂系材料の原材料
再生ビニル系材料の原材料の合計重量が製品の総重量比で１５％以上使用されているもの

○ビニル床シート

種類	種類の記号	色柄	厚さ（mm）	工法
※発泡層のないもの	※ＦＳ ・ＴＳ	・プレーン ○マーブル ・特殊柄	※２．０ ・２．５	・突付け ※熱溶接
・発泡層のあるもの	・ＨＳ ・ＫＳ	・プレーン ・マーブル ・柄物	・	・突付け ・熱溶接

○ビニル床タイル

種類	種類の記号	色柄	厚さ（mm）
※接着形	○ＦＴ	・プレーン　・マーブル　○特殊柄	※２．０　○３．０
	・ＴＴ	・プレーン　・マーブル　・特殊柄	・
	・ＫＴ	・プレーン　・マーブル　・特殊柄	※２．０　・
※置敷形	・ＦＯＡ	・プレーン　・マーブル　・特殊柄	・
	・ＦＯＢ	・プレーン　・マーブル　・特殊柄	・

・特殊機能床材（帯電防止）

種類	種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
・帯電防止床シート	・ＦＳ	・	・２．０	帯電防止性能評価値（ＪＩＳ　Ａ１４５５） １．２以上～３．２未満 又は体積電気抵抗値（ＪＩＳ　Ａ１４５４） 1×10^{7}～$1\times10^{10}\Omega$程度
・帯電防止床タイル	・ＦＯＡ ・ＦＯＢ		・	

・特殊機能床材（帯電防止以外）

種類	厚さ（mm）	寸法（mm）	材料	色柄
・誘導用床材、注意喚起用床（表面形状　ＪＩＳ　Ｔ９２５１）	・	・３００×３００ ・４００×４００	※塩ビ　・合成ゴム 合成ゴム	・黄色 ・
・				

ビニル幅木の高さ（mm）　※６０　・７５　○４０
厚さ（mm）　※２．０　・
材質　※軟質　・硬質

③ カーペット敷き (19．3．2)(19．3．3)

○タイルカーペット　(19．3．2~3)

パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	事務室　他	※ 500×500	※ 6.5 ○ 7.0	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※ 500×500	※ 6.5	
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※ 500×500	※ 6.5	

下敷き材　※反毛フェルト（ＪＩＳＬ３２０４）の第2種1号　呼び厚さ 8mm　・
見切り、押え金物の材質、種類及び形状　※　図示　・

4 合成樹脂塗床 (19．4．3)

・弾性ウレタン樹脂系塗り床材　表19．4．4
仕上げの種類　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗り床材　表19．4．5~7
工法の種類　・薄膜流しのべ工法　・厚膜流しのべ工法　・樹脂モルタル工法
仕上げの種類　・防滑仕上げ　・平滑仕上げ
塗料のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆　・

⑤ 防じん用塗床

材質　水性アクリル系樹脂塗料（※標準色　・　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤２回塗りとし、総塗布量は0．２５kg／㎡以上とする
仕上げの種類　・防滑仕上げ　・平滑仕上げ
塗料のホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆　・

6 フローリング張り (19．5．2~6)

複合フローリングのホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆　・
種別・工法
・単層フローリング（・フローリングボード１等　・フローリングブロック１等　・モザイクパーケット）
・湿式工法　・乾式工法（・釘ども工法　・接着工法）
※複合フローリング（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種）　表層　・なら　・ヒノキ
・乾式工法（・釘ども工法　・接着工法）
関伏材等の適用　※適用する　・適用しない
関伏材等：関伏材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が１０％以上であること
居室の内装材にあっては、ホルムアルデヒド放散量（ＪＡＳ規格による測定方法）が平均値で０．３mg／Ｌ以下かつ最大値で０．４mg／Ｌ以下であること

7 畳敷き (19．6．2)

種別　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　※Ｄ種　表19．6．1
Ｄ種の場合の畳床記号　・ＫＴ－Ⅰ　・ＫＴ－Ⅱ　・ＫＴ－Ⅲ
・ＫＴ－Ｋ　・ＫＴ－Ｎ
衝撃緩和型畳　畳表　・Ｃ１　・Ｃ２

⑧ せっこうボードその他ボード及び合板張り (19．7．2)

天井及び壁に使用する材料は、建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの
合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆　・
パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板の原材料
合板・製材工場から発生する端材等の残材、建築解体木材、使用済み梱包材、製紙未利用低質チップ、林地残材、かん木、小径木（間伐材を含む）等の再生資源である木質材料又は植物繊維の重量比配合割合が５０％以上であること。（この場合、再生資材全体に占める体積比配合率が２０％以下の接着材、混和剤等（パーティクルボードにおけるフェノール系接着剤、木質系セメント板におけるセメント等で主要な原材料相互間を接着する目的で、使用されるもの）を計上せずに、重量比配合率を計算することができるものとする）
天井のボード類（ロックウール吸音板を除く）の重ね張りを行う場合　※図示による
合板の張付け　・Ａ種　・Ｂ種

目地工法の種類とせっこうボードのエッジの種類

目地処理の種類	張り方	せっこうボードのエッジの種類
○継目処理	・直張り　○上張り	※テーパーエッジ　・ベベルエッジ
・突付け	・直張り　・上張り　・下張り	※スクェアエッジ
○突付けＶ目地	○直張り　・上張り	※ベベルエッジ
・目透し	・直張り　・上張り	・ベベルエッジ　・スクェアエッジ

⑨ 壁紙張り (19．8．2)

建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたもの

施工箇所	品質（製造所）	防火性能の級別
図示による	図示による	図示による

ホルムアルデヒド放散量　※F☆☆☆　・

⑩ 断熱材打込み工法 (19．9．2)

断熱材の種類　※押出法ポリスチレンフォーム断熱材２種ｂＡ　厚さ　※２５mm　・
○押出法ポリスチレンフォーム断熱材３種ｂＡ（土間下）　厚さ　※２５mm　・
・硬質ウレタンフォーム断熱材１種２号　厚さ　※２０mm　・
・フェノールフォーム断熱材Ａ種　厚さ　・
断熱補修材　・断熱材と同材
※次付け硬質ウレタンフォーム断熱材（次項による）

⑪ 断熱材現場発泡工法 (19．9．3)

フェノールフォームを使用した断熱材、保温材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆　・
断熱材の種類　※Ａ種１　・Ａ種１Ｈ
厚さ　○２５　・３０　・
施工箇所　※窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレイン廻りの床版下等、部分的に後張りとしなければいけない箇所
○図示による（２階居室で、１階が屋外に面するスラブ裏）
・

⑫ 断熱材の原材料 (19．9．2~3)

押出法ポリスチレンフォーム断熱材、グラスウール断熱材及びロックウール断熱材
フロン類が使用されていないこと。また、可能な限り熱損失防止性能の数値が小さいものであること。

20 ユニット及びその他の工事

① フリーアクセスフロア (20．2．2)

キｯイ製作所　エコユニットフロア H40（ｸﾘｷｲｶｽPP樹脂製）同等

施工箇所	○ 事務室　他	・
工法	○置敷式	・支柱調整式
耐震性能	・１．０Ｇ　・０．６Ｇ	・１．０Ｇ　・０．６Ｇ
所定荷重	※３０００Ｎ　・５０００Ｎ	※３０００Ｎ　・５０００Ｎ
パネル寸法（mm）	○250×250	・
高さ（mm）	○４０　・	・　・
床表面仕上げ材の材質	※タイルカーペット ・帯電防止床タイル	※タイルカーペット ・帯電防止床タイル
ボーダー部及びスロープ	※メーカー仕様　・図示による	※メーカー仕様　・図示による

寸法精度　※標準仕様書20.2.2(2)(ｵ)による　・
配線用取り出しパネル
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　※２０～３０％　・製造所の仕様による
配線取り出し開口　※パネル１枚につき40mm×80mm程度の開口１ヶ所以上　・製造所の仕様による
空調用吹き出し（吸い込み）パネル
※なし
・有り　（※固定式　・可変式）：　施工箇所（※図示による　・　　）
耐荷重性能　※変形5.0mm以下、残留変形3.0mm以下　・
耐衝撃性能　※残留変形3.0mm以下及び損傷がない　・
ローリングロード性能　※残留変形3.0mm以下　・
耐燃焼性能
・建築基準法に基づく不燃材料の指定又は認定を受けたもの
・ＪＩＳＡ１４５０に基づく燃焼試験において、燃焼終了後の残炎時間が０秒であること

② 可動間仕切 (20．2．3)

ＪＩＳ　Ａ６５１２によるほか、下記による
構造形式による種類　※スタッド式（・スタッド露出・スタッド内蔵）・スタッドパネル式
構成基材の種類　※図示による
表面材質及び厚さ（mm）　※鋼板０．６　・鋼板０．８　・
パネル表面仕上げ　メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（※常備色　○指定色）
パネル総厚さ（mm）　○　７０mm程度
遮音性の区分　・０　・１５程度　・３０程度　○３６以上
防火性能　・不燃
パネル内に取付ける建具　○あり（※図示　・　）　・なし

③ 移動間仕切 (20．2．4)

パネルの操作方法による種類　○製造所の仕様による　・図示による
表面材質及び厚さ（mm）　※鋼板０．６　・
仕上げ　メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付（※常備色　○指定色）
パネル総厚さ（mm）　・　６５mm程度
パネル圧接装置の操作方法　○製造所の仕様による　・図示による
遮音性の区分　・３６未満　○３６以上　（ＪＩＳ　Ａ６５１２に準拠する）

④ トイレブース (20．2．5)

表面材　※メラミン樹脂系化粧板　・ポリエステル樹脂系化粧板
ドアエッジ材質　※製造所の仕様による　○焼付塗装
脚部形状　※幅木タイプ　・

⑤ 手すり

材質	表面仕上げ	直径（mm）	取付箇所
・ステンレス	・ＨＬ　・	・	
・鋼製	・溶融亜鉛めっき　・	・	
・アルミニウム	・	・	
・集成材	・ＣＬ　・	・６０　・４５　・３５　・	
・ビニル製	・ＣＬ　・	・６０　・４５　・３５　・	

⑥ 階段滑止め (20．2．7)

材種　ステンレス製（ＳＵＳ３０４）（・埋込工法　※接着工法）
端部フラットエンド　※有（※タイヤと同材　・ステンレス鋼）　・無
型式　※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り　・
幅（mm）　※約３５　・

⑦ 黒板及びホワイトボード (20．2．9)

・ホワイトボード　ほうろう　形状及び寸法は図示による
・黒板　種類　・鋼製黒板　・ほうろう黒板　色彩　※緑　・　形状及び寸法は図示による

⑧ 鏡 (20．2．10)

取付箇所　・図示による　・（　）
寸法（mm）　・図示による　・
厚さ（mm）　※５　・

設備工事

⑨ 表示 (20．2．11) 図示による

・案内板　・施設案内板（※標準詳細図による　・図示による）
・各階案内板（※標準詳細図による　・図示による）
・視覚障害者用案内板（※図示による）
・室名札　※標準詳細図による　・市販品
・ピクトグラフ　標準案内図用記号　※ＪＩＳ　Ｚ８２１０による　・図示による
形状・その他　※図示による
・施設文字　※標準詳細図による　・
・切抜文字（・ステンレス製・黄銅製）　・箱文字（・ステンレス製・黄銅製）
字数（　）　文字の大きさ（　ｘ　）
・対人衛突防止表示　・図示による
・非常用進入口　・図示による
案内図用記号はＪＩＳ　Ｚ８２１０による

⑩ タラップ (20．2．12)

材料及び仕上げ
・ステンレス製 SUS304　（表面処理　※研磨なし）
・鋼製　（表面処理　※溶融亜鉛めっき 種別Ｃ種）

⑪ 煙突ライニング (20．2．13)

煙突用成形ライニング材　適用安全使用温度　・４００℃まで　・６５０℃まで
工法　・コンクリート打込時に打ち込む
キャスタブル耐火材　※煙突成形ライニング材の製造所の仕様による

⑫ ブラインド (20．2．14)

形式	・横型ブラインド	・縦型ブラインド（防炎性能を有するもの）
スラットの材種	アルミニウム合金製	・アルミスラット　・クロススラット
スラットの種類	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	・１本操作コード式 ※２本操作コード式
スラットの幅（mm）	※２５　・３５	・８０以上　・１００

⑬ ロールスクリーン (20．2．15)

操作方式　・スプリング式　○コード式（チェーン式）　・電動式
材種　○図示による　・
遮光性能　○図示による　・
寸法　○図示による　・

⑭ カーテン及びカーテンレール (20．2．16)

カーテン

施工箇所	形式	開閉形式	操作方式	生地の種別、品質、特殊加工等	ひだの種類
	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分	※手動 ・電動		
	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分	※手動 ・電動		

カーテンレール及び付属金物

施工箇所	強さによる区分	材料による区分	仕上げ	形状	カーテン用付属金物
	・１０－６０ ※１０－９０	※アルミニウム ・	※アルマイト ・	※角形 ・	
	・１０－６０ ※１０－９０	※アルミニウム ・	※アルマイト ・	※角形 ・	

・暗幕用は３００mm以上の召し合せの重掛けとする

15 点検口

天井　材種　アルミニウム製　寸法（mm）　※４５０ｘ４５０　・６００ｘ６００
形式　一般型　外枠　○額縁タイプ　○目地タイプ
内枠　○額縁タイプ　○目地タイプ
枠の許容差　±０．５mm以内　外枠と内枠のクリアランス　片側２．０mm以内
材料の品質及び性能
外枠、内枠の材質
アルミニウム合金押出形材　ＪＩＳ　Ｈ４１００　Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５
表面処理　表１４．２．１のＡＣ－１種、ＡＣ－２種（外部はＢＢ－１種、ＢＢ－２種）
外枠及び内枠のコーナーピース、吊り金物、取付ボルト
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの

床　材種　アルミニウム製　寸法（mm）　・４５０ｘ４５０　※６００ｘ６００　○５００×５００
形式　※屋内用一般型　○密閉形
パッキンを装着しないもの及びがたつき防止用パッキンを装着したもの
枠の許容差　±０．５mm以内　外枠と内枠のクリアランス　片側２．０mm以内
材料の品質及び性能
受枠材、蓋枠材、コーナーピース、底板材、底板補強材
アルミニウム合金押出形材　ＪＩＳ　Ｈ４１００　Ａ６０６３Ｓ－Ｔ５
表面処理　表１４．２．１のＡＢ－１種、ＡＢ－２種、ＢＢ－１種、ＢＢ－２種
開閉方式　施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式
その他　製造所の仕様による

16 屋外掲示板

本体材質　※ステンレス製　・
照明器具　・有り　・無し
掲示板面材質　・
施錠装置　※有り　・無し
形状寸法　※図示による　・

17 鋼製書架及び物品棚

・固定式（下記以外は図示による）
鋼製書架　※ＪＩＳ　Ｓ１０３９による　・
鋼製物品庫　※ＪＩＳ　Ｓ１０３９による　・
○移動式　形状等は図示による

18 くつふきマット

※塩化ビニル又はゴム製（受け枠ステンレス製（ＳＵＳ３０４））ワンライン型
・硬質アルミ合金製（受け枠ステンレス製（ＳＵＳ３０４））
・ステンレス製（ＳＵＳ３０４）（受け枠ステンレス製（ＳＵＳ３０４））

19 フェンス

フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス　・鋼管フェンス
○樹脂塗装メッシュフェンス　・アルミフェンス
高さ　○図示による　・

20 天井見切り縁

材種　※アルミニウム既製品　・ビニル既製品

21 ピクチャーレール

※見切り縁兼用タイプ　・
移動フック　１ヶ／ｍ　安全荷重　※１５kg以上　・

22 誘導用床材、注意喚起用床材

材種　・レジンコンクリート製（厚さ３０mm）　・磁器質タイル製　・コンクリート製（厚さ６０mm）
○SUS製
表面形状　ＪＩＳ　Ｔ９２５１による
寸法　※３００ｘ３００
色　※黄色　○ シルバー

23 旗竿

形式　・ロープ式（テーパー式）
※ハンドル式（テーパー式又は同一断面式）
材種　・アルミニウム合金　・
高さ（m）　・
旗竿受金物　※ステンレス鋼（ＳＵＳ３０４）製　・

24 既製家具

合板類、ＭＤＦ及びパーティクルボード、接着剤及び塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種

25 車止め柵

形式	材種	柱径・肉厚（mm）	高さ（mm）	備考
○上下式内蔵式 （○標準品　・ｽﾌﾟｯｸﾞ式） ・	○ステンレス製 ・	○φ76.3　t＝2.0 ・	○GL＋700 ・	

21 排水工事

① 排水管 (21．2．1)

・遠心力鉄筋コンクリート
種類　※外圧管１種　・
呼び径　※図示　・
継手　※ゴム接合　・モルタル接合
・硬質ポリ塩化ビニル管
種類　・ＶＰ　・ＶＵ
・ＲＳ－ＶＵ
建物外での硬質ポリ塩化ビニル管であって、使用済み塩化ビニル管を原材料とする塩化ビニルが製品全体重量比で３０％以上使用されていること
呼び径　※図示　・

② 側塊、排水桝等 (21．2．1)

・鋳鉄製ふた
型式　※水封型　・簡易密閉型　・密閉型　・中ふた付密閉型
適用荷重（安全荷重［ｋＮ］）
屋内用　・Ｔ－２用（５）　・
屋外用　・Ｔ－２用（５）　※Ｔ－６用（１５）　・Ｔ－２０用（５０）　・
鍵　・有　・無
・グレーチング

種類	形式	用　途	適用荷重	メインバーピッチ	上面形状
・鋳製	・受枠付 ・ボルト固定	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２０用	・普通目　・細目 ・普通目　・細目 ・普通目　・細目 ・普通目　・細目 ・普通目　・細目	※凹凸形 ・
・ステンレス製	・受枠付 ・ボルト固定	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・Ｕ字溝用	・歩行用 ・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－１４用 ・Ｔ－２０用	・普通目　・細目 ・普通目　・細目 ・普通目　・細目 ・普通目　・細目 ・普通目　・細目	・凹凸形 ・平形

22 舗装工事

① 路床 (22．2．2~5)

路床の構成　※標準詳細図による　・
盛土に用いる材料（表3.2.1による）　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土
凍上抑制層　※適用しない　・適用する（厚さ　）
透水性舗装フィルター層　※適用しない　・適用する（厚さ　）
路床安定処理　※適用しない　・適用する（方法　）
支持力比（ＣＢＲ）試験　※行わない　・行う（※乱した土　・乱さない土）
締固め度の試験　※行わない　・行う
現場ＣＢＲ試験　※行わない　・行う

② 路盤 (22．3．2~5)

路盤の構成　※標準詳細図による　・図示による
路盤材料　※再生材クラッシャラン　・クラッシャラン鉄鋼スラグ
締め固め度試験　※行わない　・行う

③ アスファルト舗装 (22．4．2~6)

舗装の構成　※標準詳細図による　・図示による
車道部の基層　・あり　○なし
アスファルト　※再生アスファルト　・ストレートアスファルト
骨材　※道路用砕石　・アスファルトコンクリート再生骨材
加熱アスファルト混合物等の種類
※表層　※密粒度アスファルト混合物（１３）
・細粒度アスファルト混合物（１３）
・
・基層　・粗粒度アスファルト混合物（２０）
シールコート　※行わない　・行う
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

④ コンクリート舗装 (22．5．2~6)

コンクリート　※標準仕様書表22.5.1による　・
舗装の構成　※標準詳細図による　・図示による
溶接金網　※使用する（１５０Ｘ１５０Ｘ６φ）　・使用しない
コンクリート版の厚さの試験　※行わない　・行う

⑤ 透水性アスファルト舗装 (22．7．2~6)

舗装の構成　※標準詳細図による　・図示による
アスファルト　※再生アスファルト　・ストレートアスファルト
骨材　※道路用砕石　・アスファルトコンクリート再生骨材
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う

⑥ ブロック系舗装 (22．8．2)(22．8．3)

舗装の構成　※標準詳細図による　・図示による
※インターロッキングブロック
材質（※コンクリート　・　）　種類（※普通　○透水性　・保水性）
形状（・長方形　○正方形　・六角形）　厚さ（・６０　○８０　・１００）
表面加工　・ショット仕上げ　表22．8．1
クッション材　・空練りモルタル　○砂
・再生材料を用いた舗装用ブロック（焼成）
・再生材料を用いた舗装用ブロック類（プレキャスト無筋コンクリート製品）

⑦ 区画線

路面表示用塗料（ＪＩＳ　Ｋ５６６５（路面表示用塗料）による）
・１種　・２種　※３種１号
色　※白　・　塗布幅　※図示による　・　塗布厚さ　※1.0　・

23 植栽及び屋上緑化工事

① 植栽地の確認 (23．1．3)

土壌の水素イオン濃度指数（ｐＨ）試験　・行う　※行わない
電気伝導度（ＥＣ）の試験　・行う　※行わない

② 植栽基盤の整備 (23．2．2~4)

排水　・設置する（・暗きょ　・開きょ　・排水層　・縦穴排水）　・設置しない
電気伝導度（ＥＣ）の試験　・行う　※行わない
整備工法　表23．2．2
樹木　・行う（※Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種）　※行わない
芝及び地被類　※行う（※Ｂ種　・　）　・行わない
植込み用土　※現場発生土の良質土　・客土
土壌改良材
・適用する（施工箇所　）
・パーク堆肥
製品は以下を満足すること
有機物の含有率（乾物）　：７０％以上
炭素窒素比［Ｃ／Ｎ比）　：３５以下
陽イオン交換容量（ＣＥＣ）（乾物）：７０meq／１００g以上
ｐＨ　：５．５~７．５
水分　：５５~６５％
窒素全量［Ｎ）（現物）　：０．５％以上
りん酸全量［Ｐ２Ｏ５］（現物）　：０．２％以上
加里全量［Ｋ２Ｏ］（現物）　：０．１％以上
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」（昭和４８年総理府令第５号）の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、検害試験の調査の結果、害が認められないもの
ひ素：０．００５％以下　カドミウム：０．０００５％以下
水銀：０．０００２％以下　ニッケル：０．３％以下
クロム：０．０５％以下　鉛：０．０１％以下
有機物の含有率（乾物）：３５％以上　炭素窒素比［Ｃ／Ｎ比）：２０以下
ｐＨ：８．５以下　水分：５０％以下
窒素全量［Ｎ）（現物）：０．８％以上　りん酸全量［Ｐ２０５）（現物）：１．０％以上
アルカリ分（現物）：１５％以下（ただし、土壌の酸度を矯正する目的で使用する場合はこの限りでない）
施工箇所の土壌及び植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする

③ 支柱材 (23．3．2)

※丸太（間伐材）　・真竹

④ 新植樹木の枯補償 (23．3．4)

枯補償の期間　※引渡しの日から１年　・
枯補償の期間内に樹木が枯死、枝損傷、形姿不良等となった場合は、同等以上のもの再植樹するとともに、取り除いた樹木の処分を行うものとする

⑤ 移植樹木の枯損処置 (23．3．6)

枯損処置の期間　※引渡しの日から１年　・
枯損処置の期間内に樹木が枯した場合は、伐採及び伐根を行い、良質土で埋め戻し整地するものとする

株式会社 黒川建築設計事務所

件名	図面	縮尺	日付	図面Ｎｏ.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	岡山県建築工事特記仕様書５	－	2025/03	A-05	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

① 使用資材について

本工事に使用する資材については、県内産資材又は県内取扱業者から購入した資材の使用に努めるものとする。
（1）県内産の資材がある場合は、県内産の資材を優先するものとする。
（2）県内産の資材がなく、やむを得ず県外産の資材を使用する場合には、県内取扱業者の資材を優先するものとする。
資材を購入しようとするときは、あらかじめ購入先の名称、所在地及び資材名等を記載した主要資材購入先一覧届出書を監督職員を通じ提出するものとする。
県外産資材を県外取扱業者から購入する場合には、理由を書面にして添付するものとする。
県内産資材：①製造所の所在地が岡山県内である資材。
②法務局に登記されている本店の所在地が岡山県内である業者。
県内取扱業者：法務局に登記されている本店の所在地が岡山県内である業者。
なお、木材については、県内の森林で伐採された木材を原料とする木製品。若しくは、岡山県の「木材業者等登録」を受けている製材業者が製材・加工した国産材木製品を県産材とし、県内産資材として取り扱う。

また、市内産資材及び市内業者の取り扱う資材がある場合は、優先して使用するよう努めること。

② 下請負業者の選定について

本工事の施工において、やむを得ず工事の一部を下請負に付す場合、下請負の相手方は市内業者から選定するよう努めるものとする。
下請負に付そうとする場合には、あらかじめ下請負人選定一覧届出書を監督職員を通じて提出するものとする。
県外業者を下請負の相手方として選定する場合には、前記の届出書に県内業者を選定しない理由を書面にて添付するものとする。
上記において、「市内業者」とは、建設業法上の「主たる営業所」の所在地が瀬戸内市内である業者のことをいう。

③ 施工体制台帳について

受注者は、工事の一部を下請負に付した場合、建設業法（昭和２４年法律第１００号）第２４条の７の規定により、施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督職員に提出するものとする。
受注者は、監理技術者補佐、主任技術者（下請負者を含む）及び元請負者の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札等を着用させなければならない。（監理技術者補佐は、建設業法第26条第３項ただし書きに規定する者をいう。）
なお、現場での立場（監理技術者等）が明確になるよう留意するものとする。
受注者は施工体制台帳及び施工体系図に変更が生じた場合は、その都度速やかに監督職員に提出しなければならない。

4 工事実績情報の作成・登録について

受注者は、受注時または変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をコリンズから監督職員にメール送信し、監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、完成時は工事完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録をしなければならない。
登録対象は、工事請負代金額500万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。
また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、コリンズ登録時に監督職員にメール送信される。
なお、変更時と工事完成時の間が10日間（土曜日、日曜日、祝日等を除く）と適たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。
また、本工事の完成後において訂正または削除する場合においても同様に、コリンズから発注者にメール送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

5 監督検査の強化について

本工事は低入札価格調査対象工事であるが、本工事が低入札価格工事となった場合、受注者は本工事及びその他岡山県発注の手持ち工事において、主要資材の確認及び不可視部分等の検査を発注者が必要と認める時点で受けなければならない。
・ 本工事が低入札価格工事とならない場合においても、工期の重複する岡山県発注の手持ち工事の中に低入札価格工事がある場合は、主要資材の確認及び不可視部分等の検査を発注者が必要と認める時点で受けなければならない。
・ その他検査に必要な書類等については、中間検査実施要領によるものとする。

⑥ 工期設定について

工期設定においては、雨天、休日等を見込み設定している。なお、休日等には、日曜日、祝日、夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を見込んでいる。

⑦ 公害対策関係について

・ 本工事に伴う、公害防止対策のため、次の事項を指定する。
・対象工事　解体工事
・作業時間　解体に伴う騒音が出る作業については、事前に工程表（騒音発生時間を明示）を作成し、発注者に承諾を得ること。
・建設機械、設備　低騒音型の機械を使用すること。
※ 本工事において、次に示す一般建設機械８機種を使用する場合は、特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成１７年法律第５１号）に基づく排出基準に適合する機械、または、排出ガス対策型建設機械指定要領（平成３年１０月８日付け建設省経機発第２４９号、最終改正平成１４年４月１日付け国総施第２２５号）、排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定（平成１８年３月１７日付け国土交通省告示第３４８号）もしくは第３次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成１８年３月１７日付け国総施第２１５号）に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。ただし、平成７年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業もしくは建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械についても、排出ガス対策型建設機械と同等とみなすことができる。ただし、これにより難い場合は別途監督職員と協議するものとする。
一般建設機械８機種

機　種	備　考
○バックホウ　○トラクタショベル（車輪式）　○ブルドーザ ○発動発電機（可搬式）　○空気圧縮機（可搬式） ○油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうちベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの） ：油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機 ○ローラ（ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ） ○ホイールクレーン（ラフテレーンクレーン）	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kW以上260kW以下）を搭載した建設機械に限る。

※ 排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、施工計画書に記載するとともに現場代理人は施工現場において使用する建設機械が確認できる写真撮影を行い提出するものとする。
なお、排出ガス対策型建設機械に貼付けてある「指定ラベル」についても写真撮影を行い提出するものとする。
・ 本工事箇所は、特に生活環境を保全する必要がある地域であるので、次の工種の施工に当たっては低騒音型、低振動型建設機械指定に関する規程（平成９年７月３１日付け建設省告示第１５３６号、最終改正平成１３年４月９日付け国土交通省告示第４８７号）に基づき指定されている建設機械を使用するものとする。
・地業工事(杭)ーーーー○○○工法（又は使用機種）
・外壁改修工事ーーーー
・耐震改修工事ーーーー
※ 運搬路等については、粉塵により公衆に迷惑を及ぼすことのないよう散水防塵（○回／日程度）を実施するものとする。
・ 本工事に伴う○○により事業損失が懸念されるため、その対策として次の調査を行うものとする。
・調査の区分（　　）
・調査の時期（　　）
・調査方法（　　）
・調査範囲（　　）

⑧ 建設発生土について

本工事で発生する建設発生土については現場内で利用することとし、搬出する場合においては次の場所への搬出を見込んでいるが、工事開利用調整の状況によっては、設計変更の対象とする。また、現地において予定した土質及び土量等に変更があった場合は、速やかに監督職員と協議するものとする。
本工事で発生する建設発生土に混入している草木等の視等やがれきず等（以下、「混入物」という。）については、分別・除去を行うものとし、作業場所・作業方法については、工事着手前に監督員と協議し承諾を得るものとする。なお、混入物の混入状況によっては、監督員と協議のうえ設計変更の対象とすることができる。
また、分別・除去した混入物の処理方法についても同様とする。
改良土プラントは次の施設で構算しているが、受注者が構算及び搬出するプラントを指定するものではない。
なお、受注者の提示するプラント（法令等に基づいた正規な場所であること）と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、受注者の責によらない場合、及び新材以外のものを搬入する場合については、監督職員と協議のうえ設計変更の対象とすることができる。

種別	搬出量	搬出先	搬出時期

・ 本工事で発生する建設発生土の内○○m3の処分先については、監督職員と協議のうえ確定し、設計変更の対象とする。

⑨ 建設リサイクル法の特定建設資材廃棄物について

本工事から発生する特定建設資材廃棄物は、次の施設に搬入することを見込んでいる。その再資源化等費（処分費、なお、岡山県内で処理する場合には産業廃棄物処理税相当額、又は産業廃棄物の処理に係る税の条例が施行されている他の県で処理する場合には各県の産業廃棄物の処理に係る税相当額を含む。）については、見積単価を採用している。なお、運搬に先だち受入条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。

種別	数量	位置	再資源化施設名称
コンクリート塊			
ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ塊			
建設発生木材			

上記再資源化施設で積算しているが、受注者が積算及び搬入する処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設（法令等に基づいた正規な場所であること）と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によらない事項についてはこの限りでない。

⑩ その他の建設副産物について

※伐木・伐根材、建設汚泥等について
本工事から発生する伐木・伐根材、建設汚泥等は、次の施設に搬入することを見込んでいる。その再資源化等費（処分費。なお、岡山県内で処理する場合には産業廃棄物処理税相当額、又は産業廃棄物の処理に係る税の条例が施行されている他の県で処理する場合には各県の産業廃棄物の処理に係る税相当額を含む。）については、見積単価を採用している。なお、運搬に先だち受入条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。

種別	数量	位置	再資源化施設名称

上記再資源化施設で積算しているが、受注者が積算及び搬入する処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設（法令等に基づいた正規な場所であること）と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によらない事項についてはこの限りでない。
※その他の建設副産物について
本工事から発生するその他の建設副産物は、次の施設に搬入することを見込んでいる。その処分費（岡山県内で処理する場合には産業廃棄物処理税相当額、又は産業廃棄物の処理に係る税の条例が施行されている他の県で処理する場合には各県の産業廃棄物の処理に係る税相当額を含む。）については、見積単価を採用している。なお、運搬に先だち受入条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。

種別	数量	位置	施設名称
	○○ｔ	○○市△△地内（運搬距離○○km）	○○○○○　（記入例）

上記施設で積算しているが、受注者が積算及び搬入する処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設（法令等に基づいた正規な場所であること）と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によらない事項についてはこの限りでない。

⑪ 建設汚泥について

本工事から発生する建設汚泥は、「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン（国土交通省平成１８年６月）」「建設汚泥の再生利用に関する実施要領（国土交通省平成１８年６月）」により再資源化施設へ搬入する。
なお、これにより難い場合は、監督員と協議すること。

⑫ 不足土について

※ 本工事の不足土については、次の場所からの搬入を見込んでいるが、工事間利用調整の状況によっては、設計変更の対象とする。
改良土プラントは次の施設で積算しているが、受注者の積算及び搬入するプラントを指定するものではなく、受注者の提示するプラント（法令等に基づいた正規な場所であること）と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、受注者の責によらない場合、及び新材以外のものを搬入する場合については、監督職員と協議のうえ設計変更の対象とすることができる。
真砂土等の土場は次の場所で積算しているが、受注者の積算及び土場を指定するものではなく、受注者の提示する土場（法令等に基づいた正規な場所であること）と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、受注者の責によらない場合、及び新材以外のものを搬入する場合については、監督職員と協議のうえ設計変更の対象とすることができる。

種別	数量	場所	搬出時期
第○種建設発生土	○○m3	○○市△△地内の○○工事 （運搬距離○○km）	令和○○年○月（記入例）
真砂土等			

※ 本工事で使用する改良土等（エコ製品）については、品質試験結果を承認願に添付して監督職員に提出するものとする。
※ 本工事の裏込め・埋め戻しに使用する改良土等（エコ製品）の品質については、内部摩擦角○○度以上とする。

⑬ 岡山県エコ製品について

※ 本工事で使用する再生加熱アスファルト混合物（いわゆる改質アスファルト混合物を除く）、再生骨材等（再生砂石、再生砂、再生割栗石）については、「岡山県エコ製品」認定製品を使用するものとする。ただし、次の場合は、別紙「資材調達結果報告」を作成のうえ監督職員と協議を行うものとする。
再生加熱アスファルト混合：工事現場から４０km及び運搬距離１．５時間の範囲内に在庫がない場合
再生骨材等：工事現場から４０km の範囲内に在庫がない場合
※ 本工事で使用する資材のうち、○○○○については、岡山県エコ製品に認定された製品の使用に努めるものとする。設計単価は岡山県エコ製品を見込んでいるため、使用しない場合は、監督職員に報告し設計変更の対象とする。
※ その他本工事で使用する資材については、「岡山県循環型社会形成推進条例」に基づき、循環資源を原料とした再生品をその性能、品質、安全性、数量、価格等について考慮の上、可能な範囲で積極的な使用に努めるものとする。
※ 本工事で使用する資材については、「岡山県循環型社会形成推進条例」に基づき、循環資源を原料とした再生品をその性能、品質、安全性、数量、価格等について考慮の上、可能な範囲で積極的な使用に努めるものとする。
また、品質及び価格が同等である場合は、岡山県エコ製品の優先的な調達に努め、使用に当たっては監督職員の承諾を得ることとし、使用する場合は設計変更の対象とする。
※ 岡山県エコ製品の基準に適合しないと認められたとき、搬入された資材の撤去等を指示する場合がある。

⑭ アルカリ骨材反応抑制対策について

※ レディーミクストコンクリート
受注者は、高炉セメント及びフライアッシュセメントを使用したレディーミクストコンクリートを使用するときは、セメント内のスラグ及びフライアッシュ混合率を生コンクリート使用報告（承認）に記載するものとする。
このとき、使用する高炉セメント及びフライアッシュセメントは、Ｂ種及びC種とする。その他のコンクリートを使用するときは、監督職員と協議し、アルカリ骨材反応抑制対策実施要領の２．１又は２．３を実施するものとする。
※ コンクリート二次製品
受注者は、使用するコンクリート二次製品毎に、アルカリ骨材反応抑制対策実施要領の２．１の確認を行い、監督職員に報告すること。なお、高強度コンクリート使用の製品については、単位セメント量が多いためアルカリ総量が所定の値を満足しない場合があり、このときはアルカリ骨材反応抑制対策実施要領の２．３を実施し、監督職員に報告すること。さらに、この試験に用いる試料を採取するときは、受注者自らが立ち会うこと。
※ 現場練りコンクリート
受注者は、アルカリ骨材反応抑制対策実施要領の２．１、２．２、２．３のいずれかを必ず実施するものとする。

⑮ 再生コンクリート砂について

本工事で使用するコンクリート塊から製造された再生砂は、平成３年８月２３日付け環境庁告示第４６号に規定されている測定方法に基づき、「六価クロム」の溶出試験を行い、監督職員の承諾を得た上で使用するものとする。

⑯ 建設副産物について

別途、現場説明書を参照のこと。】

受注者は、建設副産物の発生量・処理状況及び再生資材等の利用状況把握に資するために、「建設副産物実態調査（センサス）」による搬出先調査の調査を作成するものとする。対象工事は、建設副産物の有無及び搬入資材の有無に関わらず、最終請負代金額１００万円以上の全ての工事とし、調査の作成については、工事完成後調査データを「建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ、コブリス）」に入力し、監督職員の確認を受け、監督職員からシステムによる「確認済みマーク」の付与を受けるものとする。
受注者は、下表に該当する資材の搬入、指定副産物の搬出が生じる建設工事については、「資源有効利用促進法」（以下「リサイクル法」という。）によりＣＯＢＲＩＳを用いて再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を作成し、監督員に提出すること。なお、受注者は、計画書及び実施状況の記録を工事完成後５年間保存すること。
また、法令等に基づき、現場見示用の再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げること。なお、計画書の現場掲示様式についても、ＣＯＢＲＩＳを用いて作成すること。

再生資源利用計画書 次のような建設資材を搬入する建設工事	再生資源利用促進計画書 次のような指定副産物を搬出する建設工事
１．土砂・・・・・・・・・・５００m3以上 ２．砕石・・・・・・・・・・５００ｔ以上 ３．加熱アスファルト混合物・・２００ｔ以上	１．土砂・・・・・・・・・・５００m3以上 ２．コンクリート塊、 アスファルト・コンクリート塊　合計 建設発生木材　２００ｔ以上 建設汚泥、建設混合廃棄物＊

＊建設汚泥、建設混合廃棄物については、リサイクル法で定められている品目ではないが、調査対象となる工事の中で、これらの品目が発生する場合には、併せて調査を実施するものとする。
なお、コブリスへの登録費用は現場管理費に含まれている。　【別途、一般仕様書を参照のこと。】

⑰ 建設リサイクル法について

「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）」について
特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート）を使用する工事、又は特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材）が発生する工事全てを「建設リサイクル推進工事（以下「推進工事」という。）」と位置づけ、建設リサイクル法施行令第２条第１項の規定による建設工事の規模に関する基準を満たさない工事についても、建設リサイクル法の規定を準用する（但し、罰則規定は除く）。
① 「推進工事」においては、建設リサイクル法第１２条第１項に規定する説明事項（分別解体等の方法・解体工事に要する費用・再資源化等をするための施設の名称及び所在地・特定建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用等）について、契約書を提出する前に別に定める「通知に係る事前説明事項」の書面を監督職員に提出し協議するものとする。
② 「推進工事」の契約書７に掲げる「別紙の通り」の「別紙」とは、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第１３条及び特定建設資材に係る分別解体等に関する省令第４条の規定による書面」とする。
③ 受注者は、「推進工事」において「建設業の許可票」若しくは「解体工事業者登録票」の標識に下図ステッカーを貼付しなければならない。
④ 受注者は、「推進工事」において監督職員から建設リサイクル法第１１条に規定される「通知」が完了した旨の回答があるまでの間、当該工事に着手してはならない。
⑤ 受注者は、現契約が「推進工事」以外の工事で、工事着手後、現場条件等により「推進工事」となる場合は、監督職員と速やかに協議し、④と同様、監督職員からの回答があるまでの間、当該工事に着手してはならない。
⑥ 受注者は、「推進工事」において、当初契約時に記載した再資源化等施設と異なる施設で再資源化等を行う際には、監督職員と協議を行わなければならない。
⑦ 受注者は、「推進工事」における特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、再資源化等報告書を監督職員に提出しなければならない。

通知年月日
令和　年　月　日
建設リサイクル推進工事
岡山県

「推進工事」（ステッカー）例
注）通知が終了後、監督職員が交付。

⑱ 火災保険等の時期、金額

・普通火災保険に付すべき時期及び金額
① 工事出来形（検査済工事材料を含む）が５０％になった際に請負代金額の８０％相当額の保険に付するものとし、その後、工事出来形（検査済工事材料を含む）が８０％になった際に請負代金額相当の保険金額となるよう付するものとする。
なお、木造の対象物に対しては、工事出来形（検査済工事材料を含む）が２０％になった際に請負代金額となるよう付するものとする。
② 初回の付保時において請負代金額相当の保険金額を付することができるものとする。
③ 建設工事保険その他保険を付する場合は、上記①及び②に準ずるものとする。
④ 保険の期限は、工事完成時期に１４日を加えた期日までとする。ただし、工事が遅延した場合には、その期限も遅延日数に応じて延長するものとする。
＜工事請負契約書第60条関係＞
・修繕又は模様替等の工事は次による。
① 請負契約の工事範囲については、請負契約金額に相当する補償額となる保険契約を対象として、工事の着手前に保険契約を締結するものとする。
② 同一敷地内にある工事範囲外の既設建築物については、監督職員が特に必要と認めた場合を除き付さないものとする。
③ 保険の期限は、工期末日に１４日を加えた期日までとする。ただし、工事が遅延した場合には、その期限も遅延日数に応じて延長するものとする。　＜工事請負契約書第60条関係＞

19 部分使用について

適用
発注者が、引渡し前において、受注者の承諾を得て使用する工事目的物の部分。
使用する部分（　　）
使用する時期（　　）
＜工事請負契約書第35条関係＞

20 部分引渡しについて

適用
発注者が、工事の完成に先立って部分的に引渡しを受ける部分。
引渡しを受ける部分（　　）
引渡しを受ける時期（　　）
＜工事請負契約書第40条関係＞

21 専任指導技術者の配置について

総合評価（特別簡易型）一般競争入札（条件付）による入札[※]で、専任指導技術者の配置を申請し、落札者となった場合の特記事項は以下のとおりである。
※ 入札公告において「専任指導技術者の配置を申請することができる」とされている入札に限る。
① 契約後は、監理技術者又は主任技術者（以下「監理技術者等」という。）に加えて、配置予定技術者調書（別記様式２－２）に記載した専任指導技術者を配置し、現場代理人等の指名通知書と併せて「専任指導技術者配置届」を提出すること。
② 専任指導技術者は専任で配置し、工事の全期間に渡り監理技術者等を指導補助すること。ただし、監理技術者等の専任が必要とされない期間は、専任指導技術者についても専任であることを要しない。
③ 病休、死亡、退職等特別な理由以外により配置予定技術者調書（別記様式２－２）に記載した専任指導技術者を配置できない場合（専任で配置すべきところを専任で配置できない場合を含む）は、工事成績評定を３点減ずるとともに、指名停止等の措置を行う場合がある。（契約締結前においては、契約を締結しないとともに、指名停止等の措置を行う場合がある。）
また、病休、死亡、退職等特別な理由により配置予定技術者調書（別記様式２－２）に記載した専任指導技術者が工期の途中で交代した場合は、交代後の専任指導技術者について、改めて評価を行うものとし、当該評価による得点の小計が交代前の専任指導技術者の得点の小計未満となったときは、工事成績評定を２点減する。（上記の特別な理由以外での専任指導技術者の交代は認めない。）
④ 工事完了後の監理技術者等としての施工実績及び工事成績は、監理技術者等となった技術者にのみ付与する。

22 住宅瑕疵担保履行法による資力確保措置について

本工事における次の棟は特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律（平成１９年法律第６６号）に基づく資力確保措置が義務付けられている。なお、資力確保の措置については、○○○○○○○○○○○○○工事で行うものとする。
・○○○○棟　・○○○○棟　・○○○○棟

23 架空線及び架空電線の防護措置について

架空線及び架空電線の防護措置に係る費用は計上していないが、契約後、発注者、受注者及びＮＴＴ又は中国電力の協議により必要となった場合は、設計変更の対象とする。
防護措置に係る協議等について、ＮＴＴ又は中国電力への依頼は受注者が行うこととする。また、協議は、受注者の施工計画書作成段階において行うこととする。

24 建設キャリアアップシステム（CCUS）の活用について

※ 本工事は、建設キャリアアップシステム（以下「CCUS」という。）活用工事（受注者希望型）の対象工事である。
※ 受注者は、契約締結後、工事着手前にCCUS活用の希望の有無を工事打合簿にて発注者へ報告しなければならない。
※ CCUSを活用する受注者は、「建設キャリアアップシステム（CCUS）活用工事試行要領（以下「要領」という。）によるほか、「建設キャリアアップシステム現場運用マニュアル」（一般財団法人建設業振興基金）等を参照し、適正に実施すること。なお、要領は、岡山県ホームページ（ https://www.pref.okayama.jp/soshiki/60/ ）を確認すること。

25 その他

※ 下請契約における発注者の指導について
① この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、下請契約における注文者・下請契約における受注者との合理化が図られるよう、「建設産業における生産システム合理化指針」の趣旨により、下請契約における発注者の適正な選定、合理的な下請契約の締結、請負代金支払等の適正な履行、下請における雇用管理等への指導を行い、本指針の遵守に努めるものとする。
② 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、下請契約における注文者は、下請契約における受注者に対して、発注者から受取った前払い金の当てん、請負代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等請負代金支払の適正化について配慮するものとする。
※ 建設資材納入業者との契約について
この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めるものとする。
※ ゴム製品等の品質確認等
受注者は、東洋ゴム化工品（株）、ニッタ化工品（株）（以下「同社」という。）で製造された製品や材料（建築防水資材等）を用いる場合には、同社が製造するゴム製品等に対して受注者が指定した第三者（同社と資金面・人事面で関係がない者）によって作成された品質を証明する書類を提出し、監督員の確認を得るものとする。
なお、第三者による品質証明書類を提出し、監督員の確認を得た場合であっても、後に製品不良等が判明した場合に受注者の瑕疵担保責任が免責されるものではない。
※ ~~建設業退職金共済組合等への加入等　【別途、現場説明書を参照のこと。】~~
~~① 建設業者は、建設業退職金共済組合（以下「組合」という。）等に加入するとともに、その建設業退職金共済組合制度等の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付するものとする。~~
~~② 建設業者が下請契約を締結する際は、当該契約の受注者に対して、この制度の趣旨を説明し、掛金相当額を請負代金中に算入することにより、当該受注者の組合加入者ゼロ証紙の購入及び貼付けを促進するものとする。~~
~~③ 受注者は、組合から工事現場に建設業退職金制度適用事業主の工事現場である旨を明示する標識の掲示について要請があった場合には、特別の事情がある場合を除き、これに協力をするものとする。~~
※ 建設業法等の遵守について
① 建設業法（昭和２４年法律第１００号）に違反する一括下請負、その他不適切な形態の下請契約を締結してはならない。
② 建設業法第２６条の規定により受注者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者又は専任の監理技術者については、適切な資格、技術力等を有する者（他の工事現場に係る職務を兼務せず、常時継続的に当該工事現場に係る職務のみが従事している者で、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものに限る）を配置するものとする。
③ 受注者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の監理技術者は、監理技術者資格者証の交付を受けている者であって、監理技術者講習を過去５年以内に受講した者を配置するものとする。この場合において、発注者から請求があったときは、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を提示するものとする。
④ 上記①、②及び③のほか、建設業法等に抵触する行為は行なってはならない。
※ 建設業からの暴力団の排除の徹底について
工事の施工に際して、暴力団等からのあらゆる不正な要求に対し断固としてこれを拒否し、また被害に対しては、すみやかに警察に通報するとともに捜査上必要な協力を行わなければならない。
また、監督職員とも連絡を密にとり工程等被害が生じた場合は、協議を行うものとする。
※ ~~労働基準法の遵守　【別途、現場説明書を参照のこと。】~~
~~この契約に係る工事の施工にあたっては、労働基準法の趣旨に則り、労働時間について遵守するよう努めなければならない。~~
※ 不正軽油の排除について
本工事に伴い、ディーゼルエンジン仕様の自動車及び建設機械等を使用する場合は、規格（ＪＩＳ）に合った軽油を使用するものとする。
また、調査のため建設機械等から燃料を採取する場合には、監督職員の指示によりこれに協力しなければならない。
※ 受注者は、設計図書、仕様書に明示のない事項、その内容に疑義を生じた場合及び設計図書と工事現場の状態が一致しない時は、直ちに監督職員に連絡し、その指示を受けて施工するものとする。
※ 公共事業労務費調査に対する協力
① 本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。
② 受注者は、調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導の対象となった場合、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。
③ 受注者は、公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。
④ 受注者は、本工事の一部について下請契約を締結する場合は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が③と同様の義務を負う旨を定めなければならない。
※ 受注者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合には、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場（全国生コンクリート品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）の製品を用いなければならない。
※ 受注者は、本工事に係る工事監理業務を委託する場合があるので、当該業務を受注した工事監理者が業務の履行に必要な範囲で行う求めに対し、適切にこれに応じなければならない。
※ ~~受注者は、（分財）建設技術センター等の現場技術員が監督職員に代わり当工事の立会や監督職員の補助を行うことがあるので、現場技術員から立会等を求められた場合には、適切にこれに応じなければならない。~~
※ 単品スライド条項について
単品スライド条項の鋼材費については、スクラップ費を含む。
※ 本工事現場に配置する現場代理人については、次の要件を全て満たしていなければならない。
① 受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係があること。（健康保険被保険者証の写し等で確認を行う。）
② 建設業法（昭和２４年法律第１００号）第７条第２号又は第１５条第２号に規定する営業所の専任技術者でないこと。
※ ダンプトラック等の適正な使用について
当該工事にかかる土砂等の運搬が運送契約によって行われるときは、正規の運転免許を受けた者の車両に限って使用するものとする。
※ ダンプトラック等による過積載の防止について
① 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。
② 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
③ ダンプカーのさし枠装着車等による違法運行は行わないこと。
・ 工事請負代金の支払いについて
・本工事における請負代金の支払いは、令和○○年○月○日以降とする。
・契約を締結する会計年度（令和○○年度）の工事請負代金の支払いは、前払事以内とする。また、前払金については、契約会計年度（令和○○年度）に、翌会計年度（令和○○年度）の前払金を含めて支払いを行う。
※ 設計変更ガイドライン等の運守義務づけについて
設計変更等については、工事請負契約書第１８条～第２４条に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「岡山県設計変更ガイドライン（公共建築工事）」によることとする。
※ 労災補償に必要な保険の付与について
本工事において、受注者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険料を予定価格に反映している。
※ 墜落制止用器具の着用について
労働安全衛生法施行令第13条第３項第28号における墜落制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」（平成31年１月25日厚生労働省告示第11号）による墜落制止用器具（フルハーネス型墜落制止用器具、胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード等）とする。

株式会社 黒川建築設計事務所

件名	図面	縮尺	日付	図面Ｎｏ.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	岡山県共通特記仕様書１	－	2025/03	A-06	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

項　目	特　記　事　項

26　コンクリートの構造体強度補正等の適用期間について

	打込みから材齢28日までの予想平均気温の範囲（普通ポルトランドセメント、混合セメントのA種）			寒中コンクリートの適用期間
	8℃以上	0℃以上8℃未満	25℃超	
	構造体強度補正値(S)(N/mm2)		構造体強度補正値(S)(N/mm2)	
	3	6	6	
岡山市（旧市域）	2月26日 ～11月22日	11月23日～ 2月25日	7月2日 ～ 9月10日	1月21日 ～ 1月31日
岡山市（旧御津町）	3月10日 ～11月11日	11月12日～ 3月9日	7月10日 ～ 8月31日	12月21日～ 2月20日
岡山市（旧建部町）	3月11日 ～11月10日	11月11日～ 3月10日	7月11日 ～ 8月30日	12月21日～ 2月20日
岡山市（旧瀬戸町）	2月26日 ～11月22日	11月23日～ 2月25日	7月2日 ～ 9月10日	1月21日 ～ 1月31日
岡山市（旧灘崎町）	2月25日 ～ 12月1日	12月2日 ～ 2月24日	7月6日 ～ 9月14日	
倉敷市（旧市域）	2月27日 ～11月23日	11月24日～ 2月26日	7月1日 ～ 9月10日	
倉敷市（旧船穂町）	2月27日 ～11月23日	11月24日～ 2月26日	7月2日 ～ 9月10日	
倉敷市（旧真備町）	2月27日 ～11月23日	11月24日～ 2月26日	7月2日 ～ 9月10日	
津山市（旧市域）	3月9日 ～11月11日	11月12日～ 3月8日	7月11日 ～ 8月31日	12月21日～ 2月20日
津山市（旧加茂町）	3月15日 ～ 11月7日	11月8日 ～ 3月14日	7月19日 ～ 8月23日	12月11日～ 2月28日
津山市（旧阿波村）	3月20日 ～ 11月2日	11月3日 ～ 3月19日	7月29日 ～ 8月11日	12月11日～ 3月10日
津山市（旧勝北町）	3月14日 ～ 11月8日	11月9日 ～ 3月13日	7月17日 ～ 8月25日	12月11日～ 2月28日
津山市（旧久米町）	3月10日 ～11月11日	11月12日～ 3月9日	7月13日 ～ 8月30日	12月21日～ 2月20日
玉野市	2月25日 ～ 12月1日	12月2日 ～ 2月24日	7月7日 ～ 9月14日	
笠岡市	3月1日 ～11月23日	11月24日～ 2月28日	7月4日 ～ 9月11日	1月21日 ～ 2月10日
井原市（旧市域）	3月2日 ～11月22日	11月23日～ 3月1日	7月5日 ～ 9月10日	1月21日 ～ 2月10日
井原市（旧美星町）	3月15日 ～ 11月6日	11月7日 ～ 3月14日	7月19日 ～ 8月24日	12月11日～ 2月28日
井原市（旧芳井町）	3月3日 ～11月21日	11月22日～ 3月2日	7月6日 ～ 9月9日	1月21日 ～ 2月10日
総社市（旧市域）	2月27日 ～11月23日	11月24日～ 2月26日	7月2日 ～ 9月10日	
総社市（旧山手村）	2月27日 ～11月23日	11月24日～ 2月26日	7月2日 ～ 9月10日	
総社市（旧清音村）	2月27日 ～11月23日	11月24日～ 2月26日	7月2日 ～ 9月10日	
高梁市（旧市域）	3月8日 ～11月12日	11月13日～ 3月7日	7月8日 ～ 9月2日	12月21日～ 2月20日
高梁市（旧有漢町）	3月11日 ～ 11月9日	11月10日～ 3月10日	7月12日 ～ 8月30日	12月11日～ 2月20日
高梁市（旧成羽町）	3月9日 ～11月11日	11月12日～ 3月8日	7月10日 ～ 9月1日	12月21日～ 2月20日
高梁市（旧川上町）	3月10日 ～ 11月11日	11月12日～ 3月9日	7月10日 ～ 8月31日	12月21日～ 2月20日
高梁市（旧備中町）	3月9日 ～11月11日	11月12日～ 3月8日	7月10日 ～ 9月1日	12月21日～ 2月20日
新見市（旧市域のうち千屋、千屋実、千屋花見及び千屋井原を除く）	3月13日 ～ 11月8日	11月9日 ～ 3月12日	7月18日 ～ 8月23日	12月11日～ 2月28日
新見市（旧市域のうち千屋、千屋実、千屋花見及び千屋井原）	3月27日 ～10月27日	1月28日 ～ 3月26日 10月28日～12月29日		12月1日 ～ 3月20日
新見市（旧大佐町）	3月22日 ～ 11月1日	11月2日 ～ 3月21日		12月11日～ 3月10日
新見市（旧神郷町）	3月15日 ～ 11月7日	11月8日 ～ 3月14日	7月22日 ～ 8月19日	12月11日～ 2月28日
新見市（旧哲多町）	3月14日 ～ 11月8日	11月9日 ～ 3月13日	7月19日 ～ 8月22日	12月11日～ 2月28日
新見市（旧哲西町）	3月18日 ～ 11月4日	11月5日 ～ 3月17日	7月28日 ～ 8月12日	12月11日～ 3月10日
備前市（旧市域）	3月5日 ～11月22日	11月23日～ 3月4日	7月8日 ～ 9月8日	1月21日 ～ 2月10日
備前市（旧日生町）	3月5日 ～11月22日	11月23日～ 3月4日	7月8日 ～ 9月8日	1月21日 ～ 2月10日
備前市（旧吉永町）	3月10日 ～11月12日	11月13日～ 3月9日	7月11日 ～ 8月31日	12月21日～ 2月20日
瀬戸内市（旧牛窓町）	3月5日 ～11月21日	11月22日～ 3月4日	7月9日 ～ 9月8日	1月21日 ～ 2月10日
瀬戸内市（旧邑久町）	3月5日 ～11月21日	11月22日～ 3月4日	7月9日 ～ 9月8日	1月21日 ～ 2月10日
瀬戸内市（旧長船町）	3月5日 ～11月21日	11月22日～ 3月4日	7月9日 ～ 9月8日	1月21日 ～ 2月10日
赤磐市（旧山陽町）	2月26日 ～11月22日	11月23日～ 2月25日	7月2日 ～ 9月10日	1月21日 ～ 1月31日
赤磐市（旧赤坂町）	3月10日 ～11月11日	11月12日～ 3月9日	7月10日 ～ 8月31日	12月21日～ 2月20日
赤磐市（旧熊山町）	3月9日 ～11月13日	11月14日～ 3月8日	7月10日 ～ 9月1日	12月21日～ 2月20日
赤磐市（旧吉井町）	3月10日 ～11月12日	11月13日～ 3月9日	7月11日 ～ 8月31日	12月21日～ 2月20日
真庭市（旧北房町）	3月13日 ～ 11月9日	11月10日～ 3月12日	7月17日 ～ 8月24日	12月11日～ 2月28日
真庭市（旧勝山町）	3月13日 ～ 11月8日	11月9日 ～ 3月12日	7月15日 ～ 8月27日	12月11日～ 2月28日
真庭市（旧落合町）	3月12日 ～ 11月9日	11月10日～ 3月11日	7月13日 ～ 8月28日	12月11日～ 2月20日
真庭市（旧湯原町）	3月23日 ～ 11月3日	11月4日 ～ 3月22日		12月11日～ 3月10日
真庭市（旧久世町）	3月13日 ～ 11月9日	11月10日～ 3月12日	7月14日 ～ 8月28日	12月11日～ 2月28日
真庭市（旧美甘村）	3月20日 ～ 11月2日	11月3日 ～ 3月19日	7月25日 ～ 8月15日	12月11日～ 3月10日
真庭市（旧川上村）	3月26日 ～10月30日	1月23日 ～ 3月25日 10月31日～ 1月6日		12月1日 ～ 3月20日
真庭市（旧八束村）	3月25日 ～10月31日	1月11日 ～ 3月24日		12月1日 ～ 3月20日
真庭市（旧中和村）	3月26日 ～10月30日	1月22日 ～ 3月25日 10月31日～ 1月7日		12月1日 ～ 3月20日

項　目	特　記　事　項

	打込みから材齢28日までの予想平均気温の範囲（普通ポルトランドセメント、混合セメントのA種）			寒中コンクリートの適用期間
	8℃以上	0℃以上8℃未満	25℃超	
	構造体強度補正値(S)(N/mm2)		構造体強度補正値(S)(N/mm2)	
	3	6	6	
美作市（旧勝田町）	3月13日 ～ 11月9日	11月10日～ 3月12日	7月15日 ～ 8月27日	12月11日～ 2月20日
美作市（旧大原町）	3月15日 ～ 11月7日	11月8日 ～ 3月14日	7月21日 ～ 8月21日	12月11日～ 2月28日
美作市（旧東粟倉村）	3月18日 ～ 11月5日	11月6日 ～ 3月17日	7月24日 ～ 8月18日	12月11日～ 2月28日
美作市（旧美作町）	3月11日 ～11月10日	11月11日～ 3月10日	7月12日 ～ 8月30日	12月21日～ 2月20日
美作市（旧作東町）	3月14日 ～ 11月8日	11月9日 ～ 3月13日	7月17日 ～ 8月25日	12月11日～ 2月28日
美作市（旧英田町）	3月10日 ～11月12日	11月13日～ 3月9日	7月12日 ～ 8月30日	12月21日～ 2月20日
浅口市（旧金光町）	2月28日 ～11月23日	11月24日～ 2月27日	7月4日 ～ 9月11日	1月21日 ～ 1月31日
浅口市（旧鴨方町）	3月1日 ～11月22日	11月23日～ 2月28日	7月5日 ～ 9月10日	1月21日 ～ 2月10日
浅口市（旧寄島町）	2月28日 ～11月23日	11月24日～ 2月27日	7月4日 ～ 9月11日	1月21日 ～ 1月31日
和気町（旧町域）	3月9日 ～11月13日	11月14日～ 3月8日	7月10日 ～ 9月1日	12月21日～ 2月20日
和気町（旧佐伯町）	3月9日 ～11月12日	11月13日～ 3月8日	7月10日 ～ 9月1日	12月21日～ 2月20日
早島町	2月27日 ～11月23日	11月24日～ 2月26日	7月2日 ～ 9月10日	
里庄町	3月1日 ～11月22日	11月23日～ 2月28日	7月5日 ～ 9月10日	1月21日 ～ 2月10日
矢掛町	3月1日 ～11月22日	11月23日～ 2月28日	7月5日 ～ 9月10日	1月21日 ～ 2月10日
新庄村	3月25日 ～10月28日	1月24日 ～ 3月24日 10月29日～ 1月4日		12月1日 ～ 3月20日
鏡野町（旧町域）	3月10日 ～11月10日	11月11日～ 3月9日	7月13日 ～ 8月30日	12月21日～ 2月20日
鏡野町（旧富村）	3月20日 ～ 11月2日	11月3日 ～ 3月19日	7月25日 ～ 8月15日	12月11日～ 3月10日
鏡野町（旧奥津町）	3月14日 ～ 11月7日	11月8日 ～ 3月13日	7月19日 ～ 8月24日	12月11日～ 2月28日
鏡野町（旧上齋原村）	3月27日 ～10月30日	1月25日 ～ 3月26日 10月31日～ 1月4日		12月1日 ～ 3月20日
勝央町	3月12日 ～11月10日	11月11日～ 3月11日	7月13日 ～ 8月29日	12月21日～ 2月20日
奈義町	3月16日 ～ 11月6日	11月7日 ～ 3月15日	7月19日 ～ 8月23日	12月11日～ 2月28日
西粟倉村	3月18日 ～ 11月5日	11月6日 ～ 3月17日	7月25日 ～ 8月17日	12月11日～ 2月28日
久米南町	3月13日 ～ 11月9日	11月10日～ 3月12日	7月15日 ～ 8月27日	12月11日～ 2月28日
美咲町（旧中央町）	3月10日 ～11月10日	11月11日～ 3月9日	7月13日 ～ 8月30日	12月21日～ 2月20日
美咲町（旧旭町）	3月12日 ～11月10日	11月11日～ 3月11日	7月12日 ～ 8月29日	12月21日～ 2月20日
美咲町（旧柵原町）	3月8日 ～11月12日	11月13日～ 3月7日	7月9日 ～ 9月2日	12月21日～ 2月20日
吉備中央町（旧加茂川町）	3月13日 ～ 11月9日	11月10日～ 3月12日	7月15日 ～ 8月27日	12月11日～ 2月28日
吉備中央町（旧賀陽町）	3月14日 ～ 11月7日	11月8日 ～ 3月13日	7月17日 ～ 8月25日	12月11日～ 2月28日

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

工 事 区 分 表

この表は、設計図等で示される一般工事範囲を補足するもので、特記なき限り、関連工事のとりあい部分についてその工事分担を示すものである。

項　目	内　容	建築	電気	機械	昇降機	外構	備品	別途	備　考
1．機械等の基礎	（1）機器用基礎（コンクリート打）	○							
	（2）屋上機器の基礎（コンクリート打）	○							
	（3）機器・配管用架台		○	○					
	（4）機器・水槽等アンカー及び穴明け補修			○					
	（5）機器荷重に伴う構造補強	○							
	（6）屋上基礎で押さえコンクリートにアンカーを要しない軽微なもの		○	○					
2．スリーブ及び補強	（1）各種配管用スリーブ（基礎・スラブRC造）		○	○					
	（2）各種配管用スリーブ（S造）		○	○					
	（3）スリーブ開口補強（基礎・スラブRC造）	○							
	（4）スリーブ開口補強（S部）	○							
	（5）衛生器具（大便器）取付用箱入れ								和便器無し
	（6）埋め込み型屋内消火栓等取付用箱入れ								LGS壁
	（7）各種箱入れ部分の補強	○							
	（8）外壁貫通スリーブ廻りの防水処理		○	○					
	（9）貫通穴及びダクト廻りの穴隙充填		○	○					
	（10）鉄骨耐火被覆穴埋補修		○	○					防火区画壁に接する柱梁に限る
	（11）デッキプレートの穴明け補修		○	○					
3．天井切込・壁及び補強	（1）埋込照明器具・スピーカー・空調換気用吹き出口等埋込器具類の天井下地補強	○							
	（2）ALC板・PC板・石・押出成形セメント板及び金属板等の穴明け・補修及び下地補強	○							
	（3）壁：LGS及びボード壁の穴明け		○	○					
	（4）壁：下地補強	○							
	（5）各設備穴明け用墨出し		○	○					
	（6）木材仕上げ材の器具廻り取合い								
	（7）吊ボルト及びインサート	○	○	○					※設備機器・器具・配管・配線・ダクト用は設備工事とする
4．改め口点検扉	（1）天井改め口	○							
	（2）各種シャフト点検口	○							
	（3）床点検口	○							
5．排水	（1）各種床排水金物			○					
	（2）壁付け手洗い流しの排水金物			○					
	（3）流し台（既製品）の排水金物	○							
	（4）屋外雑排水及び屋外汚水排水設備、桝及び桝蓋			○					
6．雨水排水	（1）ルーフドレイン	○							
	（2）地盤面までの屋外竪樋・雨水排水管	○							
	（3）地盤面からの横引き雨水排水管			○					
	（4）雨水桝及び敷地排水桝迄	○							
	（5）舗装用の側溝、雨水升					○			
	（6）中水槽　1次側電気配管配線工事								
	（7）中水槽　二次側電気配管配線制御盤工事								
	（8）中水槽　電極棒及び電動弁取り付け工事								
7．緑地灌水システム	（1）灌水ホース、コントローラー、電磁弁ボックス	○							
	（2）コントローラーの電源供給の内向引き込み								電源は電池式
	（3）コントローラーから電磁弁までの屋内配管と信号線								電源は電池式
	（4）電磁弁までの１次側給水			○					
8．既製間仕切り	（1）切り込み及び補強	○							設備ボックス配線等は埋込とし施工図を提出し承認を受けること（極力一般壁に設置すること）
	（2）設備器具ボックス		○	○					

項　目	内　容	建築	電気	機械	昇降機	外構	備品	別途	備　考
9．換気	（1）機器取付			○					
	（2）外壁・サッシに取り付けるガラリ及びダクト接続用フランジ	○							
	（3）同上接続用チャンバーボックス			○					
	（4）-1　ベントキャップ			○					
	（4）-2　ウェザーカバー			○					
	（5）ドア吸気用アンダーカット	○							
	（6）コントロール用スイッチ　（24H）		○	○					取付は電気工事
	（7）同上取付配管配線工事		○						
	（8）ON－OFFスイッチ		○						
	（9）同上取付配管配線工事		○						
	（10）サーモスタット取付			○					
	（11）同上取付配管配線工事		○						
	（12）窓付換気扇の下地	○							
	（13）壁付換気扇の開口補強	○							
	（14）壁付換気扇の枠取り付け	○							
	（15）天井換気扇　取付			○					
	（16）天井換気扇　スイッチ及び操作配管・配線		○						
	（17）ルーフファン取り付け								
10．空調	（1）機器取付・試運転・調整			○					
	（2）配管工事			○					
	（3）一次側電源工事		○						
	（4）室内機－室外機渡り配線工事			○					
	（5）リモコン配線工事			○					
	（6）同上呼び配管		○						
	（7）リモコン取付			○					
11．消火設備等	（1）消火器（表示板共）	○							
	（2）消火器収納ボックス	○							消火栓一体タイプは機械設備工事
	（3）消火水槽								
	（4）消火ポンプ								
	（5）消火栓及び配管工事								
	（6）避難器具								
12．発電機	（1）基礎工事								
	（2）移送ポンプユニット								
	（3）液面表示用制御ケーブル、配管配線								
	（4）油管（一次側、二次側）								
	（5）オイルタンク								
13．昇降機	（1）昇降路、機械室の築造、鉄骨補強材	○							
	（2）各階出入口三方枠及び位置表示器・乗場ボタン取付け用口部の仮枠穴開け				○				
	（3）三方枠・出入口扉				○				
	（4）ピットの防水仕上げ	○							
	（5）電源及び接地線工事		○						
	（6）機械室・ピットの点検用コンセント		○						
	（7）電源引込み工事		○						

項　目	内　容	建築	電気	機械	昇降機	外構	備品	別途	備　考
14．便所廻り	（1）洗面カウンター			○					
	（2）鏡			○					
	（3）衛生陶器及び水栓類			○					
	（4）ペーパーホルダー			○					
	（5）その他ベビーチェアー、折たたみベッド等			○					
	（6）ライニング（面台）	○							
	（7）器具取付壁及びトイレブースの補強	○							
	（8）身障者用手摺			○					
15．湯沸室廻り授乳室	（1）キッチン本体	○							
	（2）衛生給排水管及び水栓類			○					
	（3）電気温水器本体			○					
	（4）ミニキッチン用換気扇			○					
	（5）ベビーベッド　イス（家具類）						○		
16．厨房設備	（1）厨房機器	○							※取合調整を行うこと
	（2）同上給排水管・ガス管・製ぎ込み			○					
	（3）同上電源コンセント・配管配線		○						
	（4）フード及びフードへのダクト接続			○					
17．事務室廻り	（1）フリーアクセスフロアーの切込み	○							
	（2）フリーアクセスフロア用マーカー	○							
18．建具・電気取合	（1）建具に取りつく電気錠	○							※制御盤取付位置は協議により決定すること
	（2）制御盤及び電源供給		○						自閉装置までの接続を含む（レリーズ共）
	（3）電動シャッターの制御盤・検出器の取り付け及び配管・配線								
	（4）自動ドアへの電源供給＋スイッチ		○						
19．その他特殊設備	（1）太陽電池モジュール及び鋼製架台								※将来工事
	（2）パワーコンディショナー、計測監視装置ディスプレー								
	（3）同上配線配管工事								
	（4）急速充電器　本体工事		○						
	（5）同上配線配管工事		○						
21．外構	（1）敷地周囲擁壁						○		※土木先行工事
	（2）敷地周囲フェンス	○							
	（3）その他、舗装、雨水排水、植栽工事	○							
20．その他	（1）カーテンボックス・ブラインドボックス	○							
	（2）カーテンレール	○							
	（3）カーテン・ブラインド	○							
	（4）間接照明ボックス	○							
	（5）電話機・交換機の取り付け						○		
	（6）サイン本体及び取り付け	○							
	（7）防犯機器及び取り付け・配線						○		
	（8）同上空配管		○						
	（9）その他将来用空配管		○						
	（10）時計						○		
	（11）LAN		○						
	（12）Wi-Fi設備						○		
	（13）インターフォン取り付け・配線								
	（14）設計図書に記載無き家具工事						○		※取合調整を行うこと

株式会社 黒川建築設計事務所

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	工事区分表		2025/03	A-08	武村	竹波	竹波	竹波

1．工事概要

工事名称	瀬戸内市産業振興拠点施設(仮称)	建築主	瀬戸内市長　武久　顯也
工事場所	地名・地番 〒701-4221　岡山県瀬戸内市邑久町尾張282-2　外2筆	住所・氏名	〒701-4292　岡山県瀬戸内市邑久町尾張300-1　電話番号：0869-22-1111（代表）
工事種別	[新築]・増築・改築・大規模の修繕・大規模の模様替・改修・用途変更	工期	着工　令和7年 6月 1日（予定）
主要用途	事務所		竣工　令和8年 6月 1日（予定）
その他	―		期間　約 12ヶ月

2．敷地概要

敷地面積	公簿 ・ [実測]　2,388.95 ㎡（722.66坪）
用途地域	都市計画区域（市街化区域・市街化調整区域・区域区分非設定）・準都市計画区域・[都市計画区域外]
	第1種低層住専・第2種低層住専・第1種中高層住専・第2種中高層住専・第1種住居・第2種住居・準住居・近隣商業・商業・準工業・工業・工業専用 [無指定地域]
防火地域	防火・準防火・法22条指定区域・[対象区域外]
その他の地域地区	―
建蔽率	なし
容積率	なし
日影規制	なし
その他	接道不要　西側前面道路：10.36～11.95m/県道瀬西大寺線、東側前面道路：4.13～4.96m/市道宮後線、南側道路：用水路3.38～3.42m ＋ 市道駅前中村線

3．構造・規模

構造	木造・鉄筋コンクリート(RC)造・鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)造・[鉄骨(S)造]・コンクリートブロック(CB)造・軽量鉄骨造・その他（　　）				
構造形式	[ラーメン]・壁式・立体トラス・シェル・折板・その他（　　）	耐火性能	建築物	耐火建築物・[準耐火建築物]・その他の建築物	
基礎	地盤支持（ベタ・布・独立）　杭支持（RC杭・PC杭・鋼管杭）		主要構造部	耐火構造・準耐火構造・[不燃材料]・その他	
階数	2階建て	最高高さ	11.5 m	最高軒高	9.0 m

4．面積

	階数＼建物	建物1					合計
床面積	1階	821.720 ㎡					821.720 ㎡
	2階	724.380 ㎡					724.380 ㎡
	合計	1,546.100 ㎡					1,546.100 ㎡
建築面積							853.870 ㎡
容積率		％ ＜ 指定なし					
建蔽率		％ ＜ 指定なし					

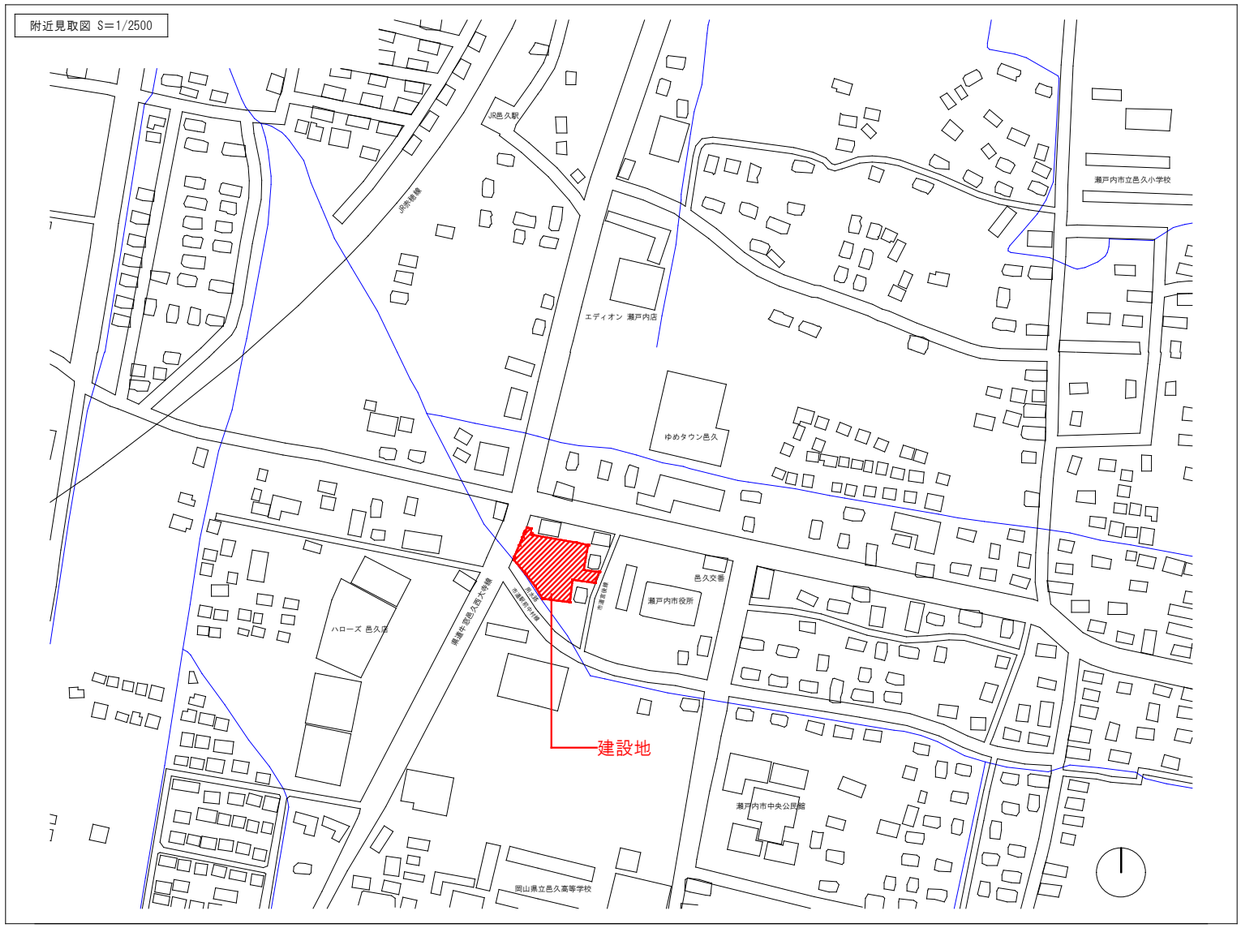
5．関係法令一覧

■	建築基準法	確認申請・構造適合性判定	□	医療法		都道府県条例		
■	都市計画法	開発許可申請　(別途)	□	防災計画書		■	岡山県福祉のまちづくり条例	届出不要
■	消防法	消防設備等計画届	□	公害防止法		□	岡山県がけ条例	建築の制限に関する条例：3条2項四号
□	道路法		■	食品衛生法				
□	河川法		□	危険物		その他指導要綱		
□	バリアフリー新法		■	屋外広告物	第2種許可地域	□	瀬戸内市景観条例	高さ 13m又は建築面積 1,000 ㎡を超えるもの　非該当
■	省エネ法	【確認申請時適合義務】	□	浄化槽法	人槽算定			
■	文化財保護法	要調査（別途）						

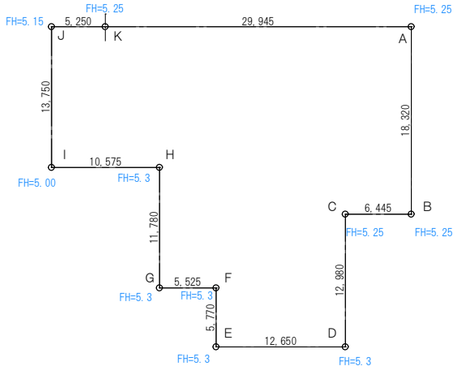
6．設備概要

■	給水	瀬戸内市上水道	■	環境設備	ＬＥＤ照明、太陽光パネル、他省エネ設備
■	汚水・雑排水	瀬戸内市下水道	■	防災設備	
■	雨水排水	用水路へ放流			
■	ガス	ＬＰＧ利用			
■	換気	第３種機械換気	7．消防設備概要		
■	排煙設備	500㎡以上	■	消防設備	複合用途防火対象物：16項(ロ)　特定用途部分：ホール、飲食
■	非常用の照明装置	1000㎡を超える建物の居室		誘導灯、カーテン等の防炎措置、消火器具、自動火災報知設備、非常用放送	

附近見取図 S＝1/2500



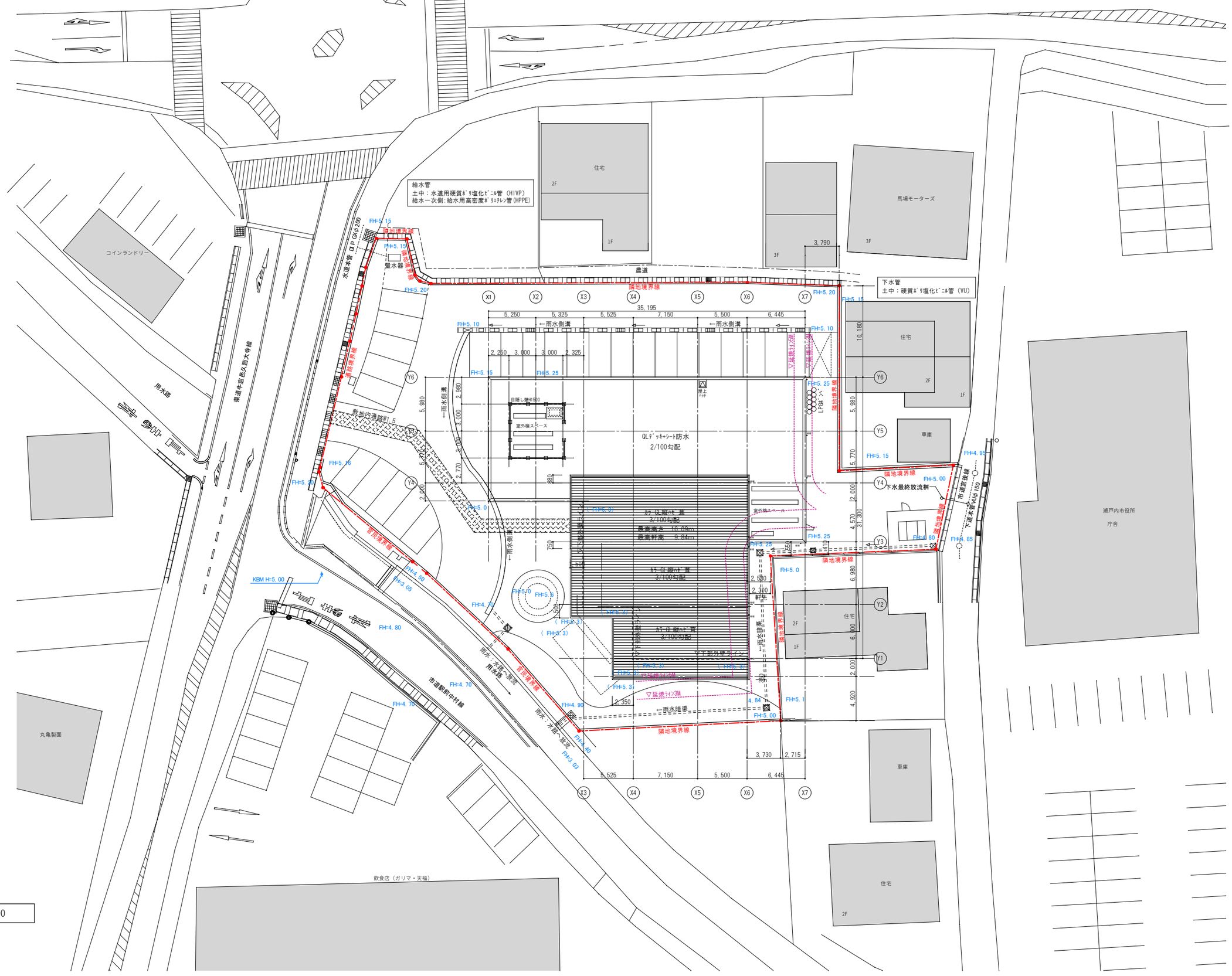
平均地盤算定図 S＝1/400



測点			高さ		平均高さ	長さ	面積
A	～	B	5.250	5.250	5.250	18.320	96.180000
B	～	C	5.250	5.250	5.250	6.445	33.836250
C	～	D	5.250	5.300	5.275	12.980	68.469500
D	～	E	5.300	5.300	5.300	12.650	67.045000
E	～	F	5.300	5.300	5.300	5.770	30.581000
F	～	G	5.300	5.300	5.300	5.525	29.282500
G	～	H	5.300	5.300	5.300	11.780	62.434000
H	～	I	5.300	5.000	5.150	10.575	54.461250
I	～	J	5.000	5.150	5.075	13.750	69.781250
J	～	K	5.150	5.250	5.200	5.250	27.300000
K	～	A	5.250	5.250	5.250	29.945	157.211250
合計						132.990	696.582000
総面積÷総長さ							5.237852
平均地盤面							5.240

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	建築概要・附近見取図	A1：S=1/400, 2500	2025/03	A-09	武村	竹波	竹波	竹波
		平均地盤算定図	A3：S=1/800, 5000						

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号



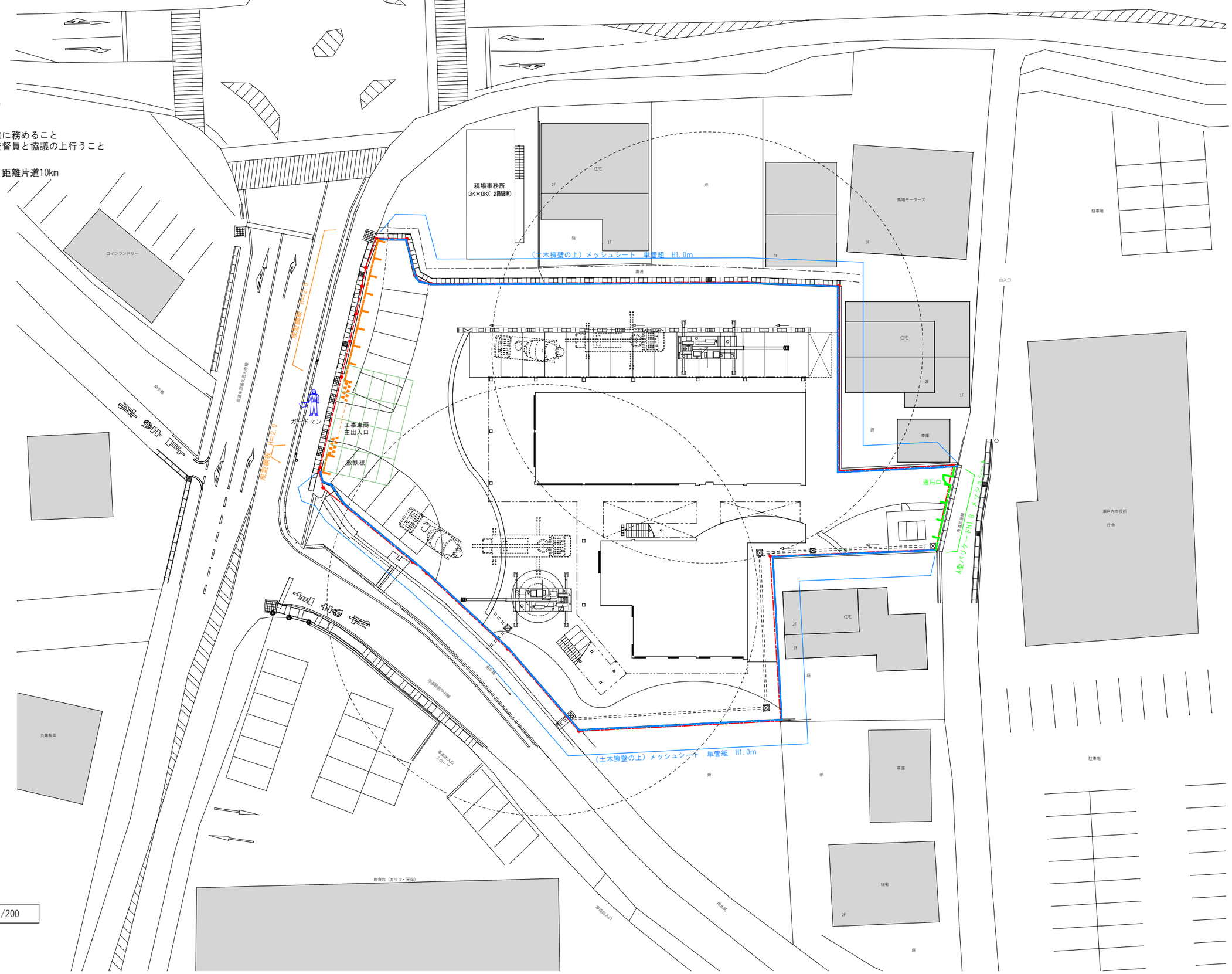
配置図　S=1/200

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	配　置　図	A1：S=1/200 A3：S=1/400	2025/03	A-10	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

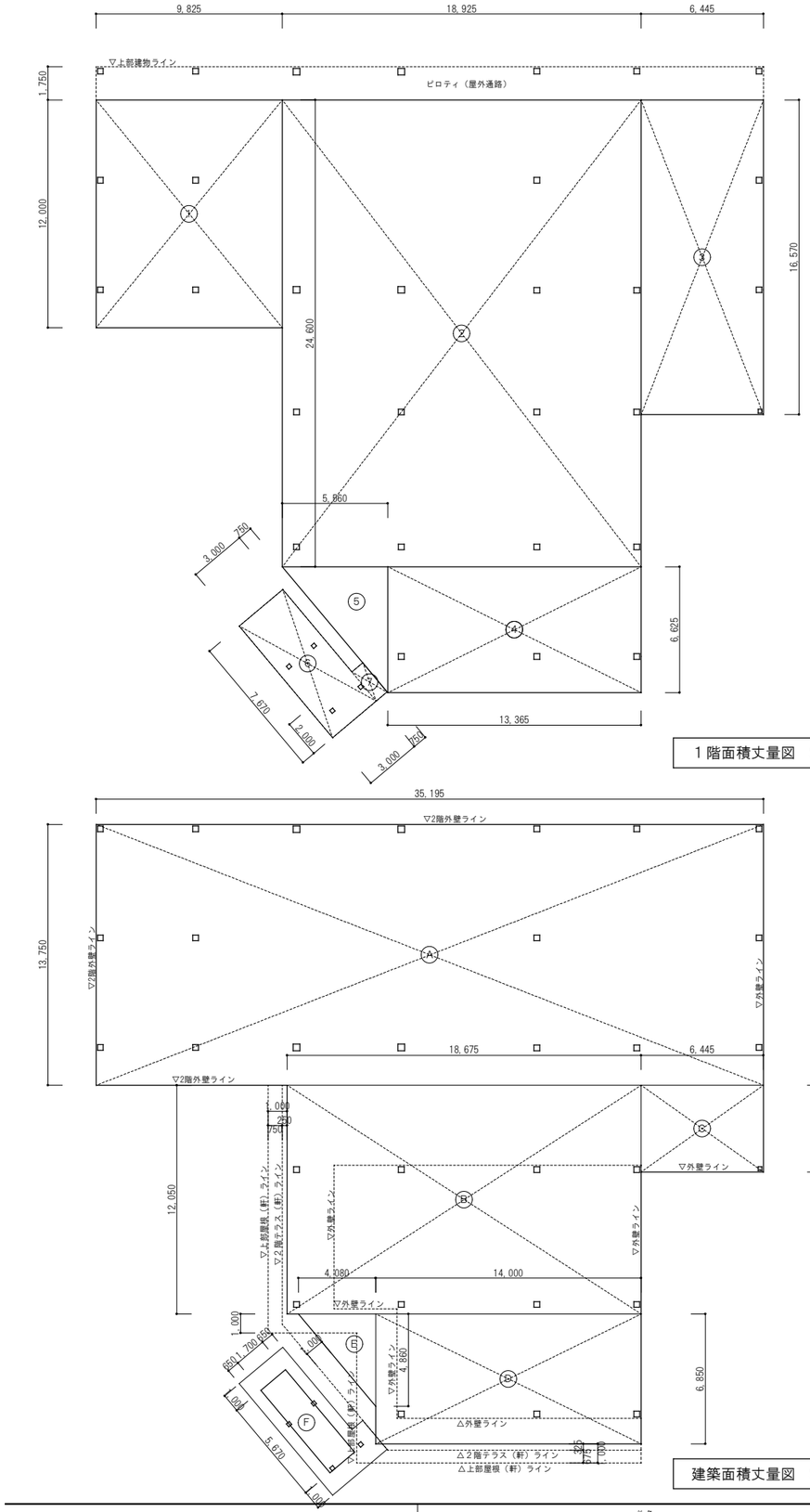
工事出入口に交通誘導員を常時配置すること
特記なき範囲の建物垂直養生は、メッシュシートとする
敷鉄板を適宜設け、土工事中等の粉塵を抑えること
生コン車等は、右折禁止するなどの配慮に務めること
通学の時間帯は、極力大型車両の出入を避けるよう配慮に務めること
上記時間帯にやむを得ない事情がある場合は、事前に監督員と協議の上行うこと

残土について、市所有地（邑久町尻海）仮置可とする　距離片道10km



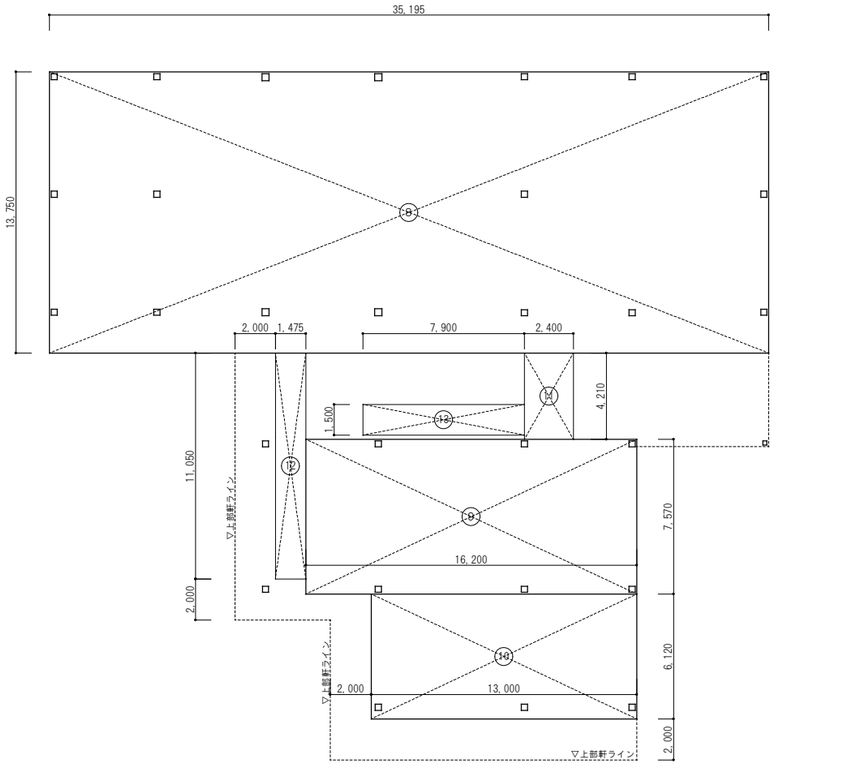
仮設計画図　S=1/200

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	仮　設　計　画　図	A1：S=1/200 A3：S=1/400	2025/03	A-11	武村	竹波	竹波	竹波	



1階面積丈量図　S=1/150

建築面積丈量図　S=1/150



2階面積丈量図　S=1/150

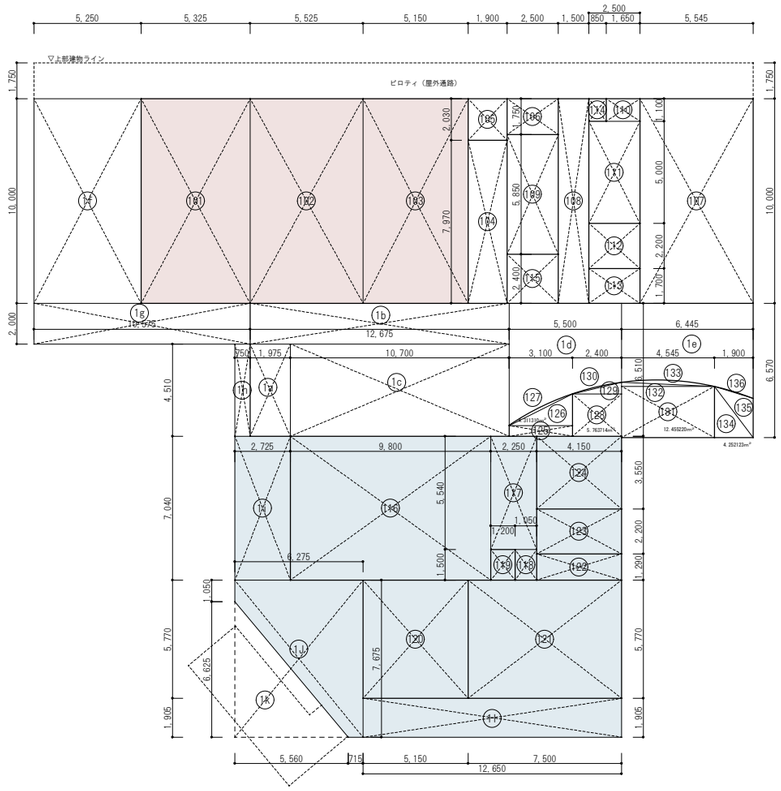
番号	横	縦	乗数	面積	
1	9.825	12.000		117.900000	
2	18.925	24.600		465.555000	
3	6.445	16.570		106.793650	
4	13.365	6.625		88.543125	
5	5.560	6.625	0.5	18.417500	
6	3.000	7.670		23.010000	
7	0.750	2.000		1.500000	
1階床面積				821.719275	821.720

番号	横	縦		面積	
8	35.195	13.750		483.931250	
9	16.200	7.570		122.634000	
10	13.000	6.120		79.560000	
11	2.400	4.210		10.104000	
12	1.475	11.050		16.298750	
13	7.900	1.500		11.850000	
2階床面積				724.378000	724.380

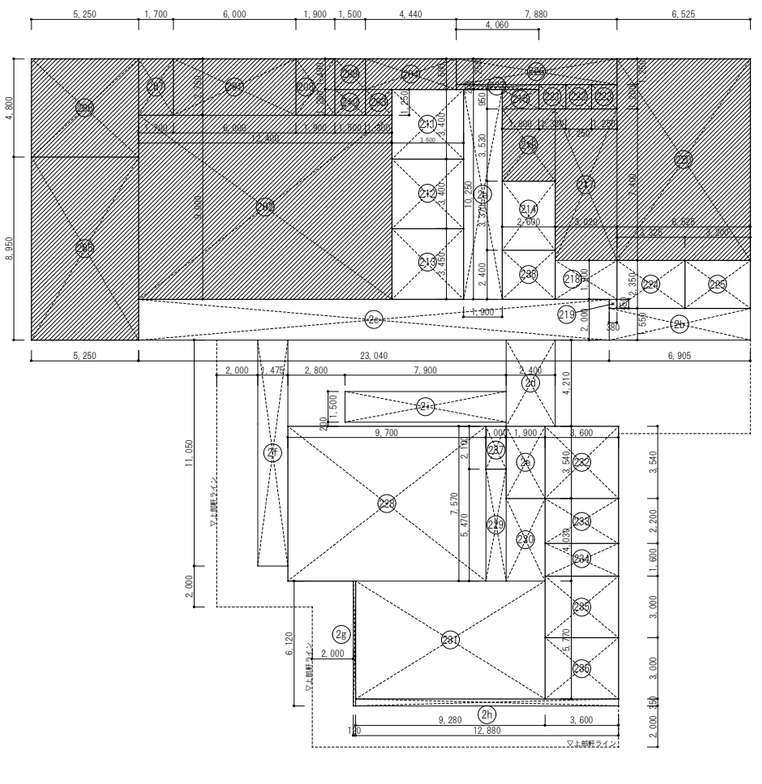
延べ床面積	1,546.097275	1546.100	屋外階段を除く面積　1,521.590
内　屋外大階段　床面積　6+7	24.510000	24.510	

番号	横	縦		面積	
A	35.195	13.750		483.931250	
B	18.675	12.050		225.033750	
C	6.445	4.570		29.453650	
D	14.000	6.850		95.900000	
E	4.080	4.860	0.5	9.914400	
F	1.700	5.670		9.639000	
建築面積				853.872050	853.870

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	面積表1	A1：S=1/150 A3：S=1/300	2025/03	A-12	武村	竹波	竹波	竹波	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号



1階面積丈量図　S=1/150



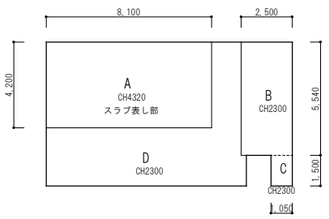
2階面積丈量図　S=1/150

階数	室名	番号	横	縦	乗数	面積		天井高
1階	平土間HALL-1	101	5.325	10.000		53.250000	53.250	4.320
	平土間HALL-2	102	5.525	10.000		55.250000	55.250	4.320
	平土間HALL-3	103	5.150	10.000		51.500000	51.500	4.320
	倉庫	104	1.900	7.970		15.143000	15.140	2.500
	講師控室	105	1.900	2.030		3.857000	3.860	2.500
	ごみ庫	106	2.500	1.750		4.375000	4.380	2.500
	多目的倉庫	107	5.545	10.000		55.450000	55.450	4.320
	通路	108	1.500	10.000		15.000000	15.000	2.500
	WWC	109	2.500	5.850		14.625000	14.630	2.500
	MWC	110	1.650	1.100		1.815000		
		111	2.500	5.000		12.500000	14.320	2.500
	HWC	112	2.500	2.200		5.500000	5.500	2.500
	授乳室	113	2.500	1.700		4.250000	4.250	2.500
	SK	114	0.850	1.100		0.935000	0.940	2.500
	EV	115	2.500	2.400		6.000000	6.000	–
	地域交流スペース	116	9.800	7.040		68.992000		
		117	2.250	5.540		12.465000		
		118	1.050	1.500		1.575000	83.030	3.170
	更衣室	119	1.200	1.500		1.800000	1.800	2.500
	ワークスペース1	120	5.150	5.770		29.715500	29.720	2.400
	ワークスペース2	121	7.500	5.770		43.275000	43.280	2.400
	収納庫	122	4.150	1.290		5.353500	5.350	2.500
	フードファクトリー2	123	4.150	2.200		9.130000	9.130	2.400
	フードファクトリー1	124	4.150	3.550		14.732500	14.730	2.400
	予備室	125						
		126						
	※CAD計測	127				4.311310	4.310	2.300
	しごとイノベーション事務室	128						
		129						
		130				5.763714		
		131						
		132						
	※CAD計測	133				12.455220	18.220	2.300
	メールボックス	134						
		135						
	※CAD計測	136				4.252123	4.250	2.300
	屋外							
	自由通路（西）	1a	1.975	4.510		8.907250		
		1b	12.675	2.000		25.350000	34.260	
	自由通路（階段吹抜）	1c	10.700	4.510		48.257000	48.260	
	自由通路（東）	1d	5.500	6.510		35.805000		
	【125～130合計】					-10.075024		
		1e	6.445	6.570		42.343650		
	【131～136合計】					-16.707343	51.370	
	ピロティ（屋外）	1f	5.250	10.000		52.500000		
		1g	10.575	2.000		21.150000		
		1h	0.750	4.510		3.382500	77.030	
	テラス（屋外）	1i	2.725	7.040		19.184000		
		1j	6.275	7.675		48.160625		
		1k	5.560	6.625	-0.5	-18.417500		
		1l	12.650	1.905		24.098250	73.030	
	合計					797.209275	797.210	

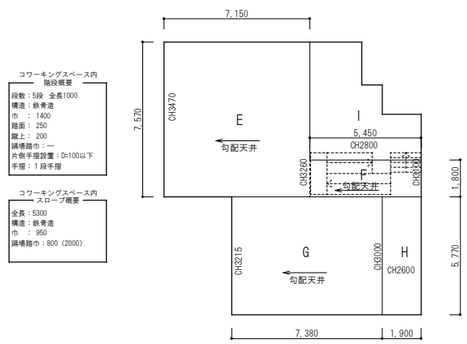
階数	室名	番号	横	縦		面積		天井高
2階	事務室1	201	6.900	5.750		39.675000		
		202	12.400	9.000		111.600000		
		203	1.300	1.150		1.495000		
		204	4.440	1.500		6.660000	39.430	2.600
	応接室	205	5.250	8.950		46.987500	46.990	2.500
	打合室1	206	5.250	4.950		25.987500	25.990	2.500
	倉庫1	207	1.700	2.750		4.675000	4.680	2.500
	印刷室	208	1.900	2.750		5.225000	5.230	2.500
	倉庫2	209	1.500	1.560		2.340000	2.340	2.500
	倉庫3	210	1.500	1.260		1.890000	1.890	2.500
	小会議室1	211	3.500	3.400		11.900000	11.900	2.800
	小会議室2	212	3.500	3.400		11.900000	11.900	2.800
	小会議室3	213	3.500	3.450		12.075000	12.080	2.800
	小会議室4	214	2.600	3.370		8.762000	8.760	2.800
	事務室8　倉庫1	215	1.900	0.950		1.805000		
		216	2.900	4.530		13.137000		
		217	2.250	3.700		8.325000		
		218	2.250	900		2.025000		
		219	0.380	3.450		0.131000	39.150	2.500
	事務室8　倉庫2	220	6.525	9.850		64.271250	64.270	2.500
	倉庫室5	221	1.320	1.200		1.584000	1.580	2.500
	倉庫室4	222	1.200	1.200		1.440000	1.440	2.500
	倉庫室3	223	1.200	1.200		1.440000	1.440	2.500
	WWC	224	3.325	2.350		7.813750	7.810	2.500
	MWC	225	3.200	2.350		7.520000	7.520	2.500
	通路2	226	1.900	1.250		2.375000		
		227	6.900	4.250		29.325000	39.670	2.600
	コワーキングスペース	228	9.700	7.570		73.429000		
		229	1.000	5.470		5.470000		
		230	1.900	4.030		7.657000		
		231	9.280	5.770		53.545600	140.100	3.150
	小会議室5	232	3.600	3.540		12.744000	12.740	2.800
	共用ロッカー室	233	3.600	2.200		7.920000	7.920	2.500
	OAスペース	234	3.600	1.600		5.760000	5.760	2.500
	小会議室6	235	3.600	3.000		10.800000	10.800	2.600
	小会議室7	236	3.600	3.000		10.800000	10.800	2.600
	WC	237	1.000	2.100		2.100000	2.100	2.500
	EV	238	2.600	2.400		6.240000	6.240	–
	屋外							
	通路	2a	1.900	10.250		19.475000	19.480	
	屋外通路	2b	6.905	1.550		10.702750		
		2c	23.040	2.000		46.080000		
		2d	2.400	4.210		10.104000		
		2e	1.900	3.540		6.726000		
		2f	1.475	11.050		16.298750		
		2g	0.120	6.120		0.734400		
		2h	12.880	0.350		4.508000	95.150	
	階段	2i	7.900	1.500		11.850000	11.850	
	合計					724.378000	724.380	

▨ 補助対象外　201～210、215～223、226、227　341.490

集会場用途	101～103	160.000000	160.000
飲食店用途	116～124 ＋ 1i～1l	260.063875	260.060
その他用途（事務所）		377.145400	377.150 ┐ 合計
屋外階段下（A12図参照）		24.510000	24.510 ┘ 401.660



地域交流ｽﾍﾟｰｽ
平均天井高　丈量図



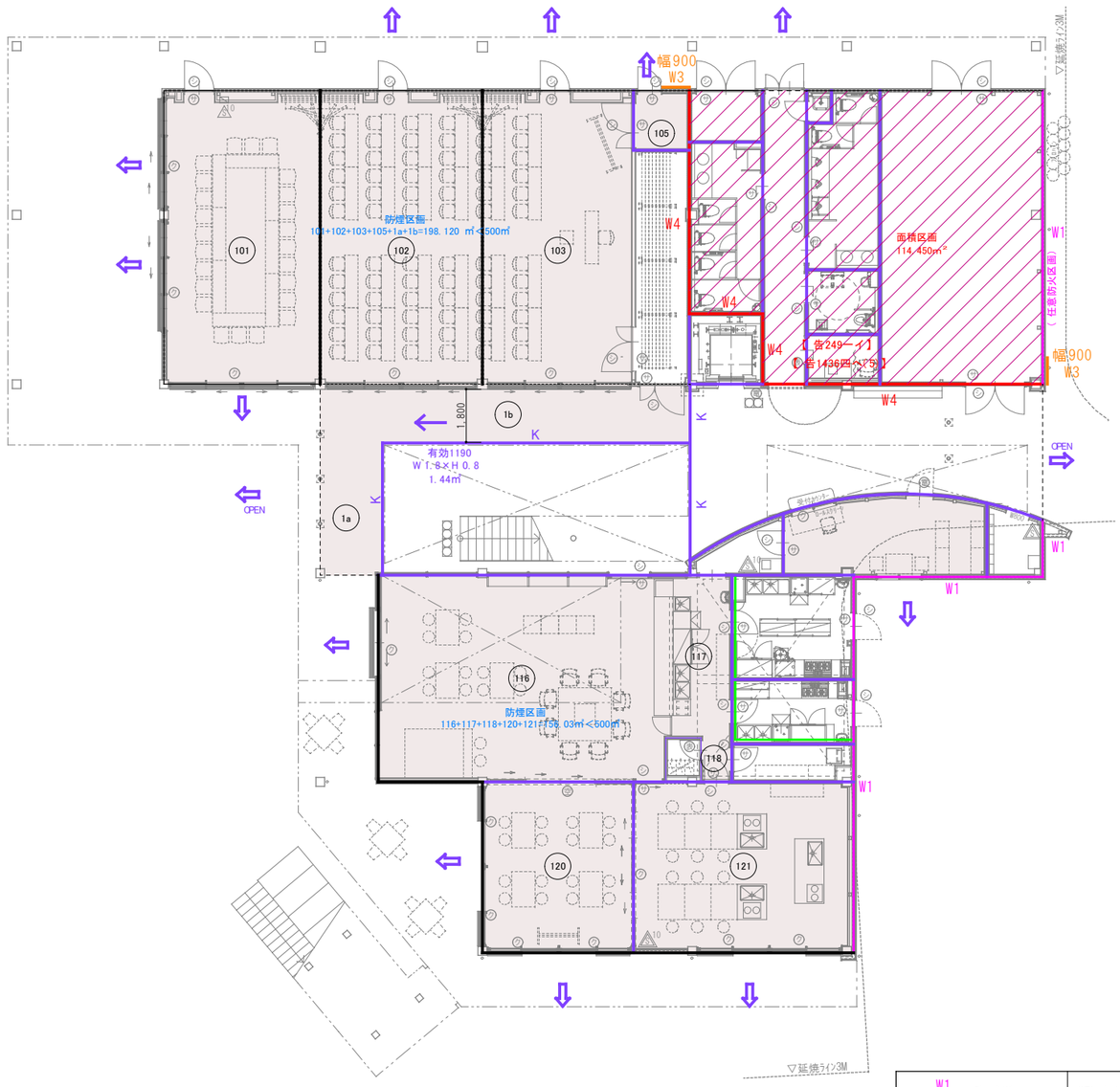
コワーキングスペース
平均天井高　丈量図

階数	室名	番号	横	縦	面積	CH1	CH2	乗数	気積	
1階	地域交流スペース	A	8.100	4.200	34.020000	4.320			146.9664000	
		B	2.500	5.540	13.850000	2.300			31.8550000	
		C	1.050	1.500	1.575000	2.300			3.6225000	
		D			33.585000	2.400			80.6040000	
	全体面積				83.030000				263.0479000	
						平均CH			3.1681067	3.170

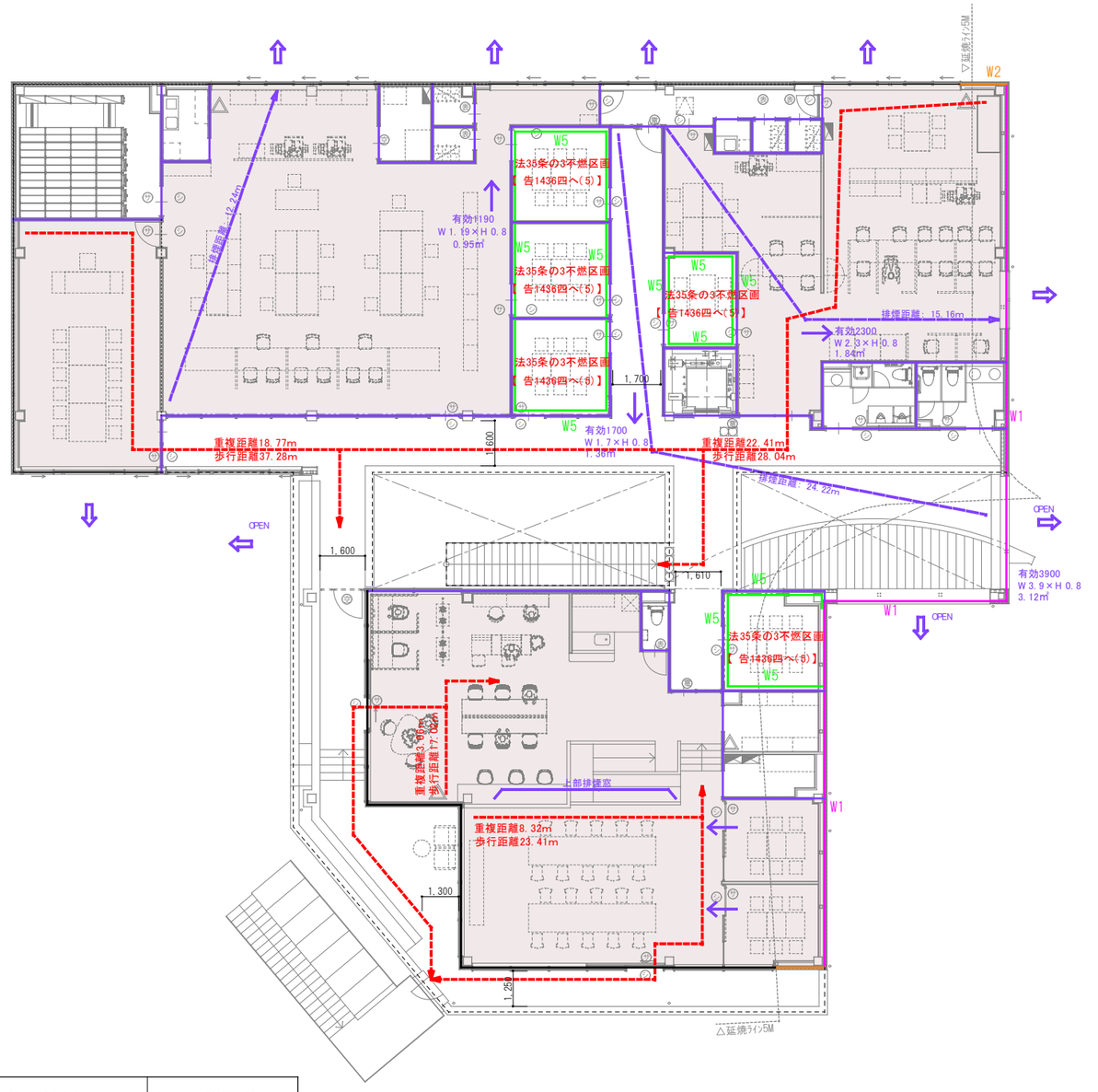
階数	室名	番号	横（幅）	縦（長さ）	面積	CH1	CH2	乗数	気積	
2階	コワーキングスペース	E	7.150	7.570	54.125500	3.470	3.260	0.5	182.1323075	
		F	5.450	1.800	9.810000	3.260	3.100	0.5	31.1958000	
		G	7.380	5.770	42.582600	3.215	3.000	0.5	132.3254295	
		H	1.900	5.770	10.963000	2.600			28.5038000	
		I			22.618900	2.800			63.3329200	
	階段　加算		1.400	1.000	(1.400000)	0.000	1.000	0.5	0.7000000	
	スロープ　加算		0.900	5.300	(4.770000)	0.000	1.000	0.5	2.3850000	
	スロープ踊場　加算		0.800	2.000	(1.600000)	0.000	1.000	0.5	0.8000000	
	全体面積				140.100000				441.3752570	
						平均CH			3.1504301	3.150

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	面積表２（各室）	A1：S=1/150 A3：S=1/300	2025/03	A-13	武村	竹波	竹波	竹波	

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号



1階法的確認図　S=1/100



2階法的確認図　S=1/100

W1 防火構造	K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(ｶﾗｰGL鋼板) t=0.4 + GB t =12.5+9.5	防火構造：PC030NE-0044
W2 防火構造（一部）	K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(ｶﾗｰGL鋼板) t=0.4 内側ロックウール吹付 t =35	耐火構造：FP060NE-9305
W3 ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ	K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ(ｶﾗｰGL鋼板) t=0.4 内側ロックウール吹付 t =35	耐火構造：FP060NE-9305
W4 面積区画	GB（F）t=12.5 + GB t=9.5(両面貼) + 軽量鉄骨下地　（外部は胴縁C-100×50×20×2.3下地）	耐火構造：国交省告示195号 第１第二号ハ（第一号ハ（5））
W5 法第35 条の３	天井裏　スラブ迄GB t =12.5片面張り上げ	不燃
排煙区画壁	防煙垂壁：天井面より50cm以上 防煙壁：GB t=12.5+9.5 + ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼(不燃) or FK t=6.0	不燃
K 排煙区画（可動）	防煙垂壁：天井面より80cm以上 SS-1、SS-2、SS-3（不燃シート）	不燃
⇦	排煙窓位置	

・建築基準法施行令第112条第20項に規定する耐火構造等の防火区画等を不燃材料の配管が貫通する場合は、その隙間をロックウール不燃材で埋める。
・建築基準法施行令第112条第21項に規定する耐火構造等の防火区画等をダクトが貫通する場合は、防火ダンパー(FD)を設置する。
・防火区画等に接する柱梁は１時間耐火被覆を設ける。

株式会社 黒川建築設計事務所

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	法的確認図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	A-14	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

外　部　仕　上　表

R 階 屋 上	・平場：合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水t1.5（機械式固定） 立上り、笠木共(接着固定) ・R階屋上笠木W350:ｶﾗｰGL鋼板t0.5
屋上目隠し壁	・目隠し壁H1500　外壁B同材 ・基礎：塗膜防水X2 + ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え ・設備基礎・設備ﾓﾆﾀｰ：塗膜防水X2 + ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
屋　根	・ｶﾗｰGL鋼板 t0.4縦ﾊｾﾞ葺き(3/100勾配) + ｺﾞﾑｱｽ系ｼｰﾄ + 野地板　t18(硬質木片ｾﾒﾝﾄ板t18) （軒先共通)ｶﾗｰGLﾍﾞﾀﾙ加工　（下地共通）垂木 C-100 x 50 x 20 x 2．3@606以内

軒　裏	・軒裏：化粧木毛ｾﾒﾝﾄ板（塗装品） 下地LGS25 ・軒裏下端見切：外壁同材曲げ加工
外　壁	・外壁A　主に東面　（延焼ラインにかかる防火構造） K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張（ｶﾗｰGL鋼板）+透湿防水シート　+GB12.5+9.5 ・外壁B　一般部 K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張（ｶﾗｰGL鋼板）+透湿防水シート（外壁表しの多目的倉庫はシート無し） （下地共通）横胴縁:C-100 x 50 x 20 x 2．3@606以内(※1818毎にﾀﾞﾌﾞﾙ) ・立上：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修 撥水材塗布　・水切：外壁同材曲げ加工
断　熱	・天井裏ｸﾞﾗｽｳｰﾙ24K t100数　　・一部ｽﾗﾌﾞ裏(1階軒天)：硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑt25吹付 ・外壁：胴縁内ｸﾞﾗｽｳｰﾙ24K t100 ・土間下：押出法ｷﾞﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ t25敷

樋	・縦樋:ｶﾗｰGL鋼板　φ89（一部114）　・軒樋：ｶﾗｰGL　角型W165 ・横引きﾄﾞﾚﾝ：鋳鉄製 ・縦引きﾄﾞﾚﾝ：鋳鉄製
自由通路（2F） 有料テラス	・床：防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．5張 +塗膜防水X-2 ・植栽帯:ｼﾞｬｶｺﾞﾌﾞﾗﾝｶｰﾎﾞｯｸｽ　・潅水設備(潅水ﾎｰｽ+電池式ﾀｲﾏｰ付) ・手摺:St溶融亜鉛ﾒｯｷ　TOP人工木ﾃﾞｯｷ ・軒裏:化粧木毛ｾﾒﾝﾄ板（塗装品）　一部：ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張　GB t9．5下地
自由通路（1F）	・床：透水性ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装t80(車両用) + ｸｼｮﾝ材砂t20 +再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝﾌｨﾙﾀｰ層t150 ・ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄﾗｯｸ ・軒裏：化粧木毛ｾﾒﾝﾄ板（塗装品）

開　口　部	・ｱﾙﾐ製ｻｯｼｭ　・掃出窓下:Stｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ溶融亜鉛ﾒｯｷ(細目)T-2 ・ｽﾁｰﾙﾄﾞｱ
屋 外 大 階 段	・踏面裏面:St-PL 溶融亜鉛ﾒｯｷ ・踏面：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押え+表面強化材　一部人工木ﾃﾞｯｷ ・化粧ｻﾔﾊﾗ:St-PL　鉄部表し部 溶融亜鉛ﾒｯｷ ・構造鉄部表し部 溶融亜鉛ﾒｯｷの上、常温亜鉛ﾒｯｷ塗装
内　部　階　段	・踏面裏面:St-PL 溶融亜鉛ﾒｯｷ　踏面:ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押え 防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．5張 ・ｻﾔﾊﾗ:St-PL 溶融亜鉛ﾒｯｷ ・排煙下がり壁(電動)

内　部　仕　上　表　区画壁がある場合は、区画壁の上に仕上げとする　　ピットは、ケイ酸質系塗布防水とする

階	室名	床 仕上	床 下地	床取合（幅木） 仕上	床取合（幅木） H	壁 下地	壁 仕上	壁 不燃性能	天井 下地	天井 仕上	天井 不燃性能	天井 C	天井 H	天井 廻縁	備考
1階	平土間ＨＡＬＬ	表面強化材塗布 ﾓﾙﾀﾙt3．0金ｺﾃ押え 化粧目地切	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	準不燃	LGS	ﾃﾞｯｷ表し(錆止塗装) ｸﾞﾚｰ色	不燃	—	—	スライディングウォール カーテン 見掛柱鉄部 DP塗	
	倉　庫	表面強化材塗布 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え 化粧目地切	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	GBt12．5(素地) 一部耐火壁GB表し	不燃	LGS	GB-D t9．5張	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製突付		
	講師控室	表面強化材塗布 ﾓﾙﾀﾙt3．0金ｺﾃ押え 化粧目地切	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	準不燃	LGS	GB-D t9．5張	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製突付		
	ゴ　ミ　庫	表面強化材塗布 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 床材塗上	100	LGS	FKt6．0 EP塗 GB-St12．5下地	不燃	LGS	FKt6．0 EP塗	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製突付		
	多目的倉庫	表面強化材塗布 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え 化粧目地切	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 床材塗上	100	LGS	外壁裏面表し 一部耐火壁GB表し	不燃	LGS	ﾃﾞｯｷ表し(錆止塗装) ｸﾞﾚｰ色 一部：LGS19@225(ﾙｰﾊﾞｰ)	不燃	—	—	見掛鉄部 錆止塗装	
	通　路	表面強化材塗布 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 撥水材塗布	100	LGS	FKt6．0 EP塗 GB-St12．5下地	不燃	LGS	FKt6．0 EP塗	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製突付		
	Ｈ　Ｗ　Ｃ	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0(防汚)張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	FKt6．0 EP塗 GB-St12．5下地	不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製巾目	ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台	
	Ｗ　Ｗ　Ｃ	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0(防汚)張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	FKt6．0 EP塗 GB-St12．5下地	不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製巾目	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台	
	Ｍ　Ｗ　Ｃ	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0(防汚)張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え 一部汚垂石張	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	FKt6．0 EP塗 GB-St12．5下地	不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製巾目	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台	
	Ｓ　Ｋ	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0(防汚)張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	FKt6．0 EP塗 GB-St12．5下地	不燃	LGS	GB-D t9．5張	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製突付	棚板、ﾌｯｸ掛け ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台	
	授　乳　室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0(防汚)張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 一部FKt6．0 EP塗 GBt12．5+9．5下地	不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製巾目	ｶｰﾃﾝ 流し台	
	メールボックス	表面強化材塗布 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 撥水材塗布	100	LGS	FKt6．0 EP塗 GB-St12．5下地	不燃	LGS	GB-D t9．5張	不燃	2，300	塩ﾋﾞ製突付	集合郵便ﾎﾞｯｸｽ 見掛柱鉄部SOP塗	
	しごと ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ事務所	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	準不燃	LGS	GB-D t9．5張	不燃	2，300	塩ﾋﾞ製突付	ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ 見掛柱鉄部SOP塗	
	予　備　室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	FKt6．0 EP塗 GB-St12．5下地	不燃	LGS	GB-D t9．5張	不燃	2，300	塩ﾋﾞ製突付	流し台 見掛柱鉄部SOP塗	
	地域交流スペース	表面強化材塗布 ﾓﾙﾀﾙt3．0金ｺﾃ押え 化粧目地切	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 一部EP塗 GBt12．5+9．5下地	準不燃	LGS	化粧木毛ｾﾒﾝﾄ板（塗装品） 一部:ﾃﾞｯｷ表し(錆止塗装) ｸﾞﾚｰ色	準不燃	3，200 一部2，500	底目	ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ、鏡棚 見掛柱鉄部 DP塗 ﾗｳﾝﾗﾝﾊﾞｰｺｱUC塗	
	カフェスペース	表面強化材塗布 ﾓﾙﾀﾙt3．0金ｺﾃ押え 化粧目地切	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	内装用ﾀｲﾙ張 GBt12．5下地	準不燃	LGS	GBt9．0+12．5 EP塗	準不燃	2，300	塩ﾋﾞ製底目	厨房設備 ｷｯﾁﾝｶｳﾝﾀｰ	
	フードファクトリー １　・　２	表面強化材塗布 ﾓﾙﾀﾙt3．0金ｺﾃ押え 化粧目地切	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 床材塗上	100	LGS	FKt6．0 EP塗 GB-St12．5下地	不燃	LGS	FKt6．0 EP塗	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製突付	厨房設備	
	収　納　庫	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	FKt6．0 EP塗 GB-St12．5下地	不燃	LGS	GB-D t9．5張	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製突付	床点検口	
	更　衣　室	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	不燃	LGS	GB-D t9．5張	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製突付		
	ワークスペース１	表面強化材塗布 ﾓﾙﾀﾙt3．0金ｺﾃ押え 化粧目地切	—	—	—	—	—	—	LGS	化粧木毛ｾﾒﾝﾄ板（塗装品）	準不燃	2，500	底目	ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ 見掛柱鉄部 DP塗	
	ワークスペース２	表面強化材塗布 ﾓﾙﾀﾙt3．0金ｺﾃ押え 化粧目地切	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	準不燃	LGS	化粧木毛ｾﾒﾝﾄ板（塗装品）	準不燃	2，500	底目	ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ 厨房設備 見掛柱鉄部 DP塗	

階	室名	床 仕上	床 下地	床取合（幅木） 仕上	床取合（幅木） H	壁 下地	壁 仕上	壁 不燃性能	天井 下地	天井 仕上	天井 不燃性能	天井 C	天井 H	天井 廻縁	備考
2階	事　務　室　Ａ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7．0張 0Aﾌﾛｱt40	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	準不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	不燃	2，800	塩ﾋﾞ製巾目	横型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ 見掛柱鉄部 DP塗	
	応　接　室	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7．0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	準不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	不燃	2，800	塩ﾋﾞ製巾目	ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝｶﾞﾗｽﾌｨﾙﾑ 横型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ 見掛柱鉄部 DP塗 ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝｶﾞﾗｽﾌｨﾙﾑ	
	可動書庫	表面強化材塗布 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え 化粧目地切	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	GBt12．5(素地)	不燃	LGS	GB-D t9．5張	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製突付	可動書架 見係柱鉄部SOP塗	
	湯沸室Ａ	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0(防汚)張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	FKt6．0 EP塗 GB-St12．5下地	不燃	LGS	GB-D t9．5張	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製突付	IHﾐﾆｷｯﾁﾝL1200	
	印　刷　室	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7．0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製巾目		
	更衣室 Ｍ１・Ｗ１	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	不燃	LGS	GB-D t9．5張	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製突付		
	小会議室 １・２・４	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7．0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	不燃	2，800	塩ﾋﾞ製巾目	ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝｶﾞﾗｽﾌｨﾙﾑ	
	事　務　室　Ｂ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7．0張 0Aﾌﾛｱt40	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	準不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	準不燃	2，800	塩ﾋﾞ製巾目	受付ｶｳﾝﾀｰ	
	事　務　室　Ｃ	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7．0張 0Aﾌﾛｱt40	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	準不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	準不燃	2，800	塩ﾋﾞ製巾目	横型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	
	待合１・２	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7．0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え 一部0Aﾌﾛｱt40	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	準不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	準不燃	2，800	塩ﾋﾞ製巾目	横型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ、ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝｶﾞﾗｽﾌｨﾙﾑ	
	通　路　１	防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．5張 +塗膜防水X-2 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 塗膜防水X-2	100	LGS	FKt6．0 EP塗 GB-St12．5下地	不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	不燃	2，800	塩ﾋﾞ製巾目		
	通　路　２	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	不燃	2，800	塩ﾋﾞ製巾目		
	湯沸室Ｂ	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0(防汚)張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	FKt6．0 EP塗 GB-St12．5下地	不燃	LGS	GB-D t9．5張	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製突付	流し台L750	
	更衣室 Ｍ２・Ｗ２	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	不燃	LGS	GB-D t9．5張	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製突付		
	Ｗ　Ｗ　Ｃ	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0(防汚)張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	FKt6．0 EP塗 GB-St12．5下地	不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製巾目	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台	
	Ｍ　Ｗ　Ｃ	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0(防汚)張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え 一部汚垂石張	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	FKt6．0 EP塗 GB-St12．5下地	不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製巾目	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台	
	コ・ワーキング スペース	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7．0張 0Aﾌﾛｱt40	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	準不燃	LGS	化粧木毛ｾﾒﾝﾄ板（塗装品） ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	準不燃	勾配天井 2，800 2，600	塩ﾋﾞ製巾目	ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ 階段ｽﾛｰﾌﾟ（木製組） 木製ｶｳﾝﾀｰ、流し台	
	小会議室 ３・５	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7．0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	不燃	2，800	塩ﾋﾞ製巾目	ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ (ITV)	
	小会議室 ６・７	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7．0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	準不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	不燃	2，600	塩ﾋﾞ製巾目	ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ (ITV) ｶﾞﾗｽﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	
	共用ロッカー室	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7．0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製巾目		
	ＯＡスペース	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7．0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	ﾋﾞﾆﾙクロス張 GBt12．5+9．5下地	不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製巾目		
	Ｗ　Ｃ	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0(防汚)張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え	C	ﾋﾞﾆﾙ製	40	LGS	FKt6．0 EP塗 GB-St12．5下地	不燃	LGS	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9．0張 GBt9．5下地	不燃	2，500	塩ﾋﾞ製巾目	ﾗｲﾆﾝｸﾞ面台	

特　記　事　項

※防火区画壁及び遮音壁の仕様・位置については別紙記載に従う。

特記事項
・室内に於ける内装材(下地を含む)は、極力VOC(揮発性有機化合物)を含まない、或は低減された材料を選択すること。 その際、対策の詳細が解る資料を監督員に提出すること。
・断熱などで使用するグラスウールは、24kg／m3を標準とする。
・本工事で使用するステンレス材は、特記無き限りSUS304とする。
・家具、建具枠その他備品等を取り付ける部分には取付用補強下地を行う。
・床下地はコンクリート金ゴテ直押え(A種）とし、コンクリート打設時に押える。
・外部に取付ける金物等の雨掛り部周囲はシール材を充填する。
・天井下地は特記なき限り軽量鋼製下地とする。(外部は25型とする)
・コンクリート打放し面に直接仕上を行なう場合、塗装、吹付面は全面補修を行う。
・特記なきコンクリート配筋はD10@200タテヨコ　ダブルとする。
・建築基準法28条の2にかかる建築材料の使用は、特記なき限りF☆☆☆☆認定品若しくは規制対象外とする。
・床磁器質タイルの目地用モルタルは、吸水率の低い材料を用いる。
・床仕上げは引き渡し前に、ワックス掛けを行う。
・下地区分　　C：鉄筋コンクリート下地、コンクリートブロック下地 S：軽量鉄骨下地　　W：木造下地　　M：モルタル塗り下地
※1F土間下は、押出法ｷﾞﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ t=25敷とする。(屋外は除く)
※防火区画壁の仕様・位置については別紙記載に従う。

略号	名称	規格番号
GB	石膏ボード（GB－R）	JIS A6901
GB	石膏ボード（GB－R）	JIS A6901
GB－D	化粧石膏ボード	
GB（S）	耐水石膏ボード（GB－S）	JIS A6901
FK	繊維混入珪酸カルシウム板	JIS A5430
	化粧木毛ｾﾒﾝﾄ板（塗装品）	
GB（F）	強化石膏ボード（GB－F）	JIS A6901
	ロックウール化粧吸音板	JIS A6301
	ビニルクロス	

防火材料認定番号	略号	名称
t=12．5　NM-8619	SOP	合成樹脂調合ペイント塗
t= 9．5　NM-0441	CL	クリヤラッカー塗
t= 9．5　NM-1864	FE	フタル酸樹脂エナメル塗
t=12．5　NM-9639	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗
t= 6．0　NM-8578	AE	アクリル樹脂エナメル塗
t=14．0　QM-9020	EP－G	ツヤ有合成樹脂エマルションペイント塗
NM-8615	EP	合成樹脂エマルションペイント塗
NM-8599	UC	ウレタン樹脂ワニス塗
NM-2216同等	DP	耐候性塗料塗　（ポリウレタン樹脂塗料）

略号	名称
外装薄塗材E	薄付け仕上塗材　外装合成樹脂エマルション系
内装薄塗材E	薄付け仕上塗材　内装合成樹脂エマルション系
外装厚塗材E	厚付け仕上塗材　外装合成樹脂エマルション系
外装セメント系	厚付け仕上塗材　外装セメント系
内装セメント系	厚付け仕上塗材　内装セメント系
複層塗材CE	複層仕上塗材　ポリマーセメント系
複層塗材E	複層仕上塗材　合成樹脂エマルション系
複層塗材Si	複層仕上塗材　珪酸質系
複層塗材RE	複層仕上塗材　反硬化形合成樹脂エマルション系

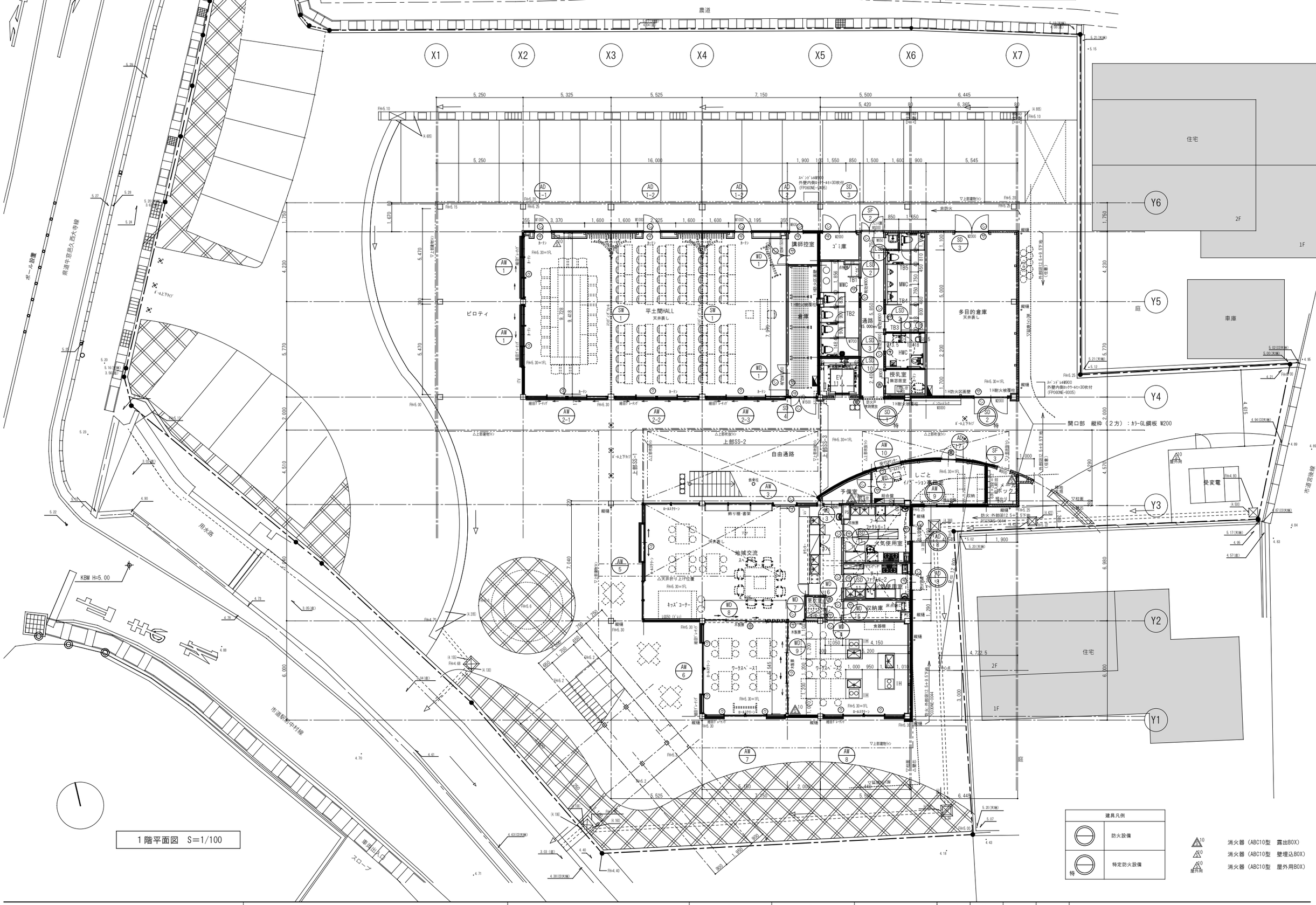
仕　上　材　特　記（全て同等品とする）

ﾓﾙﾀﾙt3．0 金ｺﾃ押え	日本化成㈱ NPﾌﾛｱﾊｰﾄﾞ	化粧木毛ｾﾒﾝﾄ板（塗装品）	竹村工業㈱　ﾚｲｳｯﾄﾞ	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．0(抗菌)	東ﾘ㈱ 消臭NSﾄﾚﾙ	縦樋：ｶﾗｰGL φ89、114	㈱ﾆﾁﾊｳｼﾞﾝｸﾞｳｪｱ:丸たてどい 89、114		
		ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7．0	東リGA-100Ⅲ（ｼｯﾄｳﾌﾟﾛｯｸ）	防湿性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2．5	東ﾘ㈱ NSシート NS800	軒樋：ｶﾗｰGL 角型W165	㈱ﾆﾁﾊｳｼﾞﾝｸﾞｳｪｱ:HACO GH12号		
		0Aﾌﾛｱt40	ﾀｷﾗｲｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ エコユニットフロア H40SP　3000N			透水性ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装(車両用)	㈱ﾆｺﾝ ｾｰﾌﾃｨﾍﾟｲﾌﾞ透水80　200*200		

件名	図面	縮尺	日付	図面No．	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	仕上表	-	2025/03	A-15	武村	竹波	竹波	竹波

株式会社 黒川建築設計事務所

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL．086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX．086-234-0166
武村　耕輔　　一級建築士事務所登録　第12621号



1階平面図　S=1/100

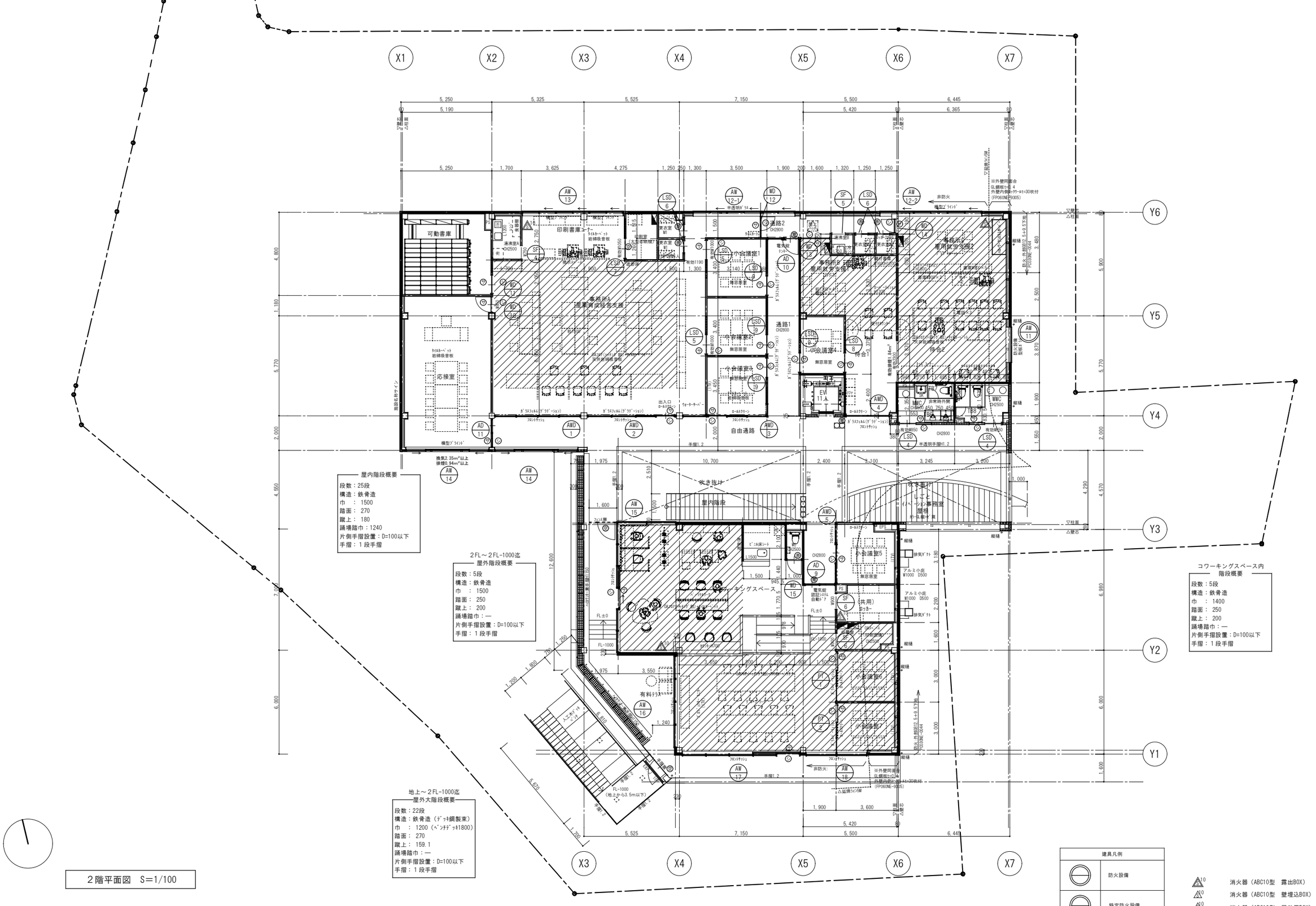
建具凡例	
	防火設備
特	特定防火設備

10	消火器（ABC10型　露出BOX）
10	消火器（ABC10型　壁埋込BOX）
10 屋外用	消火器（ABC10型　屋外用BOX）

株式会社 黒川建築設計事務所

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	1階平面図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	A-16	武村	竹波	竹波	竹波



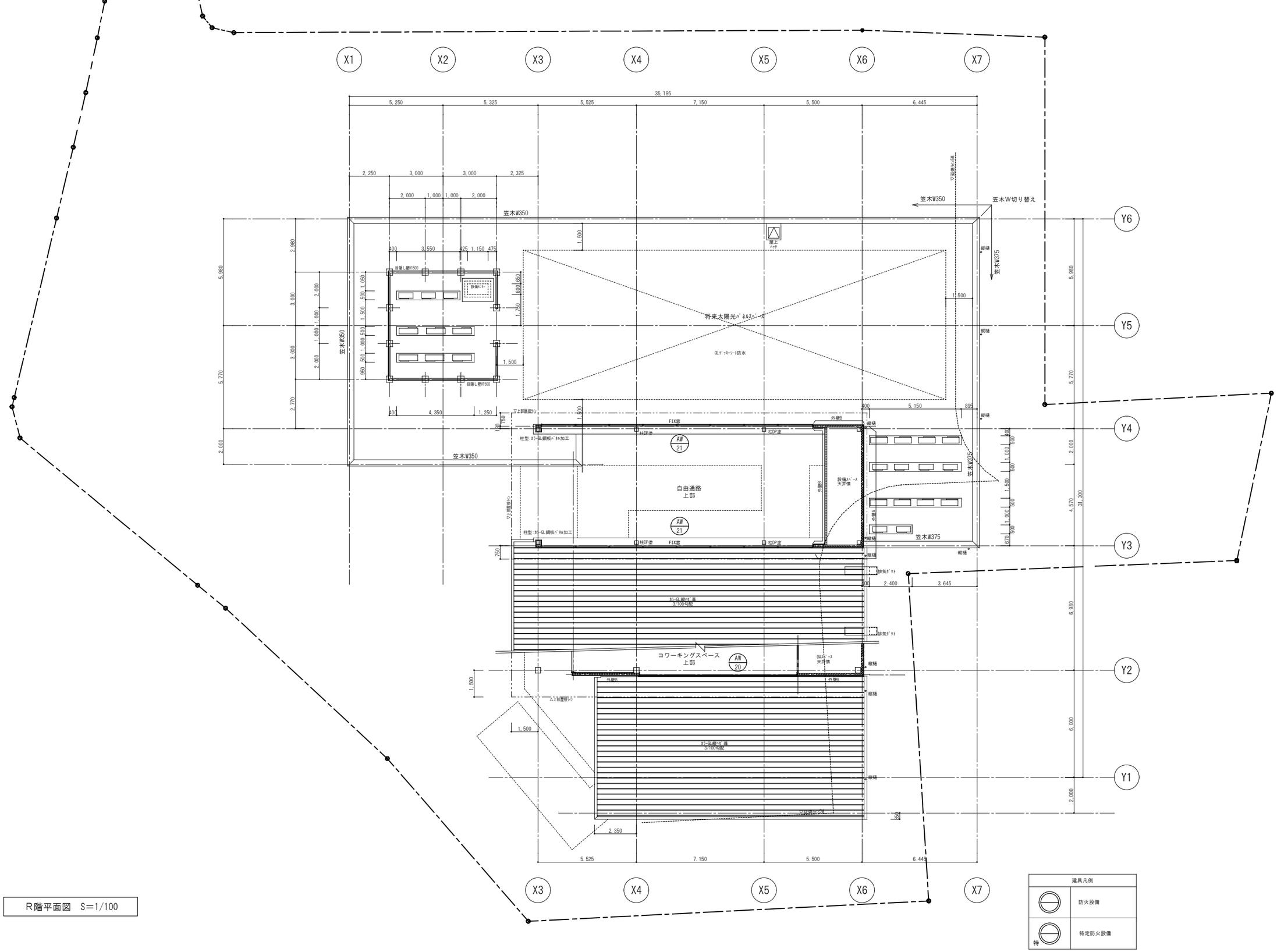
２階平面図　S=1/100

建具凡例	
防火設備	
特定防火設備	

消火器（ABC10型　露出BOX）
消火器（ABC10型　壁埋込BOX）
消火器（ABC10型　屋外用BOX）

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	２階平面図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	A-17	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

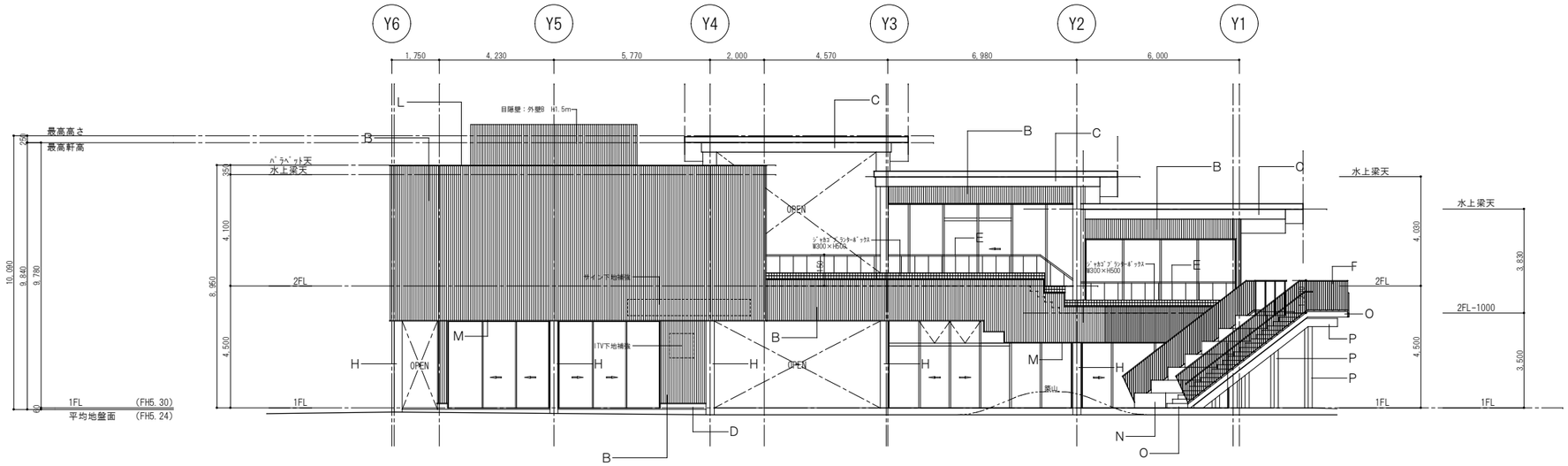


R階平面図　S=1/100

建具凡例	
	防火設備
特	特定防火設備

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	R階平面図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	A-18	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

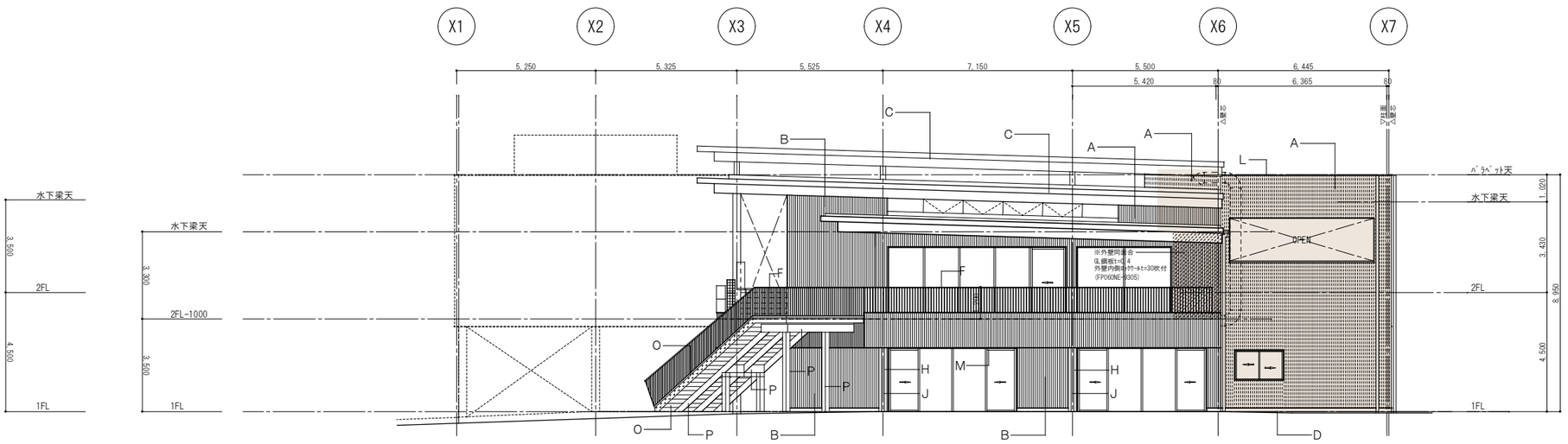


西立面図　S=1/100

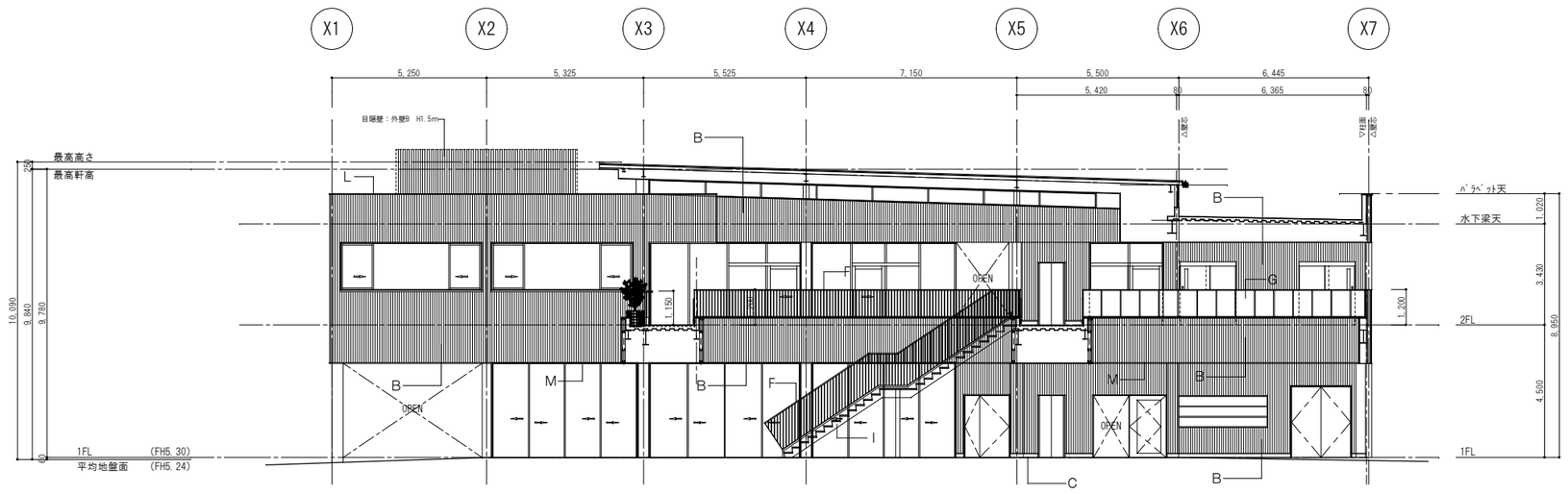
外部仕上げ

A	外壁A	K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張（ｶﾗｰGL鋼板） +GB12.5+9.5 防火構造
B	外壁B	K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t=0.4縦貼（ｶﾗｰGL鋼板）
C	軒先	ｶﾗｰGLﾍﾟﾈﾙ加工
D	根回り・腰壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修の上撥水材塗布
E	手摺3	St溶融亜鉛ﾒｯｷ TOP人工木ﾃﾞｯｷ
F	手摺1	St溶融亜鉛ﾒｯｷ 縦格子
G	手摺2	ｶﾞﾗｽ不透明
H	鉄骨柱	耐候性塗料塗 DP3級
I	鉄骨階段	溶融亜鉛ﾒｯｷ
J	軒樋	ｶﾗｰGL 角型W165
K	縦樋	ｶﾗｰGL φ89
L	笠木	ｶﾗｰGL鋼板
M	下隠水切	ｶﾗｰGL鋼板
N	屋外大階段	人工木ﾃﾞｯｷ
O	屋外大階段	化粧ｻｻﾗ 蹴上踏板PL 溶融亜鉛ﾒｯｷ
P	屋外大階段	構造鉄骨表し部 溶融亜鉛ﾒｯｷの上、常温亜鉛ﾒｯｷ塗装

延焼ライン範囲を示す



南立面図　S=1/100

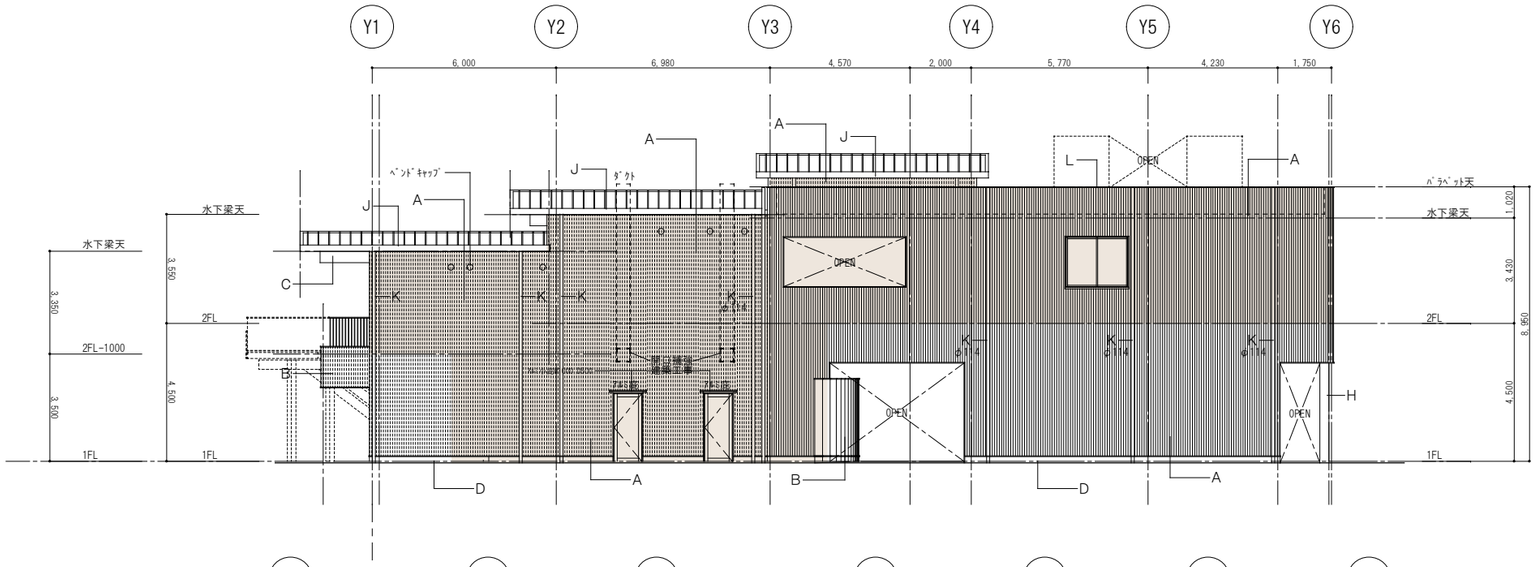


自由通路南立面図　S=1/100

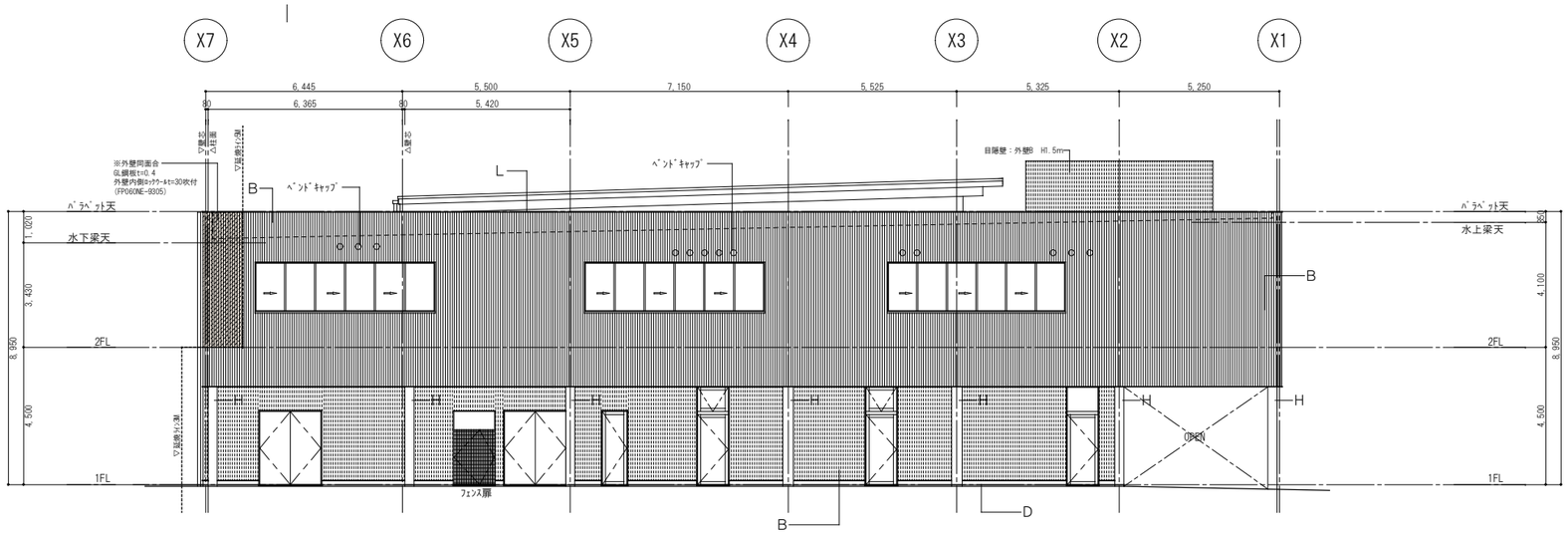
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	立面図1	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	A-19	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

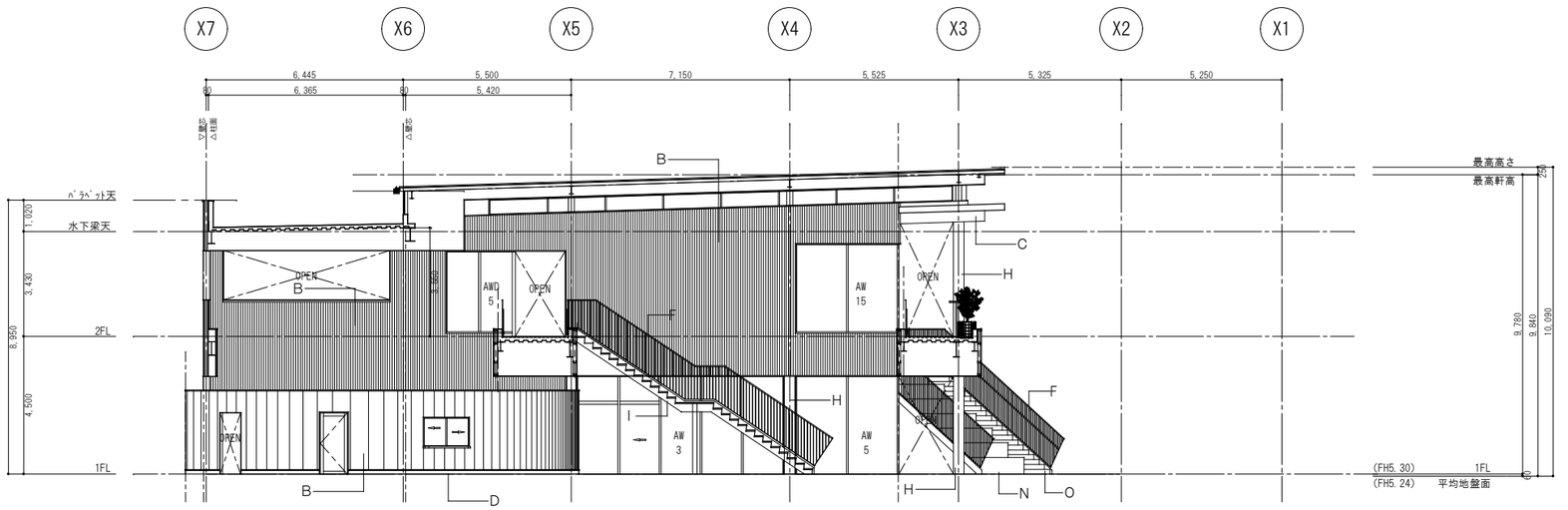
東立面図　S=1/100



北立面図　S=1/100



自由通路北立面図　S=1/100



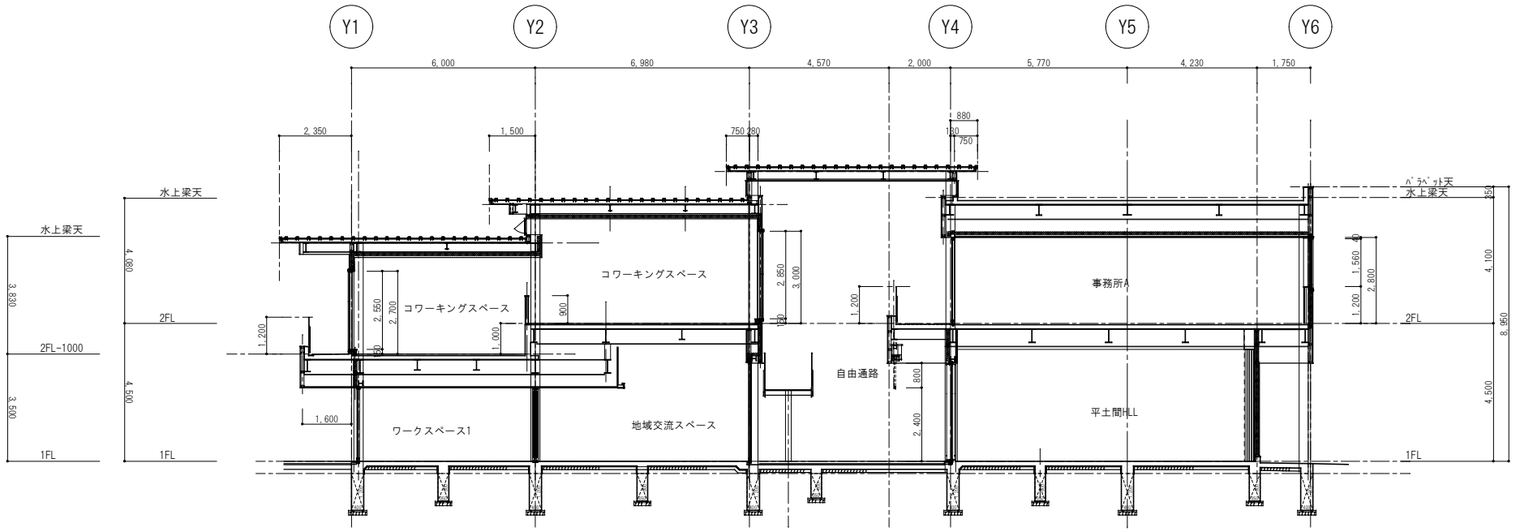
外部仕上げ

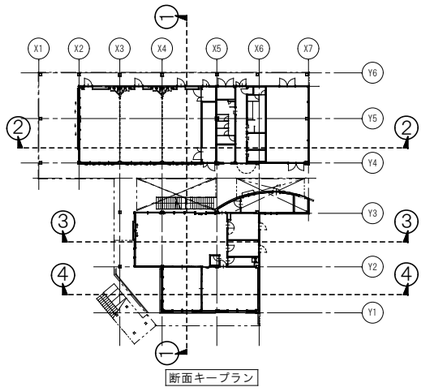
A	外壁A	K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張 (ｶﾗｰGL鋼板) +GR12.5+9.5 防火構造
B	外壁B	K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t=0.4縦貼 (ｶﾗｰGL鋼板)
C	軒先	ｶﾗｰGLﾍﾟﾈ加工
D	根回り・腰壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修の上撥水材塗布
E	手摺3	St溶融亜鉛ﾒｯｷ TOP人工木ﾃﾞｯｷ
F	手摺1	St溶融亜鉛ﾒｯｷ 縦格子
G	手摺2	ｶﾞﾗｽ不透明
H	鉄骨柱	耐候性塗料塗 DP3級
I	鉄骨階段	溶融亜鉛ﾒｯｷ
J	軒樋	ｶﾗｰGL 角型W165
K	縦樋	ｶﾗｰGL φ89 (一部114)
L	笠木	ｶﾗｰGL鋼板
M	下腰水切	ｶﾗｰGL鋼板
N	屋外大階段	人工木ﾃﾞｯｷ
O	屋外大階段	化粧ｻｻﾗ 蹴上踏板PL 溶融亜鉛ﾒｯｷ
P	屋外大階段	構造鉄部表し部 溶融亜鉛ﾒｯｷの上、常温亜鉛ﾒｯｷ塗装

延焼ライン範囲を示す

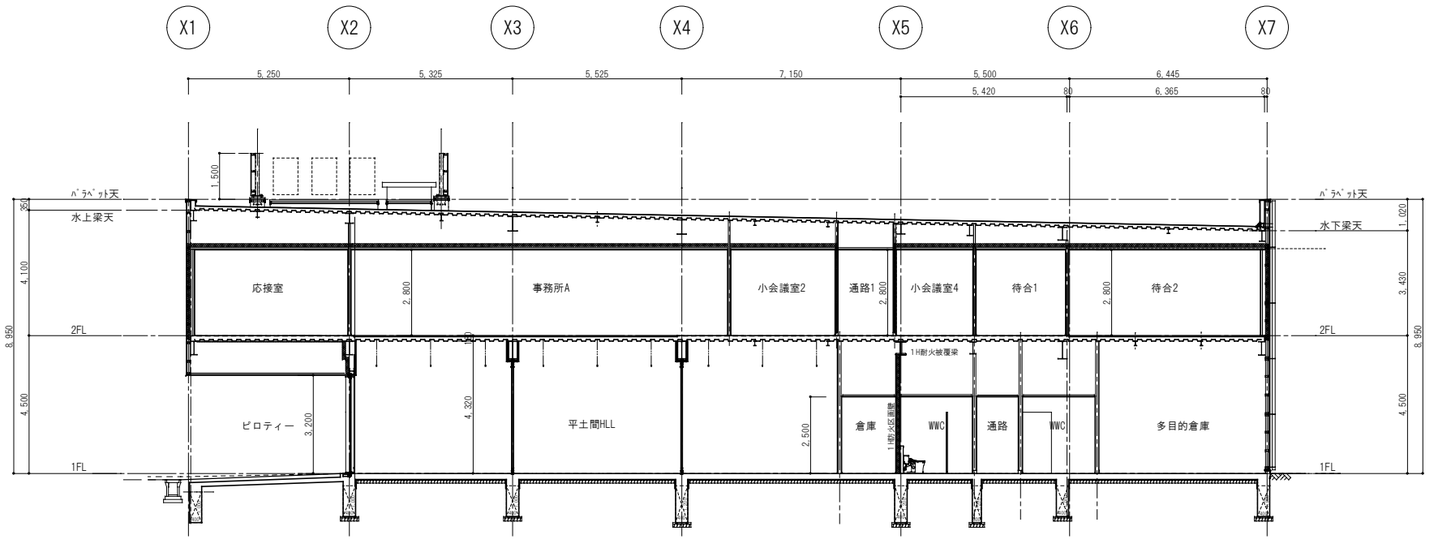
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	立面図2	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	A-20	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

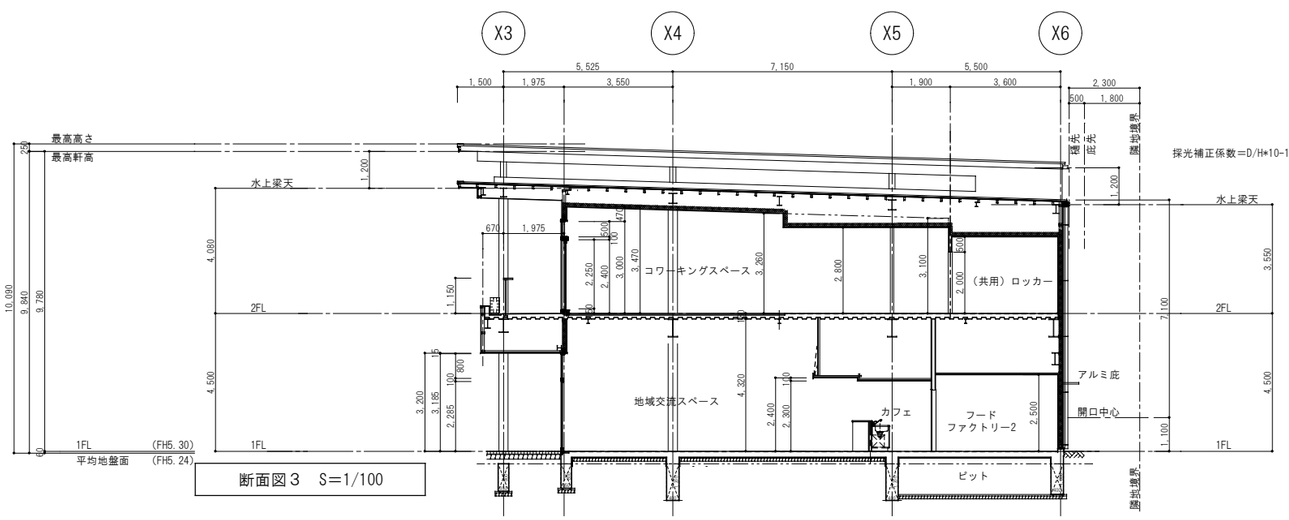




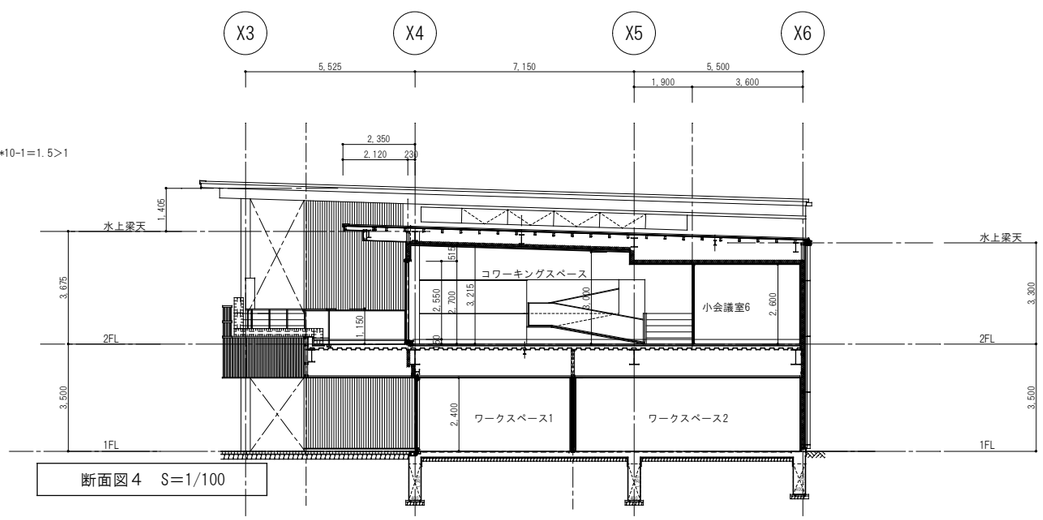
断面図１　S=1/100



断面図２　S=1/100



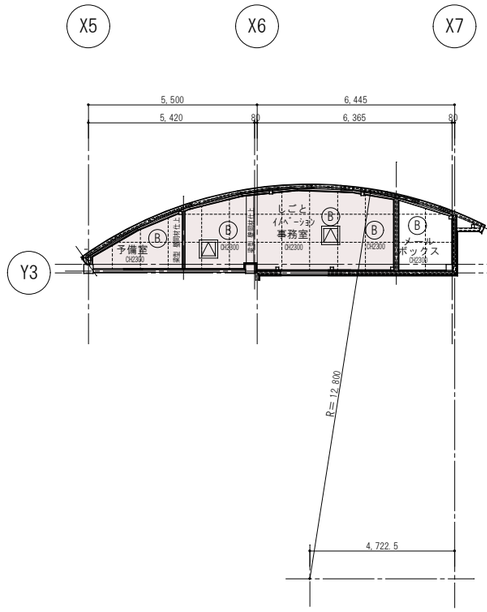
断面図３　S=1/100



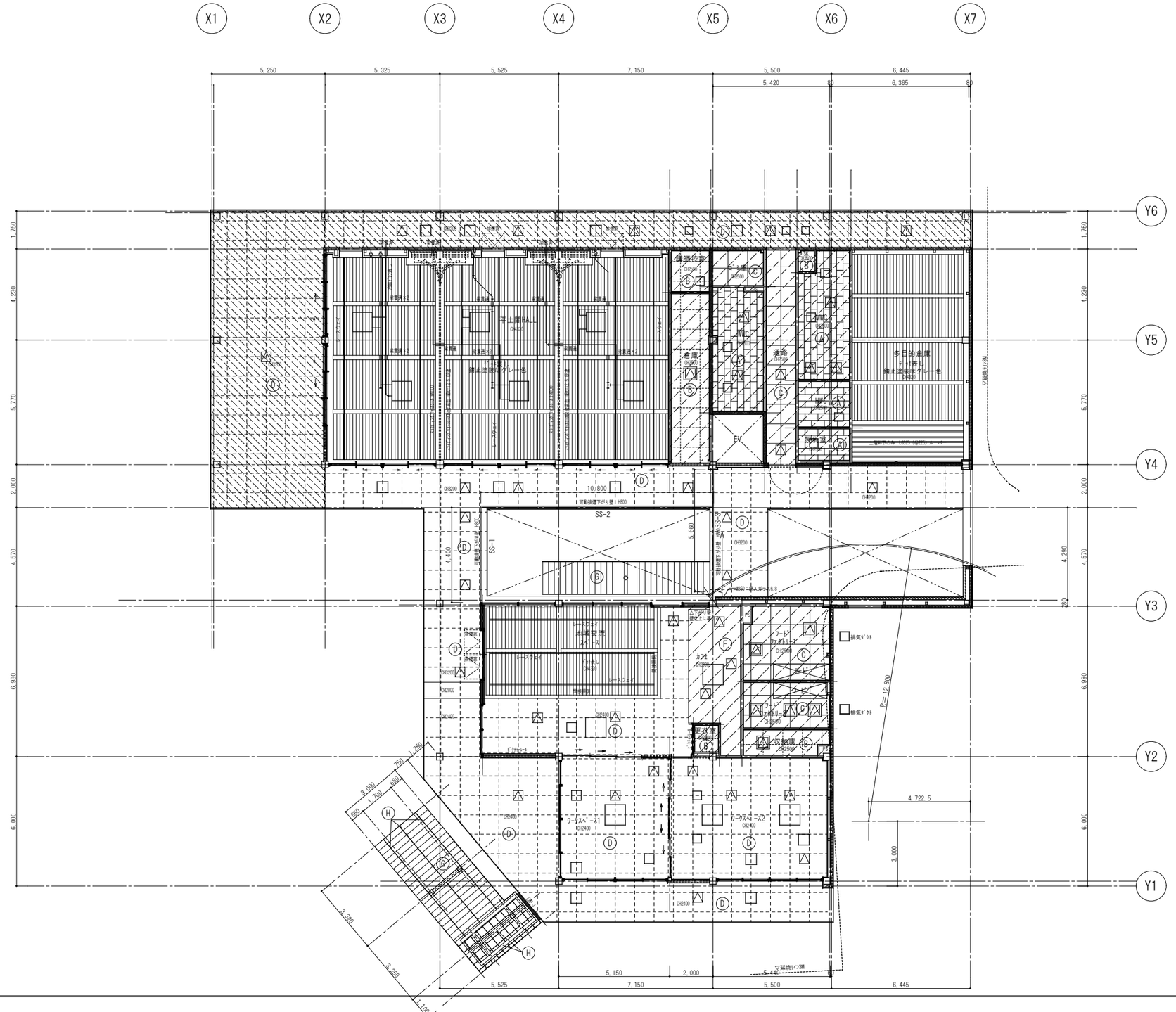
断面図４　S=1/100

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	断　面　図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	A-21	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号



1階天井伏図　S=1/100

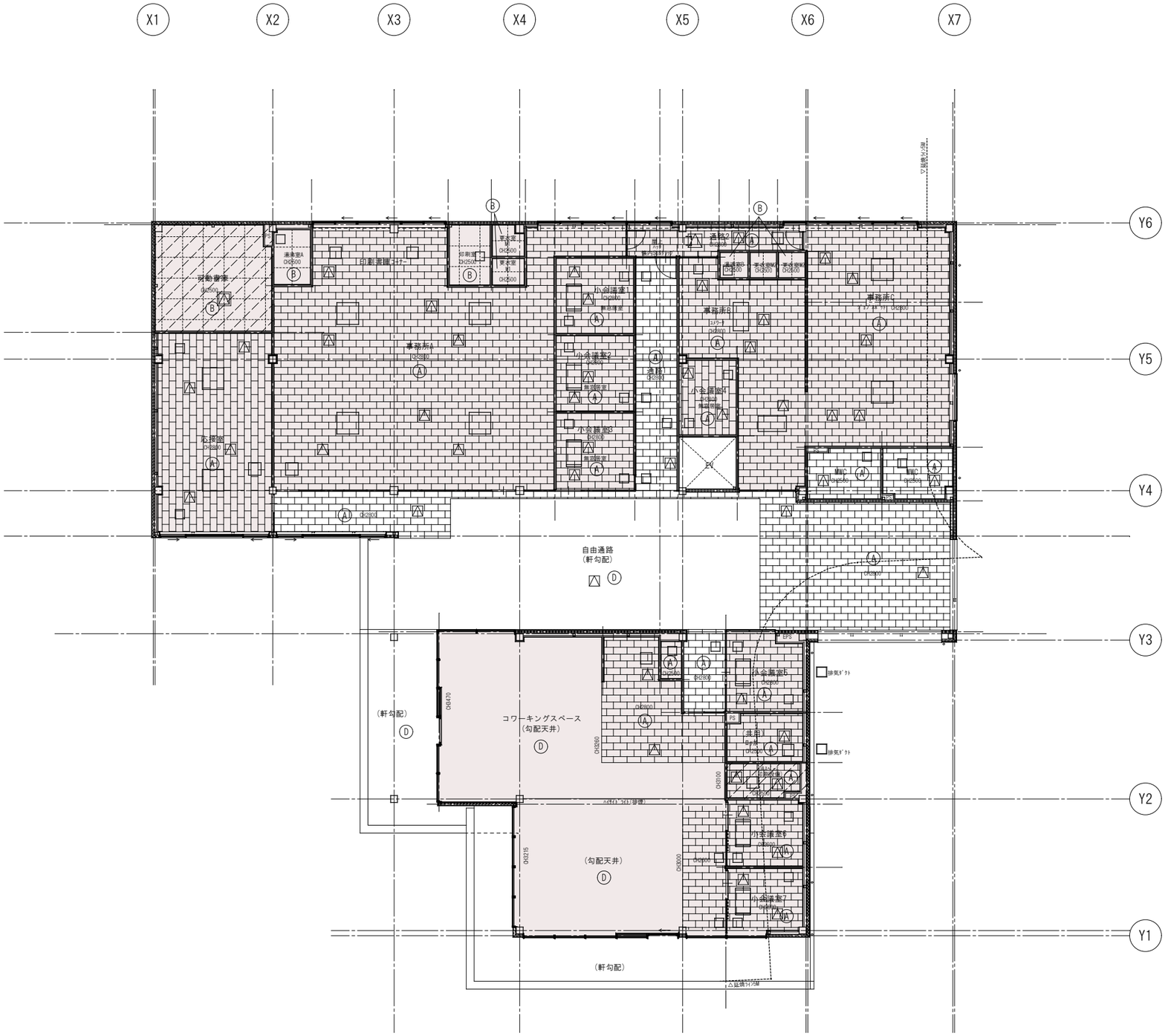


凡　例									
Ⓐ	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張 +GBt9.5下地	Ⓖ	鉄骨階段　溶融亜鉛ﾒｯｷ	△	天井点検口 450×450　目地タイプ	▨	天井懐内スラブ裏：硬質ウレタンフォームt=25吹付		
Ⓑ	GB-D t9.5張	Ⓗ	鉄骨階段　梁柱ｻﾋﾞﾗ：常温亜鉛ﾒｯｷ塗装(ﾛｰﾊﾞﾙ)	△	天井点検口 450×450　額縁タイプ		天井裏：断熱材：GW24K t100敷		
Ⓒ	FK t6.0 EP塗					▨	天井懐H1.5m以上　天井下地補強		
Ⓓ	化粧木毛ｾﾒﾝﾄ板（塗装品）張								
Ⓔ									
Ⓕ	GBt9.0+12.5 EP塗								

株式会社 黒川建築設計事務所

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	1階天井伏図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	A-22	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号



2階天井伏図　S=1/100

凡　例									
Ⓐ	ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張 +GBt9.5下地			▷◁	天井点検口 450×450　目地タイプ		天井裏：断熱材：GW24K　t100敷		
Ⓑ	GB-D t9.5張			▣	天井点検口 450×450　額縁タイプ		天井懐H1.5m以上　天井下地補強		
Ⓒ	FK t6.0 EP塗								
Ⓓ	化粧木毛ｾﾒﾝﾄ板（塗装品）張								
Ⓔ									
Ⓕ	GBt9.0+12.5 EP塗								

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	2階天井伏図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	A-23	武村	竹波	竹波	竹波	

仕上共通事項
※特記なき限り下記とする。

1．床下地は　ｺﾝｸﾘｰﾄ金ゴテ押え　とする。

2．天井下地は、LGS　とし、
外部　25型　、内部19型　とする。

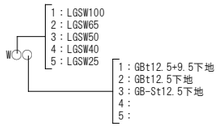
仕上凡例

外壁A：K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張
（ｶﾗｰGL鋼板）　+GB12.5+9.5
（延焼ラインにかかる防火構造）

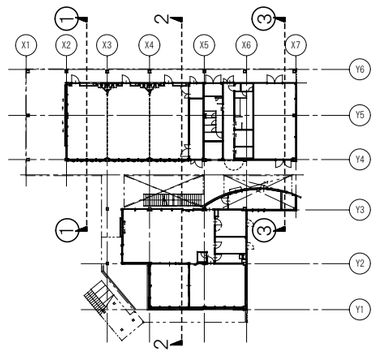
外壁B：K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張
（ｶﾗｰGL鋼板）

メッキ：溶融亜鉛メッキ仕上

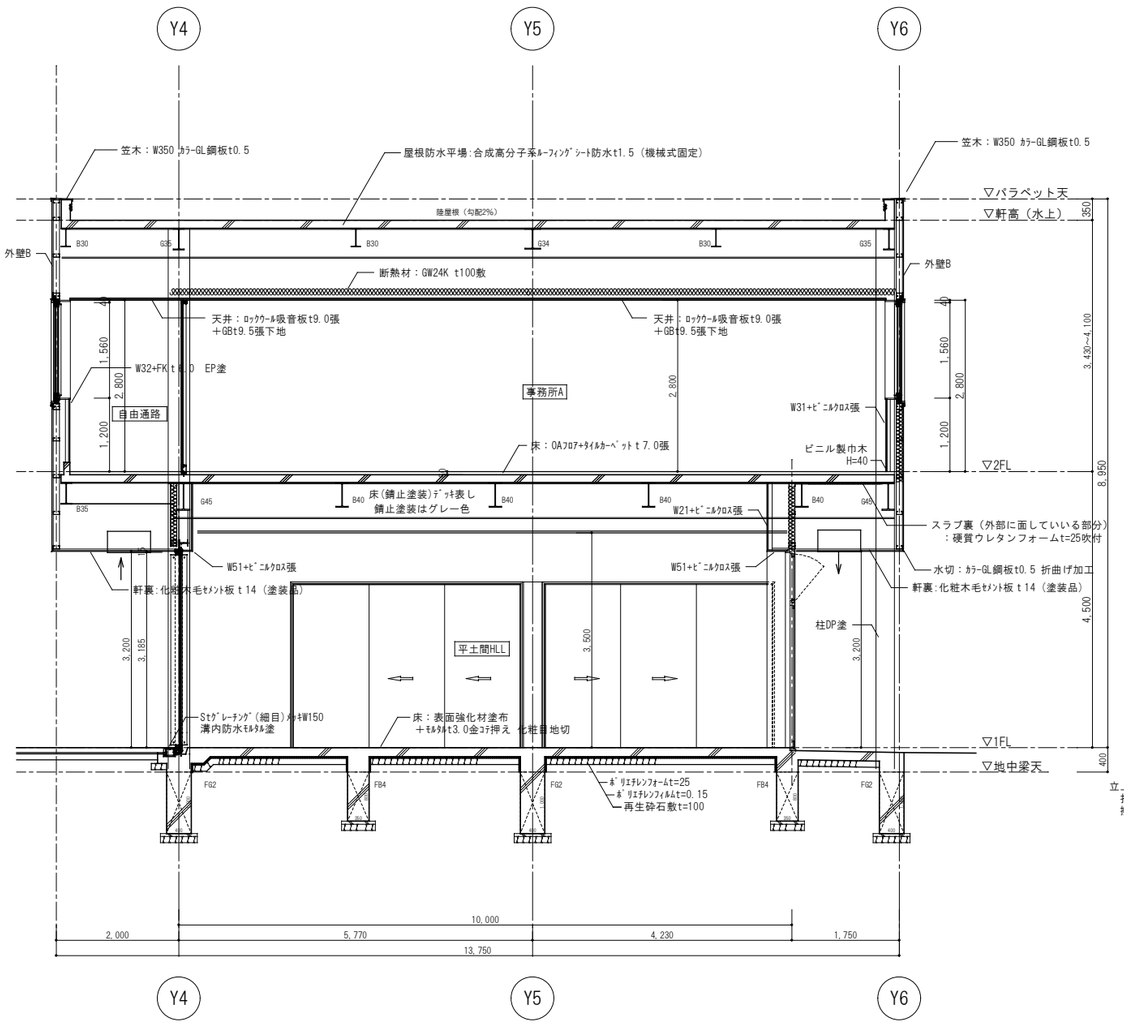
壁下地凡例



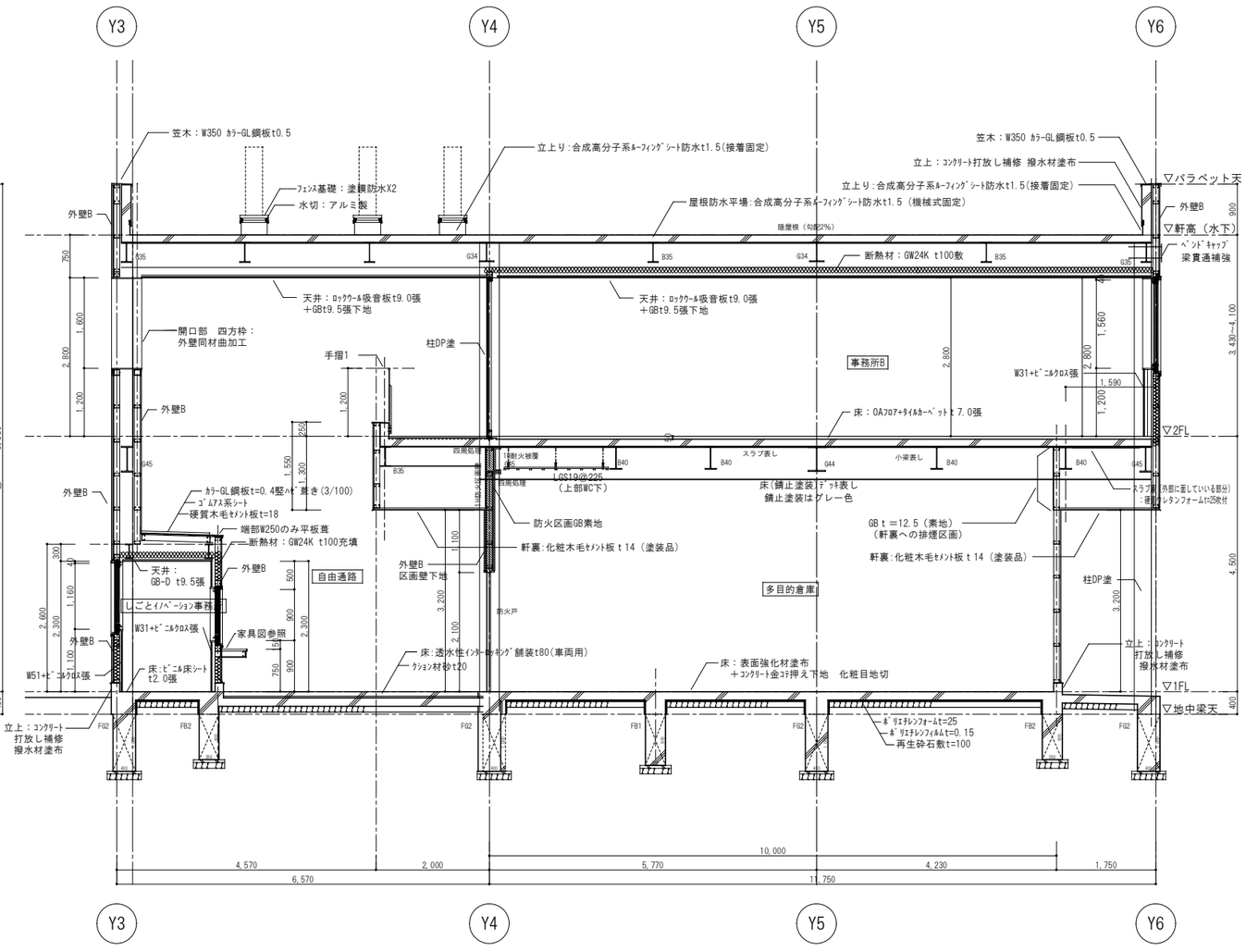
例　W23　は　LGSW65＋GB-St12.5　を示す・



断面キープラン



1-1断面詳細図　S=1/50



3-3断面詳細図　S=1/50

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	断面詳細図1	A1：S=1/50 A3：S=1/100	2025/03	A-24	武村	竹波	竹波	竹波	

仕上共通事項
※特記なき限り下記とする。

1．床下地は　ｺﾝｸﾘｰﾄ金ゴテ押え　とする。

2．天井下地は、LGS　とし、
外部　25型　、内部19型　とする。

仕上凡例

外壁A：K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張
（ｶﾗｰGL鋼板）　+GB12.5+9.5
（延焼ラインにかかる防火構造）

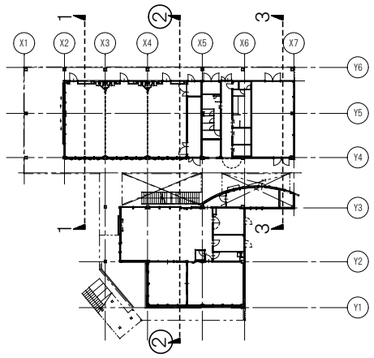
外壁B：K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張
（ｶﾗｰGL鋼板）

メッキ：溶融亜鉛メッキ仕上

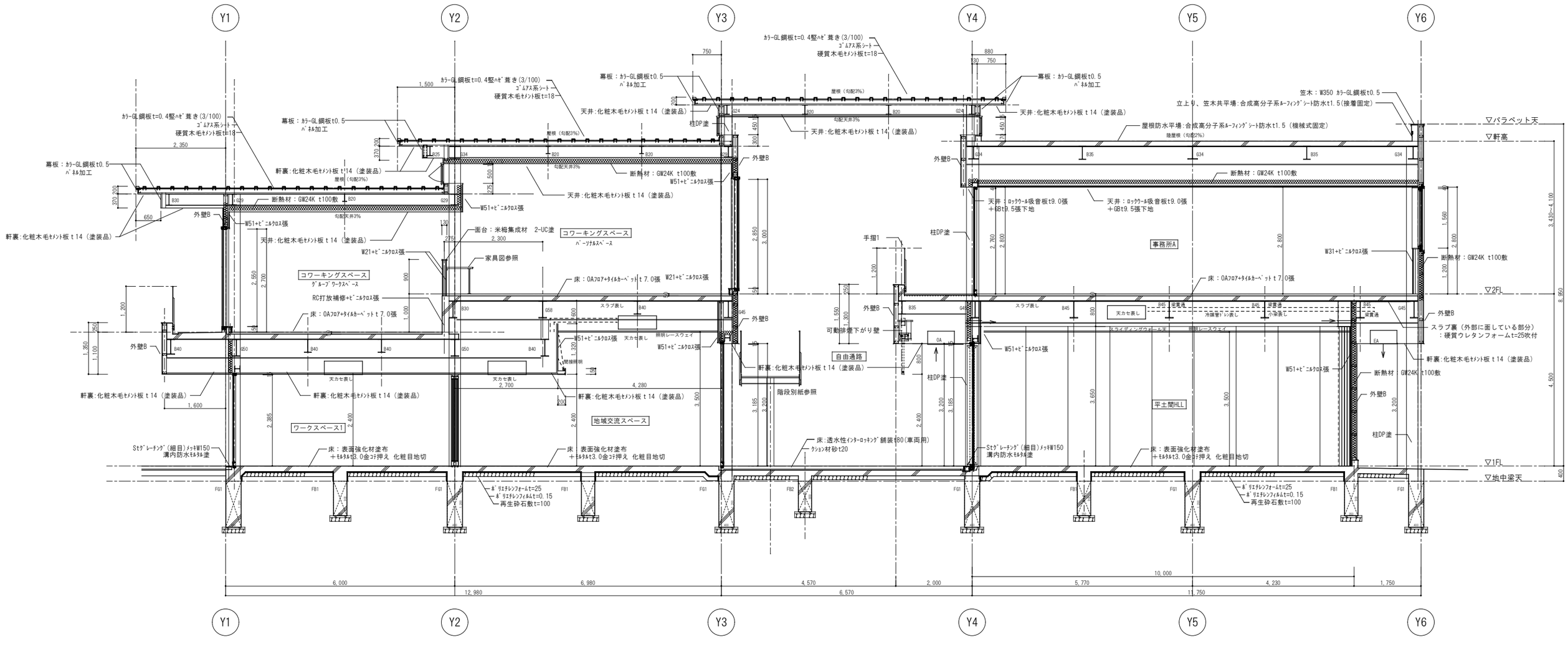
壁下地凡例

W□
- 1：LGSW100
- 2：LGSW65
- 3：LGSW50
- 4：LGSW40
- 5：LGSW25
  - 1：GBt12.5+9.5下地
  - 2：GBt12.5下地
  - 3：GB-St12.5下地
  - 4：
  - 5：

例　W23　は　LGSW65＋GB-St12.5　を示す・



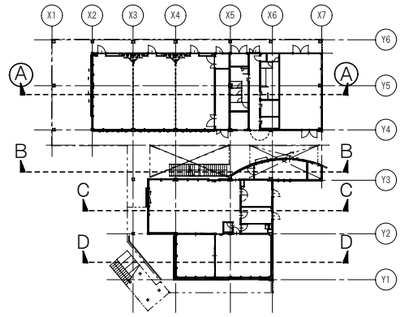
断面キープラン



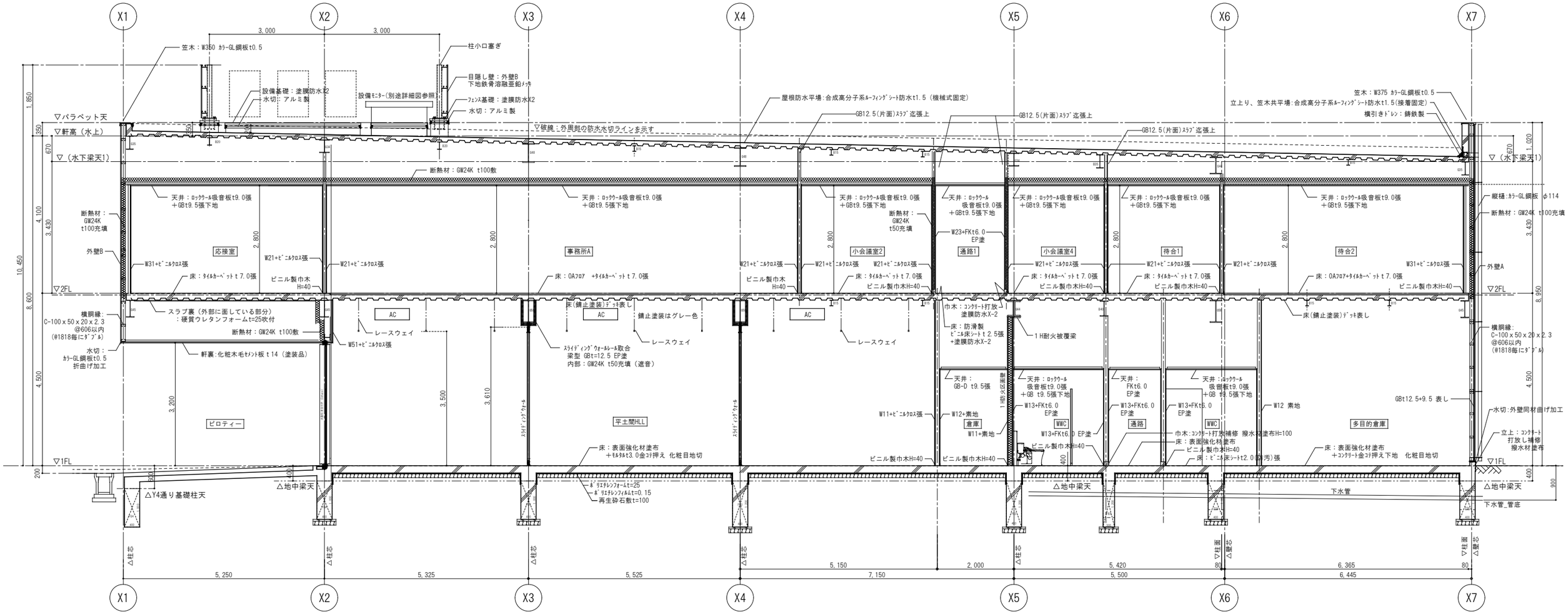
2-2断面詳細図　S=1/50

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	断面詳細図 2	A1：S=1/50 A3：S=1/100	2025/03	A-25	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号



断面キープラン



A-A断面詳細図　S=1/50

仕上共通事項
※特記なき限り下記とする。

1．床下地は　ｺﾝｸﾘｰﾄ金ゴテ押え　とする。

2．天井下地は、LGS　とし、
外部　25型　、内部19型　とする。

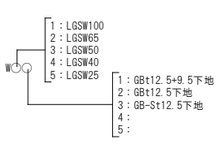
仕上凡例

外壁A：K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張
（ｶﾗｰGL鋼板）＋GB12.5+9.5
（延焼ラインにかかる防火構造）

外壁B：K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張
（ｶﾗｰGL鋼板）

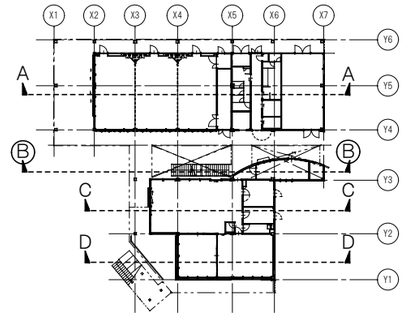
メッキ：溶融亜鉛メッキ仕上

壁下地凡例

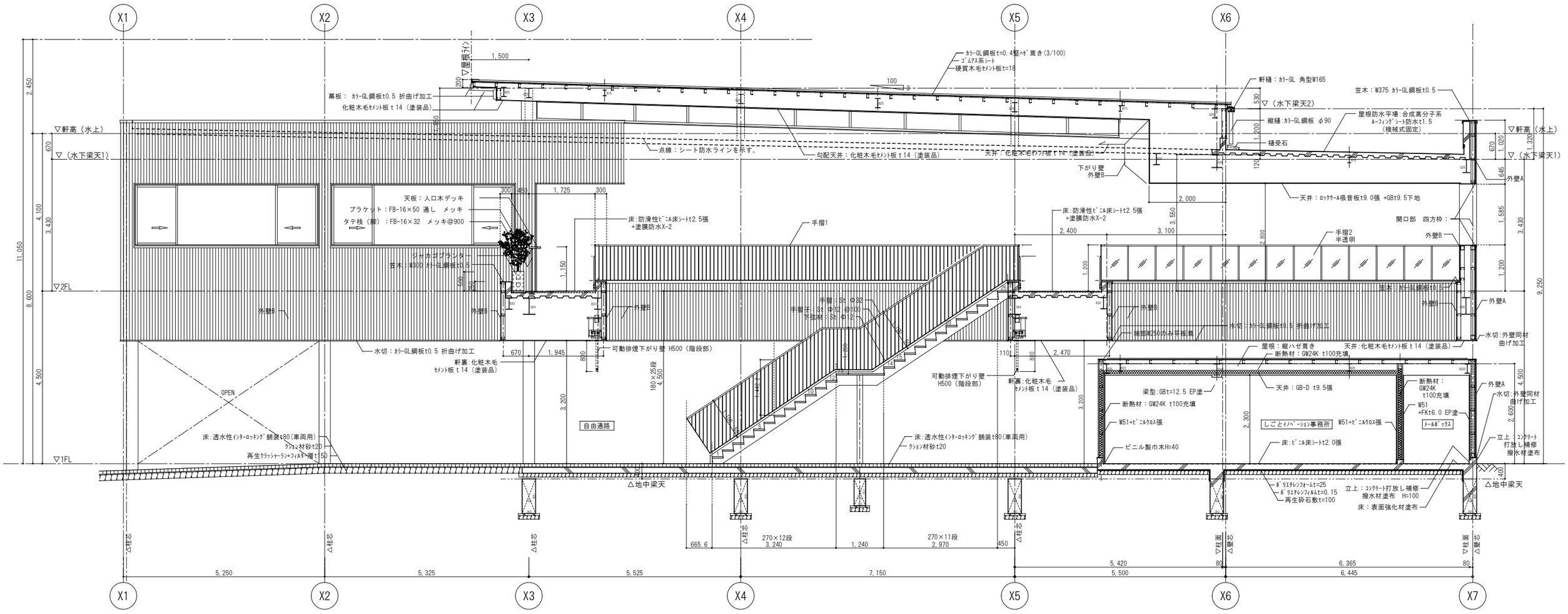


例　W23　は　LGSW65＋GB-St12.5　を示す・

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	断面詳細図３	A1：S=1/50 A3：S=1/100	2025/03	A-26	武村	竹波	竹波	竹波	



断面キープラン



仕上共通事項
※特記なき限り下記とする。

1．床下地は ｺﾝｸﾘｰﾄ金ゴテ押え とする。

2．天井下地は、LGS とし、
外部 25型 、内部19型 とする。

仕上凡例

外壁A：K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張
（ｶﾗｰGL鋼板） +GB12.5+9.5
（延焼ラインにかかる防火構造）

外壁B：K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張
（ｶﾗｰGL鋼板）

メッキ：溶融亜鉛メッキ仕上

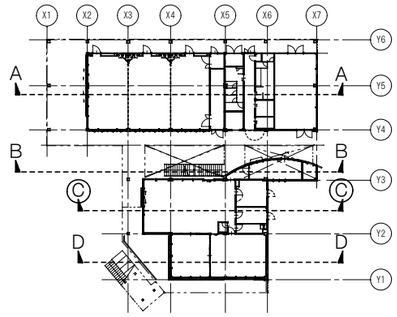
壁下地凡例

W
- 1：LGSW100
- 2：LGSW65
- 3：LGSW50
- 4：LGSW40
- 5：LGSW25
  - 1：GBt12.5+9.5下地
  - 2：GBt12.5下地
  - 3：GB-St12.5下地
  - 4：
  - 5：

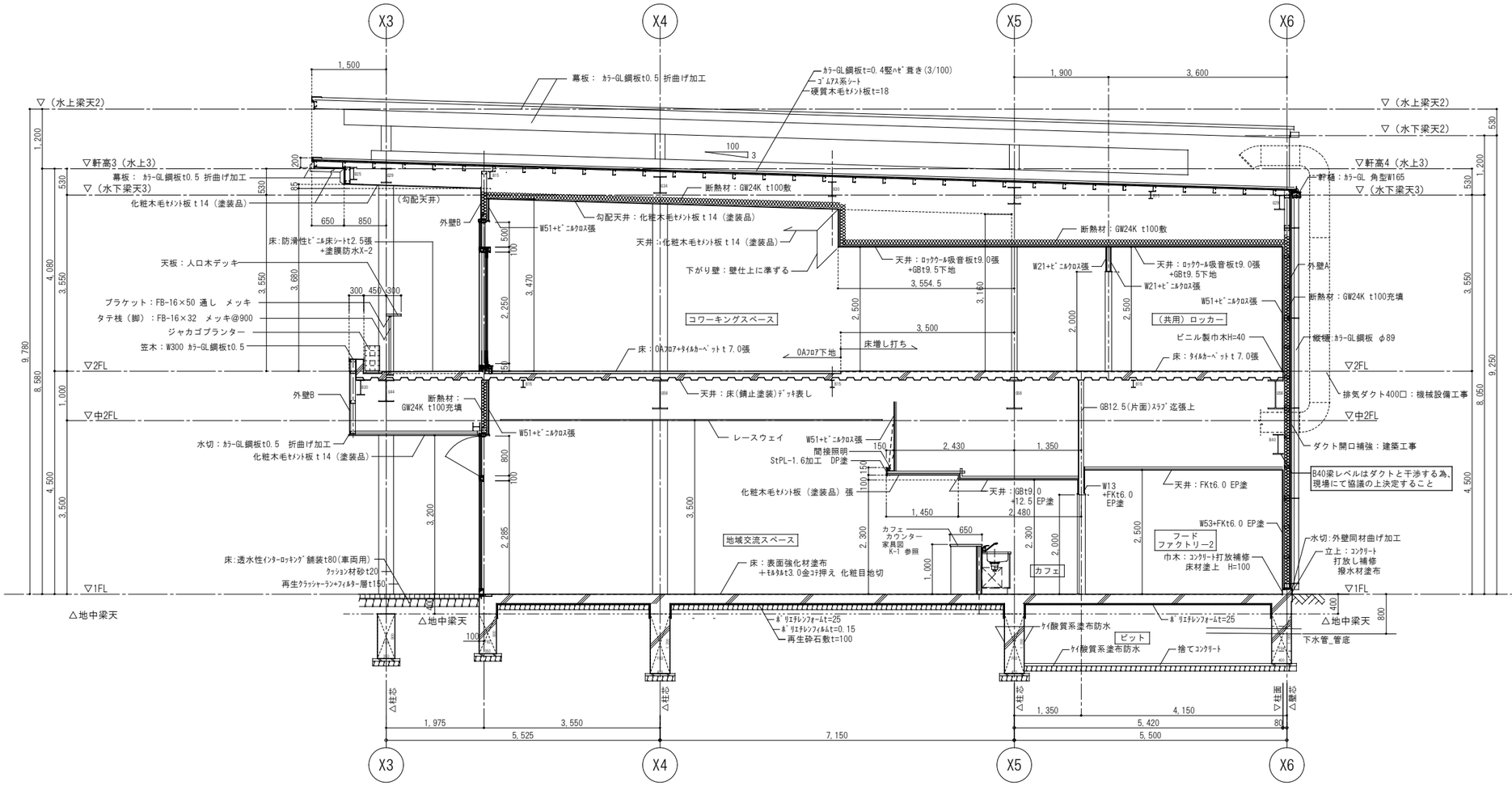
例 W23 は LGSW65＋GB-St12.5 を示す・

B-B断面詳細図 S=1/50

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号 FAX. 086-234-0166 武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	断面詳細図４	A1： S=1/50 A3： S=1/100	2025/03	A-27	武村	竹波	竹波	竹波	



断面キープラン



C-C断面詳細図 S=1/50

仕上共通事項
※特記なき限り下記とする。

1．床下地は ｺﾝｸﾘｰﾄ金ゴテ押え とする。

2．天井下地は、LGS とし、
外部 25型 、内部19型 とする。

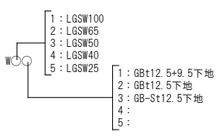
仕上凡例

外壁A：K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張
（ｶﾗｰGL鋼板） +GB12.5+9.5
（延焼ラインにかかる防火構造）

外壁B：K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張
（ｶﾗｰGL鋼板）

メッキ：溶融亜鉛メッキ仕上

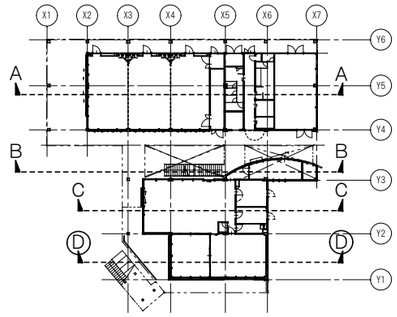
壁下地凡例



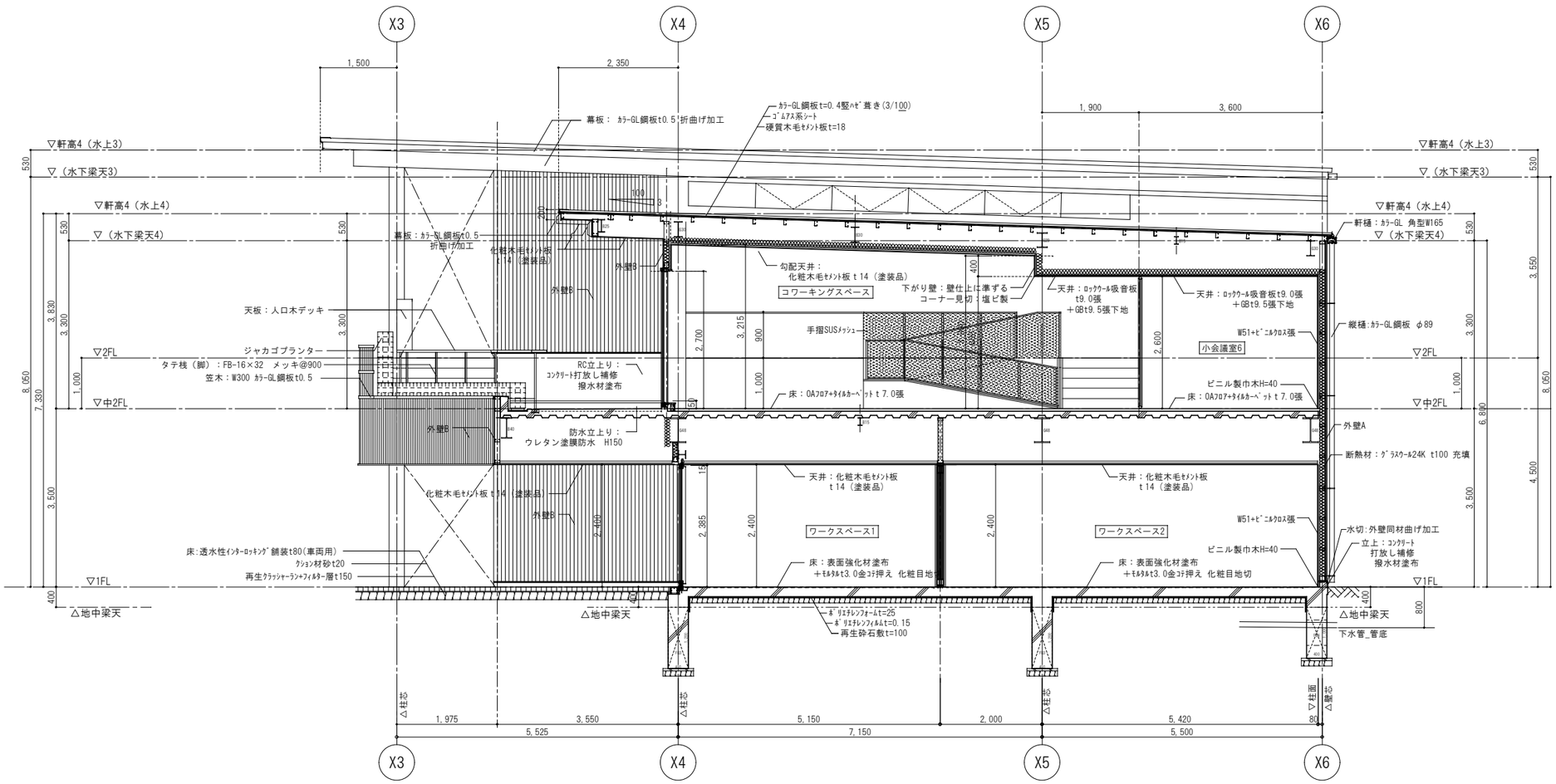
例 W23 は LGSW65＋GB-St12.5 を示す・

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	断面詳細図５	A1：S=1/50 A3：S=1/100	2025/03	A-28	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX. 086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号



断面キープラン



D-D断面詳細図　S=1/50

仕上共通事項
※特記なき限り下記とする。

1．床下地は　ｺﾝｸﾘｰﾄ金ゴテ押え　とする。

2．天井下地は、LGS　とし、
外部　25型　、内部19型　とする。

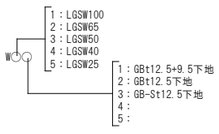
仕上凡例

外壁A：K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張
（ｶﾗｰGL鋼板）＋GB12.5+9.5
（延焼ラインにかかる防火構造）

外壁B：K型ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張
（ｶﾗｰGL鋼板）

メッキ：溶融亜鉛メッキ仕上

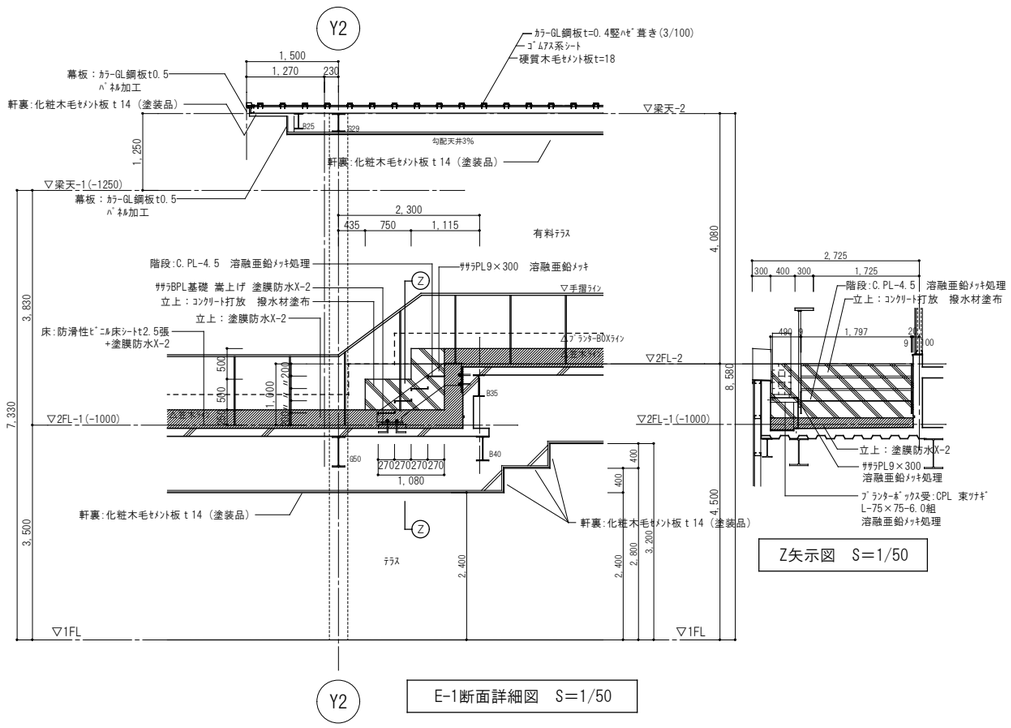
壁下地凡例



例　W23　は　LGSW65＋GB-St12.5　を示す・

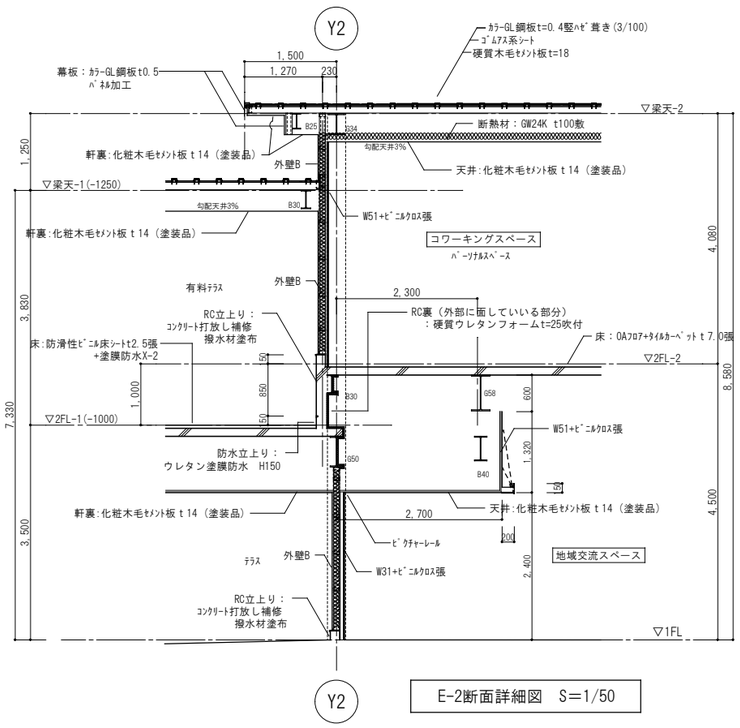
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	断面詳細図６	A1：S=1/50 A3：S=1/100	2025/03	A-29	武村	竹波	竹波	竹波	

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

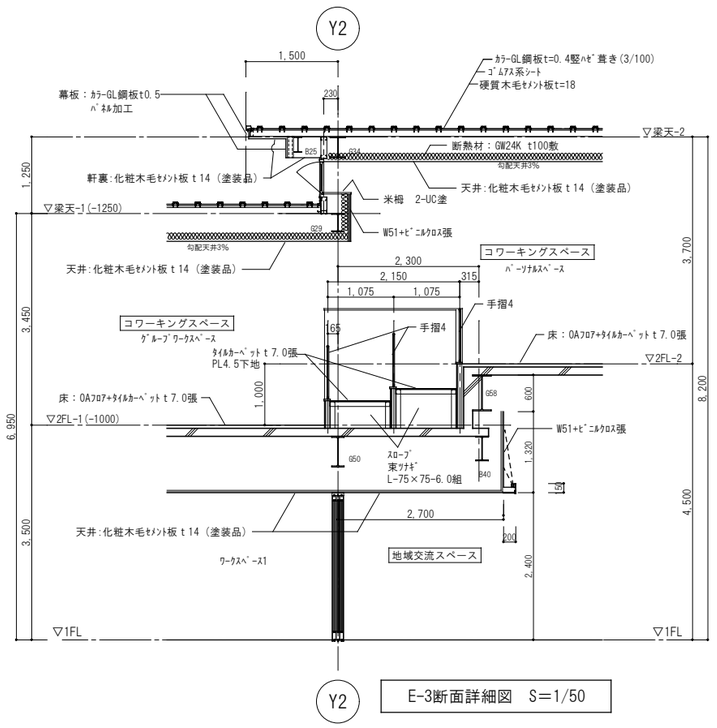


Z矢示図 S=1/50

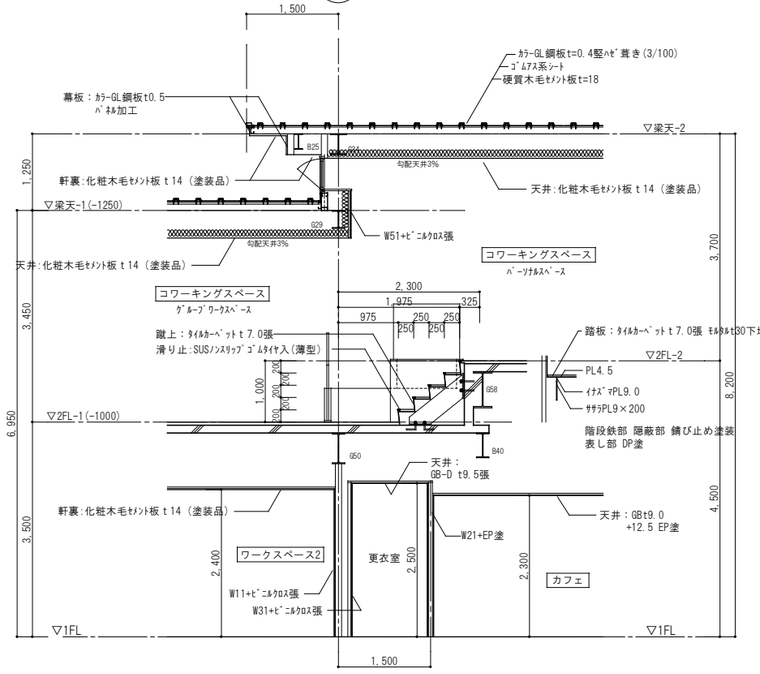
E-1断面詳細図 S=1/50



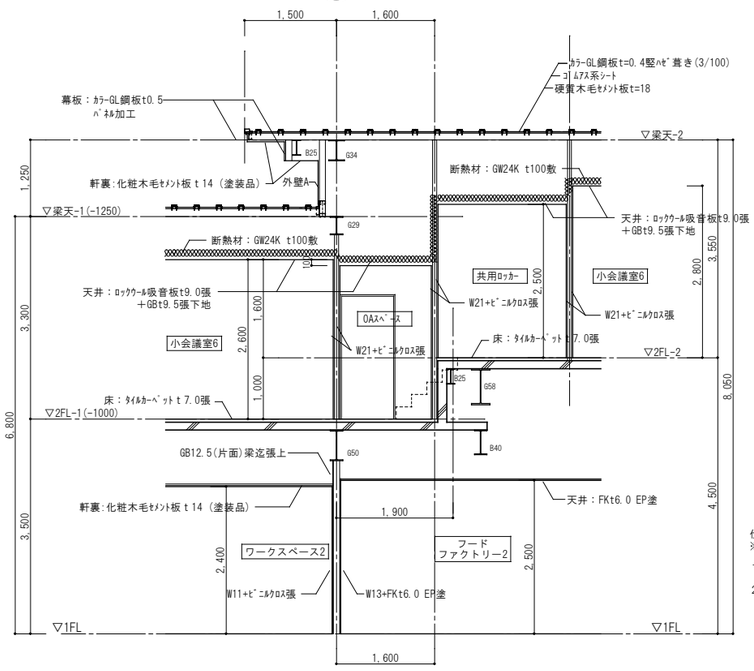
E-2断面詳細図 S=1/50



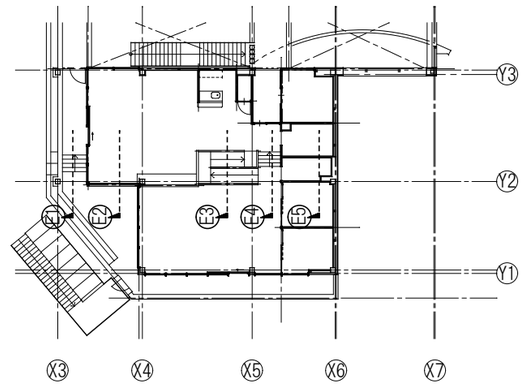
E-3断面詳細図 S=1/50



E-4断面詳細図 S=1/50



E-5断面詳細図 S=1/50



断面キープラン

仕上共通事項
※特記なき限り下記とする。

1．床下地は ｺﾝｸﾘｰﾄ金ゴテ押え とする。

2．天井下地は、LGS とし、
外部 25型 、内部19型 とする。

仕上凡例

外壁A：K型ｽﾍﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張
（ｶﾗｰGL鋼板） +GB12.5+9.5
（延焼ラインにかかる防火構造）

外壁B：K型ｽﾍﾟﾝﾄﾞﾚﾙ t0.4縦張
（ｶﾗｰGL鋼板）

メッキ：溶融亜鉛メッキ仕上

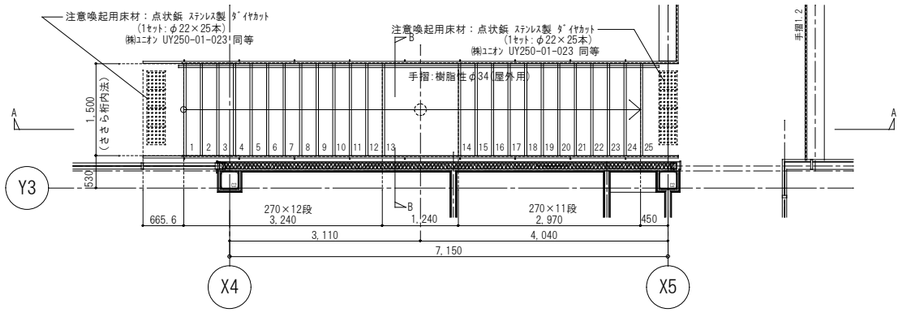
壁下地凡例

W
1：LGSW100
2：LGSW65
3：LGSW50
4：LGSW40
5：LGSW25
1：GBt12.5+9.5下地
2：GBt12.5下地
3：GB-St12.5下地
4：
5：

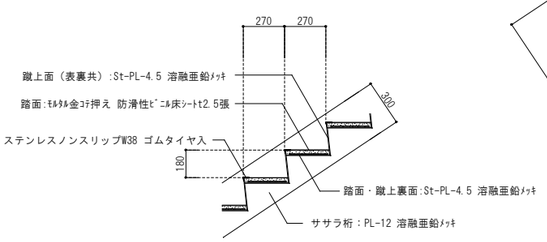
例 W23 は LGSW65＋GB-St12.5 を示す。

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	断面詳細図 7	A1：S=1/50 A3：S=1/100	2025/03	A-30	武村	竹波	竹波	竹波

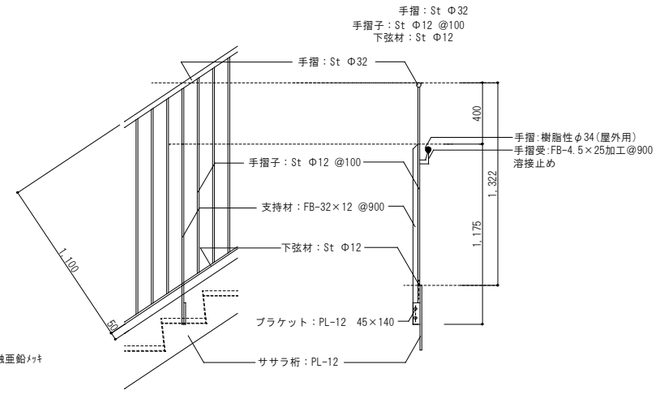
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX. 086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号



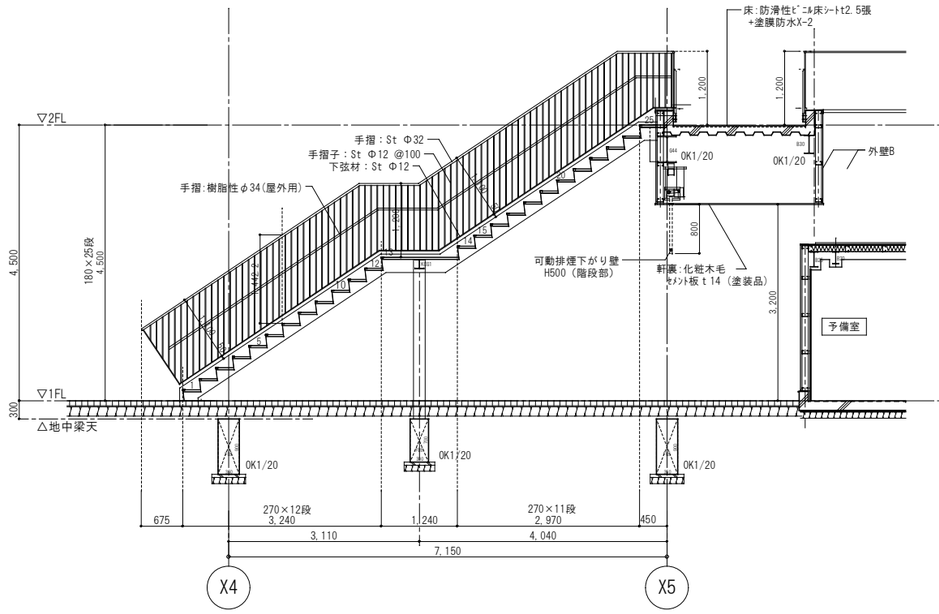
２階平面詳細図南　　S=1/50



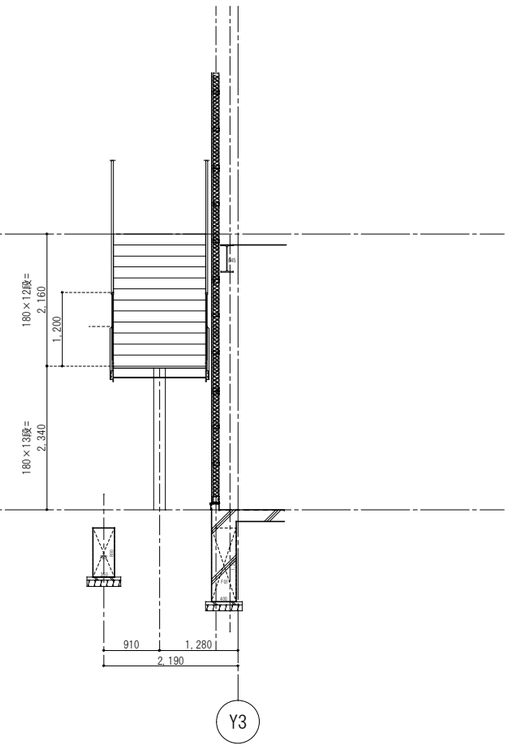
階段部詳細図　S=1/20



手摺詳細図　S=1/20



A-A断面詳細図　S=1/50

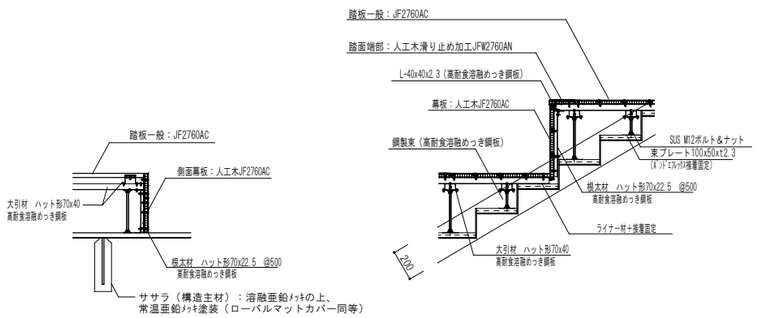


B-B断面詳細図　S=1/50

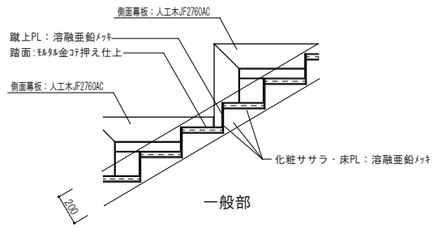
株式会社 黒川建築設計事務所

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	階段詳細図1	A1：S=1/20,50	2025/03	A-31	武村	竹波	竹波	竹波
	屋内階段	A3：S=1/40,100						

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

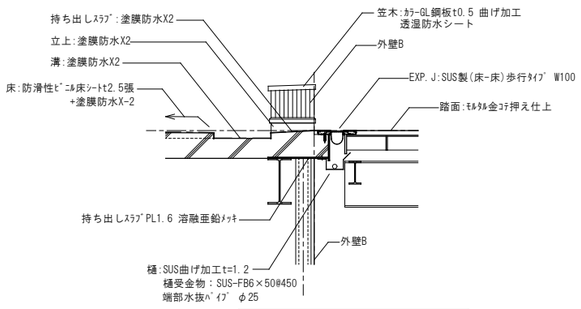


人工木一一般部　取り合い　　人工木デッキ部

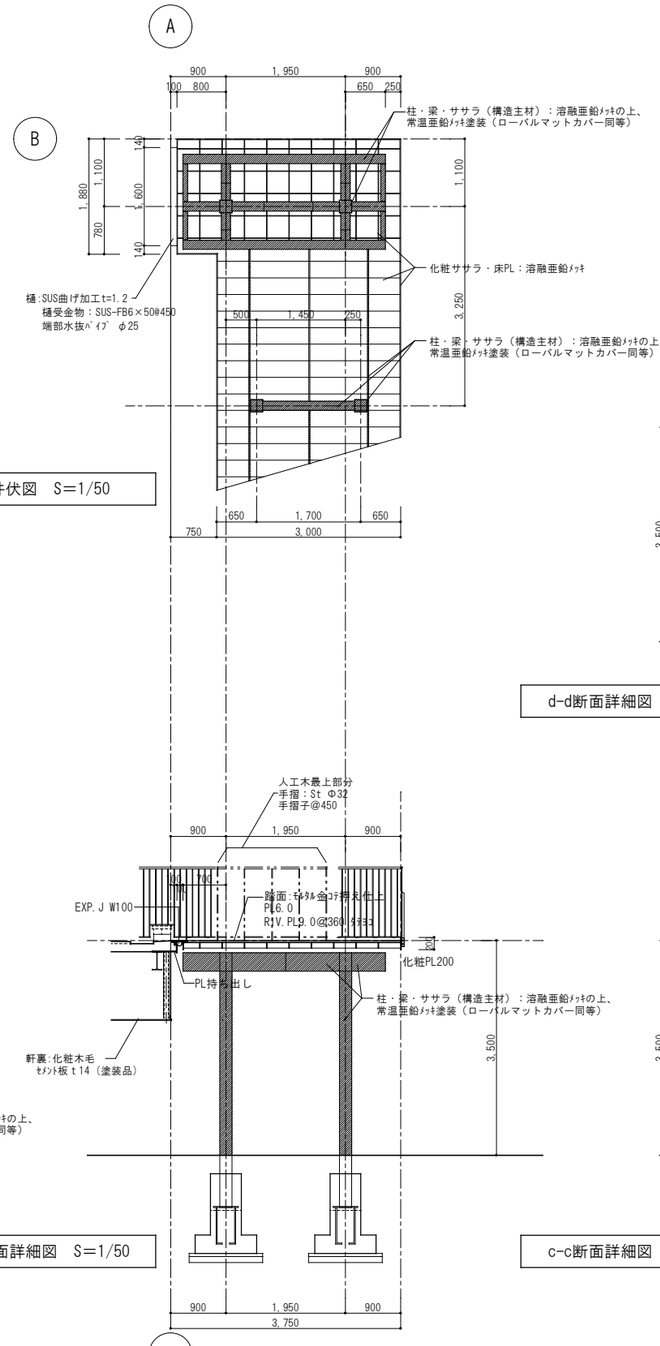


一般部

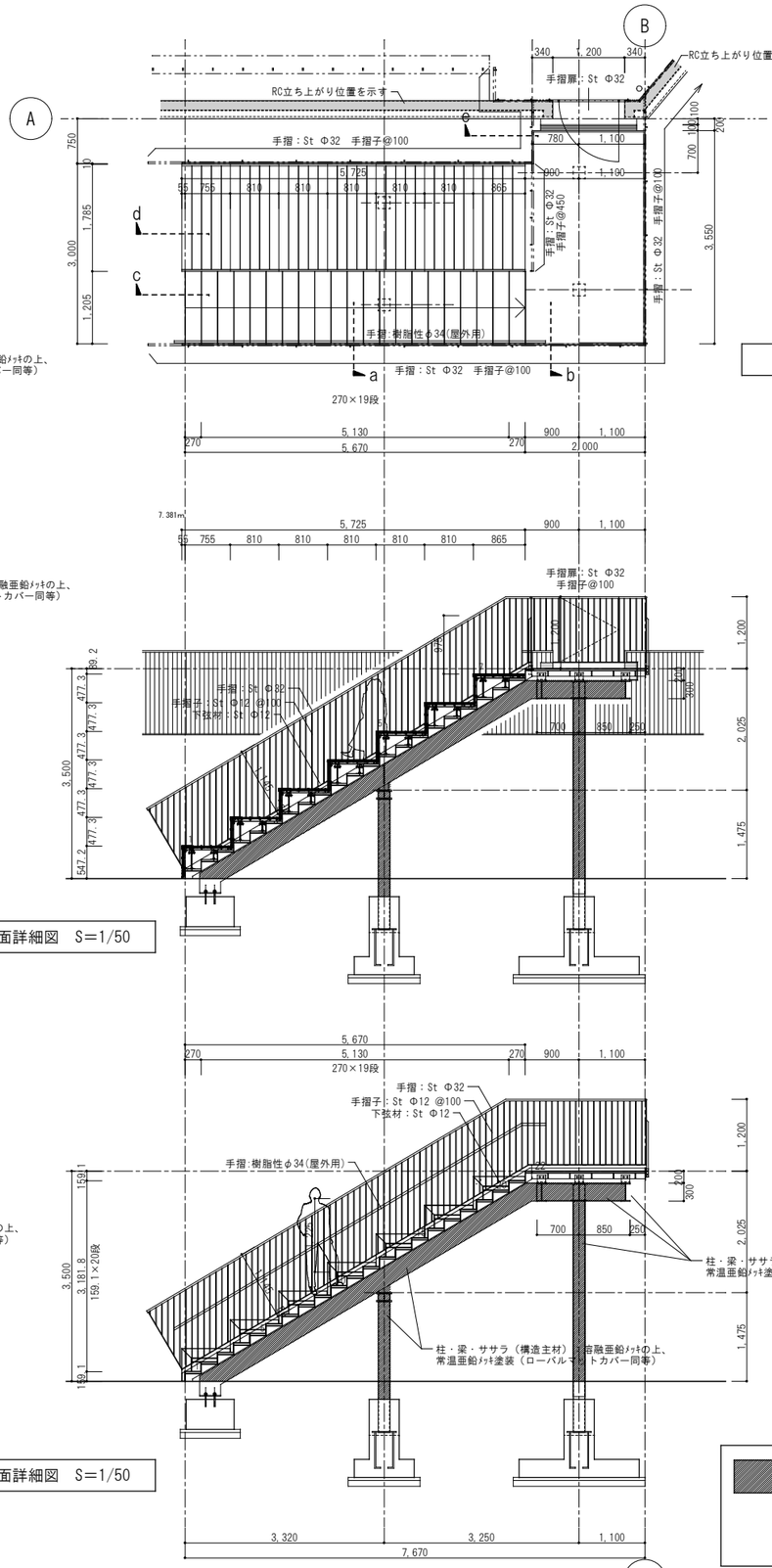
階段部分詳細図　S=1/20



EXP. J 部分詳細図　S=1/20



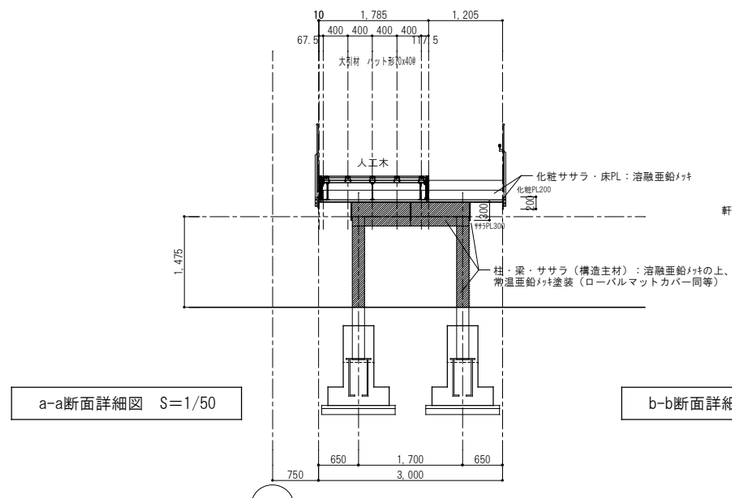
天井伏図　S=1/50



平面詳細図　S=1/50

d-d断面詳細図　S=1/50

e-e断面詳細図　S=1/50



a-a断面詳細図　S=1/50

b-b断面詳細図　S=1/50

c-c断面詳細図　S=1/50

柱・梁・ササラ（構造主材）：溶融亜鉛ﾒｯｷの上、
常温亜鉛ﾒｯｷ塗装（ローバルマットカバー同等）

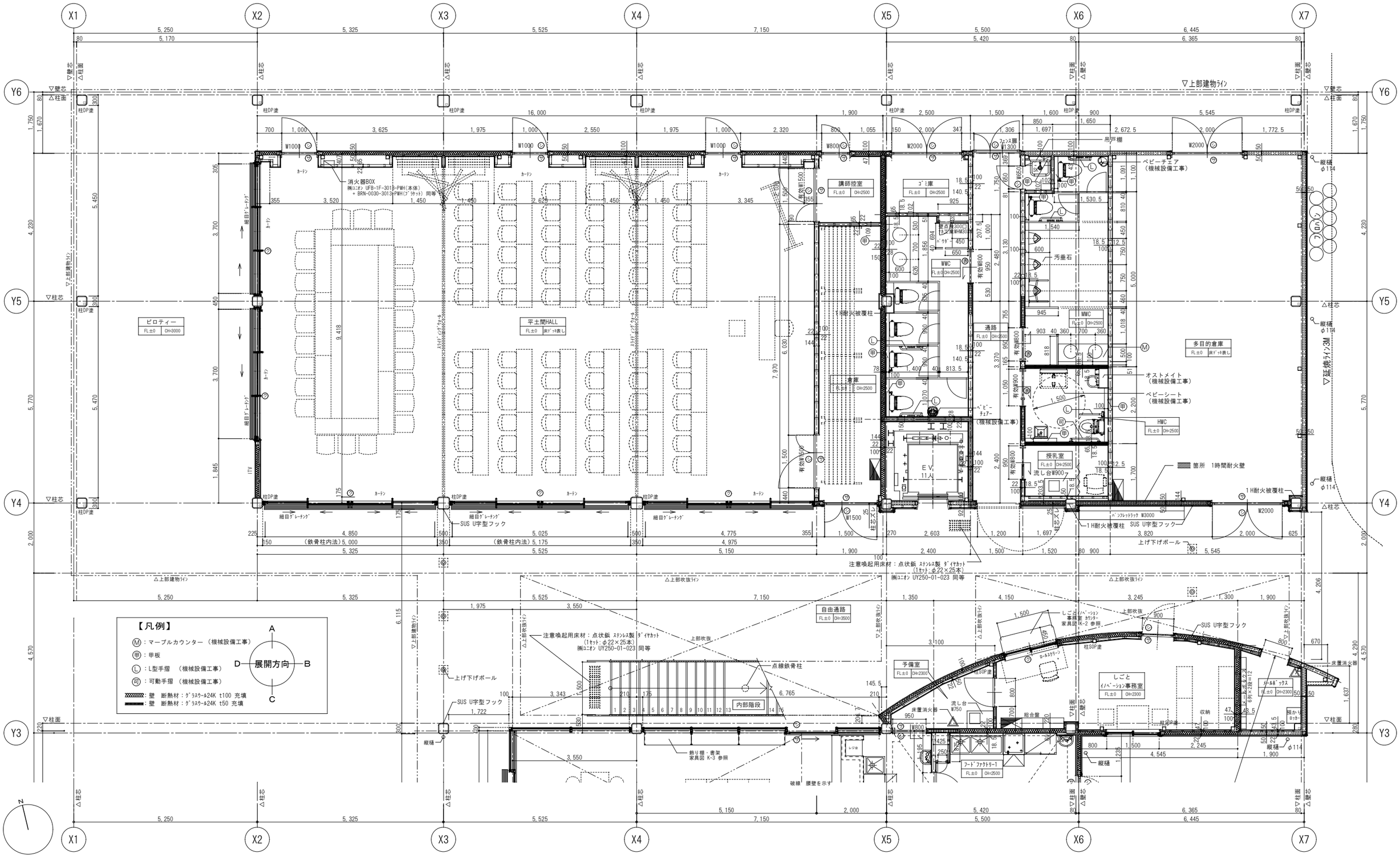
その他、特記なき鉄部は全て溶融亜鉛ﾒｯｷ

手摺は屋内階段図に準ずる

株式会社 黒川建築設計事務所

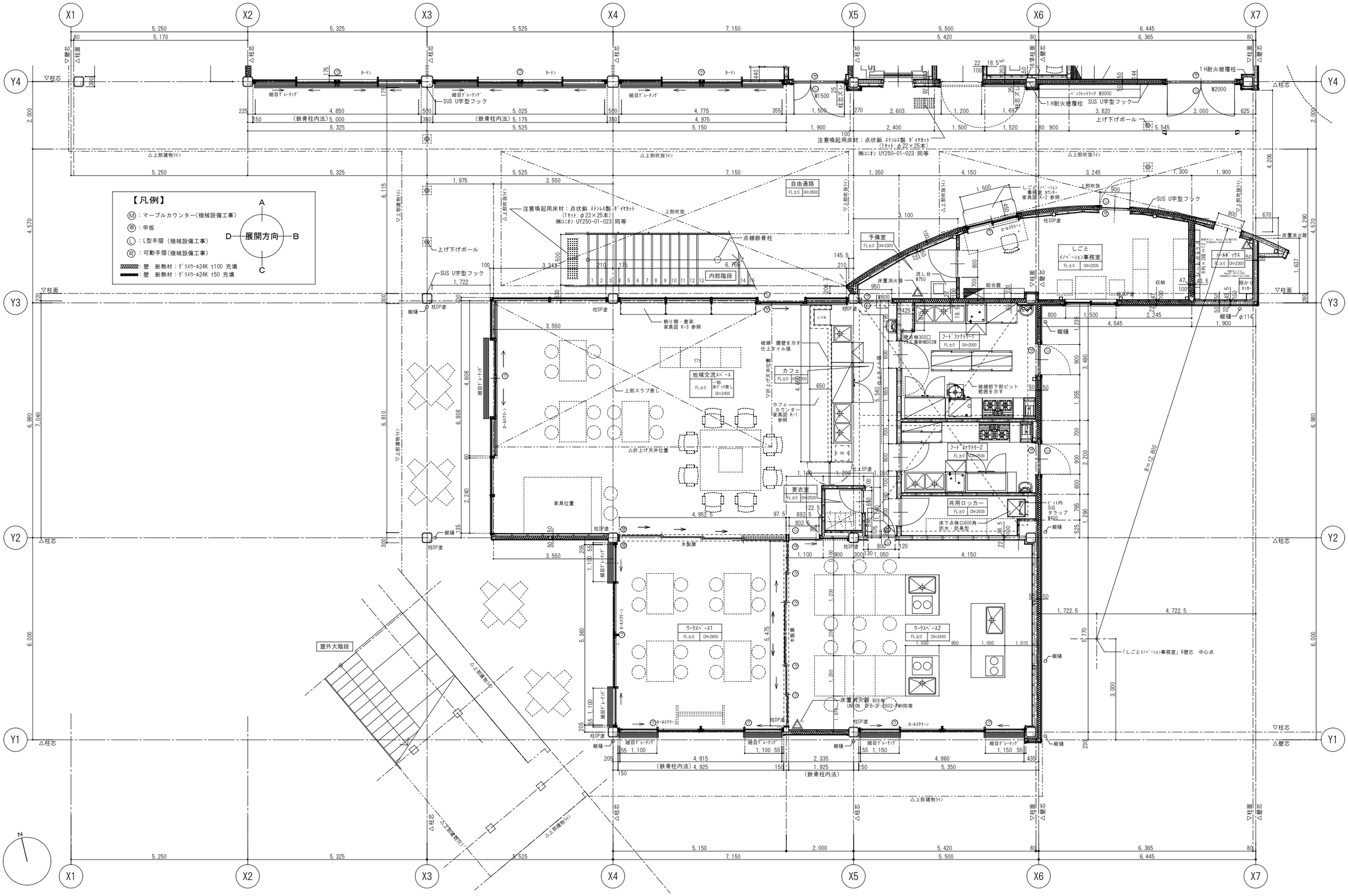
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	階段詳細図2	A1：S=1/20,50	2025/03	A-32	武村	竹波	竹波	竹波
	屋外大階段	A3：S=1/40,100						



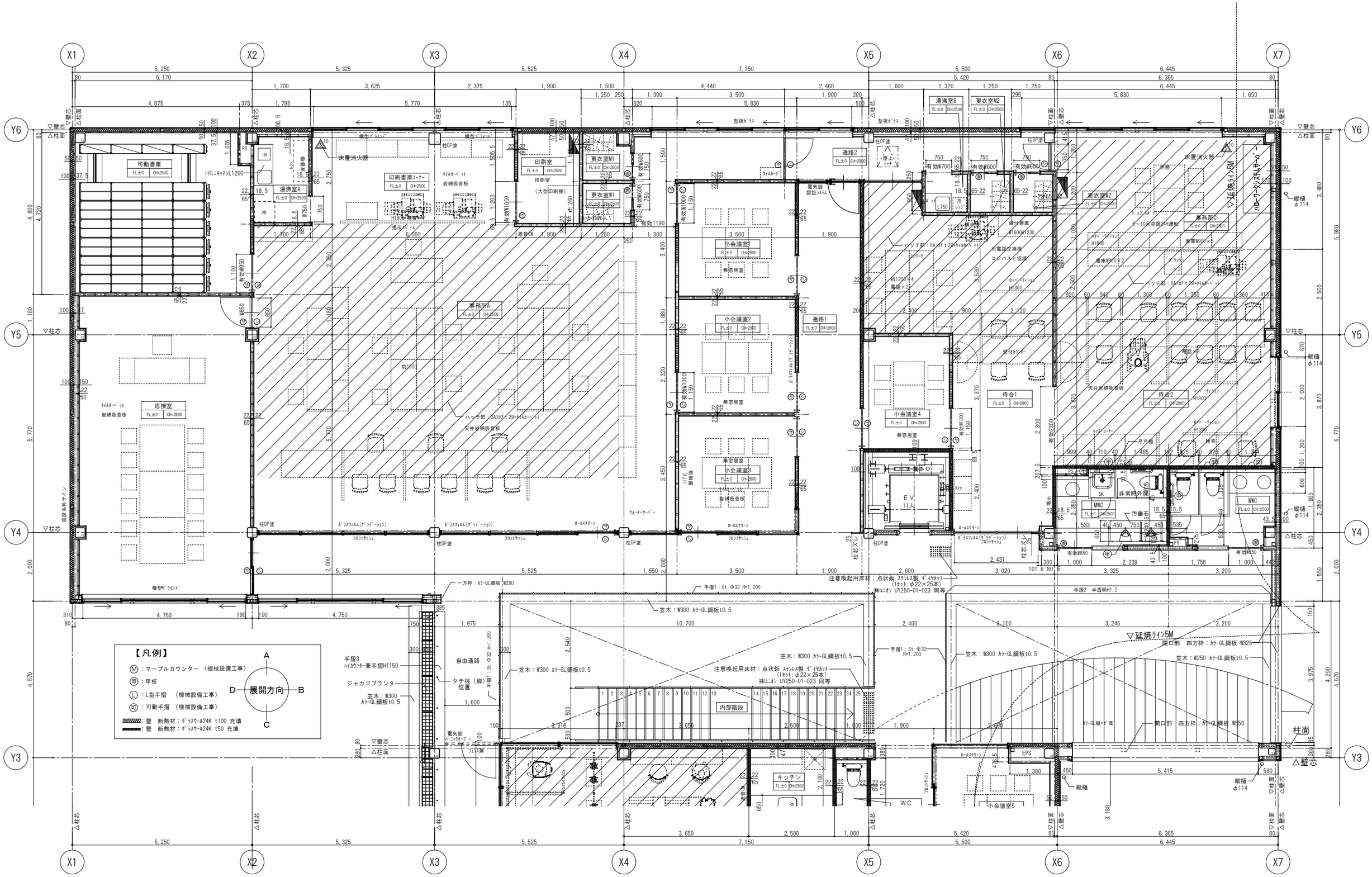
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	1階平面詳細図-1	A1：S=1/50 A3：S=1/100	2025/03	A-33	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX. 086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号



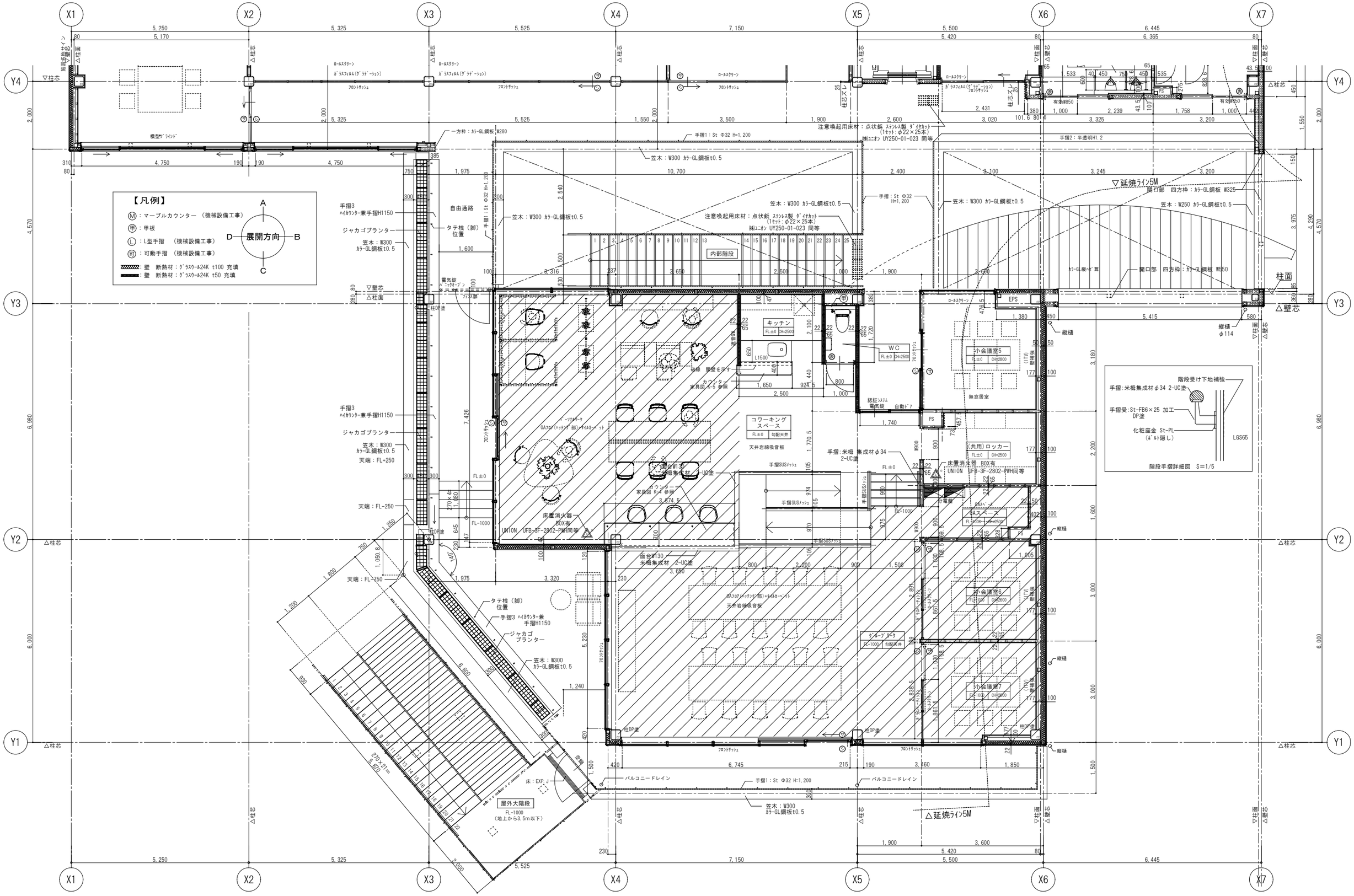
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	1階平面詳細図-2	A1：S=1/50 A3：S=1/100	2025/03	A-34	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX. 086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号



株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	2階平面詳細図-1	A1：S=1/50 A3：S=1/100	2025/03	A-35	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX. 086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号

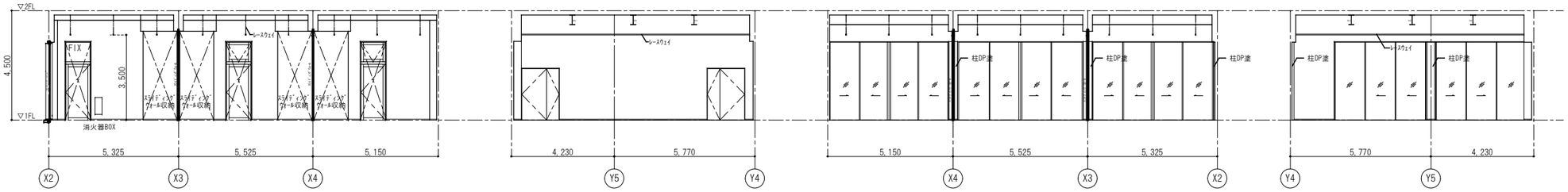


株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	2階平面詳細図-2	A1：S=1/50 A3：S=1/100	2025/03	A-36	武村	竹波	竹波	竹波	

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX. 086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号

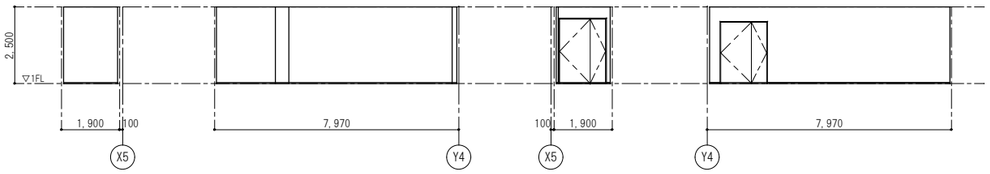
1F　平土間HALL

床	表面強化材塗布 ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t3.0金ｺﾃ押え 化粧目地切
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+ 9.5下地+ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 ※ ※
廻縁	—
天井	床(鏡止塗装)ﾀﾞｯﾄ表し



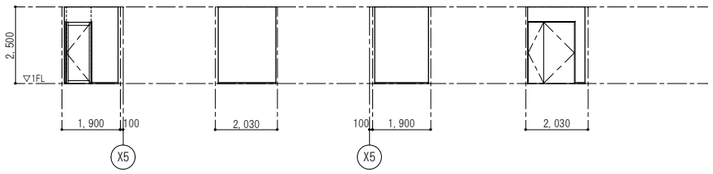
1F　倉庫

床	表面強化材塗布 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え 化粧目地切
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5（素地） 一部耐火壁GB表し ※
廻縁	—
天井	GB-D t9.5張



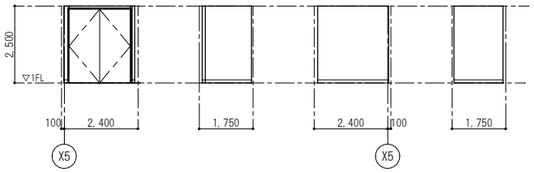
1F　講師控室

床	表面強化材塗布 ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t3.0金ｺﾃ押え 化粧目地切
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+ 9.5下地+ ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 ※ ※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	GB-D t9.5張



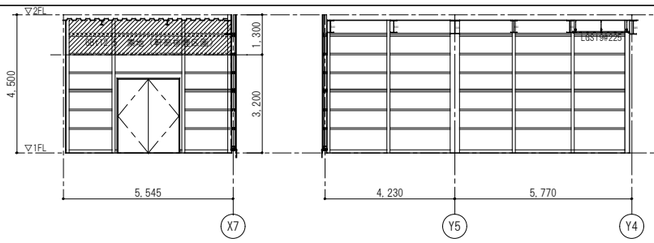
1F　ゴミ庫

床	表面強化材塗布 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え 化粧目地切
巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修+ 床材塗上 H=100
壁	GB-St12.5下地+ FKt6.0 EP塗 ※ ※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	FKt6.0 EP塗



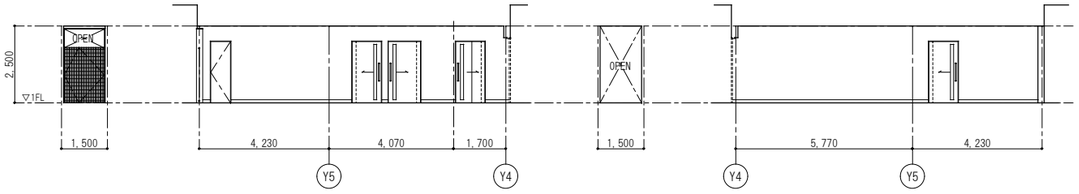
1F　多目的倉庫

床	表面強化材塗布 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え 化粧目地切
巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修+ 床材塗上 H=100
壁	GBt12.5 素地 胴縁表し ※
廻縁	—
天井	床(鏡止塗装)ﾀﾞｯﾄ表し 一部：LGS19#225(ﾙｰﾊﾞｰ)



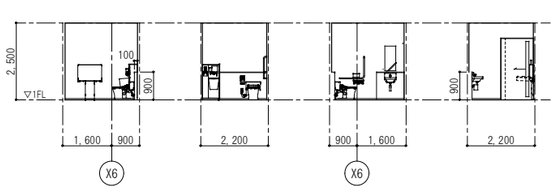
1F　通路

床	表面強化材塗布 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修 撥水材塗布 H=100
壁	GB-St12.5下地+ FKt6.0 EP塗 ※ ※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	FKt6.0 EP塗



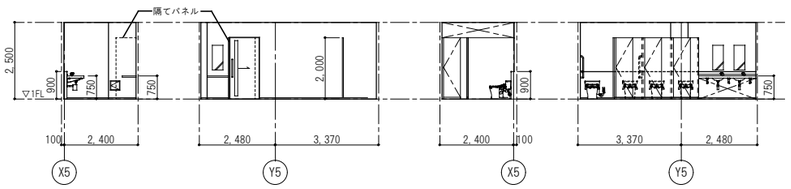
1F　HWC

床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0(防汚)張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GB-St12.5下地+ FKt6.0 EP塗 ※ ※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GB t9.5下地+ ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張



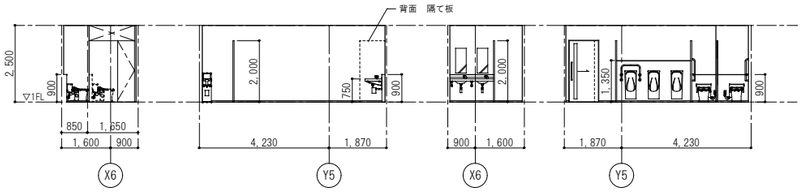
1F　WWC

床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0(防汚)張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GB-St12.5下地+ FKt6.0 EP塗 ※ ※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地+ ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張



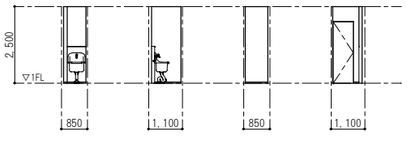
1F　MWC

床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0(防汚)張、一部汚垂石張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GB-St12.5下地+ FKt6.0 EP塗 ※ ※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地+ ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張



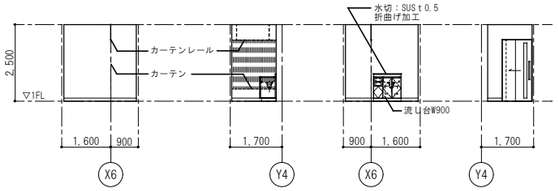
1F　SK

床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0(防汚)張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GB-St12.5下地+ FKt6.0 EP塗 ※ ※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	GB-D t9.5張



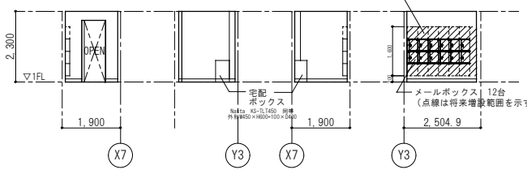
1F　授乳室

床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0(防汚)張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+ 9.5下地 + ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 一部FKt6.0 EP塗 ※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GB t9.5下地+ ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張



1F　メールボックス

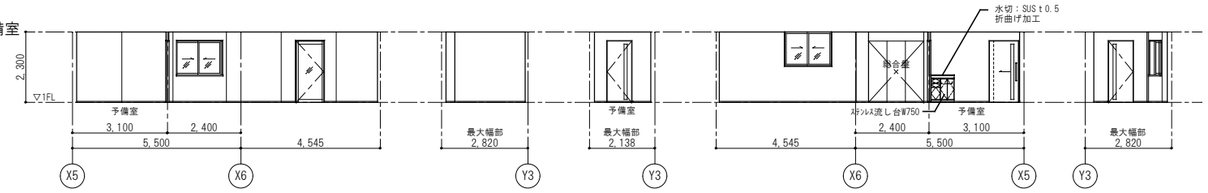
床	表面強化材塗布
巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修+ 撥水剤塗布 H=100 GB-St12.5下地+ FKt6.0 EP塗 ※ ※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	GB-D t9.5張



株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	1階　展開図－1	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	A-37	武村	竹波	竹波	竹波	

1F　仕事ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ事務所・予備室

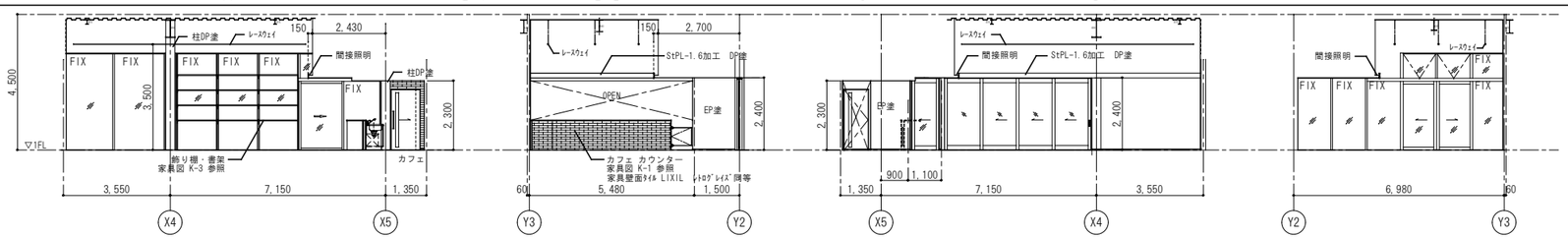
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地+ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	GB-D t9.5張



A　B-1　B-2　C　D-1

1F　地域交流スペース

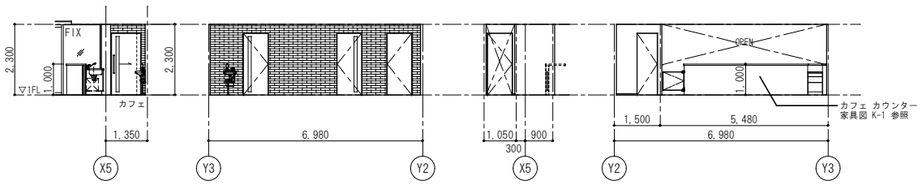
床	表面強化材塗布
	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾗﾄ3.0金ｺﾃ押え 化粧目地切
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地+ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張（一部EP塗）
	※
	※
廻縁	底目
天井	化粧木毛セメント板（塗装品）
	一部ﾃﾞｯｷ表し（錆止塗装）



A　B　C　D

1F　カフェ

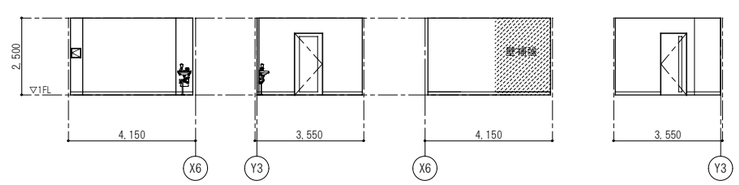
床	表面強化材塗布
	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾗﾄ3.0金ｺﾃ押え 化粧目地切
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5下地+内装用ﾀｲﾙ張
	LIXIL ﾚﾄﾛｸﾞﾚｲｽﾞ同等
	一部 GBt12.5+9.5 EP塗
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.0+12.5 EP塗



A　B　C

1F　フードファクトリー１

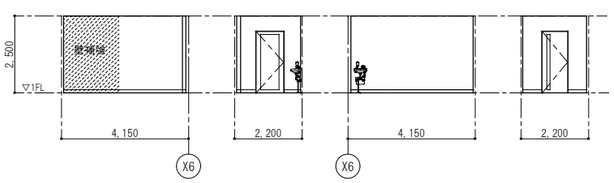
床	表面強化材塗布
	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾗﾄ3.0金ｺﾃ押え 化粧目地切
巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修+ 床材塗上 H=100
壁	GB-St12.5下地+ FKt6.0 EP塗
	※
	※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	FKt6.0 EP塗



A　B　C　D

1F　フードファクトリー２

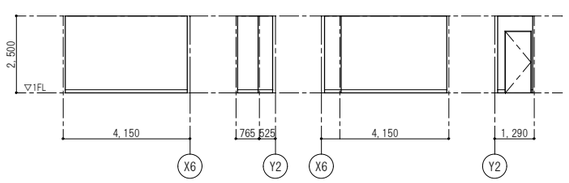
床	表面強化材塗布
	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾗﾄ3.0金ｺﾃ押え 化粧目地切
巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修+ 床材塗上 H=100
壁	GB-St12.5下地+ FKt6.0 EP塗
	※
	※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	FKt6.0 EP塗



A　B　C　D

1F　収納庫

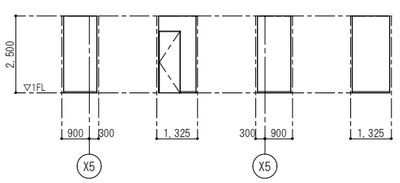
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放補修+ 床材塗上 H=100
壁	GB-St12.5下地+ FKt6.0 EP塗
	※
	※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	GB-D t9.5張



A　B　C　D

1F　更衣室

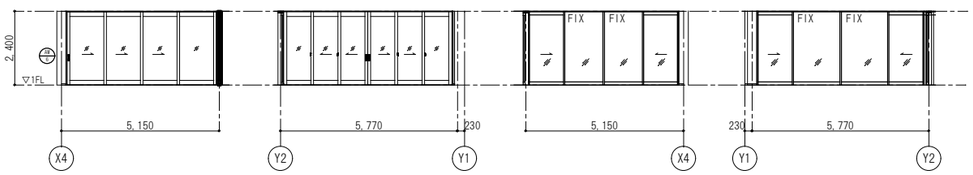
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地
	+ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張
	※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	GB-D t9.5張



A　B　C　D

1F　ワークスペース１

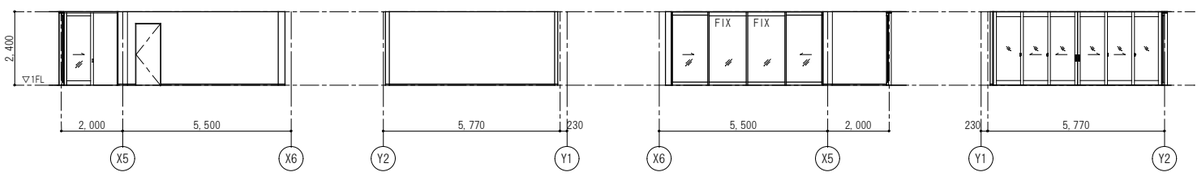
床	表面強化材塗布
	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾗﾄ3.0金ｺﾃ押え 化粧目地切
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地 +ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	底目
天井	化粧木毛セメント板（塗装品）



A　B　C　D

1F　ワークスペース２

床	表面強化材塗布
	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾗﾄ3.0金ｺﾃ押え 化粧目地切
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地 +ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	底目
天井	化粧木毛セメント板（塗装品）



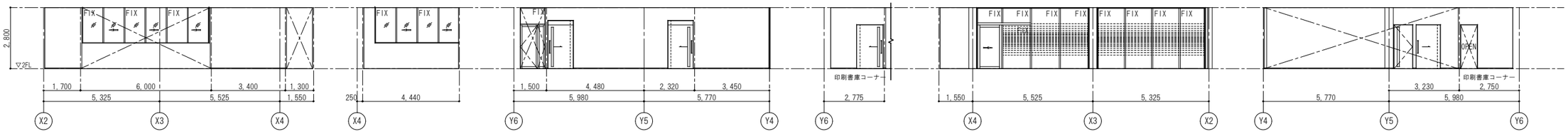
A　B　C　D

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	1階　展開図－2	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	A-38	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

2F　事務室A

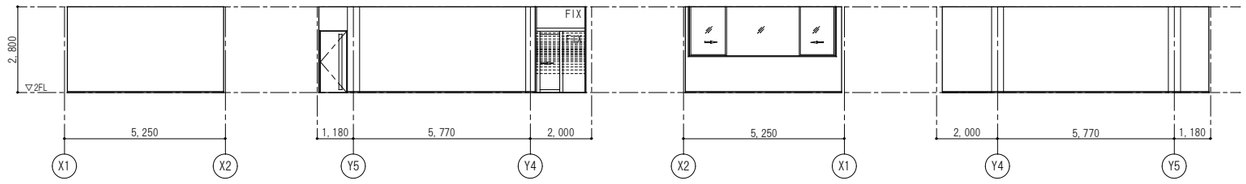
床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7.0張
	OAﾌﾛｱt40
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地+ﾋﾞﾆｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地 + ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張



A－1　A－2　B－1　B－2　C　D

2F　応接室

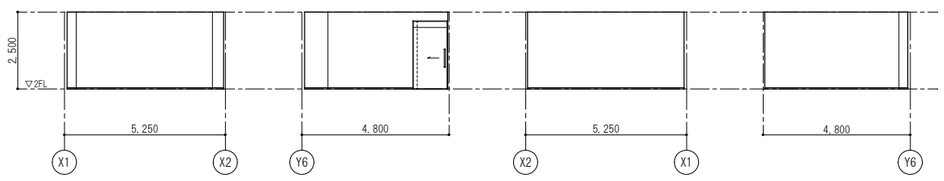
床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7.0張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地+ﾋﾞﾆｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地 + ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張



A　B　C　D

2F　可動書庫

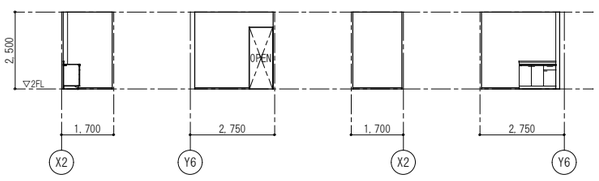
床	表面強化材塗布
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え 化粧目地切
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5（素地）
	※
	※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	GB-D t9.5張



A　B　C　D

2F　湯沸室A

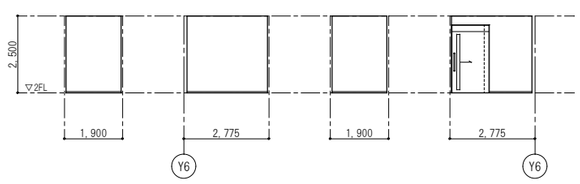
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0(防汚)張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5下地 + FKt6.0 EP塗
	※
	※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	GB-D t9.5張



A　B　C　D

2F　印刷室

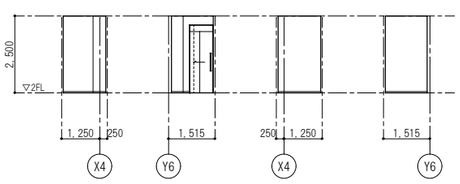
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地+ﾋﾞﾆｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	GB-D t9.5張



A　B　C　D

2F　更衣室M1

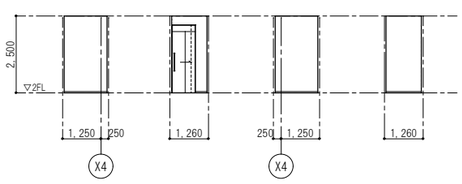
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地+ﾋﾞﾆｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	GB-D t9.5張



A　B　C　D

2F　更衣室W1

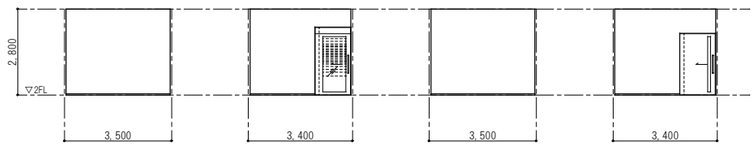
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地+ﾋﾞﾆｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	GB-D t9.5張



A　B　C　D

2F　小会議室1

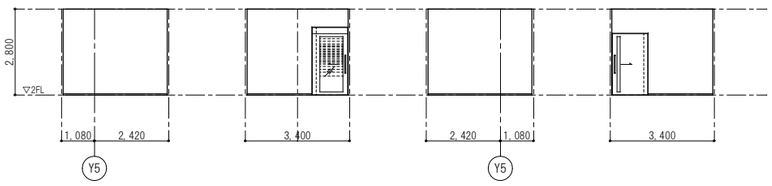
床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7.0張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地+ﾋﾞﾆｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地 + ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張



A　B　C　D

2F　小会議室2

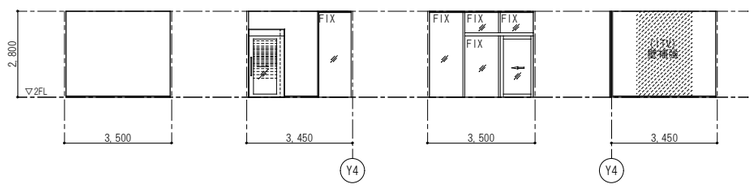
床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7.0張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地+ﾋﾞﾆｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地 + ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張



A　B　C　D

2F　小会議室3

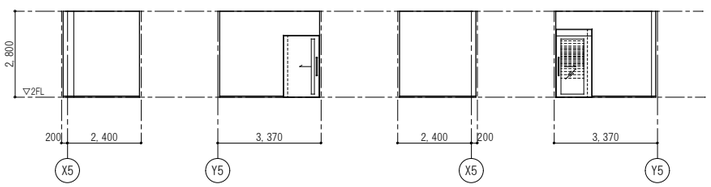
床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7.0張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地+ﾋﾞﾆｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地 + ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張



A　B　C　D

2F　小会議室4

床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7.0張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地+ﾋﾞﾆｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地 + ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張



A　B　C　D

株式会社 黒川建築設計事務所

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

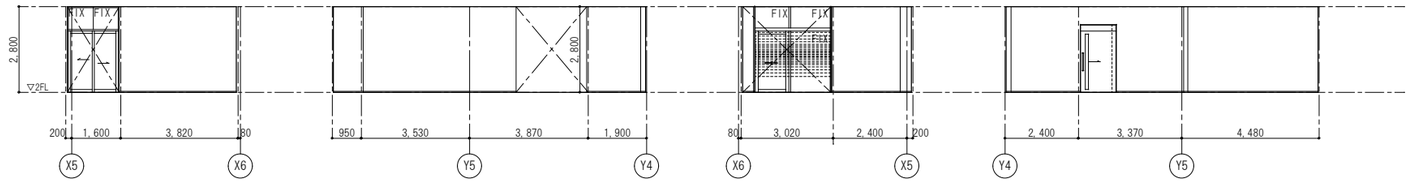
件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	2階　展開図－1	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	A-39	武村	竹波	竹波	竹波

2F 事務室B

床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7.0張
	OAﾌﾛｱt40
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地 + ﾋﾞﾆｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地 + ロックウール吸音板t9.0張

2F 待合1

床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7.0張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地 + ﾋﾞﾆｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地 + ロックウール吸音板t9.0張



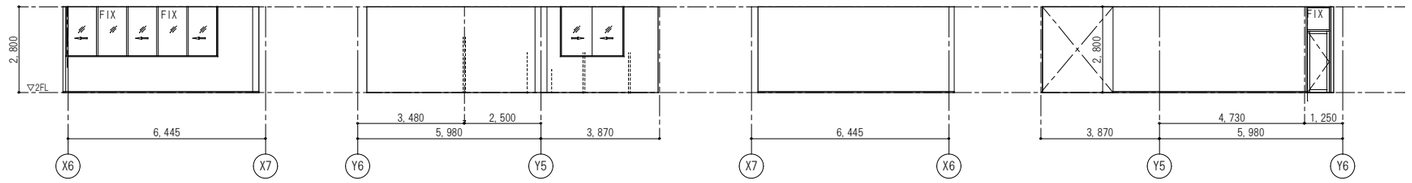
A B C D

2F 事務室C

床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7.0張
	OAﾌﾛｱt40
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地 + ﾋﾞﾆｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地 + ロックウール吸音板t9.0張

2F 待合2

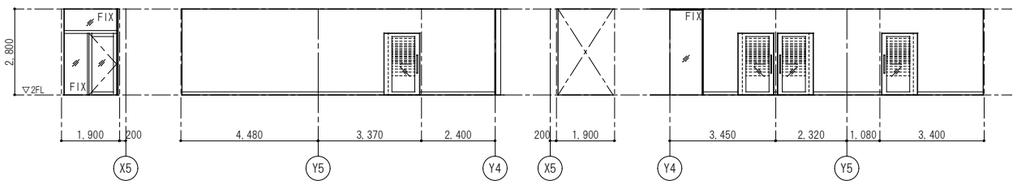
床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7.0張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地 + ﾋﾞﾆｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地 + ロックウール吸音板t9.0張



A B C D

2F 通路1

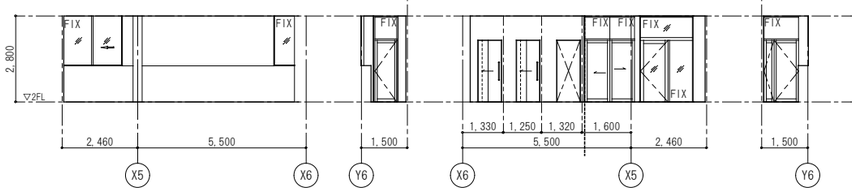
床	防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.5張+塗膜防水X-2
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放 塗膜防水X-2 H=100
壁	GB-St12.5下地 + FKt6.0 EP塗
	※
	※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	GBt9.5下地 + ロックウール吸音板t9.0張



A B C D

2F 通路2

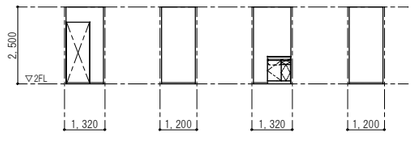
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地 + ﾋﾞﾆｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	GBt9.5下地 + ロックウール吸音板t9.0張



A B C D

2F 湯沸室B

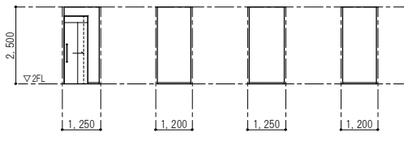
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0(防汚)張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5下地 + FKt6.0 EP塗
	※
	※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	GB-D t9.5張



A B C D

2F 更衣室M2

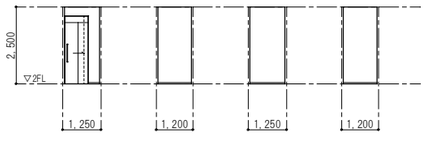
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地 + ﾋﾞﾆｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	GB-D t9.5張



A B C D

2F 更衣室W2

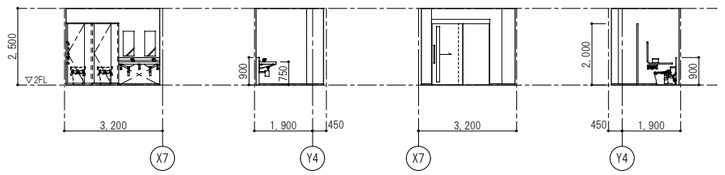
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地 + ﾋﾞﾆｸﾛｽ張
	※
	※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	GB-D t9.5張



A B C D

2F WWC

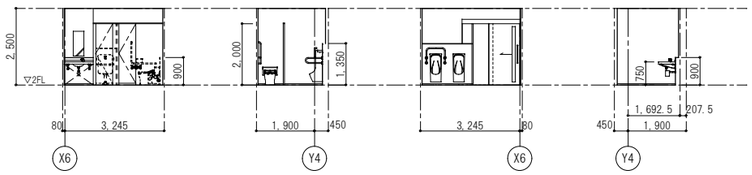
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0(防汚)張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GB-St12.5下地+ FKt6.0 EP塗
	※
	※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地+ ロックウール吸音板t9.0張



A B C D

2F MWC

床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0(防汚)張、一部汚垂石張
	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GB-St12.5下地+ FKt6.0 EP塗
	※
	※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地+ ロックウール吸音板t9.0張



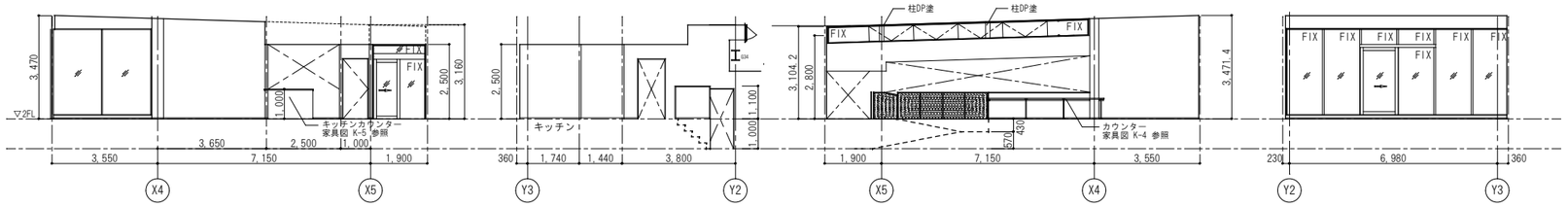
A B C D

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	2階 展開図－2	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	A-40	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX. 086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号

2F　コ・ワーキングスペース

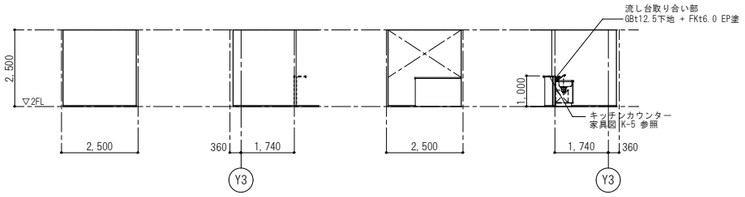
床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7.0張 OAﾌﾛｱt40
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地 + ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 ※ ※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地 + ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張 化粧木毛セメント板（塗装品）



A　B　C　D

2F　キッチン

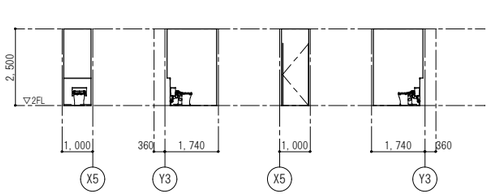
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0(防汚)張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地 + ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 GBt12.5下地 + FKt6.0 EP塗 ※
廻縁	塩ビ製 突付
天井	GB-0 t9.5張



A　B　C　D

2F　ＷＣ

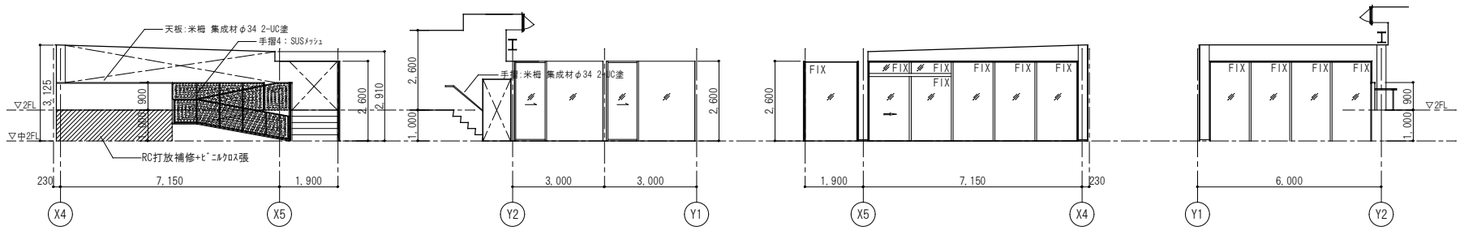
床	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0(防汚)張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GB-St12.5下地+ FKt6.0 EP塗 ※ ※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地+ ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張



A　B　C　D

2F　グループワーク

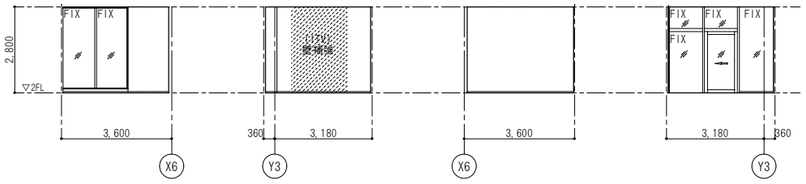
床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7.0張 OAﾌﾛｱt40
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地 + ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 一部RC打放補修下地 ※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地 + ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張 化粧木毛セメント板（塗装品）



A　B　C　D

2F　小会議室５

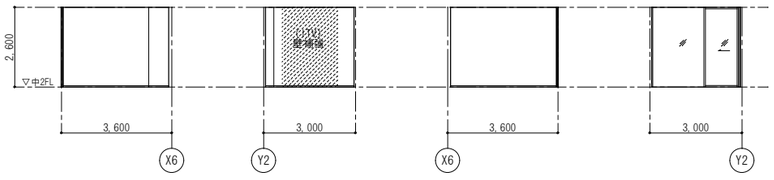
床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7.0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地 + ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 ※ ※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地 + ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張



A　B　C　D

2F　小会議室６

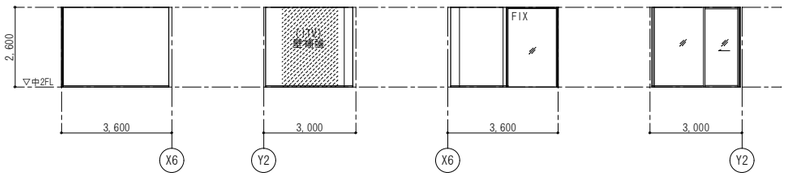
床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7.0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地 + ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 ※ ※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地 + ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張



A　B　C　D

2F　小会議室７

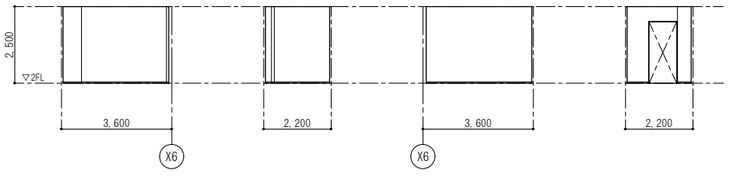
床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7.0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地 + ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 ※ ※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地 + ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張



A　B　C　D

2F　共用ロッカー室

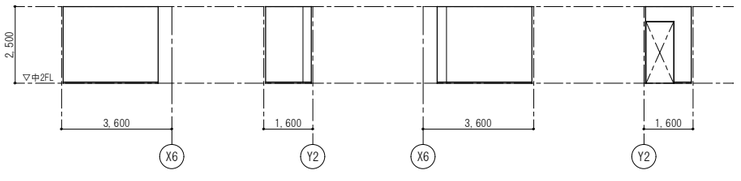
床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7.0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地 + ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 ※ ※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地 + ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張



A　B　C　D

2F　ＯＡスペース

床	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt7.0張 ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押え
巾木	ﾋﾞﾆﾙ製 H=40
壁	GBt12.5+9.5下地 + ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 ※ ※
廻縁	塩ビ製 底目
天井	GBt9.5下地 + ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板t9.0張

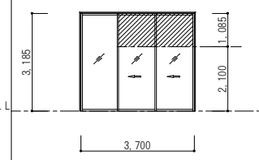
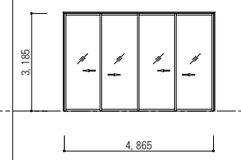
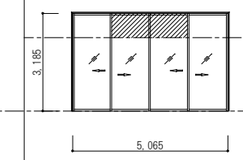
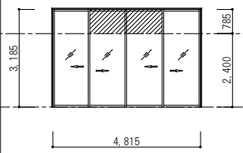
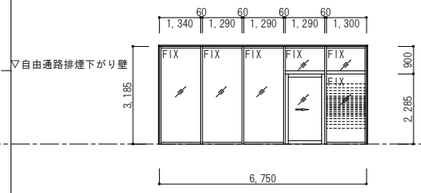
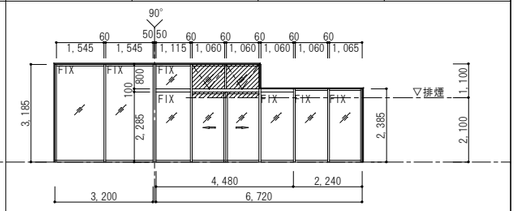


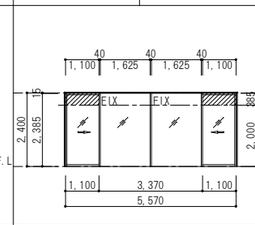
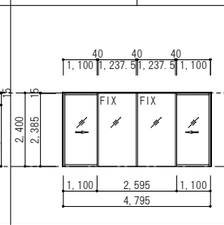
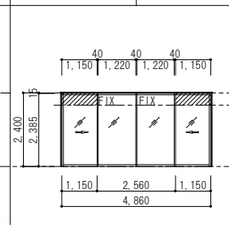
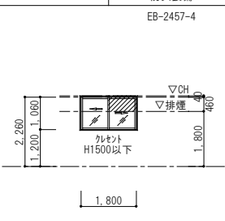
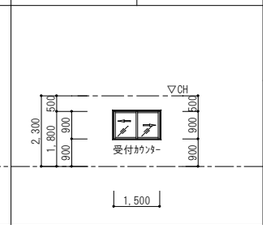
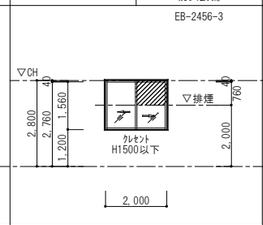
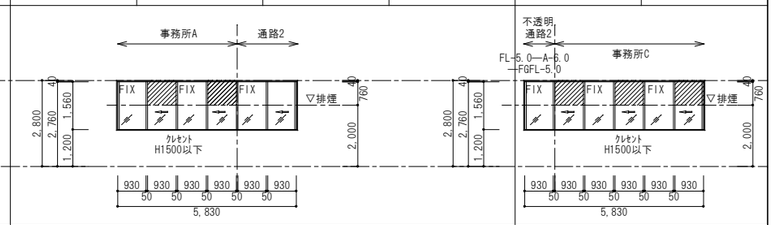
A　B　C　D

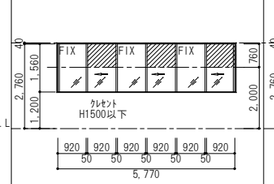
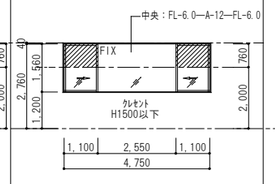
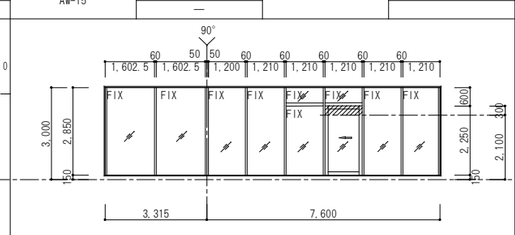
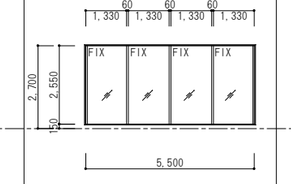
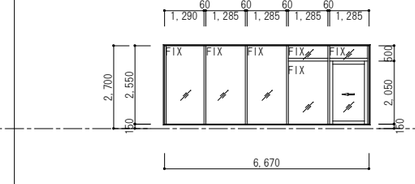
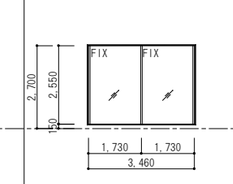
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	２階　展開図－３	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	A-41	武村	竹波	竹波	竹波

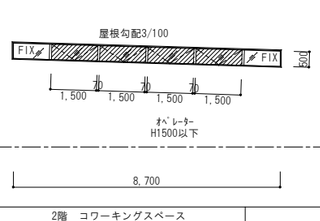
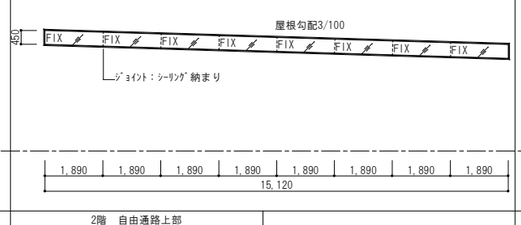
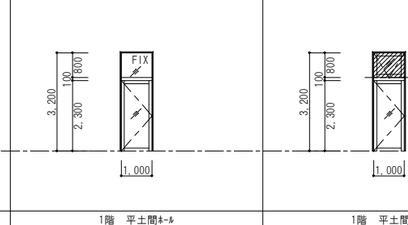
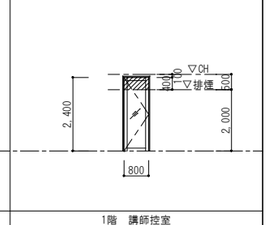
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

建具表1

記号																					
	数量	AW-1	2	AW-2-1	1	AW-2-2	1	AW-2-3	1	AW-3	1			AW-4	欠番	AW-5	1				
	防火関係		—		—		—		—		—						—				
形状・寸法																					
場所		1階 平土間ﾎｰﾙ		1階 平土間ﾎｰﾙ		1階 平土間ﾎｰﾙ		1階 平土間ﾎｰﾙ		1階 地域交流ｽﾍﾟｰｽ						1階 地域交流ｽﾍﾟｰｽ					
名称	見込・扉厚	3枚引き違い窓	120	4枚引き違い窓	120	4枚引き違い窓	120	4枚引き違い窓	120	引戸+FIX	100					引分戸+FIX+外倒し	100				
建具材質	額縁・枠 材質	ｱﾙﾐ		ｱﾙﾐ		ｱﾙﾐ		ｱﾙﾐ		ｱﾙﾐ						ｱﾙﾐ					
建具仕上	額縁・枠 仕上	ｶﾗｰ		ｶﾗｰ		ｶﾗｰ		ｶﾗｰ		ｶﾗｰ						ｶﾗｰ					
硝子		T-8		T-8		T-8		T-8		T-8						T-8					
附属金物等		標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式						標準金物一式					
備考		SCHUCO AS39		SCHUCO AS39		SCHUCO AS39		SCHUCO AS39		ﾌﾛﾝﾄ、ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝﾌｨﾙﾑ（一部）						ﾌﾛﾝﾄ					

記号																					
	数量	AW-6	1	AW-7	1	AW-8	1	AW-9	1	AW-10	1	AW-11	1	AW-12-1	1			AW-12-2			
	防火関係		—		—		—		防火設備		—		防火設備		—						
形状・寸法		EB-2457-4 										EB-2456-3 									
場所		1階 ﾜｰｸｽﾍﾟｰｽ1		1階 ﾜｰｸｽﾍﾟｰｽ1		1階 ﾜｰｸｽﾍﾟｰｽ2		1階 しごとｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ事務室		1階 しごとｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ事務室		2階 待合2		2階 事務所A 通路2				2階 通路2 事務所C			
名称	見込・扉厚	両袖片引き戸+FIX	70	両袖片引き戸+FIX	70	両袖片引き戸+FIX	70	引き違い窓	70（額縁80）	引き違い窓	70（額縁110）	引き違い窓	70（額縁210）	外動片引き戸+FIX	70（額縁210）			外動片引き戸+FIX	70（額縁210）		
建具材質	額縁・枠 材質	ｱﾙﾐ		ｱﾙﾐ		ｱﾙﾐ		ｱﾙﾐ	米栂	ｱﾙﾐ	米栂	ｱﾙﾐ	米栂	ｱﾙﾐ	米栂			ｱﾙﾐ	米栂		
建具仕上	額縁・枠 仕上	ｶﾗｰ		ｶﾗｰ		ｶﾗｰ		ｶﾗｰ	2-UC塗	ｶﾗｰ	2-UC塗	ｶﾗｰ	2-UC塗	ｶﾗｰ	2-UC塗			ｶﾗｰ	2-UC塗		
硝子		T-8		T-8		T-8		FW-6.8		FL-5.0		FL-5.0—A-6.0—FW-6.8		FL-5.0—A-6.0—FGFL-5.0				FL-5.0—A-6.0—FL-5.0（一部FGFL-5.0）			
附属金物等		標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式、網戸、水切		標準金物一式、網戸、水切		標準金物一式、網戸、水切		標準金物一式、網戸、水切				標準金物一式、網戸、水切			
備考		PRO-SE70		PRO-SE70		PRO-SE70								PRO-SE100				PRO-SE100			

記号																					
	数量	AW-13	1	AW-14	2	AW-15	1					AW-16	1	AW-17	1			AW-18	1		
	防火関係		—		—		—						—		—				—		
形状・寸法																					
場所		2階 事務所A		2階 応接室、事務所A		2階 コワーキングスペース						2階 コワーキングスペース		2階 コワーキングスペース				2階 コワーキングスペース 小会議室7			
名称	見込・扉厚	外動片引き戸+FIX	70（額縁210）	外動片引き窓	70（額縁210）	片引き窓+FIX	100（額縁3方80・面台150）					FIX	100（額縁3方80・面台150）	片引き窓+FIX	100（額縁3方80・面台150）			FIX	100（額縁3方80・面台150）		
建具材質	額縁・枠 材質	ｱﾙﾐ	米栂	ｱﾙﾐ	米栂	ｱﾙﾐ	米栂					ｱﾙﾐ	米栂	ｱﾙﾐ	米栂			ｱﾙﾐ	米栂		
建具仕上	額縁・枠 仕上	ｶﾗｰ	2-UC塗	ｶﾗｰ	2-UC塗	ｶﾗｰ	2-UC塗					ｶﾗｰ	2-UC塗	ｶﾗｰ	2-UC塗			ｶﾗｰ	2-UC塗		
硝子		FL-5.0—A-6.0—FL-5.0		FL-5.0—A-12—FL-5.0 中央：FL-6.0—A-12—FL-6.0		FL-6.0—A-12—FL-6.0						FL-6.0—A-12—FL-6.0		FL-6.0—A-12—FL-6.0				FL-6.0—A-12—FL-6.0			
附属金物等		標準金物一式、網戸、水切		標準金物一式、網戸、水切		標準金物一式						標準金物一式		標準金物一式				標準金物一式			
備考		PRO-SE100		PRO-SE70		ﾌﾛﾝﾄ						ﾌﾛﾝﾄ		ﾌﾛﾝﾄ				ﾌﾛﾝﾄ			

記号																					
	数量	AW-19	欠番	AW-20	1			AW-21	2					AD-1-1	1	AD-1-2	2	AD-2	1		
	防火関係				—				—						—		—		—		
形状・寸法																					
場所				2階 コワーキングスペース				2階 自由通路上部						1階 平土間ﾎｰﾙ		1階 平土間ﾎｰﾙ		1階 講師控室			
名称	見込・扉厚			外倒し窓+FIX	70（額縁3方80・面台450）			FIX	70					片開き戸+FIX	70（額縁80）	片開き戸+外倒し窓	70（額縁80）	片開き戸	70（額縁80）		
建具材質	額縁・枠 材質			ｱﾙﾐ	米栂			ｱﾙﾐ	ｶﾗｰGL（外壁同材曲げ加工）					ｱﾙﾐ	米栂	ｱﾙﾐ	米栂	ｱﾙﾐ	米栂		
建具仕上	額縁・枠 仕上			ｶﾗｰ	2-UC塗			ｶﾗｰ						ｶﾗｰ	2-UC塗	ｶﾗｰ	2-UC塗	ｶﾗｰ	2-UC塗		
硝子				FL-5.0—A-6.0—FL-5.0				FL-5.0（上下２辺支持）						FL-5.0		FL-5.0		FL-5.0			
附属金物等				標準金物一式、網戸、水切、ｵﾍﾞﾚｰﾀｰ				標準金物一式、水切						標準金物一式、DC、ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)、水切		水切標準金物一式、DC、ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)、水切		標準金物一式、DC、ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)、水切			
備考				飛散防止ﾌｨﾙﾑ				飛散防止ﾌｨﾙﾑ						ｵﾍﾞﾚｰﾀｰ							

株式会社 黒川建築設計事務所

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX. 086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	建具表1	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	A-42	武村	竹波	竹波	竹波

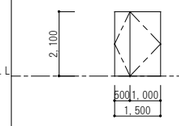
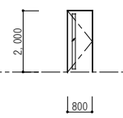
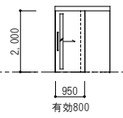
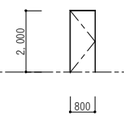
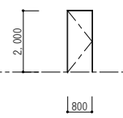
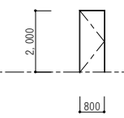
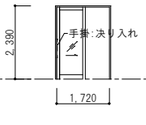
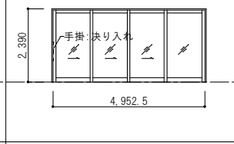
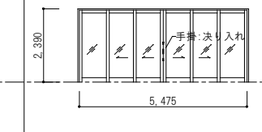
建具表2

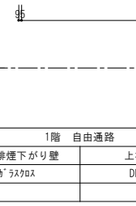
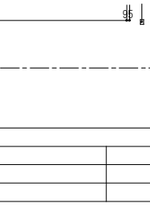
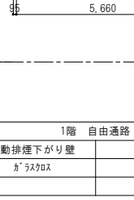
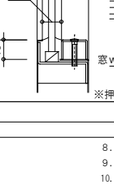
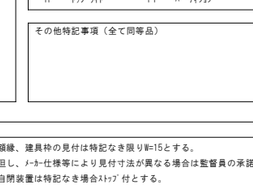
記号	数量	AD-3~6	欠番	AD-7	1	AD-8	2	AD-9	1	AD-10	1	AD-11	1			AWD-1	1	AWD-2	1
	防火関係				—		防火設備		—		—		—				—		—
形状・寸法				常時閉鎖の不燃扉＋不燃垂壁300mm以上 防煙区画：防火避難規定の解説2023 P75															
場所				1階 しごとイノベーション事務所		1階 フードファクトリー		2階 コワーキングスペース		2階 通路1		2階 応接室				2階 事務所A		2階 事務所A	
名称	見込・扉厚			片開き戸	70（額縁110）	片開き戸	70（額縁80）	自動ドア+FIX	70（額縁50）	開き扉+FIX	70（額縁50）	片引き戸+FIX	70（額縁50）			FIX	70（額縁50）	片引き戸+FIX	70（額縁50）
建具材質	額縁・枠 材質			アルミ	米栂	アルミ	米栂	アルミ	米栂	アルミ	米栂	アルミ	米栂			アルミ	米栂	アルミ	米栂
建具仕上	額縁・枠 仕上			カラー	2-UC塗	カラー	2-UC塗	カラー	2-UC塗	カラー	2-UC塗	カラー	2-UC塗			カラー	2-UC塗	カラー	2-UC塗
硝子				FGFL-5.0		FW-6.8		FL-5.0—A-6.0—FL-5.0		FL-5.0		FL-5.0—A-6.0—FL-5.0				FL-5.0—A-6.0—FL-5.0		FL-5.0—A-6.0—FL-5.0	
附属金物等				標準金物一式、DCN、ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)、水切		標準金物一式、FO、DCN、ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)、水切		標準金物一式、電気錠		標準金物一式、ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)、電気錠		標準金物一式、ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)				標準金物一式、ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)		標準金物一式、ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)	
備考				電気錠								ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝﾌｨﾙﾑ				ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝﾌｨﾙﾑ		ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝﾌｨﾙﾑ	
記号	数量	AWD-3	1	AWD-4	1	AWD-5	1					SD-1	1	SD-2	1	SD-3	2	SD-4	1
	防火関係		—		—		—						特定防火設備（常時開放） H12建告1369号		特定防火設備		—		—
形状・寸法																			
場所		2階 事務所A、小会議室3		2階 待合1		2階 小会議室5						1階 通路		1階 多目的倉庫		1階 ごみ置場、多目的倉庫		1階 倉庫	
名称	見込・扉厚	片引き戸+FIX	70（額縁50）	片引き戸+FIX	70（額縁50）	片引き戸+FIX	70（額縁50）					潜戸付片開き戸	120	両開き戸	130	両開き戸	130	親子開き戸	130
建具材質	額縁・枠 材質	アルミ	米栂	アルミ	米栂	アルミ	米栂					ｽﾁｰﾙt1.6	ｽﾁｰﾙt1.6	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ	ｽﾁｰﾙ
建具仕上	額縁・枠 仕上	カラー	2-UC塗	カラー	2-UC塗	カラー	2-UC塗					DP3級	DP3級	DP3級	DP3級	DP3級	DP3級	DP3級	DP3級
硝子		FL-5.0—A-6.0—FL-5.0、FL-5.0		FL-5.0—A-6.0—FL-5.0		FL-5.0						—		—		—		—	
附属金物等		標準金物一式、ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)		標準金物一式、ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)		標準金物一式、ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)						ｹｰｽﾍﾝﾄﾞﾙ、ｵｰﾄﾋﾝｼﾞ		標準金物一式、ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)		標準金物一式、ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)		標準金物一式、ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)	
備考		ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝﾌｨﾙﾑ		ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝﾌｨﾙﾑ								自火報連動自動閉鎖		DCN、FO、順位調整器、沓摺3		DC、FO、順位調整器、沓摺3		DC、FO、順位調整器、沓摺3	
記号	数量	SF-1	欠番	SF-2	1	SF-3	1	SF-4	1	SF-5	1	SF-6	2			LSD-1	1	LSD-2	2
	防火関係				—		—		—		—		—				—		—
形状・寸法																			
場所				1階 通路		1階 メールボックス		2階 湯沸室A		2階 湯沸室B		2階 コワーキングスペース				1階 SK		1階 WWC、MWC	
名称	見込・扉厚			3方枠	200	3方枠	240	3方枠	130	3方枠	130	3方枠	130			片開き戸	160	片引き戸(戸袋収納ﾀｲﾌﾟ)	160
建具材質	額縁・枠 材質				ｽﾁｰﾙ t=1.6		ｽﾁｰﾙ t=1.6		ｽﾁｰﾙ t=1.6		ｽﾁｰﾙ t=1.6		ｽﾁｰﾙ t=1.6			ｽﾁｰﾙ t=0.6	ｽﾁｰﾙ t=1.6	ｽﾁｰﾙ t=0.6	ｽﾁｰﾙ t=1.6
建具仕上	額縁・枠 仕上				DP3級		DP3級		SOP		SOP		SOP			DP3級	DP3級	DP3級	DP3級
硝子																—		換気ｽﾘｯﾄ	
附属金物等				ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽH2.0（南京錠）												レﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(内ｻﾑﾀｰﾝ)、SUS丁番、戸当り		引棒、自閉装置、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(内ｻﾑﾀｰﾝ)		
備考				沓摺1		沓摺1		沓摺1		沓摺1		沓摺1						沓摺2	
記号	数量	LSD-3	1	LSD-4	2	LSD-5	2	LSD-6	4	LSD-7	1	LSD-8	1	LSD-9	4	LSD-10	1	LSD-11	2
	防火関係		—		—		—		—		—		—		—		—		—
形状・寸法																			
場所		1階 HWC		2階 WWC、MWC		2階 小会議室1、2		2階 更衣室M1、M2、W1、W2		2階 印刷室		2階 小会議室4		2階 小会議室1～4		1階 授乳室		1階 フードファクトリー1、2	
名称	見込・扉厚	片引き戸(戸袋収納ﾀｲﾌﾟ)	160	片引き戸(両面戸袋ﾀｲﾌﾟ)	180	片引き戸(戸袋収納ﾀｲﾌﾟ)	130	片引き戸(可動2枚)	130	片引き戸(戸袋収納ﾀｲﾌﾟ)	130	片引き戸(戸袋収納ﾀｲﾌﾟ)	130	片引き戸(戸袋収納ﾀｲﾌﾟ)	130	片引き戸(可動2枚)	160	片開き戸	160
建具材質	額縁・枠 材質	ｽﾁｰﾙ t=0.6	ｽﾁｰﾙ t=1.6	ｽﾁｰﾙ t=0.6	ｽﾁｰﾙ t=1.6	ｽﾁｰﾙ t=0.6	ｽﾁｰﾙ t=1.6	ｽﾁｰﾙ t=0.6	ｽﾁｰﾙ t=1.6	ｽﾁｰﾙ t=0.6	ｽﾁｰﾙ t=1.6	ｽﾁｰﾙ t=0.6	ｽﾁｰﾙ t=1.6	ｽﾁｰﾙ t=0.6	ｽﾁｰﾙ t=1.6	ｽﾁｰﾙ t=0.6	ｽﾁｰﾙ t=1.6	ｽﾁｰﾙ t=0.6	ｽﾁｰﾙ t=1.6
建具仕上	額縁・枠 仕上	DP3級	DP3級	DP3級	DP3級	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP	SOP	DP3級	DP3級
硝子		換気ｽﾘｯﾄ		換気ｽﾘｯﾄ		不透明ｱｸﾘﾙ板 t=4.0		—		不透明ｱｸﾘﾙ板 t=4.0		不透明ｱｸﾘﾙ板 t=4.0		FL5.0+ｸﾞﾗﾃﾞｰｼｮﾝﾌｨﾙﾑ		換気ｽﾘｯﾄ		—	
附属金物等		引棒、自閉装置、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(内ｻﾑﾀｰﾝ)		引棒、自閉装置、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(内ｻﾑﾀｰﾝ)		引棒、自閉装置、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(内ｻﾑﾀｰﾝ)		引棒、自閉装置、表示錠		引棒、自閉装置、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(内ｻﾑﾀｰﾝ)		引棒、自閉装置、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(内ｻﾑﾀｰﾝ)		引棒、自閉装置、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(内ｻﾑﾀｰﾝ)		引棒、自閉装置、表示錠		レﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(内ｻﾑﾀｰﾝ)、SUS丁番、戸当り	
備考		沓摺2		沓摺2		沓摺2		沓摺2		沓摺2		沓摺2		沓摺2		沓摺2		沓摺2	

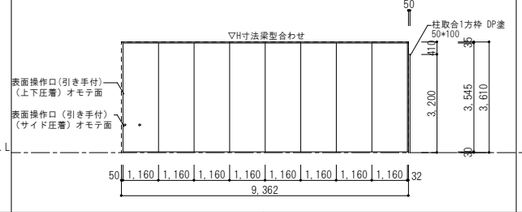
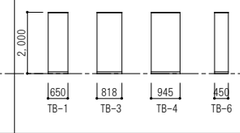
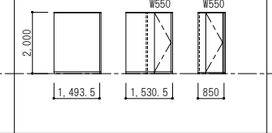
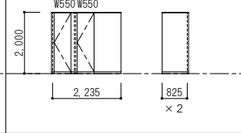
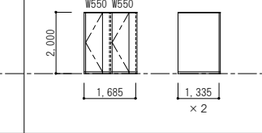
	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
株式会社 黒川建築設計事務所	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	建具表2	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	A-43	武村	竹波	竹波	竹波

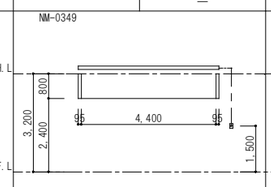
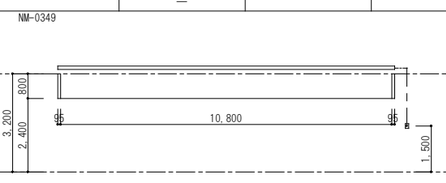
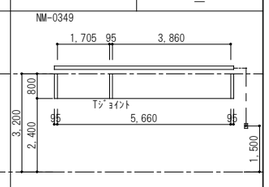
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX. 086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号

建具表3

記号		WD-1	WD-2	WD-3	WD-4	WD-5	WD-6	WD-7	WD-8	WD-9
	数量	2	1	1	1	1	1	1	1	1
	防火関係	—	—	—	—	—	—	—	—	—
形状・寸法		 DAIKEN同等	 DAIKEN同等	 DAIKEN同等	 DAIKEN同等	 DAIKEN同等	 DAIKEN同等			
場所		1階　倉庫、講師控室	1階　予備室	1階　予備室	1階　ワークスペース2	1階　収納庫	1階　更衣室	1階　ワークスペース2	1階　ワークスペース1	1階　ワークスペース1
名称	見込・扉厚	親子開き戸	片開き戸	上吊り引戸	片開き戸	片開き戸	片開き戸	片引き戸	片引き戸（4枚）	両引分け戸（6枚）
名称								本体170(扉55)	本体170(扉55)	本体170(扉55)
建具材質	額縁・枠 材質	木製ﾌﾗｯｼｭ戸	木製ﾌﾗｯｼｭ戸	木製ﾌﾗｯｼｭ戸	木製ﾌﾗｯｼｭ戸	木製ﾌﾗｯｼｭ戸	木製ﾌﾗｯｼｭ戸	木製	木製	木製
建具仕上	額縁・枠 仕上	ｼｰﾄ張	ｼｰﾄ張	ｼｰﾄ張	ｼｰﾄ張	ｼｰﾄ張	ｼｰﾄ張	UC塗	UC塗	UC塗
硝子		—	不透明ｱｸﾘﾙ板 t=4.0	不透明ｱｸﾘﾙ板 t=4.0	—	—	—	FL5.0	FL5.0	FL5.0
附属金物等		ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ,SUS丁番,FO,ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ,SUS丁番,ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)	引手,ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(内:ｻﾑﾀｰﾝ),上吊ﾚｰﾙ,ﾌﾚ止,消音ﾀﾞﾝﾊﾟｰ	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ,SUS丁番,ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ,SUS丁番,ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ,SUS丁番,ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)	ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(内:ｻﾑﾀｰﾝ)、SUS引戸ﾚｰﾙ、戸車、戸当り	引手、SUS引戸ﾚｰﾙ、戸車、戸当り	引手,ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(内:ｻﾑﾀｰﾝ)、SUS引戸ﾚｰﾙ、戸車、戸当り
備考		ﾄﾞｱｽﾄｯﾊﾟｰ	ﾄﾞｱｽﾄｯﾊﾟｰ					扉間隙間:決り入れ、除間ﾋﾟﾝﾌﾞﾛｯｸ	扉間隙間:決り入れ、除間ﾋﾟﾝﾌﾞﾛｯｸ	扉間隙間:決り入れ、除間ﾋﾟﾝﾌﾞﾛｯｸ

記号		WD-10	WD-11	WD-12	WD-13	WD-14	WD-15		PT-1	PT-2
	数量	1	1	1	1	1	1		1	1
	防火関係	—	—	—	—	—	—		—	—
形状・寸法		 DAIKEN同等	 DAIKEN同等				 DAIKEN同等			
場所		2階　応接室	2階　可動書架	2階　通路2	2階　通路2	2階　通路2	2階　WC		2階　小会議室6	2階　小会議室7
名称	見込・扉厚	片開き戸	片引き戸	親子開き戸	引き違い窓	片開き戸	片開き戸		ｶﾞﾗｽﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ(片引)	ｶﾞﾗｽﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ(片引)
名称									70	70
建具材質	額縁・枠 材質	木製ﾌﾗｯｼｭ戸	木製ﾌﾗｯｼｭ戸	木製	木製	木製	木製ﾌﾗｯｼｭ戸		電気亜鉛ﾒｯｷ鋼板	電気亜鉛ﾒｯｷ鋼板
建具仕上	額縁・枠 仕上	ｼｰﾄ張	ｼｰﾄ張	木目化粧合板	木目化粧合板	木目化粧合板	ｼｰﾄ張		焼付塗装	焼付塗装
硝子		不透明ｱｸﾘﾙ板 t=4.0	—	FGFL-5.0,上部FL-5.0	FGFL-5.0,上部FL-5.0	FGFL-5.0,上部FL-5.0	—		一般:FL-8.0(飛散防止ﾌｨﾙﾑ張)+扉部:T-8	一般:FL-8.0(飛散防止ﾌｨﾙﾑ張)+扉部:T-8
附属金物等		ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ,SUS丁番,ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)	引手,ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(内:ｻﾑﾀｰﾝ),上吊ﾚｰﾙ,ﾌﾚ止,消音ﾀﾞﾝﾊﾟｰ	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ,SUS丁番,FO,ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)	引手,ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(内:ｻﾑﾀｰﾝ),上吊ﾚｰﾙ,ﾌﾚ止,消音ﾀﾞﾝﾊﾟｰ	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ,SUS丁番,ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ,SUS丁番,ｼﾘﾝﾀﾞｰ(内ｻﾑﾀｰﾝ)		標準金物一式、沓摺2	標準金物一式、沓摺2
備考		ﾄﾞｱｽﾄｯﾊﾟｰ、沓摺2	沓摺2	ﾄﾞｱｽﾄｯﾊﾟｰ、沓摺2	沓摺2	ﾄﾞｱｽﾄｯﾊﾟｰ、沓摺2	ﾄﾞｱｽﾄｯﾊﾟｰ、沓摺2		ｺﾏﾂｳｫｰﾙGｳｫｰﾙ　MW-GW 同等	ｺﾏﾂｳｫｰﾙGｳｫｰﾙ　MW-GW 同等

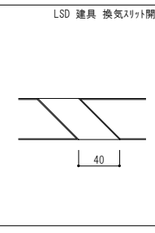
記号		SW-1			TB-1,3,4,6	TB-2		TB-5	TB-7	TB-8
	数量	2			1	1		1	1	1
	防火関係	—			—	—		—	—	—
形状・寸法										
場所		1階　平土間ﾎｰﾙ			1階　WWC、MWC、　2階MWC	1階　WWC		1階　MWC	2階　MWC	2階　WWC
名称	見込・扉厚	ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ	65		ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	40	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ
建具材質	額縁・枠 材質	ﾗﾜﾝ合板t=9.0	St・ｱﾙﾐ枠材		ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ	ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ	—	ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ	ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ	ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ
建具仕上	額縁・枠 仕上	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張	焼付塗装		高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板	高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板	—	高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板	高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板	高圧ﾒﾗﾐﾝ化粧板
硝子		—			—	—		—	—	—
附属金物等		標準金物1式、末端:上下ｼｰﾙﾄﾞ圧接、操作口(面付)			標準金物一式	標準金物一式、中心吊ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、戸当り帽子掛け		標準金物一式、中心吊ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、戸当り帽子掛け	標準金物一式、中心吊ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、戸当り帽子掛け	標準金物一式、中心吊ｸﾞﾗﾋﾞﾃｨﾋﾝｼﾞ、戸当り帽子掛け
備考		遮音性能54dB、ﾊﾟﾈﾙ枠焼付塗装			ｱﾙﾐ笠木、SUS幅木	ｱﾙﾐ笠木、SUS幅木、表示錠、非常時外開き機能		ｱﾙﾐ笠木、SUS幅木、表示錠、非常時外開き機能	ｱﾙﾐ笠木、SUS幅木、表示錠、非常時外開き機能	ｱﾙﾐ笠木、SUS幅木、表示錠、非常時外開き機能

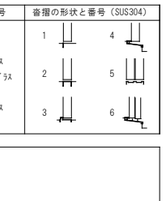
記号		SS-1	SS-2	SS-3
	数量	1	1	1
	防火関係	—	—	—
形状・寸法				
場所		1階　自由通路	1階　自由通路	1階　自由通路
名称	見込・扉厚	可動排煙下がり壁	可動排煙下がり壁	可動排煙下がり壁
名称		上枠 St	上枠 St	上枠 St
建具材質	額縁・枠 材質	ｶﾞﾗｽｸﾛｽ	ｶﾞﾗｽｸﾛｽ	ｶﾞﾗｽｸﾛｽ
建具仕上	額縁・枠 仕上	DP3級	DP3級	DP3級
硝子				
附属金物等		可動型ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ,取り巻き棚,SUS座板、まぐさ	可動型ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ,取り巻き棚,SUS座板、まぐさ	可動型ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ,取り巻き棚,SUS座板、まぐさ
備考		手動閉鎖装置	手動閉鎖装置	手動閉鎖装置

LSD　片引き戸— 枠取合　平面詳細図(共通)

LSD 建具 中抜開口部詳細図

LSD 建具 換気ｽﾘｯﾄ開口部詳細図



建具の種類と符号				ｶﾞﾗｽ略号		沓摺の形状と番号（SUS304）
AW	ｱﾙﾐ製窓	SS	ｽﾁｰﾙ製ｼｬｯﾀｰ	FL	ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ	
AD	ｱﾙﾐ製扉	OS	ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰ	F	型板ｶﾞﾗｽ	
AWD	ｱﾙﾐ製窓・扉	WW	木製窓	PW	網入り磨ｶﾞﾗｽ	
SW	ｽﾁｰﾙ製窓	WD	木製扉	FW	網入り型板ｶﾞﾗｽ	
SD	ｽﾁｰﾙ製扉	SW	ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ	T	強化ｶﾞﾗｽ	
LSD	軽量ｽﾁｰﾙ製扉	TB	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	TF	型板強化ｶﾞﾗｽ	
TP	ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ	PT	ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ	FGFL	ﾌﾛｽﾄｶﾞﾗｽ	

その他特記事項（全て同等品）

一般事項

1. 建具寸法は概略寸法を示し、施工図作成の上決定する。
2. 開き勝手は平面図による。
3. 扉は特記なき場合両面ﾌﾗｯｼｭとする。
4. 枠（小窓類の枠含む）及びﾄﾞｱﾊﾞﾌﾗﾘの材質仕上は、特記なき場合扉と同一とする。
5. 扉は原則として空錠付とする。
6. 沓摺は原則として床仕上げ面とﾌﾗｯﾄとする。
7. 両開き戸（親子戸を含む）は、全てﾌﾗｽ落し付きとする。
8. 特記以外にも通常および防火認定・避難上必要なものは全て含む。
9. 外部に面するｶﾞﾗﾘにはすべて水返しを設ける。
10. 外壁面に付く建具は出入口を除き、水切り付きとする。
11. 配線工事で、建具より感知器または監視盤への配線は電気設備工事とする。
12. 電気錠は自火報連動とする。
13. 両開きﾄﾞｱ及び親子開きﾄﾞｱには、順位調整器を設置する。
14. 排煙ﾀﾍﾞﾚｰﾀｰ装置はFL+1500以下とする。
15. 額縁、建具枠の見付は特記なき限り$W=15$とする。
　但し、ﾒｰｶｰ仕様等により見付寸法が異なる場合は監督員の承諾を受ける。
16. 自閉装置は特記なき場合ｽﾄｯﾌﾟ付とする。
17. ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰは室内側に設置する。

凡例

防	防火設備
特	特定防火設備

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	建具表3	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	A-44	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

仕　様　一　覧

号　機		---
用　途		乗用（車いす仕様）
機　種		X10R （エクシオール／機械室レス）X102
制御方式		インバータ制御方式（電力回生無し）
運転操作方式		乗合全自動方式
積　載		750 kg 11 名
速　度		45 m／min
動力用電源		三相3線 210 V 60 Hz
照明用電源		単相 100 V 60 Hz
巻上電動機		3.5 kW
停止階及び数		（正面） 1,2 階 2 個所
		（背面） 階 個所
かご内法		（間口） 1400 ㎜ （奥行） 1350 ㎜ （高さ） 2250 ㎜
出入口寸法		（間口） 800 ㎜ （高さ） 2100 ㎜
戸の方式		2枚 両引き（電動式）
おもり		50 %バランス
荷重条件 ※1		250 kg以下

管制運転	地震時管制運転	●：（P・S波）リスタート運転機能付
	火災時管制運転	●
	停電時自動着床	●
	冠水時管制運転	●
	自家発時管制運転	－
	緊急地震速報運動	－
	長周期地震時管制運転	－
セーフティ機能	カードアボケットセンサー	●
	光電式ドアニック	●：（光電式）
	光電式多光軸ドアセンサー	●
	ドアエッジセンサー	－
	ドアウインカー	－
ユニバーサルデザイン対応	車いす仕様	●
	音声案内装置	●：四ヶ国語対応（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	視覚障がい者仕様（点字）	●
	聴覚障がい者仕様（改客灯付インターホン呼びボタン）	●
	発音機能付タクタイルボタン	●
	走行お知らせ音	－
	敷居隙間 10㎜	●
特記仕様	AirTap 非接触ボタン（一般用主操作盤 車いす用操作盤 インジケータ押ボタン）	
	拡張仕様ボタン（乗場／かご）	
	行先階キャンセル機能	
	放送用スピーカー	
	映像分配器	
	乗場カードリーダー（全階）（材・工共 EI工事）	
	サービス切離し運転	
	監視盤	－
高調波対策	EMIフィルタ 零相リアクトル（標準）	● （回路分類NO.31 換算係数Ki＝3.4）
	標準＋ACリアクトル	－ （回路分類NO.32 換算係数Ki＝1.8）
	標準＋DCリアクトル	－ （回路分類NO.33 換算係数Ki＝1.8）
	標準＋AC・DCリアクトル	－ （回路分類NO.34 換算係数Ki＝1.4）

乗場	三方枠	全塗 大枠 化粧鋼板
	幕　板	
	扉	全塗 化粧鋼板
	遮煙乗場ドア	－
	防犯窓	－
	敷　居	全塗 硬質アルミ製
	乗場意匠機器 表示機器	全塗 液晶表示（混雑度表示付）／押ボタン組込
	乗場意匠機器 押ボタン	全塗 35φ抗菌樹脂ボタン／非接触呼登録（一体型）
	乗場意匠機器 フェースプレート	全塗 樹脂製

かご	天　井	スタンダードタイプ
	袖　壁	ステンレスバイブレーション仕上（入口柱一体）
	入口柱	-
	側　壁	化粧鋼板
	幕　板	化粧鋼板
	扉	化粧鋼板
	幅　木	アルミアルマイト仕上
	床	t=2.0 ビニールタイル
	敷　居	硬質アルミ製
	換気装置	クロスフローファン
	主操作盤 表示機器	液晶表示／操作盤組込
	主操作盤 押ボタン	35φ抗菌樹脂ボタン／非接触呼登録（一体型）
	主操作盤 フェースプレート	ステンレスバイブレーション仕上
	手すり	32φ ステンレスヘアライン仕上（端部亜鉛ダイカスト製）
	鏡	標準ステンレス鏡（周囲縁付）
	ガード	-
	保護幕	●：標準品（取付：磁石式）
	床マット	●
	ＩＴＶカメラ	●：122万画素、メンテナンスカメラ兼用

特記仕様	

※昇降路内温度の制約

下記いずれかの場合は、「換気上有効な開口部、換気設備又は空気調和設備」を設ける必要があります。

・昇降路内温度が40℃を超える場合
（エレベータ機器の発熱や昇降路外からの入射熱等による）

・エレベータ機器発熱量による昇降路内温度上昇が7℃を超える場合

エレベータ機器発熱量 ~~（かご灯ケーラー含む）~~	
エレベータ機器発熱量による昇降路内温度上昇	7℃以下

※エレベータ機器の発熱や昇降路外からの入射熱等により、
昇降路内温度が40℃を超えないかご確認ください。

基本仕様

最寄階救出運転
戸閉走不能時救出運転
乗り逃げ検出（警報ブザー及び音声案内）
各階強制停止運転（各停運転）
昇降機耐震設計・施工指針（２０１６年版）対応
戸開走行保護装置
イオンフル（ブラズマクラスター技術搭載／シャープ（株）商標）
耐震クラス（　A14）

エコロジー機能

かご天井 ＬＥＤ照明（液晶インジケータのバックライトもＬＥＤ化）
シックハウス対策（法令（建基）に基づいたシックハウス対策に対応）
かご照明の自動休止

NEWゴールドメンテナンス契約により有効となる機能

地震管制後の自動診断・仮復旧運転
メンテナンス用カメラによる、遠隔映像監視・遠隔閉込救出対応
２４時間リモート点検
聴覚障がい者仕様：応答液晶表示（仕様が付加された場合、契約に関わらず有効）

※1　４輪手押し台車等で荷物を積み込む場合は、台車の重量を含んで、
荷重条件以下に分けて積み込みください。

-

車いす仕様

乗　場	車いす専用乗場ボタン
かご内室	車いす専用かご主副操作盤（主側のみインジケータ付）
	鏡
	手すり
セーフティ機能	戸開放時間の延長
	戸閉速度の低減
	自動着床修正装置
	光電式多光軸ドアセンサー

AirTap

タッチレスでエレベータを操作する装置
納入仕様　■含む □含まず

エレベータ除外工事

建築工事関係除外工事

1. 昇降路の築造工事。
（コンクリート打ち誤差により必要となるはつりまたは肉付け工事）
・昇降路のコンクリート強度は ２１Ｎ／mm²（ＦＣ２１）以上。
・昇降路のコンクリート壁厚は １５０mm 以上。
・昇降路の壁（囲い）は、５cm²の任意の面に直角方向の外力（３００Ｎ）が作用しても１５mmを超える変形及び塑性変形を生じない構造とする。
2. 各階出入口（インジケータ、押釦用孔含む）の孔あけ工事。
3. 各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め もしくはロックウール詰めの工事。
4. 乗場据付後の出入口扉りの壁・床及び建築物補修仕上工事。
5. 屋上・開放廊下等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備工事。
（排水口・水勾配・庇など）
6. ピット内防水仕上工事、およびピットが深い場合の埋め戻し工事。
（エレベータ工事の着工前に完了のこと）
・防水厚は ２５mm 以下。
7. 昇降路頂部の荷吊り用ビーム（ 20 kN）設置工事。
8. 鉄骨構造の昇降路に設ける鉄骨材の耐火処理工事及び耐火材の飛散防止処理工事。
9. レール支持用（ 立柱、ファスナープレート ）の設置工事。
10. 敷居受材設置工事。

設備工事関係除外工事

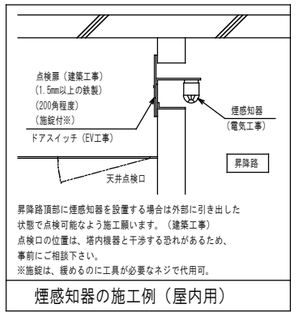
1. エレベータ受電箱までの動力電源・照明電源・接地線の引込み、並びにつなぎ込み工事。
2. 昇降路外のインターホン・非常ベル、その他エレベータに必要な配管配線工事。
3. ピット点検用コンセント設置工事。
4. 昇降路頂部の煙感知器設置工事。（昇降路頂部より点検が可能な事）
5. エレベータ遠隔監視用電話線（電話中継盤から監視ユニット設置場所まで）の配管配線工事。

注意事項

1. 昇降路内に他の用途の配管、ダクトを設けないように願います。昇降機に必要な配管設備にあっては、昇降機の機能に支障無きよう願います。
また、昇降路壁には、エレベータ以外の電気・水道等の配管・器具類を埋め込まないで下さい。
2. エレベータ受電端における電源電圧の変動は±５%以内、照明用は±２%以内、電圧不平衡率は５%以内に保つよう電源を設置下さい。
3. 昇降路内温度は４０℃、温度は月平均９０%・日平均９５%を超えないようにして下さい。
4. 昇降路には有毒ガスや塗だいし塵あい等が入らないようにして下さい。
5. 昇降路および出入口は高雨に直接さらされたり、塩分の影響を受けないようにして下さい。
6. エレベータ機器の搬入に支障のない経路を確保願います。
（必要に応じてコンクリート孔あけ、および埋戻し工事）
7. 据付工事用仮設電源、試運転用電力、砂、セメント、水等は無償供給願います。
8. 工事現場におけるエレベータ部品、据付材料の保管場所を無償貸与願います。

下記作業については、別途見積りとなります

夜間作業
部分竣業中現場への搬入に際し、警備員・誘導員及び道路使用許可を必要とする場合
２階以上の階もしくは地階からの搬入作業
荷下ろし場所から設置・仮置き場所までの距離が３０mを超える場合
据付工事短縮を必要とする場合
エレベータを工事用として使用する場合の検査・清掃・復旧・補修・保守費用
エレベータ据付工事以外で立会いが発生する場合
展望用エレベータ等で昇降路を養生する必要がある場合
床・壁等に養生を必要とする場合
エレベータ着工前までの出入口開口部の養生材及び養生材設置工事
その他特殊な事情がある場合

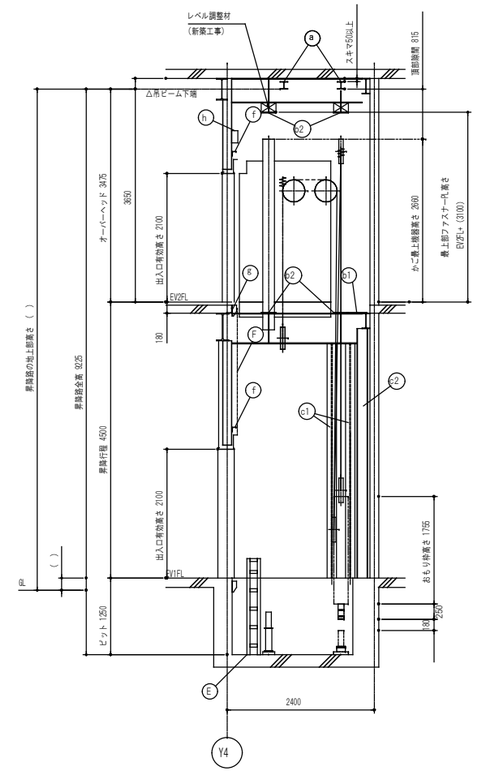


昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は外部に引き出した状態で点検可能なよう施工願います。（建築工事）
点検口の位置は、塔内機器と干渉する恐れがあるため、事前にご相談下さい。
※施錠は、緩めるのに工具が必要なネジで代用可。

煙感知器の施工例（屋内用）

a	20kN 吊りビーム	（建築工事）
b1	PL-12t	
b2	PL-12t（9tリブ付）	
c1	H-150×150×7×10	
c2	H-175×175×7.5×11	
f	L-65×65×6	
g	L-90×90×7	
h	煙感知器	（電気工事）

E	タラップ	（EV工事）
F	フェッシャープレート	

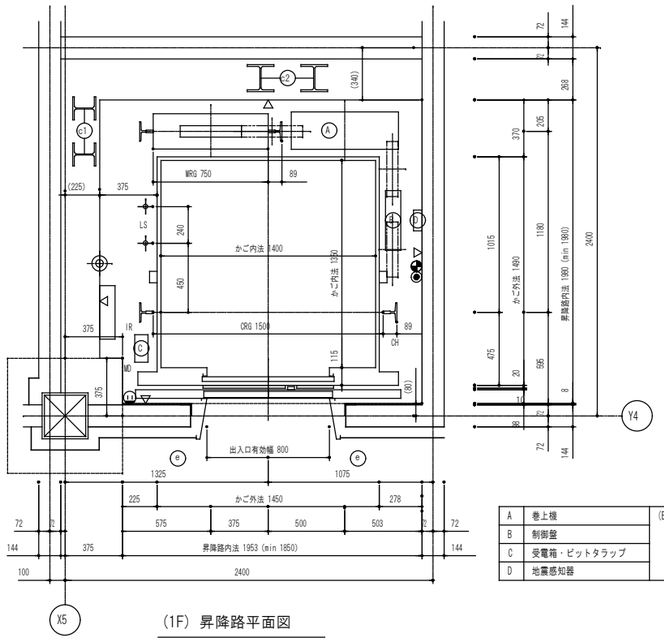


u昇降路断面図

株式会社 黒川建築設計事務所

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

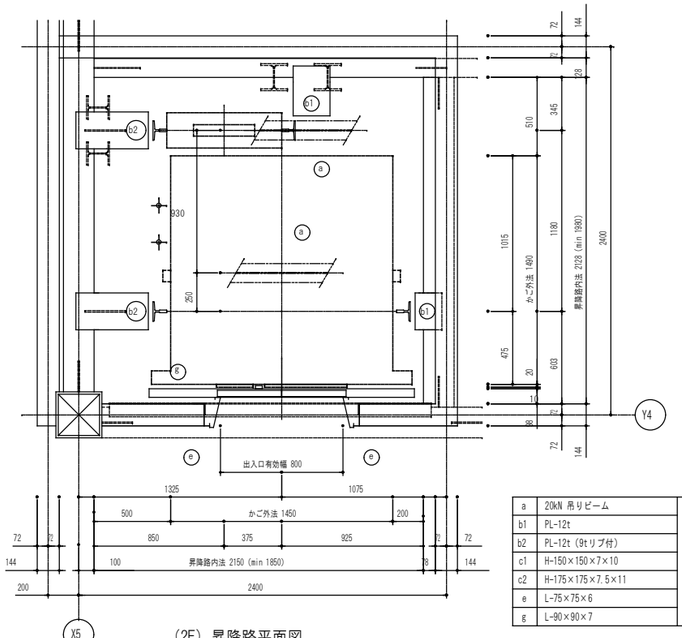
件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	昇降設備詳細図 1	A1：S=1/50 A3：S=1/100	2025/03	A-45	武村	竹波	竹波	竹波



A	巻上機	(EV工事)
B	制御盤	
C	受電箱・ピットタラップ	
D	地震感知器	

(1F) 昇降路平面図

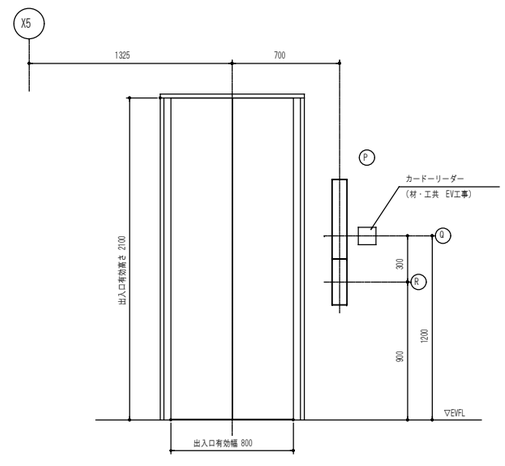
注：ピット内は、塗膜防水仕上扱います。
△：防水仕上面を示す。(CONFL：EV1FL-50)



a	20kN 吊りビーム	(建築工事)
b1	PL-12t	
b2	PL-12t (9t リブ付)	
c1	H-150×150×7×10	
c2	H-175×175×7.5×11	
e	L-75×75×6	
g	L-90×90×7	

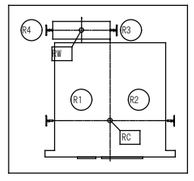
(2F) 昇降路平面図

※耐火被覆は、なし



出入口正面図

P	インジケータ
Q	一般用押釦芯
R	車いす用押釦芯



ピット部反力 (ｋN)：長期荷重

R1	R2	R3	R4
18	19	34	14

ピット床衝撃力 (ｋN)：短期荷重

RC	RW
68	58

レールに作用する荷重値 (ｋN)

	Px	Py
かご	4.9	3.3
おもり	7.1	3.6

短期荷重による建築部材のたわみは
5mm以下としてください

電源設備 (１台当たり) 【電気工事】						
記号	種別	線種等			引込み高さ	引出し順序さ
	動力用電源	3φ 3W AC 210V Hz				
		幹線サイズ (mm)²	3.5	5.5 8		
		幹線こう長 (m)	35	55 79		
		電気室ブレーカ (A)	30			
		接地線 (mm)²	2.0			
		電源設備容量 (kVA)	5.0			
		全負荷定速時電流 (A)	-		FL-100	2500 mm
		全負荷加速時電流 (A)	-			
		制御盤内降圧トランス容量(kVA)	0.15			
	自家発動力用電源	-				
	照明用電源	1φ 2W AC 100V Hz				
		照明用電源容量 (kVA)	1.0			
	ピットコンセント	AC100V 10A 1個			FL-200	
	電話回線用配線	別途打合せによる			FL+100	4500 mm
	弱電関係用配線				FL+100	6000 mm

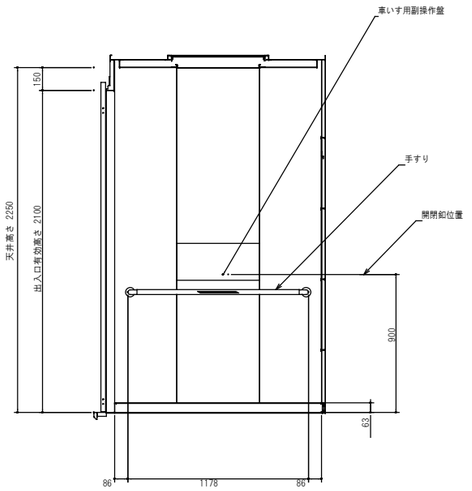
高調波 (高周波ノイズ) への注意事項

電源側遮断器に漏電遮断器等を設置する場合は、下記対応を実施願います。
1. 漏電遮断器等を設置する場合は「インバータ対応型」とし、
感度電流値は昇降機1台あたり50mA (感度設定値100mA相当) の
漏洩電流として設定下さい。
2. 昇降機と同一電源トランスを使用している機器の漏電遮断器、漏電警報器にも
「インバータ対応型」を使用して下さい。

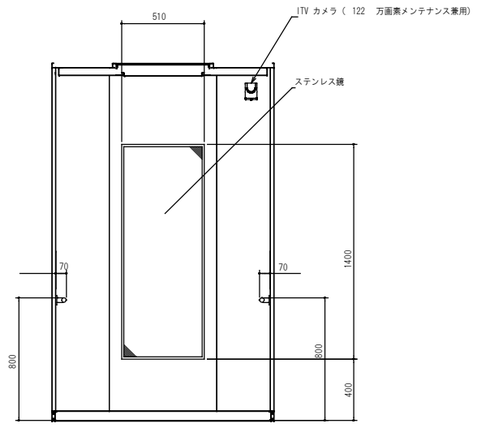
また高周波漏洩電流と高周波ノイズの影響を低減するため、下記対策を推奨します。
1. 昇降機の動力線と弱電機器の電源・信号線は、平行に配線しないで下さい。
やむを得ず平行配線する場合は、1m以上離して下さい。
2. 昇降機の電源トランスと弱電機器の電源トランスを分離して下さい。
3. 昇降機のアース線と弱電機器のアース線は、各々独立して配線のうえ、接地下さい。
4. 昇降機の昇降路や動力線の近くにラジオや通信機器のアンテナを設置しないで下さい。

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	昇降設備詳細図2	A1：S=1/20 A3：S=1/40	2025/03	A-46	武村	竹波	竹波	竹波

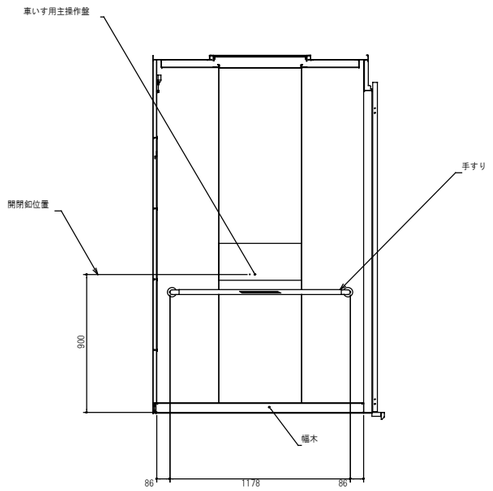
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX. 086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号



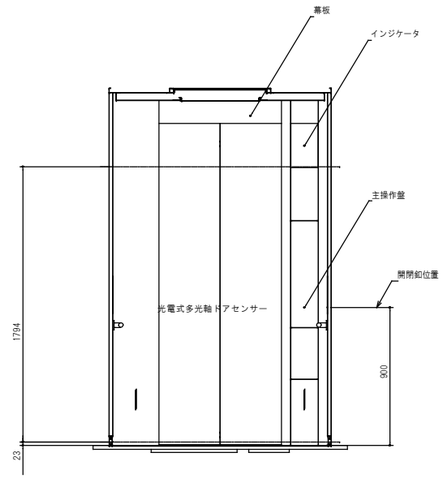
U矢視 A



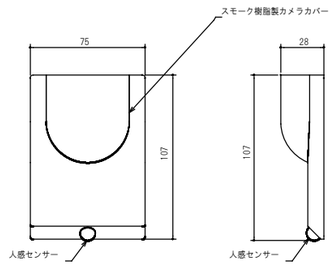
U矢視 B



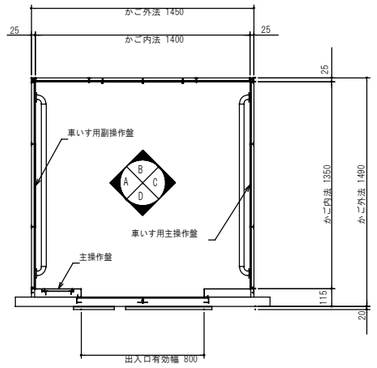
U矢視 C



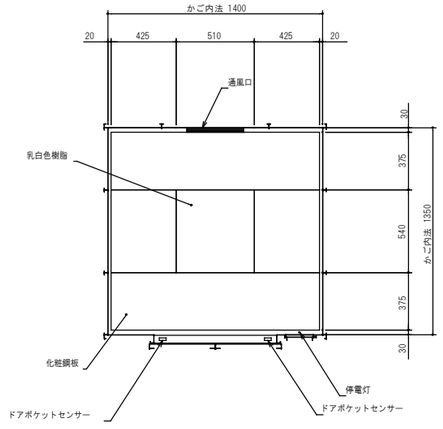
U矢視 D



カメラ詳細図



Uかご平面図



U天井見上図

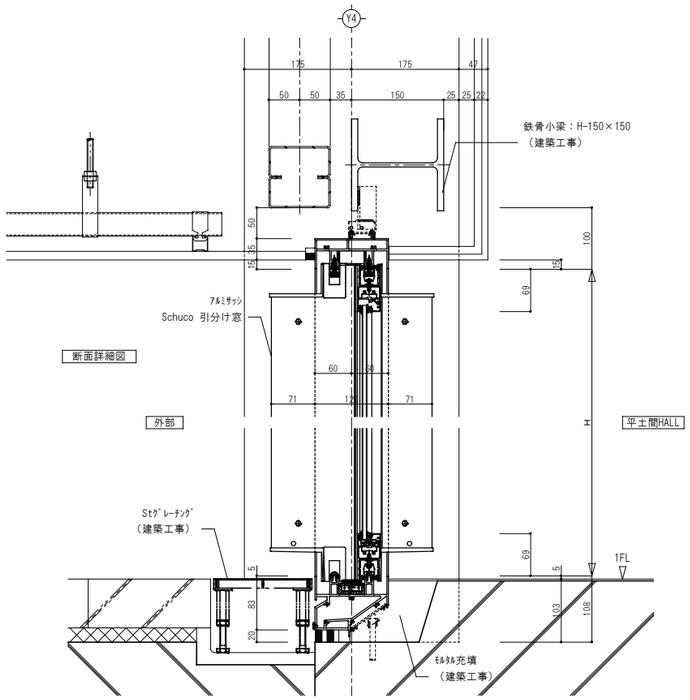
項目	意匠内容
かご内法	間口 1400 mm × 奥行 1350 mm
出入口寸法	幅 800 mm × 高さ 2100 mm
積載	積載 750 kg ／ 定員 11 名
側壁	化粧鋼板
幕板	化粧鋼板
扉	化粧鋼板
天井	スタンダードタイプ（SC-01）
袖壁	ステンレスバイブレーション仕上（入口柱一体）
幅木	アルミアルマイト仕上
床	t=2.0 ビニールタイル
敷居	硬質アルミ製
照明	LED照明
停電灯	LED
換気装置	クロスフローファン（イオンフル付）
手すり	32φ ステンレスヘアライン仕上 （端部：30φ亜鉛ダイカスト塗装仕上）
鏡	ステンレス鏡面仕上（ビス止め）
付属品	音声案内装置 放送用スピーカー ドアポケットセンサー 光電式ドアニック 光電式多光軸ドアセンサー 点字 保護幕（磁石式） 床マット ITVカメラ（122万画素 メンテナンス兼用）

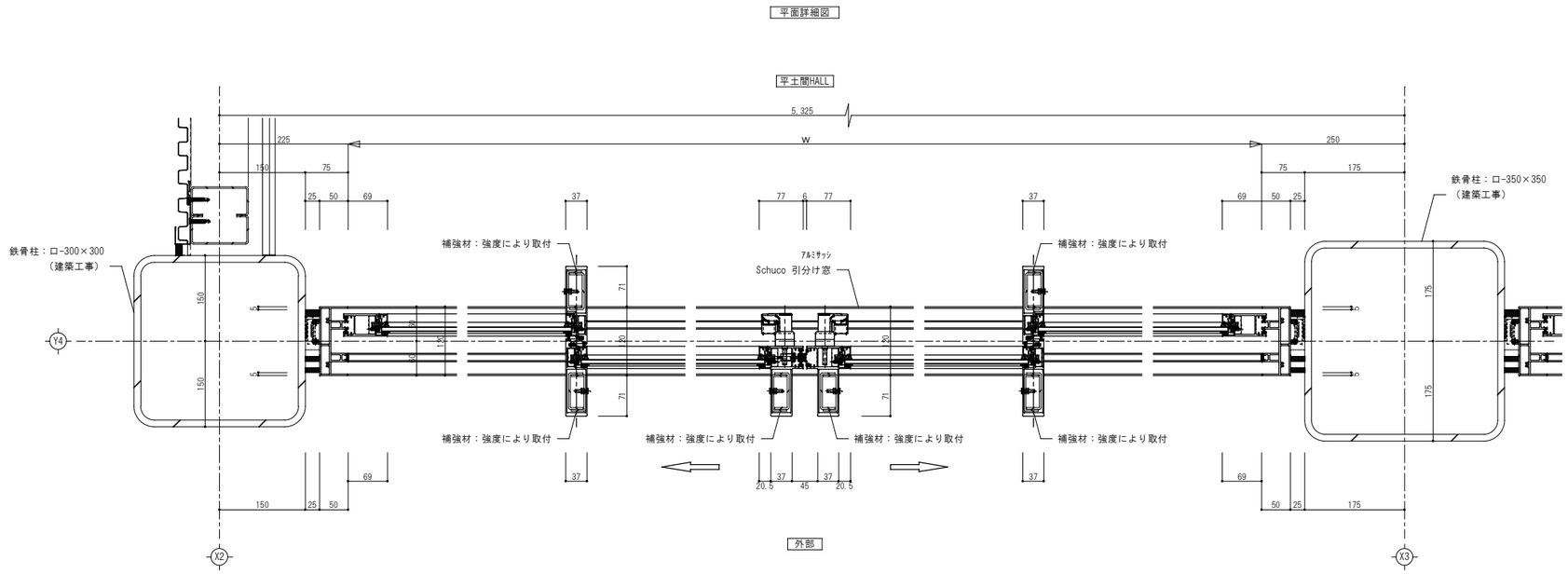
株式会社 黒川建築設計事務所

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	整修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	昇降設備詳細図３	A1：S=1/20 A3：S=1/40	2025/03	A-47	武村	竹波	竹波	竹波

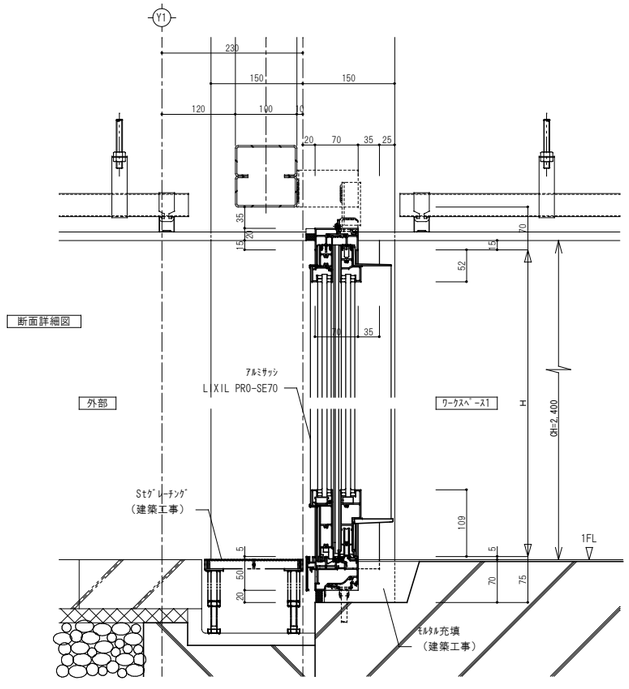
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX.086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号

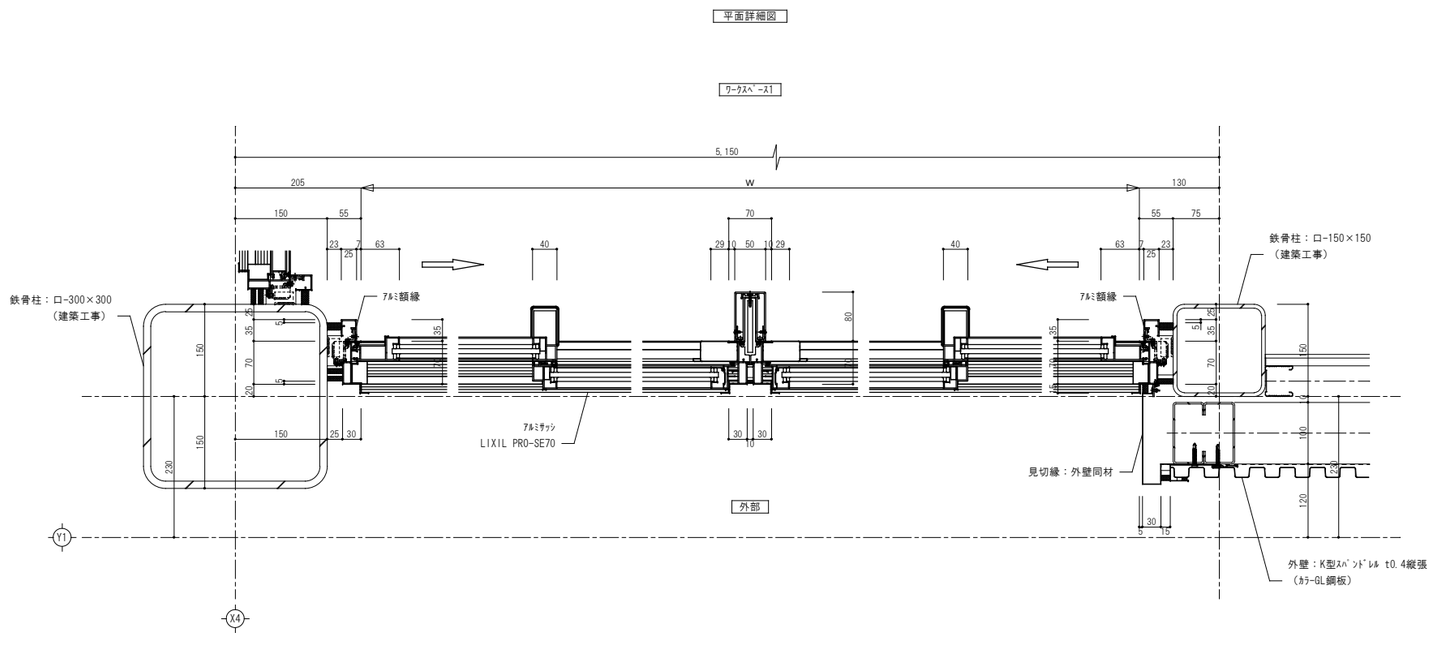
AW-2-1 Schuco（非防火）詳細図　　S=1/5（A3版 S=1/10）





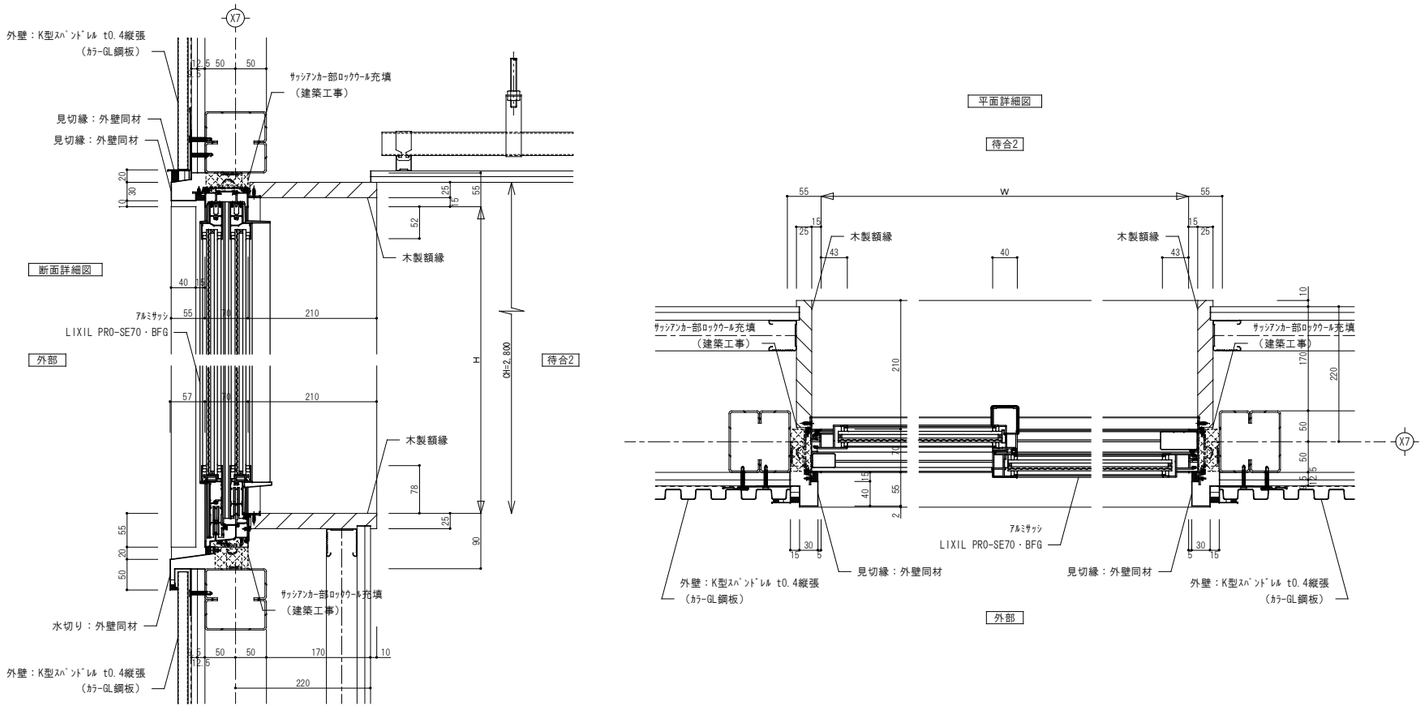
AW-7 PRO-SE70（非防火）詳細図　　S=1/5（A3版 S=1/10）



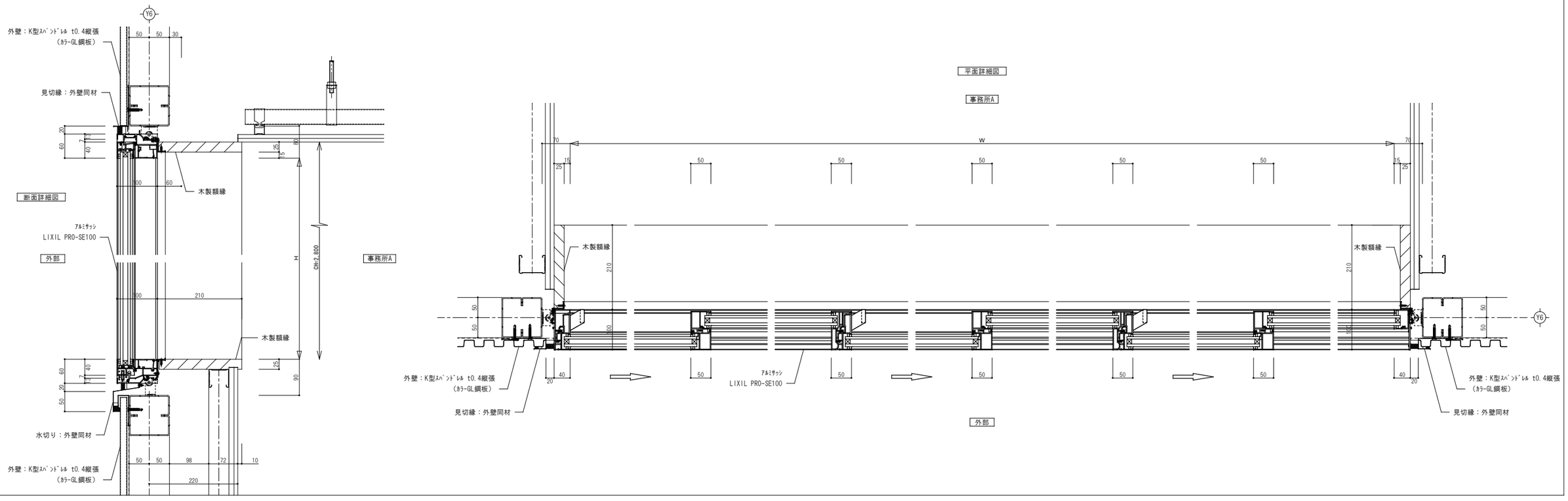


株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	建具詳細図1	A1：S=1/5 A3：S=1/10	2025/03	A-48	武村	竹波	竹波	竹波	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166 武村 耕輔　一級建築士事務所登録 第12621号

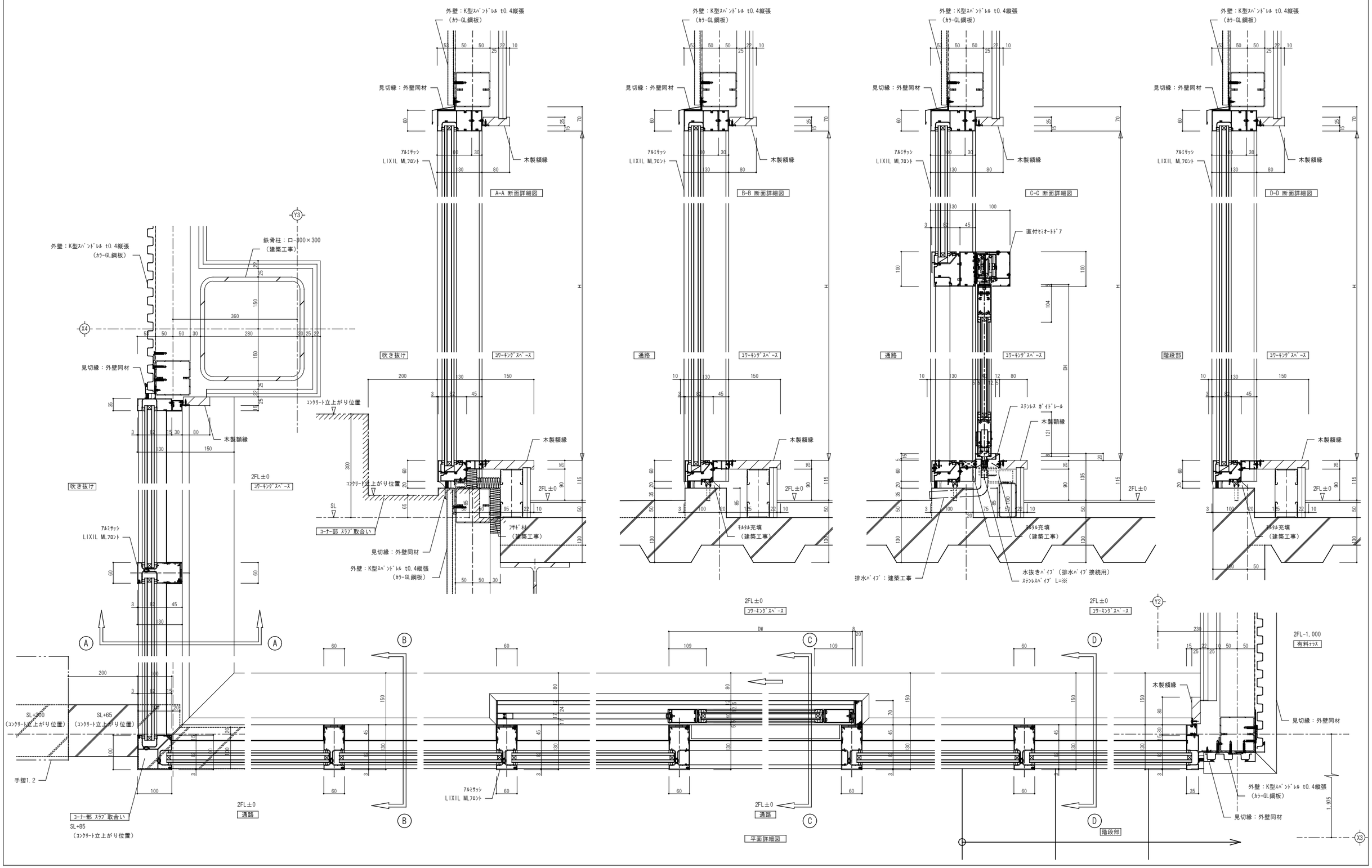
AW-11 PRO-SE70·BFG（個別認定防火設備）詳細図　　S=1/5（A3版 S=1/10）



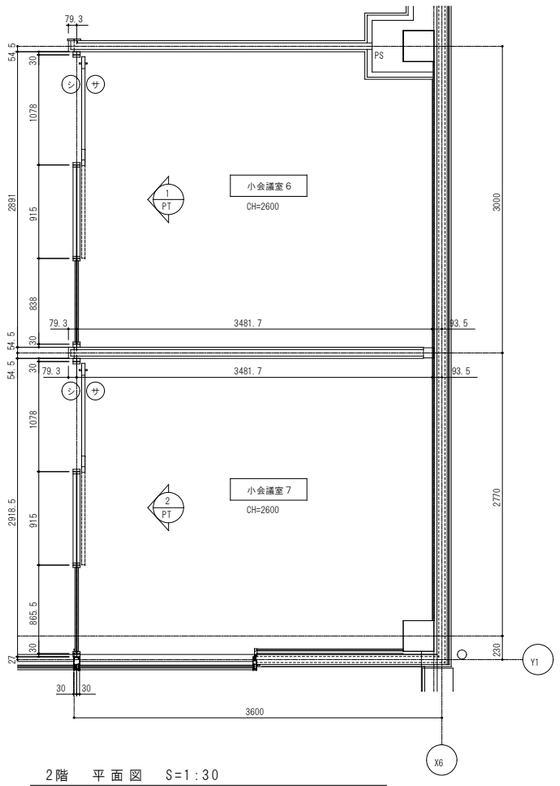
AW-13 PRO-SE100（非防火）詳細図　　S=1/5（A3版 S=1/10）



株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	建具詳細図2	A1：S=1/5 A3：S=1/10	2025/03	A-49	武村	竹波	竹波	竹波	

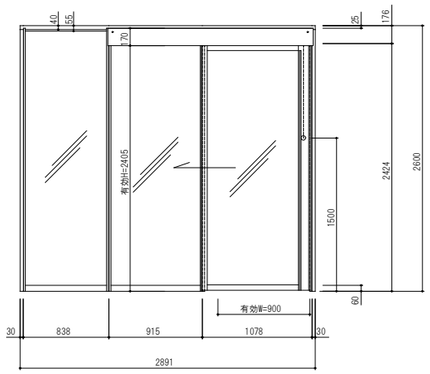


株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	建具詳細図3	A1：S=1/5 A3：S=1/10	2025/03	A-50	武村	竹波	竹波	竹波	

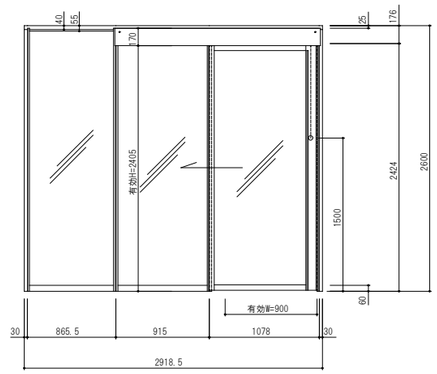


2階　平面図　S=1:30

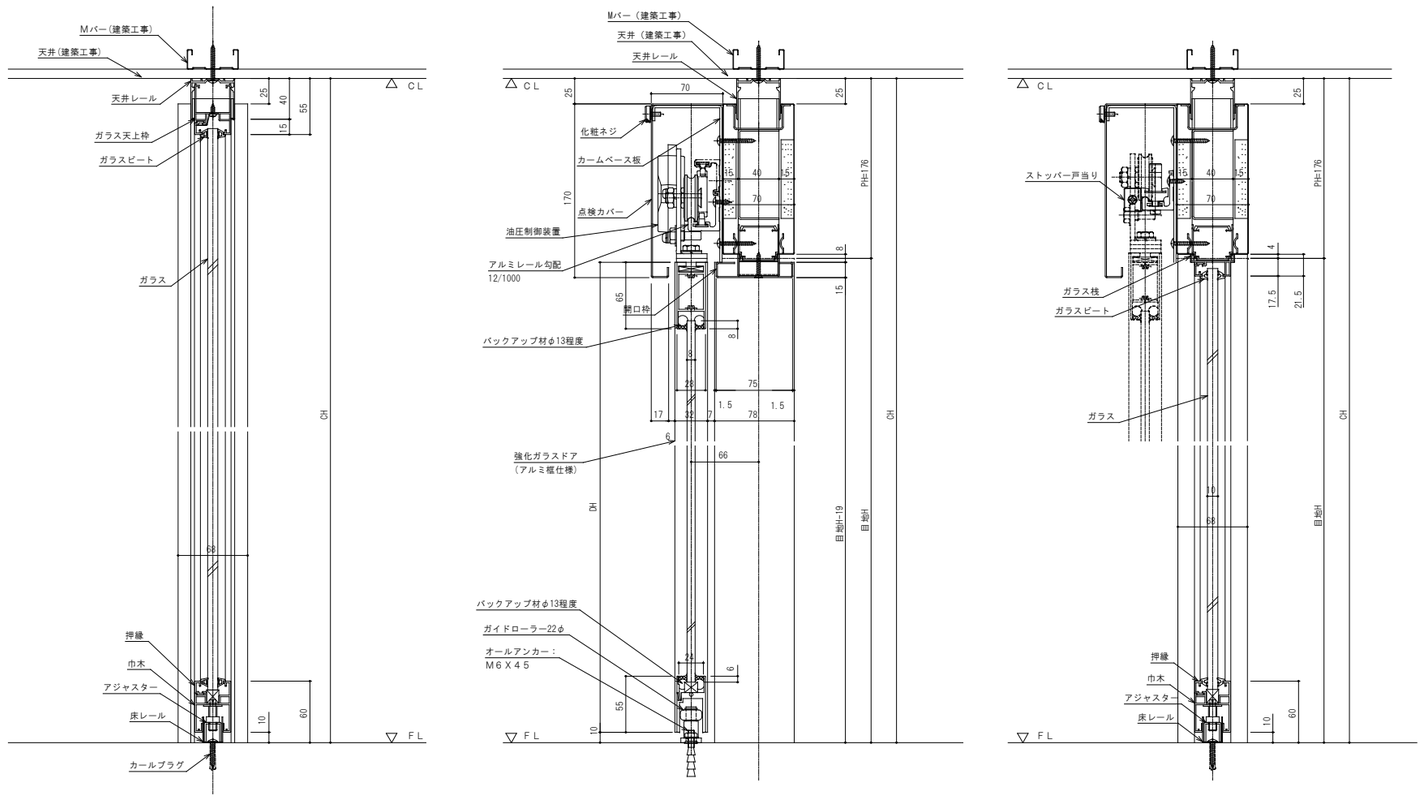
1 PT　中間(半)ガラス:(ガラス工事)フロート 10t ピート押え　＋飛散防止フィルム貼り
全ガラス:(ガラス工事)フロート 10t ピート押え　＋飛散防止フィルム貼り



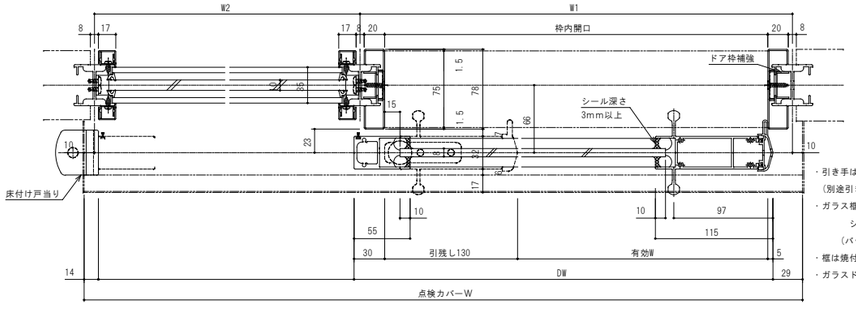
2 PT　中間(半)ガラス:(ガラス工事)フロート 10t ピート押え　＋飛散防止フィルム貼り
全ガラス:(ガラス工事)フロート 10t ピート押え　＋飛散防止フィルム貼り



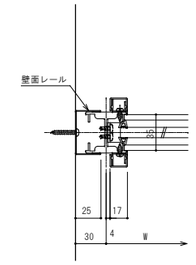
展開図　S=1:30



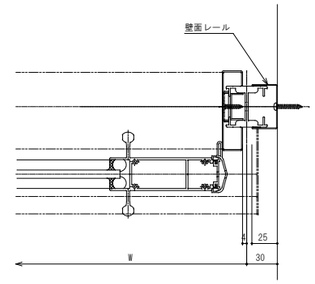
断面詳細図　S=1:3



・引き手は戸先ガラスアルミフレーム一体となります。
（別途引き手取付け不可）
・ガラス框ドアは強化ガラス８mm限定となり(ガラス工事)、
シーリング押えとなります
（バックアップ材φ13程度）。
・框は焼付塗装仕上げとなります。
・ガラスドアはカームロック対応となります。



全面ガラス壁面納まり



ガラス引き戸壁面納まり

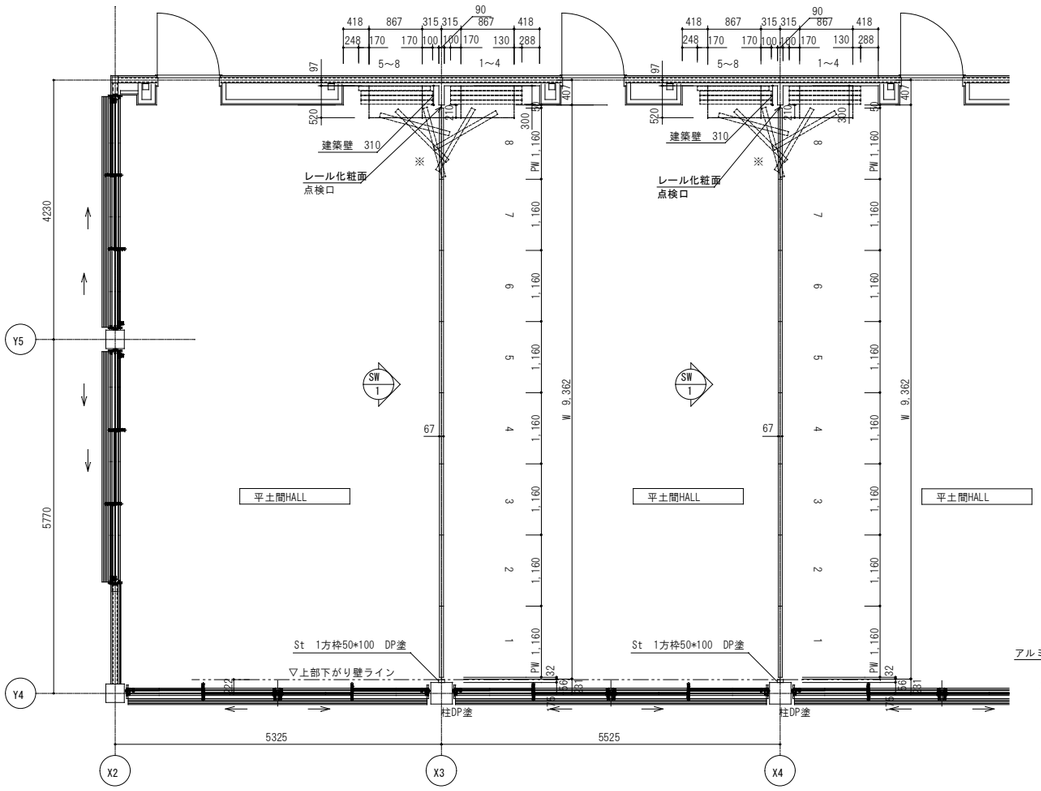
納まり詳細図　S=1:3

◇仕様表　(小松ウオール　マイティーGWALL)

項　目	部　材	材　料（板厚mm）
骨材	天井レール	アルミ押出形材　〈焼付塗装仕上〉
	床レール(ガラス用)	冷間圧延鋼板　0.8mm　〈焼付塗装仕上〉
	ポール（支柱）	アルミ押出形材　〈焼付塗装仕上〉
	巾木(ガラス用)	アルミ押出形材　〈焼付塗装仕上〉
枠	ガラス天上枠	アルミ押出形材　〈焼付塗装仕上〉
	ガラス枠(ガラス桟)	アルミ押出形材　〈焼付塗装仕上〉
	押縁	アルミ押出形材　〈焼付塗装仕上〉
	ガラスピート	ポリ塩化ビニル　対応ガラス厚10～12mm<グレー色>
吊戸枠	開口枠	冷間圧延鋼板　1.2mm　〈焼付塗装仕上〉
	ガラス枠(ガラス桟)	アルミ押出形材　〈焼付塗装仕上〉
	ガラス縦カバー・カバー受	アルミ押出形材　〈焼付塗装仕上〉
	押縁	アルミ押出形材　〈焼付塗装仕上〉
	ガラスピート	ポリ塩化ビニル　対応ガラス厚6～12mm<グレー色>
吊戸	ガラスドアフレーム	アルミ押出形材　〈焼付塗装仕上〉
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル　〈ブラック色〉
	ベース板	亜鉛めっき鋼板2.3mm　〈焼付塗装仕上〉
	点検カバー	冷間圧延鋼板1.2mm　〈焼付塗装仕上〉
	自閉装置	小松ウオール標準油圧制御部品セット(HCS8015型)
金物	ロック	美和　POSTE錠／ゴール　AD錠
	床付戸当り	亜鉛ダイキャスト（ベストDW-10）

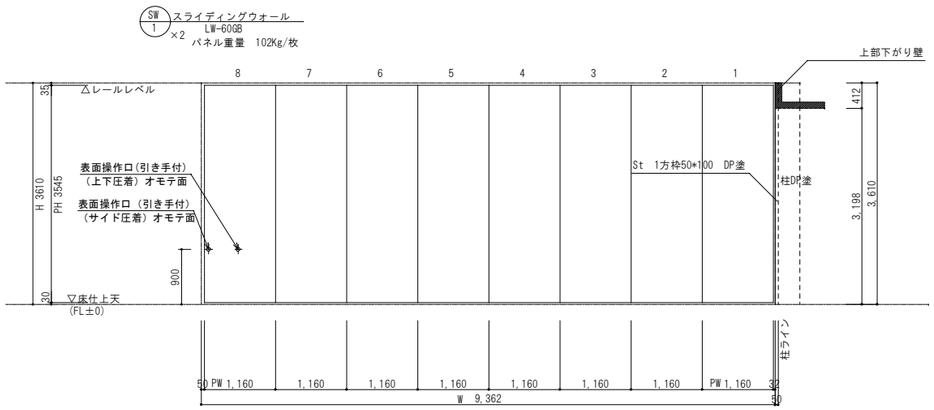
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	パーティション詳細図	A1：S=1/3,30 A3：S=1/6,60	2025/03	A-51	黒川	武村	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

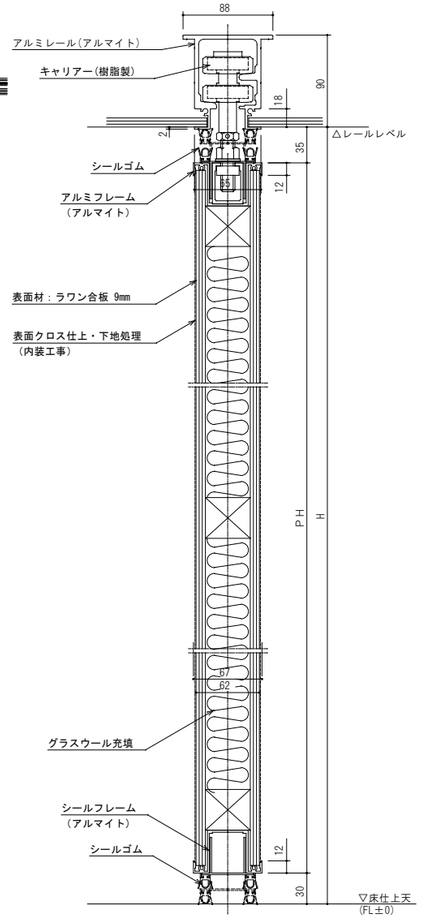


1階 平面図 S=1:50

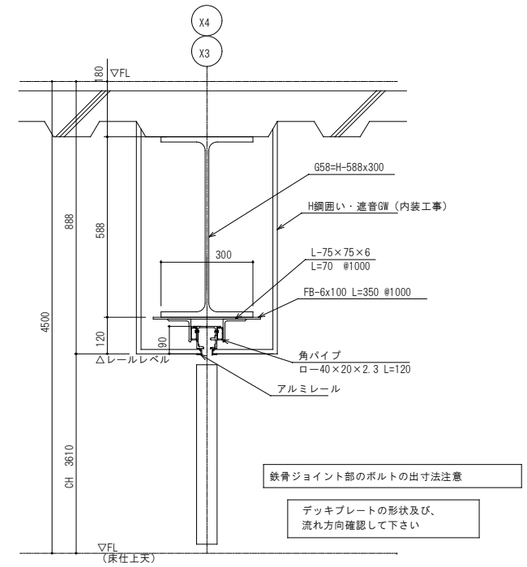
※印：表面操作口取付側



展開図 S=1:50

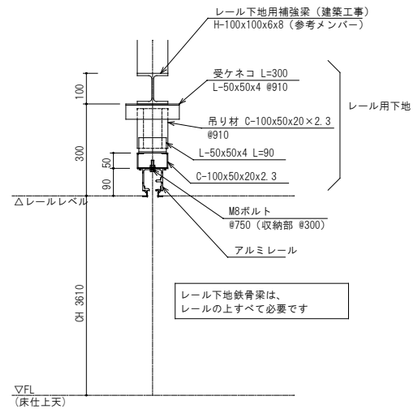


縦断面詳細図 S=1:3



(間仕切部)

レール取付断面図 S=1:10



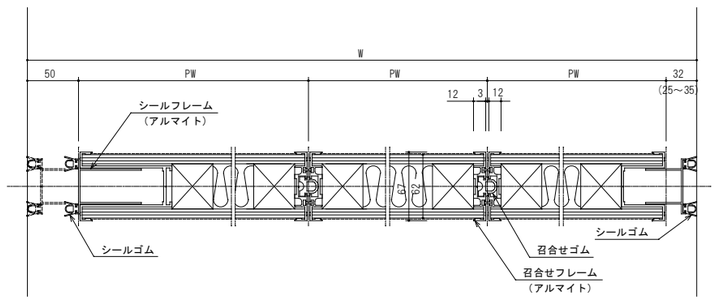
(誘導部・収納部)

レール取付断面図 S=1:10

スライディングウオール 厚み67mm(60GB)

小松ウオール工業（株）

レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
		コーナー部 直角レール
ランナー仕様	走行輪	消音型水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)
	吊ボルト	M 14
パネル仕様	表面仕上	クロス仕上(内装工事)
	表面材	ラワン合板 9mm
	充填材	グラスウール
	骨組	木枠(LVL)
	フレーム	アルミ押出形材（アルマイト処理）
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式

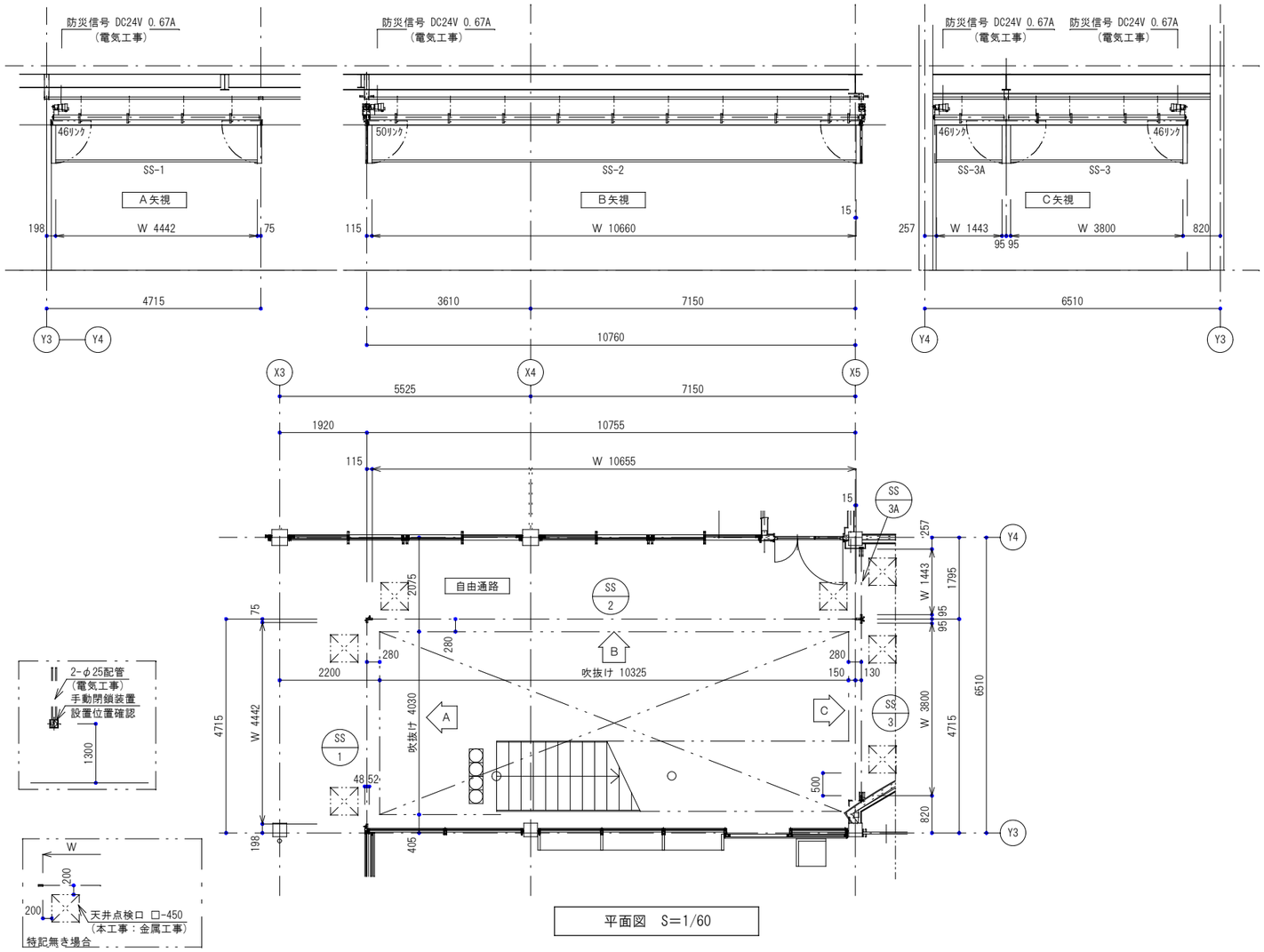


横断面詳細図 S=1:3

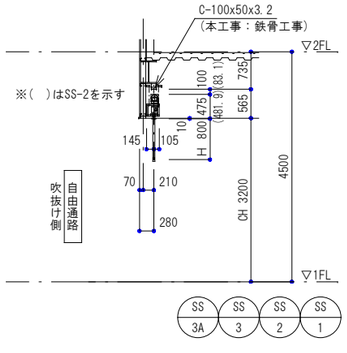
株式会社 黒川建築設計事務所

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX. 086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	スライディングウォール詳細図	A1：S=1/3,10,50 A3：S=1/6,20,100	2025/03	A-52	黒川	武村	竹波	竹波



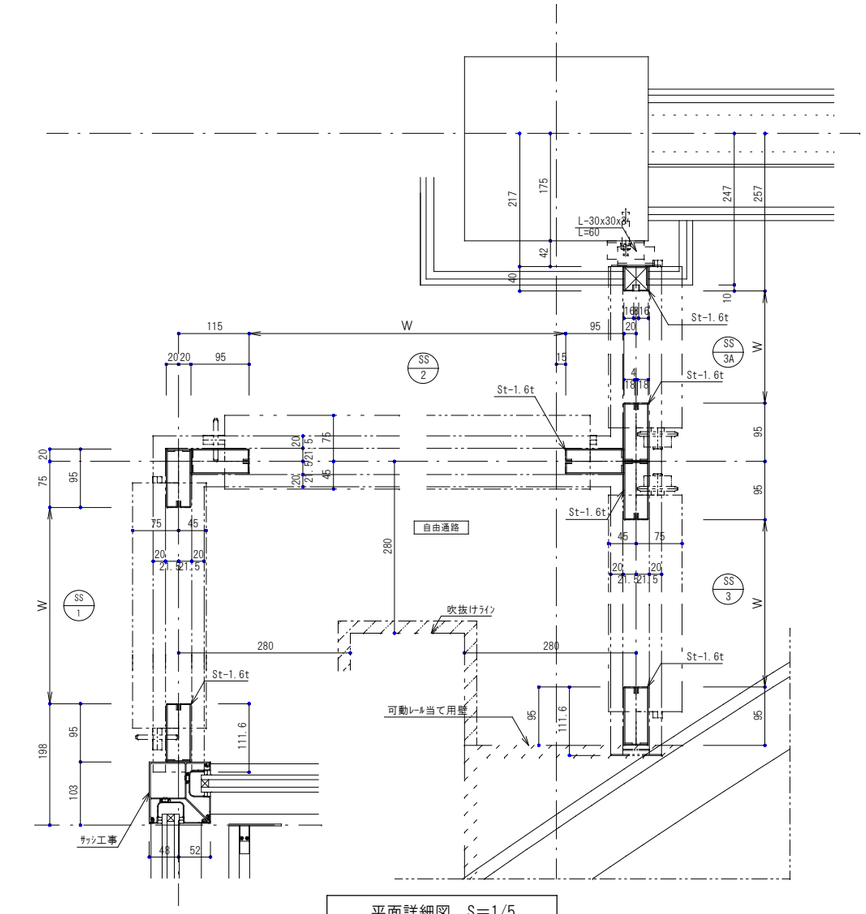
平面図　S=1/60



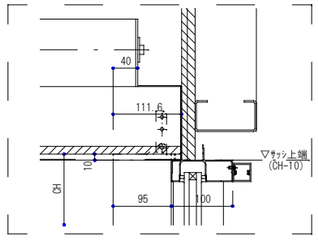
巻取り式防煙垂れ幕
煙感知器連動（手動復帰）

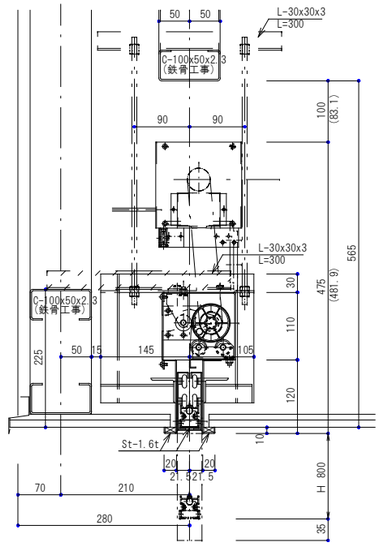
シャッター部品表				開閉機	型式	TMF-100
スラット	不燃ｶﾞﾗｽｸﾛｽ	1.6mm			手動時	フック
				シャフト		垂れ幕用
座板	スチール	1.6mm		ブラケット		垂れ幕用
レール	可動・固定 スチール	1.6mm		障害物感知装置		―
マグサ	スチール	1.6mm		自動閉鎖装置		開閉機内蔵
ケース	スチール	1.6mm		押釦・手動閉鎖装置		RF-2UBN

備考：



平面詳細図　S=1/5





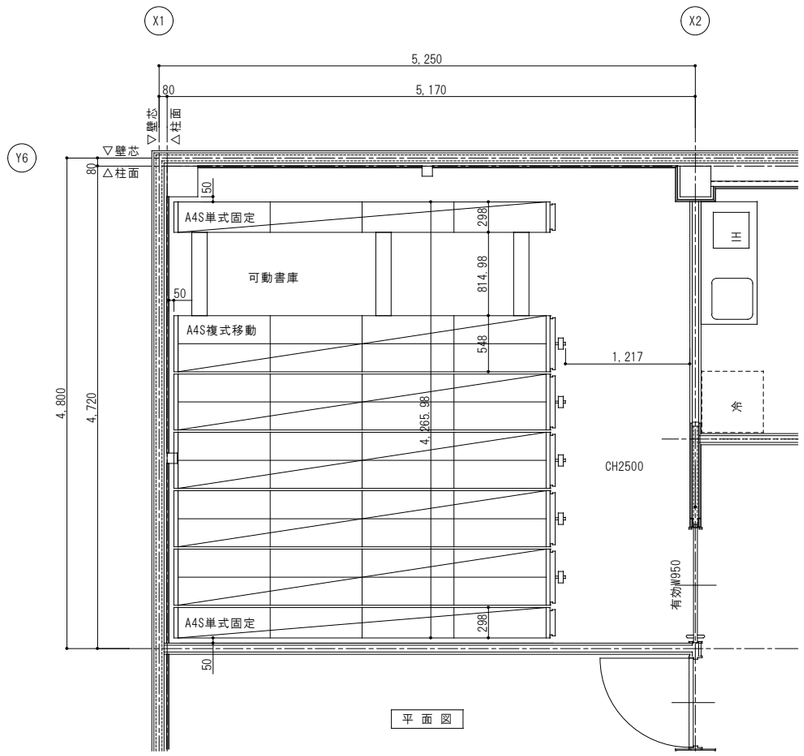
※（ ）はSS-2を示す

断面詳細図　S=1/5

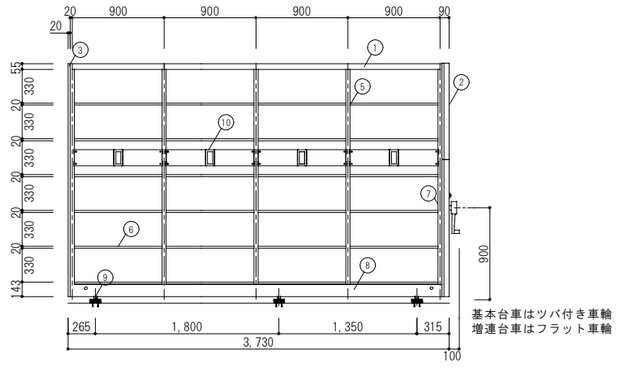
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	排煙下がり壁詳細図	A1：S=1/5,60 A3：S=1/10,120	2025/03	A-53	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

移動書架（ハンドル式）　S=1/30

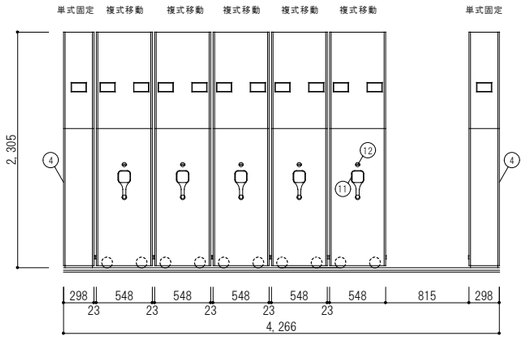


平 面 図



基本台車はツバ付き車輪
増連台車はフラット車輪

正 面 図



側 面 図

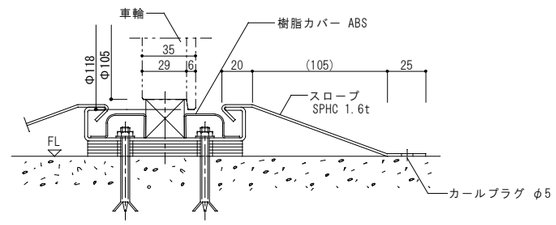
仕　様　表

	部 品 名	材　質	
①	天　板	スチール	焼付塗装
②	側面表パネル	スチール	焼付塗装
③	側面裏パネル	スチール	焼付塗装
④	背面　パネル	スチール	焼付塗装
⑤	支　柱	スチール	焼付塗装
⑥	棚　板	スチール	焼付塗装
⑦	棚　受	スチール	焼付塗装
⑧	台　車	スチール	焼付塗装
⑨	車　輪	スチール	メッキ
⑩	背面ブレース	スチール	焼付塗装
⑪	ハンドル		
⑫	通路ロック装置		

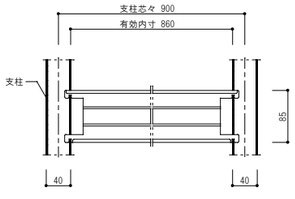
※単式は背面パネル付きのため不要。

＊Ａ４Ｓ複式には、背面ブレースが１間口当たり１本付く
＊耐荷重　１連当たり単式　３００ｋｇ
　　複式　５６０ｋｇ
＊棚板は２５ｍｍピッチで上下移動可能

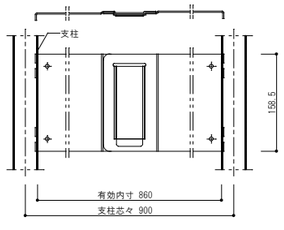
床上式（レールスロープ付き）詳細図　S=1/2



背当り板　S=1/5

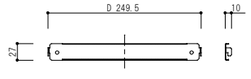


背面ブレース　S=1/5

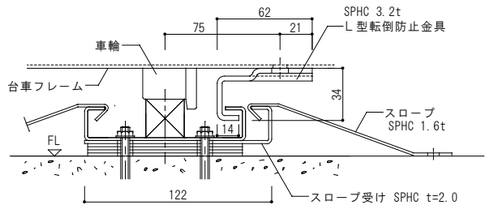


側 当 り　S=1/5

	D
A 4 S	249.5



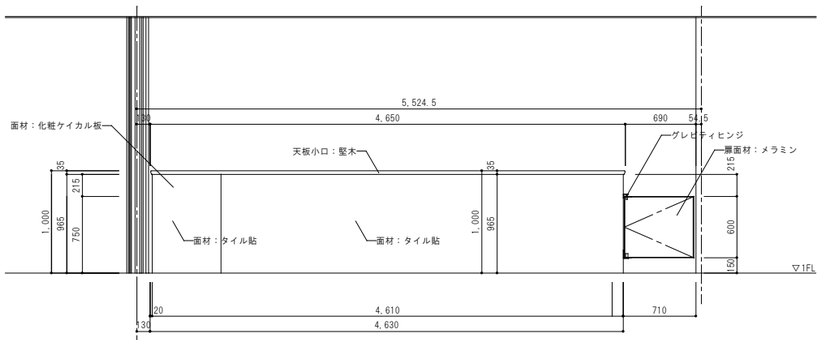
Ｌ型転倒防止金具　＊Ｌ型転倒防止金具トイッショニ樹脂カバーハ付ケラレマセン　S=1/2



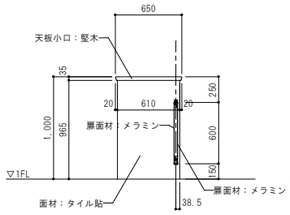
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	可動書架詳細図	A1：S=1/2,5,30 A3：S=1/4,10,60	2025/03	A-54	黒川	武村	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

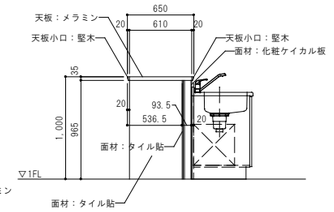
K-1 カフェカウンター S=1/30　1ヶ所



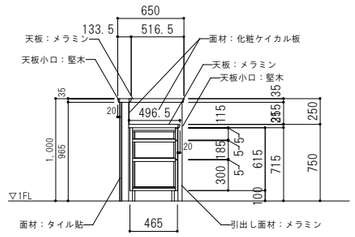
ア立面図　S=1/30



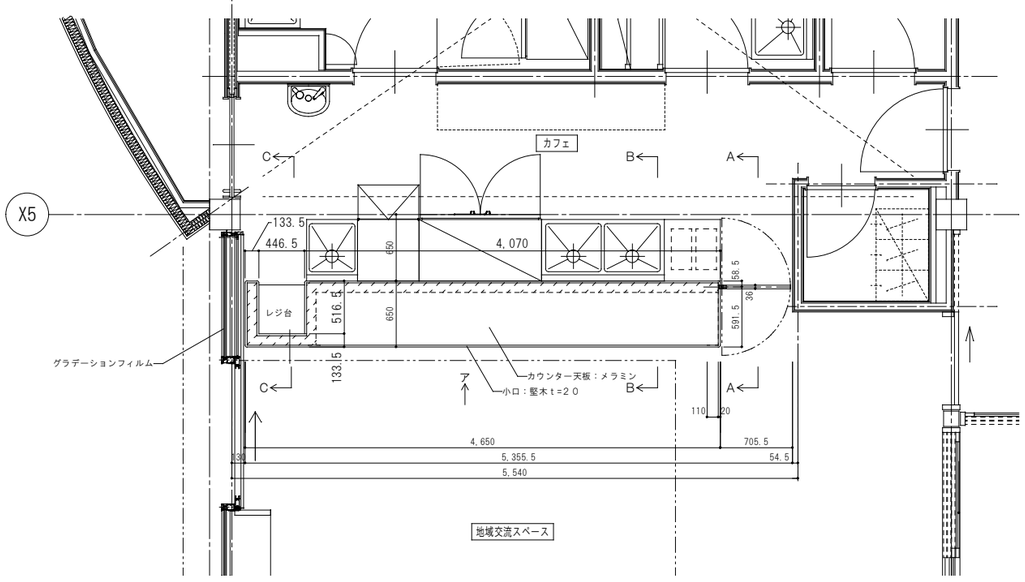
A-A断面図　S=1/30



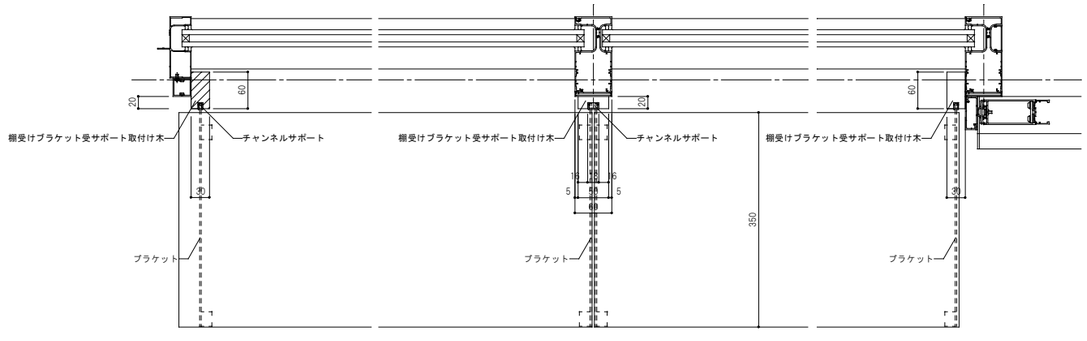
B-B断面図　S=1/30



C-C断面図　S=1/30

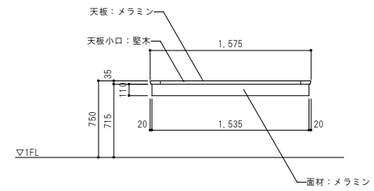


平面図　S=1/30

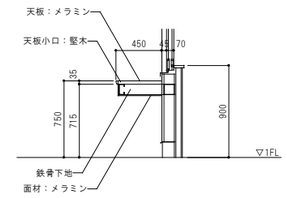


詳細図　S=1/5

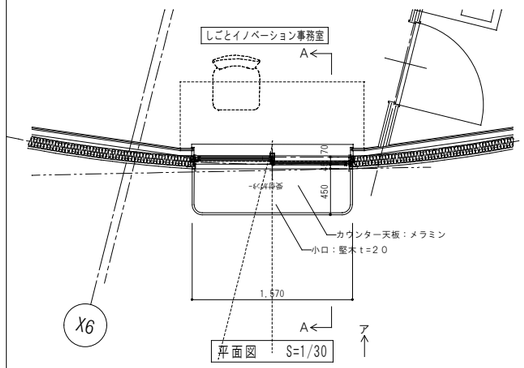
K-2 しごとイノベーション事務室 カウンター S=1/30　1ヶ所



ア立面図　S=1/30

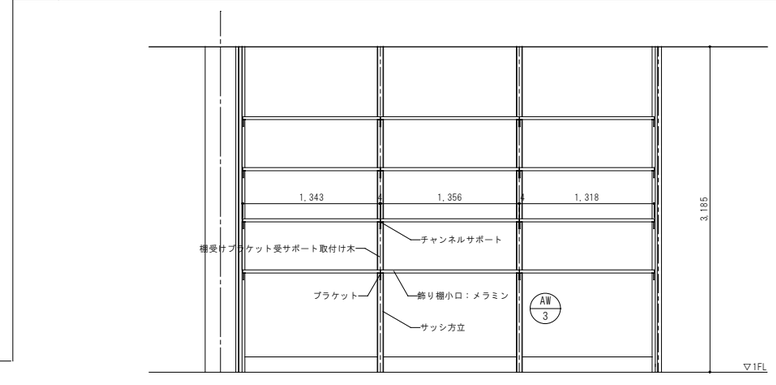


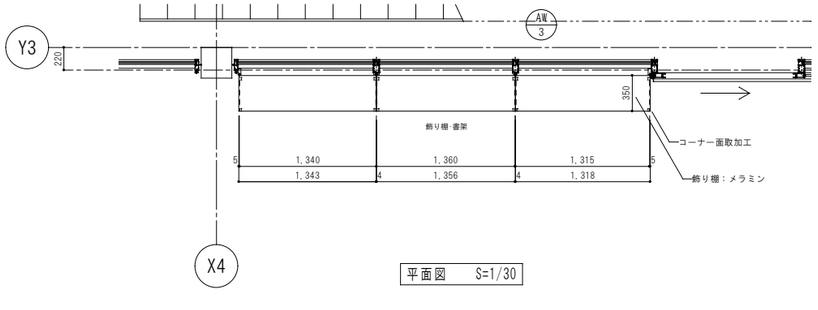
A-A断面図　S=1/30



平面図　S=1/30

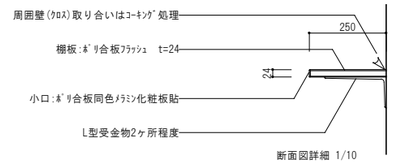
K-3 飾り棚・書架 S=1/30　1ヶ所



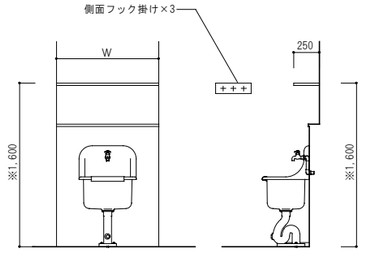


平面図　S=1/30

K-0 吊棚 S=1/10、30　2ヶ所



断面図詳細 1/10

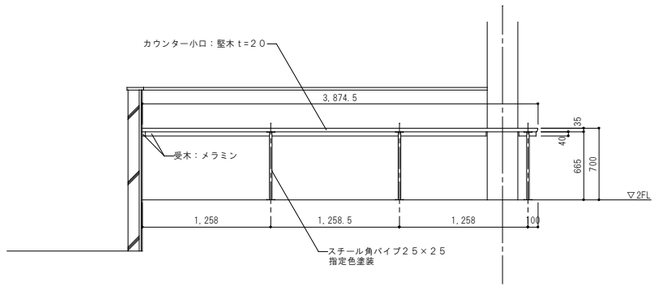


フロア	部屋名	数量	w
1F	SK	1	730
2F	SK（MWC内）	1	710

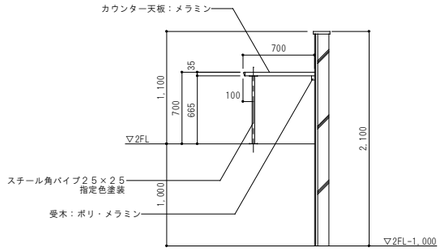
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	家具詳細図1	A1：S=1/30 A3：S=1/60	2025/03	A-55	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村 耕輔　一級建築士事務所登録 第12621号

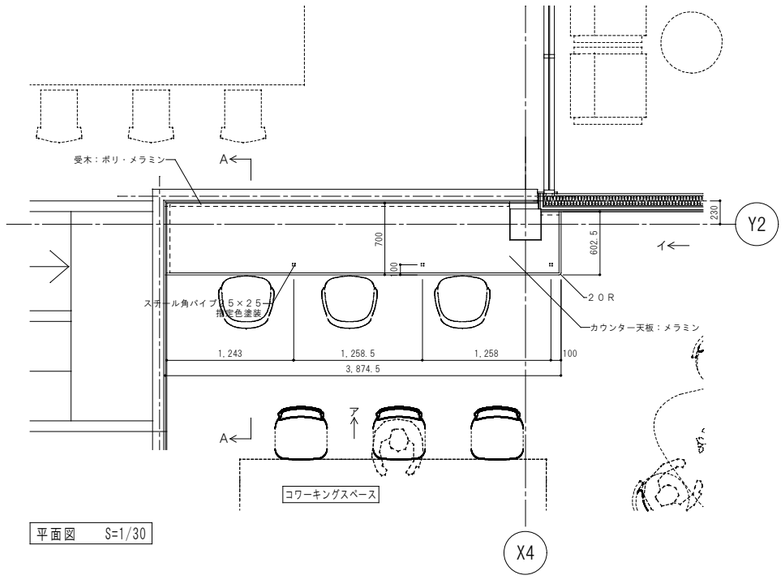
K-4　コワーワーキングスペース カウンター　S=1/30　　1ヶ所



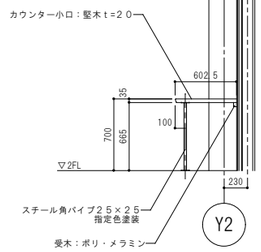
ア立面図　S=1/30



A-A断面図　S=1/30

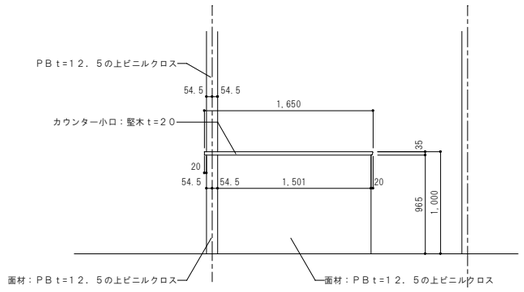


平面図　S=1/30

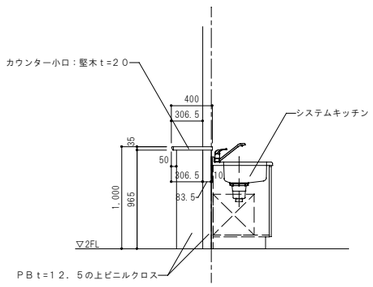


イ立面図　S=1/30

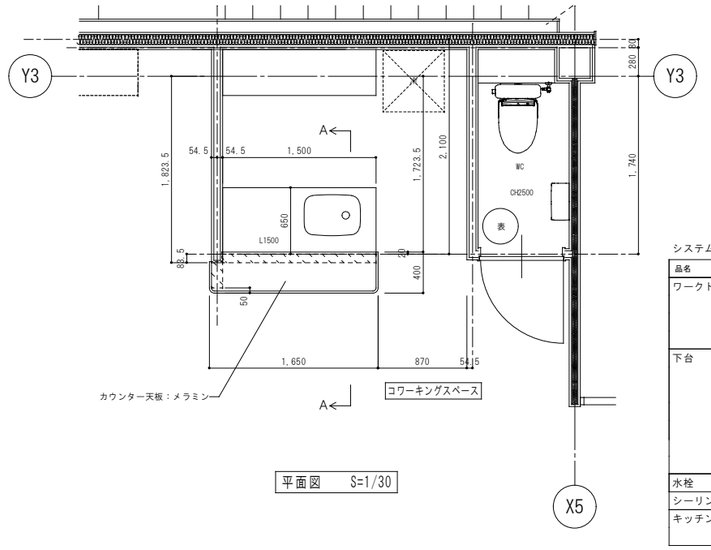
K-5　コワーワーキングスペースキッチン カウンター　S=1/30　　1ヶ所



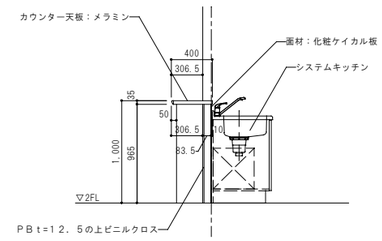
ア立面図　S=1/30



イ立面図　S=1/30



平面図　S=1/30



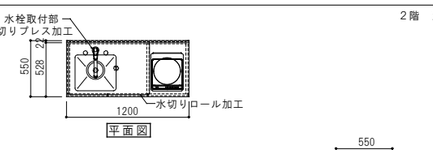
A-A断面図　S=1/30

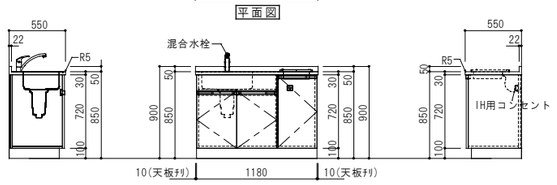
システムキッチン（コンロ無し）L1500　仕様

品名	仕様	F☆☆☆☆ 仕様
ワークトップ	天板材質	吉本t6　ｺｰﾗﾙｼﾘｰｽﾞ
	前下り形状	標準形状
	シンク種類	FｼﾝｸSUS443J1
		SｼﾝｸSUS443J1
下台	扉	メラミン左右1.5R
	丁番	スライド丁番（標準品）
	引出	1段(樹脂製)　　※2F住戸のみ
	本体	化粧合板、化粧ボード
	巾木	化粧シート巻材
	底板面材	化粧MDF
	網棚	網棚T
水栓	水栓種類	KXS871J1-T
シーリング	シーリング	（建築工事）
キッチンパネル	キッチンパネル	ホーローキッチンパネル　H型レギュラークラス 見切り・エッジ：樹脂製

K-7　ミニキッチン　　1ヶ所

2階　湯沸室A



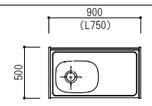


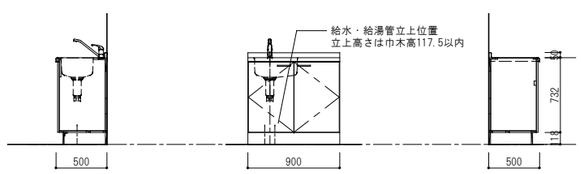
仕　様	
天板	ステンレスSUS304 t1．0mm（R付） 表面仕上：#400　水切ロール加工　下地合板貼
シンク	ステンレスSUS304 t1．0mm 表面仕上：#400　（D=170）
本体	内部：メラミン化粧MDF貼　外部：メラミン化粧MDF貼 底板：メラミン化粧MDF（取外し式　ビス止め） ※コンロ裏面：防火ライト（ケイカル板）t5mm貼
開戸	両面メラミン化粧パーティクルボード　木口：シート貼 品名差付ラインハンドル、スライド丁番(キャッチ付)
台輪	ポリ台板貼

附　属　器　具		
シングルレバー混合水栓	KM5081TR20	1
ゴミカゴ付排水トラップ	N-14BP	1
1ッロクッキングヒーター	CH-12C　（タカラ）	1
定　格	単相200V　2000W	
電源プラグ	2極接地型　15A　250V	
ヒーター用コンセント(接地3P)	15A　250V(WK3012)	1

K-8　流し台　　3ヶ所

1階　授乳室　L900
　　予備室　L750
2階　湯沸室B　L750

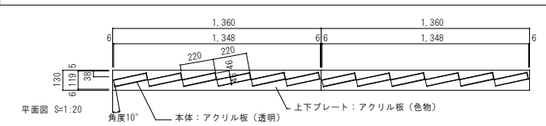




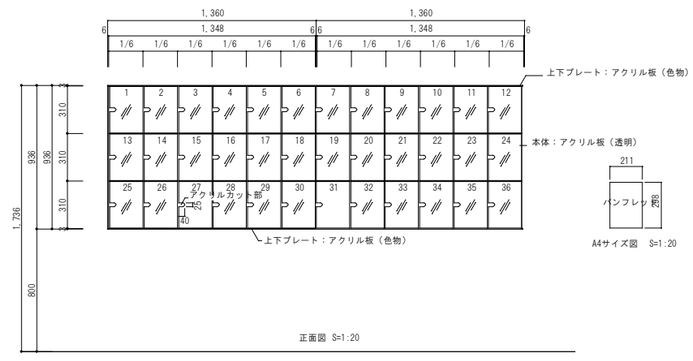
仕　様	
天板	ステンレスSUS304 t1．0mm（R付） 表面仕上：#400　水切ロール加工　下地合板貼
シンク	ステンレスSUS304 t1．0mm 表面仕上：#400　（D=170）
本体	内部：メラミン化粧MDF貼　外部：メラミン化粧MDF貼 底板：メラミン化粧MDF（取外し式　ビス止め）
開戸	両面メラミン化粧パーティクルボード　木口：シート貼 品名差付ラインハンドル、スライド丁番(キャッチ付)
台輪	ポリ台板貼

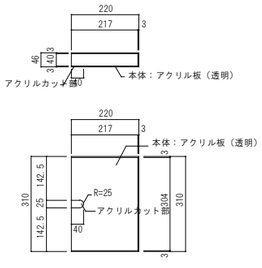
附　属　器　具		
シングルレバー混合水栓	KM5081TR20	1
ゴミカゴ付排水トラップ	N-14BP	1
		1

K-10　パンフレットラック



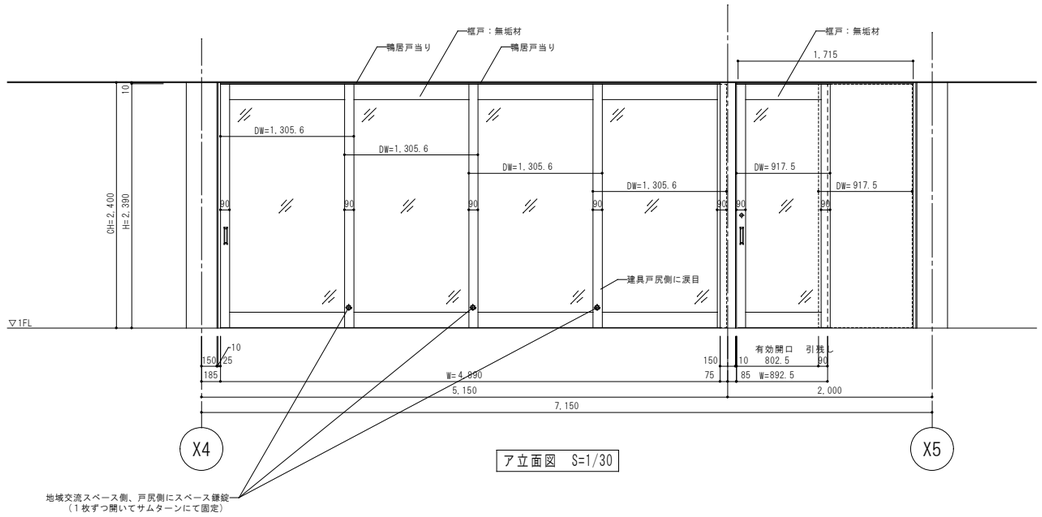
■仕様・材料
本体：アクリル板　t3（透明）
上下プレート：アクリル板　t3（色物）



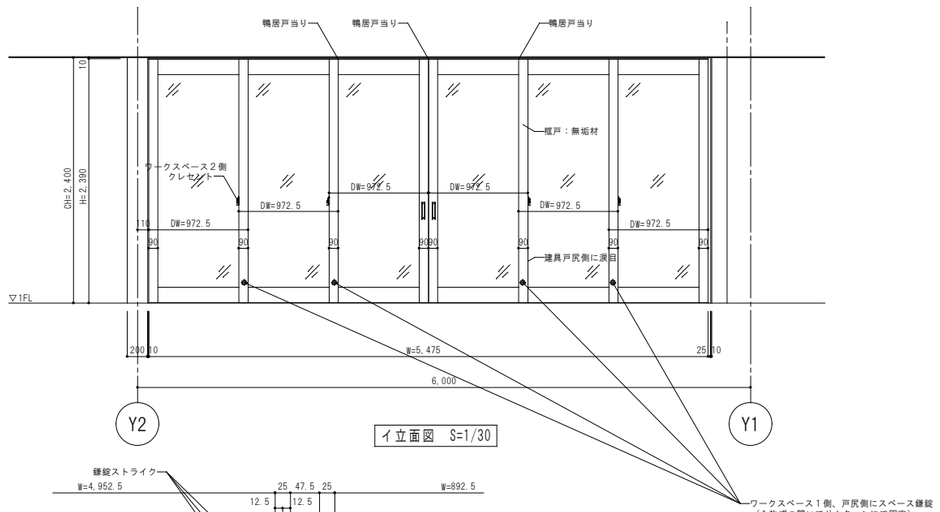


株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	家具詳細図2	A1：S=1/30 A3：S=1/60	2025/03	A-56	武村	竹波	竹波	竹波

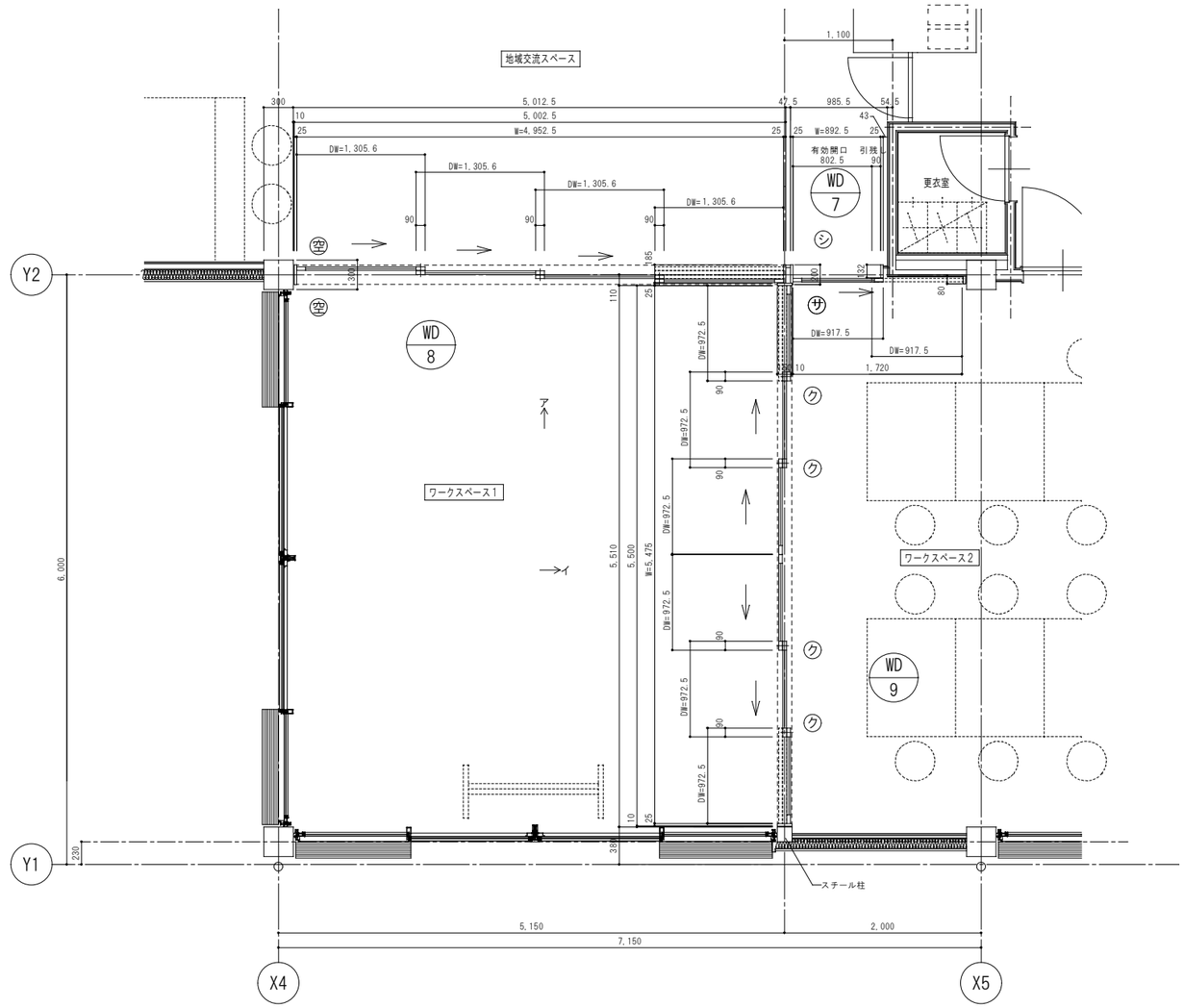
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

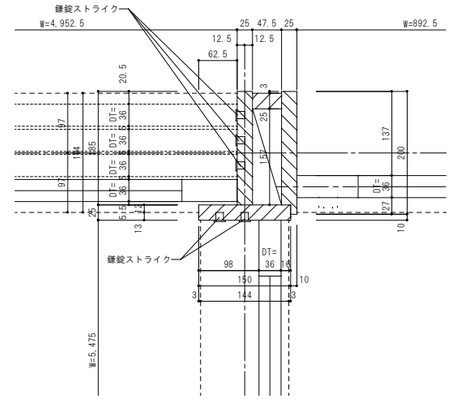


ア立面図　S=1/30

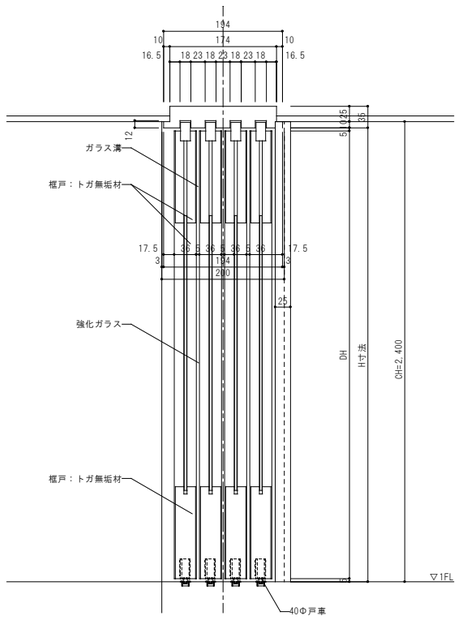


イ立面図　S=1/30

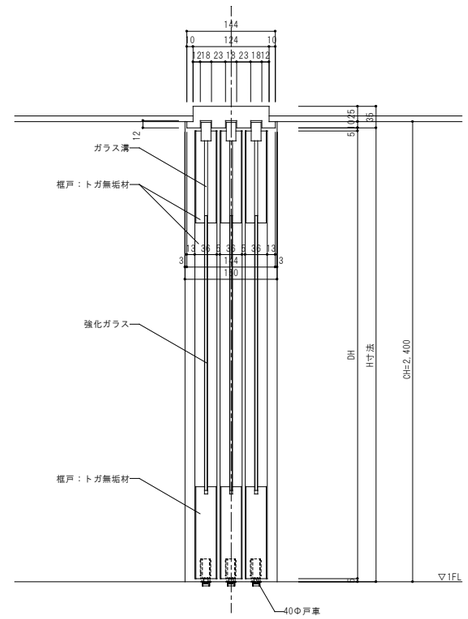




WD-8、9 取合い部拡大図　S=1/5



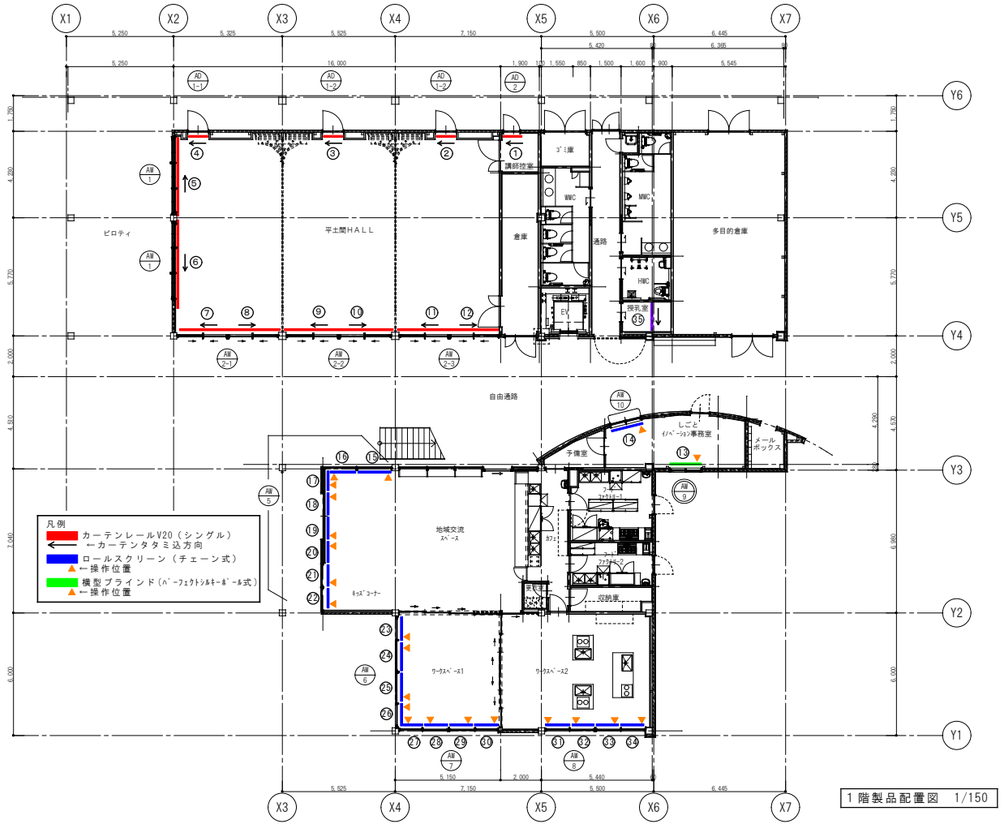
WD-8 断面図　S=1/5



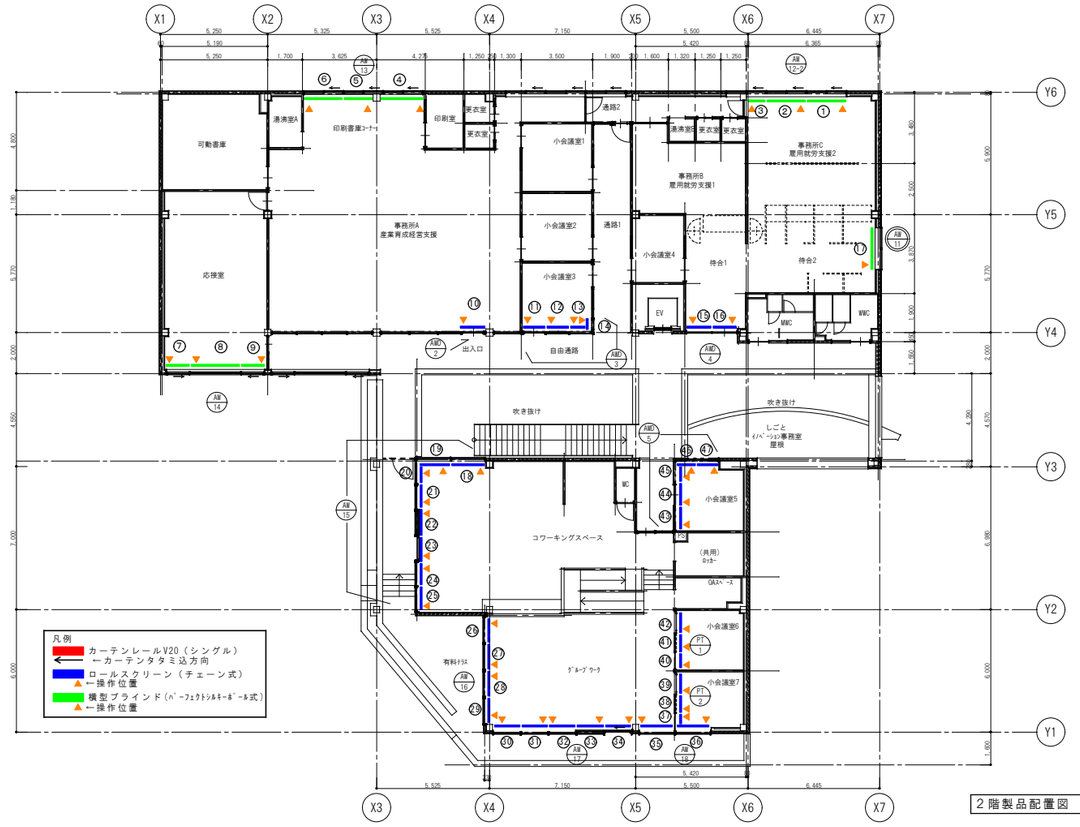
WD-9 断面図　S=1/5

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	木製建具詳細図	A1：S=1/5,30 A3：S=1/10,60	2025/03	A-57	武村	竹波	竹波	竹波	

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号



1階製品配置図　1/150



2階製品配置図　1/150

カーテンリスト　　カワシマカーテン　TT-9139同等

階	No.	部屋名	サッシ	製品	製品識別色	製品W	製品H	備考
1	1	講師控室	AD-2	CR		1100	2500	1.5倍ヒダ
	2	土間ＨＡＬＬ	AD-1-2	↑	↑	1050	3200	↑
	3		AD-1-2	↑	↑	↑	↑	↑
	4		AD-1-1	↑	↑	↑	↑	↑
	5		AW-1	↑	↑	3900	↑	↑
	6		AW-1	↑	↑	4350	↑	↑
	7		AW-2-1	↑	↑	5000	↑	↑
	8		AW-2-1	↑	↑		↑	↑
	9		AW-2-2	↑	↑	5160	↑	↑
	10		AW-2-2	↑	↑		↑	↑
	11		AW-2-3	↑	↑	4880	↑	↑
	12		AW-2-3	↑	↑		↑	↑
	35	授乳室		CR天		1450	2500	↑ 上部ﾒｯｼｭH500

レール・ブラインド類　製品リスト

階	No.	部屋名	サッシ	製品	製品識別色	製品W	製品H	備考
1	1	講師控室	AD-2	CR		1100		
	2	土間ＨＡＬＬ	AD-1-2	↑	↑	1050		
	3		AD-1-2	↑	↑	↑		
	4		AD-1-1	↑	↑	↑		
	5		AW-1	↑	↑	3900		
	6		AW-1	↑	↑	4350		タタミ代分延長
	7		AW-2-1	↑	↑	5000		両引き1台
	8		AW-2-1	↑	↑			
	9		AW-2-2	↑	↑	5160		両引き1台
	10		AW-2-2	↑	↑			
	11		AW-2-3	↑	↑	4880		両引き1台
	12		AW-2-3	↑	↑			
	13	しごと	AW-9	PIB		1580	1190	
	14	ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ事務室	AW-10	RSC		1580	1070	
	15	地域交流スペース	AW-5	↑	↑	1600	3240	
	16			↑	↑	1600	3240	
	17			↑	↑	1120	3240	
	18			↑	↑	1120	3240	
	19			↑	↑	1120	3240	
	20			↑	↑	1120	2440	
	21			↑	↑	1120	2440	
	22	キッズコーナー		↑	↑	1120	2440	
	23	ワークスペース1	AW-6	↑	↑	1130	2440	
	24			↑	↑	1680	2440	
	25			↑	↑	1680	2440	
	26			↑	↑	1130	2440	
	27		AW-7	↑	↑	1130	2440	
	28			↑	↑	1300	2440	
	29			↑	↑	1300	2440	
	30			↑	↑	1130	2440	
	31	ワークスペース2	AW-8	↑	↑	1170	2440	
	32			↑	↑	1280	2440	
	33			↑	↑	1280	2440	
	34			↑	↑	1170	2440	
	35	授乳室		CR天		1450		部屋間仕切

製品種別凡例
- CR　カーテンレールV20（シングル）
- RSC　ロールスクリーン（チェーン式）
- PIB　横型ブラインド（ﾊﾟｰﾌｪｸﾄｼｰﾙ&ｷｰﾎﾞｰﾙ式）
- CR天　カーテンレールV20（シングル）

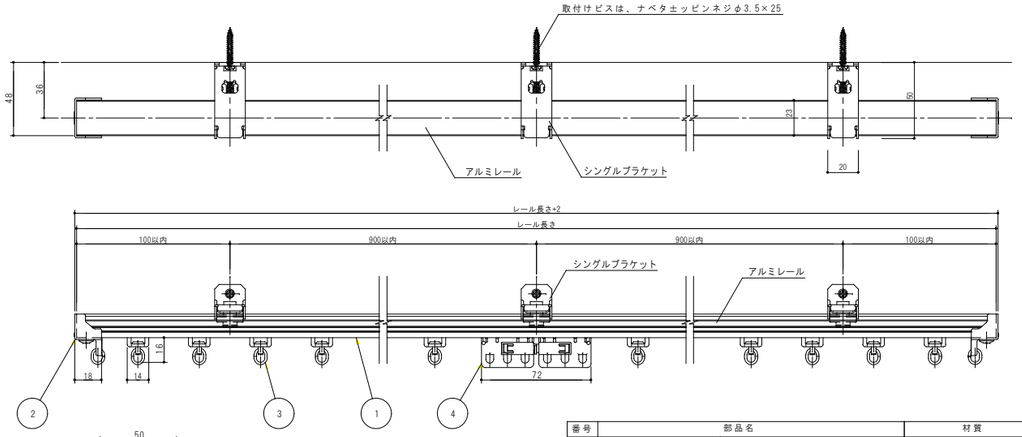
階	No.	部屋名	サッシ	製品	製品識別色	製品W	製品H	備考
2	1	事務室C	AW-12-2	PIB		1980	1690	
	2	雇用就労支援2	↑	↑	↑	1960	1690	
	3		↑	↑	↑	940	1690	
	4	印刷書庫コーナー	AW-13	↑	↑	2100	1690	
	5		↑	↑	↑	1430	1690	
	6		↑	↑	↑	1950	1690	
	7	応接室	AW-14	↑	↑	1140	1690	
	8		↑	↑	↑	2550	1690	
	9		↑	↑	↑	1140	1690	
	10	事務室A	AWD-2	RSC		1150	2820	
	11	小会議室3	AWD-3	↑	↑	1130	2820	
	12		↑	↑	↑	1160	2820	
	13		↑	↑	↑	1130	2820	
	14		↑	↑	↑	1070	2820	
	15	待合１	AWD-4	↑	↑	1360	2820	
	16		↑	↑	↑	1160	2820	
	17	待合２	AW-11	PIB		2080	1690	
	18	コワーキングスペース	AW-15	RSC		1700	2960	
	19		↑	↑	↑	1650	2960	
	20		↑	↑	↑	1180	2960	
	21		↑	↑	↑	1260	2960	
	22		↑	↑	↑	1260	2960	
	23		↑	↑	↑	1260	2960	
	24		↑	↑	↑	1260	2960	
	25		↑	↑	↑	1260	2960	
	26	グループワーク	AW-16	↑	↑	1400	2760	
	27		↑	↑	↑	1370	2760	
	28		↑	↑	↑	1370	2760	
	29		↑	↑	↑	1400	2760	
	30		AW-17	↑	↑	1360	2760	
	31		↑	↑	↑	1330	2760	
	32		↑	↑	↑	1330	2760	
	33		↑	↑	↑	1330	2760	
	34		↑	↑	↑	1130	2760	
	35		AW-18	↑	↑	1730	2760	
	36	小会議室７	↑	↑	↑	1730	2760	
	37		PT-2	↑	↑	960	2620	
	38		↑	↑	↑	960	2620	
	39		↑	↑	↑	960	2620	
	40	小会議室６	PT-1	↑	↑	960	2620	
	41		↑	↑	↑	960	2620	
	42		↑	↑	↑	960	2620	
	43	小会議室５	AWD-5	↑	↑	1160	2820	
	44		↑	↑	↑	1160	2820	
	45		↑	↑	↑	1180	2820	
	46		↑	↑	↑	1050	2820	
	47		↑	↑	↑	1100	2820	

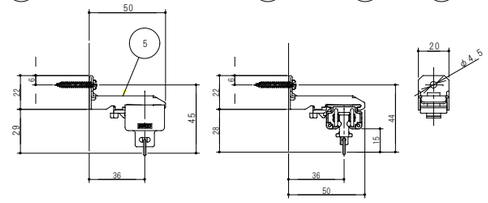
※各製品寸法は概算値であり、制作に当たっては現地実測の上、制作すること

株式会社 黒川建築設計事務所

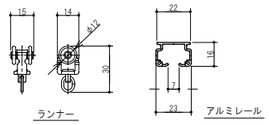
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	カーテンブラインド配置図	A1：S=1/150 A3：S=1/300	2025/03	A-58	武村	竹波	竹波	竹波





シングルブラケット取付断面



※別途カーテン適正重量
片引き10kg（両引き＋10kg） 総重量20kg以下

※別途カーテンタタミ代（概算値）
ランナー数（8ヶ／m）×14mm以上

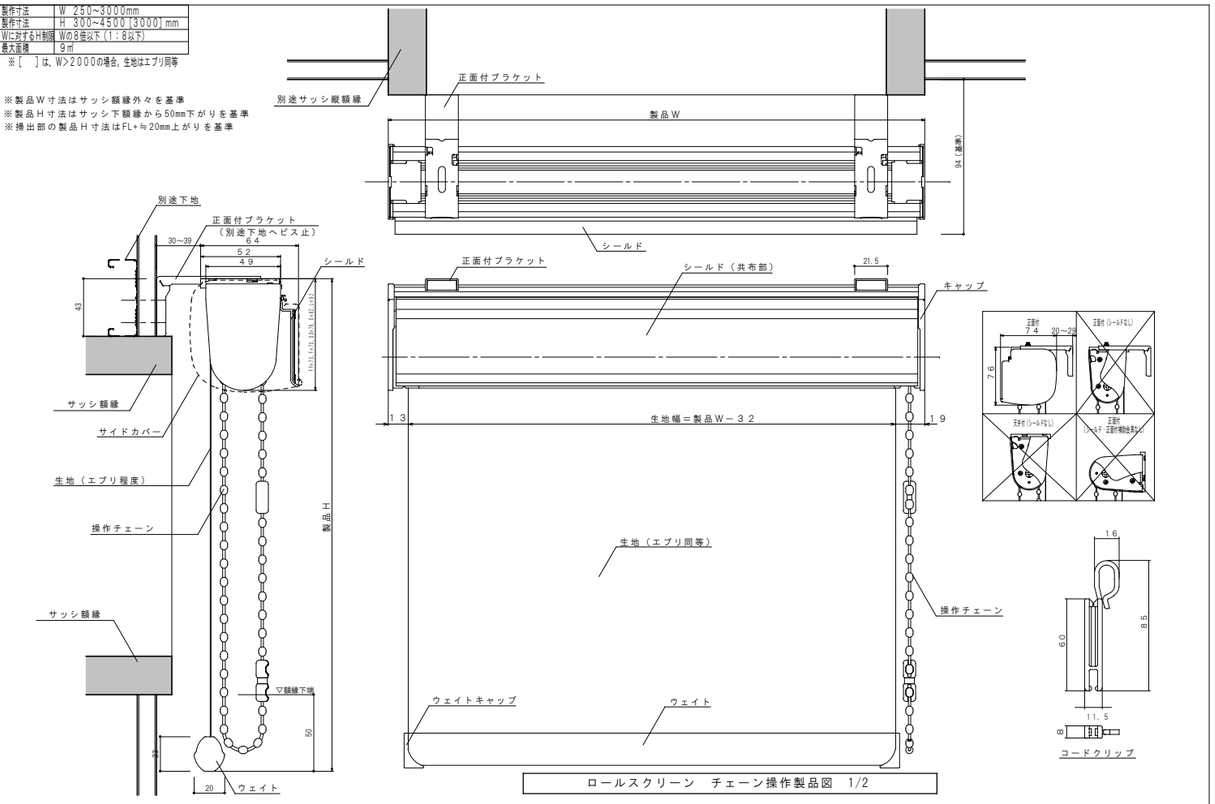
番号	部品名		材質
1	V20 アルミレール	アルミ	アルミニウム合金
		スチール	樹脂被膜スチール鋼板
		ステンレス	ステンレス鋼板
2	キャップストップ	キャップストップ本体	樹脂成型±品
		受け金具（取付金具）	スチール
		フックリング	ステンレス
3	ランナー	ランナー本体	樹脂成型±品
		コロ（車輪）	樹脂成型±品
		車輪軸	アルミニウム
		フックリング	ステンレス
4	マグネットランナー	マグネットランナー本体	樹脂成型±品
		マグネット／±受け金具	マグネット／±スチー
		コロ（車輪）	樹脂成型±品
		車輪軸	アルミニウム
5	ブラケット	ブラケット本体	スチール
		スライドブロック（レール固定部品）	樹脂成型±品
		スプリング	スチール

アルミカーテンレール製品図 1/2

製作寸法	W 250~3000mm
製作寸法	H 300~4500〔3000〕mm
Wに対するH制限	W≦8倍以下（1：8以下）
最大面積	9㎡

※〔 〕は、W>2000の場合、生地はエブリ同等

※製品W寸法はサッシ額縁外々を基準
※製品H寸法はサッシ下額縁から50mm下がりを基準
※掃出部の製品H寸法はFL+≒20mm上がりを基準

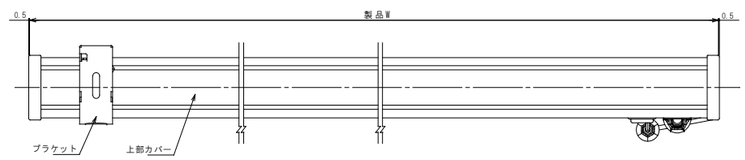


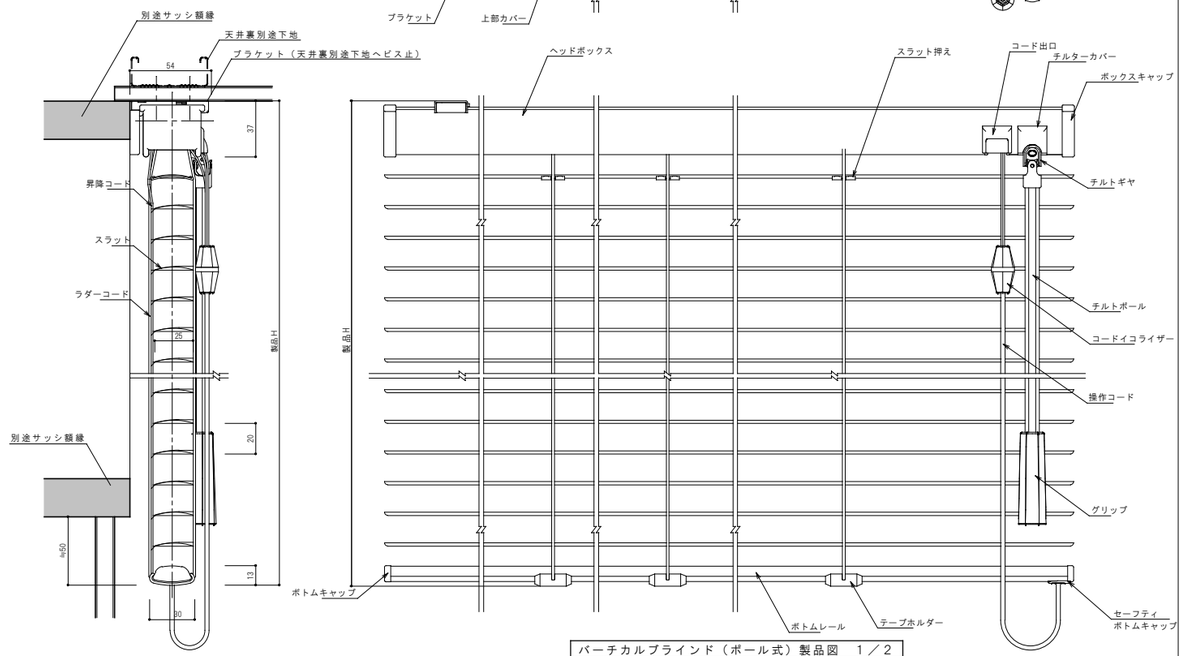
ロールスクリーン チェーン操作製品図 1/2

幅（W）	450~3000
高さ（H）	200~3000※1 （200~4000※2）
最大面積	6㎡
パーフェクトシルキー ポール操作 同等	

※（ ）内寸法は、RDS（減速降下機能）なしの場合
※1幅（W）600未満の場合、製作可能高さ（H）は2000まで
※2幅（W）550未満の場合、製作可能高さ（H）は2000まで

※製品W寸法はサッシ額縁外々を基準
※製品H寸法はサッシ下額縁から50mm下がりを基準





バーチカルブラインド（ポール式）製品図 1／2

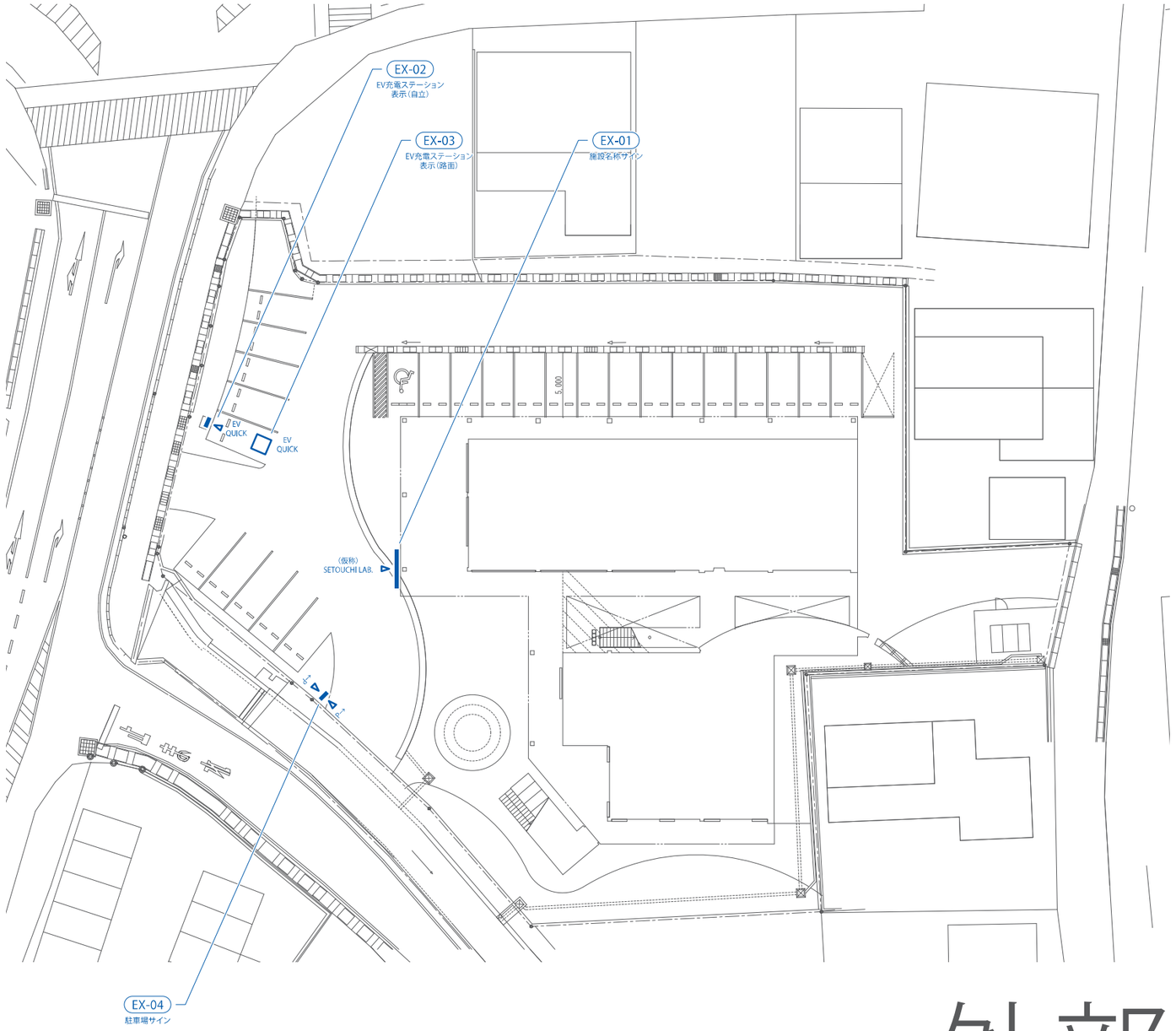
件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	カーテンブラインド配置図	A1：S=1/2 A3：S=1/4	2025/03	A-59	武村	竹波	竹波	竹波

株式会社 黒川建築設計事務所

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX. 086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号

【記号】	No.	外部サイン	数量	外部	1F	2F	備考
	EX-01	施設名称サイン	×1	×1	-	-	-
	EX-02	EV充電ステーション表示（自立）	×1	×1	-	-	-
	EX-03	EV充電ステーション表示（路面）	×1	×1	-	-	-
	EX-04	駐車場サイン	×1	×1	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-

【記号】	No.	内部サイン	数量	外部	1F	2F	備考
	IN-01	全館案内サイン	×1	-	×1	-	-
	IN-02	インフォメーション表示	×1	-	×1	-	-
	IN-03	誘導サイン（自立）	×1	-	×1	-	-
	IN-04	誘導サイン（手すり）	×1	-	-	×1	-
	IN-05	室名表示（シート切り文字貼／大）	×17	-	×1	×16	-
	IN-06	室名表示（シート切り文字貼／小）	×23	-	×16	×7	-
	IN-07	室名表示（ピクトグラム）	×12	-	×5	×7	-
	IN-08	室名表示（突出し）	×11	-	×8	×3	-
	IN-09	手すり点字表示	×6	-	×1	×5	-
	IN-10	ガラス面衝突防止	×70m	-	×66.4m	-	※予備3.6mを含む
	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-



外部

■DIN Condensed

SETOUCHI LAB.
※仮称

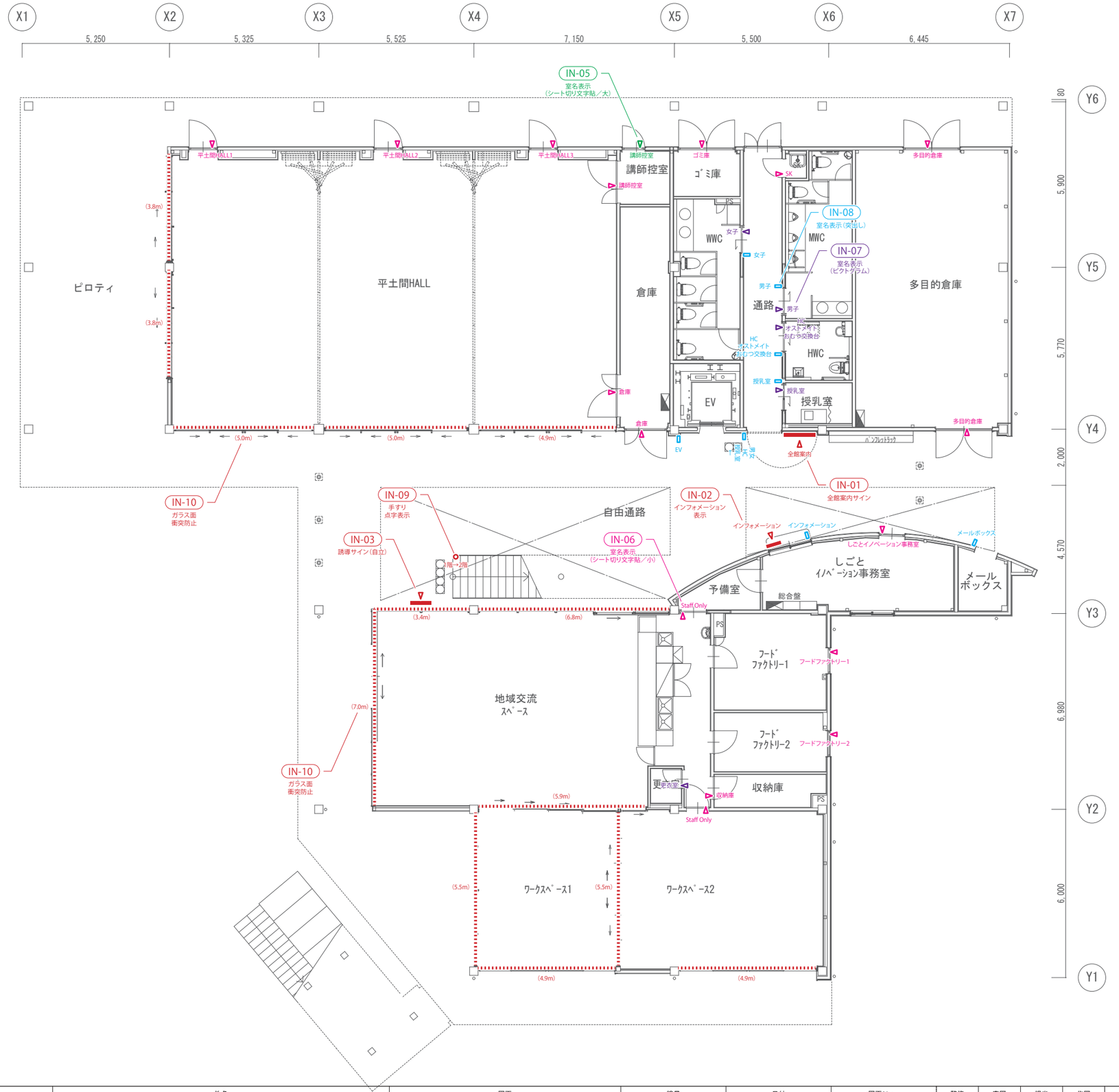
■源柔ゴシック

亜伊宇絵夫可貴区毛小差市素背祖
あいうえおかき　アイウエオカキ
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
01234568789

■ピクトグラム



株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	サインリスト	A1：S=1/200	2025/03	A-60	武村	竹波	竹波	竹波	
		サイン配置図（外部）	A3：S=1/400							



1F

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	サイン配置図（1F）	A1：S=1/75 A3：S=1/150	2025/03	A-61	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号



2F

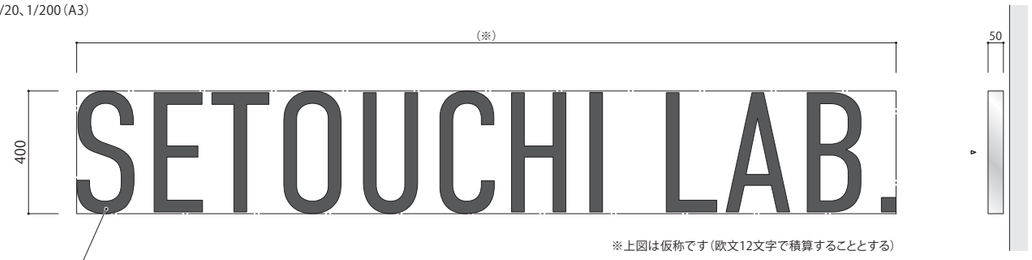
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	サイン配置図（２Ｆ）	A1：S=1/75 A3：S=1/150	2025/03	A-62	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

EX-01　施設名称サイン　×1

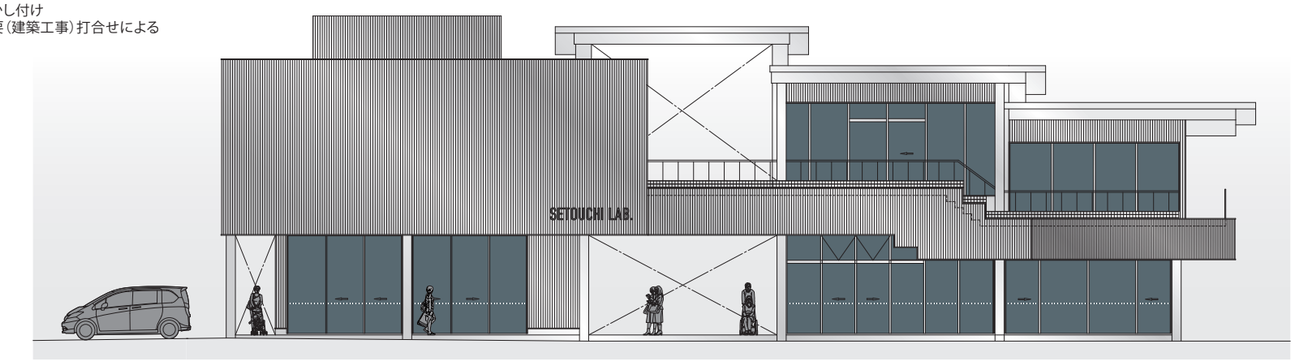
S=1/10、1/100（A1）
S=1/20、1/200（A3）

【外部】×1



※上図は仮称です（欧文12文字で積算することとする）

SUS鋼板箱文字加工（D=50mm）、HL仕上
正面部シート貼
20mm程度浮かし付け
※取付下地必要（建築工事）打合せによる

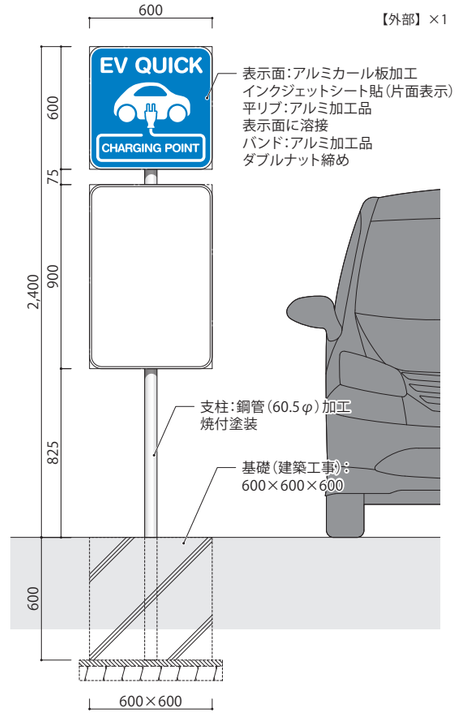


EX-02　EV充電ステーション表示（自立）　×1

S=1/7.5、1/15（A1）
S=1/15、1/30（A3）

【外部】×1

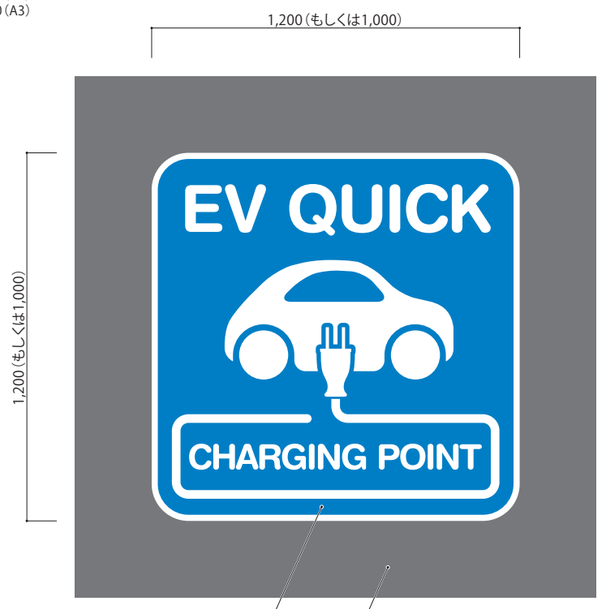




EX-03　EV充電ステーション表示（路面）　×1

S=1/10（A1）
S=1/20（A3）

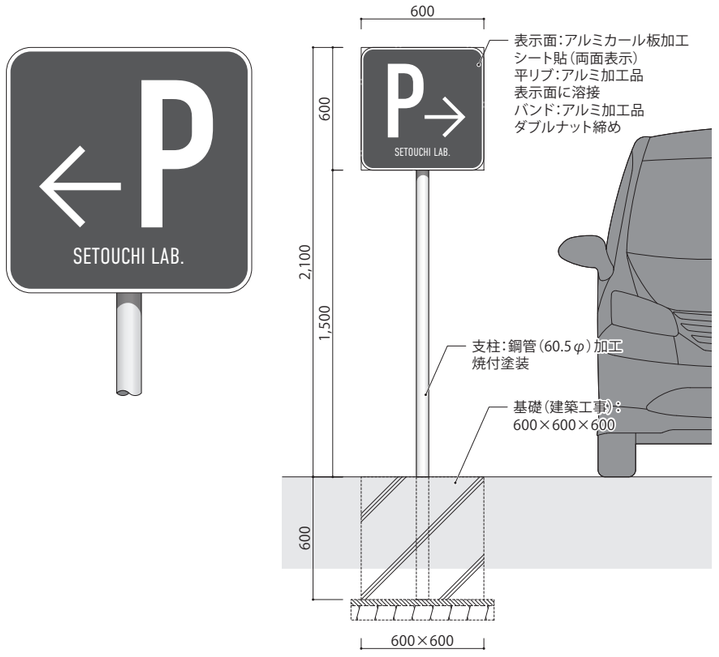
【外部】×1



EX-04　駐車場サイン　×1

S=1/7.5、1/15（A1）
S=1/15、1/30（A3）

【外部】×1

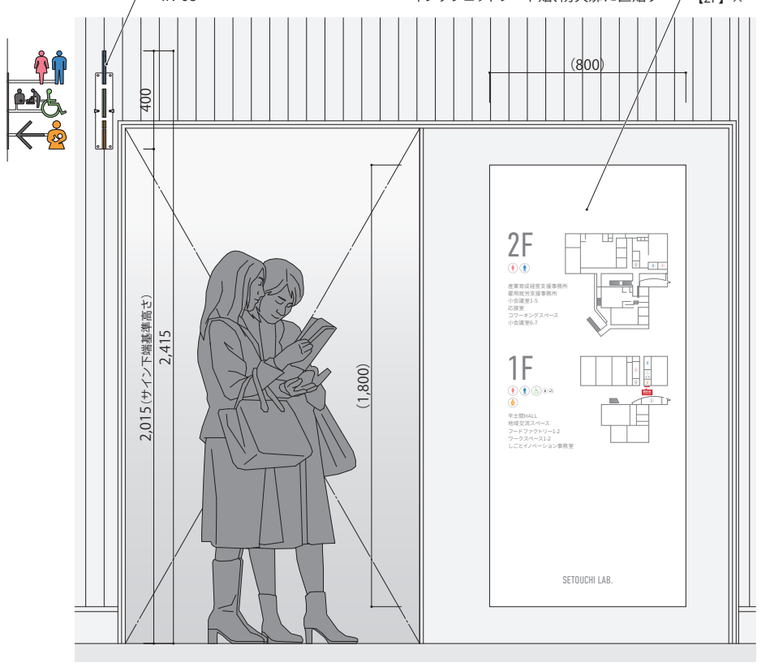


株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	サイン詳細図（1）	A1：S=1/7.5,10,15,100 A3：S=1/15,20,30,200	2025/03	A-63	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

IN-01　全館案内サイン　×1

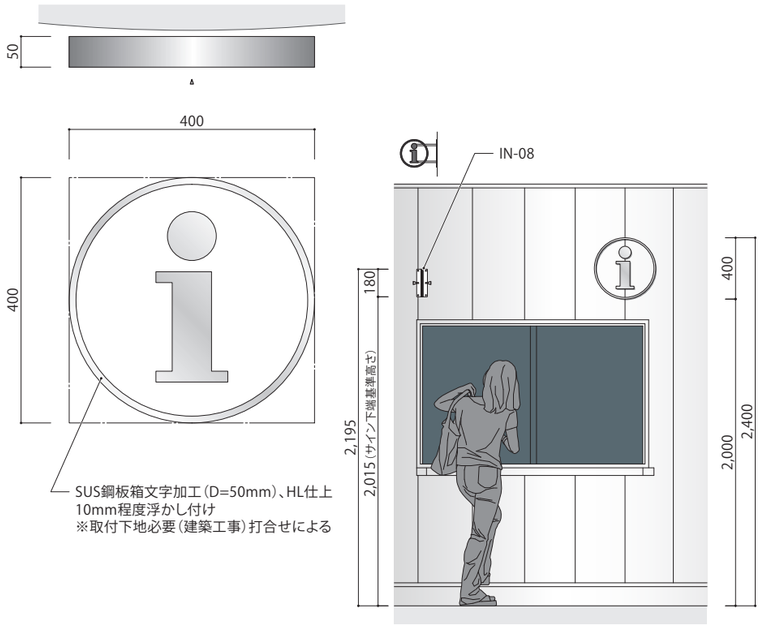
S=1/12.5（A1）
S=1/25（A3）



IN-02　インフォメーション表示　×1

S=1/5、1/20（A1）
S=1/10、1/40（A3）

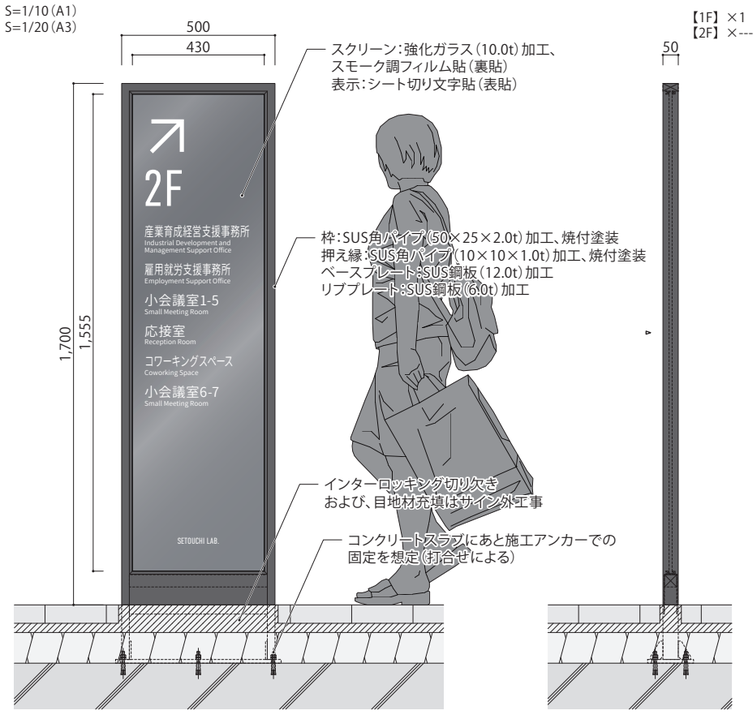
【1F】×1
【2F】×---



IN-03　誘導サイン（自立）　×1

S=1/10（A1）
S=1/20（A3）

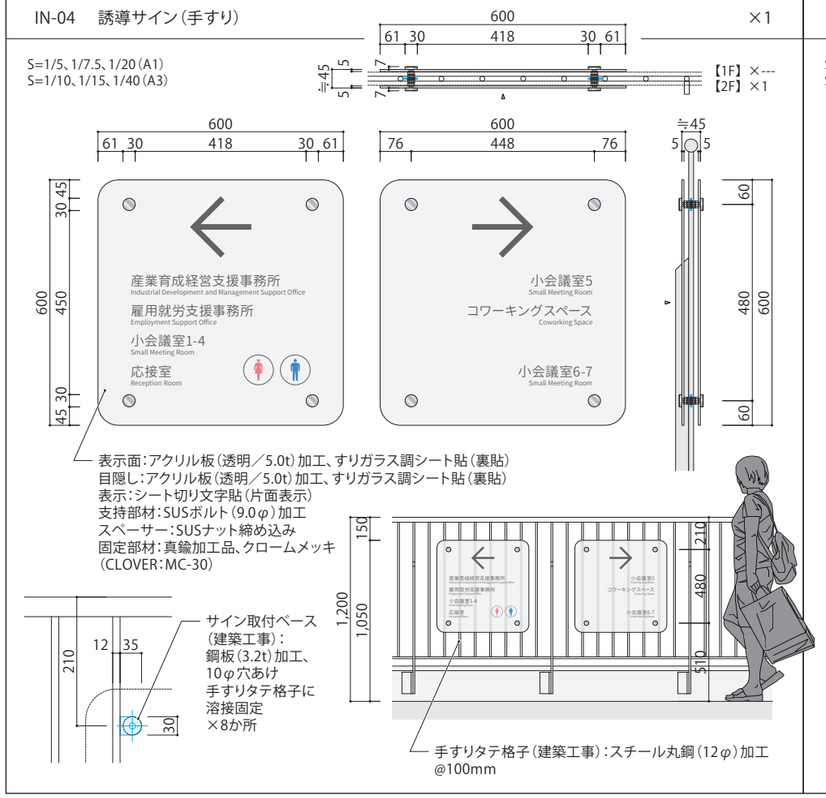
【1F】×1
【2F】×---



IN-04　誘導サイン（手すり）　×1

S=1/5、1/7.5、1/20（A1）
S=1/10、1/15、1/40（A3）

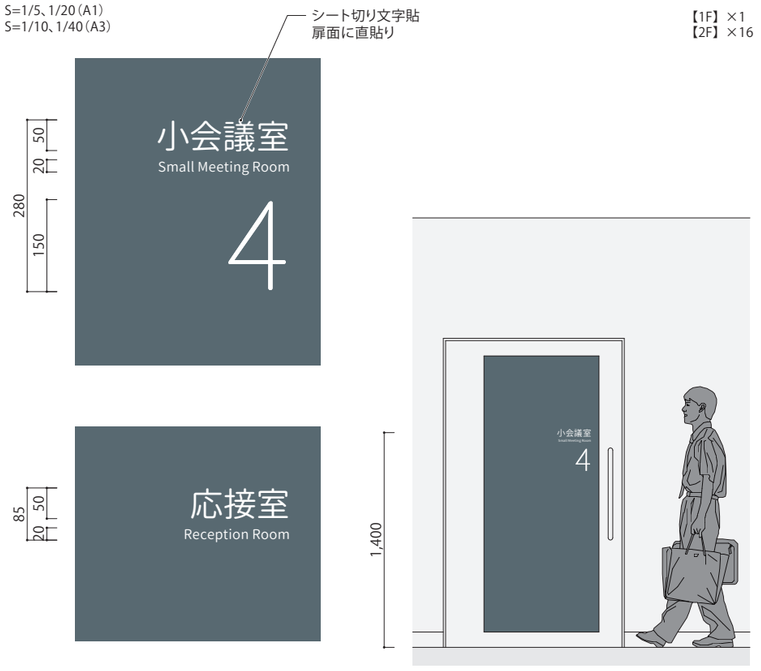
【1F】×---
【2F】×1



IN-05　室名表示（シート切り文字貼／大）　×17

S=1/5、1/20（A1）
S=1/10、1/40（A3）

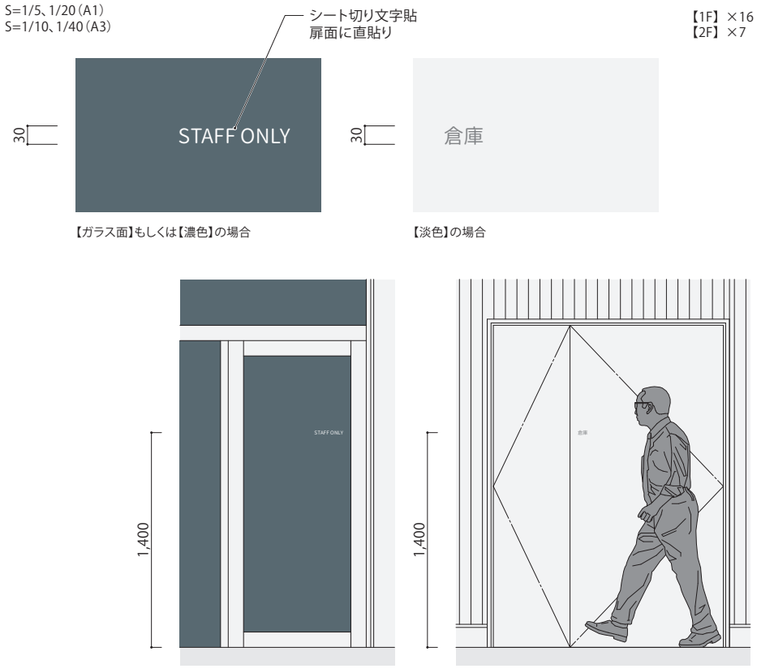
【1F】×1
【2F】×16



IN-06　室名表示（シート切り文字貼／小）　×23

S=1/5、1/20（A1）
S=1/10、1/40（A3）

【1F】×16
【2F】×7



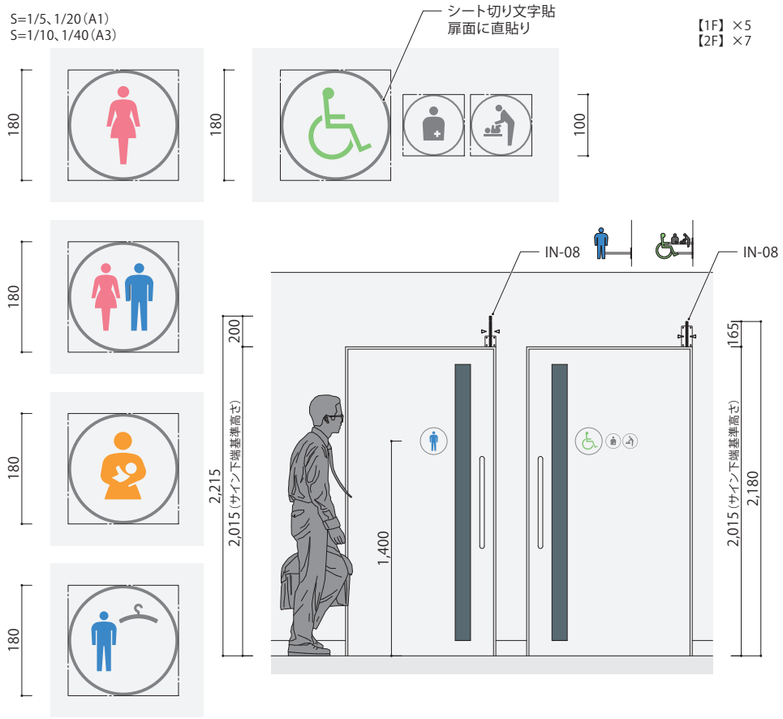
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	サイン詳細図（2）	A1：S=1/5,7.5,10,12.5,20 A3：S=1/10,15,20,25,40	2025/03	A-64	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

IN-07　室名表示（ピクトグラム）　×12

S=1/5、1/20（A1）
S=1/10、1/40（A3）

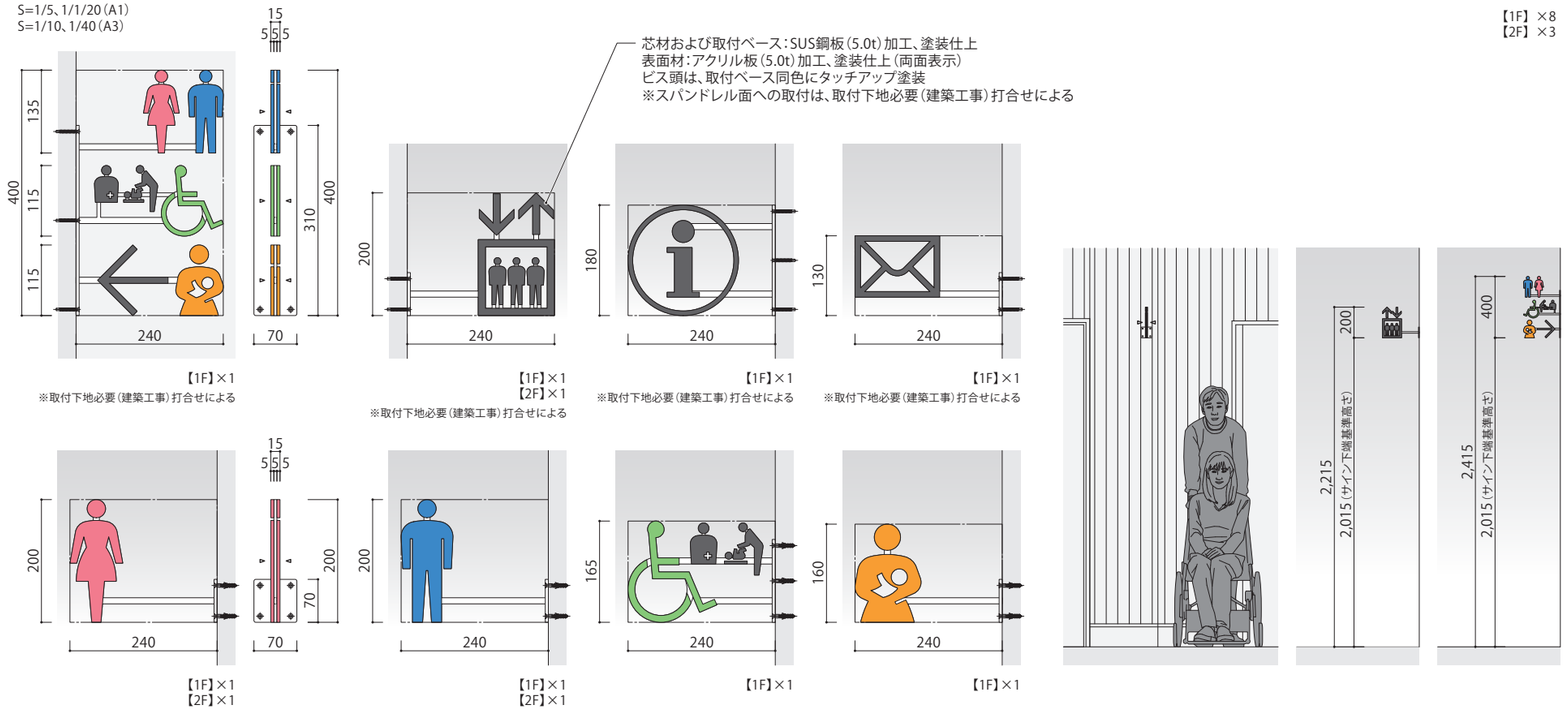
【1F】×5
【2F】×7



IN-08　室名表示（突出し）　×11

S=1/5、1/1/20（A1）
S=1/10、1/40（A3）

【1F】×8
【2F】×3



【1F】×1
【2F】×1
※取付下地必要（建築工事）打合せによる

【1F】×1
【2F】×1
※取付下地必要（建築工事）打合せによる

【1F】×1
※取付下地必要（建築工事）打合せによる

【1F】×1
※取付下地必要（建築工事）打合せによる

【1F】×1
【2F】×1

【1F】×1
【2F】×1

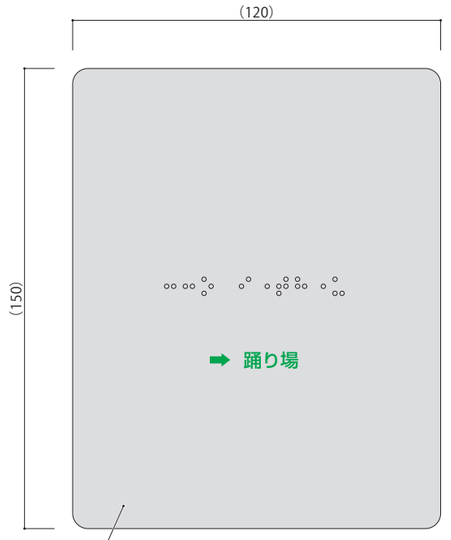
【1F】×1

【1F】×1

IN-09　手すり点字表示　×6

S=1/1（A1）
S=1/2（A3）

【1F】×1
【2F】×5

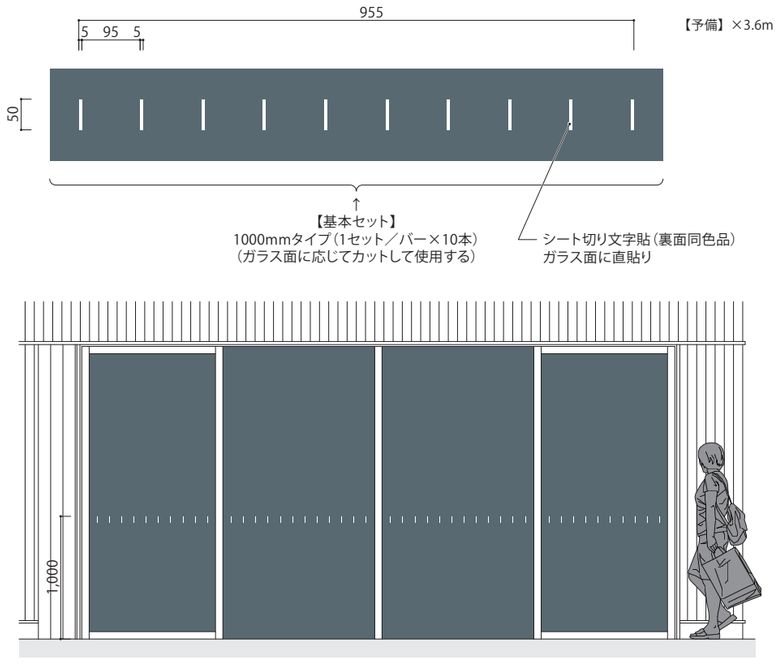


手すり用点字標示板（規格品）：
本体：ポリカーボネイト（0.2t）加工、シルク印刷（裏刷）
点字：プレス式
両面テープ貼

IN-10　ガラス面衝突防止　×70m

S=1/5、1/25（A1）
S=1/10、1/50（A3）

【1F】×66.4m
【2F】×---
【予備】×3.6m



- -

-

- -

-

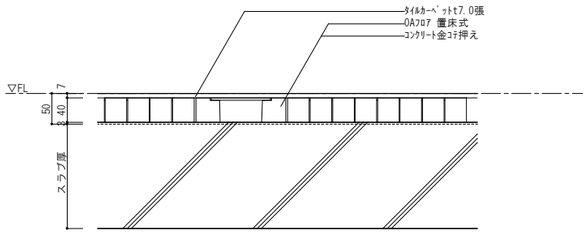
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	サイン詳細図（3）	A1：S=1/1,5,20,25 A3：S=1/2,10,40,50	2025/03	A-65	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

床リスト

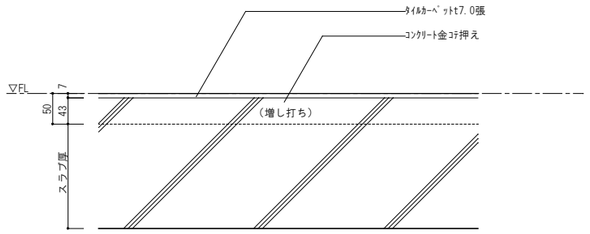
ＯＡフロア　S=1/5 A3版:S=1/10

ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt=7.0：東リGA-100W（ｼｬﾄﾞｳﾌﾞﾛｯｸ）
OAﾌﾛｱ ｷﾀｲｺｰﾎﾞﾚｰｼｮﾝ ｴｺﾆｯﾄﾌﾛｱ H40SP　3000N



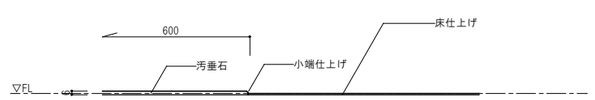
タイルカーペット　S=1/5 A3版:S=1/10

ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄt=7.0：東リGA-100W（ｼｬﾄﾞｳﾌﾞﾛｯｸ）



汚垂石(小便器)　S=1/5 A3版:S=1/10

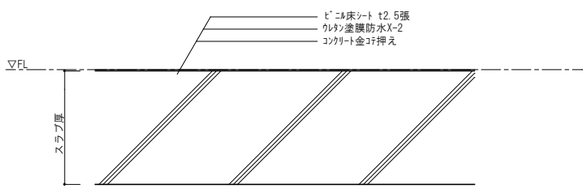
㈱ﾘｸｼﾙ ：ｷﾗﾐｯｸｽﾃｯﾌﾟｽﾘﾑⅡ



巾木リスト

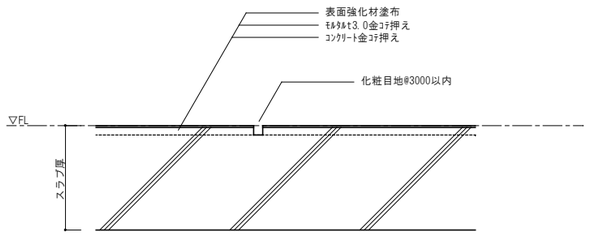
ビニル床シート（外部）　S=1/5 A3版:S=1/10

防滑ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ　　東リ㈱ NSｼｰﾄ NS800



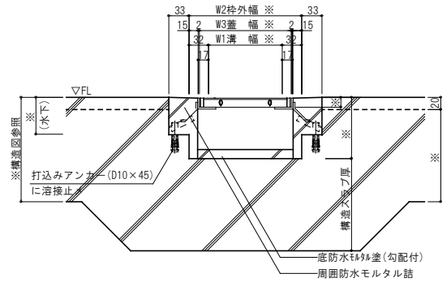
モルタルt3.0金コテ押え ＋表面強化材塗布　S=1/5 A3版:S=1/10

㈱ABC商会　ｼﾘｶｰﾄﾊｰﾄﾞﾅｰJP
日本化成㈱ NPﾌﾛｱﾊｰﾄﾞ

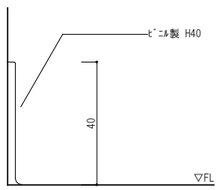


ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ　※寸法は平面・断面詳細図参照　S=1/5 A3版:S=1/10

特記なき限り　耐荷重　T6　St溶融亜鉛ﾒｯｷ 細目

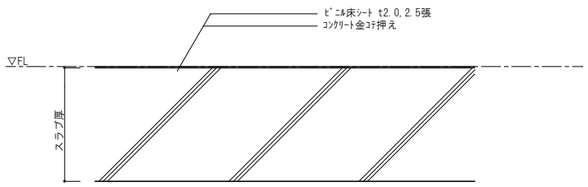


幅木：ﾋﾞﾆﾙ製 H40　S=1/1 A3版:S=1/2



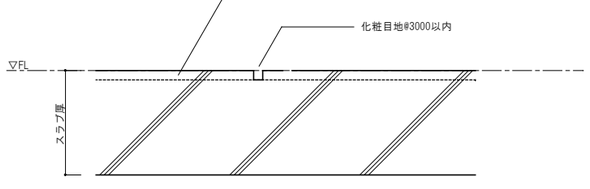
ビニル床シート（内部）　S=1/5 A3版:S=1/10

ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(水回り抗菌仕様)　東リ㈱ 消臭NSﾄﾜﾙ
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ（書庫など）　　東リ㈱ ﾌﾛｱﾘｭｰﾑ ﾏｰﾌﾞﾙNW

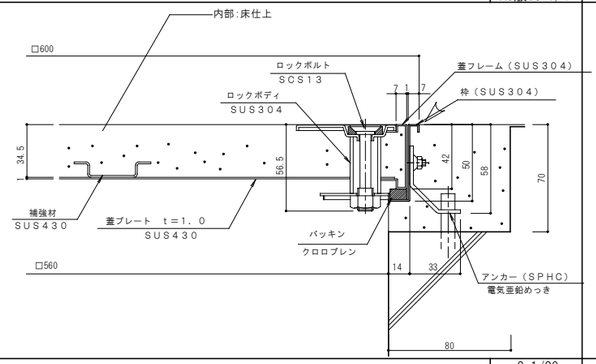


表面強化材塗布　S=1/5 A3版:S=1/10

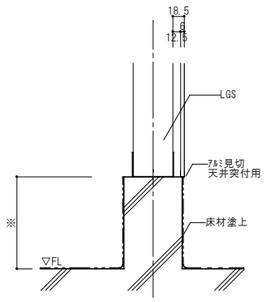
㈱ABC商会　ｼﾘｶｰﾄﾊｰﾄﾞﾅｰJP



床点検口　600×600　S=1/2 A3版:S=1/4

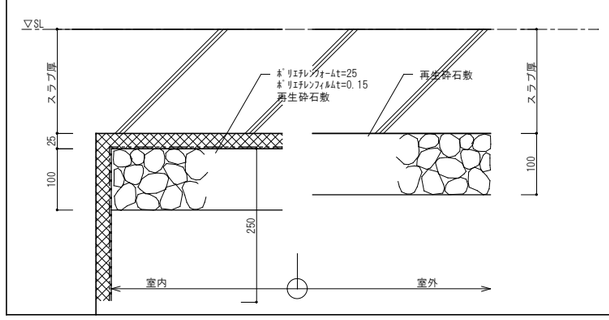


幅木：床材塗上　S=1/5 A3版:S=1/10

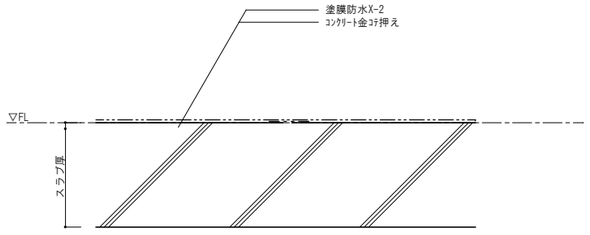


ｽﾗﾌﾞ下 断熱､防湿　S=1/5 A3版:S=1/10

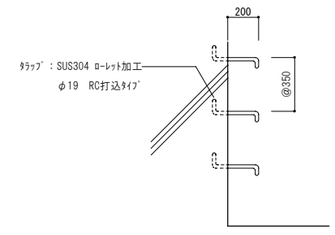
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ継ぎ目 重ね代は100以上とし､端部共ﾃｰﾌﾟ貼とする。
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ及びﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑの端部呑み込み代は250以上とする。



塗膜防水X-2　S=1/5 A3版:S=1/10



ピットタラップ　S=1/20 A3版:S=1/40



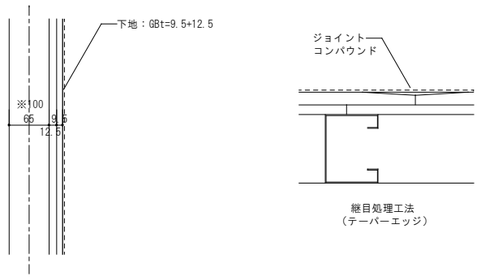
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	部分詳細図1	A1：S=1/1,2,5,20 A3：S=1/2,4,10,40	2025/03	A-66	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

壁リスト

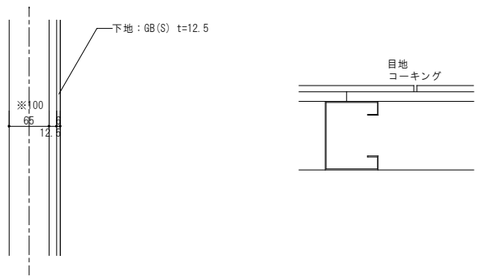
壁：ビニルクロス貼　S=1/5 A3版：S=1/10

一般部



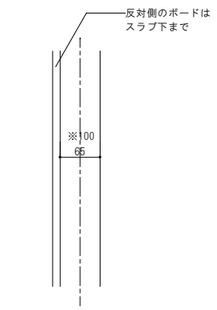
壁：FKｔ＝6.0　EP塗　S=1/5 A3版：S=1/10

通路（半屋外）・水回り壁



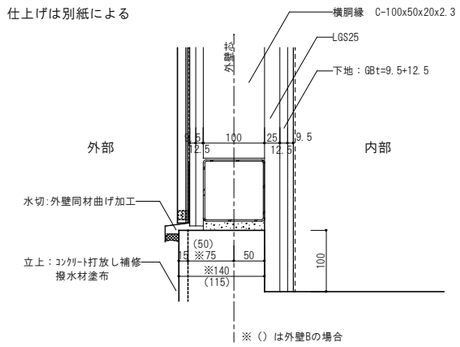
壁：LGS　表し　S=1/5 A3版：S=1/10

ＰＳ内



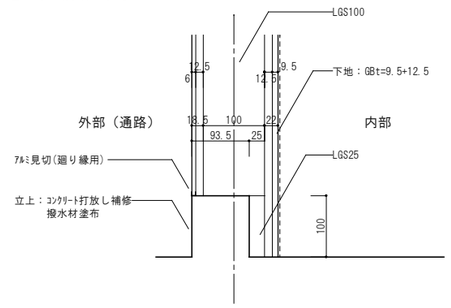
外壁取り合い部　（室内で立上を隠蔽する場合）　S=1/5 A3版：S=1/10

仕上げは別紙による

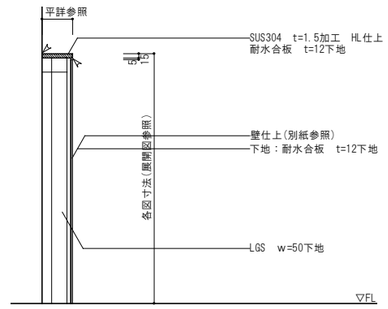


通路壁取り合い部　（半屋外で立上を表す場合）　S=1/5 A3版：S=1/10

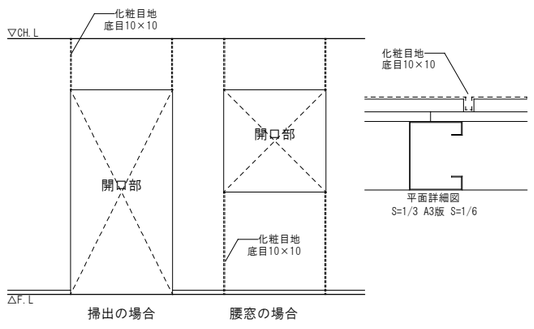
仕上げは別紙による



腰壁ライニング　S=1/10 A3版：S=1/20



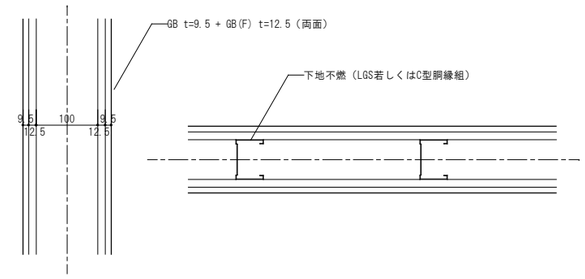
LGS壁：開口部化粧目地　S=1/30 A3版：S=1/60



界壁リスト（スラブ若しくは梁下迄）

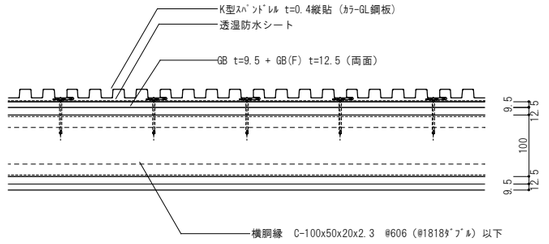
耐火間仕切壁　S=1/5 A3版：S=1/10

国交省告示195号
仕上げは別紙による



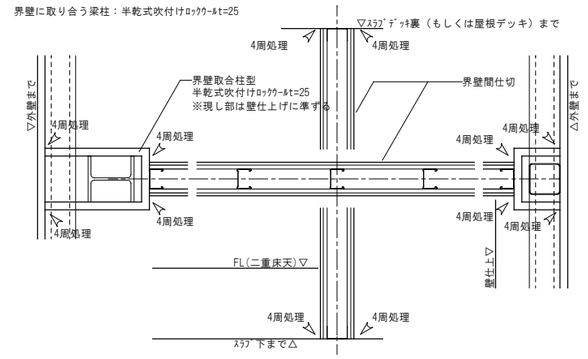
耐火間仕切壁　外部に面する場合　S=1/5 A3版：S=1/10

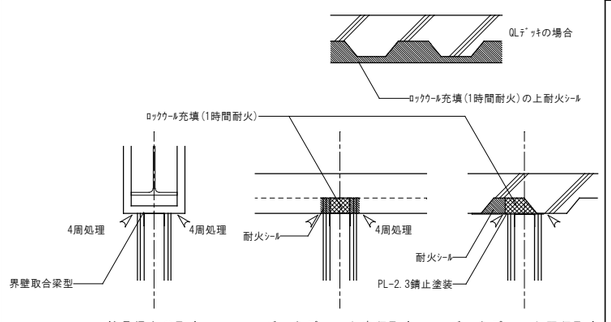
国交省告示195号



界壁間仕切　４周処理詳細　S=1/10 A3版：S=1/20

※4周処理は変形追従可能でかつﾒｰｶｰ認定品とする
界壁に取り合う梁柱：半乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙt=25

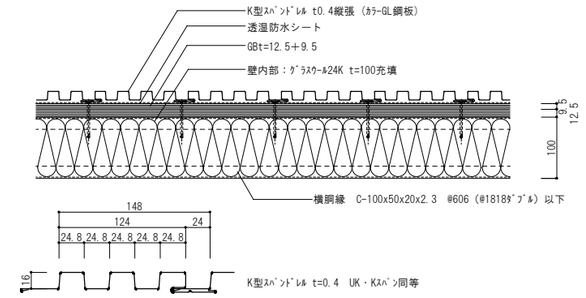




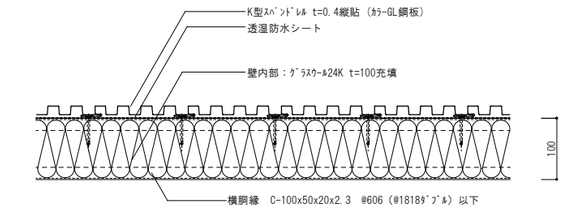
外壁リスト

外壁A　（延焼ラインにかかる防火構造）　S=1/5 A3版：S=1/10

防火認定番号：PC030NE-0044

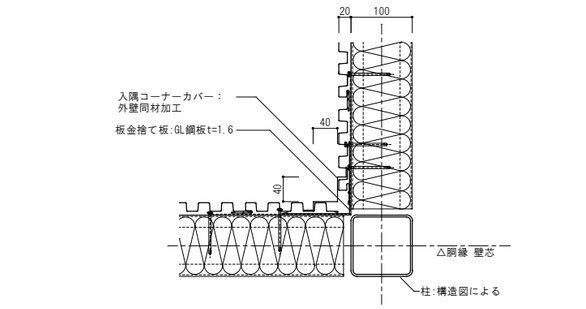


外壁B　（一般部）　S=1/5 A3版：S=1/10



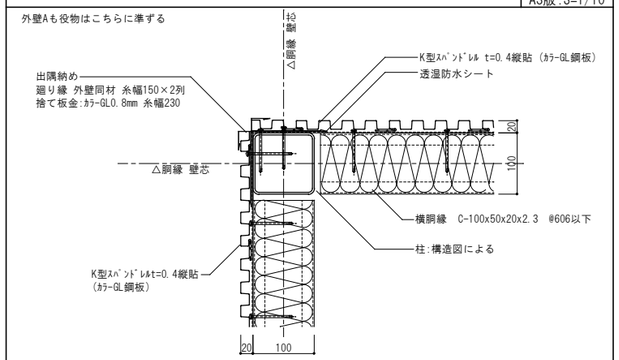
外壁B　コーナー入隅　S=1/5 A3版：S=1/10

外壁Aも役物はこちらに準ずる



コーナー出隅（一般）　S=1/5 A3版：S=1/10

外壁Aも役物はこちらに準ずる



株式会社 黒川建築設計事務所

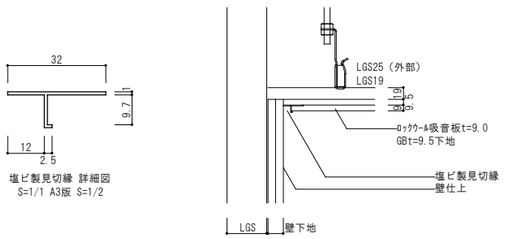
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面Ｎｏ.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	部分詳細図２	A1：S=1/5, 10, 30 A3：S=1/1, 20, 60	2025/03	A-67	武村	竹波	竹波	竹波

天井リスト

天井：ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板　S=1/5 A3版:S=1/10

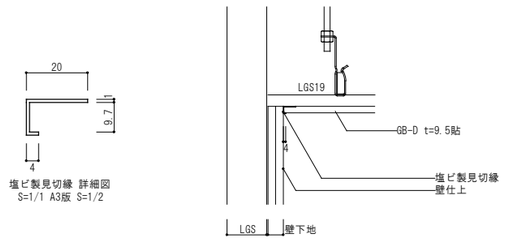
ﾛｯｸｳｰﾙ吸音板：大建工業㈱ ﾀﾞｲﾛｰﾄﾝ ｷﾞﾝｶﾞ4[不燃材料 NM-8599] 同等
目透し型見切縁：㈱創建 塩ビT-9 同等



塩ビ製見切縁 詳細図
S=1/1 A3版 S=1/2

天井：GB-D　S=1/5 A3版:S=1/10

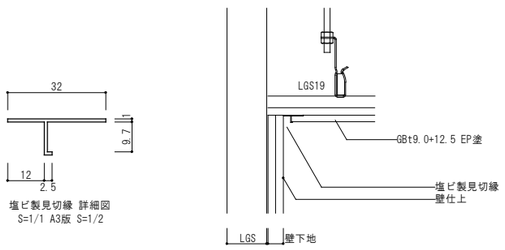
GB-D：吉野石膏㈱ ｽﾃﾗｰﾄ 同等
コ型見切縁：㈱創建 塩ビTC-9 同等



塩ビ製見切縁 詳細図
S=1/1 A3版 S=1/2

天井：GBt9.0+12.5 EP塗　S=1/5 A3版:S=1/10

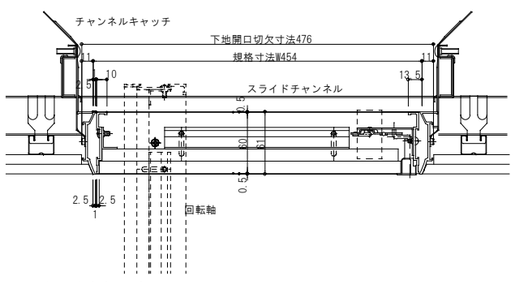
目透し型見切縁：㈱創建 塩ビT-9 同等



塩ビ製見切縁 詳細図
S=1/1 A3版 S=1/2

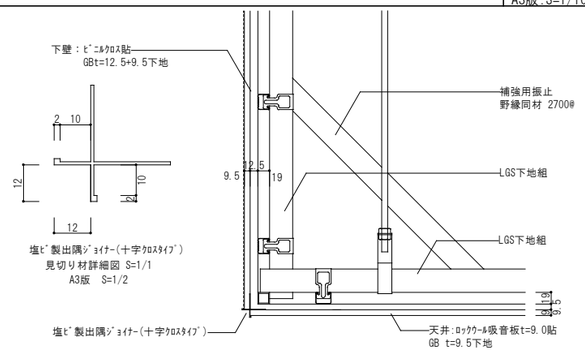
天井：点検口（目地タイプ）　S=1/3 A3版:S=1/6

ﾅｶ工業㈱ ﾊｲﾊｯﾁ



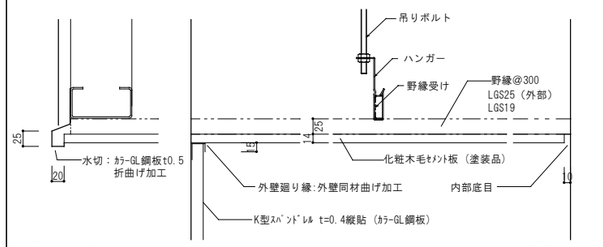
目地・目地（MM）タイプ

下がり壁　S=1/5 A3版:S=1/10



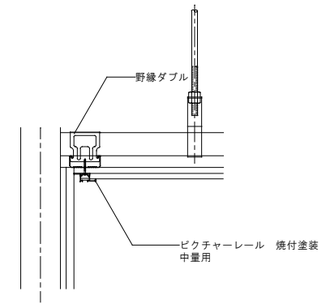
軒裏：化粧木毛ｾﾒﾝﾄ板（塗装品）　S=1/5 A3版:S=1/10

化粧木毛ｾﾒﾝﾄ板（塗装品）　竹村工業㈱ ﾚﾉｳｯﾄﾞ 900*900



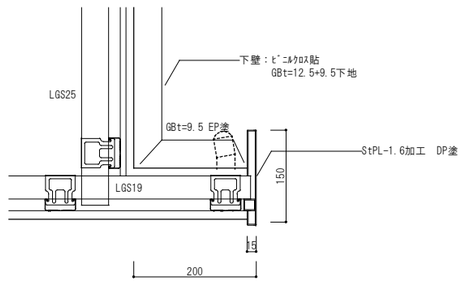
軒先取り合い　外壁取り合い　内壁取り合い

天井：ピクチャーレール　S=1/5 A3版:S=1/10



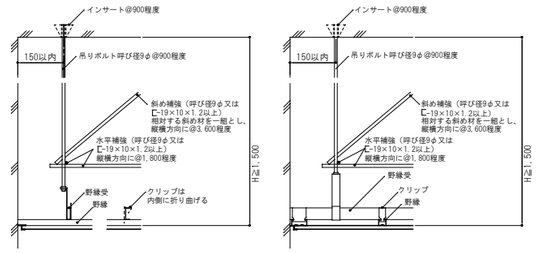
天井：照明BOX　ｼｰﾘﾝｸﾞｳｫｯｼｬｰ折り上げ天井取り合い　S=1/5 A3版:S=1/10

地域交流スペース　折り上げ部



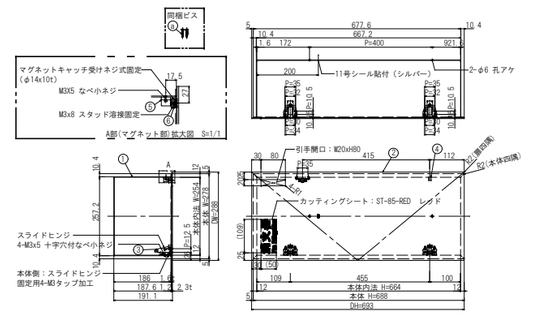
天井：ふところが1500をこえる場合　S=1/10 A3版:S=1/20

仕上げ・見切りは各種図面参照



消火器BOX　S=1/10 A3版:S=1/20

㈱ﾕﾆｵﾝ UFB-1F-3013-PWH(本体) + BRN-0030-3013-PWH(ﾌﾞﾗｹｯﾄ) 同等

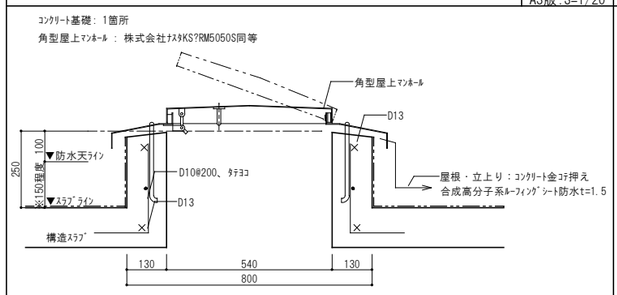


※ﾌﾞﾗｹｯﾄ設置時切欠き寸法：H×W×D = 682×272×202

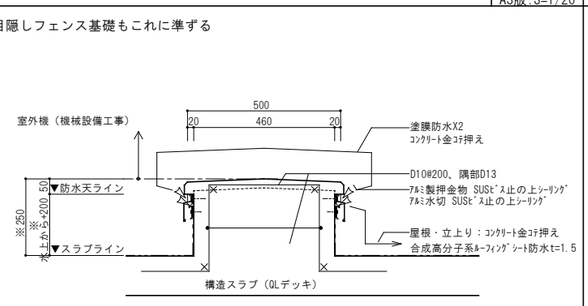
No	部品名	材質	仕上	数量	備考
1	本体	SECC	ポーラルホワイト	1	t=1.6
2	扉	SECC	ポーラルホワイト	1	t=2.3
3	スライドヒンジ			2	
4	戸当り			1	
5	マグネットキャッチ		ホワイト	1	
6	マグネットキャッチ受け	SUM23	ユニクロ	1	φ14x10t
8	消火器ケース固定ネジ	SUSXM7	ネジ頭本体同色塗装	2	呼び5x20 十字穴付なべタッピンネジ

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	部分詳細図 3	A1：S=1/3,5,10 A3：S=1/6,10,20	2025/03	A-68	武村	竹波	竹波	竹波	

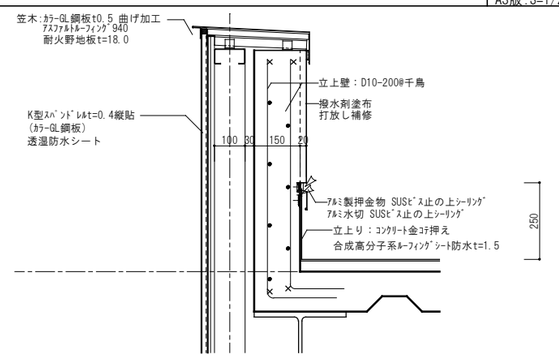
R階　屋上点検口　S=1/10　A3版：S=1/20



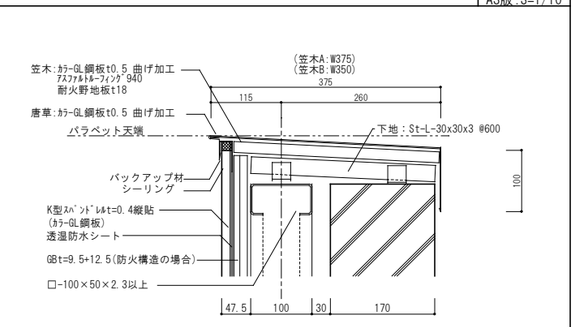
R階　室外機基礎　S=1/10　A3版：S=1/20



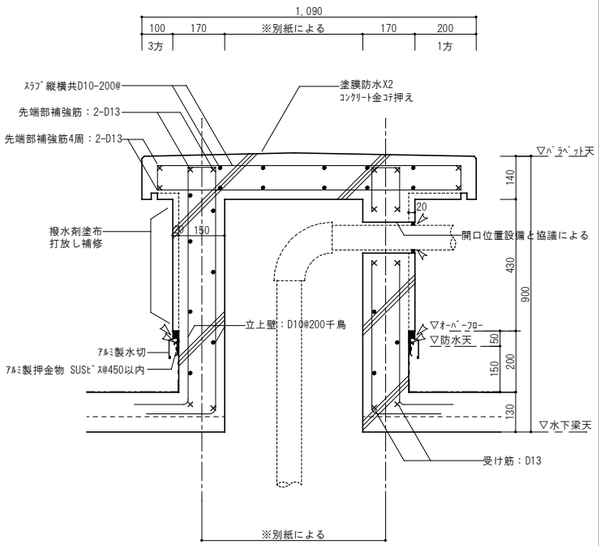
R階　ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ　S=1/10　A3版：S=1/20



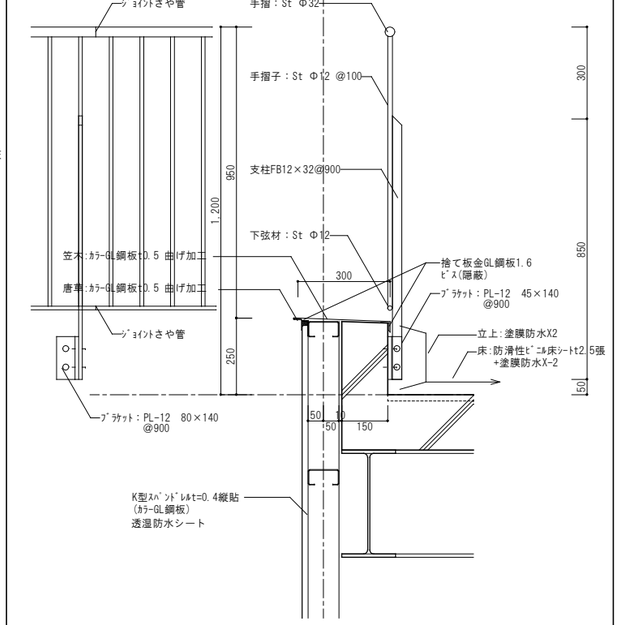
R階　笠木　S=1/5　A3版：S=1/10



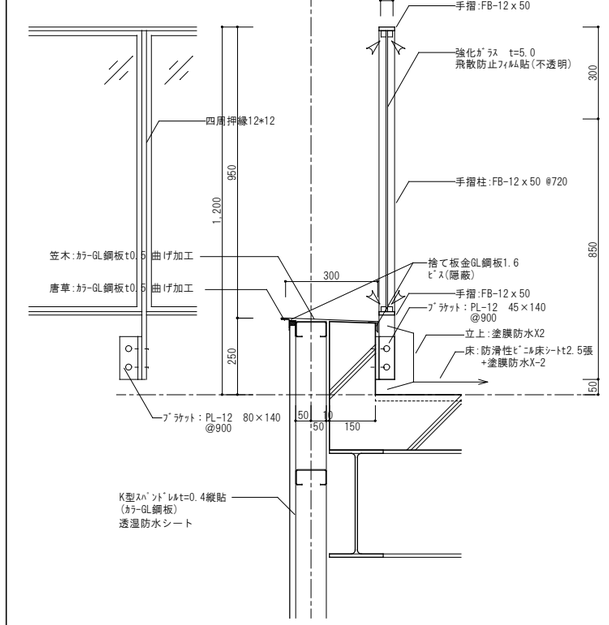
設備モニター詳細　S=1/10　A3版：S=1/20



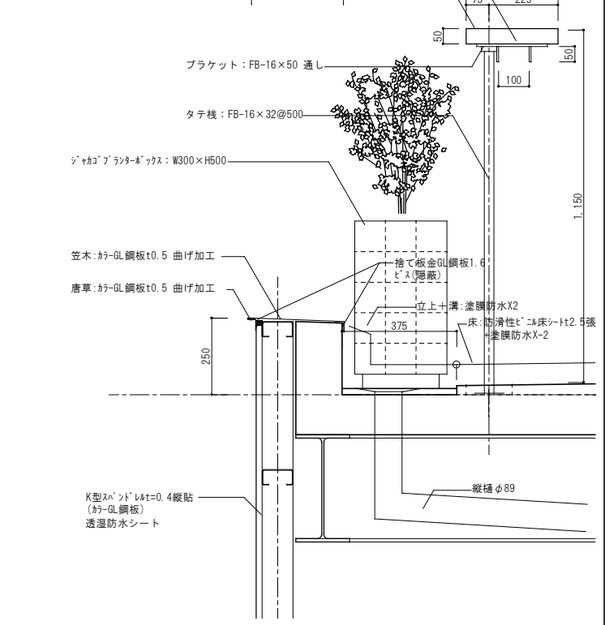
手摺1　縦格子　S=1/10　A3版：S=1/20



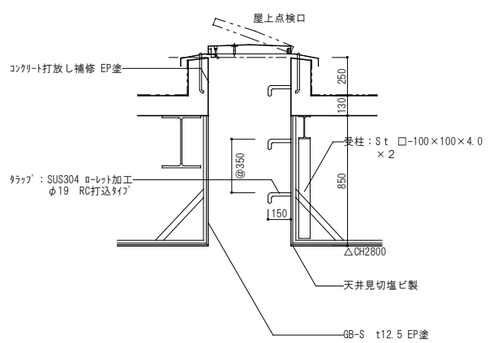
手摺2　不透明ｶﾞﾗｽ　S=1/10　A3版：S=1/20



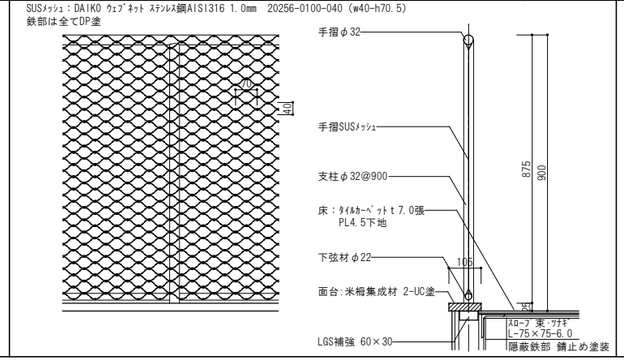
手摺3　人工木ﾃﾞｯｷ　S=1/10　A3版：S=1/20



R階　屋上点検口　タラップ　S=1/20　A3版：S=1/40



手摺4　コワーキングスペース　階段・スロープ　S=1/10　A3版：S=1/20

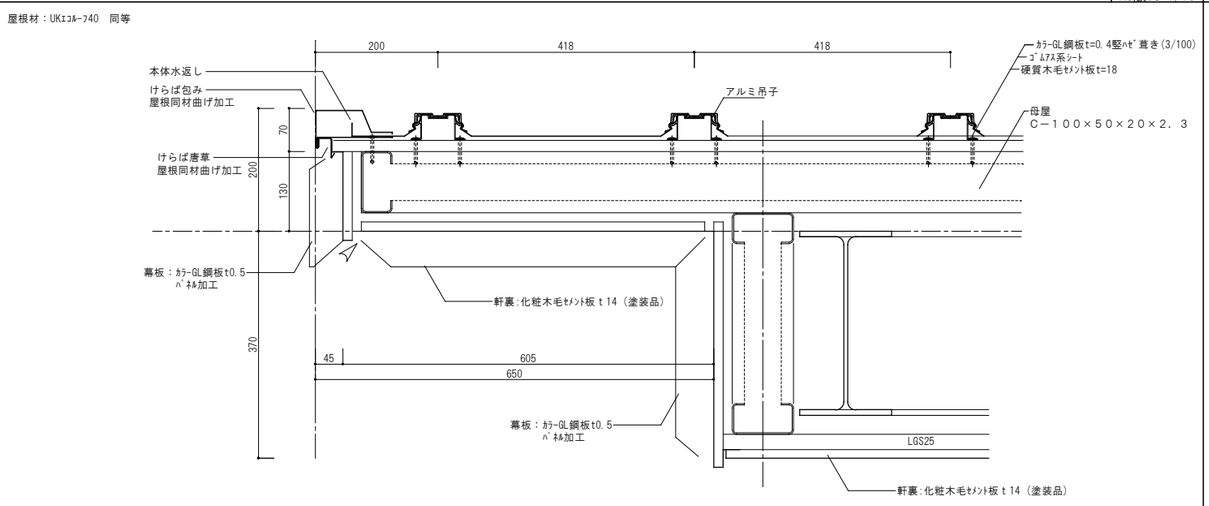


株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	部分詳細図 4	A1： S=1/5,10 A3： S=1/10,20	2025/03	A-69	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

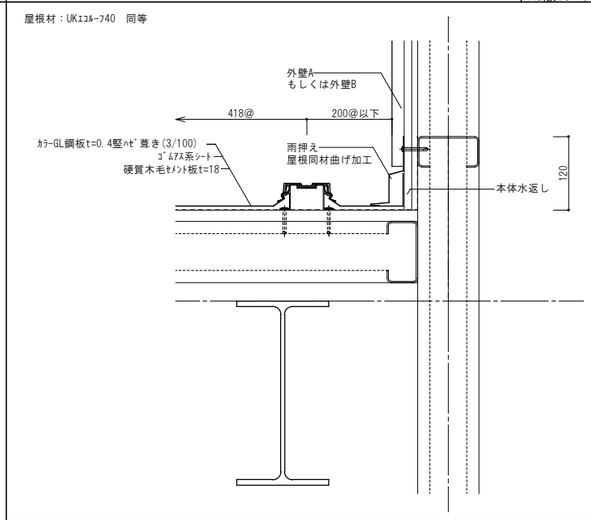
屋根　ケラバ部詳細図

S=1/5
A3版:S=1/10



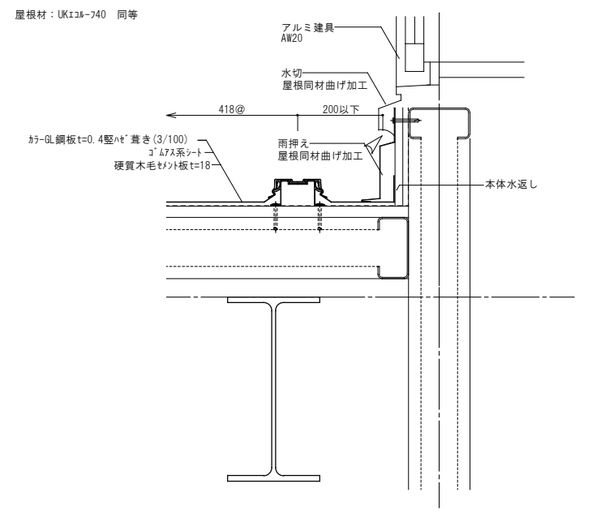
屋根　壁取合詳細図　ー流れー

S=1/5
A3版:S=1/10



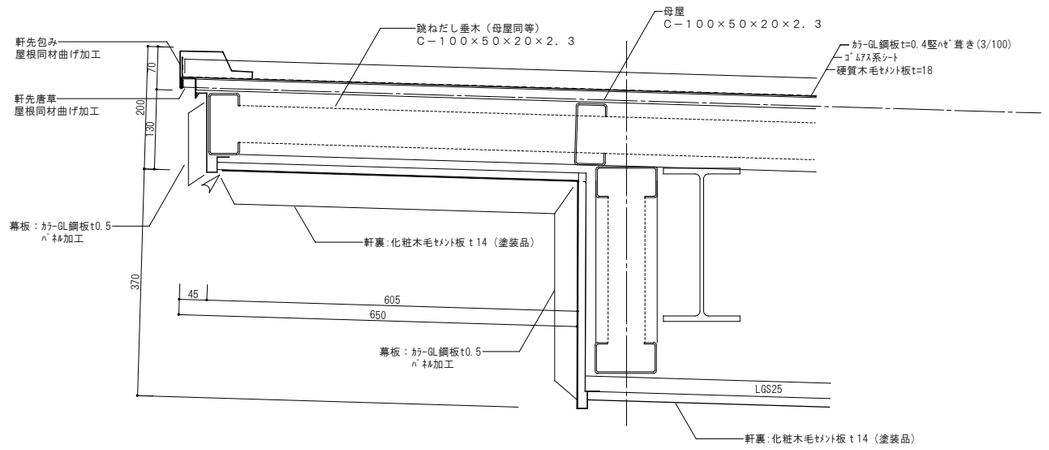
屋根　壁取合詳細図　ー流れー　アルミ建具　AW20取合

S=1/5
A3版:S=1/10



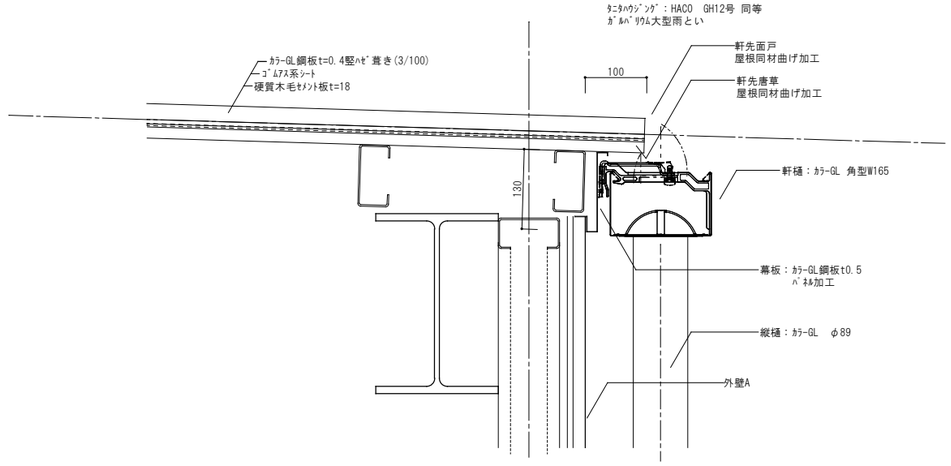
屋根　軒先（水上）詳細図

S=1/5
A3版:S=1/10



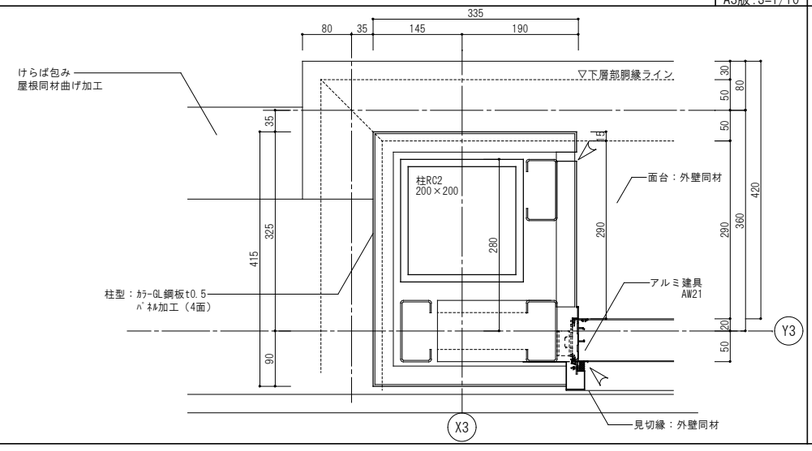
屋根　軒先（水下）詳細図

S=1/5
A3版:S=1/10



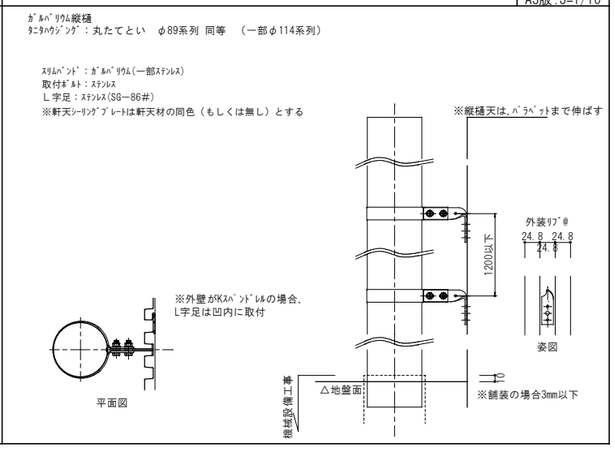
RF階　柱型詳細図

S=1/5
A3版:S=1/10



縦樋

S=1/5
A3版:S=1/10



株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	部分詳細図5	A1：S=1/5 A3：S=1/10	2025/03	A-70	武村	竹波	竹波	竹波	

器具リスト

ガス仕様　L．P．G．

部屋名	No.	品名	寸法 間口	奥行	高さ	備考	数	給水	給湯	排水	ガス接続	ガス量 KW	電気 単相100V	単相200V	三相200V	フード
フードファクトリー1	A-1	食器戸棚	(930)	600	1800		1									
	2	炊飯台	600	600	800	炊飯台車付	1									
	3	ガス炊飯器	492	423	411	RR-300CF	1				ホース 9．5φ×1	5.54				
	4	水切付二槽シンク	1500	600	800		1	15A×2	15A×2	50A×2						
	5	上置棚	1200	300	800		2									
	6	台下戸棚	1200	600	800	両面式	2									
	7	涼厨フライヤー	330	600	800	M3F-C13K	1				15A×1	6.40				要・GF
	8	脇台	300	600	800		1									
	9	ガステーブル	900	600	800	RGT-0963D	1				20A×1	29.70				要・GF
	10	置台	(1100)	600	800	ホテルパンレール付	1									
	11	スチームコンベクションオーブン	655	621	567	iCombi Pro 10-2/2 E	1	GV 20A×1		耐熱 50A×1					5.3KW	要・GF
	12	冷凍冷蔵庫	1200	650	1910	HRF-120BT	1			40A×1			594W			
フードファクトリー2 収納庫	B-1	涼厨フライヤー	330	600	800	M3F-C13K	1				15A×1	6.40				要・GF
	2	脇台	300	600	800		1									
	3	ガステーブル	900	600	800	RGT-0963D	1				20A×1	29.70				要・GF
	4	作業台	(1150)	600	800		1									
	5	ビックオーブン	600	455	520	MCO-6TF	1				ホース 9．5φ×1	6.40	69W			要・GF
	6	台下戸棚	1200	600	800	片面式	1									
	7	吊戸棚	1200	300	600		1									
	8	水切付二槽シンク	1800	600	800		1	15A×2	15A×2	50A×2						
	9	台下冷凍冷蔵庫	1500	600	800	RFT-150SNJ	1			40A×1			337W			
	10	キッチンエイドミキサー	286	370	420	KSM5.5	1						325W			
	11	ホテルパンラックカート	345	400	1500		2									
カフェ	C-1	製氷機	630	600	800	IM-55M-NA(改) 天板並ばし	1	GV 15A×1		40A×1			295W			
	2	一槽シンク	500	600	800	蓋付	1	15A×1	15A×1	50A×1						
	3	台下冷凍冷蔵庫	1200	600	800	RFT-120SNJ	1			40A×1			333W			
	4	置台	(550)	600	800		1									
	5	IHコンロ	550	350	60	IHK-MT41	1						1400W			
	6	二槽シンク	1200	600	800		1	15A×2	15A×2	50A×2						
ワークスペース2	D-1	教師用調理実習台	2200	1000	850	IHコンロ：KZ-L32AST ｼﾝｸ蓋付 側面ﾀﾞｲﾉｯｸｼｰﾄ張	1	15A×1	15A×1	50A×1				5.8KW		
	2	生徒用調理実習台	1200	1000	850	IHコンロ：IHK-MT41 ｼﾝｸ蓋付 側面ﾀﾞｲﾉｯｸｼｰﾄ張	2	15A×2	15A×2	50A×2			1400W×2			
	3	家庭用冷蔵庫	600	665	1810	施主様手配品	1						150W			
	4	置台	※1200	※600	※800	施主様手配品	1	家具選定にあたっては、多段式等、分電盤・通路幅員を考慮したものとする								
	5	オーブンレンジ	490	430	420	AX-L3X3B 施主様手配品	3						1460W×3			

設備容量合計	KW 84.14	W 10,672	KW 5.8	KW 5.3

《特記》

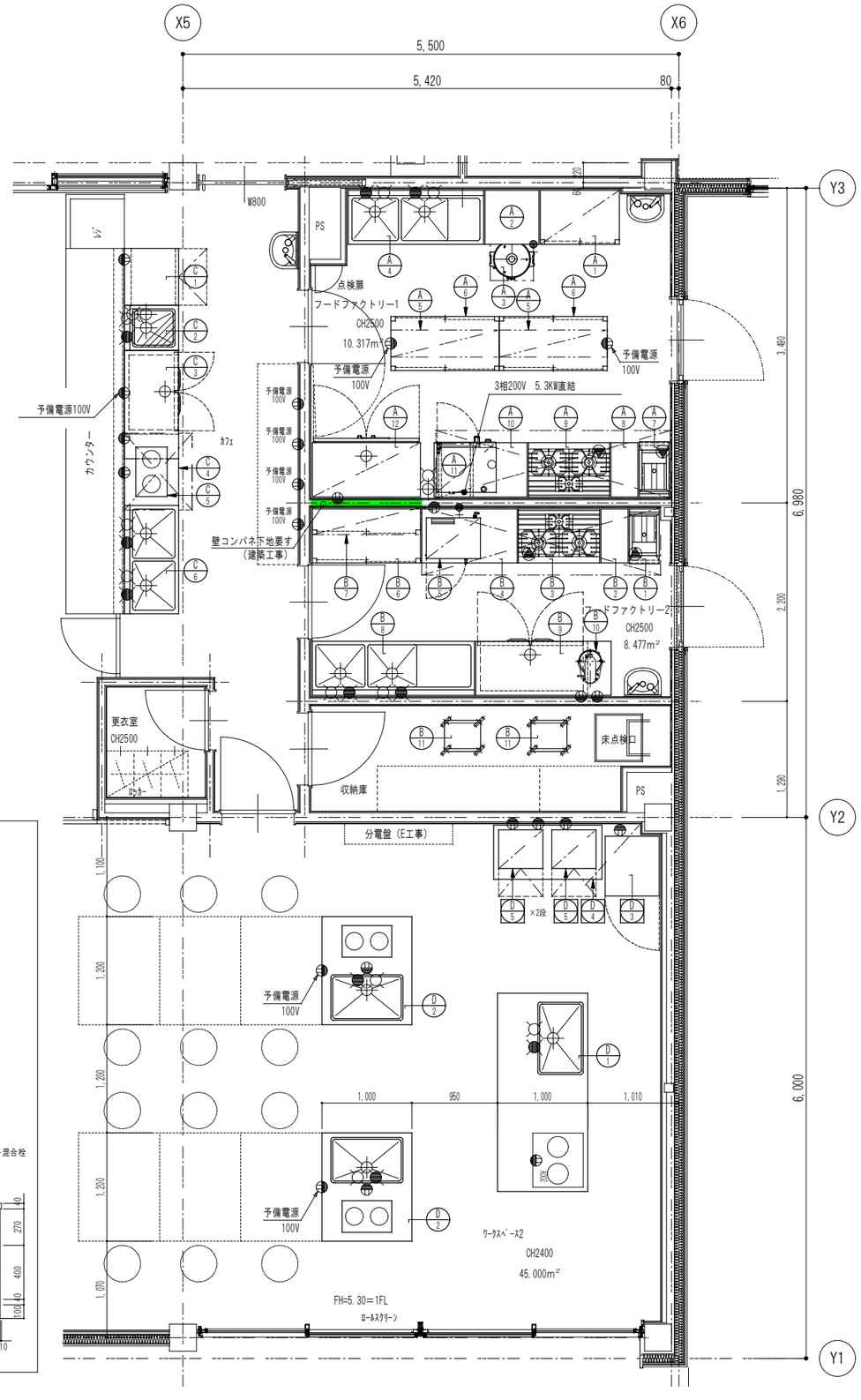
◇給排水・給湯・ガス電気その他の一次側・二次側接続工事は全て別途と致します。

◇給湯はボイラーまたは屋外給湯器よりとし、別途と致します。
洗浄機専用に12号以上、給湯温度65℃以上必要です。

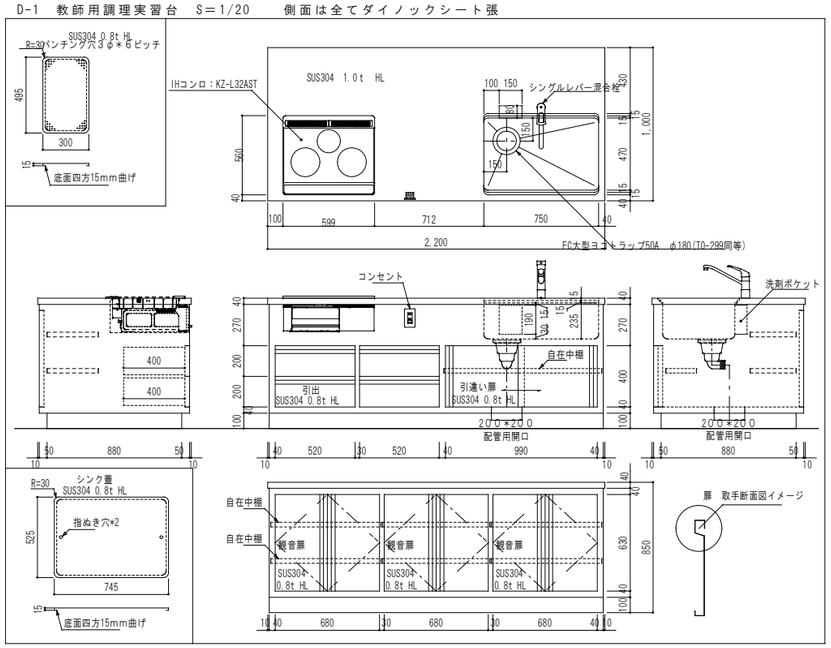
◇手洗器等は別途と致します。

◇排水ピット・グレーチング・グリーストラップ等は別途と致します。

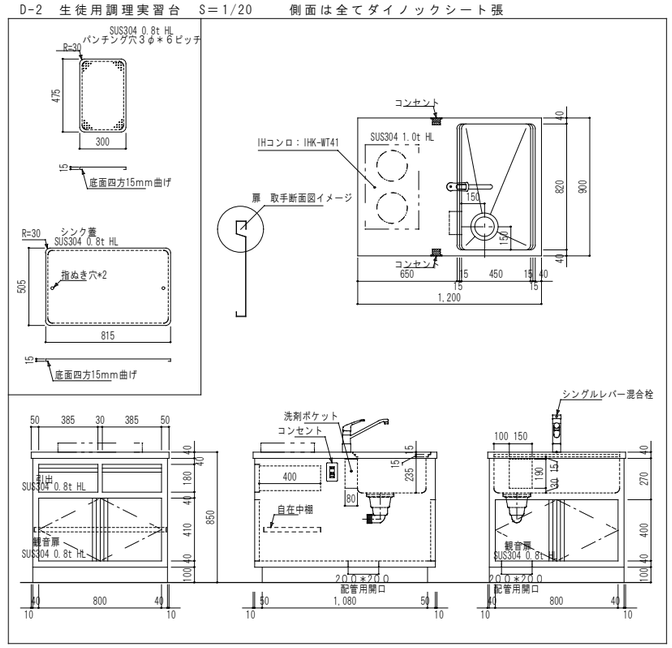
◇フード・換気扇・ダクト等は別途と致します。



D-1　教師用調理実習台　S＝1/20　　側面は全てダイノックシート張

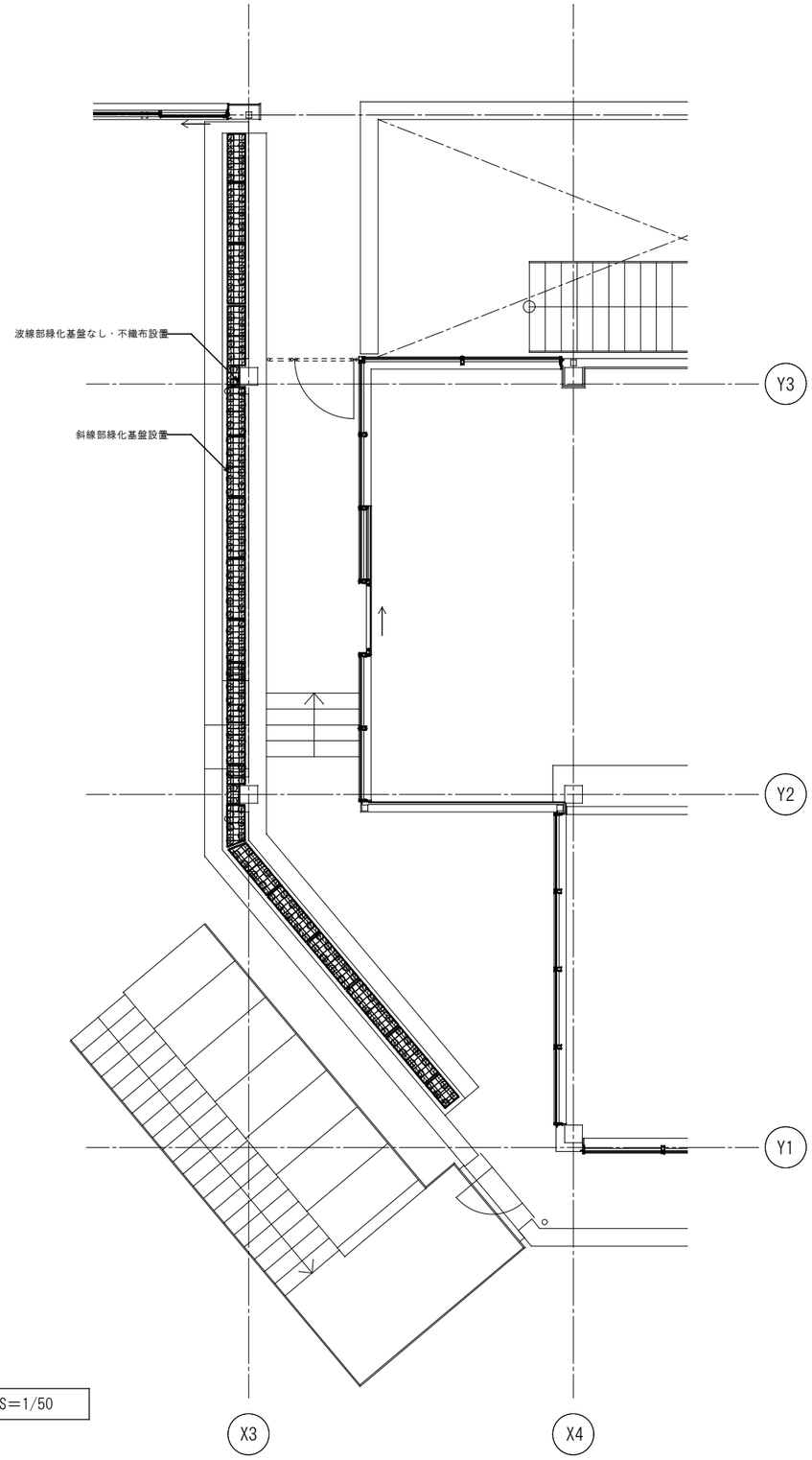


D-2　生徒用調理実習台　S＝1/20　　側面は全てダイノックシート張

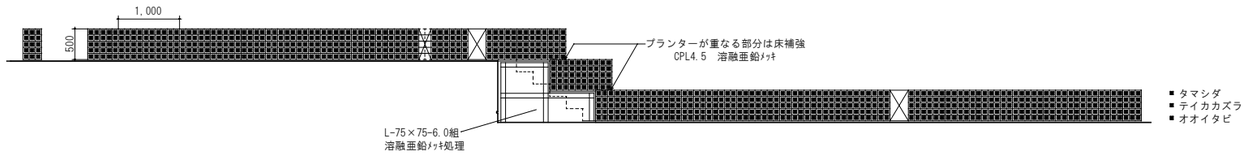


株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	厨房設備図	A1：S=1/20,30 A3：S=1/40,60	2025/03	A-71	武村	竹波	竹波	竹波

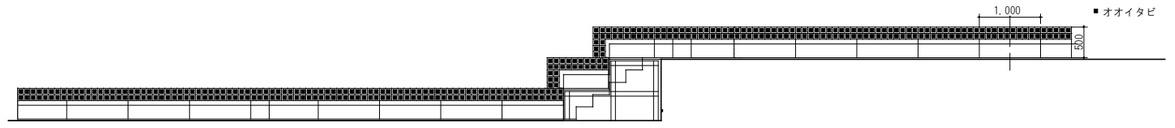
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号



２階平面図　S＝1/50



建物内側立面図　S=1/50



建物外側立面図　S=1/50

植栽リスト

種別	記号	工種	樹高（H）	幹周（C）	葉張（W）	ｺﾝﾃﾅ径（cm）	単位	数量	備考
地被類	a	キキョウ					株	13.0	
	b	シュウカイドウ					〃	14.0	
	c	シュウメイギク					〃	11.0	
	d	ツワブキ			3枚葉	10.5	〃	19.0	
	e	フイリノシラン					〃	22.0	
	f	フッキソウ			3芽立	9.0	〃	19.0	
	g	ホタルブクロ					〃	14.0	
	h	ミズヒキ					〃	18.0	
	i	ユキノシタ				9.0	〃	20.0	
側面	■	オオイタビ					〃	715.0	セル苗
	■	タマシダ					〃	68.0	セル苗
	■	テイカカズラ					〃	443.0	セル苗
マルチング		繊維状					m2	3.5	t=30

潅水ホース　L40m
電池式タイマー　　植栽工事

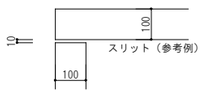
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	２階テラス植栽詳細図	A1：S=1/50 A3：S=1/100	2025/03	A-72	武村	竹波	竹波	竹波	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

凡　例

記　号		名　称
	Ⓐ	砕石敷き
	Ⓑ	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装　50-150
	Ⓒ	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装　150-150
	Ⓓ	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装(路盤下地)
	Ⓔ	ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装(ｺﾝｸﾘｰﾄｽﾗﾌﾞ下地)
		(株)ﾆｭｰｿﾝ ｾｰﾌﾃｨﾍﾞｲﾌﾞ 透水80　200*200 同等
	Ⓕ	緑地帯

区画線工事

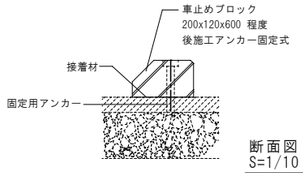
区画線工事はW100を基本とする
仕様は、特記仕様書による
舗装の排水性を高めるため、ゼブラ等適宜スリットを設けること
車いす表示・自転車表示は、JIS規格を使用すること



平面図
S=1/10

駐車場　車止め

プレキャストコンクリート製（既製品）とする
数量は、１区画につき、２か所とする
（車いす駐車場に限り、３か所とする）



断面図
S=1/10

外構躯体工事について　　捨てコンクリートは除く

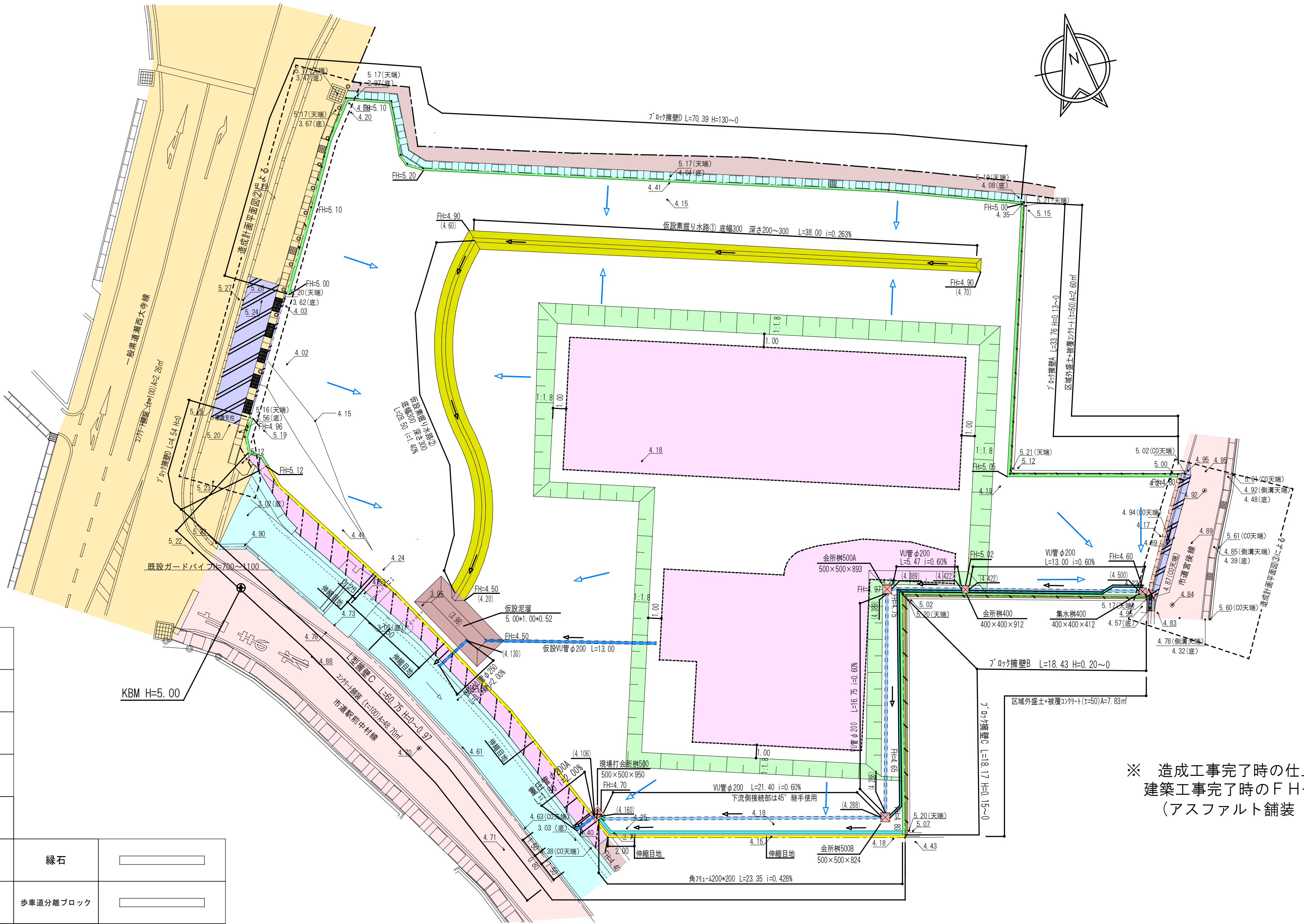
本工事　外構に伴う躯体の仕様は、特記なき限り以下の通りとする
コンクリート　Fc=24 N/mm² S=15 (JIS A 5308)
鉄　筋　　D16以下 (SD295)、D19～D25(SD345) (JIS G 3112)
型　枠　　見え係り部は化粧型枠とし、撥水材塗布のこと
天　端　　見え係り部は、金こて押えとし、水勾配に配慮すること
その他、特記仕様書、構造特記仕様書による

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	外　構　配　置　図　1	A1：S=1/200 A3：S=1/400	2025/03	G-02	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

凡　例

色　別	名　称
	開発区域
	県　道
	市　道
	農　道
	水　路
4.19	現地盤高
FH=5.05	計画高
(4.755)	水路底計画高
	現場打Ｌ型擁壁
	ブロック擁壁
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装
	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装
	隣地盛土+被覆ｺﾝｸﾘｰﾄ
	盛土法面
	仮設素掘り水路
	仮設泥溜
	角フリューム
	集水桝
	塩ビ管
	重圧管
	上ふた式Ｕ字側溝
	巻立ｺﾝｸﾘｰﾄ
	流水方向

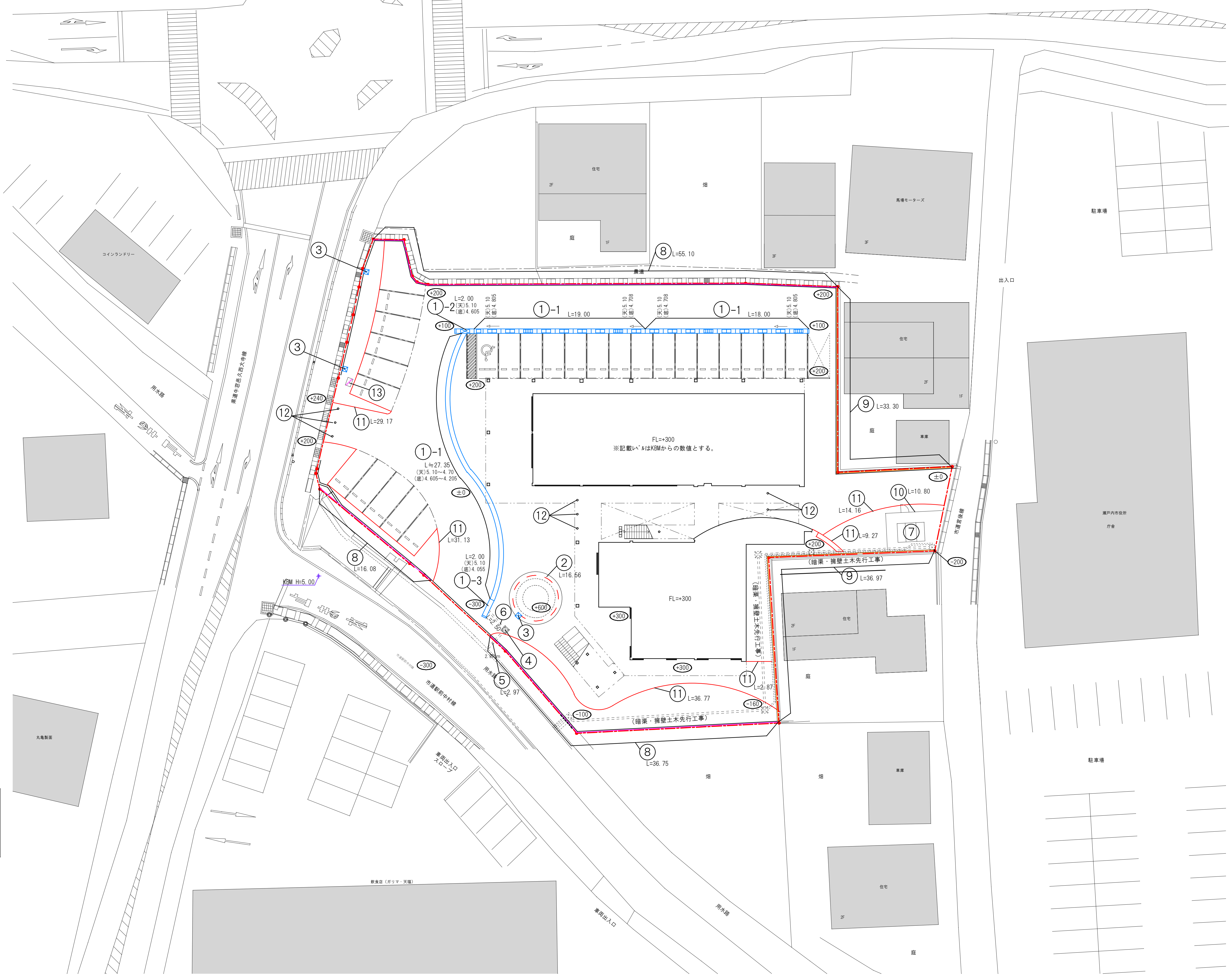


※　造成工事完了時の仕上がり地盤高は、建築工事完了時のＦＨ−０．２０とする。（アスファルト舗装　砕石下迄）

凡　例

開発区域					
市道		汚水			
農道		L型擁壁A			
水路		L型擁壁B			
床版		L型擁壁C			
建物		集水桝			
可変側溝		流水方向		縁石	
可変集水桝		アスファルト舗装		歩車道分離ブロック	
コンクリート側溝		コンクリート舗装		キングライト	
可変側溝（横断用）		ベンチマーク	(TBM=5.00)	ポストコーン	

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	現況図（造成完了時）	A1：S=1/200 A3：S=1/400	2025/03	G-01	武村	竹波	竹波	竹波	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号



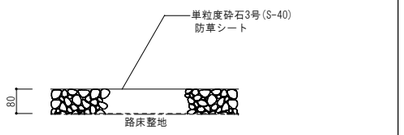
側 溝 ・ 工 作 物　凡 例	
①-1、2、3	側溝　自由勾配タイプ
②	芝側溝＋透水管
③	集水桝(ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ)
④	集水桝(現場打ち)
⑤	重圧管
⑥	VP管
⑦	ｷｭｰﾋﾞｸﾙ基礎
⑧	【既設】ﾌﾞﾛｯｸ擁壁の上ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽH=1200
⑨	【既設】ﾌﾞﾛｯｸ擁壁の上目隠しﾌｪﾝｽH=1400
⑩	ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽH=1800
⑪	緑地等見切材(SUSｴｯｼﾞ材)
⑫	ﾎﾟｰﾙ(上下ﾀｲﾌﾟ)　ﾁｪｰﾝ有
⑬	急速充電器基礎

外構躯体工事について　捨てコンクリートは除く

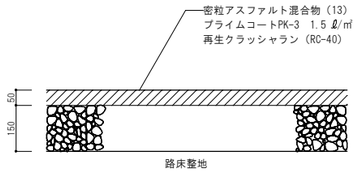
本工事　外構に伴う躯体の仕様は、特記なき限り以下の通りとする
コンクリート　Fc=24 N/mm²　S＝15　(JIS　A　5308)
鉄　筋　　D16以下 (SD295)、D19～D25(SD345)　(JIS　G　3112)
型　枠　　見え係り部は化粧型枠とし、撥水材塗布のこと
天　端　　見え係り部は、金こて押えとし、水勾配に配慮すること
その他、特記仕様書、構造特記仕様書による

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	外 構 配 置 図 2	A1：S=1/200 A3：S=1/400	2025/03	G-03	武村	竹波	竹波	竹波	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

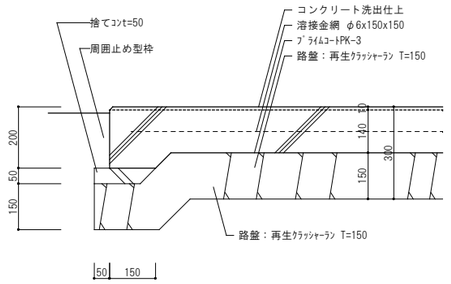
Ⓐ 砕石敷き　S=1/10



Ⓑ ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装　S=1/10

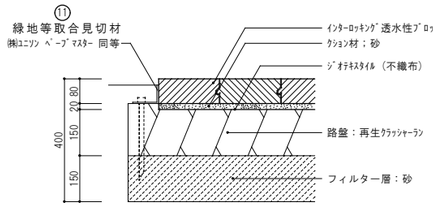


Ⓒ ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装　S=1/10



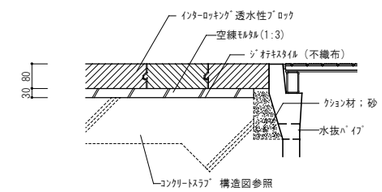
Ⓓ ⑪ ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装(路盤下地)　S=1/10

㈱ﾕﾆｿﾝ ｾｰﾌﾃｨﾍﾟｲﾌﾞ透水80　200*200 同等

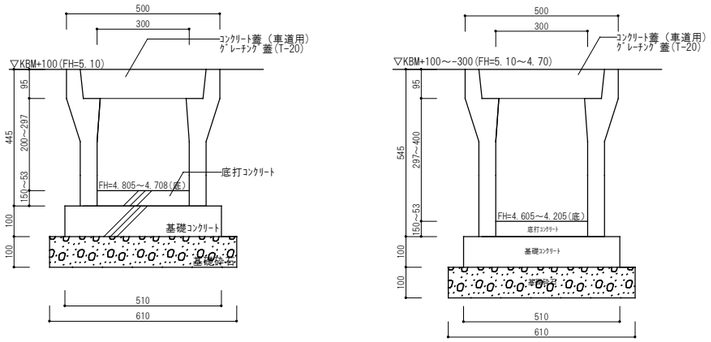


Ⓔ ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ舗装(ｺﾝｸﾘｰﾄ下地)　S=1/10

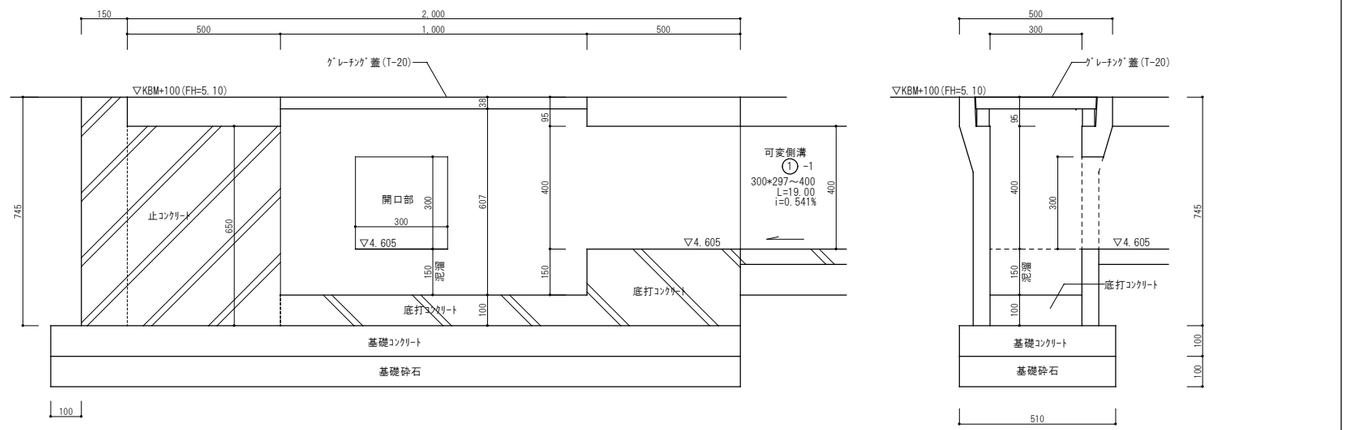
㈱ﾕﾆｿﾝ ｾｰﾌﾃｨﾍﾟｲﾌﾞ透水80　200*200 同等



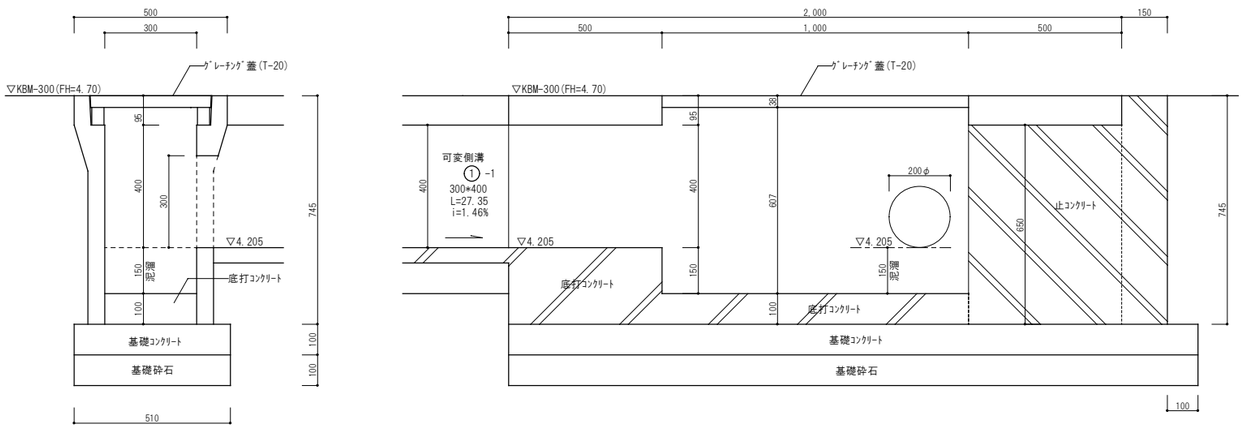
① -1　側溝　自由勾配タイプ　S=1/10



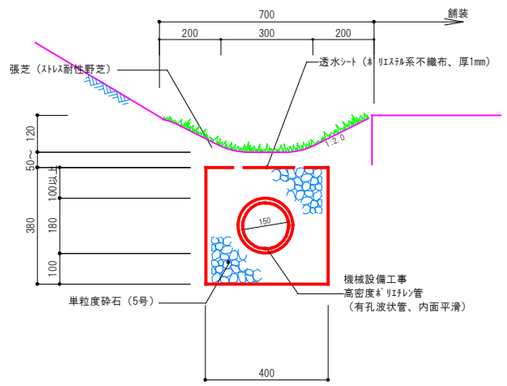
① -2　側溝　自由勾配タイプ　S=1/10



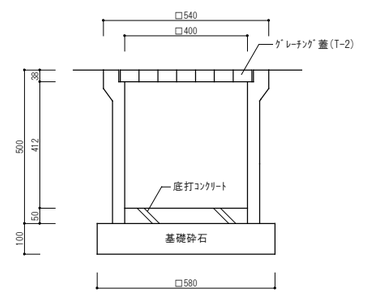
① -3　側溝　自由勾配タイプ　S=1/10



② 芝側溝＋透水管　S=1/10



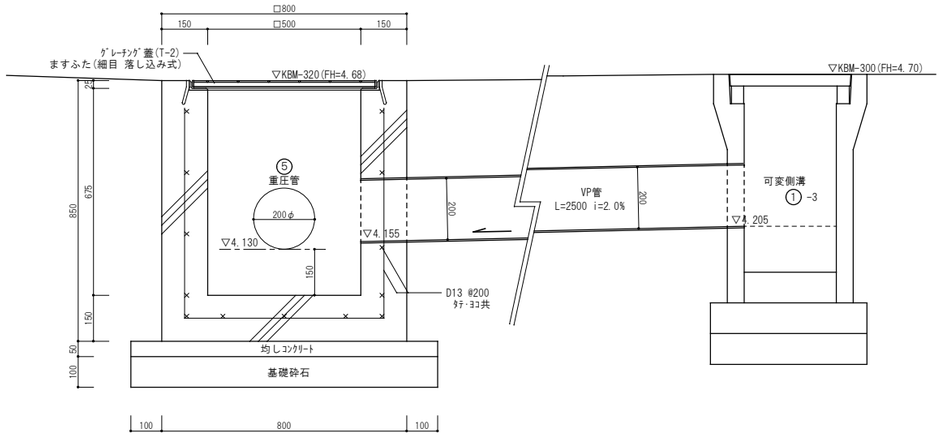
③ 雨水桝(ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ)　S=1/10



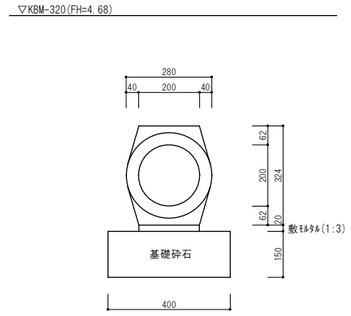
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	外構詳細図 1	A1：S=1/10 A3：S=1/20	2025/03	G-04	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村 耕輔　一級建築士事務所登録 第12621号

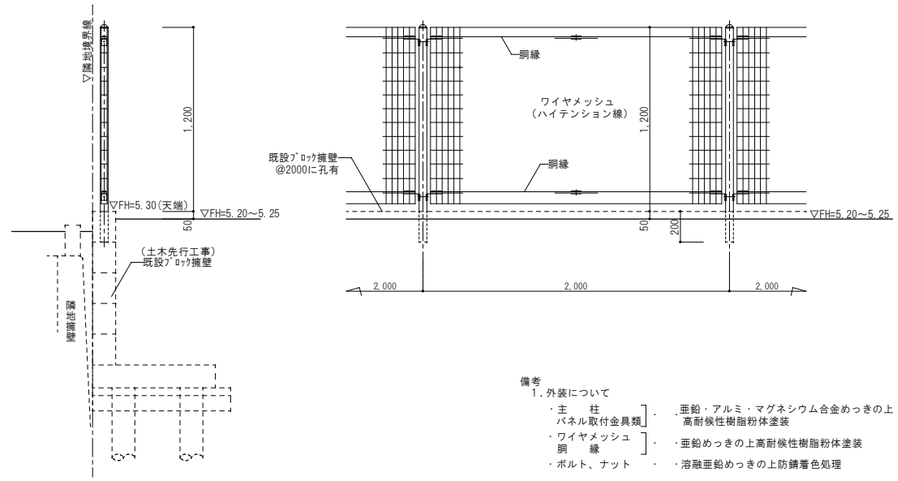
④ ⑥ 雨水枡(現場打ち)＋VP管　S=1/10



⑤ 重圧管　S=1/10

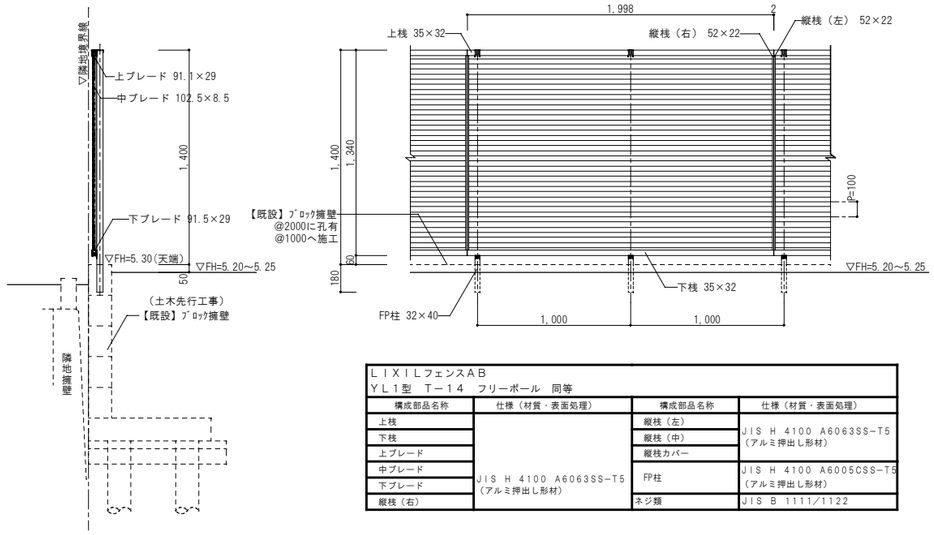


⑧ 【既設】ﾌﾞﾛｯｸ擁壁の上ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽH=1200　S=1/20



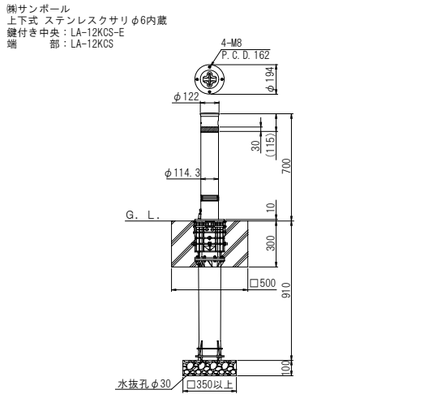
備考
1.外装について
- ・主　柱 ／ パネル取付金具類 ：亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- ・ワイヤメッシュ ／ 胴　縁 ：亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- ・ボルト、ナット ：溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

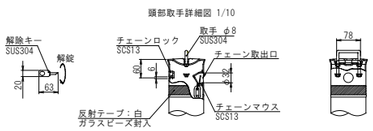
⑨ 【既設】ﾌﾞﾛｯｸ擁壁の上目隠しﾌｪﾝｽH=1400　S=1/20

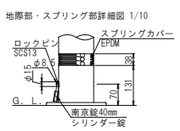


LIXILフェンスAB YL1型 T-14 フリーポール 同等			
構成部品名称	仕様（材質・表面処理）	構成部品名称	仕様（材質・表面処理）
上桟	JIS H 4100 A6063SS-T5 （アルミ押出し形材）	縦桟（左）	JIS H 4100 A6063SS-T5 （アルミ押出し形材）
下桟		縦桟（中）	
上ブレード		縦桟カバー	
中ブレード		FP柱	JIS H 4100 A6005CSS-T5 （アルミ押出し形材）
下ブレード			
縦桟（右）		ネジ類	JIS B 1111/1122

⑫ ｽﾃﾝﾚｽ製ﾎﾟｰﾙ(上下ﾀｲﾌﾟ) ﾁｪｰﾝ付き　S=1/20



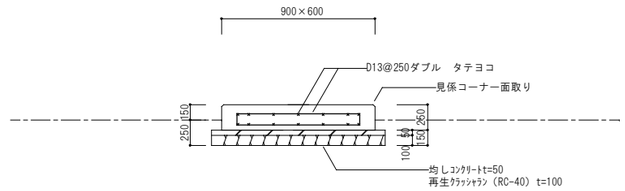




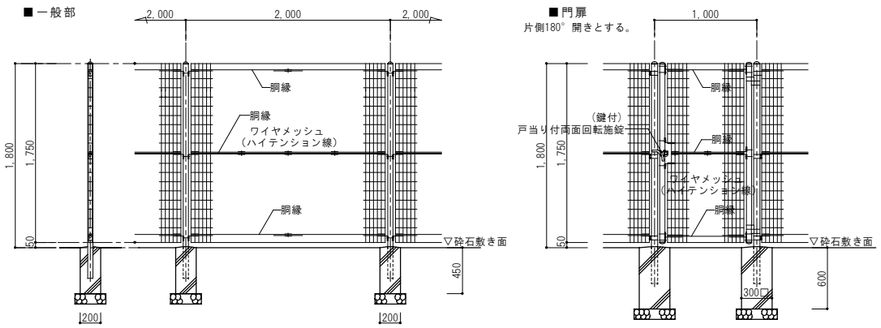


備考
1.外装について
- ・主　柱 ／ パネル取付金具類 ：亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- ・ワイヤメッシュ ／ 胴　縁 ：亜鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
- ・ボルト、ナット ：溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

⑬ 急速充電器基礎　S=1/30



⑩ ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽH=1800　S=1/30



株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	外構詳細図 2	A1：S=1/10,20,30 A3：S=1/20,40,60	2025/03	G-05	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村 耕輔　一級建築士事務所登録 第12621号

地盤改良概要

ｽｸｰｴｽｼﾞｰ工法（GBRC性能証明　第07-21号改2）

◯　改良径φ800　本数　4本

・改良径　φ800　改良長はL=10.80m（杭先端深度GL-11.00m）

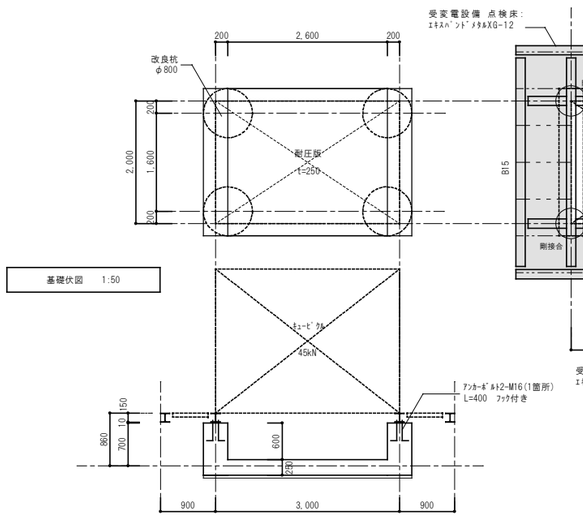
・改良杭天端はGL-200とする

・設計基準強度　Fc=1,200kN/m2　　長期許容地耐力　50kN/㎡

※但し，固化剤配合量は現地土によりサンプルを作り強度確認を行い決定する

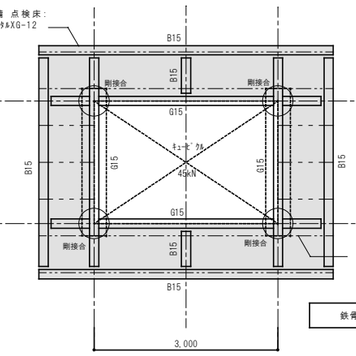
※改良体の強度確認方法は日本建築ｾﾝﾀｰ編「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」に準拠すること

コンクリート	JIS A 5308 による認定工場製品 骨材については JIS A 5005・5308 の規定による			
使用区分	種　別	設計基準強度	スランプ	備　考
基礎構造躯体 全般	普　通	Fc = 21 N／mm2	15 cm	
均しコンクリート	普　通	Fc = 18 N／mm2	18 cm	
鉄　筋				
使用径	種　類	規格番号	継手工法	備　考
D16 以下	SD295	JIS G3112	重ね継手	

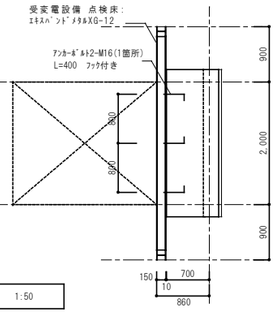


基礎伏図　1:50

軸組図　1:50

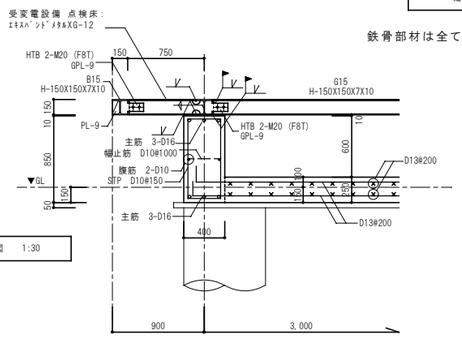


鉄骨架台伏図　1:50



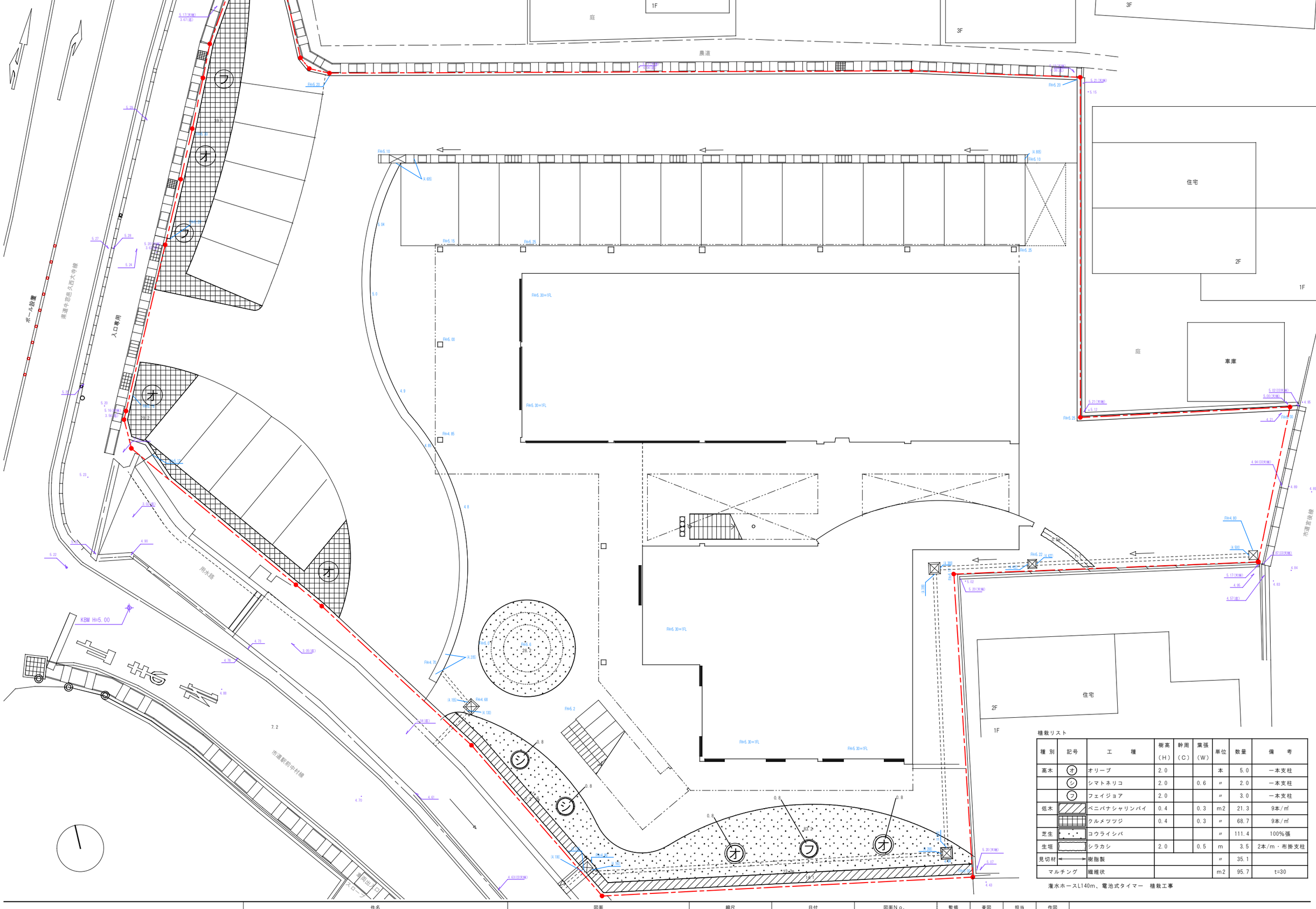
軸組図　1:50

鉄骨部材は全て溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げとする



架構・配筋図　1:30

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	外　構　詳　細　図　3	A1：S=1/30,50 A3：S=1/60,100	2025/03	G-06	武村	竹波	竹波	竹波	



植栽リスト

種別	記号	工種	樹高（H）	幹周（C）	葉張（W）	単位	数量	備考
高木	オ	オリーブ	2.0			本	5.0	一本支柱
	シ	シマトネリコ	2.0		0.6	〃	2.0	一本支柱
	フ	フェイジョア	2.0			〃	3.0	一本支柱
低木		ベニバナシャリンバイ	0.4		0.3	m2	21.3	9本/㎡
		クルメツツジ	0.4		0.3	〃	68.7	9本/㎡
芝生		コウライシバ				〃	111.4	100%張
生垣		シラカシ	2.0		0.5	m	3.5	2本/m・布掛支柱
見切材		樹脂製				〃	35.1	
マルチング		繊維状				m2	95.7	t=30

潅水ホースL140m、電池式タイマー　植栽工事

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	植栽配置図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	G-07	武村	竹波	竹波	竹波	

構 造 特 記 仕 様 書　　２０２２年度版

§1 一般事項

選択項目は ⊙ 印を適用し、○印が無い場合は ※ 印を適用する。
○ 印が複数有る場合は、共に適用する。

1-1　使用材料は原則としてJIS規格品、JAS規格品、又は大臣認定品とする。

1-2　設計図書の優先順位は下記による。
1)本特記仕様書
2)設計図
3)標準図　⊙ 鉄筋コンクリート構造配筋標準図　⊙ 鉄骨工作標準図
• 鉄筋鉄骨コンクリート構造標準図　• 高強度せん断補強筋施工仕様書
• 鉄筋コンクリート壁式標準配筋図
4)仕様書（ ⊙公共建築協会　※日本建築家協会 ）
5)日本建築学会標準仕様書 ， JASS5 ， JASS6（最新版とする）

1-3　各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承諾を得る。

1-4　構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。
第三者機関による検査・試験費用は工事費に（ ※含む　• 含まない ）

1-5　設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承諾を得る。

1-6　梁貫通位置、径、及び箇所数は（ • 意匠図　• 構造図　※設備図)による。

1-7　1)屋根葺き材・外装材・屋外帳壁の構造体への取付き及び風圧に対する構造強度等の技術的基準は令39条・令82条の4(平12建告第1458号)に適合すること。

§2 構造計算ルート

2-1

方　向	構造計算ルート
X	• ルート1　• ルート2　⊙ルート3　•
Y	• ルート1　• ルート2　⊙ルート3　•

2-2　鉄筋の継手(定着については設計図若しくは標準図による)
構造計算ルート別による主筋又は、耐力壁の鉄筋の継手の重ね長さ
※　建築基準法施行令第73条第2項による仕様規定
• 日本建築学会 JASS5(2018),鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説
• 日本建築学会 RC規準2018
XY両方向共ルート3及び限界耐力計算の場合は、令第73条第2項の仕様規定によらずJASS5(2018),鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説及びRC規準2018とすることができる。

2-3　重要度係数（用途係数）
用途係数の区分と対象建築物　：　区分（Ⅱ）＝1.10　建築物＝集会所

§3 仮設工事,土工事

3-1　山留め、根切り

3-2　埋戻し土、盛土、残土処分（意匠図による）
~~埋戻し土　※ 根切り土の中の良土　• 搬入良土(埋戻し土は30cm毎に転圧締固めを行うこと)~~
~~盛土　※ 根切り土の中の良土　• 搬入良土(盛土は30cm毎に転圧締固めを行うこと)~~
~~残土処分　• 場内均均し　※ 場外搬出処分(※ 自由　• 指定場所)~~

§4 地業工事

4-1　基礎及びスラブ下地業　（単位mm）

場所		捨てコンクリート厚さ 注1)	A：砕石 B：割栗石	厚さ
基礎	独立,布	※ 50 • 60 • 100	※A • B	※ 60 • 100 • 150 •
基礎	ベタ	※ 50 • 60 • 100	※A • B	※ 60 • 100 • 150 •
基礎梁		※ 50 • 60 • 100	※A • B	※ 60 • 100 • 150 •
構造スラブ		※ 50 • 60 • 100	※A • B	※ 60 ⊙100 • 150 •
土間コンクリート	屋内	※ 50 • 60 • 100	※A • B	※ 60 • 100 • 150 •
土間コンクリート	屋外	• 50 • 60 • 100	※A • B	• 60 ※100 • 150 •

注1).アンカーボルト支持用フレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。
注2).端部aは100以上とする。

4-2　設計地耐力　長期　200kN/m²　短期　400kN/m²　終局　600kN/m²
地耐力載荷試験　• 行う（ 箇所,長期設計耐力の3倍を確認する）　※行わない

4-3　地盤改良
• 無筋コンクリート地業　• 締固め工法　• ソイルセメント杭
• セメント系固化材撹拌　• 圧密排水工法　⊙ｽﾘｰｴｽG工法(GBRC性能証明第07-21号改2)
[• 載荷試験　⊙ 一軸圧縮試験]　⊙ 行う（ 箇所）　※ 行わない
[⊙ 六価クロム溶出試験　] ⊙ 行う　※ 行わない

4-4　既製コンクリート杭、鋼管杭、その他特殊杭
1)杭種
• PHC杭　• A種　• B種　• C種　•
• ST杭　• A種　• B種　• C種　•
• SC杭　tmm　• 12mm　•　•　•
• PRC杭　• Ⅰ種　• Ⅱ種　• Ⅲ種　• Ⅳ種
• 節杭　• A種　• B種　• C種　•
• 鋼管杭　• 先端羽付鋼管杭　STK490
2)工法
• 打撃工法　• 油圧ハンマー　• ディーゼルハンマー
• 埋込み工法　• プレボーリング拡大根固め工法(認定工法)
杭周固定液　※ あり　• なし
•
3)杭径,設計耐力,本数表　•

杭径(符号)mm	長期kN	短期kN	終局kN	本数	備　考

4)杭の構成は設計図による。
5)杭頭補強
• かご筋　• スタッド溶接　• 杭外周溶接

4-6　杭打地業共通事項
1)[• 試験杭　• 試験掘]　• 行う（１本）　• 行わない
2)載荷試験　• 行う（ 箇所,長期設計耐力の3倍を確認する）　※ 行わない
3)SL塗布　• 行う　※ 行わない

§5 鉄筋工事

5-1　材種　(JIS G3112-2020)

種類	径		継手
⊙SD295	D 16 以下		※ 重ね継手　• スパイラル　• 工場溶接
⊙SD345	D 19 以上　D 25 以下		• 重ね継手　※ 溶接接手　• 機械継手
• SD390	D　以上		※ 溶接接手　• 機械継手（　級）
• SD490	D　以上		※ 溶接継手　• 機械継手（　級）
• 溶接金網			• 重ね継手
• 高強度せん断補強筋	• 1275級	P	•フック加工　• スパイラル　• 工場溶接
	• 785級	K	
	• 685級	U	

溶接継手　⊙ ガス圧接　• 突き合せ溶接（Ｄ１６以下は重ねアーク溶接でも可）
• 新ＮＴ工法等の評定取得工法

5-2　ガス圧接部の検査(第三者機関による)外観検査全数(引張り試験の場合、施工者自主検査でもよい)
⊙ 各工法、認定・評定条件による
⊙ 抜取り検査
• 引張り試験(JISZ3120)
1検査ロットにつき　※ 3本　• 原則 柱・梁の径毎に3本
⊙ 超音波探傷試験(JISZ3062)　• 熱間押抜き試験
1検査ロットにつき　⊙ 30箇所　•
○ 不合格となった圧接部は切り取って再圧接を行う。また残り全数に対して超音波探傷試験を行う。
1検査ロットは1組の作業班が1日に施工した圧接箇所の数量で200箇所以内

5-3　溶接、機械式継手の検査は各々の認定方法による他,日本継手協会仕様書(2017年)及び下記を参照する。
JIS Z 3063（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波探傷試験方法及び判定基準）
JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定試験方法及び判定基準）

5-4　梁貫通補強
補強筋は原則として工場製品(評定品)を使用する。

5-5　その他
基礎梁、基礎小梁の継手及び定着は原則として　⊙ ①一般　• ②地反力を受ける
• ③上載荷重が大きい場合　とする。
梁の余長ℓd の採用　大梁・小梁　※ D'（梁有効成）　⊙ 端部上下筋15d　中央上下筋20d
基礎梁　※ min(D',L₂)　⊙ 端部上下筋15d　中央上下筋20d
鉄筋の組立は適切な位置にスペーサーを使用し、組立後は形状保持のための養生を行う。
コンクリートを2回打する部材は、初回の打設後に鉄筋の清掃を行う。
コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備な箇所は修正を行う。

§6 コンクリート工事

6-1　レディーミクストコンクリート(JIS A5308-2019)
1)セメント　※ 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄJISR5210　• 高炉ｾﾒﾝﾄB種
• 低熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄJISR5210　•
2)粗骨材　• 砂利　※ 砕石　• 高炉ｽﾗｸﾞ骨材　•人工軽量骨材　•再生骨材
最大径(mm)　※ 20　• 25　• 40
3)設計基準強度　(N/mm²)　(使用区分は設計図の軸組図に示す)
⊙ 普通コンクリート（ﾌﾞﾅ床）（基礎・地中梁・床ｽﾗﾌﾞ）
• Fc18　⊙ Fc21　⊙ Fc24　• Fc27　• Fc30
• 軽量コンクリート（※ 1種　• 2種　気乾単位容積質量　※ 18.5 •　）
• LFc18　• LFc21　• LFc24　• LFc27　• LFc30　• LFc
4)土間コンクリート　⊙ Fc 24　• Fc　（ただし柱,壁等と同時に打込む場合は躯体の強度とする）
5)捨てコンクリート　⊙ Fc 18
6)防水押さえコンクリート　• Fc　• LFc　(気乾単位容積質量　※ 18.5 •　)
7)かさ上げコンクリート　• Fc　• LFc　(気乾単位容積質量　※ 18.5 •　)

6-2　混和材　※AE減水剤　• 高性能AE減水剤　• 躯体防水材　• 膨張材
注1).混和剤は所定の品質を確保するためにプラントの特性に応じたもの使用する。

6-3　※監理者と協議の上決定すること。

箇所	基礎,基礎梁	一般			備考
スランプ　cm	15	18			
水セメント比　%	60以下	60以下			
単位水量　kg/m³	185以下	185以下			
単位セメント量 kg/m³	270以上	270以上			

注2).スランプは特記なき限り施工者が決め監理者に報告する。

6-4　試験（躯体コンクリートの28日圧縮試験は公的機関において行う）
1)骨材　[⊙ 塩分含有量　⊙ アルカリシリカ反応性]　※ 行う　• 行わない
2)フレッシュコンクリート　[⊙ スランプ　⊙ 空気量]　※ 行う　• 行わない
3)躯体のせき板取り外し時期決定圧縮試験　※ 行う　• 行わない
4)コンクリートコア抜き取り圧縮試験　• 行う　※ 行わない
5)マスコンクリートのひび割れ照査(温度応力解析)　• 行う　※ 行わない
6)単位水量測定　• 行う　⊙ 行わない

6-5　調合（補正値は工事費に含む）
計画供用期間の級( )は耐久設計基準強度Fd
• 短期(18)　• 標準(24)　• 長期(30)　• 超長期(36)
調合管理強度　Fm=Max(Fc,Fd)+S　S=3～6
材齢28日の調合強度Fは下記の両式を満足するものとする。
F≧Fm+1.73σ　F≧0.85Fm+3σ

6-6　せき板及び支柱の存置期間（普通ポルトランドセメントの場合）

		基礎、梁側、柱、壁	スラブ下	梁　下
コンクリートの材齢による場合	15 ℃以上	3 日	17 日	28 日
	5 ℃以上	5 日	25 日	
	0 ℃以上	8 日	28 日	
圧縮試験による場合		5N/mm²	注)0.85Fcまたは12N/mm²	注）設計基準強度

注）かつ、施工中の荷重及び外力について、構造計算により安全が確認されるまで。

6-7　Fc36を超える場合は高強度コンクリートとし、仕様は別記特記仕様書(JASS5等)による

§7 鉄骨工事

7-1　材種及び使用箇所

規格名称	鋼材名	柱	通しダイア	内ダイア	大梁	ﾌﾞﾚｰｽ	小梁他
一般構造用圧延鋼材(JIS G3101)	⊙ SS400 •				○		○
溶接構造用圧延鋼材	• SM400A • SM490A						
建築構造用圧延鋼材(JIS G3136)	• SN400A •						
	• SN400B • SN490B						
	• SN400C ⊙ SN490C		○				
一般構造用角形鋼管(JIS G3466)	• STKR400 • STKR490						
冷間成形角形鋼管(MSTL-0142)	⊙ BCR295 •	○					
	• BCP235 • BCP325						
熱間成形角形鋼管	• SHC400B • SHC400C						
	• SHC490B • SHC490C						
一般構造用炭素鋼管(JIS G3444)	• STK400 • STK490						
	• STKN400 • STKN490						
一般構造用軽量形鋼(JIS G3350)	⊙ SSC400 •						○
建築構造用圧延棒鋼(JIS G3138)	⊙ SNR400					○	

7-2　高力ボルト

高力ボルトの種類		使用箇所
トルシア形高力ボルト(MBLT-0176)	※ S10T	全般
JIS形高力ボルト(JIS B1186)	⊙ F10T	トルシア形が使用できない部分
溶融亜鉛メッキ高力ボルト(MBLT-0115)	⊙ F8T	母材が亜鉛メッキされている部分
超高力ボルト	• S14T	屋内環境

7-3　普通ボルト,アンカーボルト
1)材質　⊙ SS400（JIS G3101）　• SS490（ M　以上）
⊙ 普通ﾎﾞﾙﾄ(JIS B1180) M12～M16 ⊙ 4.6(4T) •
⊙ ABR400（JIS B1220）• ABR490　• ABM400　• ABM490(ABMはM24以上)
2)大臣認定柱脚(メーカー仕様による)　⊙ 使用する　• 使用しない

7-4　頭付きスタッド

径	長さ(mm)	使用箇所
⊙16 φ	• 80 ⊙ 100 • 120 • 150 •	梁上
⊙19 φ	• 80 ⊙ 100 • 120 • 150 •	梁上
22 φ	• 100 • 120 • 150 •　•	

7-5　溶接材料
1)アーク溶接に使用する溶接棒,ワイヤ及びフラックスは母材の種類,寸法,及び溶接条件に相応したものを選定する。
2)ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相応したものとする。

7-6　スカラップ形状　※ ノンスカラップ工法　• スカラップ工法

7-7　継手

	柱		梁	
フランジ	• 高力ボルト	• 現場溶接	※ 高力ボルト	• 現場溶接
ウェブ	• 高力ボルト	• 現場溶接	※ 高力ボルト	• 現場溶接

7-8　溶接手法及び管理
1)　使用する溶接ワイヤー、入熱量及びパス間温度等の仕様については鉄建協又は全構協の仕様で、専任の溶接施工管理技術者により管理を行うこと。
2)　完全溶け込み溶接は建設業の有資格者が行うとする指定を　※ 行う　• 行わない
3)　本工事で代替タブを使用する場合は、代替タブ溶接技術者技量検定付加試験を　※ 行う　• 行わない
但し、代替タブの種類の資格検定有資格者は技量検定付加試験を免除する。

7-9　デッキプレート　（単位　mm ）
1)　床用　高さ　•　板厚　•
2)　合成スラブ用　高さ　• 50mm　板厚　• 1.2mm
3)　型枠用　高さ　•　板厚　• 0.8mm　形版　タイプ
4)　防錆処理　• プライマー　• 亜鉛メッキ　• Z12　• Z27

7-10　塗装(工場塗 ※ 2回　• 1回、現場タッチアップ程度とする)
1)　素地調整　※ ケレン　⊙ ブラスト
2)　下塗り用塗料

適用 屋外	適用 室内	塗料		種別		標準膜厚
※	※	鉛、クロムフリー錆び止め	JISK5674	※ 1種	※ 2種	30μm
	•	水系さび止めペイント	JASS18　M-111			30μm
•		変性エポキシ樹脂プライマー	JASS18　M-109	• 1種	• 2種	40μm
•		有機ジンクリッチプライマー	JISK5552		• 2種	15μm
•		構造物用さび止めペイント	JISK5551	A種		30μm

3)　溶融亜鉛メッキ　⊙ 行う　• 行わない
4)　常温亜鉛メッキ　⊙ 行う　• 行わない
5)　高耐食メッキ鋼板（t3.2mm以下）　• 用いる　⊙ 用いない

7-11　溶接部の検査(受入検査)　※ 行う　• 行わない
1)受入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者(元請)との直接契約による。
2)第三者検査機関は(社)日本溶接協会によるCI種検査事業者認定種別における超音波探傷検査部門の認定を取得した事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っていない事業者とする。
3)受入検査は目視による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。
4)外観検査の合否判定は国土交通省告示1464号による。ただし告示に定めのないものは日本建築学会「JASS6 鉄骨工事 2018 付則6. 鉄骨精度検査基準」の限界許容差による。
5)超音波探傷検査は日本建築学会「鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査規準・同解説」2018により、合否判定は7.2.1疲労を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。
6)溶接箇所数の数え方は「JASS6 鉄骨工事 2018」表10.1溶接箇所数の数え方による。
7)受入検査の抜取り方法及び抜取り率は以下による。
a)工場溶接の場合
ⅰ.検査ロットは各部、各工区毎に溶接箇所300箇所以内で構成する。
ⅱ.抜取り数は各ロット毎に30箇所をランダムにサンプリングする。
ⅲ.大きさ30個のサンプル中の不適合個数が1個以下のときはロットを合格とし、4個以上のときはロットを不合格とする。ただし、サンプル中の不適合数が1個を超え4個未満のときは、同じロットからさらに30個のサンプルを抜取検査する。総計60個のサンプルについての不適合個数の合計が4個以下のときはロットを合格とし、5個以上のときはロットを不合格とする。
b)現場溶接の場合
ⅰ.全数検査とする。
8)検査により不合格と判定された溶接部はすべて補修を行い、再検査して合格とならねばならない。
9)ずれ・食い違いの補修方法は、独立行政法人 建築研究所監修「突き合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による。

7-12　鉄骨製作工場　下記○印のグレード認定工場の内、納期・製作能力・鉄骨数量を勘案して工場選択のこと

国土交通省大臣認定(グレード)					
S	H	Ⓜ	R	J	

§8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・PCa板工事

8-1　コンクリートブロック
1)種類　• A 種　• B 種　• C 種
2)厚さ mm　• 100　• 120　• 150　• 190

8-2　ALC　パネル
1)使用箇所　• 床　• 屋根　• 外壁　• 内壁
2)厚さ mm　• 75 (80)　• 100　• 120(125)　• 150　• 175
3)外壁取り付け構法

方向	構法	使用箇所	備考
縦	• ロッキング構法		
横	• アンカー構法	外壁	

8-3　押出成形セメント板
外壁取付構法及び厚さ mm　•　•

方向	構法	使用箇所	備考
縦	• ロッキング構法		
横	• スライド構法		

8-4　PCa板
1)床及び屋根　• 床　• 屋根
• PCa板単独 厚さ mm　•　•
• 合成板

PCa板厚さ mm	現場打厚さ mm	合計厚さ mm	備考

2)外壁 厚さ mm　•　•

§9 建築設備の構造強度　　令第１２９条の２の３の事項

9-1　建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

⊙ 建築設備（昇降機を除く）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽の恐れがないものとする事

・ 屋上から突出する水槽・煙突・冷却塔その他これらに類するもの（以下「屋上水槽等」という）は、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に緊結する事

・ 煙突の往生突出部の高さは、れんが造・石造・コンクリートブロック造又は無斤コンクリート造の場合は、鉄製の支枠を設けたものを除き、９０cm以下とする事

・ 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを５cm以上とした鉄筋コンクリート造又は、厚さが２５cm以上の無筋コンクリート造・石造若しくはコンクリートブロック造とする事

⊙ 建築物に設ける給水・排水その他の配管設備（給湯設備*1を除く）は下記による事

・ 風圧・土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とする事

・ 建築物の部分を貫通して配管する場合に於いては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等、有効な管の損傷防止のための措置を講ずる事

・ 管の伸縮その他の変形により当該開に損傷が生じる恐れがある場合に於いて、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずる事

・ 管を支持し、又は固定する場合に於いては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の振動及び衝撃の緩和のための措置を講ずる事

・ 法第２０条第一号から三号までの建築物に設ける屋上水槽にあっては、平成１２年建設省告示第１３８９号により、風圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする事

⊙ 給湯設備*1は、風圧・土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とする事
満水時の質量が１５kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成１２年建設省告示第１３８８号第５に規定する構造方法による事

＊１「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの

構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	構造特記仕様書	NON	2025/03	S-01	武村	竹波	竹波	竹波

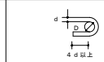
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村 耕輔　一級建築士事務所登録 第12621号

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

設計図書に記載なき場合は本標準図による。

§１　一般共通事項

１．１　鉄筋の折曲げ形状及び寸法

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径(D) SD295A SD295B SD345 D16以下	折曲げ内法直径(D) SD295A SD295B SD345 D19～D38	折曲げ内法直径(D) SD390 D19～D38	使用箇所
180°		3d以上	4d以上	5d以上	柱・梁の主筋及び杭基礎のベース筋並びにD16以上の鉄筋
135°					あばら筋、帯筋、スパイラル筋、D13以下の鉄筋
90°					T形及びL形の梁のあばら筋
135°及び90°					幅止め筋
90°以下		4d以上(5d以上)	6d以上(6d以上)	8d以上(8d以上)	その他の鉄筋

（注）１．Dは、曲げ内法直径
　　２．d は、呼び名に用いた数値
　　３．片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で９０° フック又は１３５° フックを用いる場合には、余長は４ｄ以上とする。
　　４．ＳＤ３９０は、（ ）内を適用する。

１．２　鉄筋の継手

（１）鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手又は特殊な鉄筋継手（「鉄筋の継手の構造方法を定める件」(平成12年5月31日　建設省告示第1463号)に適合する機械式継手）とし、適用は特記による。

（２）鉄筋の溶接は、アーク溶接とし、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)７．６．５[部材の組立]（ｄ）及び７．６．７[溶接施工]格者]に準じ、工事に相応した技量を有する者とする。

（３）重ね継手は、次による。

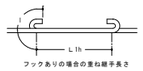
なお、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。

１）主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、突起による。特記がなければ、４０ｄ(軽量コンクリートの場合は５０ｄ)と下記表の重ね継手長さのうち大きい値とする。

２）１）以外の鉄筋の重ね継手の長さは、下記表による。

鉄筋の種別	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm2)	L1(フックなし)	L1h(フックあり)
SD295	１８	４５ｄ	３５ｄ
	２１	４０ｄ	３０ｄ
	２４、２７	３５ｄ	２５ｄ
	３０、３３、３６	３５ｄ	２５ｄ
SD345	１８	５０ｄ	３５ｄ
	２１	４５ｄ	３０ｄ
	２４、２７	４０ｄ	３０ｄ
	３０、３３、３６	３５ｄ	２５ｄ
SD390	２１	５０ｄ	３５ｄ
	２４、２７	４５ｄ	３５ｄ
	３０、３３、３６	４０ｄ	３０ｄ

（注）１．L1、L1h：重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
　　２．フックありの場合のL1hは、下図に示すようにフック部分１を含まない。
　　３．軽量コンクリートの場合は、表の値に５ｄを加えたものとする。

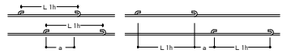
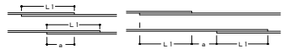
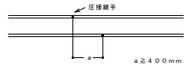
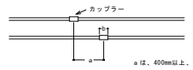


フックありの場合の重ね継手長さ

１．３　隣り合う継手の位置

（１）隣合う継手の位置は下記表による。但し、壁の場合及びスラブ筋でＤ１６以下の場合は除く。

なお、先組込み工法等で、柱、梁の主筋の継手を同一箇所に設ける場合は、特記による。

重ね継手	フックありの場合	 a＝0．５L1h　a≧0．５L1h
	フックなしの場合	 a＝0．５L1　a≧0．５L1
圧接継手	―	 a≧４００mm
機械式継手	―	 a は、400mm以上、かつ、(b+40)mm以上

１．４　鉄筋の定着

１．４．１　鉄筋の定着の長さ

（１）柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着の長さは、特記による。特記がなければ、４０ｄ(軽量コンクリートの場合は５０ｄ)と下記表の定着長さのうち大きい値とする。

（２）（１）以外の鉄筋の定着の長さは、下記表による。

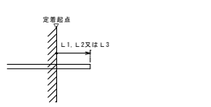
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm2)	フックなし L1	フックなし L2	フックなし L3 小梁	フックなし L3 スラブ	フックあり L1h	フックあり L2h	フックあり L3h 小梁	フックあり L3h スラブ
SD295	１８	４５ｄ	４０ｄ	20d	10dかつ150mm以上	３５ｄ	３０ｄ	10d	―
	２１	４０ｄ	３５ｄ			３０ｄ	２５ｄ		
	２４、２７	３５ｄ	３０ｄ			２５ｄ	２０ｄ		
	３０、３３、３６	３５ｄ	３０ｄ			２５ｄ	２０ｄ		
SD345	１８	５０ｄ	４０ｄ			３５ｄ	３０ｄ		
	２１	４５ｄ	３５ｄ			３０ｄ	２５ｄ		
	２４、２７	４０ｄ	３５ｄ			３０ｄ	２５ｄ		
	３０、３３、３６	３５ｄ	３０ｄ			２５ｄ	２０ｄ		
SD390	２１	５０ｄ	４０ｄ			３５ｄ	３０ｄ		
	２４、２７	４５ｄ	４０ｄ			３５ｄ	３０ｄ		
	３０、３３、３６	４０ｄ	３５ｄ			３０ｄ	２５ｄ		

（注）１．L1、L1h、L2、以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
　　２．L2、L2h：耐震補強のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
　　３．L3：小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
　　４．L3h：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ
　　５．フックあり定着の場合は、１．４．２に示すようにフック部分１を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
　　６．軽量コンクリートの場合は、表の値にｄを加えたものとする。

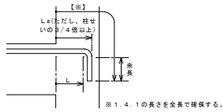
１．４．２　定着の方法

（１）定着の方法は下図による。

（２）仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さしが、１．４．１のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を１．４．１に示す直線定着の長さとし、かつ、余長を８ｄ、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを下記表に示す長さ(かつ、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの３/４倍以上)をのみ込ませる。

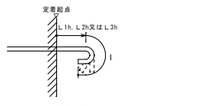


フックなし



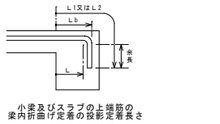
※１．４．１の長さを全長で確保する。

梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ



フックあり

（イ）直線定着



小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ

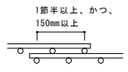
（ロ）折曲げ定着

鉄筋の種別	コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm2)	La	Lb
SD295	１８	２０ｄ	１５ｄ
	２１	１５ｄ	１５ｄ
	２４、２７	１５ｄ	１５ｄ
	３０、３３、３６	１５ｄ	１５ｄ
SD345	１８	２０ｄ	２０ｄ
	２１	２０ｄ	２０ｄ
	２４、２７	２０ｄ	１５ｄ
	３０、３３、３６	１５ｄ	１５ｄ
SD390	２１	２０ｄ	２０ｄ
	２４、２７	２０ｄ	２０ｄ
	３０、３３、３６	２０ｄ	１５ｄ

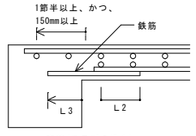
（注）１．La：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。）
　　２．Lb：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）
　　３．軽量コンクリートの場合は、表の値にｄを加えたものとする。

１．４．３　溶接金網の継手及び定着

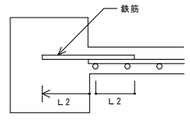
（１）溶接金網の継手及び定着は下図による。なお、L2及びL3は、１．４．１の（注）による。



重ね継手



定着(スラブの場合)



定着(壁の場合)

１．５　鉄筋の最小かぶり厚さ及び間隔

１．５．１　鉄筋の最小かぶり厚さ

（１）鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、下記表による。

（２）貫通孔に接する鉄筋かぶり厚さは最小かぶり厚さ以上とする。

（３）柱、梁の主筋にＤ２９以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の１．５倍以上として最小かぶり厚さを定める。

構造部分の種別			最小かぶり厚さ
土に接しない部分	スラブ・耐力壁以外の壁	仕上げあり	２０
		仕上げなし	３０
	柱・梁・耐力壁 屋内	仕上げあり	３０
		仕上げなし	３０
	柱・梁・耐力壁 屋外	仕上げあり	３０
		仕上げなし	４０
	擁壁、耐圧スラブ		４０
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁		*４０
	基礎、擁壁、耐圧スラブ		*６０
煙突等高熱を受ける部分			６０

（注）１．*印のかぶり厚さは普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は特記による。
　　２．「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。
　　３．スラブ、梁、基礎及び擁壁で直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
　　４．杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭天端からとする。
　　５．塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

１．５．２　鉄筋の間隔

（１）鉄筋相互のあきは、下記の値のうち最大のもの以上とする。

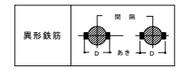
１）粗骨材の最大寸法の１．２５倍

２）２５mm

３）隣り合う鉄筋の平均径（呼び名に用いた数値）の１．５倍

４）鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨との

あきは上記（１）～（３）のうち最大のもの以上とする。



（注）D：鉄筋の最大外径

§２　基礎及び基礎梁の配筋

２．１　基礎の配筋

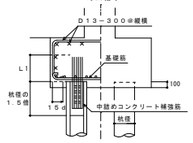
２．１．１　一般事項

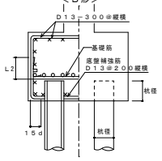
（１）杭基礎のはかま筋は縦筋、横筋ともＤ１３－３００※縦横を標準とする。

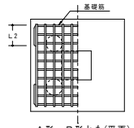
（２）地業の種別及び厚さは特記する。ただし捨コンクリート厚さ５０mm、砂利地業厚さ６０mmを標準とする。

２．１．２　基礎の配筋及び杭頭補強の方法

（１）杭基礎の場合

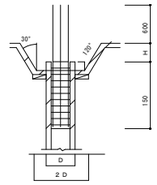






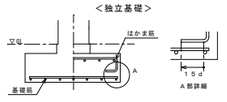
A形、B形とも(平面)

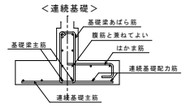
（注）１．中詰のコンクリート補強筋は、下記による。
●杭径300ｄ以下……4-D13
〃　350ｄ～400ｄ……6-D13
〃　450ｄ～600ｄ……8-D13
●原則…D10－100※
２．中詰のコンクリート補強筋にはフックをつけない。



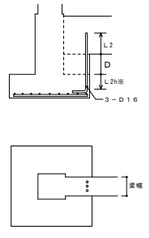
H＜Dの範囲で杭が下がった場合。

（２）直接基礎の場合

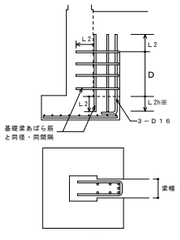




２．２　基礎接合部の補強



０＜D≦５００



５００＜D≦１０００

※L2hを確保できない場合は、１．４．２によることができる。

２．３　基礎梁筋の継手、定着及び余長

２．３．１　一般事項

（１）梁筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。

ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図２．２．１による。

（２）梁筋を柱内に定着する場合は、４．１．１(3)による。

（３）継手中心位置は図２．３．２の斜線部分とする。

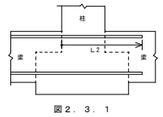
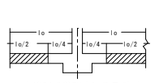
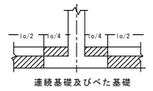


図２．３．１



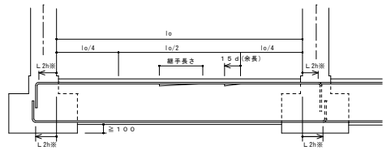
独立基礎で基礎梁にスラブがつかない場合



連続基礎及びべた基礎

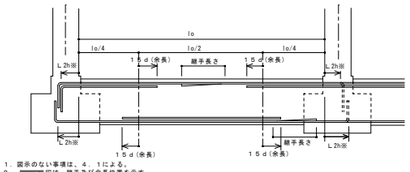
図２．３．２

２．３．２　独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合



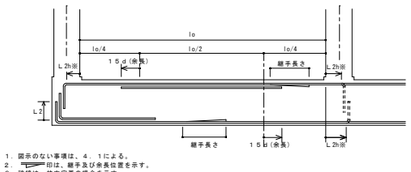
（注）１．図示のない事項は、４．１による。
　　２．□□□□印は、継手及び余長位置を示す。
　　３．破線は、柱内定着の場合を示す。
　　※　L2hを確保できない場合は、１．４．２によることができる。

２．３．３　独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合（耐圧スラブが付く場合は、２．３．４による）



（注）１．図示のない事項は、４．１による。
　　２．□□□□印は、継手及び余長位置を示す。
　　３．破線は、柱内定着の場合を示す。
　　※　L2hを確保できない場合は、１．４．２によることができる。

２．３．４　連続基礎及びべた基礎の場合



（注）１．図示のない事項は、４．１による。
　　２．□□□□印は、継手及び余長位置を示す。
　　３．破線は、柱内定着の場合を示す。
　　※　L2hを確保できない場合は、１．４．２によることができる。

２．４　基礎梁のあばら筋

（１）あばら筋組立の形及びフックの位置は、４．２．２による。

（２）梁の上下にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが１．５m以上の場合は、下図によることができる。



一般の場合



重ね継手とする場合

§３　柱

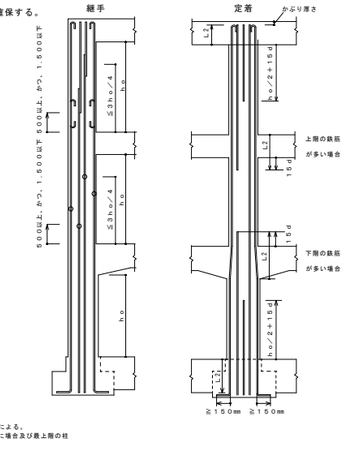
３．１　柱筋の継手及び定着

３．１．１　一般事項

（１）継手中心位置は、梁上端から５００mm以上１，５００mm以下、かつ３ｈｏ／４（ｈｏは柱の内法高さ）以下とする。

（２）柱頭定着長さL2が確保できない場合は、構造計算等により必要長さの確認を行うものとする。

（３）柱頭柱主筋について、梁上端主筋との取合いを考慮し、適切なかぶり厚さを確保する。



（注）１．隣り合う継手の位置は１．３の表による。
　　２．柱の四隅にある主筋で、重ね継手に場合及び最上階の柱頭にある場合はフックを付ける。

３．２　帯　　筋

３．２．１　帯　　筋

（１）帯筋の種類及び間隔は、特記による。

（２）帯筋組立の形は、特記がなければ、下記による。

（３）フック及び継手の位置は、交互とする。

（４）上下の柱断面寸法が異なる場合は、帯筋は一般の帯筋より１サイズ太い鉄筋又は同径のものを２本重ねたものとする。



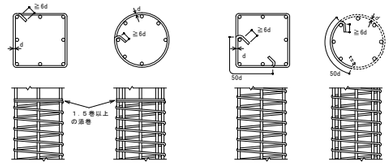
構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所

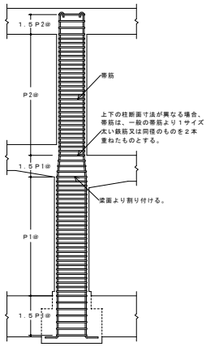
件名：瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事
図面：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造標準配筋図（１）
縮尺：NON
日付：2025/03
図面Ｎｏ．：S-02
監修：武村　製図：竹波　担当：竹波　作図：竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

（５）スパイラル筋の継手及び定着



（６）柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を１．５Ｐ１㊞又は１．５Ｐ２㊞とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。なお、Ｐ１㊞、Ｐ２㊞は、特記された帯筋の間隔を示す。



帯筋の割付

§４　梁

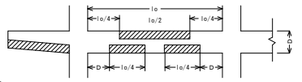
４．１　大ばり筋の継手、定着及び余長

４．１．１　一般事項

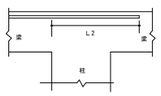
（１）継手中心位置は、下記による。

上端筋 － 中央lo/2以内

下端筋 － 柱面より梁せい（Ｄ）以上離し、lo/4を加えた範囲以内



（２）梁主筋は原則として柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことのできない場合は、(3)により柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合はお図による。



（３）梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は、次による。

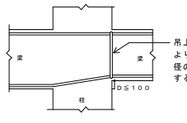
なお、定着の方法は、１．４．２による。

上端筋：曲げ降ろす。

下端筋：原則として曲げ上げる。

（４）段違いばりは、図４．１．１によることができる。

（５）梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端（図４．１．２の●印）にある場合はフックを付ける。ただし、基礎梁を除く。



吊上げ筋は、一般のあばら筋より１サイズ太い鉄筋又は同径のものを２本重ねたものとする。

図４．１．１

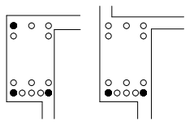


図４．１．２

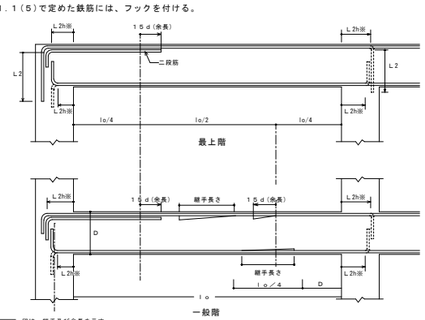
４．１．２　ハンチのない場合

（１）継手中心位置は、下記による。

上端筋 － 中央lo/2以内

下端筋 － 柱面より梁せい（Ｄ）以上離し、lo/4を加えた範囲以内

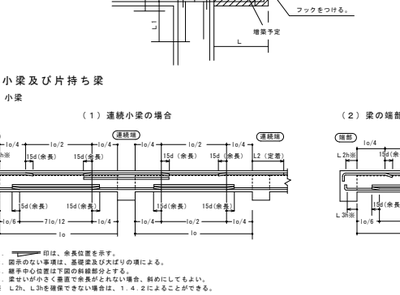
（２）４．１．１(５)で定めた鉄筋には、フックを付ける。



（注）１．━━━ 印は、継手及び余長を示す。
２．現場打ち柱内定着の場合を示す。
※　L2hを確保できない場合は、１．４．２によることができる。

４．１．３　ハンチのある場合

（１）４．１．１(５)で定めた鉄筋には、フックを付ける。



（注）１．━━━ 印は、継手及び余長を示す。
２．梁内定着の端部下端筋が接近するときは、▪▪▪▪▪▪▪▪のように引き通すことができる。
３．破線は柱内定着の場合を示す。
※　L2hを確保できない場合は、１．４．２によることができる。

４．２　あばら筋，腹筋及び幅止め筋

４．２．１　一般事項

（１）あばら筋の種類、径及び間隔は、特記による。

（２）幅止め筋及び受け用幅止め筋は、Ｄ１０－１０００㊞程度とする。

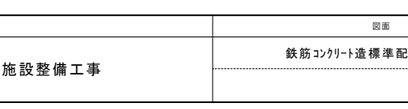
（３）腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、１５０mm程度とする。

（４）壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、特記による。特記がなければ、L2とする。

４．２．２　あばら筋組立の形及びフックの位置

（１）形は、下図（イ）とする。ただし、Ｌ形梁の場合は、（ロ）又は（ハ）、Ｔ形梁の場合は、（ロ）～（ニ）とすることができる。

（２）フックの位置は、（イ）の場合は交互とし、（ロ）の場合は、Ｌ形ではスラブの付く側、Ｔ形では交互とする。なお、（ハ）の場合は、スラブの付く側を９０°折曲げとする。

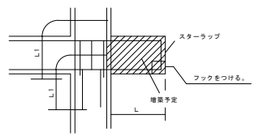


４．３　増築予定がある場合

（１）圧接の場合Ｌ＝１，０００、重ね継手の場合Ｌ＝Ｌ1+０．５Ｌ1

（２）増築取合せ部分の梁主筋は増築用梁まで延長することなく柱にアンカーする。

（３）下図ハッチ部分はスタイロホームを入れてコンクリートを打設又はラスモルタルとし現場の状況に応じて指示する。

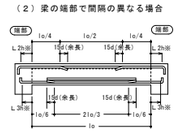


４．４　小梁及び片持ち梁

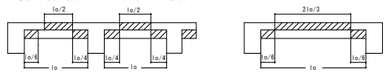
４．４．１　小梁

（１）連続小梁の場合

（２）梁の端部で間隔の異なる場合

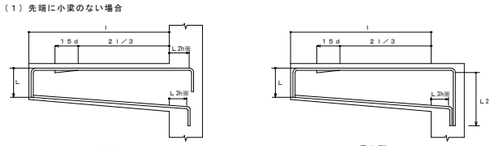


（注）１．━━━ 印は、余長位置を示す。
２．図示のない事項は、基礎梁及び大ばりの項による。
３．継手中心位置は下図の斜線部分とする。
４．梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。
※　L2h、L3hを確保できない場合は、１．４．２によることができる。



４．４．２　片持ち梁

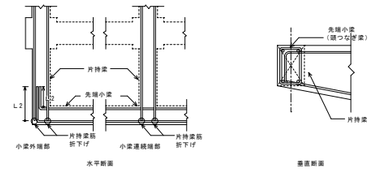
（１）先端に小梁のない場合



一般階　　最上階

（注）１．図示のない事項は、大ばりの項による。
２．━━━ 印は、余長を示す。
３．先端の折曲げの長さＬ1は、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。
※　L2h、L3hを確保できない場合は、１．４．２によることができる。

（２）先端に小梁がある場合



（注）１．図示のない場合は、（１）による。
２．先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
３．先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としておよい。

§５　壁

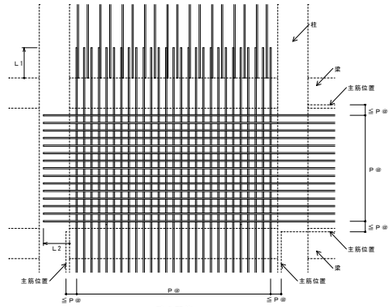
５．１　壁筋の継手及び定着

（１）壁配筋の重ね継手はＬ1、定着の長さはＬ2とする。

（２）幅止め筋は、縦横共Ｄ１０－１，０００㊞程度とする。

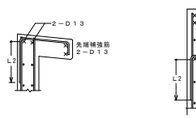
（３）原則として、柱及び梁内に、壁筋の継手を設けてはいけない。

（４）下図のＰ㊞は、特記された壁筋の間隔を示す。

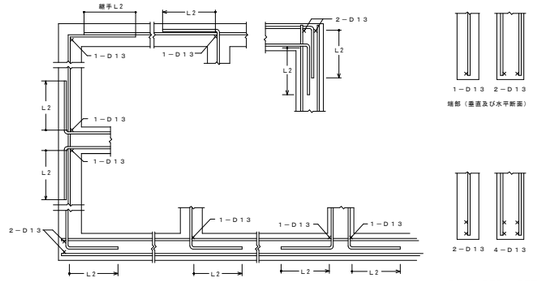


壁の配筋

５．２　パラペットの配筋



５．３　交差部及び端部の配筋



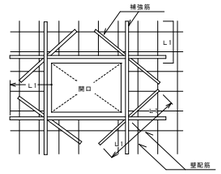
（注）（　）内は、土圧等を受ける壁等で、５．１（２）の場合を示す。

５．４　壁開口部の補強

（１）壁開口部の補強は、Ａ形又はＢ形とし、特記がなければＢ形とする。ただし、耐震壁を除く。

壁の種別	Ａ形 補強筋 縦筋	Ａ形 補強筋 斜め	壁の種別	Ｂ形 補強筋 縦筋	Ｂ形 補強筋 斜め
Ｗ１２、Ｗ１５	１－Ｄ１３	１－Ｄ１３	Ｗ１２、Ｗ１５	２－Ｄ１３	１－Ｄ１３
Ｗ１８、Ｗ２０	２－Ｄ１３	２－Ｄ１３	Ｗ１８、Ｗ２０	４－Ｄ１３	２－Ｄ１３

（２）壁開口部補強筋の定着長さ



（３）開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

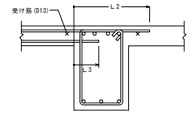
（４）コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記による。

§６　スラブの配筋

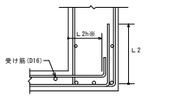
６．１　スラブ筋の継手及び定着

（１）鉄筋の重ね継手長さは、Ｌ1とする。

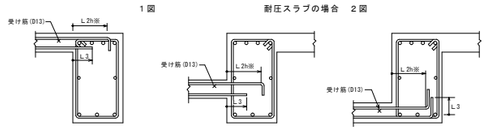
（２）定着長さ及び受け筋は、１図による。ただし、引き通すことができない場合は、３図により梁内に定着する。



１図



耐圧スラブの場合　２図

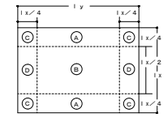


一般スラブの場合　３図

（注）※　L2hを確保できない場合は、１．４．２によることができる。

（３）継手中心位置は下記表による。

		標準継手位置
上端筋	短辺方向	Ｂ・Ｄ
	長辺方向	Ａ・Ｂ
下端筋	両方向共	Ａ・Ｃ・Ｄ

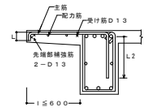


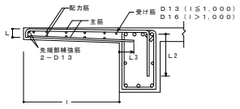
（注）１．主筋下端筋継手中心はＢ、Ｄ部分をさけること。
２．配力筋下端筋継手中心はＡ、Ｂ部分をさけること。

６．２　スラブの基準配筋

６．２．１　片持ちスラブ

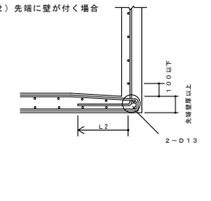
（１）先端に壁がない場合



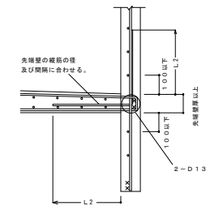


（注）１．先端の折曲げ長さは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。
２．スラブに段差のない場合、主筋を引き通してスラブに定着してもよい。

（２）先端に壁が付く場合

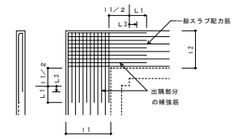


垂れ壁のない場合

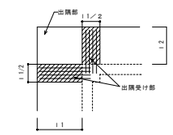


垂れ壁のある場合

６．２．２　片持ちスラブ（出隅部）



出隅部分補強配筋



出隅受け部配筋

（注）１．l1≧l2とする。
２．出隅受け部配筋は柱又は梁にL1定着する。

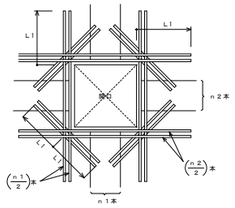
構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面Ｎｏ.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造標準配筋図（２）	NON	2025/03	S-03	武村	竹波	竹波	竹波	一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
										武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

６．３　スラブ開口部の補強

（１）スラブ開口の最大径が７００㎜以下の場合は、スラブ開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に２－Ｄ１３（ｌ＝２Ｌ１）シングルを上下筋の内側に配筋する。

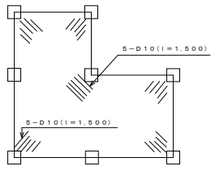
（２）スラブ開口の最大径が両方向の鉄筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。



６．４　その他の補強

６．４．１　屋根スラブ

屋根スラブの出隅及び入隅部分には、下図により、補強筋を上端筋の下側に配置する。



６．４．２　壁付きスラブ

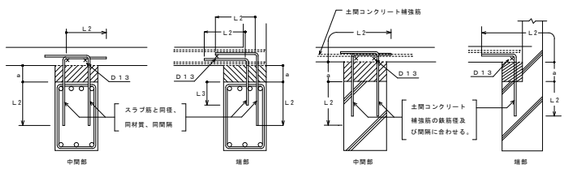
（１）スラブに上端筋がなく、壁が付いている場合には、下図により補強筋を入れる。



６．４．３　土間スラブ、土間コンクリートの打継ぎ補強

（１）土間スラブの打継ぎ補強

（２）土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋



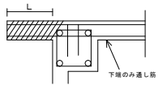
（注）１．土間コンクリートとは、土に接するスラブのうち、床荷重を直接支持地盤へ伝達できるものをいい、それ以外は土間スラブとして、梁及び杭を介して基礎へ荷重を伝達するものとする。
２．ａが３００㎜以下の場合に限る。

６．５　増築予定がある場合

（１）縦手長さＬ＝Ｌｌ＋０．５Ｌｌ

（２）増築取合せ部分の床主筋は増築用床まで延長することなく梁にアンカーする。

（３）右図ハッチ部分はラスモルタルとし現場の状況に応じて指示する。



§７　梁貫通孔補強

梁貫通孔の補強はこの標準配筋により、孔の形状寸法および配筋種別は特記する。

７．１　一般事項

（１）孔の径は、梁せいの１／３以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。

（２）孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端より１／３Ｄの範囲には設けてはならない。

（３）孔は、柱面から、原則として、１．５Ｄ（Ｄは梁せい）以上離す。
ただし、基礎梁、壁付帯梁は除く。

（４）孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の３倍以上とする。

（５）縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。

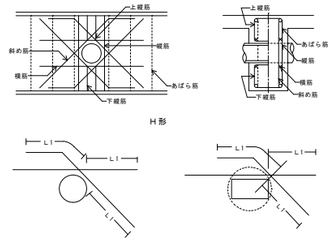
（６）補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは下図による。

（７）孔の径が梁せいの１／１０以下、かつ、１５０㎜未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

（８）溶接金網の余長は１格子以上とし、突出しは１０㎜以上とする。

（９）溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋１－１３Φのリング筋を取り付ける。
なお、リング筋は、溶接金網に４箇所以上溶接する。

(10) 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中止とする。



７．２　補強の形式と種類

H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦　筋	横　筋	上下縦筋	
Ｈ１	2-D13	なし	なし	なし	
Ｈ２		2-D13			
Ｈ３	4-D13	2-D13	2-D13	2-D13	
Ｈ４	4-D16				
Ｈ５	4-D16	4-D13	2-D13	3-D13	
Ｈ６	4-D19				
Ｈ７	4-D22				

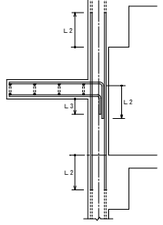
（注）　------は、一般部分のあばら筋を示す。

§８　階段の配筋

８．１　片持スラブ形階段の基準配筋

片持スラブ形階段の基準配筋

配筋種別	ＫＡ１	ＫＡ２
配筋図	D13 D13 D10－300＠ D10－300＠ t	2－D13 D13 D10－300＠ D10－300＠ t
配筋種別	ＫＡ３	ＫＡ４
配筋図	D10－300＠ t t D13 D13	D10－300＠ t t D13 2－D13



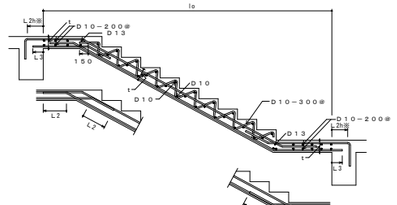
片持スラブ形階段配筋の定着

（注）１．階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に下ろす。
２．スラブ配力筋の継手及び定着の長さは、１．４．１（２）のL3とする。

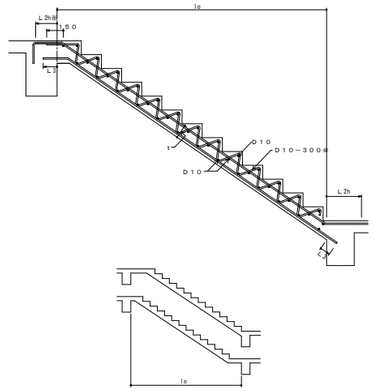
８．１　ニ辺固定スラブ形階段の基準配筋

ニ辺固定スラブ形基準配筋

配筋種別	上端筋、下端筋とも（全域）
ＫＢ１	Ｄ１３－２００＠
ＫＢ２	Ｄ１３－１５０＠
ＫＢ３	Ｄ１３－１００＠
ＫＢ４	Ｄ１３、Ｄ１６－１５０＠
ＫＢ５	Ｄ１６－１５０＠
ＫＢ６	Ｄ１６－１２５＠
ＫＢ７	Ｄ１６－１００＠



ニ辺固定スラブ形階段配筋（その１）

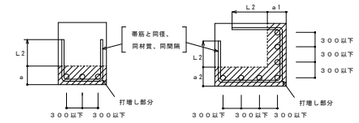


（注）１．右図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。
※　L2hを確保できない場合は、１．４．２によることができる。

ニ辺固定スラブ形階段配筋（その２）

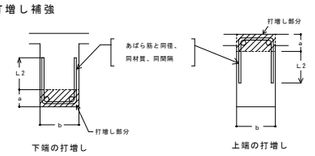
§８　その他の補強

８．１　柱の打増し補強



（注）１．柱の打増し幅（a、a1、a2）が７０㎜以上の場合の補強を示す。
２．帯筋と同一方向の補強筋は、帯筋と同径、同材質、同間隔とし定着長さはL2とする。
３．軸方向の補強間隔は３００㎜以下とする。

８．２　梁の打増し補強



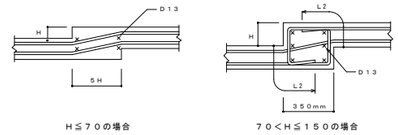
（注）１．梁の打増し幅（a、a1、a2）が７０㎜以上の場合の補強を示す。
２．あばら筋と同一方向の補強筋は、あばら筋と同径、同材質、同間隔とし定着長さはL2とする。

８．３　壁の打増し補強



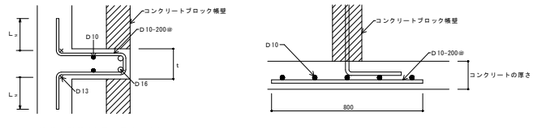
（注）１．壁の打増し幅（a）が５０㎜以上の場合の補強を示す。

８．４　段差のあるスラブの補強



（注）１．１５０㎜以下の段差のあるスラブの場合に限る。

８．５　コンクリートブロック帳壁との取合い



構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面Ｎｏ.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造標準配筋図（３）	NON	2025/03	S-04	武村	竹波	竹波	竹波

鉄骨構造工作標準図

§1 一般事項

1－1 使用材料

・使用材料は　構造図による。

1－2 鉄骨加工業者

・鉄骨加工業者は　社団法人全国鐵構工業協会（ＪＳＦＡ）加盟の大臣認定取得の工場とする。

延床面積	５００㎡以下	３０００㎡以下	制限なし	
グレード	Ｊグレード	Ｒグレード	Ｍグレード	Ｈグレード
種類	４００Ｎ	４９０Ｎまで	４９０Ｎまで	５２０Ｎまで
板厚	１６㎜以下	２５㎜以下	４０㎜以下	６０㎜以下
通しダイヤフラム	４９０Ｎまで ２２㎜以下	３２㎜以下	５０㎜以下	７０㎜以下
ベースプレート	４９０Ｎまで ５０㎜以下	５０㎜以下	制限なし	制限なし

1－3 その他

・設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。
・本標準図における単位はすべてmmとする。
・精度に関しては「鉄骨工事精度標準（日本建築学会編）」による。
・防錆塗装はＪＩＳ　Ｋ５６２１～Ｋ５６３３による。

§2 共通事項

2－1 略号

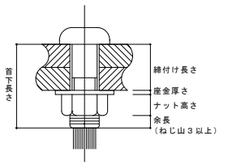
・ＡＢ	アンカーボルト	・ＢＨ	組立てＨ形鋼
・ＢＰ	ベースプレート	・ＣＨＰ	チェッカープレート
・ＤＦＲ	ダイヤフラム	・ＦＢ	フラットバー
・ＦＰ	フランジプレート	・ＧＰ	ガセットプレート
・ＨＴＢ	高力ボルト	・ＲＰ	リブプレート
・ＳＰ	スプライスプレート	・ＴＢ	ターンバックル
・ＷＰ	ウェブプレート	・Ｗ１－５	溶接記号（§４参照）

§3 ボルト接合

3－1 ＨＴＢ

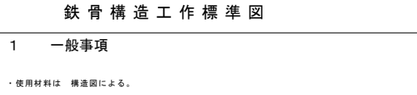
ボルトの所要長さ

ねじの呼び	締付け長さに加える長さ	
	Ｆ１０Ｔ	Ｓ１０Ｔ
Ｍ１６	３０ｍｍ	２５ｍｍ
Ｍ２０	３５ｍｍ	３０ｍｍ
Ｍ２２	４０ｍｍ	３５ｍｍ
Ｍ２４	４５ｍｍ	４０ｍｍ



（ａ）特記以外は全てＦ１０Ｔ又はＳ１０Ｔ（特殊高力ボルト、右図）とする。
（ｂ）本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない。
（ｃ）ボルトの接合面の処理は締付け摩擦面の母材においては平グラインダー掛け、スプライスプレートにおいてはショット掛けを行ない、黒皮を除去して一様に赤さびを生じさせる。又、締付けは一次締付け後マーキングを入れて本締めをする。

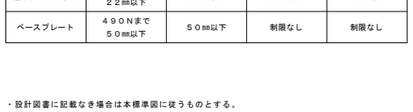
3－2 ＨＴＢのピッチ



呼び径			Ｍ１６	Ｍ２０	Ｍ２２	Ｍ２４	
孔径			18	22	24	26	
ピッチ	標準	p	60	60	60	70	
	最小		40	50	55	60	
はしあき		e_1	40	40（50）	40（55）	50（60）	
へりあき		e_2	25	30	35	40	

・（　）内はボルトが応力方向に３本以上並ばない場合を示す。
　手作業によるガス切断を行なう場合はへりあき e_2 は上表の数値＋５とする。

3－3 形鋼のゲージ



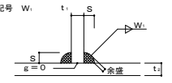
ＡorＢ	g_1	g_2	最大軸径	Ｂ	g_1	g_2	最大軸径	Ｂ	g_1	最大軸径
＊＊５０	３０		１６	＊＊１００	６０		１６	＊＊５０	３０	１６
６０	３５		１６	１２５	７５		１６	６５	３５	２０
６５	３５		２０	１５０	９０		２２	７０	４０	２０
７０	４０		２０	１７５	１０５		２２	７５	４０	２２
７５	４０		２２	２００	１２０		２４	８０	４５	２２
８０	４５		２２	２５０	１５０		２４	９０	５０	２４
９０	５０		２４	＊３００	１５０	４０	２４	１００	５５	２４
１００	５５		２４	３５０	１４０	７０	２４			
１２５	５０	３５	２４	４００	１４０	９０	２４			
１３０	５０	４０	２４							
１５０	５５	５５	２４							
１７５	６０	７０	２４							
２００	６０	９０	２４							

＊Ｂ＝３００は千鳥打ちとする。
＊＊印の欄の g_1 および最大軸径の値は強度上支障がないとき最小縁端距離の規定にかかわらず用いることができる。

4－1 隅肉溶接

§4 溶接接合

記号 W_s　t_1　S



脚長（S）
$0 \leqq S' - S \leqq 3$　　S＝設計サイズ
　　S'＝実際サイズ

余盛
（０．１Ｓ＋１）以下

ｔ：t_1 と t_2 の小さい方	６以下	９	１２	１４	１６	１９	
Ｓ≧０．７ｔ	ｔ	７	９	１０	１２	１４	

4－2 完全溶込み溶接（突合せ溶接）

１）　板厚の異なる場合

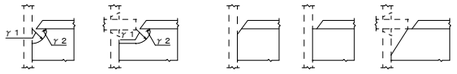


２）　エンドタブ

両端に継手と同じ形状のエンドタブを取り付ける。
長さ（ｌ）は３５以上かつ薄い方の板厚の２倍以上とする。



３）　開先加工



スカーラップの開先加工　　ノンスカーラップの開先加工

・スカーラップを設ける場合、スカーラップの円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工する。
　γ１は３５mm程度、γ２は１０mm程度とする。
　なお複合円は滑らかに仕上げること。
・スカーラップを設けない形状の場合、図のいずれかによるものとする。
・突き合わせ溶接部以外のスカーラップはγ＝２５程度とする。

４）　開先形状

記号	形状	適用板厚	寸法		
				手溶接	半自動溶接
W_s MC－BL－B1 GC－BL－B1	裏当て α_1　γ　t g　11　9以上 19以上　（t≦12の場合は６以上）	６＜t≦１２	g	7^{+1}_{-2}	6^{+1}_{-2}
			γ	２	２
			α_1	≧４５°	≧４５°
		１２＜t≦４０	g	9^{+1}_{-2}	7^{+1}_{-2}
			γ	２	２
			α_1	≧３５°	≧３５°
W_s MC－BL－2 GC－BL－2	裏はつり α_1　γ　t g　11	６＜t≦１９	g	0^{+2}_{-0}	0^{+3}_{-0}
			d_1	$\frac{2}{3}(t-\gamma)$	$\frac{2}{3}(t-\gamma)$
			γ	２	２
			α_1	≧４５°	≧４５°
W_s MC－BK－2 GC－BK－2	裏はつり α_1　d_1　γ　t α_2　d_2　g　11	１９＜t≦４０	g	0^{+2}_{-0}	0^{+3}_{-0}
			d_1	$\frac{2}{3}(t-\gamma)$	$\frac{2}{3}(t-\gamma)$
			γ	２	２
			d_2	$\frac{1}{3}(t-\gamma)$	$\frac{1}{3}(t-\gamma)$
			α_1	≧４５°	≧４５°
			α_2	≧６０°	≧６０°
W_s MC－BI－B1 GC－BI－B1	裏当て t g　11 FB－4．5×19	t ≦ ６	g	５±１	t±１

MC …　は手溶接　　GC …　は半自動溶接の記号を示す。

4－3 溶接部の検査

１　外観及び表面欠陥の検査は原則として目視により全ての溶接線に対して行うこと。
２　柱、梁のフランジ突き合わせ溶接部の内部欠陥の検査は原則として超音波探傷試験による。
３　検査規準及び合否判定は日本建築学会編「鋼構造建築溶接合部の超音波探傷検査基準」による。
４　工場溶接に対し第三者機関による検査箇所数は下表による（但し柱内検査は１００％行うこと）。

検査段階	１	２	３
検査箇所数	３０％以上	６０％以上	１００％
第１節	２，３，４		
第２節			
第３節	以下、上記の方法を繰り返すこと。		

○←○　不合格率　５％　未満の場合
○⇒○　不合格率　５％　以上の場合

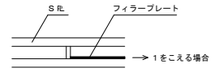
５　現場溶接の場合は第三者機関による検査を１００％　行う。
６　不合格と判定された溶接部は全て補正をすること。

5－1 継手部

§5 継手

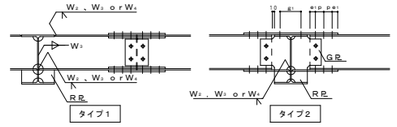
フィラープレート

FR、WR面で段差が１をこえる場合は、フィラープレートを入れる。



5－2 小梁仕口

・ピン接合は小梁仕口リストによる。

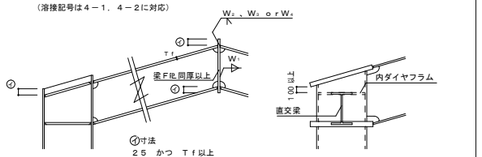


・GR　、RRは小梁のWRと同厚以上とする。　　・継手プレート及びＨＴＢはリストによる。

剛接合

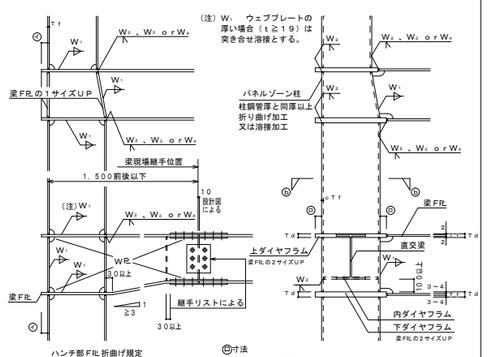
§6 柱梁接合部および継手

（溶接記号は４－１、４－２に対応）



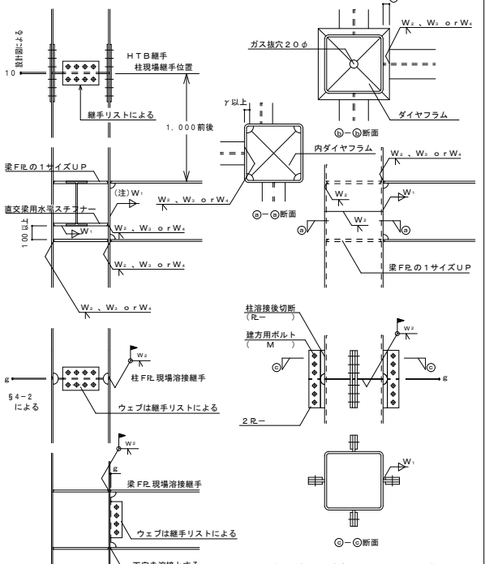
6－1 勾配屋根

6－2 梁通し



（注）W、ウェブプレートの厚い場合（t≧19）は突き合せ溶接とする。

ハンチ部FR折曲げ規定
（勾配が１／３をこえる場合は補強プレート（点線）を入れる）



・現場溶接を行なう場合は係員の承認を得ること。

柱Ｈ形鋼の場合

・パネルゾーン及びダイヤフラムの材質は、特記なき限り、接続する柱及び梁と同材質とする。
　又、接続する柱及び梁の材質の異なる場合は、強度及び材質共大きい方の材料とする。

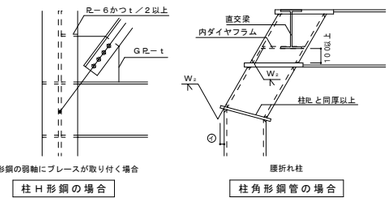
柱角形鋼管の場合

6－3 雑仕様

6－4 柱通し

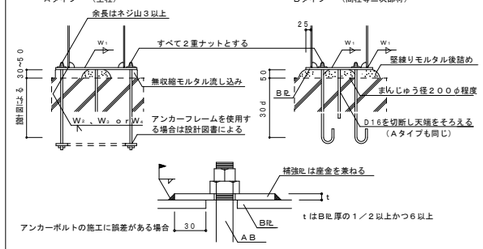
6－5 現場溶接継手

6－6 その他



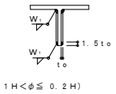
§7 柱脚

7－1 一般柱脚



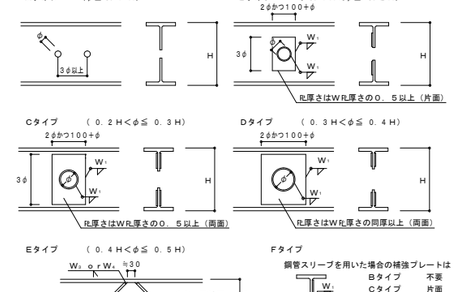
7－2 認定柱脚

・　認定柱脚を使用する場合はメーカー仕様による。

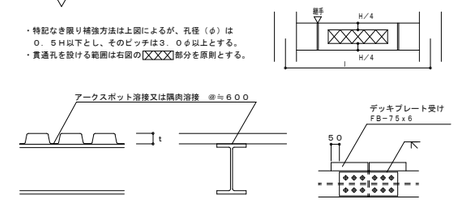


§8 その他

8－1 貫通補強



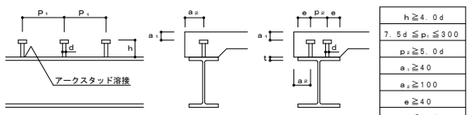
・特記なき限り補強方法は上図によるが、孔径（φ）は０．５Ｈ以下とし、そのピッチは３．０φ以上とする。
・貫通孔を設ける範囲は右図の▨部分を原則とする。



8－2 デッキプレート

・　合成スラブの場合はメーカー仕様による。

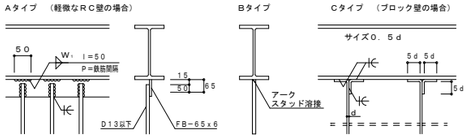
8－3 スタッドジベル



h≧4．0 d
7．5 d ≦ p_1 ≦300
p_2≧5．0 d
a_1≧40
a_2≧100
e≧40
d≦2．5 t

h、p_1、p_2は設計図書による。

8－4 壁筋の溶接



構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所

件名	図面	縮尺	日付	図面Ｎｏ.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	鉄骨構造工作標準図	NON	2025/03	S-05	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

ベースパックⅡ 型

角形鋼管
F値295N/mm²以下
□-350×350 ～ □-550×550 用

（一財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-18」（令和4年11月17日付）

ベースパック柱脚工法 設計施工標準図

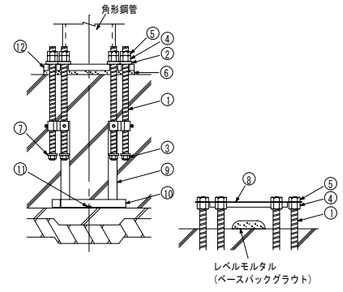
●ベースパック柱脚工法の設計は「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。

岡部株式会社 TEL03（3624）5336
旭化成建材株式会社 TEL03（3296）3515

2023年9月作成

1．工法概要

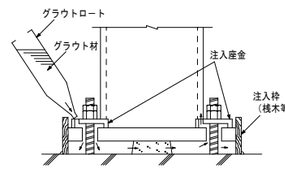
1．1 構成部材



①アンカーボルト
②注入座金
③Mナット
④Dナット
⑤Dナット(S)
⑥ベースパックグラウト(グラウト材)
⑦定着座金
⑧テンプレート
⑨フレームポスト
⑩フレームベース
⑪ステコンアンカー（コンクリートアンカー）
⑫ベースプレート

(注)上記①～⑫の構成部材はベースパック構成部品として供給される。
(注)上記⑧～①は現場状況により仕様が異なる場合がある。
(注)アンカーボルト12本の場合はつなぎプレートが取り付く。

1．2 柱脚の定着方法概要



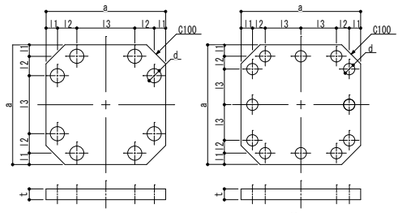
2．柱

F値(N/mm²)	鋼種	採用
235	BCP235	
	STKR400	
295	BCR295	●
	JBCR295	
	TSC295	

3．構成部材・寸法

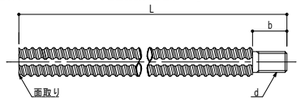
3．1 ベースプレート

●材質
SN490B 【JIS G 3136】
BT-HT440B-SP 【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】
（建築構造用高溶接性高性能５９０N/mm²鋼材）



3．2 アンカーボルト（Dアンカーボルト）

【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

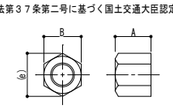


単位 mm

呼び	L	b	頭部ねじd	基準強度(N/mm²)
D38	850	46	M33	390
D41	900	49	M36	390
D41H	995	49	M36	490
D51	1110	57	M45	390
D51H	1215	57	M45	490

3．3 Mナット・Dナット

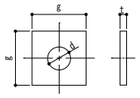
【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】



単位 mm

	呼び	A	B	(e)
Mナット	M33	26	50	58
	M36	29	55	64
	M45	36	70	81
Dナット	D38	45	65	75
	D41	48	70	80
	D51	60	80	92
Dナット(S)	D38	30	65	75
	D41	32	70	80
	D51	40	80	92

3．4 定着座金

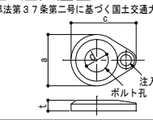


単位 mm

適用アンカーボルト	g	t	d	材質
D38	65	12	37	SS400
D41, D41H	70	12	37	SS490
D51, D51H	85	12	46	

3．5 注入座金

【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料, SS490】

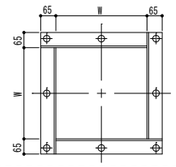


単位 mm

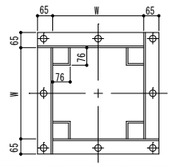
記号	適用アンカーボルト	a	c	t	d
PD38	D38	96	122	20	43
PD41	D41, D41H	100	127	20	46
PD51	D51, D51H	110	140	20	58

3．6 フレームベース

i）Cタイプ



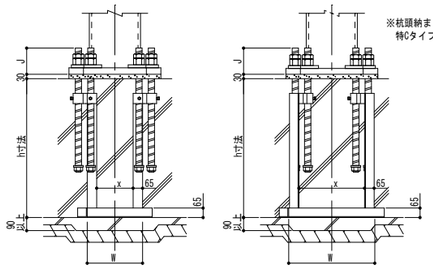
ii）特Cタイプ



3．7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

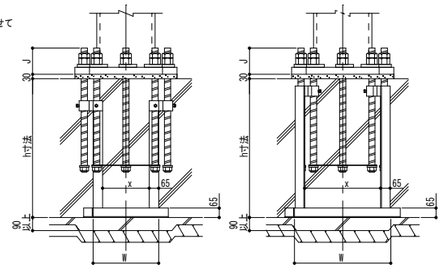
●ベースパックの据付け高さ（h寸法）はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ（最低h寸法）は下表に記載の値とする。

〈 Cタイプ※〉 〈 特Cタイプ 〉 ※杭頭納まり及び配筋状況に合わせて特Cタイプを選択できる。



（アンカーボルト8本）

〈 Cタイプ※〉 〈 特Cタイプ 〉



（アンカーボルト12本）

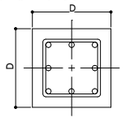
単位 mm

採用	ベースパック記号	柱 外径(mm)	柱 板厚(mm)	ベースプレート 材質	形状	寸法(mm) a	t	l1	l2	l3	d	アンカーボルト 本数-呼び	基準強度(N/mm²)	標準アンカーフレームタイプ	コンクリート柱型 寸法 D(mm) 標準フレーム	特C	配筋 立上り筋	フープ筋	設計基準強度(N/mm²)	フレームベース 寸法 W(mm) 標準フ	特C	フレームポスト間 寸法 x(mm) 標準フ	特C	最低h寸法(mm)	J寸法(mm)
	35-16R	□-350×350	t≦16	SN490B	(ハ)	630	45	65	85	330	φ70	8-D38	390	C	800	840	12-D25	D13@100	21以上	380	590	250	450	750	180
●	35-19R	□-350×350	t≦19	BT-HT440B-SP	(ハ)	630	44	65	85	330	φ70	8-D38	390	C	800	840	12-D25	D13@100	21以上	380	590	250	450	750	180
	35-22R	□-350×350	t≦22	BT-HT440B-SP	(ハ)	630	44	65	85	330	φ75	8-D41	390	C	800	830	16-D22	D13@100	21以上	380	590	250	450	800	190
	35-25R	□-350×350	t≦25	BT-HT440B-SP	(ニ)	650	48	75	85	165	φ70	12-D38	390	C	850	–	16-D25	D13@100	21以上	380	–	250	–	800	180
	40-16R	□-400×400	t≦16	BT-HT440B-SP	(ハ)	700	44	65	85	400	φ75	8-D41	390	C	870	910	12-D25	D13@100	21以上	450	660	320	520	800	190
	40-19R	□-400×400	t≦19	BT-HT440B-SP	(ハ)	700	48	65	85	400	φ75	8-D41	390	C	870	900	16-D22	D13@100	21以上	450	660	320	520	800	190
	40-22R	□-400×400	t≦22	BT-HT440B-SP	(ニ)	700	48	65	85	200	φ70	12-D38	390	C	900	910	16-D25	D13@100	21以上	450	660	320	520	800	180
	40-25R	□-400×400	t≦25	BT-HT440B-SP	(ニ)	710	48	70	85	200	φ75	12-D41	390	C	900	910	16-D25	D13@100	21以上	450	660	320	520	800	190
	45-19R	□-450×450	t≦19	BT-HT440B-SP	(ニ)	750	48	65	85	225	φ70	12-D38	390	C	950	960	16-D25	D13@100	21以上	500	710	370	570	800	180
	45-22R	□-450×450	t≦22	BT-HT440B-SP	(ニ)	750	52	65	85	225	φ75	12-D41	390	C	1000	1000	20-D25	D13@100	21以上	500	710	370	570	800	190
	45-25R	□-450×450	t≦25	BT-HT440B-SP	(ニ)	750	52	65	85	225	φ75	12-D41H	490	C	1000	1000	24-D25	D13@100	24以上	500	710	370	570	850	200
	45-28R	□-450×450	t≦28	BT-HT440B-SP	(ニ)	770	60	75	110	200	φ75	12-D51	390	C	1000	–	24-D25	D13@100	24以上	460	–	330	–	950	230
	50-19R	□-500×500	t≦19	BT-HT440B-SP	(ニ)	820	52	65	85	260	φ75	12-D41	390	C	1000	1030	20-D25	D13@100	21以上	570	780	440	640	800	190
	50-22R	□-500×500	t≦22	BT-HT440B-SP	(ニ)	820	60	65	85	260	φ75	12-D41H	490	C	1050	1050	24-D25	D16@100	21以上	570	780	440	640	850	200
	50-25R	□-500×500	t≦25	BT-HT440B-SP	(ニ)	820	60	75	110	225	φ75	12-D51	390	C	1050	1050	24-D25	D16@100	24以上	510	750	380	610	950	230
	50-28R	□-500×500	t≦28	BT-HT440B-SP	(ニ)	820	60	75	110	225	φ75	12-D51H	490	C	1140	–	32-D25	D16@100	24以上	510	–	380	–	1050	235
	55-19R	□-550×550	t≦19	BT-HT440B-SP	(ニ)	840	52	65	85	270	φ75	12-D41H	490	C	1100	1100	24-D25	D16@100	24以上	590	800	460	660	850	200
	55-22R	□-550×550	t≦22	BT-HT440B-SP	(ニ)	900	60	65	85	300	φ75	12-D41H	490	C	1100	1120	24-D25	D16@100	24以上	650	860	520	720	850	200
	55-25R	□-550×550	t≦25	BT-HT440B-SP	(ニ)	900	60	75	110	265	φ75	12-D51	390	C	1100	1100	32-D25	D16@100	24以上	590	830	460	690	950	230
	55-28R	□-550×550	t≦28	BT-HT440B-SP	(ニ)	900	65	75	110	265	φ75	12-D51H	490	C	1150	–	36-D25	D16@100	24以上	590	–	460	–	1050	235

4．コンクリート柱型

4．1 形状・材質

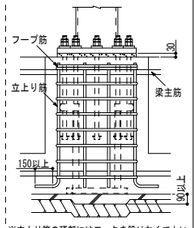
●形状
形状は正方形とし、寸法は下表に記載の値とする。



●コンクリート
普通コンクリートとし、設計基準強度は下表に記載の値とする。
●鉄筋
SD295(D13, D16)
SD345(D22, D25)

4．2 配筋

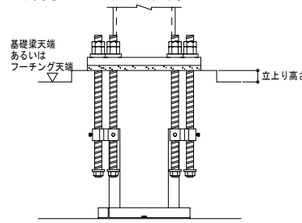
配筋仕様は下表による。



※立上り筋の頂部にはフックを設けなくてよい。
※トップフープはダブルとし、柱型上端近くに配置する。

4．3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。



4．4 特記事項 上記内容によらない場合は下記による。

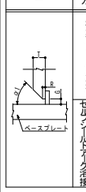
採用
□ 下表標準柱型寸法からの変更あり（「柱型寸法最大・最小値一覧」による）
□ 下表標準配筋仕様からの変更あり
□ 立上り筋に頂部フックが必要

5．工場製作（溶接）

■組立
●ベースプレートの中心線（ｹｶﾞｷ線）に柱材軸心を合わせる。

■溶接方法（完全溶込み溶接）
●完全溶込み溶接とする。(JASS 6 鉄骨工事による)

完全溶込み溶接の開先標準（JASS 6 鉄骨工事 2007年版より ）

図	溶接方法	適用板厚T(mm)	ルート間隔G(mm) 標準値	許容差	ルート面R(mm) 標準値	許容差	開先角度α1(°) 標準値	許容差	溶接姿勢
	被覆アーク溶接	6～	7	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：45	-2.5, +∞ (-5, +∞)	下向き
			9	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：35		
	ガスシールドアーク溶接 セルフシールドアーク溶接	6～	6	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：45	-2.5, +∞ (-5, +∞)	下向き
			7	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：35		

ベースプレート

許容差・記号+∞は制限無しを示す。
・2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差（上段：管理許容差、下段括弧内：限界許容差）を示す。

■ベースプレートの予熱
●気温(鋼材表面温度)が5°C以上でのベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼種	板厚(mm) 40≦t≦50	50<t≦75
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	50 ℃	
	BT-HT440B-SP	予熱なし	予熱なし
CO2 ガスシールドアーク溶接	SN490B	予熱なし	
	BT-HT440B-SP	予熱なし	予熱なし

■検査方法：溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。
■施工管理：７．本工法の施工及び施工管理参照。

6．工事場施工

6．1 基礎工事

●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6．2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト（フレーム）の組立ては、4隅のアンカーボルト4本(8本)で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。

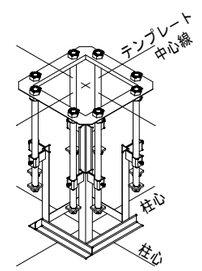


図	e1：柱心とテンプレートのけがき線との許容差
標準許容差	-2≦e1≦2 基準高さより誤差は -3≦e≦10

6．3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト（フレーム）との取り合いを考慮する。
●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

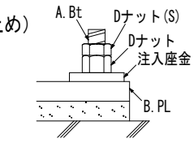
6．4 建方

●レベルモルタルはベースパックグラウト（グラウト材）を使用し大きさは右図による。



6．5 アンカーボルトの本締め（弛み止め）

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。
●Dナット(S)による弛み止めは右図による。



6．6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材１袋(6kg)に対して、計量カップで1.0～1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7．本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者（元請）の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち６．２アンカーボルト据付け及び６．６ベースパックグラウトの注入は、ベースパック・セレクトベース施工技術委員会によって認定された有資格者（ベースパック施工管理技術者・施工技能者）が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作業者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

構造設計担当者
1級建築士事務所 岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号 木村誠司

2024.10.25

株式会社 黒川建築設計事務所
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX. 086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	ﾍﾞｰｽﾊﾟｯｸ設計施工標準図（１）	NON	2025/03	S-06	武村	竹波	竹波	竹波

ベースパックⅠ型

角形鋼管
F値295N/mm²以下
□-150×150 ～ □-300×300 用

（一財）日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-19」（令和6年6月21日付）

ベースパック柱脚工法 設計施工標準図

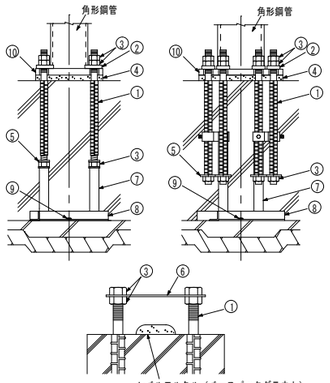
●ベースパック柱脚工法の設計は「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。

岡部株式会社 TEL03（3624）5336
旭化成建材株式会社 TEL03（3296）3515

2024年10月作成

1．工法概要

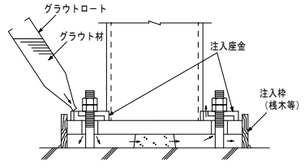
1．1 構成部材



①アンカーボルト
②注入座金
③Mナット
④ベースパックグラウト（グラウト材）
⑤定着座金
⑥テンプレート
⑦フレームポスト
⑧フレームベース
⑨ステコンアンカー（コンクリートアンカー）
⑩ベースプレート

（注）上記①～⑩の構成部材はベースパック構成部品として供給される。
（注）上記⑥～⑨は現場状況により仕様が異なる場合がある。

1．2 柱脚の定着方法概要



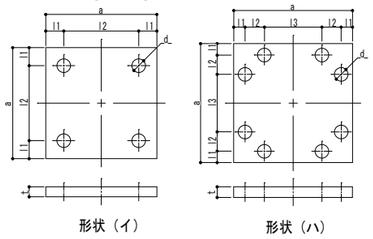
2．柱

F値(N/mm²)	鋼種	採用
235	BCP235	
	STKR400	
295	BCR295	○
	TSC295	

3．構成部材・寸法

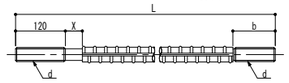
3．1 ベースプレート

●材質
SN490B 【JIS G 3136】

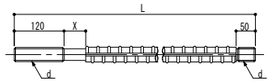


3．2 アンカーボルト（Mアンカーボルト）【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

i）アンカーフレーム Aタイプの場合



ii）アンカーフレーム Cタイプ の場合



単位 mm

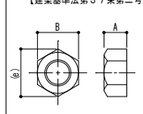
呼び d	異形部呼び名	L 注1)	X	b 注1)	基準強度 (N/mm²)
M27	D29	650	45	128	490
M30	D32	695	45	133	490
M33	D35	690, 735	45	95, 140	490
M36	D38	770	60	130	490
M39	D41	770, 810	60	98, 135	490

呼び d	異形部呼び名	L	X	基準強度 (N/mm²)
M30	D32	695	45	490
M33	D35	720	45	490
M36	D38	770	60	490

注1)据付け高さが低い場合に短いアンカーボルトを使用する。

3．3 Mナット

【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

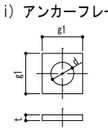


単位 mm

呼び	A	B	(e)
M27	22	41	47
M30	24	46	53
M33	26	50	58
M36	29	55	64
M39	31	60	69

3．4 定着座金

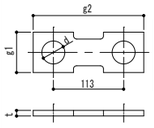
i）アンカーフレーム Aタイプの場合



単位 mm

適用 アンカーボルト	g1	t	d	材質
M27	55	9	28	SS400
M30	55	9	31	
M33	60	9	34	
M36	65	12	37	
M39	80	12	40	

ii）アンカーフレーム Cタイプ の場合

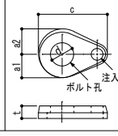


単位 mm

適用 アンカーボルト	g1	g2	t	d	材質
M30	55	168	9	32	SS400
M33	60	173	9	35	
M36	65	178	9	38	

3．5 注入座金

【建築基準法第３７条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

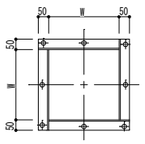


単位 mm

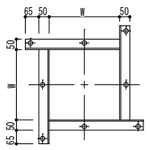
記号	適用 アンカーボルト	a1	a2	c	t	d
PM27	M27	32	42	101	18	28
PM30	M30	32	42	101	18	31
PM33	M33	35	45	110	18	34
PM36	M36	35	45	110	18	37
PM39	M39	38	48	118	18	40

3．6 フレームベース

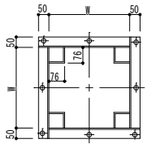
i）Aタイプ



ii）Cタイプ



iii）特Cタイプ

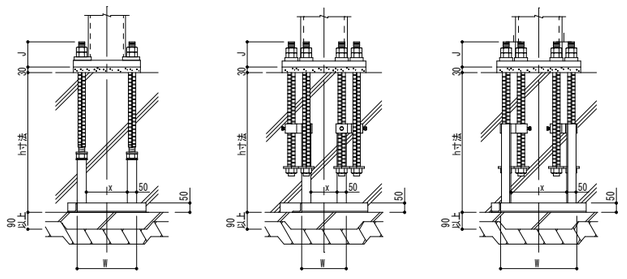


3．7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースパックの据付け高さ（h寸法）はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ（最低h寸法）は下表に記載の値とする。

〈 Aタイプ 〉 〈 Cタイプ ※〉 〈 特Cタイプ 〉

※杭頭納まり及び配筋状況に合わせて特Cタイプを選択できる。

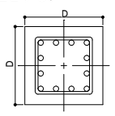


単位 mm

4．コンクリート柱型

4．1 形状・材質

●形状
形状は正方形とし、寸法は下表に記載の値とする。

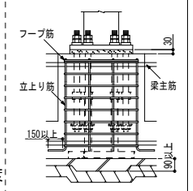


●コンクリート
普通コンクリートとし、設計基準強度は21N/mm 以上とする。

●鉄筋
SD295(D13,D16)
SD345(D19,D22)

4．2 配筋

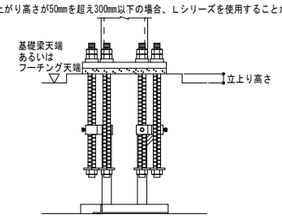
配筋仕様は下表による。



※立上り筋の頂部にはフックを設けなくてよい。
※トップフープはダブルとし、柱型上端近くに配置する。

4．3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。
※ただし基礎立上がり高さが50mmを超え300mm以下の場合、Lシリーズを使用することができる。



4．4 特記事項 上記内容によらない場合は下記による。

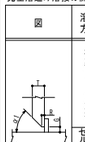
採用
□ 下表標準柱型寸法からの変更あり（「柱型寸法最大・最小値一覧」による）
□ 下表標準配筋仕様からの変更あり
□ 立上り筋に頂部フックが必要

5．工場製作（溶接）

■組立
●ベースプレートの中心線（ｹﾞｷ線）に柱材軸心を合わせる。

■溶接方法（完全溶込み溶接）
●完全溶込み溶接とする。(JASS 6 鉄骨工事による)

完全溶込み溶接の開先標準（JASS 6 鉄骨工事 2018年版より ）

図	溶接方法	適用板厚 T(mm)	ルート間隔G(mm) 標準値	ルート間隔G(mm) 許容差	ルート面R(mm) 標準値	ルート面R(mm) 許容差	開先角度α1(°) 標準値	開先角度α1(°) 許容差	溶接姿勢
	被覆アーク溶接	6～	7	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：45	-2.5, +∞ (-5, +∞)	下向き
			9	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：35		
	ガスシールドアーク溶接 セルフシールドアーク溶接	6～	6	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：45	-2.5, +∞ (-5, +∞)	下向き
			7	-2, +∞ (-3, +∞)	2	-2, +1 (-2, +2)	α1：35		

許容差・記号+∞は制限無しを示す。
-2段書きは「鉄骨精度検査基準」に規定する許容差（上段：管理許容差、下段括弧内：限界許容差）を示す。

■ベースプレートの予熱
●気温(鋼材表面温度)が5°C以上でのベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼種	板厚(mm) t＜32	板厚(mm) 32≦t≦50
低水素系被覆アーク溶接	SN490B	予熱なし	50 ℃
CO₂ガスシールドアーク溶接※	SN490B	予熱なし	予熱なし

※フラックス入りワイヤによるCO₂ガスシールドアーク溶接の予熱温度は、低水素被覆アーク溶接に準じる。

■検査方法：溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。
■施工管理：７．本工法の施工及び施工管理参照。

6．工事場施工

6．1 基礎工事

●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6．2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト（フレーム）の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。
●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。
●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。

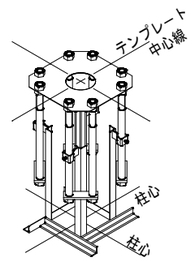


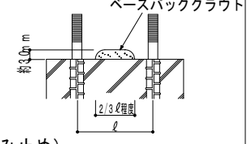
図	
標準許容差	-2≦e1≦2 基準高さより誤差は -3≦e≦10

6．3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト（フレーム）との取り合いを考慮する。
●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6．4 建方

●レベルモルタルはベースパックグラウト（グラウト材）を使用し大きさは右図による。



6．5 アンカーボルトの本締め（弛み止め）

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

6．6 ベースパックグラウト(グラウト材)の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材１袋（6kg）に対して、計量カップで1.0～1.1ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。
●グラウト材の注入は、グラウトロートを注入座金にセットし、グラウト材の自重圧により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7．本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者（元請）の管理のもとで実施するものとする。
●本工法のうち６．２アンカーボルト据付け及び６．６ベースパックグラウトの注入は、ベースパック・セレクトベース施工技術委員会によって認定された有資格者（ベースパック施工管理技術者・施工技能者）が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。
●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作業者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

採用	ベースパック記号	柱 外径(mm)	柱 板厚(mm)	ベースプレート 材質	形状	寸法(mm) a	t	l1	l2	l3	d	アンカーボルト 本数-呼び	基準強度 (N/mm²)	アンカーフレームタイプ	コンクリート柱型 寸法D(mm) 標準フレーム	特C	配筋 立上り筋	フープ筋	設計基準強度 (N/mm²)	フレームベース 寸法W(mm) 標準フレーム	特C	フレームポスト間 寸法X(mm) 標準フ	特C	最低h寸法 (mm)	J寸法 (mm)
	15-12V	□-150×150	t≦12	SN490B	(イ)	300	28	50	200	-	φ45	4-M27	490	A	500	-	12-D16	D13@100	21以上	250	-	150	-	550	135
	17-12V	□-175×175	t≦12	SN490B	(イ)	320	32	45	230	-	φ45	4-M30	490	A	530	-	12-D19	D13@100	21以上	280	-	180	-	600	135
	20-09V	□-200×200	t≦9	SN490B	(イ)	360	28	50	260	-	φ45	4-M30	490	A	560	-	12-D16	D13@100	21以上	310	-	210	-	600	135
●	20-12V	□-200×200	t≦12	SN490B	(イ)	360	32	50	260	-	φ50	4-M33	490	A	560	-	12-D19	D13@100	21以上	310	-	210	-	600	135
	25-09V	□-250×250	t≦9	SN490B	(イ)	420	32	55	310	-	φ55	4-M36	490	A	610	-	12-D19	D13@100	21以上	360	-	260	-	650	150
	25-12V	□-250×250	t≦12	SN490B	(イ)	420	36	55	310	-	φ55	4-M39	490	A	630	-	12-D19	D13@100	21以上	370	-	270	-	650	150
	25-16V	□-250×250	t≦16	SN490B	(ハ)	450	32	50	80	190	φ50	8-M33	490	C	620	640	12-D19	D13@100	21以上	240	440	140	300	650	135
	30-09V	□-300×300	t≦9	SN490B	(イ)	480	36	60	360	-	φ55	4-M39	490	A	680	-	12-D22	D13@100	21以上	420	-	320	-	650	150
	30-12V	□-300×300	t≦12	SN490B	(ハ)	520	32	50	80	260	φ50	8-M30	490	C	700	710	12-D22	D13@100	21以上	310	510	210	370	650	135
●	30-16V	□-300×300	t≦16	SN490B	(ハ)	520	40	50	80	260	φ55	8-M36	490	C	710	710	12-D22	D13@100	21以上	310	510	210	370	700	150
	30-19V	□-300×300	t≦19	SN490B	(ハ)	550	50	50	80	290	φ55	8-M36	490	C	740	740	12-D22	D13@100	21以上	340	540	240	400	700	150

構造設計担当者
1級建築士事務所 岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号 木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX.086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	ﾍﾞｰｽﾊﾟｯｸ設計施工標準図（２）	NON	2025/03	S-07	武村	竹波	竹波	竹波

ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準　耐火仕様①
合成スラブ工業会仕様

JFE 建材 株式会社

［耐火認定FP60FL-9095, 9101, FP120FL-9107, 9113用］

ＱＬデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事」、
(一社)日本鋼構造協会「デッキプレート床構造設計・施工規準　2018」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、ＱＬデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設　　計

材料／デッキプレート　［ISO 9001認証取得］

デッキプレート種類	板厚(mm)	表　面　処　理
■ＱＬ９９－５０ □ＱＬ９９－７５	端部加工 □ｴﾝﾄﾞｸﾛ有り ■無し	■裏面防錆処理（一次塗装）ＱＬプライマー(P)*1 ■1.2　□亜鉛めっき　［　□Z12　□Z27 ］ □1.6　□JFEｴｺｶﾞﾙ(高耐食溶融めっき鋼板)　［　□Y18　□Y27 ］ □その他(　　)　□無し
材　質	ＪＩＳＧ３３５２に定めるSDP1T、SDP2、SDP2G	

*1 現場搬入までの一次防錆（ＪＩＳＫ５６２１ ２種または３種相当）

材料／コンクリート

種　　類	■普通コンクリート　□軽量コンクリート［□１種　□２種］
設計基準強度	□１８　■２１　□２４　□（　）Ｎ／mm²
厚さ(ＱＬデッキ山上)	□６０　□７０　■８０　□８５　□９０　□９５　□１００　□（　）mm

材料／溶接金網・異形鉄筋

■溶接金網	ＪＩＳＧ３５５１	□φ６-７５×７５　■φ６-１５０×１５０ □φ６-１００×１００　□（　）*2
□異形鉄筋	ＪＩＳＧ３１１２、３１１７	□Ｄ１０-１５０×１５０ □Ｄ１０-２００×２００　□（　）
耐火補強筋	ＪＩＳＧ３１１２、３１１７	Ｄ１３-@３００

*2 線形6mm以上を用いたもの

接　　合

梁との接合	■頭付きスタッド	ＪＩＳＢ１１９８ □φ１３　■φ１６　■φ１９　□φ２２（各長さ・ピッチは特記による*3）
	■焼抜き栓溶接	下記焼抜き栓溶接の項による
	□打込み鋲	接合箇所は特記による
	□その他	

*3 最小長さはデッキ高さ＋30mm以上とする

耐　　火

ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ	耐火区分	支持条件	ｺﾝｸﾘｰﾄ種別	耐火補強筋	認定番号
QL99-50 QL99-75	床１時間	単純	普通/軽量	要	□ＦＰ０６０ＦＬ－９１０１
		連続		不要	□ＦＰ０６０ＦＬ－９０９５
	床２時間	単純		要	□ＦＰ１２０ＦＬ－９１１３
		連続		不要	□ＦＰ１２０ＦＬ－９１０７

注）床２時間は床１時間耐火を含む

その他	■指定なし	□（　）□（　）

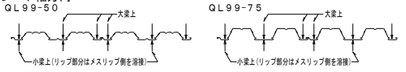
特　　記

支保工有無	その他：
■無　□有	

上欄内の採用項目に☑を記して下さい。

焼抜き栓溶接

デッキプレート幅方向



デッキプレートスパン方向

「ＱＬデッキ設計マニュアル」に基づいて決定する。

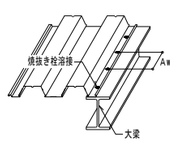
$Aw = \frac{1.5Qa}{Qb} \times 1000mm$ かつ600mm 以下

Qa：焼抜き栓溶接１個当たりの長期許容せん断力（N）
Qb：設計最大せん断力(N/m)
Aw：焼抜き栓溶接ピッチ

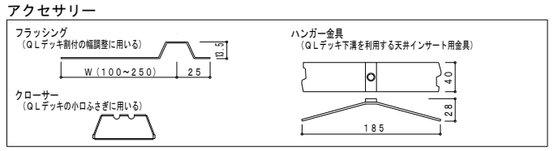
板厚	Qa（N）
1.2	4,900
1.6	7,350(SPW)、6,860(A.P.W)

Aw ＝（　600　）mm

（注）接合に頭付きスタッドを用いる場合、焼抜き栓溶接は不要



アクセサリー

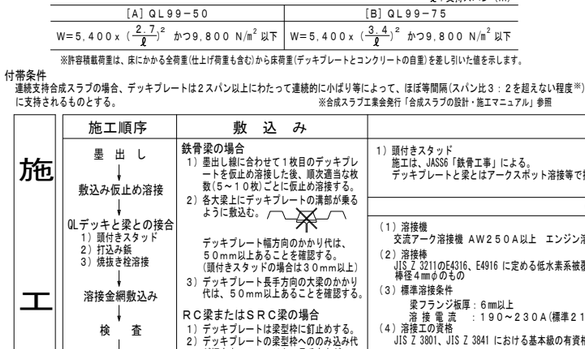


耐　火　仕　様

【連続支持合成スラブ】

支持梁：鉄骨(S)梁 及び 大梁：鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁、小梁：鉄骨(S)梁
コンクリート：設計基準強度１８Ｎ/mm²以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート（１種・２種）

耐火時間	コンクリート種別	品　名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋（Ｄ１０－@２００）	許容積載荷重
床、１時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	3.0ｍ 以下	80mm 以上	φ6－150x150	算出式 注5）A 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下			算出式 注5）B 参照
			3.6ｍ 以下	90mm 以上	φ6－100x100	4,400N/m²以下 注2）
	軽量コンクリート	ＱＬ９９－５０	3.0ｍ 以下	80mm 以上	φ6－150x150	算出式 注5）A 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下			算出式 注5）B 参照
床、２時間耐火 FP120FL-9107	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7ｍ 以下	95mm 以上	φ6－100x100	算出式 注5）A 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下	90mm 以上		算出式 注5）B 参照
			3.6ｍ 以下	95mm 以上	Ｄ１０－@２００	5,400N/m²以下 注2）
	軽量コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7ｍ 以下	85mm 以上	φ6－100x100	算出式 注5）A 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下			算出式 注5）B 参照
			3.6ｍ 以下	90mm 以上	Ｄ１０－@２００	5,400N/m²以下 注2）



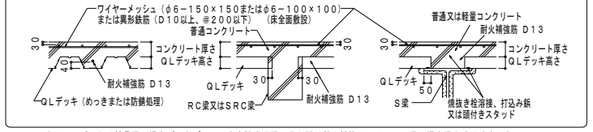
【単純支持合成スラブ】

支持梁：鉄骨(S)梁　　コンクリート：設計基準強度１８Ｎ/mm² 以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート（１種・２種）
耐火補強筋：Ｄ１３（デッキプレート各溝@３００）

耐火時間	コンクリート種別	品　名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋（Ｄ１０－@２００）	許容積載荷重
床、１時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7ｍ 以下	80mm 以上	φ6－150x150	算出式 注5）A 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下			算出式 注5）B 参照
	軽量コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7ｍ 以下			算出式 注5）A 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下			算出式 注5）B 参照
床、２時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7ｍ 以下	95mm 以上	φ6－100x100	算出式 注5）A 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下	90mm 以上		算出式 注5）B 参照
	軽量コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7ｍ 以下	85mm 以上		算出式 注5）A 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下			算出式 注5）B 参照

支持梁：鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁の場合　　コンクリート：設計基準強度１８Ｎ/mm² 以上の普通コンクリート
耐火補強筋：Ｄ１３（デッキプレート各溝@３００）

耐火時間	コンクリート種別	品　名	支持スパン	コンクリート厚さ	溶接金網又は異形鉄筋（Ｄ１０－@２００）	許容積載荷重
床、１時間耐火 FP060FL-9101	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7ｍ 以下	80mm 以上	φ6－150x150	算出式 注5）A 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下			算出式 注5）B 参照
床、２時間耐火 FP120FL-9113	普通コンクリート	ＱＬ９９－５０	2.7ｍ 以下	95mm 以上	φ6－100x100	算出式 注5）A 参照
		ＱＬ９９－７５	3.4ｍ 以下	90mm 以上		算出式 注5）B 参照



注１）スパンとは鉄骨梁の場合デッキプレートを支持する梁の中心間距離、鉄筋コンクリート梁の場合梁内法寸法をいう。
注２）スパンが３.４ｍを超える場合は、合成スラブと梁とは頭付きスタッド（軸径１６mm以上、ピッチ３００mm以下）で結合する。
注３）鉄骨梁の場合、梁との接合は焼抜き栓溶接、打込み鋲、または頭付きスタッドを用いる。
注４）梁の耐火被覆　梁に１、２または３時間の耐火性能が要求される場合は、それらに応じ耐火被覆を施す。
注５）許容積載荷重Ｗ　算出式

ℓ：支持スパン（m）

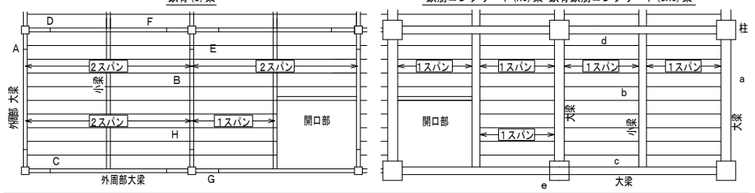
［A］ＱＬ９９－５０	［B］ＱＬ９９－７５
$W=5,400x\left(\frac{2.7}{\ell}\right)^2$ かつ9,800 N/m² 以下	$W=5,400x\left(\frac{3.4}{\ell}\right)^2$ かつ9,800 N/m² 以下

※許容積載荷重は、床にかかる全荷重(仕上げ荷重も含む)から床荷重(デッキプレートとコンクリートの自重)を差し引いた値を示します。

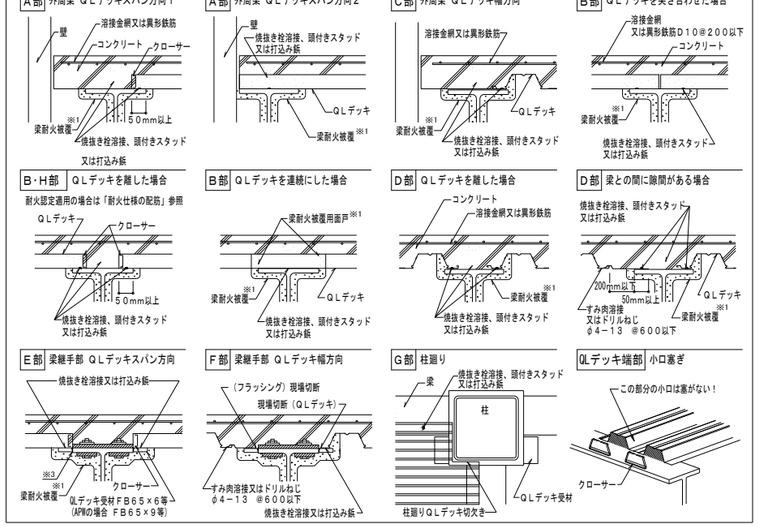
付帯条件
連続支持合成スラブの場合、デッキプレートは２スパン以上にわたって連続的に小げり等によって、ほぼ等間隔(スパン比３：２を超えない程度※)に支持されるものとする。
※合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル」参照

標　　準　　納　　ま　　り

図中※１は、梁に１、２または３時間の耐火性能が要求される場合のみ適用。　※２はＱＬデッキ耐火認定を適用する場合に必要。
※３ 溶接方法等は別途検討が必要。（合成スラブ工業会Ｑ＆Ａ参照）

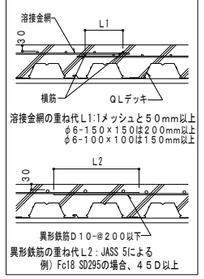


デッキプレートと梁の納まり［S梁］



スラブの配筋

コンクリート表面よりのかぶり厚さが３０mmになるようレベル保持し、全面に配筋する。

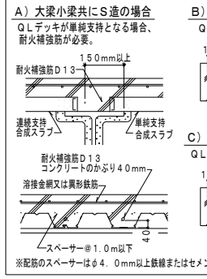


耐火仕様の配筋

・ＱＬデッキが単純支持となる場合、耐火補強筋を配筋する。配筋はＪＡＳＳ５鉄筋コンクリート工事による。
・耐火補強筋・端部補強筋が必要な場合、ＱＬデッキの各溝中央部にかぶり４０mmで配筋する。
・耐火補強筋、端部補強筋共、梁へ１５０mm以上定着させる。梁上で定着が１５０mmとれない場合は、Ｌ型に曲げて１５０mm以上を確保する。

Ａ）大梁小梁共にＳ造の場合

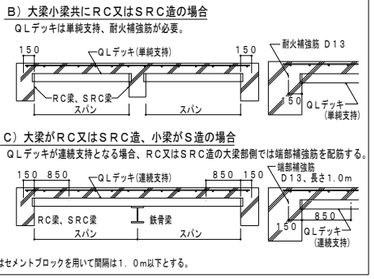
ＱＬデッキが単純支持となる場合、耐火補強筋が必要。



※配筋のスペーサーは φ４．０mm以上鉄線またはセメントブロックを用いて間隔は１．０m以下とする。

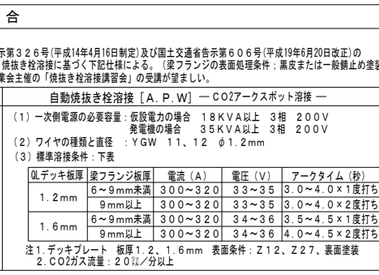
Ｂ）大梁小梁共にＲＣ又はＳＲＣ造の場合

ＱＬデッキは単純支持、耐火補強筋が必要。

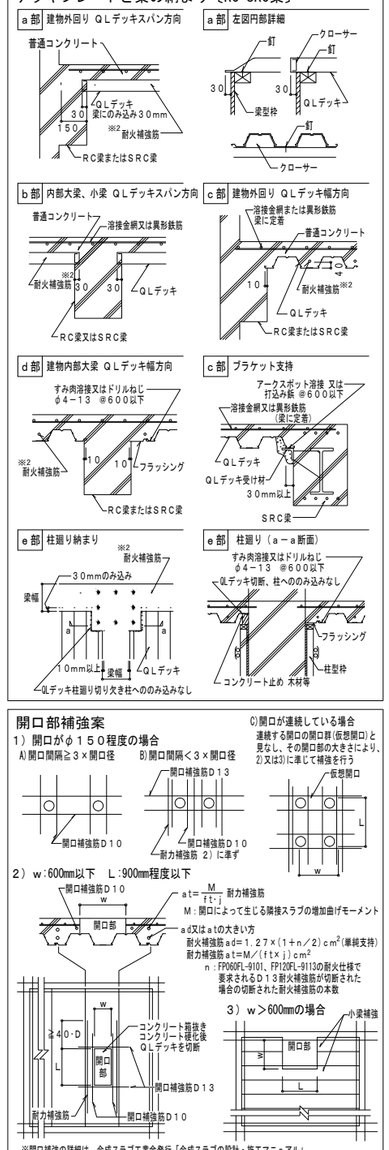


Ｃ）大梁がＲＣ又はＳＲＣ造、小梁がＳ造の場合

ＱＬデッキが連続支持となる場合、ＲＣ又はＳＲＣ造の大梁部側では端部補強筋を配筋する。



デッキプレートと梁の納まり［RC・SRC梁］



開口部補強案

1）開口がφ１５０程度の場合

A）開口間隔≧３×開口径

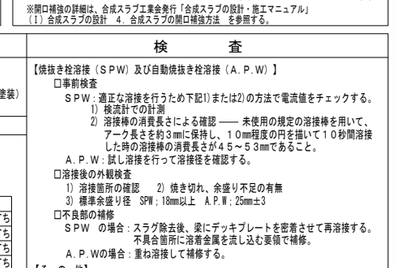
B）開口間隔＜３×開口径

C）開口が連続している場合

連続する開口の開口群(仮想開口)と見なし、その開口部の大きさにより、2)又は3)に準じて補強を行う

2）w：600mm以下　L：900mm程度以下

3）w＞600mmの場合



※開口補強の詳細は、合成スラブ工業会発行「合成スラブの設計・施工マニュアル（Ⅰ）合成スラブの設計　4．合成スラブの開口補強方法　を参照する。

施工

施工順序

墨出し
↓
敷込み仮止め溶接
↓
ＱＬデッキと梁との接合
1）頭付きスタッド
2）打込み鋲
3）焼抜き栓溶接
↓
溶接金網敷込み
↓
検　査
↓
コンクリート打設

敷　込　み

鉄骨梁の場合
1）墨出し線に合わせて１枚目のデッキプレートを仮止め溶接した後、順次適当な枚数（５～１０枚）ごとに仮止め溶接する。
2）各大梁上にデッキプレートの清部が乗るように敷込む。



デッキプレート幅方向のかかり代は、５０mm以上あることを確認する。
（頭付きスタッドの場合は３０mm以上）
3）デッキプレート長手方向の支点のかかり代は、５０mm以上あることを確認する。

ＲＣ梁またはＳＲＣ梁の場合
1）デッキプレートは梁型枠に釘止めする。
2）デッキプレートの梁型枠へののみ込み代が幅方向１０mm以上、長手方向が３０mmあることを確認する。

デッキプレートと梁との接合

1）頭付きスタッド
施工は、JASS6「鉄骨工事」による。
デッキプレートと梁とはアークスポット溶接等で接合する。

2）打込み鋲
施工は打込み鋲製造業者の施工要領による。
施工の仕様等については別途製造業者へご確認下さい。
日本ヒルティ(株)

3）焼抜き栓溶接
国土交通省告示第３２６号(平成14年4月16日制定)及び国土交通省告示第６０６号(平成19年6月20日改正)の第２接合ハ(4)焼抜き栓溶接に基づく下記仕様による。（梁フランジの表面処理条件：黒皮または一般鋼止め塗装）
合成スラブ工業会主催の「焼抜き栓溶接講習会」の受講が望ましい。

焼抜き栓溶接［ＳＰＷ］ ―アーク手溶接―

（１）溶接機
交流アーク溶接機 ＡＷ２５０Ａ以上　エンジン溶接機 ２３０Ａ以上
（２）溶接棒
ＪＩＳ Ｚ ３２１１のＥ４３１６、Ｅ４９１６ に定める低水素系被覆アーク溶接棒で棒径４mmのもの
（３）標準溶接条件

工　程	手　順・要　領
1 アーク発生	ＱＬデッキを梁になじませ（隙間２mm以下）溶接棒をＱＬデッキに垂直にしてアークを発生させる。
2 ＱＬデッキ焼抜き	溶接棒を若干引き上げてアークを飛ばし、径10mm弱で"の"の字を描いてＱＬデッキを焼抜く。
3 押し込み・溶着	溶接棒を梁上まで押し込み、焼抜きの内側をなぞるように円中央へ２～３回転しながら溶着。
4 整　形	溶着金属を整え、中央部でそっと溶接棒を引き上げる。スラグを除去して仕上がりを確認。

溶接 梁フランジ板厚：６mm以上
溶 接 電 流　：１９０～２３０Ａ(標準２１０Ａ)
（４）溶接工の資格
ＪＩＳ Ｚ ３８０１、ＪＩＳ Ｚ ３８４１ における基本級の有資格者
（５）手順・要領
右の１～４の順に行う。
溶接時間の目安；電流値２１０Ａ(標準)の場合８秒程度

自動焼抜き栓溶接［Ａ．Ｐ．Ｗ］ ― ＣＯ２アークスポット溶接 ―

（１）一次側電源の必要容量：仮設電力の場合　１８ＫＶＡ以上　３相　２００Ｖ
発電機の場合　３５ＫＶＡ以上　３相　２００Ｖ
（２）ワイヤの種類と直径　：ＹＧＷ　１１、１２　φ１.２mm
（３）標準溶接条件：下表

ＱＬデッキ板厚	梁フランジ板厚	電流（Ａ）	電圧（Ｖ）	アークタイム（秒）
1.2mm	6～9mm未満	３００～３２０	３３～３５	3.0～4.0×1度打ち
	9mm以上	３００～３２０	３３～３５	3.0～4.0×2度打ち
1.6mm	6～9mm未満	３００～３２０	３４～３６	3.5～4.5×1度打ち
	9mm以上	３００～３２０	３４～３６	4.0～4.5×2度打ち

注１．デッキプレート　板厚１.２、１.６mm　表面条件：Ｚ１２、Ｚ２７、裏面塗装
２．ＣＯ２ガス流量：２０ﾘｯﾄﾙ／分以上

検　　査

【焼抜き栓溶接（ＳＰＷ）及び自動焼抜き栓溶接（Ａ．Ｐ．Ｗ）】
□事前検査
ＳＰＷ：適正な溶接を行うため下記1)または2)の方法で電流値をチェックする。
1）検流計での計測
2）溶接棒の消費長さによる確認 ―― 未使用の規定の溶接棒を用いて、アーク長さを約３mmに保持し、１０mm程度の円を描いて１０秒間溶接した時の溶接棒の消費長さが４５～５３mmであること。
Ａ．Ｐ．Ｗ：試し溶接を行って溶接径を確認する。
□溶接後の外観検査
1）溶接箇所の確認　2）焼き切れ、余盛り不足の有無
3）標準余盛り径　ＳＰＷ：10mm以上　Ａ．Ｐ．Ｗ：25mm±3
□不良部の補修
ＳＰＷ の場合：スラグ除去後、梁にデッキプレートを密着させて再溶接する。
不具合箇所に溶着金属を流し込む要領で補修。
Ａ．Ｐ．Ｗの場合：重ね溶接して補修する。

【その他】
(1)ＱＬデッキ相互の嵌合状況　(2)ひび割れ拡大防止筋の敷込み状況　(3)開口部の補強状況

施工時許容スパン表（デッキプレートの検討）

注１：普通コンクリート（単位体積重量24.0kN/m³）、
表面処理が亜鉛めっきの場合
注２：（）数値は表面処理がめっきなしまたは塗装品の許容スパンを示す。
注３：表を超える場合は、別途支保工が必要です。

QL99-50　（単位：m）

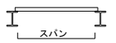
コンクリート厚(mm)		60		70		80		90		100	
	板厚(mm)	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6
支持条件	単純(内法)	2.52 (2.52)	2.75 (2.75)	2.47 (2.47)	2.69 (2.69)	2.42 (2.42)	2.64 (2.64)	2.37 (2.37)	2.59 (2.59)	2.33 (2.33)	2.54 (2.54)
	2連続	3.38 (3.38)	3.67 (3.67)	3.31 (3.31)	3.61 (3.61)	3.24 (3.24)	3.54 (3.54)	3.18 (3.15)	3.47 (3.47)	3.12 (3.07)	3.41 (3.41)
	3連続	3.12 (3.12)	3.40 (3.40)	3.05 (3.05)	3.33 (3.33)	2.99 (2.99)	3.26 (3.26)	2.93 (2.93)	3.20 (3.20)	2.88 (2.88)	3.15 (3.15)

QL99-75　（単位：m）

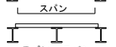
コンクリート厚(mm)		60		70		80		90		100	
	板厚(mm)	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6	1.2	1.6
支持条件	単純(内法)	3.31 (3.31)	3.61 (3.61)	3.24 (3.24)	3.55 (3.55)	3.18 (3.18)	3.48 (3.48)	3.13 (3.13)	3.42 (3.42)	3.07 (3.07)	3.37 (3.37)
	2連続	4.02 (3.89)	4.30 (4.30)	3.96 (3.78)	4.24 (4.24)	3.91 (3.67)	4.18 (4.18)	3.83 (3.58)	4.13 (4.13)	3.73 (3.49)	4.07 (4.07)
	3連続	3.78 (3.78)	4.05 (4.05)	3.73 (3.73)	3.99 (3.99)	3.68 (3.68)	3.93 (3.93)	3.63 (3.63)	3.88 (3.88)	3.58 (3.58)	3.83 (3.83)

S造・施工時のスパンの取り方

【単純支持】



【連続支持】



2021／7／01

構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面Ｎｏ.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準	NON	2025/03	S-08	武村	竹波	竹波	竹波

ＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗ　設計・施工標準　　JFE 建材 株式会社

1 型式・質量および断面性能

JF75 ⇒熊谷工場製造
JF75W⇒神戸工場製造

	型式	板厚[mm]	製品質量 亜鉛めっき(Z12) [kg/枚]	製品質量 亜鉛めっき(Z12) [kg/m²]	断面性能 I [x10⁴mm⁴/m]	断面性能 Z [x10³mm³/m]
■	ＪＦ７５－０８	0.8	7.95	12.6	120	18.7
	ＪＦ７５Ｗ－０８		7.97	12.6		
□	ＪＦ７５－１０	1.0	9.88	15.7	150	24.4
	ＪＦ７５Ｗ－１０		9.88	15.7		
□	ＪＦ７５－１２	1.2	11.8	18.7	180	29.4
	ＪＦ７５Ｗ－１２		11.8	18.7		
□	ＪＦ７５－１４	1.4	13.7	21.8	206	34.4
	ＪＦ７５Ｗ－１４		13.6	21.6		
□	ＪＦ７５－１６	1.6	15.7	24.9	232	39.3
	ＪＦ７５Ｗ－１６		15.5	24.6		

(注) JF75（熊谷工場）とJF75W（神戸工場）の使い分けについて：製品は原則、指定搬入先に近い工場にて製造し出荷致します

ＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗの設計・施工は、(一社)公共建築協会「平成18年版 床型枠用鋼製デッキプレート(フラットデッキ)設計施工指針・同解説」による。
ＪＦ７５評価番号［評価 第911-0100A003号］

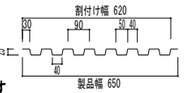
種類の記号および材料

種類記号	付着量記号	最小付着量(両面)[g/m²]	使用材料
SGCC	□ Z12	120	JIS G 3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」 降伏点205N/mm²、引張強さ295N/mm²以上
SGHC	□ Z27	275	
SZACC SZAHC	□ Y18	180	JIS G 3317「溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯」 降伏点205N/mm²、引張強さ295N/mm²以上
□ その他（　　）			

（注）断面性能のＩは、断面2次モーメント(全断面有効)、Ｚは断面係数(有効幅考慮50t)を示します
Y18及びその他製品については、事前にご相談下さい

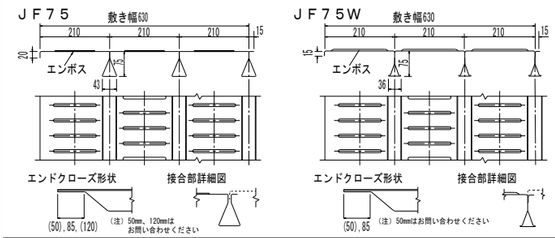
キーストンプレート

原則として、デッキ長さが1,000mm未満の場合に使用。
(L=350～1,200mm)※板厚：0.8mm



キーストンプレート				
板厚 mm	全断面有効 断面2次モーメント 1x10⁴mm⁴/m	有効幅考慮 断面係数 2x10³mm³/m	製品質量 亜鉛めっき(Z12) kg/m	亜鉛めっき(Z27) kg/m
0.8	12.2	9.80	5.89	6.07

2 製品仕様

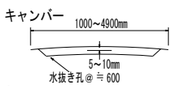


製品長さ・エンドクローズ寸法

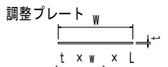
種類	エンドクローズ長さ	製品長さ
ＪＦ７５	85、(50)、120) mm	1000～4900 mm
ＪＦ７５Ｗ	85、(50) mm	1000～4900 mm

（注）50mm、120mmはお問い合わせください

キャンバー

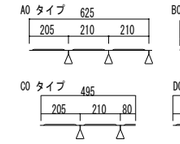


調整プレート



（注）RC梁型枠用調整プレートには釘孔加工(@600mm)有り

役物デッキプレート



3 断面応力・たわみの計算

断面応力・たわみの計算は、一般に単純支持梁モデルを用いて計算する
算定式および許容値は、下表とする

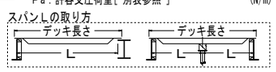
項目		算定式
曲げ応力 (N/mm²)	[Ｓ造]	$\sigma = \frac{M}{Z} = \frac{WL^2}{8Z} \times 10^3 \leqq f_b$
	[RC・SRC造]	$\sigma = \frac{M}{Z} = \frac{WL^2}{8Z} \times 10^3 \leqq \frac{f_b}{\alpha}$
たわみ (mm)		$\delta = \frac{5WL^4}{384EI} \times 10^9 \leqq \frac{Lx10^2}{180} + 5$
支圧耐力 (N/m)		P＝WL ≦ Pa

記号説明
σ：曲げ応力度
fb：許容曲げ応力度　fb＝205 (N/mm²)
M：最大曲げモーメント (N-mm/m)
Z：断面係数（有効幅５０ｔ考慮） (mm³/m)
δ：最大たわみ (mm)
C：たわみ算定用係数　(C=1.6)
W：設計（上載）荷重 (N/m²)
L：スパン (mm)
E：鋼材のヤング係数 E=2.05x10⁵ N/mm² (N/mm²)
I：断面２次モーメント（全断面有効） (mm⁴/m)
α：施工割増係数［別表参照］
P：ＪＦデッキリブ支圧荷重 (N/m)
Pa：許容支圧荷重［別表参照］ (N/m)

許容支圧荷重Pa（幅1m当たり）

板厚 (mm)	0.8	1.0	1.2
許容支圧荷重 (N/m)	9,800	14,700	19,600

スパンしの取り方



設計荷重 W
W=W1＋ W2＋ W3　　W1：スラブ自重＝（スラブ厚）×（鉄筋コンクリート単重）
W2：フラットデッキ自重　　W3：作業荷重(下記)

施工時作業荷重	□ 1,470N/m²［ポンプ工法］　□ 2,450N/m²［ホッパー・バケット工法］ □（　　N/m²）［　　］
コンクリート［鉄筋コンクリート単重］	□ 普通コンクリート［24kN/m³］　□ 軽量コンクリート［20kN/m³］ □（　　）［　　kN/m³］

施工割増係数（支持梁がＲＣ造またはＳＲＣ造の場合）

施工状況の種類	施工割増係数(α)	施工条件など
□ Ⅰ類	1.0	RC造またはSRC造の場合で、荷重条件、施工条件等の適切な設定、管理により施工上の安全性が確実に確保される場合
□ Ⅱ類	1.25	Ⅰ類以外のRC造またはSRC造の場合で、板厚1.0mmまたは板厚1.2mmのフラットデッキを使用する場合
□ Ⅲ類	1.5	Ⅰ類以外のRC造またはSRC造の場合で、板厚0.8mmのフラットデッキを使用する場合

スラブ厚さ別許容スパン早見表［施工時作業荷重1,470N/m²、施工割増係数考慮］

建物の構造		S造、RC・SRC造					RC・SRC造		
RC・SRC造施工状況の種類		Ⅰ類[施工割増係数：α=1.0]					Ⅱ類[α=1.25]		Ⅲ類[α=1.5]
スラブ厚S(mm)	板厚 t	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.4mm	1.6mm	1.0mm	1.2mm	0.8mm
普通コンクリート 24 kN/m²	120	2,610	2,870	3,040	3,160	3,270	2,660	2,910	2,130
	125	2,580	2,850	3,010	3,130	3,250	2,630	2,870	2,100
	130	2,540	2,830	2,990	3,110	3,220	2,590	2,840	2,080
	135	2,510	2,810	2,960	3,090	3,200	2,560	2,800	2,050
	140	2,480	2,790	2,940	3,060	3,170	2,530	2,770	2,030
	145	2,450	2,770	2,920	3,040	3,150	2,500	2,740	2,000
	150	2,420	2,750	2,900	3,020	3,130	2,470	2,700	1,980
	155	2,400	2,730	2,880	3,000	3,110	2,440	2,670	1,960
	160	2,370	2,700	2,860	2,980	3,080	2,410	2,640	1,930
	170	2,320	2,640	2,820	2,940	3,040	2,360	2,590	1,890
	180	2,270	2,590	2,790	2,900	3,010	2,320	2,540	1,850
	190	2,230	2,540	2,750	2,870	2,970	2,270	2,490	1,820
	200	2,180	2,490	2,720	2,830	2,940	2,230	2,440	1,780
	250	2,000	2,290	2,500	2,690	2,790	2,040	2,240	1,640
	300	1,860	2,120	2,330	2,510	2,660	1,900	2,080	1,520
軽量コンクリート 20 kN/m²	120	2,760	2,980	3,140	3,270	3,390	2,810	3,080	2,260
	125	2,730	2,950	3,120	3,250	3,360	2,780	3,040	2,230
	130	2,700	2,930	3,100	3,220	3,340	2,750	3,010	2,200
	135	2,670	2,910	3,070	3,200	3,310	2,710	2,970	2,180
	140	2,640	2,890	3,050	3,180	3,290	2,680	2,940	2,150
	145	2,610	2,870	3,030	3,150	3,270	2,650	2,900	2,130
	150	2,580	2,850	3,010	3,130	3,250	2,630	2,870	2,100
	155	2,550	2,830	2,990	3,110	3,220	2,600	2,840	2,080
	160	2,520	2,810	2,970	3,090	3,200	2,570	2,810	2,060
	170	2,470	2,780	2,940	3,060	3,160	2,520	2,760	2,020
	180	2,420	2,750	2,900	3,020	3,130	2,470	2,700	1,980
	190	2,380	2,710	2,870	2,980	3,090	2,420	2,650	1,940
	200	2,340	2,660	2,840	2,950	3,060	2,380	2,610	1,910
	250	2,150	2,450	2,690	2,810	2,910	2,190	2,400	1,760
	300	2,000	2,290	2,500	2,690	2,790	2,040	2,240	1,640

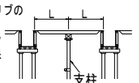
1)［　］部は、たわみで決定する範囲を示す。　　(単位：mm)

中間支保工を設ける場合の許容スパン早見表［施工時作業荷重1,470N/m²］

施工状況の種類	Ⅰ類			Ⅱ類		Ⅲ類
施工割増係数	α=1.0			α=1.25		α=1.5
スラブ厚S(mm) 板厚 t	0.8mm	1.0mm	1.2mm	1.0mm	1.2mm	0.8mm
普通コンクリート 24 kN/m²	120	4,370	4,900	4,900	4,900	4,900	4,270
	130	4,150	4,900	4,900	4,900	4,900	4,150
	140	3,950	4,900	4,900	4,900	4,900	3,950
	150	3,770	4,900	4,900	4,900	4,900	3,770
	160	3,600	4,900	4,900	4,830	4,900	3,600
	170	3,450	4,900	4,900	4,730	4,900	3,450
	180	3,310	4,900	4,900	4,640	4,900	3,310
	190	3,180	4,750	4,900	4,540	4,900	3,180
	200	3,060	4,570	4,900	4,460	4,880	3,060
	250	2,570	3,850	4,900	3,850	4,480	2,570
	300	2,220	3,330	4,420	3,330	4,170	2,220
軽量コンクリート 20 kN/m²	120	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,520
	130	4,670	4,900	4,900	4,900	4,900	4,410
	140	4,450	4,900	4,900	4,900	4,900	4,310
	150	4,260	4,900	4,900	4,900	4,900	4,210
	160	4,080	4,900	4,900	4,900	4,900	4,080
	170	3,920	4,900	4,900	4,900	4,900	3,920
	180	3,770	4,900	4,900	4,900	4,900	3,770
	190	3,630	4,900	4,900	4,850	4,900	3,630
	200	3,500	4,900	4,900	4,770	4,900	3,500
	250	2,970	4,430	4,900	4,390	4,810	2,970
	300	2,570	3,850	4,900	3,850	4,480	2,570

(単位：mm)

1) 上表の数値は、中間支保工を設ける場合のＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗリブの許容支圧荷重によって決まる許容スラブスパンＬを示す
2) ＲＣ造またはＳＲＣ造において梁側板型枠でＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗを支持する場合、スラブスパンが３.０ｍを超えるときは中間支保工を設けることを原則とする
3) ＪＦ７５・ＪＦ７５Ｗ製品仕様の最大長さは４.９ｍ

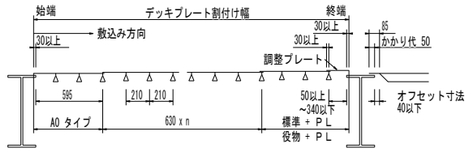


4 納まり例

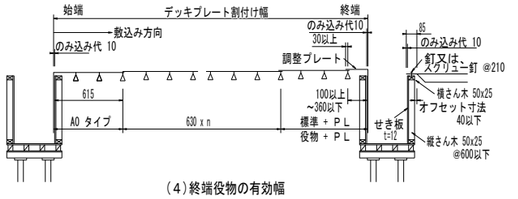
4-1 割付け

幅方向の割付けは、標準品（６３０幅）をベースに割付ける
始端・終端調整には役物、調整プレートを使用する

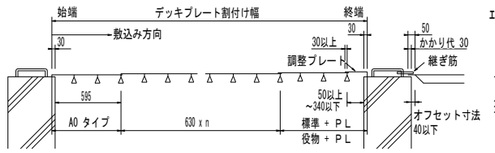
(1)鉄骨造（Ｓ造）



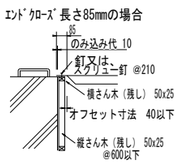
(2) 鉄筋コンクリート造（ＲＣ造） 鉄骨鉄筋コンクリート造（ＳＲＣ造）



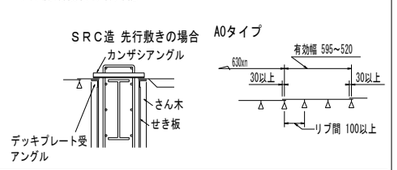
(3)ＲＣ置きスラブ（地中梁）



ｴﾝﾄﾞｸﾛｰｽﾞ長さ85mmの場合



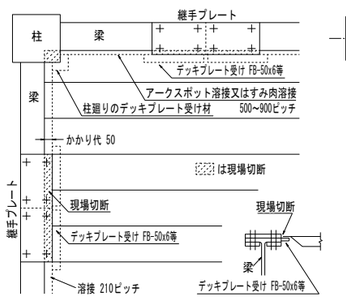
(4)終端役物の有効幅



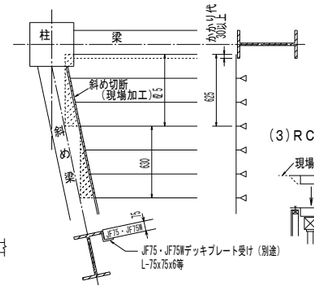
4-2 各所の納まり

デッキプレート受けは、設計荷重を十分支持可能な部材及び取付方法とする
デッキプレート受けのサイズは監理者の承認を得て決定すること

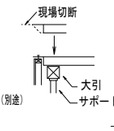
(1)Ｓ造継手プレート部の納まり
※柱コーナーおよび継手プレート部の切断は現場加工



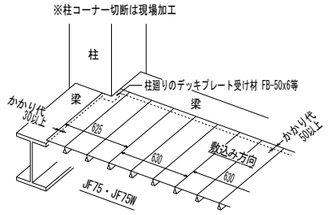
(2)Ｓ造斜め梁の納まり



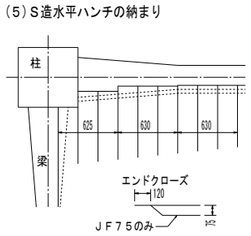
(3)ＲＣ、ＳＲＣ造斜め梁



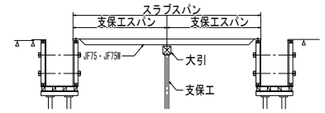
(4)Ｓ造柱廻りの納まり
※柱コーナー切断は現場加工



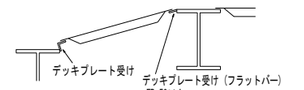
(5)Ｓ造水平ハンチの納まり



4-3 中間支保工設置



(6)Ｓ造梁の段差（レベル差）がある場合



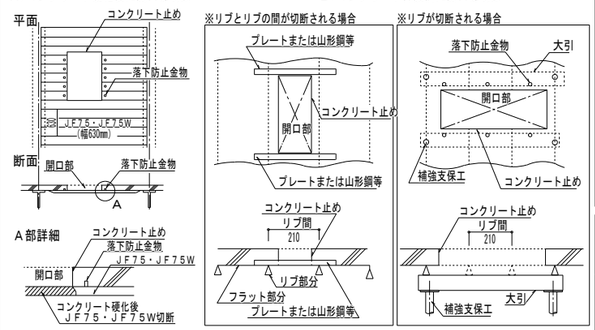
(7)Ｓ造床板と梁に段差のある場合



4-4 開口部納まり例

配線・配管・空調ダクト等の開口部の施工は、原則として下Ａ図のようにあらかじめ型枠で囲い、コンクリート打設硬化後にデッキプレートを切断する。開口部の大きさにより、デッキプレートとコンクリートが剥離する恐れがある場合、切断部周辺に「落下防止金物」を取り付ける

A)コンクリート硬化後に開口部切断　　B)コンクリート打設前に開口部切断



5 施工の要点

施工の要点は、下表のとおりとする
特殊なケースの場合は、その都度施工法を十分に検討し施工すること

項目	内容
1 保管	(1)敷込みとの関連を考えて保管場所を決める (2)薄板製品であることを十分認識し変形に注意する
2 吊り込み	(1)骨組の組立順序との関連を十分検討する (2)壁、パネル等の取り付け作業との関連を十分検討する (3)クレーンの揚重能力の検討、パレットを用いる等安全対策を検討する (4)揚重枚数と敷込み順序の関係等検討する
3 敷込み	(1)始端かり位置、中間位置(デッキ５枚位の位置)終端位置をマーキングする (2)割付方向は図面に従い、間違いの無いようにする (3)２枚目以降は最初のデッキプレートに倣うので最初の位置決めを正確に行い、確実に梁に固定する(落下防止等安全対策) (4)かかり寸法は厳守する (5)敷込み後は速やかに溶接等で固定する
4 作業床	(1)一時的な作業床で使用することも考えられるが、板厚が0.8～1.0mmのデッキプレートの場合は、接合部分の変形、破損しやすいので避ける (2)受圧面積が極端に小さい集中荷重は避ける。集中荷重がかかる場合は、厚板等を敷く等の措置により受圧面積を大きくする (3)油等コンクリートに有害なものは、コンクリート打設前までに取り除く (4)資材等の仮置は避ける。止むを得ず仮置する場合は、デッキプレートに負担がかからないよう十分配慮する。特に0.8～1.0mmは注意する
5 ｺﾝｸﾘｰﾄ打設	(1)打設は打設荷重等の施工荷重を極力低減するようにし、過荷重には十分注意する (2)打設は、コンクリートの山（集中荷重）をつくらないようにする

特記(施工)	

2022／07／21

構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面Ｎｏ.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	ﾌﾗｯﾄﾃﾞｯｷ標準仕様書	NON	2025/03	S-09	武村	竹波	竹波	竹波

スマートダイアⅡ工法設計施工標準図

2024/01

大臣認定　MSTL-0545 （鍛鋼）

BCJ評定　BCJ評定-ST0194

本工法の設計・施工は、鋼構造接合部設計指針、冷間成形角形鋼管設計施工マニュアル、鋼構造設計規準、建築工事標準仕様書 ＪＡＳＳ 6 鉄骨工事に準拠する

センクシア株式会社

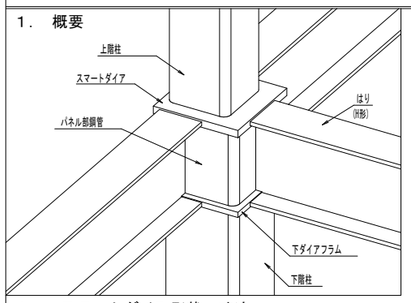
構造東京本店　ＴＥＬ　０３－４２１４－１９２８
札幌支店　ＴＥＬ　０１１－７０８－１１７７
東北支店　ＴＥＬ　０２２－２１３－５５９５
関東支店　ＴＥＬ　０２７－３２２－９４１１
中部支店　ＴＥＬ　０５２－５８２－３３５６
北陸支店　ＴＥＬ　０７６－２３３－５２６０
関西支店　ＴＥＬ　０６－６３９５－２１３３
中四国支店　ＴＥＬ　０８２－２４０－１６３０
九州支店　ＴＥＬ　０９２－４５２－０３４１

ＵＲＬ：　https://www.senqcia.co.jp/

⚠注意　本資料以外の施工方法で行った場合、スマートダイアの性能が発揮できなくなります。施工を行う前に、本仕様書を十分に確認してください。

設　　計

1．概要



2．スマートダイア材質

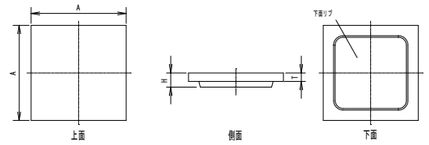
	規格・国土交通大臣認定		基準強度(F値)	対象型式
鋼板タイプ(切削加工)	TMCP325G※		325N/mm²	SDe
鋼板タイプ(切削加工)高強度対応品	TMCP385G※		385N/mm²	HSDe
鍛鋼タイプ：HFW490dno2	ＳＮ４９０Ｃ相当	MSTL-0545	329N/mm²	SD

※建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定を取得した材料を使用

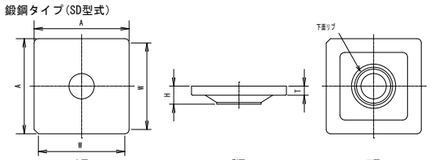
3．適用範囲及び適用規定

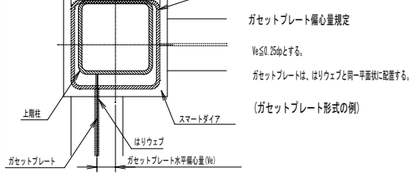
構造種別	鉄骨造（鋼管コンクリート構造は除く）
品種	パネル部鋼管(下階柱)サイズ：□300, □350, □400, □450, □500, □550, □600, □650, □700, □750, □800 ・上階柱は、上記パネル部鋼管サイズに対し50mm、100mmまたは150mm小さい鋼管を用いる。 ダイアフラム側面とパネル部鋼管外面までの距離（出寸法）δ1が25mmまたは30mm
適用柱	550ニュートン級以下（基準強度F=385N/mm²以下）の角形鋼管 上階柱F値≦パネル部鋼管F値≦スマートダイアF値 (BCP325, BCP235, BCR295, TSC295, UBCR285, JBCR385　等) (溶接組立箱形断面柱の場合は、別途お問合せ下さい。) (上階柱の基準強度が325N/mm²より大きく、かつ接合部係数αが1.2より大きい場合はお問合せください。) ・上階柱とパネル部鋼管とのサイズ差は50mm、100mmまたは150mm(それ以外は不可) ・上階柱板厚tc≦パネル部鋼管板厚tp (tp<tc≦tp+4の組み合わせで使用する場合は、別途お問い合わせください。) ・パネル部鋼管と下階柱は同幅とする。　・柱が傾斜する場合は使用不可
適用はり	550ニュートン級以下（基準強度F=385N/mm²以下）　はりF値≦スマートダイアF値 フランジ幅(Bf)：Bf≦min(dp, 650mm)、フランジ厚(tf)：tf≦(T-6)mm
ブレース	スマートダイアに取付く場合は、ガセットプレート形式またはブラケット形式とし、スマートダイアにかかる応力を考慮し、適用軸力範囲に収まることを確認する。
ガセットプレート（ブラケットウェブ）	550ニュートン級以下（基準強度F=385N/mm²以下）　ガセットプレートF値≦スマートダイアF値 ガセットプレート水平偏心量（We）は0.25dp以下とする。（dp：パネル部鋼管の幅）
上階 階高	h≧2.5dp（dp:パネル部鋼管の幅）
柱芯間距離	L≧1.25dp（dp:パネル部鋼管の幅）
適用軸力範囲	-0.5Ny ≦ N ≦ +0.5Ny　(Ny：上階柱の降伏軸耐力) ルート3設計の場合のN：崩壊メカニズム時の軸力 ルート3以外の場合のN：地震力による軸力をγ倍した値（ルート1-1：γ=1, ルート1-2：γ=1.67, ルート2：γ=2）

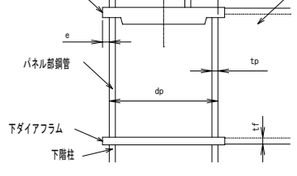
鋼板タイプ（SDe型式，HSDe型式）



鍛鋼タイプ（SD型式）







型式表示

HSDe 500-150W

- 無：出寸法25mm
- W：出寸法30mm
- 最大絞り量
- パネル部鋼管(下階柱)サイズ
- SDe：鋼板(孔なし)
- HSDe：鋼板(孔なし)
- SD：鍛鋼(孔あり)

柱符号	層	採用(数量)	型式名		適用柱 パネル部鋼管 幅 dp(mm)	パネル部鋼管 板厚 tp(mm)	上階柱 幅 dc(mm)	上階柱 板厚：tc(mm) 下記寸法かつtc≦tp	上下鋼管サイズ差 s(mm)	適用はり はりフランジ 幅 Bf(mm)	はりフランジ 板厚 tf(mm)	スマートダイア 寸法 外形 A(mm)	平坦部幅 W(mm)	高さ H(mm)	板厚 T(mm)	質量 (kg)	ダイアフラム出寸法 e(mm)
SDe型式：鋼板タイプ（基準強度325N/mm²：490ニュートン級）																	
			SDe300-50		□300	19以下	□250	16以下	50	300以下	19以下	350		42	25	31	25
C2a	3層	8	SDe300-150			19以下	□200, 150	12以下	100, 150	300以下	23以下	350		49	29	36	
C1a, C1	2層	4	SDe350-50		□350	22以下	□300	19以下	50	350以下	26以下	400		54	32	53	
			SDe350-150			22以下	□250, 200	16以下	100, 150	350以下	32以下	400		65	38	62	
			SDe400-50		□400	25以下	□350	22以下	50	400以下	33以下	450		65	39	82	
			SDe400-150			25以下	□300, 250	19以下	100, 150	400以下	37以下	450		72	43	91	
			SDe450-50		□450	25以下	□400	25以下	50	450以下	39以下	500		75	45	119	
			SDe450-150			25以下	□350, 300	22以下	100, 150	450以下	42以下	500		80	48	127	
			SDe500-50		□500	25以下	□450	25以下	50	500以下	42以下	550		80	48	157	25
			SDe500-150			25以下	□400, 350	25以下	100, 150	500以下	46以下	550		87	52	170	
			SDe500-150W			32以下	□400, 350	25以下	100, 150　※2	500以下	48以下	560		90	54	176	30
			SDe550-50		□550	25以下	□500	25以下	50	550以下	44以下	600		83	50	196	25
			SDe550-150			25以下	□450, 400	25以下	100, 150	550以下	48以下	600		90	54	212	
			SDe550-150W			32以下	□450, 400	32以下	100, 150　※2	550以下	54以下	610		100	60	236	30
			SDe600-150		□600	25以下	□550, 500, 450	25以下	50, 100, 150	600以下	51以下	650		95	57	266	25
			SDe600-150W			32以下	□550, 500, 450	32以下	50, 100, 150	600以下	54以下	660		100	60	281	30
			SDe650-150		□650	25以下	□600, 550, 500	25以下	50, 100, 150	650以下	54以下	700		100	60	324	25
			SDe650-150W			32以下	□600, 550, 500	32以下	50, 100, 150	650以下	54以下	710		100	60	330	30
			SDe700-150		□700	25以下	□650, 600, 550	25以下	50, 100, 150	650以下	54以下	750		100	60	376	25
			SDe700-150W			32以下	□650, 600, 550	28以下	50, 100, 150	650以下	54以下	760		100	60	382	30
			SDe750-150W	※1	□750	32以下	□700, 650, 600	25以下	50, 100, 150	650以下	54以下	810		100	60	439	30
			SDe800-150W	※1	□800	32以下	□750, 700, 650	25以下	50, 100, 150	650以下	54以下	860		100	60	500	30
HSDe型式：鋼板タイプ高強度対応品（基準強度385N/mm²：550ニュートン級）																	
			HSDe450-150	※1	□450	25以下	□400, 350, 300	25以下	50, 100, 150	450以下	46以下	500		87	52	138	25
			HSDe500-150	※1	□500	25以下	□450, 400, 350	25以下	50, 100, 150	500以下	48以下	550		90	54	176	25
			HSDe500-150W	※1		32以下	□450, 400, 350	25以下	50, 100, 150	500以下	48以下	560		90	54	176	30
			HSDe550-150	※1	□550	25以下	□500, 450, 400	25以下	50, 100, 150	550以下	51以下	600		95	57	224	25
			HSDe550-150W	※1		32以下	□500, 450, 400	32以下	50, 100, 150	550以下	54以下	610		100	60	236	30
SD型式：鍛鋼タイプ（基準強度325N/mm²：490ニュートン級）																	
			SD300-50		□300	19以下	□250	16以下	50	300以下	19以下	350	310	50	25	25	25
			SD300-100			19以下	□200	12以下	100	300以下	23以下	350	310	57	29	31	
			SD350-50		□350	22以下	□300	19以下	50	350以下	26以下	400	360	64	32	39	
			SD350-100			22以下	□250	16以下	100	350以下	32以下	400	360	75	38	53	
			SD400-50		□400	25以下	□350	22以下	50	400以下	33以下	450	410	78	39	61	
			SD400-100			25以下	□300	19以下	100	400以下	37以下	450	410	85	43	75	
			SD450-50		□450	25以下	□400	25以下	50	450以下	39以下	500	460	90	45	82	
			SD450-100			25以下	□350	22以下	100	450以下	42以下	500	460	95	48	103	
			SD500-50		□500	25以下	□450	25以下	50	500以下	42以下	550	510	96	48	105	
			SD500-100			25以下	□400	25以下	100	500以下	46以下	550	510	104	52	136	

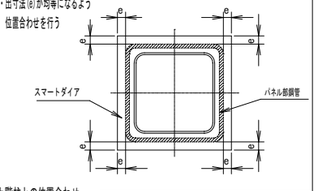
※1：受注生産品のため別途お問い合わせください。　※2：50mm絞りにも使用可能　※3：柱，はりの板厚は表記寸法超えても使用できる場合があります。

工　場　加　工

1．柱及びはり取付け位置

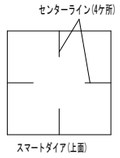
パネル部鋼管との位置合わせ

・出寸法(δ)が均等になるよう位置合わせを行う



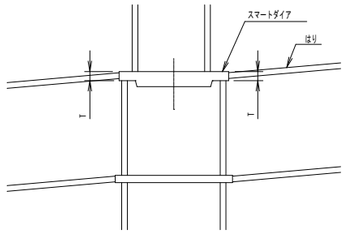
上階柱との位置合わせ

・スマートダイア上面のセンターラインを基準に上階柱の位置合わせを行う



はり取付け位置の確認(鉛直方向)

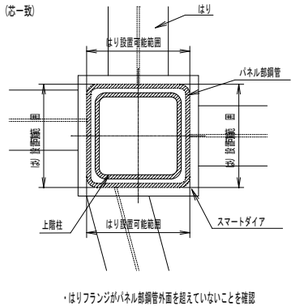
・はりフランジの端部は、スマートダイア側面（T寸法）の範囲内に接合されること。



はり取付け位置の確認(水平方向)

中柱

(芯一致)



・はりフランジがパネル部鋼管外面を超えていないことを確認

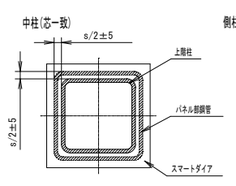
＊各型式とも中柱、側柱、隅柱の場合で兼用可。

⚠注意　工場加工にあたっての注意点

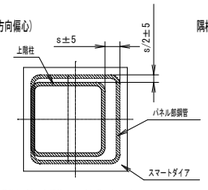
鋼板タイプには中央孔がありません。空気孔がないことを考慮して仕口の製作手順をご検討ください。
鋼板タイプに孔を設ける場合は規定があります。その際はセンクシアにお問い合わせください。
ガセットプレートの溶接はJASS6等に従い取付けしてください。

2．上階柱とパネル部鋼管 ずれの許容差

中柱(芯一致)

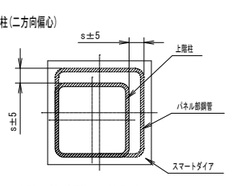


側柱(一方向偏心)



・上階柱とパネル部鋼管の1面が必ず一致のこと

隅柱(二方向偏心)



・上階柱とパネル部鋼管の2面が必ず一致のこと

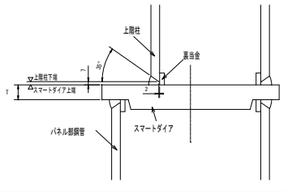
上階柱外面とパネル部鋼管外面ずれの許容差 ±5mm

3．溶接材料

被覆アーク溶接	JIS Z3211に基づき選定する。
ガスシールドアーク溶接	JIS Z3312に基づき選定する。

※JASS6や各材質に定められた指針に従い溶接材料を選定する。

4．開先形状（鋼管端部に開先を設ける）

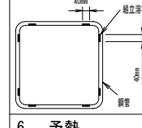


注意　開先形状は参考です。

スマートダイアとはりの溶接は、通常の通しダイアフラムと同様にはりに開先を設け溶接を行う。

開先形状はMO-TL-1B、GO-TL-1Bによる。

5．組立溶接

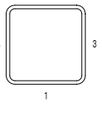


・組立溶接は脚長4~6mmで1パスとし、1箇所のビード長さは40mm程度とする。

6．予熱

鋼材の種類、板厚により必要に応じて適切な予熱を行う。
なお、スマートダイアの板厚はT寸法にて管理する。

7．本溶接



・柱とスマートダイアの溶接は完全溶込み溶接で行う。

・はりとスマートダイアの溶接は完全溶込み溶接で行う。

・対辺ごとに溶接を行う。
(自動ロボット溶接の場合はこれによらない)

8．検査

方　法	溶接部の検査を行う場合は、超音波探傷検査等で行う。 探傷は柱フランジ側から行う。	不良溶接部の補正	(1)有害な欠陥のある溶接部は除去して再溶接を行う。 (2)溶接部に割れの入った場合には、割れの両端から５０mm以上をはつり取り再溶接する。

構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面Ｎｏ.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	スマートダイアⅡ標準仕様書	NON	2025/03	S-10	武村	竹波	竹波	竹波

日鉄建材株式会社

(財)ベターリビング評定　CBL SS008-19(令和2年3月31日付)

角形鋼管柱･H形鋼はり接合工法 NDコア設計･施工標準仕様書【基本仕様編】

･本仕様書は別紙「NDコア設計･施工標準仕様書【柱･はり組合せ編】」と合わせて使用すること。
･本仕様書に記載の無い事項は、「NDコアカタログ」の他、日本建築学会「建築工事標準書･同解説　JASS6鉄骨工事」(一財)日本建築センター「2018年版冷間成形角形鋼管設計･施工マニュアル」および関連規基準に従うこと。

1.NDコア仕様

部材記号	長さ(mm)	設計記号 ※1	数量(個)	斜め切断(勾配)
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 ■ND300 □ND350 □ND400	551	ND3055	4	□斜め切断　(　　)度､寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 ■ND300 □ND350 □ND400	500	ND3050	4	□斜め切断　(　　)度､寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断　(　　)度､寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断　(　　)度､寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断　(　　)度､寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断　(　　)度､寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断　(　　)度､寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断　(　　)度､寸

※1　設計記号は、部材記号-長さ(mm)で記入する。　(例)ND300-600､ND200-550

(1)NDコアの形状寸法および重量

部材記号	外径B ※2 (mm)	外径B ※2 公差	板厚t (mm)	単位質量 (kg/m)	長さ範囲 ※3 (mm)		材質	断面形状 ※4※5
ND150	152	+2.0 -2.0	16.5	69.8	150～	+3.0 -0	SN490B-ND ※6	B t B ND150～ND200 / B t B ND250～ND400
ND175	177		17.0	85.1				
ND200	202		22.0	124				
ND250	252		24.0	184				
ND300	302		29.0	265				
ND350	352		33.8	360				
ND400	402		38.6	470				

※2　コラムとの食い違い防止のため､NDコアの外径Bを基準寸法としている。
※3　NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。
※4　NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため､はり取付時はグラインダで仕上げをするかもしくははりウェブを切り欠くなど適切に処置すること
※5　NDコアの角部に突起が生じてはりと干渉する場合､はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。
※6　SN490B-ND 日本産業規格JIS G 3136(建築構造用圧延鋼材)2012の9形状､寸法､質量およびその許容差には 適合していないが､当該JISに示されるSN490Bの4化学成分､6炭素当量及び溶接割れ感受性組成､7機械的性質　10外観､11試験､12検査､13再検査の各規定に適合している。
※7　NDコアの表面に錆が発生していることがあります。はりとの溶接時に支障となる錆は除去して下さい。

(2)適用する柱およびはり材

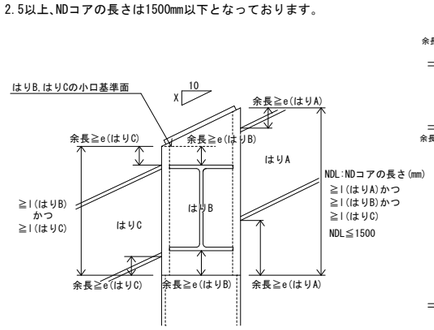
a)適用する柱材の材質および規格
･建築構造用冷間成形角形鋼管　BCR295
･一般構造用角形鋼管(JIS G 3466) STKR400

b)適用するはり材の材質および規格:下記規格のH形鋼
･建築構造用圧延鋼材(JIS G 3136) SN400B,C
･一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101) SS400
･溶接構造用圧延鋼材(JIS G 3106) SM400A,B

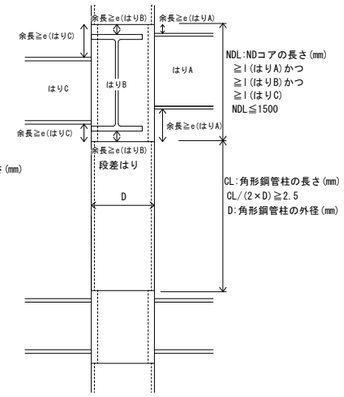
2.NDコア仕様の決め方

(1)NDコア長さLの設定方法と注意点

a)NDコアの長さLは、取付く各はり(最大で4方向)全てに対して、最小余長eを確保し、かつ最小長さl以上となるようにする。
　最小余長e、最小長さlは柱はりの組合わせで決まっている寸法であり「設計・施工標準仕様書【柱はり組合せ編】」を参照する。
b)はりに傾斜がある場合には、はり取り付き部の長さの増加を加えてNDコア長さを設定すること。
c)柱頭部上部を斜め切断仕様とする場合は、それぞれの接合面に対応する小口において、最小余長e、最小長さlを確保する。
　小口が傾斜している面では、低い位置を基準として最小余長e、最小長さlを確保する。
d)柱頭部の斜め切断の勾配は45°(10寸勾配)以下とする。(斜め切断は一方向のみとし、部分切断は不可)
e)NDコアは厚肉鋼管のため角形鋼管柱より剛性が大きい特徴があります。層に占めるNDコア全長の割合が大きい場合、曲げとせん断力の比率に応じ、柱の変形性能が変わります。そのため評定CBLSS08-19の適用範囲において柱せん断スパン比は2.5以上、NDコアの長さは1500mm以下となっております。

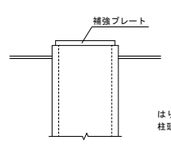


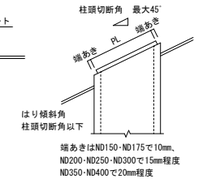
傾斜はり･斜め切断



(2)柱頭部仕様

a)柱頭部では、NDコア小口面に下表に示す補強プレートを取り付けること。
b)柱頭部を斜め切断する場合は、片流れの切断とし、切断角度は45°以下とする。
　(斜め切断は一方向のみとし､部分切断は不可)
c)どぶ付けめっきのため補強プレートに開口を設ける場合は、断面欠損を考慮し、板厚を割増すことが望ましい。



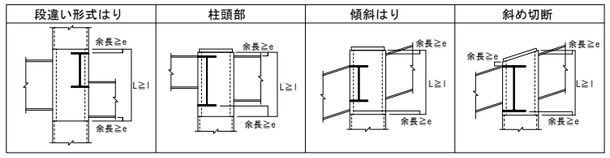


補強プレート仕様

NDコア部材記号	斜め切断無し 寸法(mm)	斜め切断無し 板厚(mm)	斜め切断有り 寸法(mm)	斜め切断有り 板厚(mm)
ND150	130×130	≧6	130×PL	≧6
ND175	155×155		155×PL	
ND200	170×170	≧9	170×PL	≧9
ND250	220×220		220×PL	
ND300	270×270	≧12	270×PL	≧12
ND350	310×310		310×PL	
ND400	360×360	≧16	360×PL	≧16

材質:SN400A,B,C､SS400､SM400A,B,C

【NDコア長さLの採り方例】



3.鉄骨躯体の設計方法

a)NDコアは柱･はり組合せ表の範囲において柱、はりに対して、許容応力度設計、保有耐力接合条件を満足しており、あらためて接合部の検討は不要である(【柱はり組合せ編】参照)。
b)NDコアを用いた柱はり接合部では、通しダイアフラム形式の架構と同様に節点を剛とし、柱およびはりを線材置換して、鉄骨フレームの設計を行うことができる。
c)NDコアを用いた柱およびはり等の鉄骨フレームの設計については、下記の規基準等によるものとし、通常の設計フローに従って、部材の設計、架構解析、耐力の確認等を行う。ただし、ルート3を用いて設計をする場合、NDコアは適用範囲においてパネル崩壊とならないため、柱はり耐力比から崩壊形を判定して保有耐力の検討を行う。
　･平成20年5月23日施行改正建築基準法
　･平成19年国土交通省告示第593号、第594号、第595号、第596号
　･(一財)日本建築センター「2020年版建築物の構造関係技術基準解説書」
　･同「2018年版冷間成形角形鋼管設計･施工マニュアル」

ルート1-1	通しダイアフラム形式のBCR295と同様にフレーム設計が可能。
ルート1-2	
ルート2	
ルート3	通しダイアフラム形式のBCR295と同様にフレーム設計が可能。 ただし、NDコア使用部においてパネル崩壊が生じないため、柱･はり耐力から崩壊形を判定して、フレーム設計を行う。 崩壊形の判定に影響しない、柱頭部については、特別な検討は不要である。

4.NDコア鉄骨製作要領

(1)鉄骨製作方法

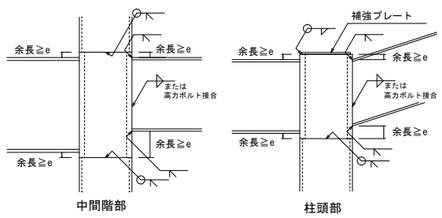
a)NDコアと柱およびはりとの接合は鉄骨製作業者が行い、施工管理は鉄骨製作業者に属する鉄骨製作管理技術者が行う。鉄骨製作に関し特に確認すべき事項については「NDコア鉄骨加工要領書」に示す。
b)記載なき事項については、(一社)日本建築学会「建築工事標準仕様書･同解説　JASS6鉄骨工事」、同「鉄骨工事技術指針」、および(一財)日本建築センター「2018年版冷間成形角形鋼管設計･施工マニュアル」による。

(2)接合方法

a)NDコアと柱およびはりフランジとの接合は完全溶け込み溶接とし、NDコアとはりウェブとの接合は隅肉溶接または高力ボルト接合とする。
b)NDコアとはりの接合はNDコア小口面から余長e以上を確保して接合する。余長eは別紙「柱はり対応表」にて特記の無い限りは25mmとする。
c)NDコアは、NDコア小口面から余長eを除いた全ての部分ではりの取り付けが可能だが、はり外面合せの場合、NDコアの角部分と裏当て金に隙間が生じたときは、隙間を溶接で埋めて本溶接を行う等適切に処置する。
d)NDコアとはりとの接合の際、NDコア製作時の溶接余盛とはりが接触する場合は、グラインダで平滑に仕上る等適切に処置する。

(3)柱頭部補強プレート取り付け方法

a)柱頭部は、NDコア小口面に右表に示す仕様の補強プレートを全周隅肉溶接により取り付ける。
b)全周隅肉溶接は右表に示す溶接サイズで、490N級の溶接ワイヤを用いて行う。
c)柱頭部を斜め切断すると、NDコア小口面の長さが増加するため、右図を参考に、実状に合わせて補強プレートを準備する。



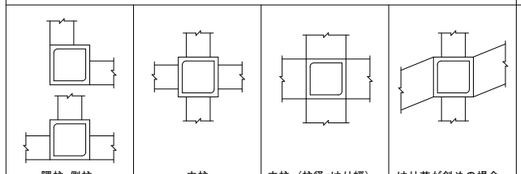
補強プレート取り付け仕様

NDコア部材記号	斜め切断無し 寸法(mm)	斜め切断無し 板厚※(mm)	斜め切断有り 寸法(mm)	斜め切断有り 板厚※(mm)	隅肉溶接仕様 溶接サイズ(mm)
ND150	130×130	≧6	130×PL	≧6	≧6
ND175	155×155		155×PL		
ND200	170×170	≧9	170×PL	≧9	≧9
ND250	220×220		220×PL		
ND300	270×270	≧12	270×PL	≧12	≧12
ND350	310×310		310×PL		
ND400	360×360	≧16	360×PL	≧16	≧16

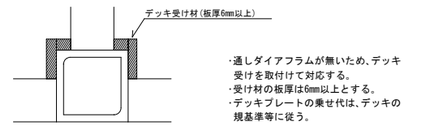
材質:SN400A,B,C､SS400､SM400A,B,C
※　角落ち防止のため、板厚は1サイズアップを推奨する。

5.NDコア納まり例

(1)はり取り付け位置

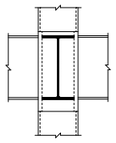


(6)デッキプレート納まり

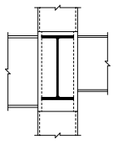


･通しダイアフラムが無いため、デッキ受けを取付けて対応する。
･受け材の板厚は6mm以上とする。
･デッキプレートの乗せ代は、デッキの規基準等に従う。

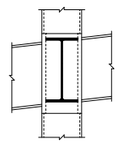
(2)一般部


一般部

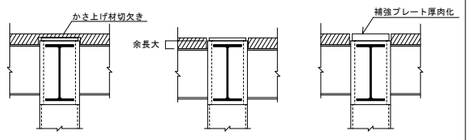
(3)段違い形式はり


はり下端の段差

(4)スロープ

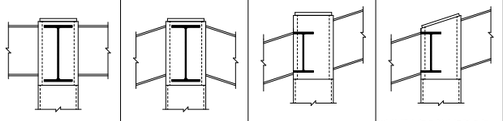

スロープ部

(7)NDコアと屋根用かさ上げ材の納まり



かさ上げ材切欠き　　余長を大きく取る　　補強プレートを厚くする場合

(5)柱頭部



陸屋根　　棟部　　桁部　　桁部(斜め切断)

(8)補強プレートどぶ付けめっき用開口



中央大+4隅小　　4隅大

※開口位置･大きさについては、どぶ付けめっきメーカーと相談して決めることが望ましい。
※開口を設ける場合は、断面欠損を考慮し、板厚を割増すことが望ましい。

構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村　耕輔　　一級建築士事務所登録　第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	NDコア設計施工標準仕様書（１）	NON	2025/03	S-11	武村	竹波	竹波	竹波

日鉄建材株式会社

(財)ベターリビング評定　CBL SS008-19(令和2年3月31日付)

角形鋼管柱･H形鋼はり接合工法　　NDコア設計･施工標準仕様書　【柱･はり組合せ編･別表　1/3 はり細幅】

･本紙は、「NDコア設計･施工標準仕様書【基本仕様編】」および「NDコア設計･施工標準仕様書【柱･はり組合せ編】」と合わせて使用すること。

1. 表の見方

使用する柱(横軸)、はり(縦軸)を選択し、NDコアの必要最小長さｌと余長の必要最小寸法※1ｅを確認する

※1　記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合、数値以上の余長を確保する。

･柱材:BCR295およびSTKR400の冷間ロール成形角形鋼管

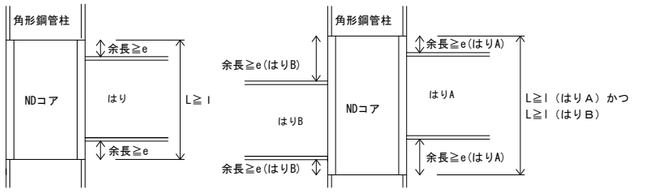
･はり材:400N級(SS400、SM400、SN400B･C等)のJIS G 3192記載のH形鋼

･NDコア長さL:NDコアの長さ

･最小長さｌ:柱はり組合せで決まるNDコアの最小長さ

･余長:NDコア小口面から はりフランジ端面までの距離

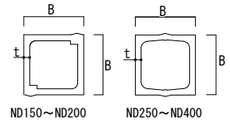
･最小余長e:確保する余長の最小値



2. NDコアの形状および寸法

部材記号	外径B※2 (mm)	公差	板厚t (mm)	単位質量 (kg/m)	長さ範囲※3 (mm)	公差	材質
ND150	152	+2.0 −2.0	16.5	69.8	150～	+3.0 −0	SN490B-ND※6
ND175	177		17.0	85.1			
ND200	202		22.0	124			
ND250	252		24.0	184			
ND300	302		29.0	265			
ND350	352		33.8	360			
ND400	402		38.6	470			

断面形状※4※5



※2　コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。

※3　NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。

※4　NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするか、もしくははりウェブを切り欠くなど適切に処置すること。

※5　NDコアの角部に突起が生じてはりと干渉する場合、はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。

※6　SN490B-ND 日本産業規格JIS G 3136(建築構造用圧延鋼材)2012の9形状、寸法、質量およびその許容差には適合してないが当該JISに示されるSN490Bの4化学成分、6炭素当量及び溶接割れ感受性組成、7機械的性質 10外観、11試験、12検査、13再検査の各規定に適合している。

3. 注意点

･組合せ表の最小長さｌ、最小余長ｅは、はりの短期降伏耐力をはり全断面を有効として設定している。

･NDコアの標準的な納まり等は、「NDコア設計･施工標準仕様書【基本仕様編】」に記載している。

･NDコアの表面に錆が発生していることがあります。はりとの溶接時に支障となる錆は除去して下さい。

4. NDコア最小長さｌと余長ｅ

※最小余長eに記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合は、数値以上の余長を確保する。

4-1. ND150～ND200

※表中のNG範囲は適用不可。

NDコア		ND150						ND175						ND200						
柱	径(材質)	□150(BCR295)			□150(STKR400)			□175(BCR295)			□175(STKR400)			□200(BCR295)			□200(STKR400)			
	板厚	6	9	12	6	9	12	6	9	12	6	9	12	6	9	12	6	9	12	
最小長さｌ最小余長ｅ		ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	
細幅はり	H-100×50×5×7	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	H-100×50
	H-125×60×6×8	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	H-125×60
	H-150×75×5×7	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	H-150×75
	H-175×90×5×8	225	225	225	225	225	225	225	225	225	232	225	225	225	225	225	225	225	225	H-175×90
	H-198×99×4.5×7	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	H-198×99
	H-200×100×5.5×8	250	250	250	250	250	250	270	250	250	280	250	250	250	250	250	250	250	250	H-200×100
	H-248×124×5×8	298	298	298	298	298	298	310	298	298	298	310	298	298	298	298	298	298	298	H-248×124
	H-250×125×6×9	300	300	300	300	300	300	300	345 35	303	300	335	325	300	300	300	300	300	300	H-250×125
	H-298×149×5.5×8	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	H-298×149
	H-300×150×6.5×9	350	350	350	350	350	350	350	350	373	350	350	350	350	350	350	350	350	350	H-300×150
	H-346×174×6×9	NG			NG			396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	H-346×174
	H-350×175×7×11							400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	H-350×175
	H-396×199×7×11							NG			NG			446	446	446	446	446	446	H-396×199
	H-400×200×8×13													450	450	450	450	450	450	H-400×200
	H-446×199×8×12													496	496	496	496	496	496	H-446×199
	H-450×200×9×14													500	500	500	500	500	500	H-450×200
	H-496×199×9×14													546	546	546	546	546	546	H-496×199
	H-500×200×10×16													550	550	550	550	550	550	H-500×200
	H-596×199×10×15													646	646	646	646	646	646	H-596×199
	H-600×200×11×17													650	650	650	650	650	650	H-600×200
	H-606×201×12×20													NG			NG			H-606×201

4-2. ND250～ND350

NDコア		ND250								ND300					ND350										
柱	径(材質)	□250(BCR295)				□250(STKR400)				□300(BCR295)					□300(STKR400)					□350(BCR295)					□350(STKR400)				
	板厚	6	9	12	16	6	9	12	16	6	9	12	16	19	6	9	12	16	19	9	12	16	19	22	9	12	16	19	22	
最小長さｌ最小余長ｅ		ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	ｌ ｅ	
細幅はり	H-100×50×5×7	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	H-100×50
	H-125×60×6×8	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	175	H-125×60
	H-150×75×5×7	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	H-150×75
	H-175×90×5×8	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	225	H-175×90
	H-198×99×4.5×7	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	248	H-198×99
	H-200×100×5.5×8	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	H-200×100
	H-248×124×5×8	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	298	H-248×124
	H-250×125×6×9	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	H-250×125
	H-298×149×5.5×8	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	348	H-298×149
	H-300×150×6.5×9	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	350	H-300×150
	H-346×174×6×9	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	396	H-346×174
	H-350×175×7×11	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	H-350×175
	H-396×199×7×11	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	H-396×199
	H-400×200×8×13	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450	H-400×200
	H-446×199×8×12	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	496	H-446×199
	H-450×200×9×14	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	H-450×200
	H-496×199×9×14	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	546	H-496×199
	H-500×200×10×16	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	551	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	550	H-500×200
	H-596×199×10×15	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	646	H-596×199
	H-600×200×11×17	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	650	H-600×200
	H-606×201×12×20	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	656	H-606×201

構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　　一級建築士事務所登録　第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	ND-7設計施工標準仕様書（２）	NON	2025/03	S-12	武村	竹波	竹波	竹波

日鉄建材株式会社

(財)ベターリビング評定　CBL SS008-19(令和2年3月31日付)

角形鋼管柱･H形鋼はり接合工法　　NDコア設計･施工標準仕様書　【柱･はり組合せ編･別表　2/3 はり中広幅】

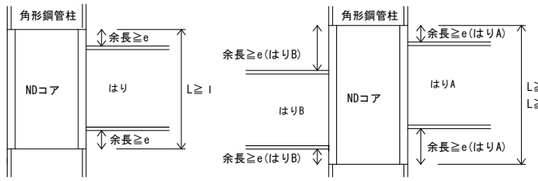
･本紙は、「NDコア設計･施工標準仕様書【基本仕様編】」および「NDコア設計･施工標準仕様書【柱･はり組合せ編】」と合わせて使用すること。

1.表の見方

使用する柱(横軸)、はり(縦軸)を選択し、NDコアの必要最小長さｌと余長の必要最小寸法ｅ※1を確認する

※1　記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合、数値以上の余長を確保する。

･柱材:BCR295およびSTKR400の冷間ロール成形角形鋼管
･はり材:400N級(SS400、SM400、SN400B･C等)のJIS G 3192記載のH形鋼
･NDコア長さL:NDコアの長さ
･最小長さｌ：柱はり組合せで決まるNDコアの最小長さ
･余長:NDコア小口面から はりフランジ端面までの距離
･最小余長e:確保する余長の最小値



2.NDコアの形状および寸法

	外径B※2		板厚t	単位質量	長さ範囲※3		材質	断面形状※4※5
部材記号	(mm)	公差	(mm)	(kg/m)	(mm)	公差		
ND150	152	+2.0 -2.0	16.5	69.8	150～	+3.0 -0	SN490B-ND※6	ND150～ND200
ND175	177		17.0	85.1				
ND200	202		22.0	124				
ND250	252		24.0	184				ND250～ND400
ND300	302		29.0	265				
ND350	352		33.8	360				
ND400	402		38.6	470				

※2　コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。
※3　NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。
※4　NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするか、もしくははりウェブを切り欠くなど適切に処置すること。
※5　NDコアの角部に突起が生じてはりと干渉する場合、はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。
※6　SN490B-ND 日本産業規格JIS G 3136(建築構造用圧延鋼材)2012の9形状、寸法、質量およびその許容差には適合していないが当該JISに示されるSN490Bの4化学成分、6炭素当量及び溶接割れ感受性組成、7機械的性質 10外観、11試験、12検査、13再検査の各規定に適合している。

3.注意点

･組合せ表の最小長さｌ、最小余長ｅは、はりの短期降伏耐力をはり全断面を有効として設定している。
･NDコアの標準的な納まり等は、「NDコア設計･施工標準仕様書【基本仕様編】」に記載している。
･NDコアの表面に錆が発生していることがあります。はりとの溶接時に支障となる錆は除去して下さい。

4.NDコア最小長さｌと余長ｅ

※最小余長eに記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合は、数値以上の余長を確保する。
※表中のNG範囲は適用不可。斜線部分は個別に検討が必要なので問い合わせ下さい。

4-1.ND150～ND200

NDコア		ND150												ND175												ND200												
柱	径(材質)	□150(BCR295)						□150(STKR400)						□175(BCR295)						□175(STKR400)						□200(BCR295)						□200(STKR400)					
	板厚	6		9		12		6		9		12		6		9		12		6		9		12		6		9		12		6		9		12		
最小長さｌ最小余長ｅ		l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	
中幅はり	H-148×100×6×9	212		198		198		217		198		198		243	35	217		198		250	30	230		198		198		198		198		198		198		198		H-148×100×6×9
	H-194×150×6×9																									244		244		244		244		244		244		H-194×150×6×9
	H-244×175×7×11													294		294				294		294		304		294		336		305		294		294		320		H-244×175×7×11
	H-294×200×8×12																									344		344		344		344		344		344		H-294×200×8×12
	H-340×250×9×14																																					H-340×250×9×14
	H-390×300×10×16																																					H-390×300×10×16
	H-440×300×11×18																																					H-440×300×11×18
	H-482×300×11×15																																					H-482×300×11×15
	H-488×300×11×18																																					H-488×300×11×18
	H-588×300×12×20																																					H-588×300×12×20
	H-594×302×14×23																																					H-594×302×14×23
	H-692×300×13×20																																					H-692×300×13×20
	H-700×300×13×24																																					H-700×300×13×24
	H-792×300×14×22																																					H-792×300×14×22
	H-800×300×14×26																																					H-800×300×14×26
	H-890×299×15×23																																					H-890×299×15×23
	H-900×300×16×28																																					H-900×300×16×28
	H-912×302×18×34																																					H-912×302×18×34
広幅はり	H-100×100×6×8	150		150		150		150		150		150		150		150		150		155		150		150		150		150		150		150		150		150		H-100×100×6×8
	H-125×125×6.5×9	213	35	190		175		220	35	198		175		265	70	235	45	180		270	70	245	55	205		175		175		175		175		175		175		H-125×125×6.5×9
	H-150×150×7×10																									210		200		200		215		200		200		H-150×150×7×10
	H-175×175×7.5×11																									290	35	280		250		225		285	30	265		H-175×175×7.5×11
	H-200×200×8×12																									250		350	70	330	60	250		255		345	65	H-200×200×8×12
	H-250×250×9×14																																					H-250×250×9×14
	H-300×300×10×15																																					H-300×300×10×15
	H-350×350×12×19																																					H-350×350×12×19

4-2.ND250～ND350

NDコア		ND250								ND300										ND350																		
柱	径(材質)	□250(BCR295)						□250(STKR400)				□300(BCR295)						□300(STKR400)						□350(BCR295)						□350(STKR400)						
	板厚	6		9		12		16		6		9		12		16		19		6		9		12		16		19		22		9		12		16		19		22		
最小長さｌ最小余長ｅ		l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	l	e	
中幅はり	H-148×100×6×9	198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		198		H-148×100×6×9
	H-194×150×6×9	244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		244		H-194×150×6×9
	H-244×175×7×11	335		310		294		294		294		294		294		294		294		294		294		294		294		294		294		294		294		294		294		H-244×175×7×11
	H-294×200×8×12	344		400		380		344		344		344		344		344		344		344		358		344		344		344		344		344		344		344		344		H-294×200×8×12
	H-340×250×9×14	390		390		390		492	75	390		390		390		390		390		390		390		470	35	455		422		430		407		390		390		390		H-340×250×9×14
	H-390×300×10×16																			440		440		440		440		505		440		565	70	525		488		445		H-390×300×10×16
	H-440×300×11×18																			490		490		490		490		490		490		490		640	90	605	65	560		H-440×300×11×18
	H-482×300×11×15																			532		532		532		532		532		532		532		570		532		532		H-482×300×11×15
	H-488×300×11×18																			538		538		538		538		538		538		538		603	35	635	40	590		H-488×300×11×18
	H-582×300×12×17																			632		632		632		632		632		632		632		632		632		632		H-582×300×12×17
	H-588×300×12×20																			638		638		638		638		638		638		638		638		638		638		H-588×300×12×20
	H-594×302×14×23																															644		644		644		644		H-594×302×14×23
	H-692×300×13×20									742		742		742		742		742		742		742		742		742		742		742		742		742		742		742		H-692×300×13×20
	H-700×300×13×24									750		750		750		750		750		750		750		750		750		750		750		750		750		750		750		H-700×300×13×24
	H-792×300×14×22									842		842		842		842		842		842		842		842		842		842		842		842		842		842		842		H-792×300×14×22
	H-800×300×14×26									850		850		850		850		850		850		850		850		850		850		850		850		850		850		850		H-800×300×14×26
	H-890×299×15×23									940		940		940		940		940		940		940		940		940		940		940		940		940		940		940		H-890×299×15×23
	H-900×300×16×28									950		950		950		950		950		950		950		950		950		950		950		950		950		950		950		H-900×300×16×28
	H-912×302×18×34																															962		962		962		962		H-912×302×18×34
広幅はり	H-100×100×6×8	150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		150		H-100×100×6×8
	H-125×125×6.5×9	175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		175		H-125×125×6.5×9
	H-150×150×7×10	200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		200		H-150×150×7×10
	H-175×175×7.5×11	275		250		225		225		275		260		235		225		225		225		225		225		225		225		225		225		225		225		225		H-175×175×7.5×11
	H-200×200×8×12	326	45	316	35	302		250		310		325	40	315	30	275		280		262		250		250		250		283		268		250		250		250		250		H-200×200×8×12
	H-250×250×9×14																			385	30	401	50	387	35	357		315		300		410	55	396	45	377	35	345		H-250×250×9×14
	H-300×300×10×15									350		430	35	510	105	510	105	465	75	350		350		430		510	105	510	105	485	90	465	70	425	30	387		350		H-300×300×10×15
	H-350×350×12×19																															400		590	95					H-350×350×12×19

構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	NDｺｱ設計施工標準仕様書（３）	NON	2025/03	S-13	武村	竹波	竹波	竹波

スリーエスG工法特記仕様書 [GBRC性能証明 第07-21号改2]

1．工事概要

本地業は、セメントスラリーを用いたスラリー系機械撹拌式深層混合処理工法による地盤改良地業である。
この工法は、セメント系固化材を原地盤と撹拌混合し、現地盤をコラム状に固化する地盤改良を行うものである。

2．一般事項

本地業は、本特記仕様書によるほか、「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（以下指針という）及び
スリーエスG工法　品質・施工マニュアルによる工事を行う。

3．特記事項

(1) コラムの径、掘削深度（改良長＋空掘長）、本数配置等は設計図書による。但し、コラムの径・長さ・本数・位置及びセメントスラリーの配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認の上に変更することができる。
(2) コラム設計基準強度はFc=1200kN/㎡、設計時に想定するF検定結果は既往の調査結果から変動係数の推定値を25%以下、不良率10%とする。
(3) 施工法は改良体の変動係数が25%以下であることが、公的機関で証明されている工法とする。
(4) 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理、施工管理および品質検査を実施する。
(5) セメントスラリーを用いた機械撹拌式深層混合処理工法のスリーエスG工法協会に所属する会員とする。
(6) 工法の選定は、(財)日本建築総合試験所における性能証明を有する工法を選定する。
(7) 品質及び施工管理は、スリーエスG工法品質・施工管理マニュアルに基づいて行うものとする。

4．施工計画

工事に先立ち、施工計画書を監査員に提出する。施工計画書は次の事項を明記する。

(1) 地盤概要
(2) 工事内容（コラム径・コラム長・空掘り長・コラム数・設計基準強度）
(3) 工事期間及び工程
(4) 工事要領（使用固化材・配合・撹拌翼の昇降速度・吐出量等）
(5) 施工機器及び仮設設備と配置
(6) 配合管理・施工管理・品質管理の方法
(7) 建築技術性能証明書
(8) その他、必要事項

5．施工機械

(1) 撹拌翼はセメントスラリーと原位置土を確実に撹拌混合するための共回り現象を防止する撹拌装置を装備すること
(2) 撹拌翼は上下にセメントスラリー吐出口を設け、掘削時に下吐出口から引上げ時に上吐出口からセメントスラリーを吐出可能な吐出切替構造であること
(3) 所定の施工管理項目の計測及び記録ができる管理装置を用いること
(4) 改良機本体は本工事の施工仕様を満足させる施工制御機器を装備したものでリーダー付及び自走式タイプであること
(5) ミキシングプラントは所定吐出量を十分供給できる能力を有していること

6．配合試験

(1) 本工事に先立ち現場から試料土を採取して、所定の室内配合試験を実施し、所要の強度が得られるよう配合条件を決定する。

試験名	室内配合試験
試料箇所数	1箇所

7．配合管理

(1) セメントスラリーに使用する固化材は、セメント又はセメント系固化材とする。
(2) 配合強度
配合管理目標変動係数を想定し、「8.品質検査」に規定する抜き取り箇所数Nから表１を用いてα_tを決め、配合強度X_fを設定する。

$X_f = Fc \times \alpha_t$

X_f：配合強度
Fc：設計基準強度
α_t：割増係数

表1. 割増係数（L(p)=80%,Vd=25%の場合）

配合管理目標Vd	抜取箇所数(N)	1	2	3	4～6	7～8	9～
25%	割増係数α_t	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594

(3) 配合量（固化材量とW/C）
室内配合試験の結果あるいは過去の工事実績に基づいて、配合強度を満足するように決定する。

$X_l = X_f / \alpha_{fl}$

X_l：室内配合強度
X_f：配合強度
α_{fl}：現場／室内強度比（強度比0.65；実績より）

暫定配合量300(kg/m^3)、W/C＝70%　【最終的には配合試験により決定する。】

8．品質検査

(1) 検査対象群、検査対象層及び調査箇所数。
① 検査対象群は概ねコラム300本を１単位とする。（※検査対象層は50cm以上の土層を対象とする。）
② 検査対象層（粘土、砂混りｼﾙﾄ質粘土、砂質粘土）であり設計対象層を（粘土）とする。
③ 検査手法は強度のバラツキを想定する場合は検査手法Aによる。その場合は、選定工法による改良体の強度のバラツキデータを添付すること。
④ 調査箇所数（検査対象群に対して）

表２．調査箇所数

検査手法A	頭部モールドコア試験試験		3箇所
	深部コア試験	全長ボーリングコア	1箇所
		モールドコア	2箇所

注記）深部コア採取の内、最低1箇所については機械ボーリングによる全長コア採取を行い、下記(2)コア採取率を調査する。
他の箇所については、モールドコアで行ってもよい。

(2) コア採取率による調査
コアボーリング調査の内、検査対象群に1箇所の割合でコア採取率を調査する。
コア採取率が、全長に対して粘性土で90%、砂質土で95%、深さ１ｍごとに粘性土で85%、砂質土で90%以上であることを確認する。

(3) 合否の判定
① 設計対象層についての抜き取り１箇所に対して３個の供試体を採取し、その平均強度をその箇所の強度とする。
② 一軸圧縮試験は、公的機関、第三者機関または検査員立会いのもとに行うものとする。
③ 検査手法は品質のバラツキを想定する場合の検査手法Aとする。
④ 検査手法Aによる品質検査
合否の判定は設計対象層におけるN箇所(抜き取り箇所数)の一軸圧縮試験結果が、下式を満足する場合を合格と判定する。

$\overline{X_N} \geqq X_L = Fc + ka \cdot \sigma d$

$\overline{X_N}$：N箇所の一軸圧縮強度の平均値（kN/㎡）
X_L：合格判定値（kN/㎡）
Fc：設計基準強度（kN/㎡）
ka：合格判定係数
σd：標準偏差（kN/㎡）　（$\sigma d = Vd \cdot \overline{qud}$）
Vd：想定した強度の変動係数
$\overline{qud}$：想定した平均一軸圧縮強さ（kN/㎡）

抜取箇所数N	1	2	3	4～6	7～8	9～
合格判定係数Ka	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

(4) 六価クロム溶出試験
配合計画段階に、六価クロム溶出試験を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。なお、試験方法はセメント及びセメント系固化材を使用した改良土等の六価クロム溶出試験要領によるものとする。
（環境庁第46号（土壌汚染に係る環境基準）による。）
検査検体数、検査対象層、基準値は下記のものとする。
検体数：1検体
対象層：設計対象層（粘土）
基準値：0.05（mg/L)以下

9．工事報告

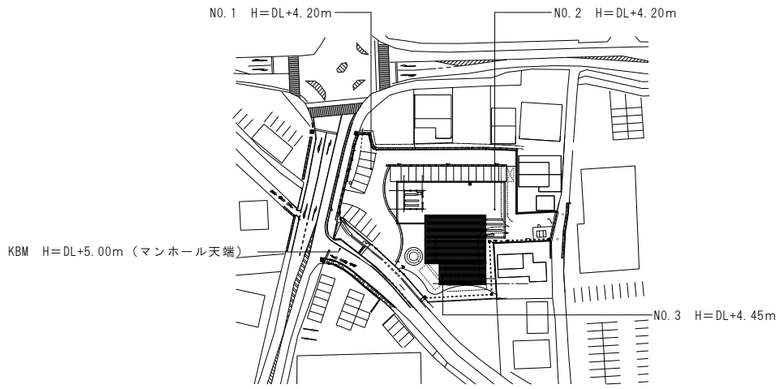
工事完了後、次の項目について報告書をまとめ、監督員に提出する。

① コラム伏図及び番号
② コラムの施工日
③ コラムの径及び改良長
④ 掘削深度
⑤ 固化材の配合と使用量
⑥ コア圧縮強度試験結果
⑦ 合格判定結果

10．その他

本工事は、施工計画等に関する施工実績及び技術資料を受け付けた工事である。
同等工法とする場合は、新たに施工実績及び技術資料等を求め適用性を判断すること。
問合せ先・・・スリーエスG工法協会 本部E-mail. 3sg@gansui.co.jp

構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243074号　木村誠司



KBM：H=5.00m
設計GL=KBM+0.30m

ボーリング柱状図

調査名　令和1年度 瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事　　ボーリングNo.

事業・工事名　　シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	岡山県瀬戸内市邑久町尾張282-2 他1筆		北緯 34° 29' 53.18"
発注機関	株式会社 黒川建築設計事務所	調査期間	令和 6年 12月 1日 ～ 6年 12月 1日		東経 134° 5' 30.26"
調査業者名	瀬水開発株式会社	主任技師	木畑 尚樹	現場代理人	鹿室 傑太	ロア 電気主任	木畑 尚樹	ボーリング責任者	小林 幸平
孔口標高	5.00m	角	方	北	地盤勾配	使用機種	試錐機	東邦 81-C	ハンマー落下錘員	自動落下（半自動落下型）
総掘進長	12.0m	度	西	東			エンジン	ヤンマー TF120S-E	ポンプ	東邦 86-2C

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対細度	記事	孔内水位（湧水位）測定月日	深度	標準貫入試験 打撃回数 N値 KBM=5.00m 設計GL	原位置試験 試験名および結果	試料採取 深度	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
m	m	m	m								m			m				

ボーリング柱状図

調査名　瀬戸内市産業振興拠点施設整備地質調査　　ボーリングNo.

事業・工事名　　シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	岡山県瀬戸内市邑久町尾張282-2他1筆		北緯 34° 29' 54.98"
発注機関	株式会社 黒川建築設計事務所	調査期間	令和 1年 12月 1日 ～ 5年 12月 13日		東経 134° 5' 29.89"
調査業者名	瀬水開発株式会社	主任技師	木畑 尚樹	現場代理人	鹿室 傑太	ロア 電気主任	木畑 尚樹	ボーリング責任者	石部 謙治
孔口標高	5.00m	角	方	北	地盤勾配	使用機種	試錐機	東邦 81-C	ハンマー落下錘員	自動落下（半自動落下型）
総掘進長	12.0m	度	西	東			エンジン	ヤンマー TF120S-E	ポンプ	東邦 86-2C

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対細度	記事	孔内水位（湧水位）測定月日	深度	標準貫入試験 打撃回数 N値 KBM=5.00m 設計GL	原位置試験 試験名および結果	試料採取 深度	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
m	m	m	m								m			m				

ボーリング柱状図

調査名　瀬戸内市産業振興拠点施設整備地質調査　　ボーリングNo.

事業・工事名　　シートNo.

ボーリング名	No.2	調査位置	岡山県瀬戸内市邑久町尾張282-2他1筆		北緯 34° 29' 54.26"
発注機関	株式会社 黒川建築設計事務所	調査期間	令和 1年 12月 1日 ～ 5年 12月 13日		東経 134° 5' 31.62"
調査業者名	瀬水開発株式会社	主任技師	木畑 尚樹	現場代理人	鹿室 傑太	ロア 電気主任	木畑 尚樹	ボーリング責任者	清本 剛幸
孔口標高	5.00m	角	方	北	地盤勾配	使用機種	試錐機	東邦 82-2S	ハンマー落下錘員	自動落下（半自動落下型）
総掘進長	12.0m	度	西	東			エンジン	ヤンマー NF33	ポンプ	東邦 86-2B

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対細度	記事	孔内水位（湧水位）測定月日	深度	標準貫入試験 打撃回数 N値 KBM=5.00m 設計GL	原位置試験 試験名および結果	試料採取 深度	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
m	m	m	m								m			m				

構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	地盤調査位置図	NON	2025/03	S-15	武村	竹波	竹波	竹波	

地盤改良概要

ｽﾘｰｴｽG工法（GBRC性能証明　第07-21号改2）

◯　改良径φ800　本数　288本

・改良径　φ800　改良長はL=9.15m（杭先端深度GL-11.00m）

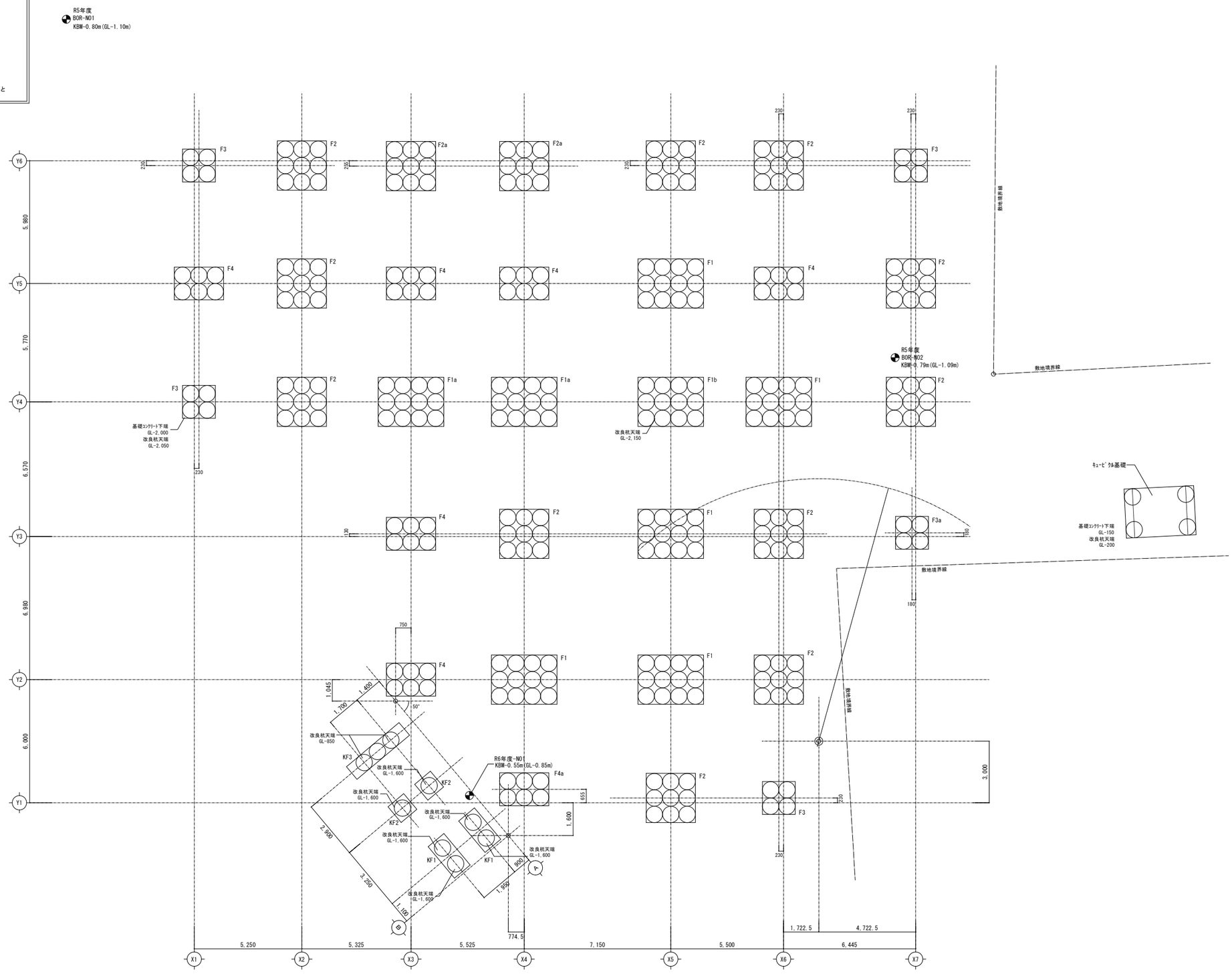
　　屋外階段基礎の改良長はL=9.40m,10.15m（杭先端深度GL-11.00m）

・改良杭天端はGL-1,850とする。屋外階段基礎はGL-1,600,GL-850とする。

・設計基準強度　Fc=1,200kN/m2　　長期許容地耐力　200kN/㎡

※但し,固化剤配合量は現地土によりサンプルを作り強度確認を行い決定する

※改良体の強度確認方法は日本建築ｾﾝﾀｰ編「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」に準拠すること



基礎・地盤改良杭伏図　1:100(A1)1:200(A3)

特記なき限り下記による

・　GL=KBM+0.30mとする

・　改良杭天端はGL-1,850とする

・

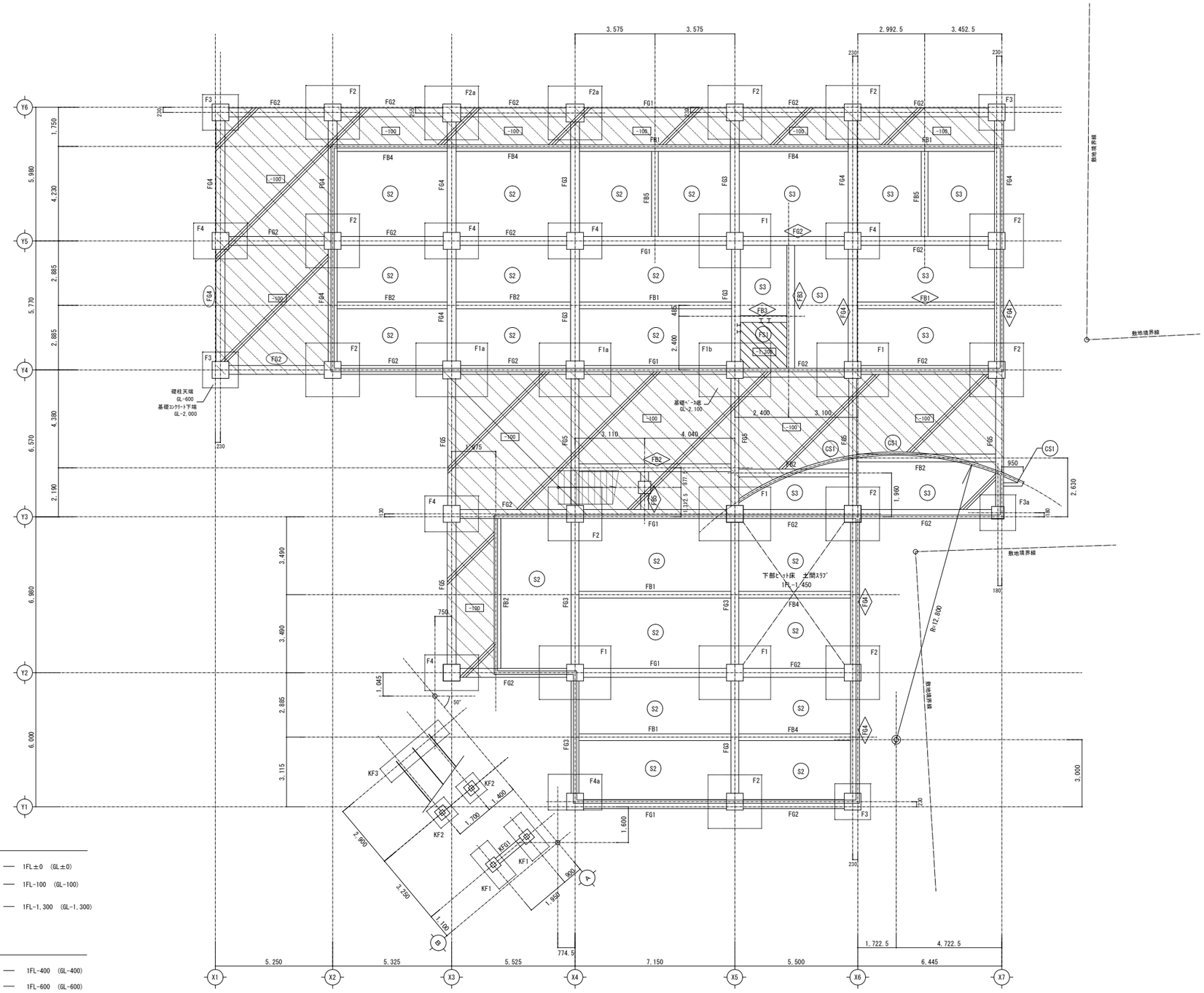
凡例　　基礎コンクリート下端表示

表示なき限り　——　GL-1,800

構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	地盤改良伏図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	S-16	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村　耕輔　　一級建築士事務所登録　第12621号



基礎伏図　1:100

特記なき限り下記による

- GL=KBM+0.30mとする
- 1FL=GL±0とする
- □ 内数字は,1FLからの床版ﾚﾍﾞﾙを示す
- ▨ 土間ｽﾗﾌﾞを示す
-

凡例1　ｽﾗﾌﾞ天端表示

表示なき限り	1FL±0　(GL±0)
▨	1FL-100　(GL-100)
▨	1FL-1,300　(GL-1,300)

凡例2　梁天端表示

表示なき限り	1FL-400　(GL-400)
◇	1FL-600　(GL-600)
○	1FL-400～600　(GL-400～600)

凡例3　基礎コンクリート下端表示

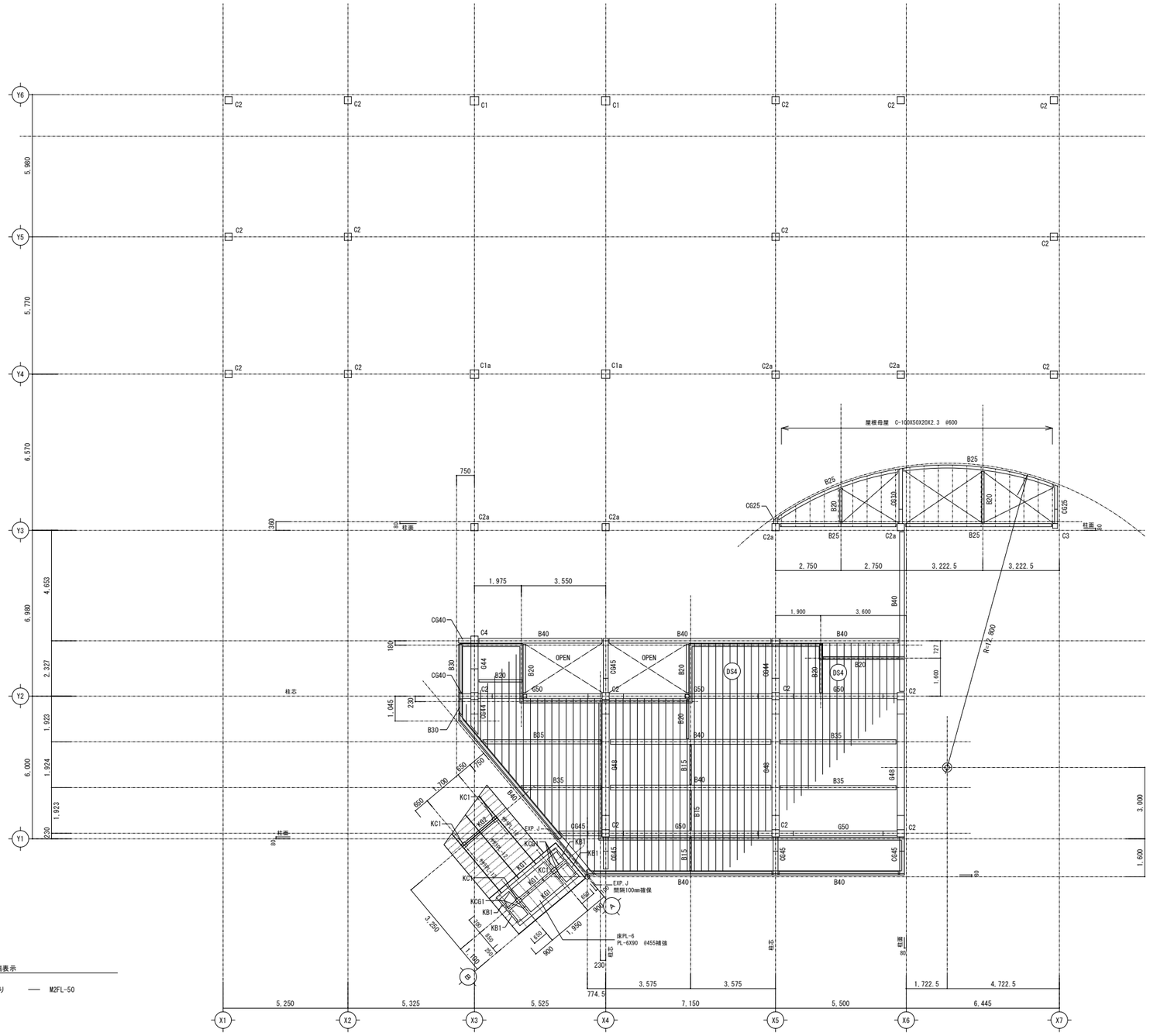
表示なき限り	GL-1,800

構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	基礎伏図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	S-17	武村	竹波	竹波	竹波



M2FLレベル梁伏図　1:100

（階高　H=3,500）

Y
X

特記なき限り下記による

- 大梁天端は、M2FL-180とする
- 床版レベルは、M2FL-50とする
- 床スラブはDS3とする
- デッキ床方向を示す
- ▼ 横補剛材位置を示す
- 水平ブレースはSV1とする
-

凡例1　スラブ天端表示

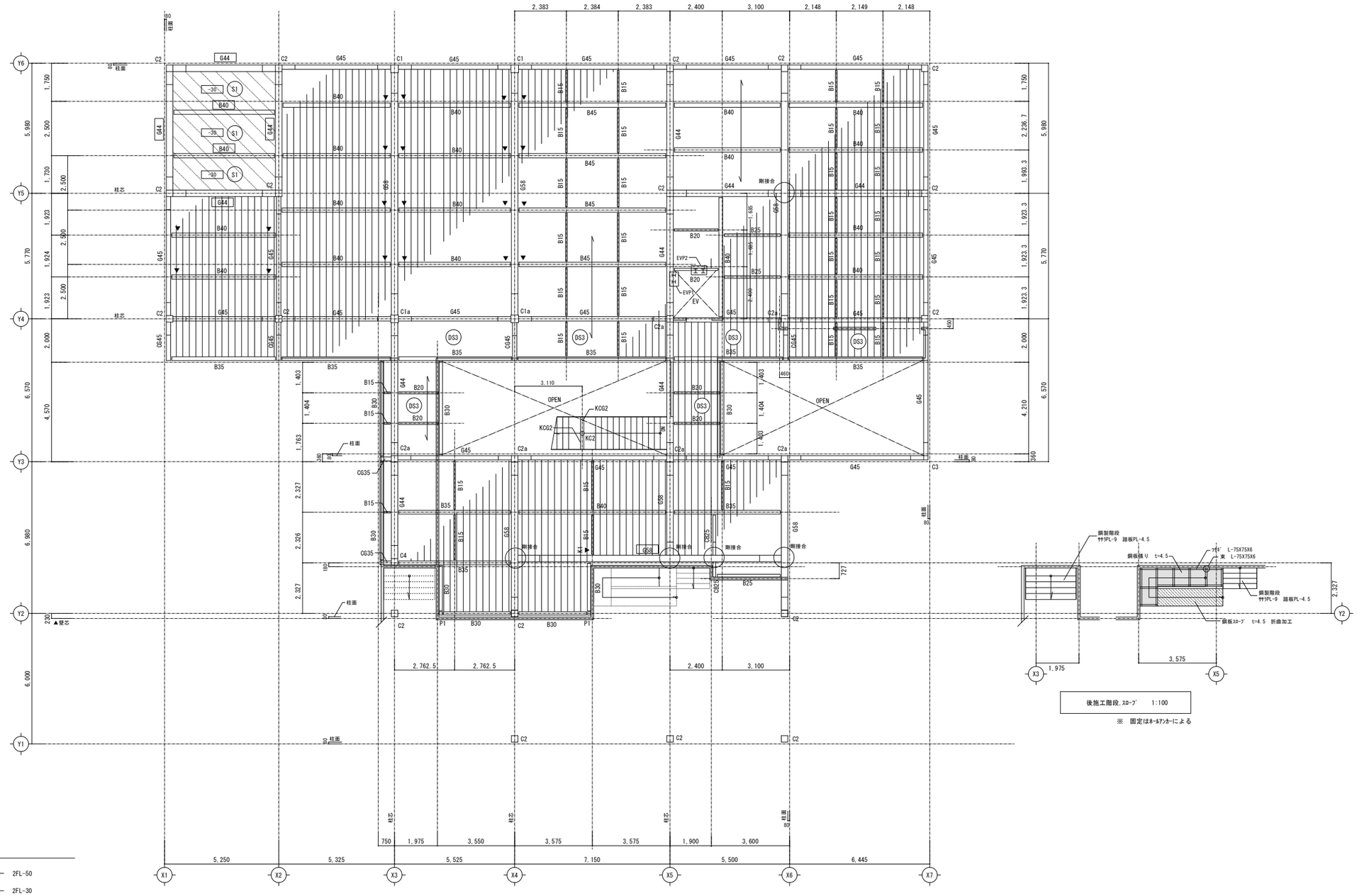
表示なき限り　—— M2FL-50

凡例2　梁天端表示

表示なき限り　—— M2FL-180

構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	M2FLレベル梁伏図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	S-18	武村	竹波	竹波	竹波	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号



2FLﾚﾍﾞﾙ梁伏図　1:100

(階高　H=4,500)

特記なき限り下記による

- 大梁天端は、2FL-180とする
- 床版ﾚﾍﾞﾙは、2FL-50とする
- □ 内数字は、2FLからの床版ﾚﾍﾞﾙを示す
- 床ｽﾗﾌﾞはDS2とする
- ﾃﾞｯｷ床方向を示す
- 表示梁は、ｽﾀｯﾄﾞ打設を示す
- ▼ 横補剛材位置を示す
- ﾌﾗｯﾄﾃﾞｯｷの板厚はJF75　0.8mmとする

凡例1　ｽﾗﾌﾞ天端表示

表示なき限り ── 2FL-50

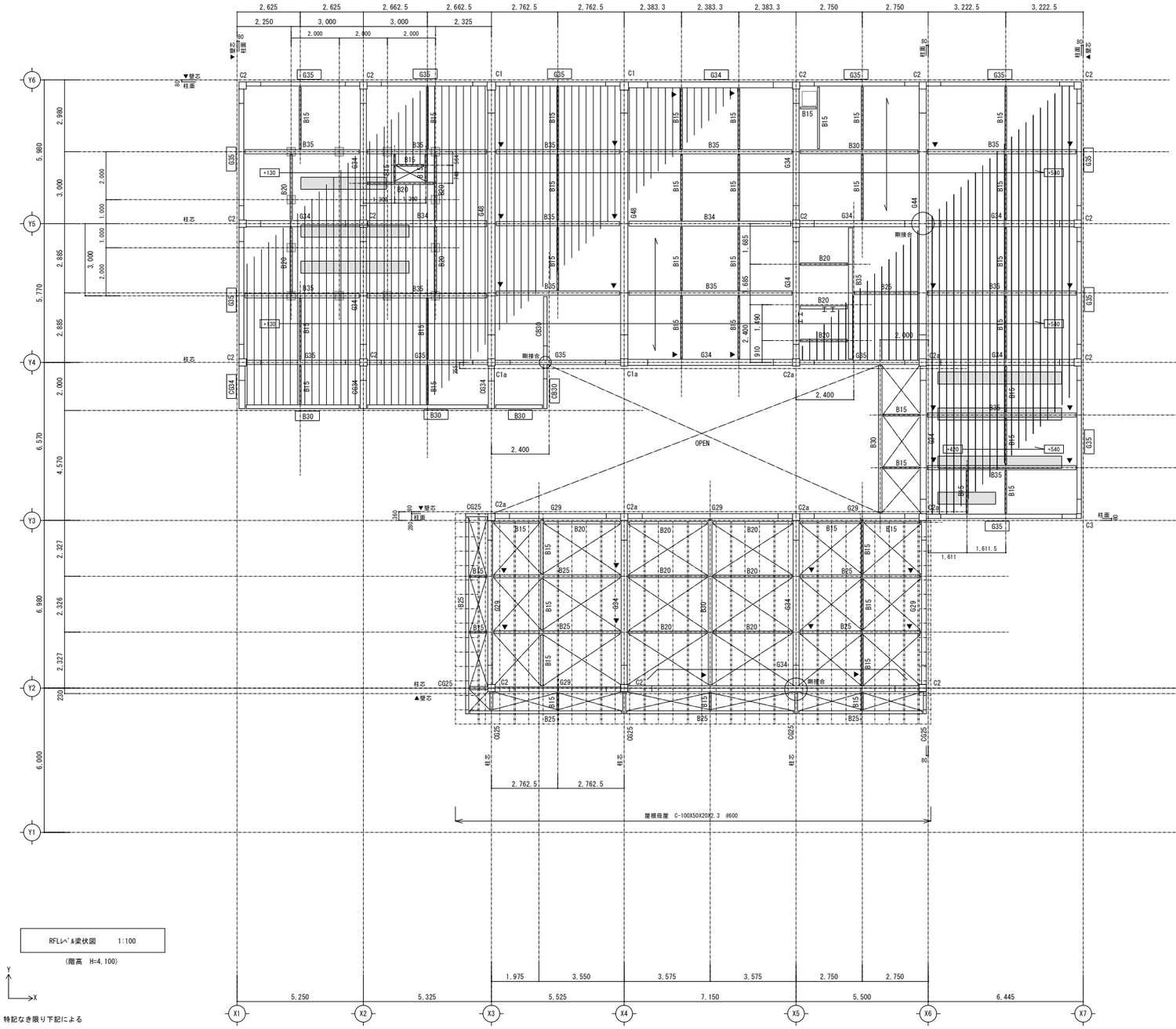
▨ ── 2FL-30

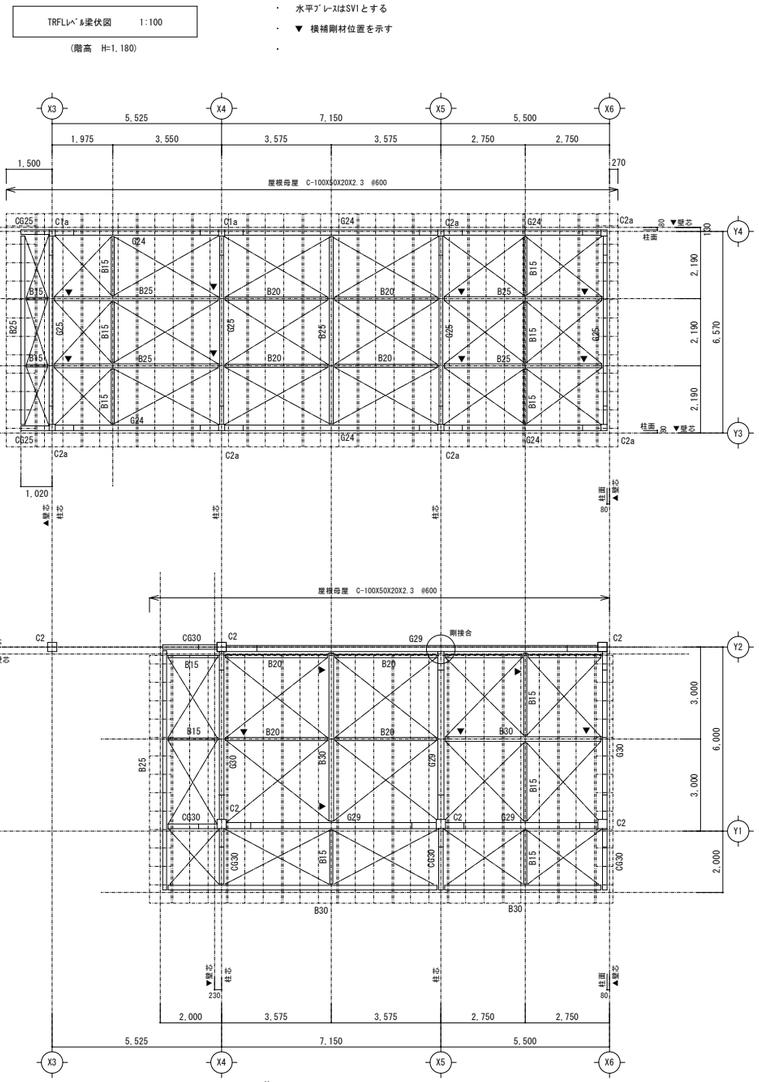
凡例2　梁天端表示

表示なき限り ── 2FL-180

構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

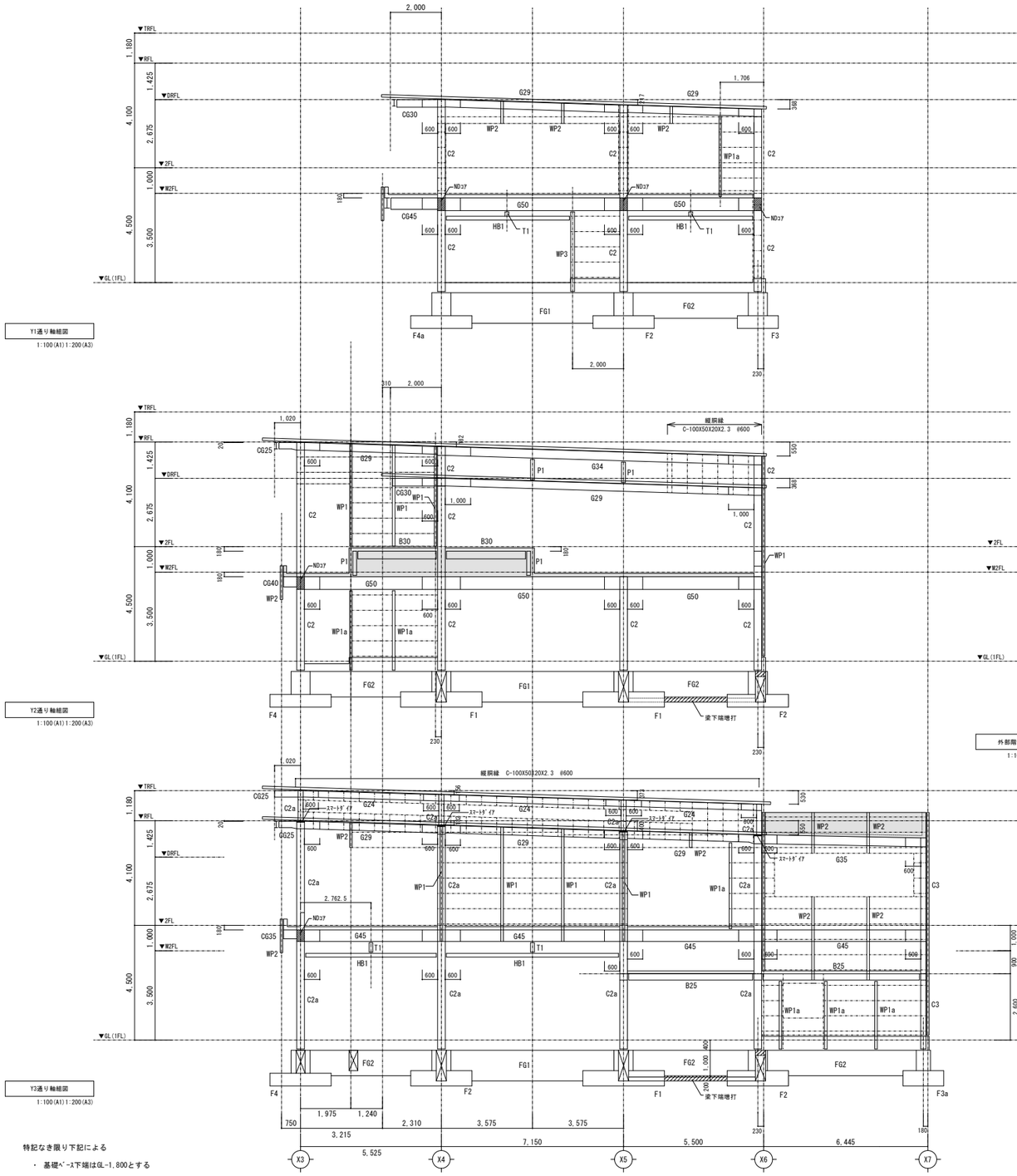
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	2FLﾚﾍﾞﾙ梁伏図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	S-19	武村	竹波	竹波	竹波	



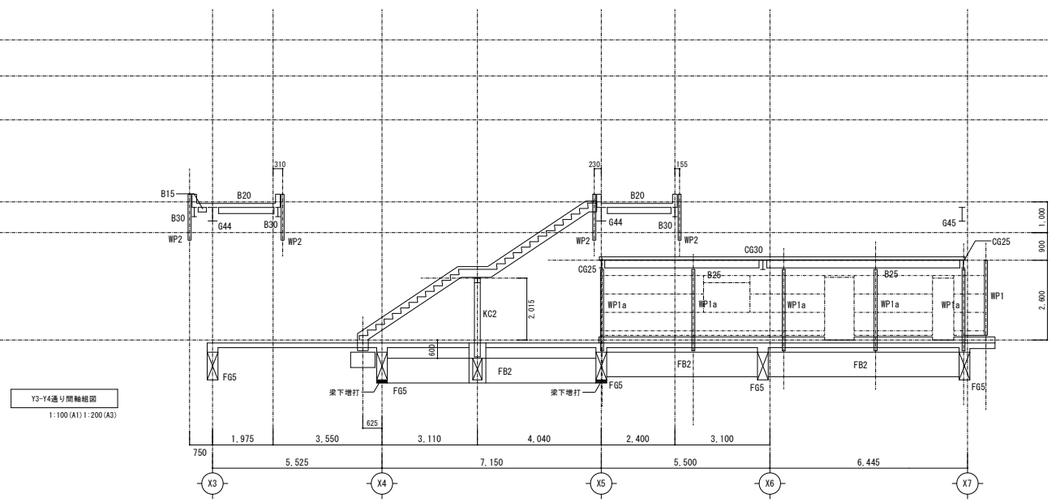


構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	RFLﾚﾍﾞﾙ,TRFLﾚﾍﾞﾙ梁伏図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	S-20	武村	竹波	竹波	竹波	

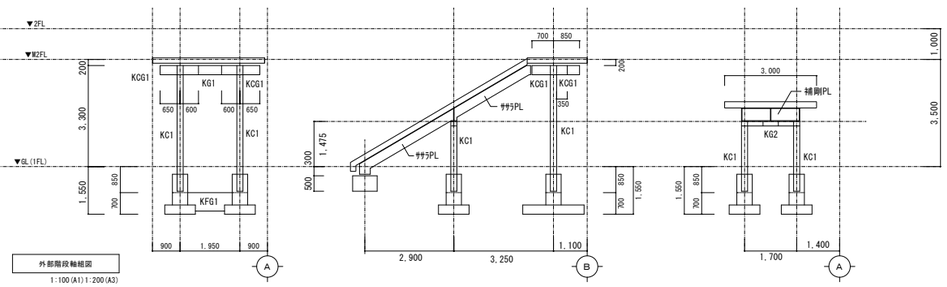


Y1通り軸組図
1:100(A1) 1:200(A3)



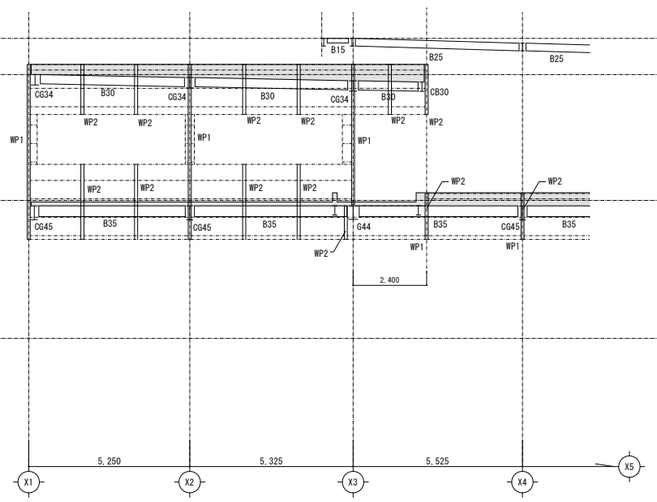
Y3-Y4通り間軸組図
1:100(A1) 1:200(A3)

Y2通り軸組図
1:100(A1) 1:200(A3)



外部階段軸組図
1:100(A1) 1:200(A3)

Y3通り軸組図
1:100(A1) 1:200(A3)



Y4通り-2,000軸組図
1:100(A1) 1:200(A3)

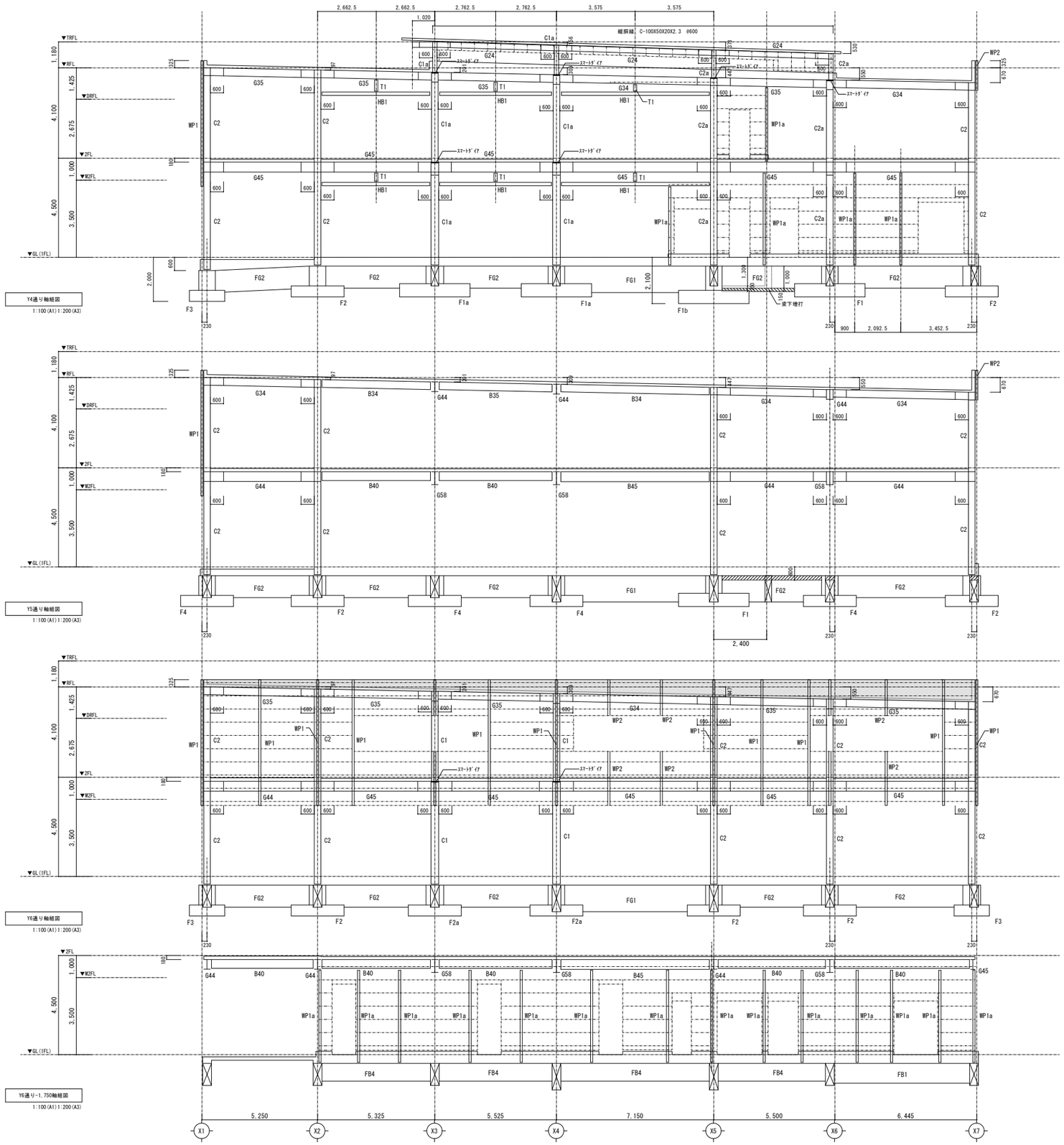
特記なき限り下記による

- 基礎ﾍﾞｰｽ下端はGL-1,800とする
- 基礎梁天端はGL-400(1FL-400)とする
- BPL下端はGL-370(1FL-370)とする
- 壁胴縁は横胴縁　C-100X50X20X2.3　@600
- ▨ 増打部分を示す

構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	軸組図（1）	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	S-21	武村	竹波	竹波	竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号



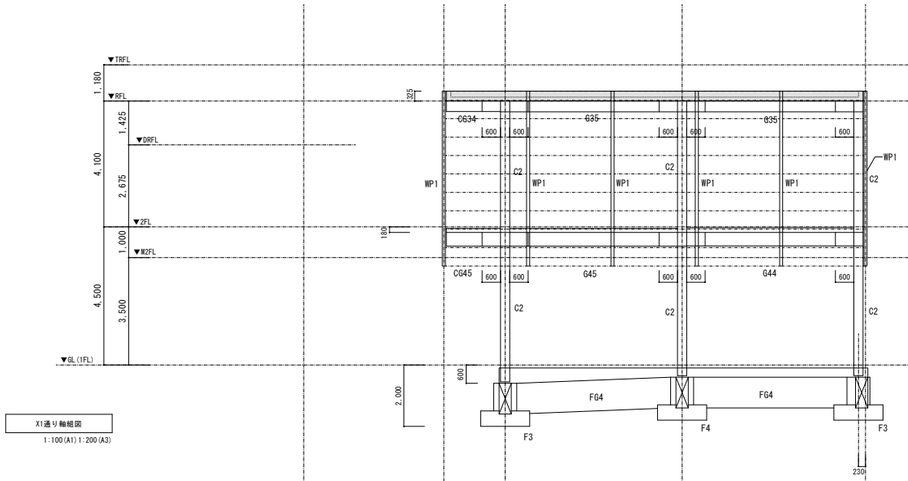
特記なき限り下記による

- 基礎ﾍﾞｰｽ下端はGL-1,800とする
- 基礎梁天端はGL-400(1FL-400)とする
- BPL下端はGL-370(1FL-370)とする
- 壁胴縁は横胴縁　C-100X50X20X2.3　@600
- ▨ 増打部分を示す

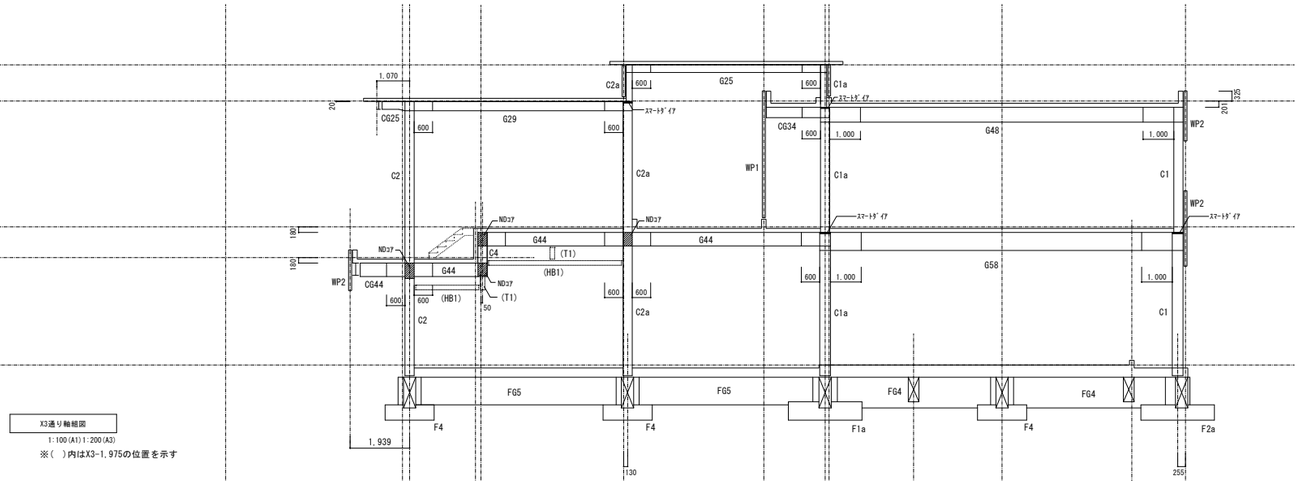
構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	軸組図（２）	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	S-22	武村	竹波	竹波	竹波

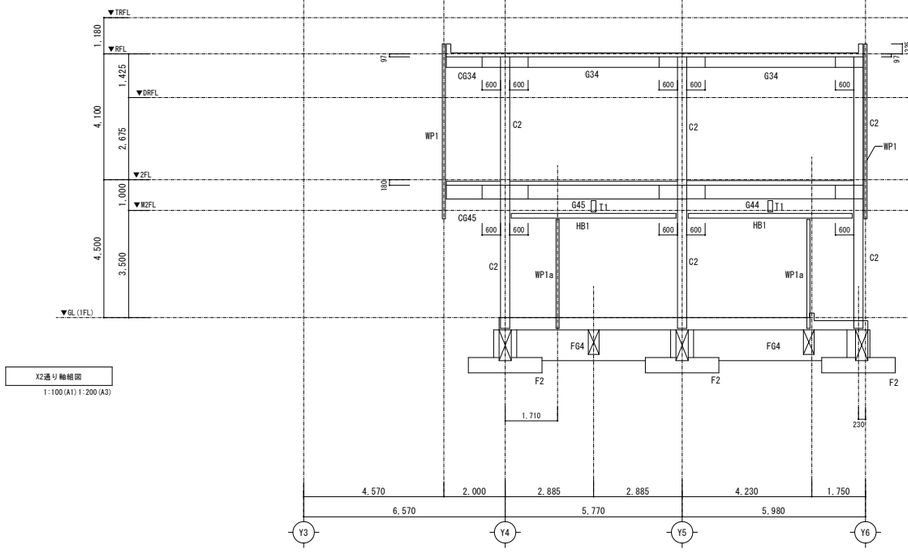
〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号



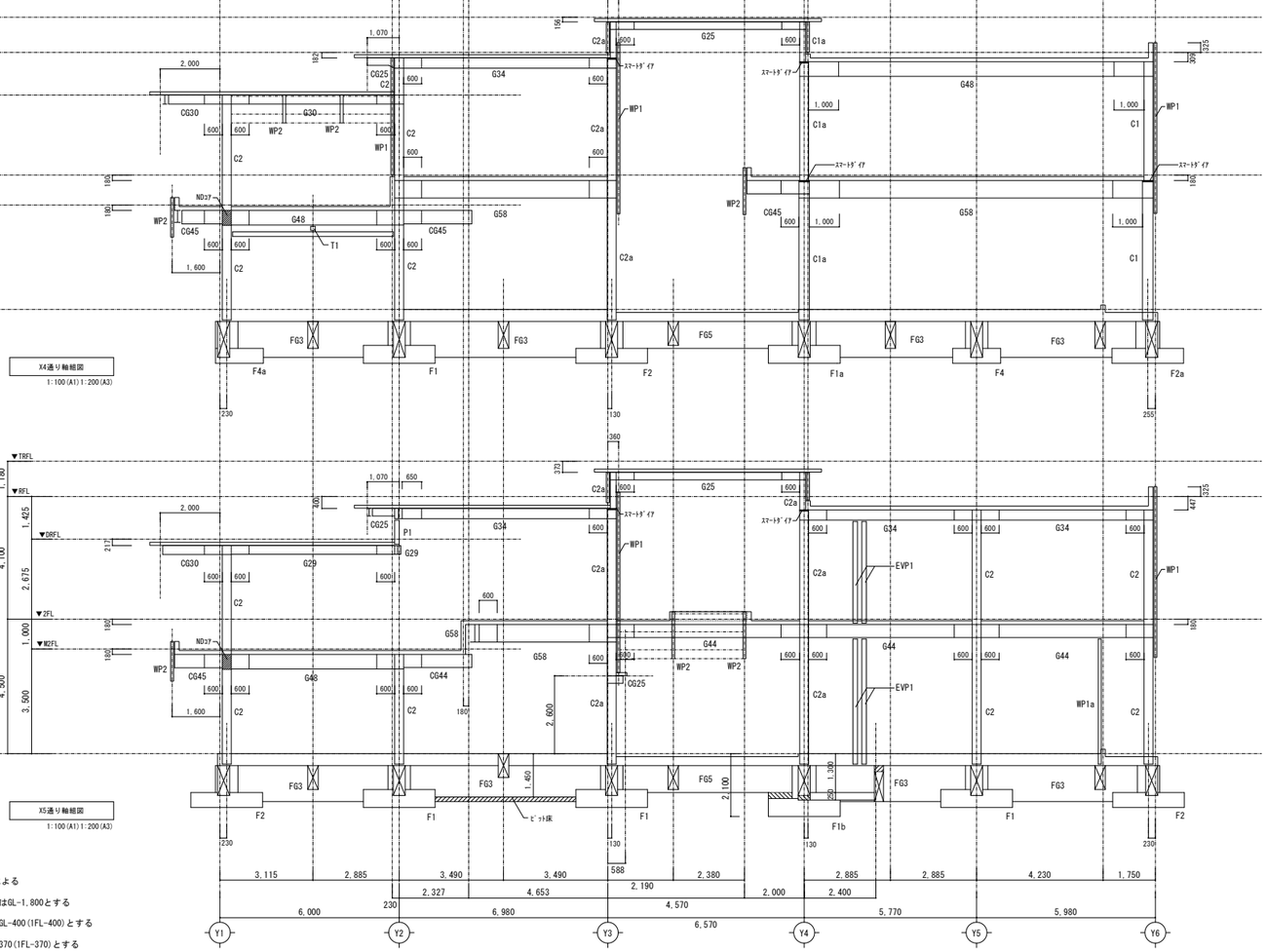
X1通り軸組図
1:100(A1)1:200(A3)



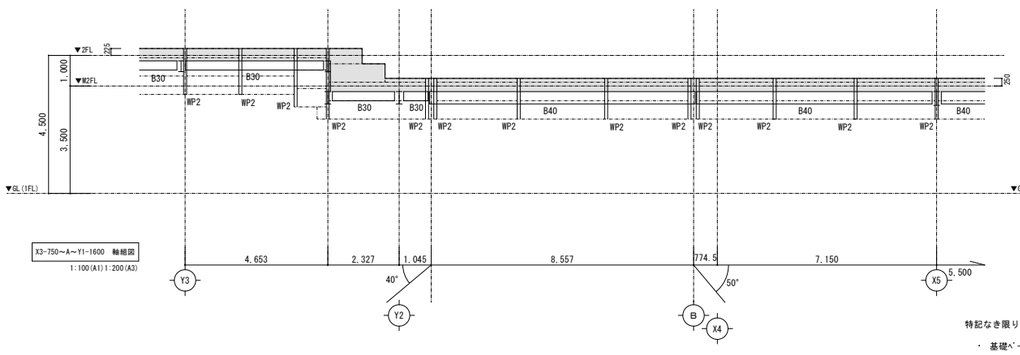
X3通り軸組図
1:100(A1)1:200(A3)
※(　)内はX3-1,975の位置を示す



X2通り軸組図
1:100(A1)1:200(A3)



X4通り軸組図
1:100(A1)1:200(A3)



X3-750～A～Y1-1600　軸組図
1:100(A1)1:200(A3)

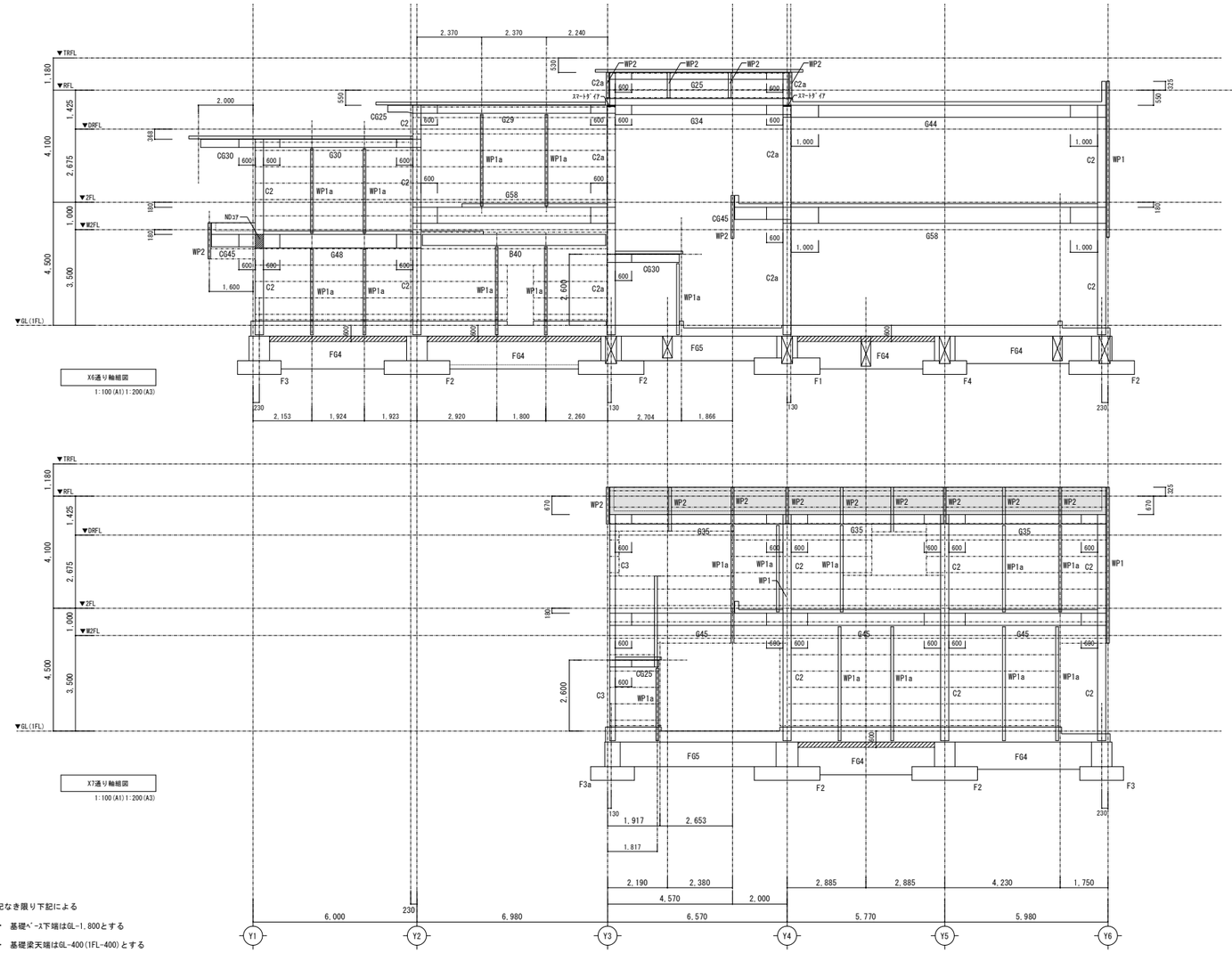
X5通り軸組図
1:100(A1)1:200(A3)

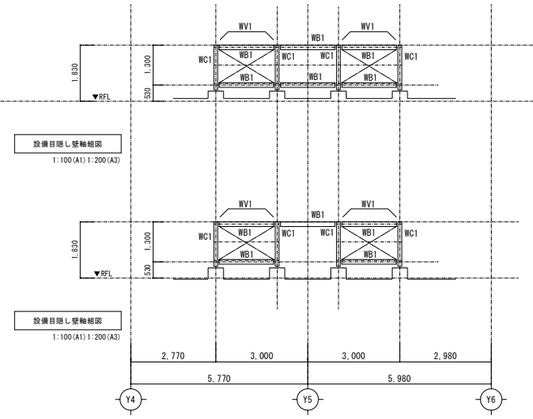
特記なき限り下記による

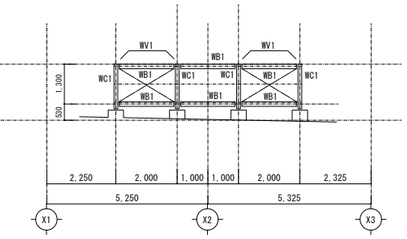
- 基礎ﾍﾞｰｽ下端はGL-1,800とする
- 基礎梁天端はGL-400(1FL-400)とする
- BPL下端はGL-370(1FL-370)とする
- 壁胴縁は横胴縁　C-100X50X20X2.3　@600
- ▨ 増打部分を示す

構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	軸組図（3）	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	S-23	武村	竹波	竹波	竹波	一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号







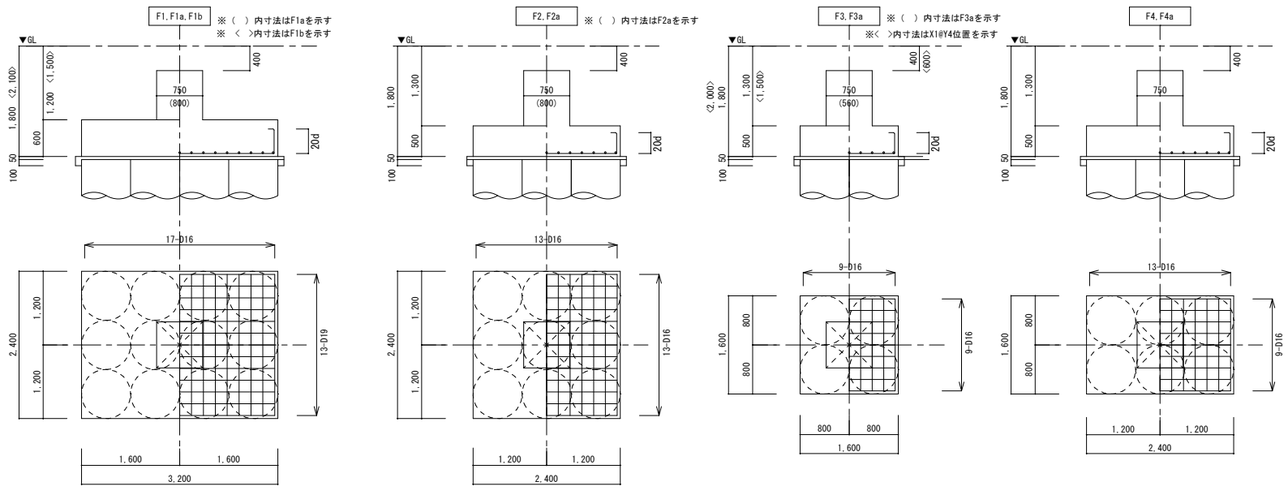
特記なき限り下記による

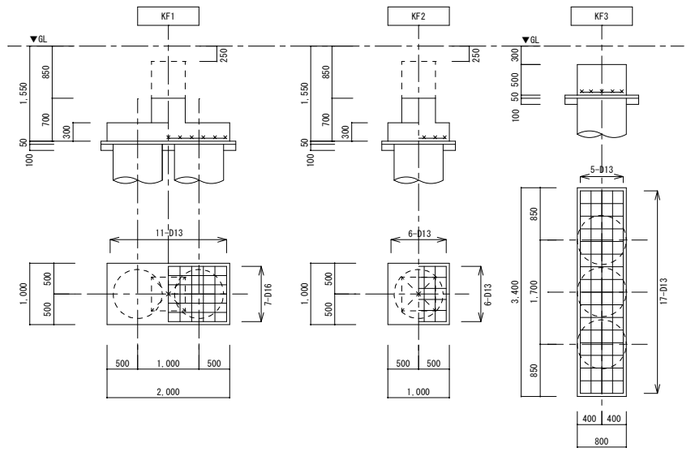
- 基礎ﾍﾞｰｽ下端はGL-1,800とする
- 基礎梁天端はGL-400(1FL-400)とする
- BPL下端はGL-370(1FL-370)とする
- 壁胴縁は横胴縁　C-100X50X20X2.3　@600
- ▨ 増打部分を示す

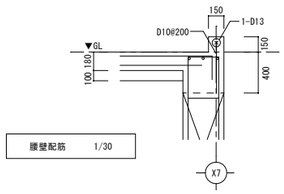
構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	軸組図（４）	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	S-24	武村	竹波	竹波	竹波	

基礎リスト　1:50(A1)1:100(A3)

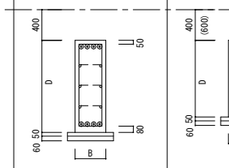


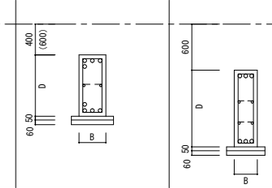
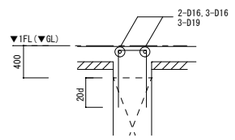




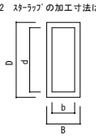
地中梁リスト　1:40(A1)1:80(A3)

特記なき限り下記による
・ 巾止筋　D10@1000

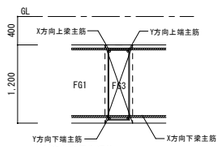
	符　号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG5	KFG1 ※外部階段	FB1
	位　置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
地中梁	断　面							
	B　X　D	400X1,200	400X1,000	400X1,200	400X1,000	350X900	300X600	350X900
	上　端　筋	4-D25	4-D25	5-D25	4-D25	4-D22	2-D19	4-D22
	下　端　筋	4-D25	4-D25	5-D25	4-D25	4-D22	2-D19	4-D22
	スターラップ	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D13@200	□-D10@150	□-D10@200	□-D10@200
	腹　筋	6-D10	4-D10	6-D10	4-D10	4-D10	2-D10	4-D10

	符　号	FB2	FB3	FB4	FB5	スラブ増打要領
	位　置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
1階床	断　面					
	B　X　D	350X800	300X1,000	350X800	300X700	補強筋　2-D16(B≦350)　3-D16(350＜B＜500)
	上　端　筋	4-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D19(500≦B)
	下　端　筋	4-D22	3-D22	4-D22	3-D22	スターラップと同径、同ピッチ
	スターラップ	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200	□-D10@200	
	腹　筋	2-D10	6-D10	2-D10	2-D10	

特記事項
1　腹筋の定着長さはL2、継手長さはL1とする
2　ｽﾀｰﾗｯﾌﾟの加工寸法は、下記による

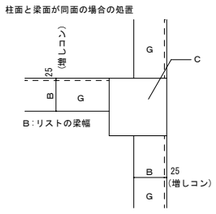


b=B-100
d=D-100
※かぶり厚さ50mm以上を確保すること

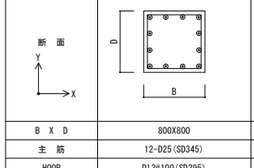


主筋方向優先順位
X,Y方向で主筋交差が生じる場合は、下記による。
上端筋は,X方向を上方、Y方向を下方とする。
下端筋は,X方向を上方、Y方向を下方とする。

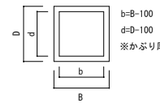
柱面と梁面が同面の場合の処置



礎柱リスト　1:40(A1)1:80(A3)

符　号	C1,C1a	C2,C2a	C3	地中梁交差部	KC1,KC2
断　面					
B　X　D	800X800	750X750	560X560	750X750	550X550
主　筋	12-D25(SD345)	12-D22(SD345)	12-D19(SD345)	12-D22(SD345)	12-D19(SD345)
HOOP	D13@100(SD295)	D13@100(SD295)	D13@100(SD295)	D13@100(SD295)	D13@100(SD295)
備　考					

特記事項
1　柱頭主筋は、全数ﾌｯｸ付きとする
2　HOOPの加工寸法は、下記による

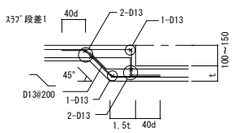


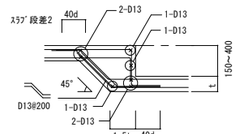
b=B-100
d=D-100
※かぶり厚さ50mm以上を確保すること

スラブリスト

記　号	ｽﾗﾌﾞ厚	位　置	短辺方向主筋 端　部	短辺方向主筋 中　央	長辺方向主筋 端　部	長辺方向主筋 中　央	備考
S1	150	上端筋	D10　@200		D10　@200		JF75　厚0.8
		下端筋	D10　@200		D10　@200		
S2	180	上端筋	D10,D13　@200		D10　@200		
		下端筋	D10,D13　@200		D10　@200		
S3	180	上端筋	D10　@200		D10　@200		
		下端筋	D10　@200		D10　@200		
FS1	250	上端筋	D13　@200		D13　@200		EVﾋﾟｯﾄ
		下端筋	D13　@200		D13　@200		
土間ｽﾗﾌﾞ	150	上端筋	D10　@200		D10　@200		
		下端筋	D10　@200		D10　@200		
DS1	130(80+50)	全断面	ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ　φ6@150				
DS2	130(80+50)	全断面	ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ　φ6@150				
DS3	130(80+50)	全断面	ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ　φ6@150				
DS4	130(80+50)	全断面	ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ　φ6@150				

記　号	ｽﾗﾌﾞ厚 基端～先端	位　置	主筋方向配筋 端　部	主筋方向配筋 中　央	配力筋方向配筋 端　部	配力筋方向配筋 中　央	備考
CS1	180	上端筋	D10　@200		D10　@200		
		下端筋	D10　@200		D10　@200		



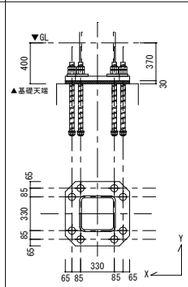
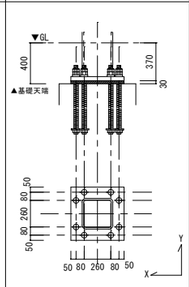
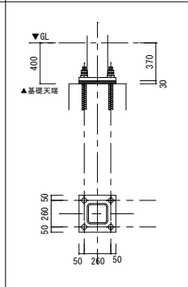
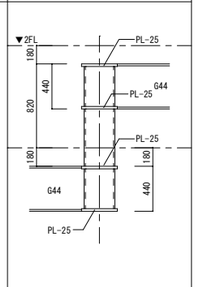


構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面Ｎｏ.	監修	査図	担当	作図	
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	RC造部材断面リスト	A1：S=1/50,40 A3：S=1/100,80	2025/03	S-25	武村	竹波	竹波	竹波	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

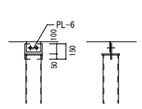
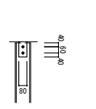
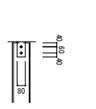
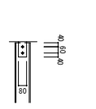
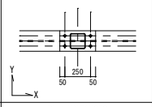
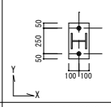
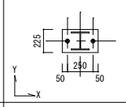
柱リスト A1:1/30 A3:1/60

・ 特記なき限り鋼材はBCR295とする

階	符 号	C1	C1a	C2	C2a	C3	C4
TP	部 材		□-200X200X12		□-200X200X12		
2	部 材	□-300X300X19		□-300X300X16		□-200X200X12	
1	部 材	□-350X350X19		□-300X300X16		□-200X200X12	□-300X300X12
柱脚	断 面						
	BASE. PL	630X630X44		520X520X40		360X360X32	
	A. BOLT	8-D38 (SD390)		8-M36 (SD490)		4-M33 (SD490)	
	備 考	ﾍﾞｰｽﾊﾞｯｸ 35-19R		ﾍﾞｰｽﾊﾞｯｸ 30-16V		ﾍﾞｰｽﾊﾞｯｸ 20-12V	

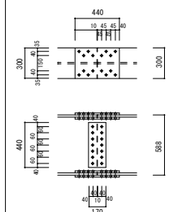
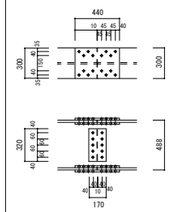
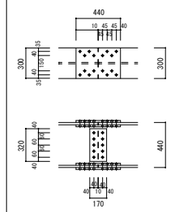
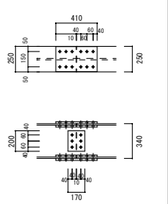
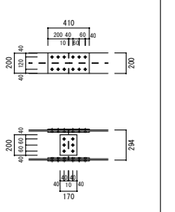
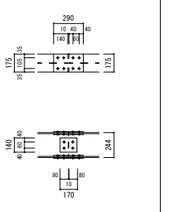
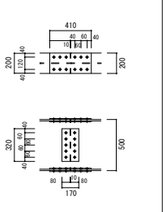
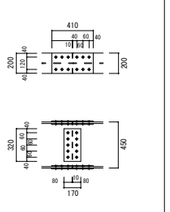
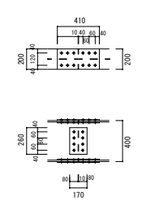
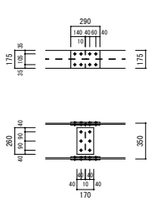
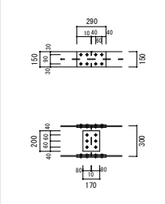
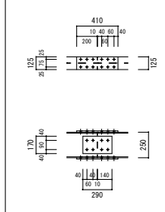
間柱リスト A1:1/30 A3:1/60

・ 特記なき限り鋼材はBCR295, SS400, ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄはSS400, 高力ﾎﾞﾙﾄはS10Tとする

符 号	P1	EVP1	EVP2	T1
部 材	□-150X150X6	H-150X150X7X10	H-175X175X7. 5X11	H-150X150X7X10
梁下端取付き 梁上端取付き				
GPL	PL-6X90X170	GPL-9X80X140	GPL-9X80X140	GPL-9X80X140
HTB	HTB, 2-M20	HTB, 2-M20	HTB, 2-M20	HTB, 2-M20
備 考				
柱 脚				
BASE. PL	PL-16X350X350	PL-16X200X350	PL-16X225X350	
A. BOLT	4-M16 (L=600 ﾌｯｸ付)	2-M20 (L=600 ﾌｯｸ付)	2-M20 (L=600 ﾌｯｸ付)	
備 考				

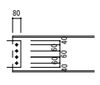
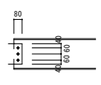
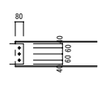
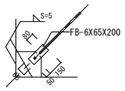
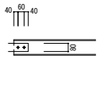
大梁リスト A1:1/30 A3:1/60

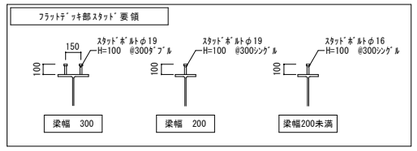
・ 特記なき限り鋼材はSS400, 高力ﾎﾞﾙﾄはS10Tとする

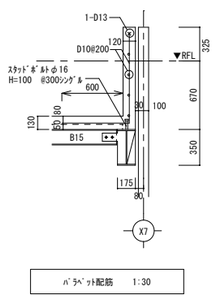
符 号		G58	G48	G44, CG44	G34, CG34	G29	G24	G50	G45, CG45	CG40	G35, CG35	G30, CG30, CB30	G25, CG25, CB25
部 材		H-588X300X12X20	H-488X300X11X18	H-440X300X11X18	H-340X250X9X14	H-294X200X8X12	H-244X175X7X11	H-500X200X10X16	H-450X200X9X14	H-400X200X8X13	H-350X175X7X11	H-300X150X6. 5X9	H-250X125X6X9
継 手													
フランジ	SPL	2PL-12X300X440	2PL-12X300X440	2PL-12X300X440	2PL-12X250X410	2PL-9X200X410	2PL-9X175X290	2PL-12X200X410	2PL-12X200X410	2PL-9X200X410	2PL-9X175X290	2PL-9X150X290	2PL-12X125X410
		4PL-16X110X440	4PL-12X110X440	4PL-12X110X440	4PL-12X100X410	4PL-9X80X410	4PL-9X70X290	4PL-12X80X410	4PL-12X80X410	4PL-9X80X410	4PL-9X70X290	4PL-9X60X290	
	HTB	32-M22	32-M22	32-M22	24-M22	24-M20	16-M20	24-M20	24-M20	24-M20	16-M20	16-M16	24-M16
ウェブ	SPL	2PL-9X440X170	2PL-12X320x170	2PL-9X320X170	2PL-9X200X170	2PL-9X200X170	2PL-9X140X170	2PL-9X320X170	2PL-9X320X170	2PL-9X260X170	2PL-6X260X170	2PL-6X200X170	2PL-6X170X290
	HTB	14-M22	10-M22	10-M22	6-M22	6-M20	4-M20	10-M20	10-M20	8-M20	6-M20	6-M16	8-M16
ピン接合												GPL-9 HTB, 3-M20	GPL-6 HTB, 3-M16

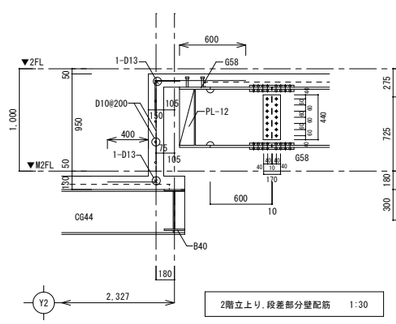
小梁リスト A1:1/30 A3:1/60

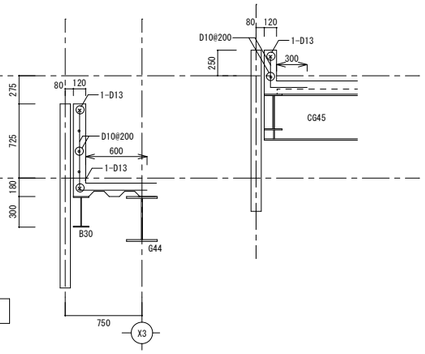
・ 特記なき限り鋼材はSS400, 高力ﾎﾞﾙﾄはF10Tとする

符 号	B45	B40	B34	B35	B30	B25
断 面						
部 材	H-450X200X9X14	H-400X200X8X13	H-340X250X9X14	H-350X175X7X11	H-300X150X6. 5X9	H-250X125X6X9
仕 口	GPL-9 HTB, 5-M20	GPL-9 HTB, 4-M20	GPL-9 HTB, 4-M20	GPL-9 HTB, 4-M20	GPL-9 HTB, 3-M20	GPL-6 HTB, 3-M16
備 考						
符 号	B20	B15	SV1	母屋	HB1	
断 面			 ※溶接長 Le=100以上	 @600		
部 材	H-200X100X5. 5X8	H-150X75X5X7	1-M16 ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付	C-100X50X20X2. 3	H-150X150X7X10	
仕 口	GPL-6 HTB, 2-M16	GPL-6 HTB, 2-M16	GPL-6 HTB, 1-M16	L-125X75X7 2-M12 (中ﾎﾞﾙﾄ)	GPL-9 HTB, 2-M20	
備 考						









構造設計担当者
1級建築士事務所 岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号 木村誠司

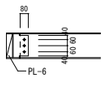
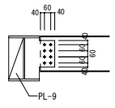
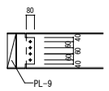
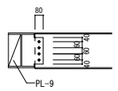
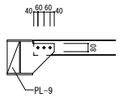
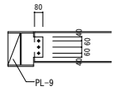
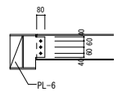
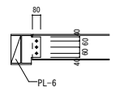
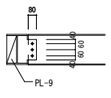
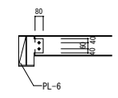
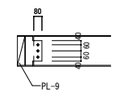
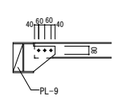
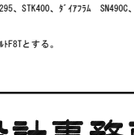
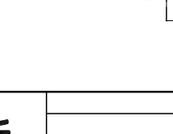
株式会社 黒川建築設計事務所

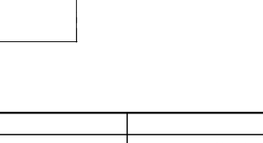
件名: 瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事
図面: 鉄骨部材断面リスト（１）
縮尺: A1：S=1/30 A3：S=1/60
日付: 2025/03
図面No.: S-26
監修: 武村 査図: 竹波 担当: 竹波 作図: 竹波

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX. 086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号

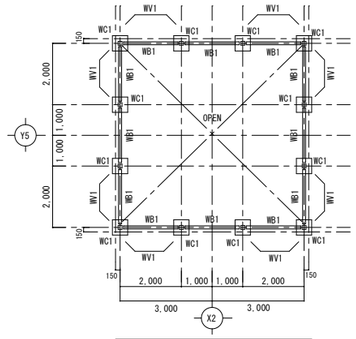
鉄骨大梁補剛リスト　1:30

・　特記なき限り鋼材はSS400，高力ﾎﾞﾙﾄはS10Tとする

符　号	G25-B25(片側)	G44-B35(片側)	G35-B35(片側)	G34-B35(片側)	G34-B15(片側)	G34-B30(片側)
断　面						
大　梁	H-250X125X6X9	H-440X300X11X18	H-350X175X7X11	H-340X250X9X14	H-340X250X9X14	H-340X250X9X14
小　梁	H-250X125X6X9	H-350X175X7X11	H-350X175X7X11	H-350X175X7X11	H-150X75X5X7	H-300X150X6.5X9
仕　口	GPL-6　HTB,3-M16	GPL-9　HTB,8-M20	GPL-9　HTB,4-M20	GPL-9　HTB,4-M20	GPL-9　HTB,3-M20	GPL-9　HTB,3-M20
符　号	G34-B25(片側)	G29-B25(片側)	G29-B30(片側)	G30-B20(片側)	G30-B30(片側)	G29-B15(片側)
断　面						
大　梁	H-340X250X9X14	H-294X200X8X12	H-294X200X8X12	H-300X150X6.5X9	H-300X150X6.5X9	H-294X200X8X12
小　梁	H-250X125X6X9	H-250X125X6X9	H-300X150X6.5X9	H-200X100X5.5X8	H-300X150X6.5X9	H-150X75X5X7
仕　口	GPL-6　HTB,3-M20	GPL-6　HTB,3-M20	GPL-9　HTB,3-M20	GPL-6　HTB,2-M20	GPL-9　HTB,3-M20	GPL-9　HTB,3-M20
符　号	G45-B40(片側)	G58-B40(両側)	B40-G58-B45(両側)			
断　面						
大　梁	H-450X200X9X14	H-588X300X12X20	H-588X300X12X20			
小　梁	H-400X200X8X13	H-400X200X8X13	H-450X200X9X14			
仕　口	GPL-9　HTB,4-M20	GPL-9　HTB,8-M20	GPL-9　HTB,10-M20			



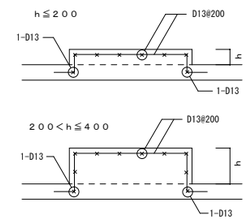
G58-B15　K1　1:30



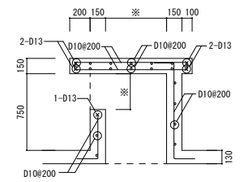
設備機器目隠し伏図　　1:100

設備基礎配筋図　1:30

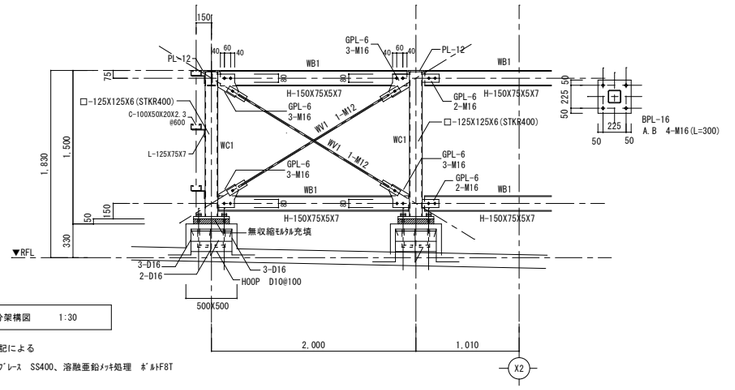
設備基礎配筋(その他)　1:30



配管ﾓﾆﾀｰ部分配筋図　1:30



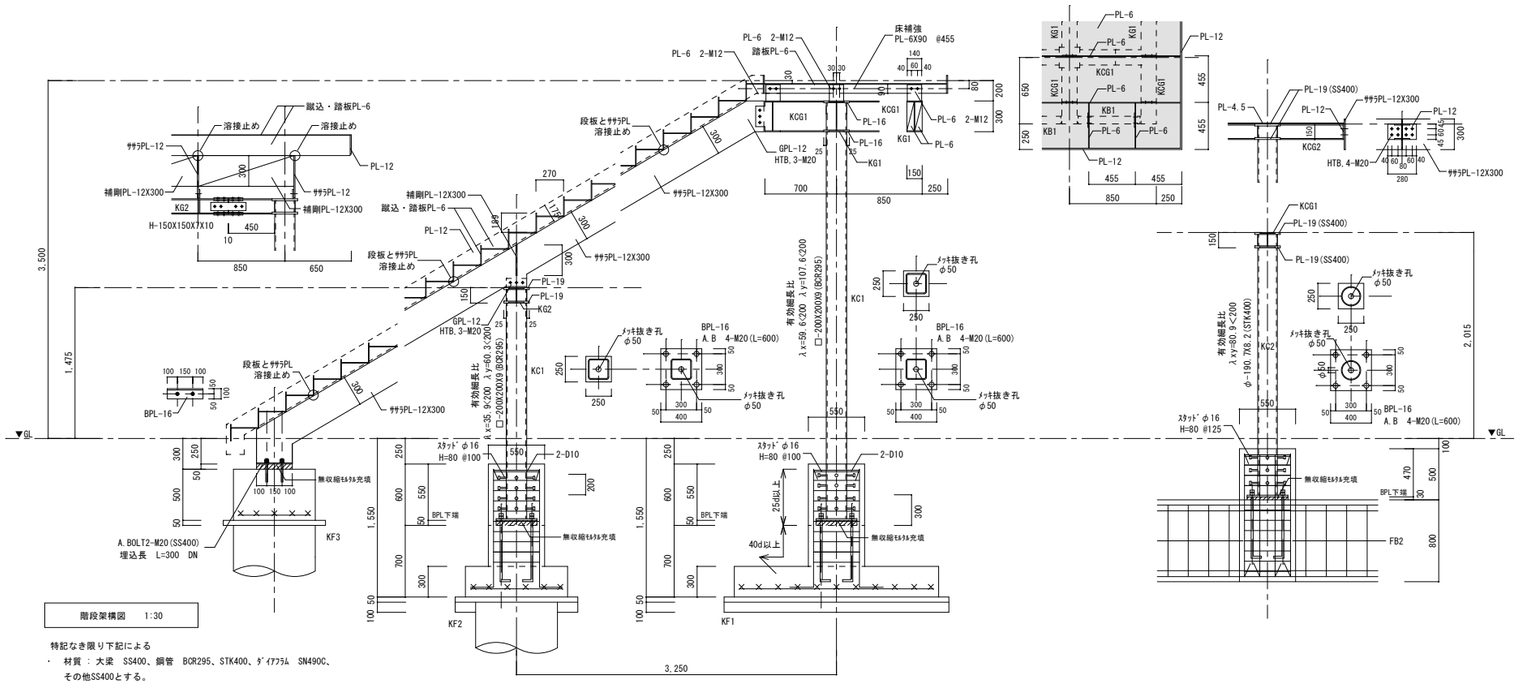
・　設備関係基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ　Fc=21N/mm2とする



目隠し部分架構図　　1:30

・　特記無き限り下記による

1　材質　柱、梁、ﾌﾞﾚｰｽ　SS400、溶融亜鉛ﾒｯｷ処理　ﾎﾞﾙﾄF8T



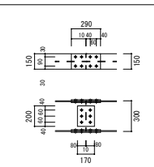
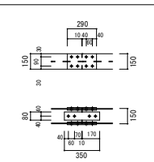
階段架構図　　1:30

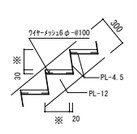
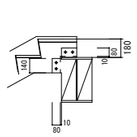
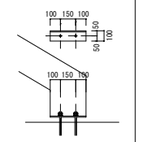
特記なき限り下記による

・　材質：大梁　SS400、鋼管　BCR295、STK400、ﾀﾞｲﾌﾗﾑ　SN490C、
　　その他SS400とする。

・　全て溶融亜鉛ﾒｯｷ処理とする。ﾎﾞﾙﾄF8Tとする。

・　基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ　Fc=21N/mm2とする。

符　号	KG1　KCG1	KG2,KCG2
部　材	H-300X150X6.5X9	H-150X150X7X10(SS400)
継　手	 ※溶融亜鉛ﾒｯｷ処理	 ※溶融亜鉛ﾒｯｷ処理
フランジ　SPL	2PL-9X150X290	2PL-9X150X290
フランジ　HTB	4PL-9X60X290	4PL-9X60X290
ウェブ　SPL	16-M16(F8T)	16-M20(F8T)
ウェブ　HTB	2PL-6X200X170	2PL-9X80X350
	6-M16(F8T)	4-M20(F8T)

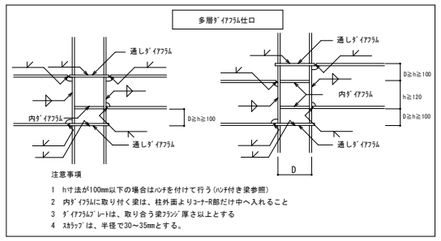
符　号	内部鉄骨階段 ※溶融亜鉛ﾒｯｷ処理			KB1
断　面				
部　材	ｻﾔ5PL-12X300	ｻﾔ5PL-12X300	ｻﾔ5PL-12X300	H-150X75X5X7
継　手	縦込板、踏板　PL-4.5	GPL-12　HTB,4-M20	BPL-16　A.BOLT2-M20(SS400)	GPL-6　HTB,2-M16
備　考			埋込長　L=300　DN	※溶融亜鉛ﾒｯｷ処理

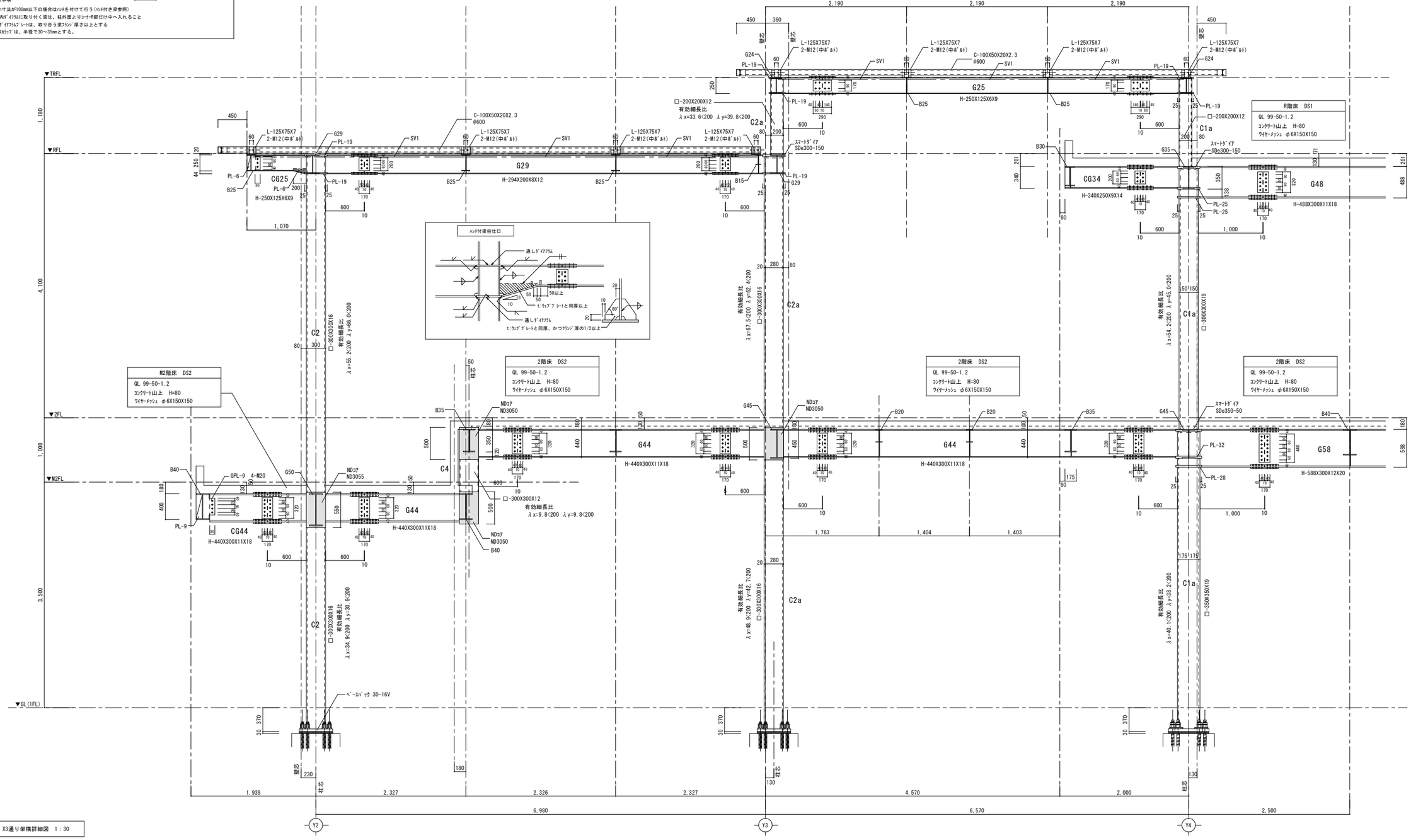
構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	鉄骨部材断面リスト（２）	A1：S=1/30 A3：S=1/60	2025/03	S-27	武村	竹波	竹波	竹波





X3通り架構詳細図 1：30

・ 特記無き限り下記による

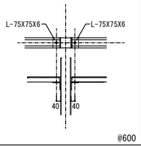
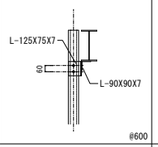
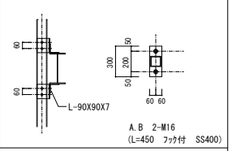
1 材質 大梁 SS400、角形鋼管 BCR295、通しﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ SN490C その他SS400とする

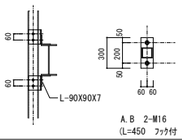
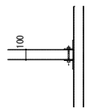
構造設計担当者
1級建築士事務所 岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号 木村誠司

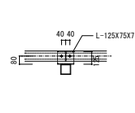
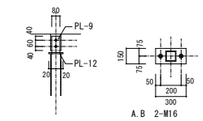
株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	鉄骨架構図	A1：S=1/30 A3：S=1/60	2025/03	S-28	武村	竹波	竹波	竹波	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL.086-234-6688 一級建築士登録292274号 FAX.086-234-0166 武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号

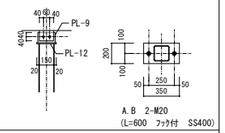
鉄骨壁下地リスト　1:30

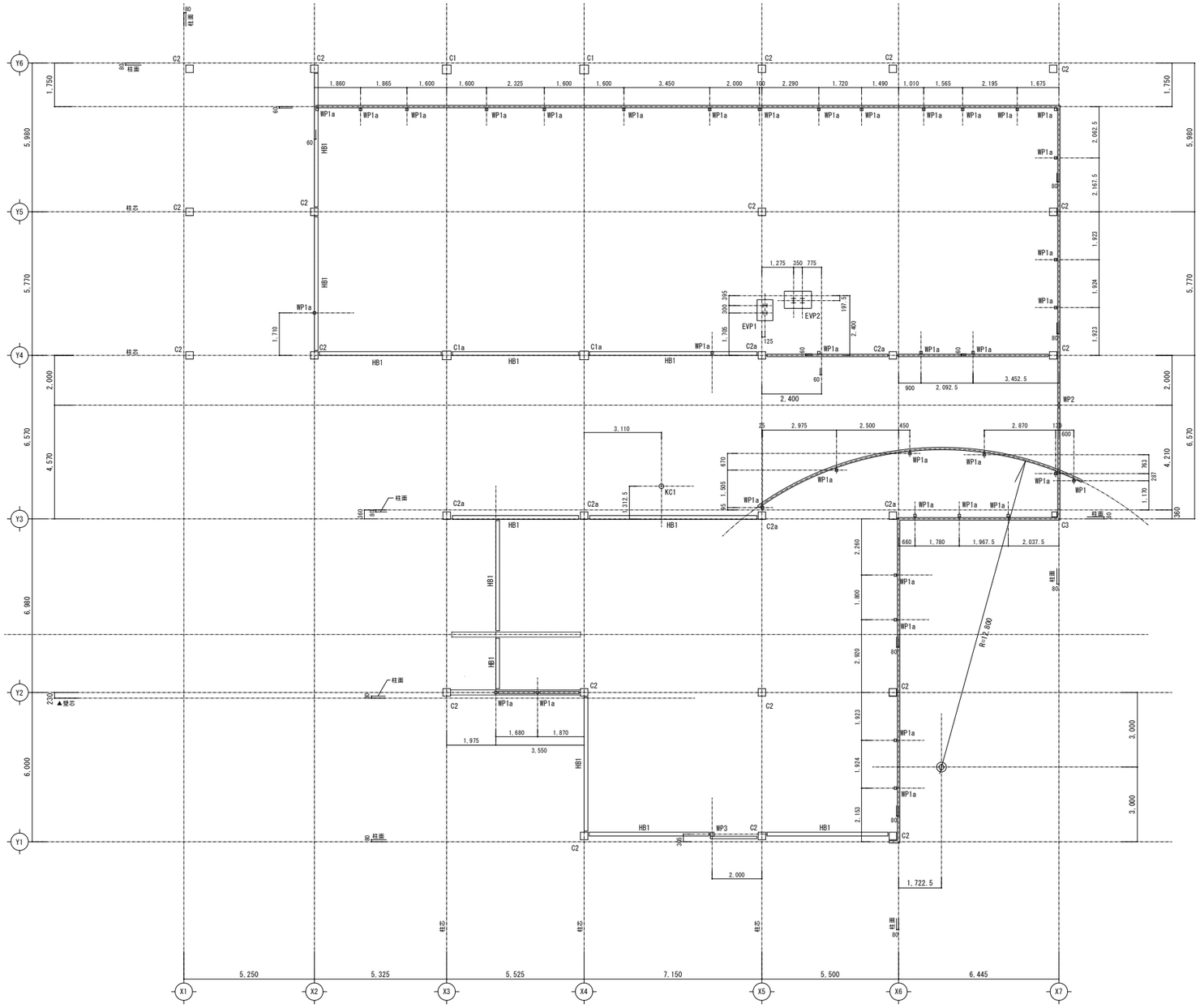
・ 特記なき限り鋼材はSS400,ﾎﾞﾙﾄは中ﾎﾞﾙﾄ6.8とする

符　号	横胴縁	縦胴縁	WP1(横胴縁受け間柱)
断　面			
部　材	C-100X50X20X2.3(SSC400)	C-100X50X20X2.3(SSC400)	□-100X100X6
継　手	2L-75X75X6 中ﾎﾞﾙﾄ4.6,2-M12	L-125X75X7 中ﾎﾞﾙﾄ4.6,2-M12	L-125X75X7 2-M12 / PL-16X120X300
備　考			

符　号	WP2(横胴縁受け垂壁,腰壁)	WB(壁下地耐風梁)
断　面		
部　材	□-100X100X4.5	□-100X100X4.5
継　手	L-125X75X7 2-M12 / PL-16X120X300	2L-90X90X7 1-M12
備　考		

符　号	横胴縁	WP1a(横胴縁受け間柱)
断　面		
部　材	C-100X50X20X2.3(SSC400)	□-100X100X6
継　手	L-125X75X7 2-M12(中ﾎﾞﾙﾄ)	GPL-9X80X160 HTB,2-M16 / PL-16X300X150
備　考		

符　号	WP3
断　面	
部　材	□-150X150X6
継　手	GPL-9X140X90 HTB,2-M20 / PL-16X200X350
備　考	



IFL間柱位置伏図　1:100

Y
X

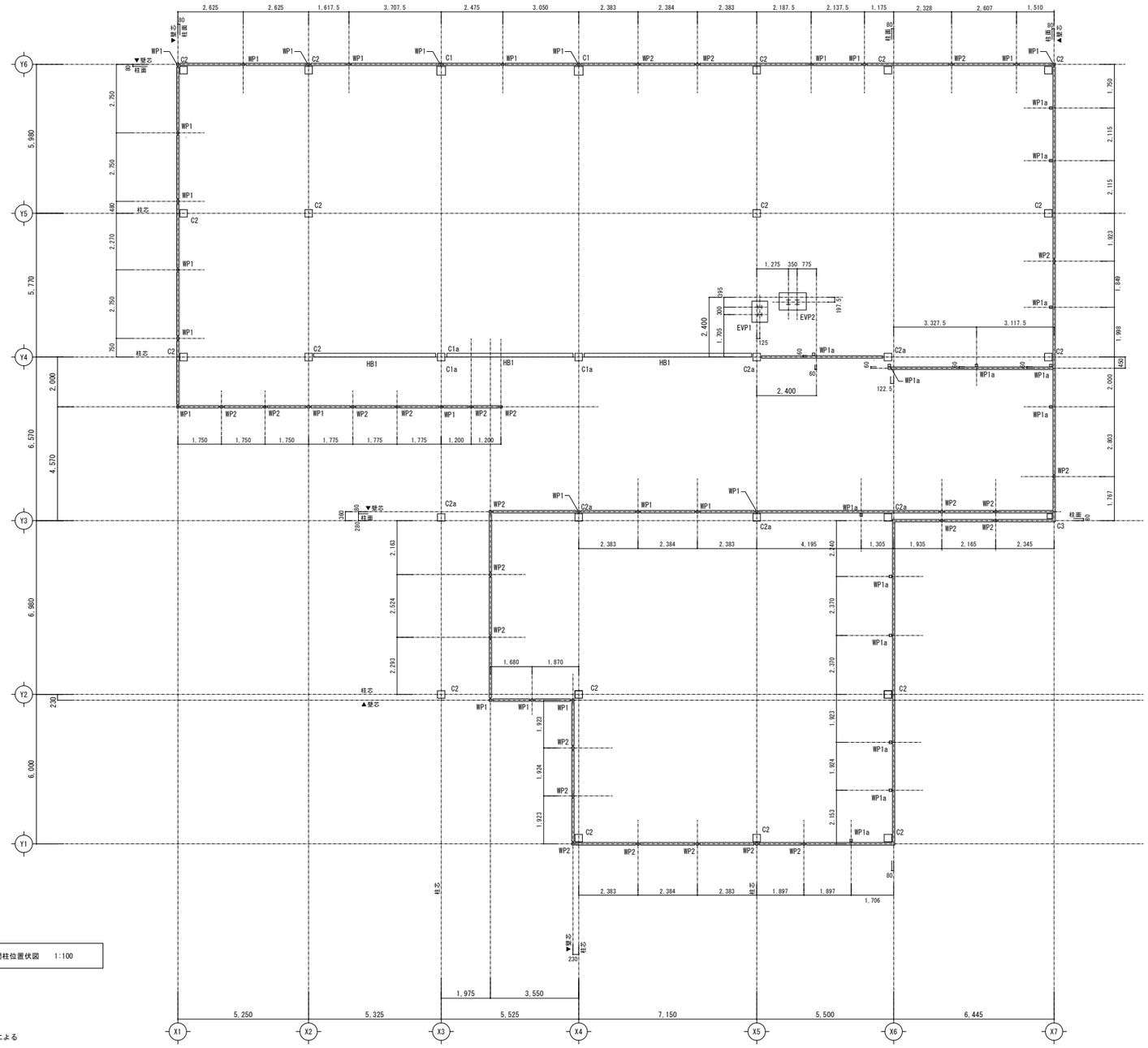
特記なき限り下記による

・ 梁ﾚﾍﾞﾙは軸組図参照

・ ═══ 胴縁位置を示す

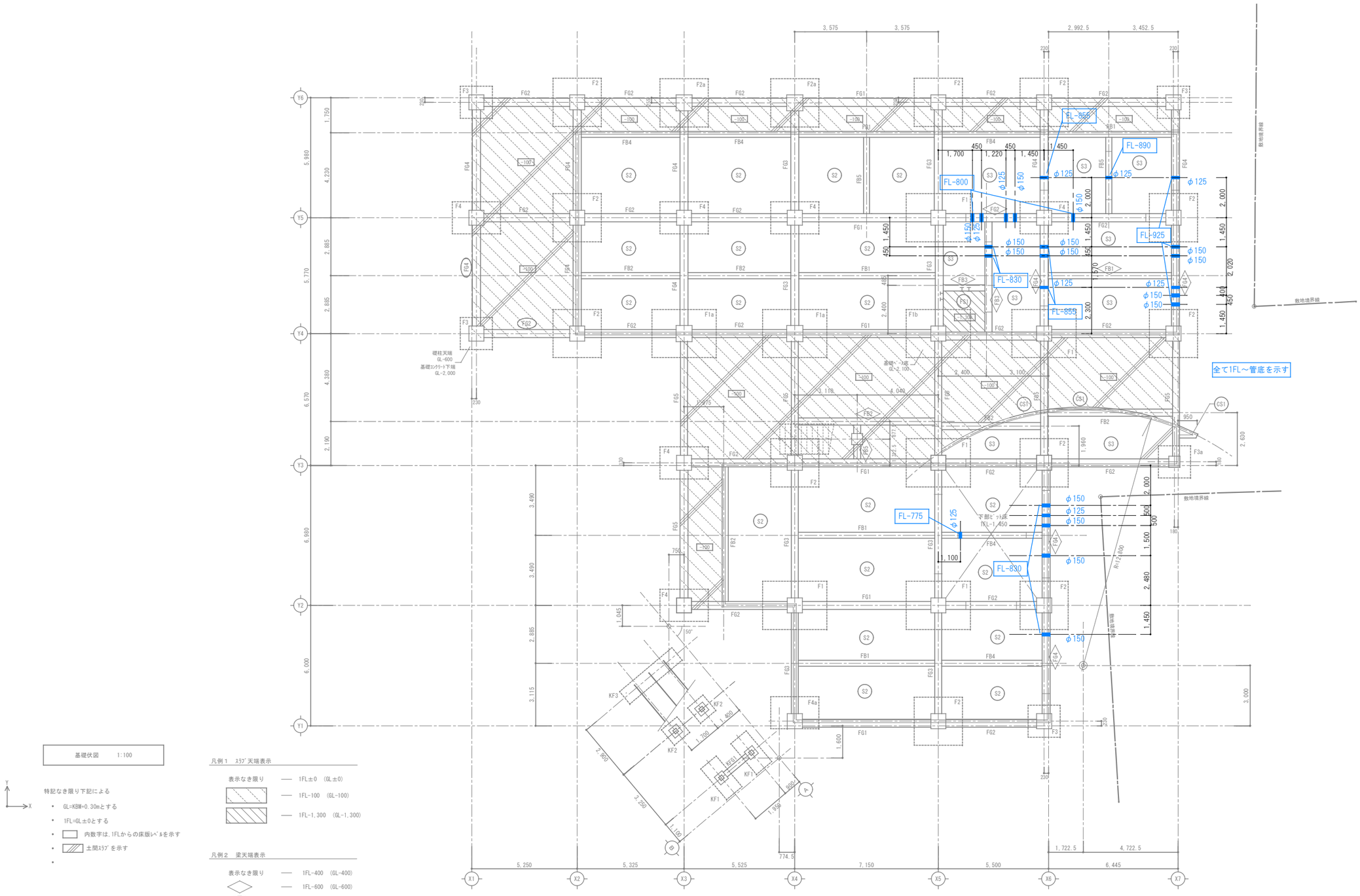
構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL.086-234-6688
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	1階　間柱位置図	A1：S=1/100	2025/03	S-29	武村	竹波	竹波	竹波	一級建築士登録292274号　FAX.086-234-0166
			A3：S=1/200							武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号



構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図	〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688 一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166 武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	2階　間柱位置図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	2025/03	S-30	武村	竹波	竹波	竹波	



基礎伏図　1:100

特記なき限り下記による

- GL=KBM+0.30mとする
- 1FL=GL±0とする
- □ 内数字は,1FLからの床版ﾚﾍﾞﾙを示す
- ▨ 土間ｽﾗﾌﾞを示す

凡例1　ｽﾗﾌﾞ天端表示

表示なき限り ―― 1FL±0 (GL±0)

▨ ―― 1FL-100 (GL-100)

▨ ―― 1FL-1,300 (GL-1,300)

凡例2　梁天端表示

表示なき限り ―― 1FL-400 (GL-400)

◇ ―― 1FL-600 (GL-600)

⬭ ―― 1FL-400～600 (GL-400～600)

凡例3　基礎コンクリート下端表示

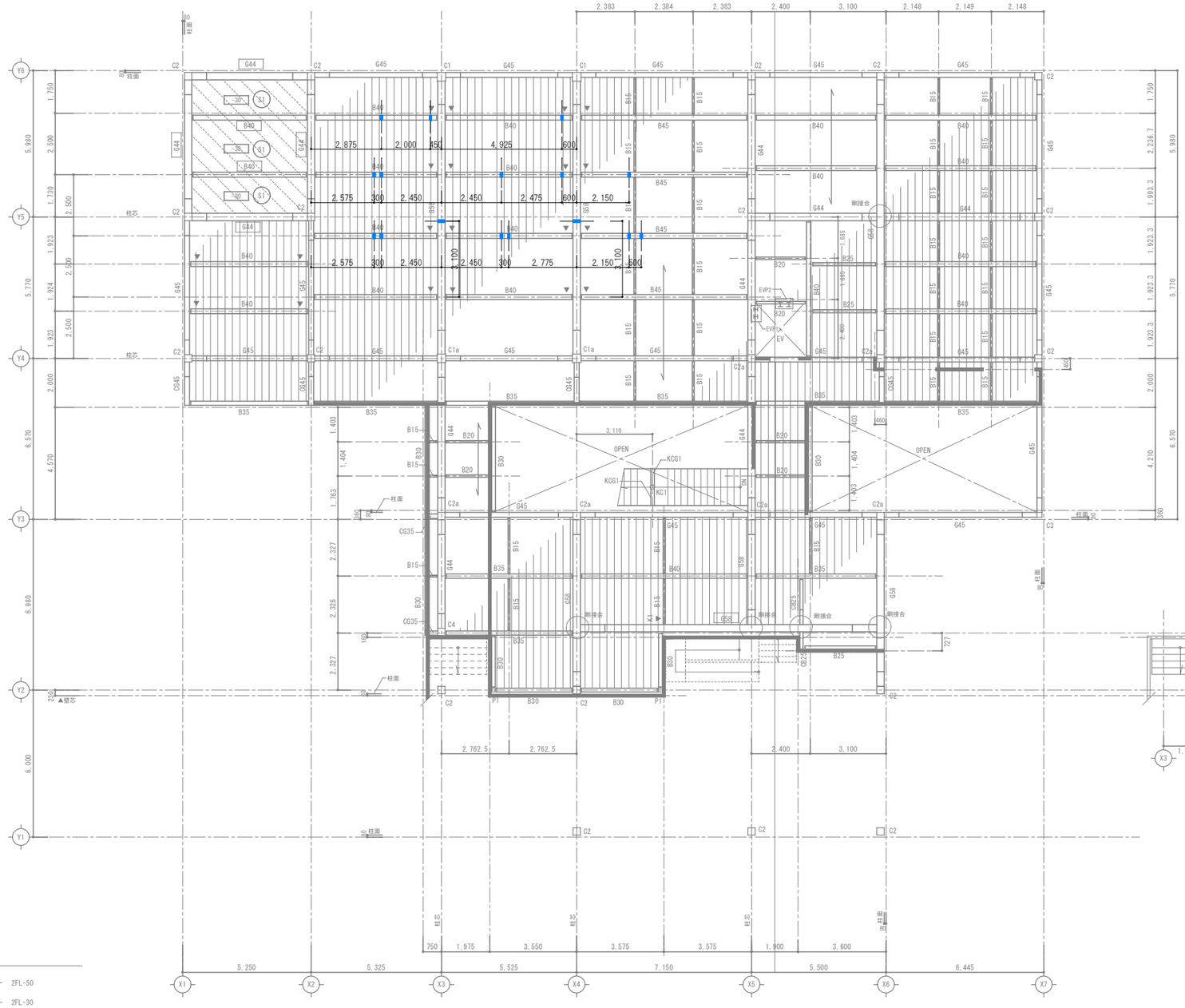
表示なき限り ―― GL-1,800

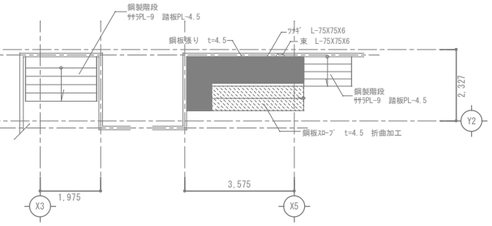
構造設計担当者
1級建築士事務所　岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号　木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	基礎伏図	A1：S=1/100	2025/03	S-31	武村	竹波	竹波	竹波
		梁貫通位置図	A3：S=1/200						

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1　TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号　FAX. 086-234-0166
武村　耕輔　一級建築士事務所登録　第12621号

全てφ125・梁中央





後施工階段,ｽﾛｰﾌﾟ 1:100

※ 固定はｵｰﾙｱﾝｶｰによる

2FLﾚﾍﾞﾙ梁伏図 1:100

(階高 H=4,500)

特記なき限り下記による

- 大梁天端は、2FL-180とする
- 床版ﾚﾍﾞﾙは、2FL-50とする
- 内数字は、2FLからの床版ﾚﾍﾞﾙを示す
- 床ｽﾗﾌﾞはDS2とする
- ﾃﾞｯｷ床方向を示す
- 表示梁は、ｽﾀｯﾄﾞ打設を示す
- ▼ 横補剛材位置を示す
- ﾌﾗｯﾄﾃﾞｯｷの板厚はJF75 0.8mmとする

凡例１ ｽﾗﾌﾞ天端表示

表示なき限り	2FL-50
	2FL-30

凡例２ 梁天端表示

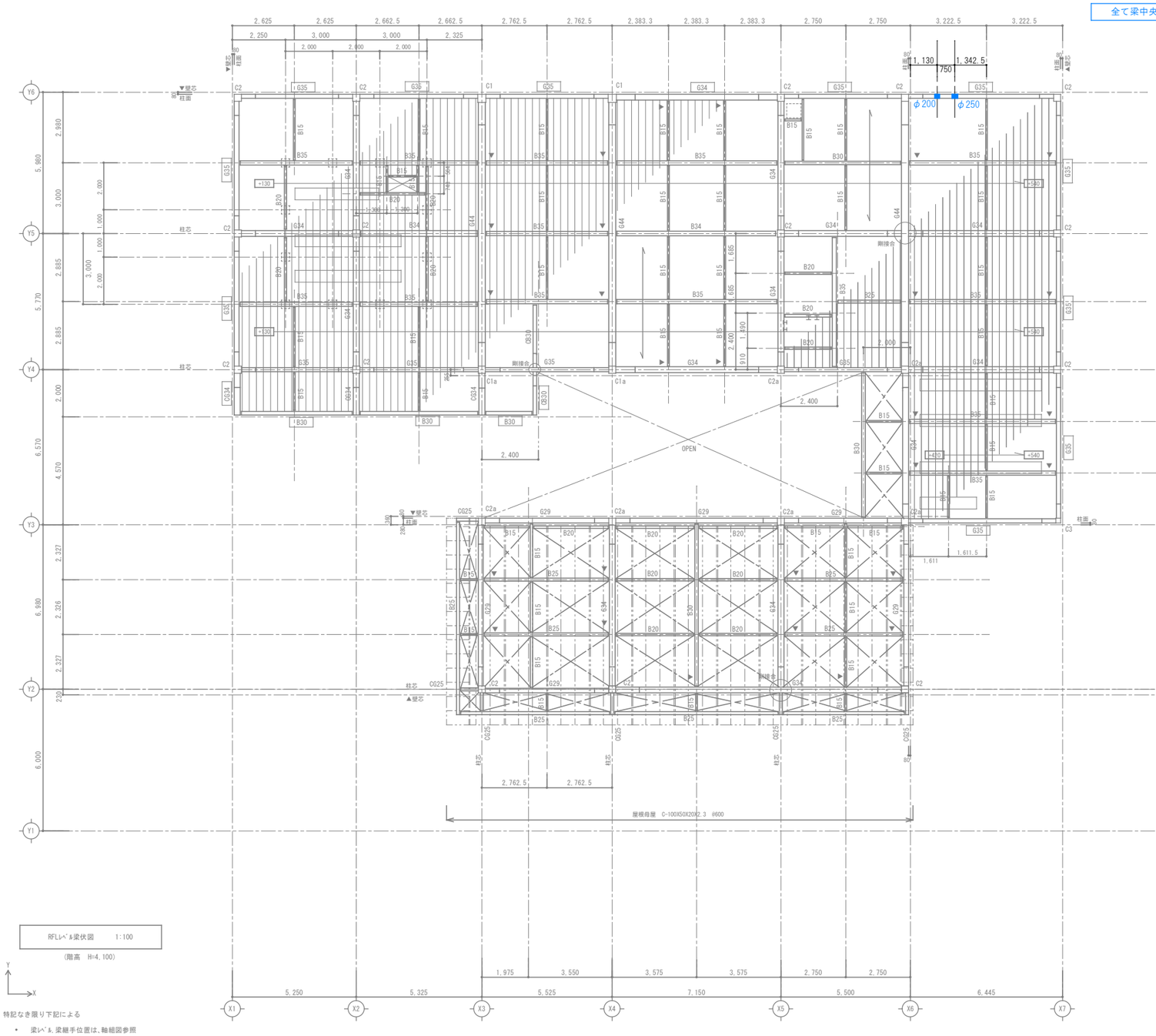
表示なき限り	2FL-180

構造設計担当者
1級建築士事務所 岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号 木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	2FLﾚﾍﾞﾙ梁伏図	A1：S=1/100	2025/03	S-32	武村	竹波	竹波	竹波
		梁貫通位置図	A3：S=1/200						

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX. 086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号

全て梁中央

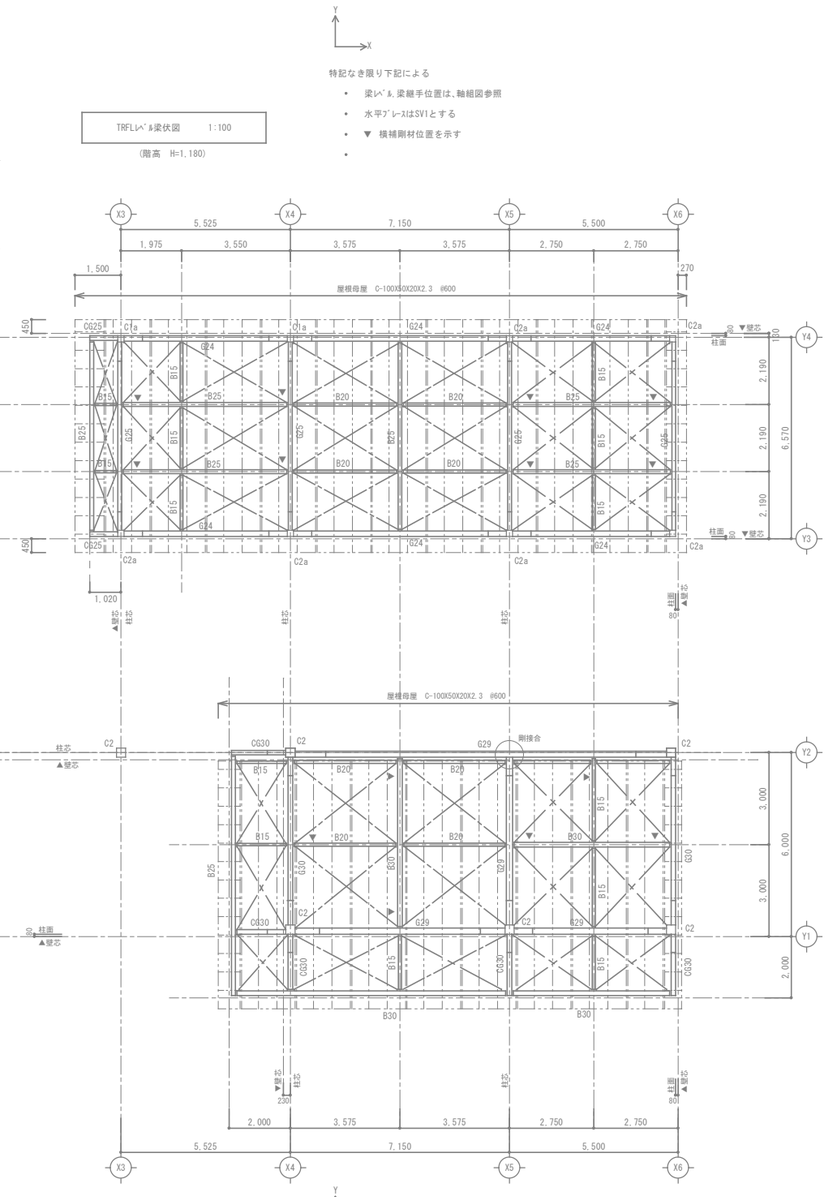


RFLﾚﾍﾞﾙ梁伏図 1:100

(階高 H=4,100)

特記なき限り下記による

- 梁ﾚﾍﾞﾙ,梁継手位置は､軸組図参照
- □ 内数字は､RFLからの床版ﾚﾍﾞﾙを示す
- 床ｽﾗﾌﾞはDS1とする
- ▨ ﾃﾞｯｷ床方向を示す
- 水平ﾌﾞﾚｰｽはSV1とする
- ▼ 横補剛材位置を示す
- □ 表示梁は､ｽﾀｯﾄﾞ打設を示す



TRFLﾚﾍﾞﾙ梁伏図 1:100

(階高 H=1,180)

特記なき限り下記による

- 梁ﾚﾍﾞﾙ,梁継手位置は､軸組図参照
- 水平ﾌﾞﾚｰｽはSV1とする
- ▼ 横補剛材位置を示す

DRFLﾚﾍﾞﾙ梁伏図 1:100

(階高 H=2,675)

特記なき限り下記による

- 梁ﾚﾍﾞﾙ,梁継手位置は､軸組図参照
- 水平ﾌﾞﾚｰｽはSV1とする
- ▼ 横補剛材位置を示す

構造設計担当者
1級建築士事務所 岡山県知事登録第14225号
(株)倉敷構造設計室
構造設計一級建築士第4087号
一級建築士第243674号 木村誠司

株式会社 黒川建築設計事務所	件名	図面	縮尺	日付	図面No.	監修	査図	担当	作図
	瀬戸内市産業振興拠点施設整備工事	RFLﾚﾍﾞﾙ,TRFLﾚﾍﾞﾙ梁伏図	A1：S=1/100	2025/03	S-33	武村	竹波	竹波	竹波
		梁貫通位置図	A3：S=1/200						

〒700-0945 岡山市南区新保 1187番地の1 TEL. 086-234-6688
一級建築士登録292274号 FAX. 086-234-0166
武村 耕輔 一級建築士事務所登録 第12621号